

高崎競馬場遺跡(1)

— 弥生・古墳時代編 —
コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書
出土遺物図・観察表
二〇二一

群馬県
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

高崎競馬場遺跡(1)

— 弥生・古墳時代編 —

コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

出土遺物図・観察表

2021

群馬県
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



高崎競馬場遺跡(1)

— 弥生・古墳時代編 —

コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

出土遺物図・観察表

2021

群馬県

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

遺物実測図 凡例

1. **縮尺** 縄文土器は1/3、弥生土器・土師器・木製品については1/4を基本とし、例外的な縮尺の場合は番号脇に付した。人形容器・土製品・石製品は1/2を基本とした。石器は縮尺不同のため番号脇に付した。
2. **掲載順序** 遺構別ないし出土地点別に一括し、できる限り遺構本文記述の順に従って掲載した。
3. **登録番号** 保存管理用の5桁の数字を付し、縄文土器・弥生土器は「2」、古墳時代の土器は「3」、石器は「1」、木製品は「6」を各々の番号の頭に付してある。なお、遺物番号は写真掲載番号と一致する。
4. **表現方法** 実測図の表現は、以下の方法及び観察結果を示している。

[弥生土器]

図展開—口径ないし底径の垂直二等分線の中軸線を基本としたが、文様構成を優先したものはこの限りでない。

口縁か底の残存率1/2以下の場合は、中軸線両側に間隙をあけた。

文 様—図表現と拓影を併用しており、赤彩部分についてはグレー網掛けで表現してある。

整形等—ハケ目は明瞭な場合のみ描線表現とした。ミガキは双方向矢印での略号表現を基本とした。ナデは表現していない。

欠損部—故意の整形と思われる部分以外は表現していない。

[石器]

使用痕—概ね方向の判明する磨滅痕は一定間隔の方線で表す。方向が不定の磨滅はグレー網掛けとした。著しい磨面は濃いグレーで表現した。

[木製品]

伐採や整形の過程で器面に残された削りや截断の痕跡が分かる場合に、「片矢印」を用いて方向を示した。

遺物実測図 凡例

1. **登録番号** 挿図、写真図版に付した遺物番号に一致する。
2. **記載項目** 縄文土器、弥生土器、土製品、木製品、石器等の遺物種類に応じて変えてある。
3. **略号** (器種名・数値)は、器種や計測値等での推測表現である。
4. **土器・土製品** 「色調」「胎土の特徴」の項目で、色調は土色名のみ、胎土の特徴には夾雑物である砂や鉱物を記した。この際、ルーベによる観察で大まかな分類を行い、本遺跡での弥生土器の標準的な胎土と考えられるものを「S」と表記してある。ちなみに胎土Sは、粗粒安山岩に含まれる鉱物や岩片の砂粒を主要夾雑物として含むものである。これに片岩、チャート、酸化鉄化合物、細礫などが目立つ場合に、「S+」で表現してある。
5. **木製品** 年輪数は明瞭なものについて大木が計測し、(株)古環境研究所の同定による樹種名を記載した。
6. **石器** 石材名称について、同定を依頼した飯島静男氏(群馬地質研究会)による岩石分類名称を記してある。

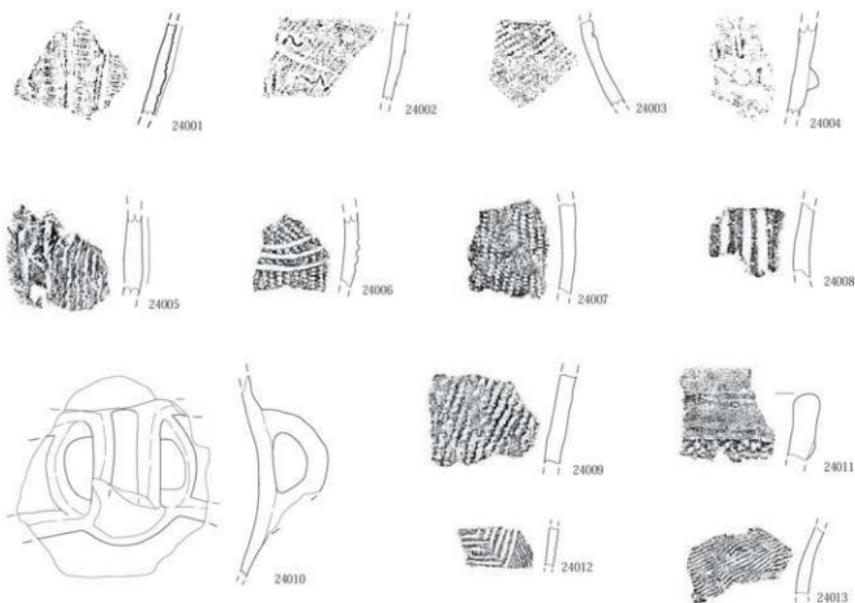
插图目次

第275图	道槽外出土绳文土器	1	第337图	6区43-44-45-46号竪穴建物出土赤生土器	63
第276图	2区95号溝出土赤生土器 1	2	第338图	6区46号竪穴建物出土赤生土器 2	64
第277图	2区95号溝出土赤生土器 2	3	第339图	6区46-47-48号竪穴建物出土赤生土器	65
第278图	2区95号溝出土赤生土器 3	4	第340图	6区48号竪穴建物出土赤生土器 2	66
第279图	2区95号溝出土赤生土器 4	5	第341图	6区49-50号竪穴建物出土赤生土器	67
第280图	2区95号溝出土赤生土器 5	6	第342图	6区50号竪穴建物出土赤生土器 2	68
第281图	2区95号溝出土赤生土器 6	7	第343图	6区50号竪穴建物出土赤生土器 3	69
第282图	2区95号溝出土赤生土器 7	8	第344图	6区北地区51-53・2区北地区54号竪穴建物出土赤生土器	70
第283图	2区95号溝出土赤生土器 8	9	第345图	2区北地区54号竪穴建物出土赤生土器 2	71
第284图	2区95号溝出土赤生土器 9	10	第346图	2区北地区54-55-56号・6区57号竪穴建物出土赤生土器	72
第285图	2区95号溝出土赤生土器10	11	第347图	6区1・4号埋藏、10号掘立柱建物出土赤生土器	73
第286图	2区95号溝出土赤生土器11	12	第348图	2区10-12-13-14号井戸出土赤生土器	74
第287图	2区95号溝出土赤生土器12	13	第349图	2区69号土坑出土赤生土器 1	75
第288图	2区96号溝出土赤生土器 1	14	第350图	2区69号土坑出土赤生土器 2	76
第289图	2区96号溝出土赤生土器 2	15	第351图	2区69号土坑出土赤生土器 3	77
第290图	2区96号溝出土赤生土器 3	16	第352图	2区70号土坑出土赤生土器 1	78
第291图	2区96号溝出土赤生土器 4	17	第353图	2区70号土坑出土赤生土器 2	79
第292图	2区96号溝出土赤生土器 5	18	第354图	2区70号土坑出土赤生土器 3	80
第293图	2区96号溝出土赤生土器 6	19	第355图	2区70号土坑出土赤生土器 4	81
第294图	2区96号溝出土赤生土器 7	20	第356图	2区70号土坑出土赤生土器 5	82
第295图	2区96号溝出土赤生土器 8	21	第357图	2区73-89号・6区146号・2区北地区301号土坑出土赤生土器	83
第296图	2区96号溝出土赤生土器 9	22	第358图	2区北地区362号土坑出土赤生土器	84
第297图	2区96号溝出土赤生土器10	23	第359图	2区北地区362-363号土坑出土赤生土器	85
第298图	2区96号溝出土赤生土器11	24	第360图	2区北地区365-391-446-497号土坑出土赤生土器	86
第299图	2区96号溝出土赤生土器12	25	第361图	2区北地区505号土坑出土赤生土器	87
第300图	2区96号溝出土赤生土器13	26	第362图	2区北地区438号土坑出土赤生土器	88
第301图	2区96号溝出土赤生土器14	27	第363图	2区北地区509-526号土坑、6区北地区336-37-38号井戸出土赤生土器	89
第302图	2区96号溝出土赤生土器15	28	第364图	6区北地区38号井戸出土赤生土器 2	90
第303图	2区96号溝出土赤生土器16	29	第365图	6区北地区38-40号井戸出土赤生土器	91
第304图	2区96号溝出土赤生土器17	30	第366图	7区40号・1区19号・2区北地区50号井戸出土赤生土器	92
第305图	2区96号溝出土赤生土器18	31	第367图	類焼土赤生土器、2区74-77-80-87-91-105・108号土坑出土赤生土器	93
第306图	2区96号溝出土赤生土器19	32	第368图	6区127-134-142-145-156-158-159-160号・1区南195-241-249号土坑出土赤生土器	94
第307图	2区96号溝出土赤生土器20	33	第369图	1区南229-269-229-278-284号・1区北地区西316号・2区北地区366-367-374-379-386号土坑出土赤生土器	95
第308图	2区96号溝出土赤生土器21	34	第370图	2区北地区387-388-418-439-442号土坑出土赤生土器	96
第309图	2区96号溝出土赤生土器22	35	第371图	2区北地区474-478-498-508-516-524号土坑出土赤生土器	97
第310图	2区96号溝出土赤生土器23	36	第372图	2区北地区513号土坑出土赤生土器	98
第311图	2区96号・2区北地区291号溝出土赤生土器	37	第373图	2区97-98-100号、6区129-142号溝出土赤生土器	99
第312图	2区北地区291号溝出土赤生土器 2	38	第374图	6区147号・2区北地区298-313-317号溝出土赤生土器	100
第313图	2区北地区291号溝・6区140号溝出土赤生土器	39	第375图	6区3号欄列出土赤生土器	101
第314图	6区140号溝出土赤生土器 2	40	第376图	2区北地区1731-2069-2122-2127-2162号ビット出土赤生土器	101
第315图	6区128号溝・7区245溝出土赤生土器	41	第377图	6区道物集中1~3・5・7・8群箱所出土赤生土器	102
第316图	7区245号・2区北地区268号溝出土赤生土器	42	第378图	6区1号集石道溝出土赤生土器 1	103
第317图	2区北地区268号・6区130-131-145-146号溝出土赤生土器	43	第379图	6区1号集石道溝出土赤生土器 2	104
第318图	6区1・2・4号竪穴建物出土赤生土器	44	第380图	2区北地区1号道物集中箱所出土赤生土器	105
第319图	6区5・6・7・8-12号竪穴建物出土赤生土器	45	第381图	2区北地区291号溝周辺出土赤生土器	106
第320图	6区9・10-22号竪穴建物出土赤生土器	46	第382图	2区北地区268号溝周辺出土赤生土器 1	107
第321图	6区14-19-20-25号竪穴建物出土赤生土器	47	第383图	2区北地区268号溝周辺出土赤生土器 2	108
第322图	6区26-27号竪穴建物出土赤生土器	48	第384图	古墳時代の道溝出土赤生土器	109
第323图	6区27号竪穴建物出土赤生土器 2	49	第385图	1区道溝外出土赤生土器	109
第324图	6区28号竪穴建物出土赤生土器	50	第386图	2区道溝外出土赤生土器 1	109
第325图	6区29号竪穴建物出土赤生土器	51	第387图	2区道溝外出土赤生土器 2	110
第326图	6区30号竪穴建物出土赤生土器	52	第388图	2区道溝外出土赤生土器 3	111
第327图	6区30-31号竪穴建物出土赤生土器	53	第389图	2区道溝外出土赤生土器 4	112
第328图	6区31号竪穴建物出土赤生土器 2	54	第390图	2区道溝外出土赤生土器 5	113
第329图	6区31号竪穴建物出土赤生土器 3	55	第391图	2区北地区道溝外出土赤生土器 1	113
第330图	6区31号竪穴建物出土赤生土器 4	56			
第331图	6区31-32・33号竪穴建物出土赤生土器	57			
第332图	6区33-34号竪穴建物出土赤生土器	58			
第333图	6区36号竪穴建物出土赤生土器	59			
第334图	6区37-38-39号竪穴建物出土赤生土器	60			
第335图	6区40-41号竪穴建物出土赤生土器	61			
第336图	6区42号竪穴建物出土赤生土器	62			

第392区	2区北地区道橋外出土赤生土器 2	114	第454区	道橋外出土石器 5	171
第393区	2区北地区道橋外出土赤生土器 3	115	第455区	道橋外出土石器 6	172
第394区	6区道橋外出土赤生土器 1	115	第456区	造形石製埴土	172
第395区	6区道橋外出土赤生土器 2	116	第457区	石製紡輪	172
第396区	6区道橋外出土赤生土器 3	117			
第397区	6区道橋外出土赤生土器 4	118	第38表	縄文土器観察表	173
第398区	6区北地区道橋外出土赤生土器	118	第39表	赤生土器観察表 95号溝	174
第399区	7区道橋外出土赤生土器	118	第40表	赤生土器観察表 95号溝	175
第400区	道橋外出土の古墳時代土器	119	第41表	赤生土器観察表 95号溝	176
第401区	道橋外出土の埴輪	119	第42表	赤生土器観察表 95号溝	177
第402区	土製管玉	119	第43表	赤生土器観察表 95号溝	178
第403区	人形容器 1	120	第44表	赤生土器観察表 95号溝	179
第404区	人形容器 2	121	第45表	赤生土器観察表 95号溝	180
第405区	人形容器 3	122	第46表	赤生土器観察表 95号溝	181
第406区	土製品(人形・銅押形・分銅形・丸玉・土鏃)	123	第47表	赤生土器観察表 95号溝	182
第407区	土製紡輪、土製円板 1	124	第48表	赤生土器観察表 95号溝	183
第408区	土製円板 2	125	第49表	赤生土器観察表 95号溝	184
第409区	2区95号溝出土木製品 1	126	第50表	赤生土器観察表 95号溝	185
第410区	2区95号溝出土木製品 2	127	第51表	赤生土器観察表 95号溝	186
第411区	2区95号溝出土木製品 3	128	第52表	赤生土器観察表 95号溝	187
第412区	2区96号溝、6区140号溝、7区245号溝、		第53表	赤生土器観察表 95・96号溝	188
	6区38号井戸出土木製品	129	第54表	赤生土器観察表 96号溝	189
第413区	6区38号井戸出土木製品 2	130	第55表	赤生土器観察表 96号溝	190
第414区	7区40号井戸出土木製品	131	第56表	赤生土器観察表 96号溝	191
第415区	2区69号土坑出土木製品 1	132	第57表	赤生土器観察表 96号溝	192
第416区	2区69号土坑出土木製品 2	133	第58表	赤生土器観察表 96号溝	193
第417区	2区70号土坑出土木製品 1	134	第59表	赤生土器観察表 96号溝	194
第418区	2区70号土坑出土木製品 2	135	第60表	赤生土器観察表 96号溝	195
第419区	2区70号土坑出土木製品 3	136	第61表	赤生土器観察表 96号溝	196
第420区	2区80号土坑、2区北地区362・365・391号土坑出土木製品	137	第62表	赤生土器観察表 96号溝	197
第421区	2区北地区446号土坑出土木製品 1	138	第63表	赤生土器観察表 96号溝	198
第422区	2区北地区446号土坑出土木製品 2	139	第64表	赤生土器観察表 96号溝	199
第423区	2区北地区446号土坑出土木製品 3	140	第65表	赤生土器観察表 96号溝	200
第424区	2区北地区446号土坑出土木製品 4	141	第66表	赤生土器観察表 96号溝	201
第425区	2区北地区438・446・497号土坑出土木製品	142	第67表	赤生土器観察表 96号溝	202
第426区	2区北地区505号土坑、6区36号竪穴建物出土木製品	143	第68表	赤生土器観察表 96号溝	203
第427区	2区95号溝出土石器 1	144	第69表	赤生土器観察表 96号溝	204
第428区	2区95号溝出土石器 2	145	第70表	赤生土器観察表 96号溝	205
第429区	2区95・96号溝出土石器	146	第71表	赤生土器観察表 96号溝	206
第430区	2区96号溝出土石器 2	147	第72表	赤生土器観察表 96号溝	207
第431区	2区96号溝出土石器 3	148	第73表	赤生土器観察表 96号溝	208
第432区	6区140号溝、7区245号溝、2区北地区268・291号溝 出土石器	149	第74表	赤生土器観察表 96号溝	209
第433区	6区4・29号、5号竪穴建物出土石器	150	第75表	赤生土器観察表 96号溝	210
第434区	6区5・6号竪穴建物出土石器	151	第76表	赤生土器観察表 96号溝	211
第435区	6区7・8・9・19・21号竪穴建物出土石器	152	第77表	赤生土器観察表 96号溝	212
第436区	6区26・27号竪穴建物出土石器	153	第78表	赤生土器観察表 96号溝	213
第437区	6区30・31・32号竪穴建物出土石器	154	第79表	赤生土器観察表 96号溝	214
第438区	6区33・36・37・39号竪穴建物出土石器	155	第80表	赤生土器観察表 96号溝	215
第439区	6区38・40号竪穴建物出土石器	156	第81表	赤生土器観察表 96号溝	216
第440区	6区41・42・43・45号竪穴建物出土石器	157	第82表	赤生土器観察表 96・291号溝	217
第441区	6区46・47・48号竪穴建物出土石器	158	第83表	赤生土器観察表 291号溝	218
第442区	6区49・50号竪穴建物、2区14号井戸出土石器	159	第84表	赤生土器観察表 291号溝	219
第443区	6区38号・7区40号・2区69号土坑出土石器	160	第85表	赤生土器観察表 291号溝	220
第444区	2区70号・2区北地区362・363・391号土坑(井戸) 出土石器	161	第86表	赤生土器観察表 291・140号溝	221
第445区	2区北地区446・497・505号土坑(井戸)出土石器	162	第87表	赤生土器観察表 140号溝	222
第446区	1区南地区216号土坑(墓塚)、2区91号・6区 127・146・159号・2区北地区439・508号土坑出土石器	163	第88表	赤生土器観察表 140・128号溝	223
第447区	2区98・99号溝・6区145・147号溝・河川跡出土石器	164	第89表	赤生土器観察表 128・245号溝	224
第448区	6区1号集石遺構出土石器 1	165	第90表	赤生土器観察表 245号溝	225
第449区	6区1号集石遺構出土石器 2	166	第91表	赤生土器観察表 245・268号溝	226
第450区	道橋外出土石器 1	167	第92表	赤生土器観察表 268号溝	227
第451区	道橋外出土石器 2	168	第93表	赤生土器観察表 268・130・131・143・145号溝	228
第452区	道橋外出土石器 3	169	第94表	赤生土器観察表 145・146号溝、1・2・4号竪穴建物	229
第453区	道橋外出土石器 4	170	第95表	赤生土器観察表 4・5・6・7号竪穴建物	230
			第96表	赤生土器観察表 7・8・9・12号竪穴建物	231
			第97表	赤生土器観察表 9・10・14・19・22号竪穴建物	232
			第98表	赤生土器観察表 19・20・25・26号竪穴建物	233

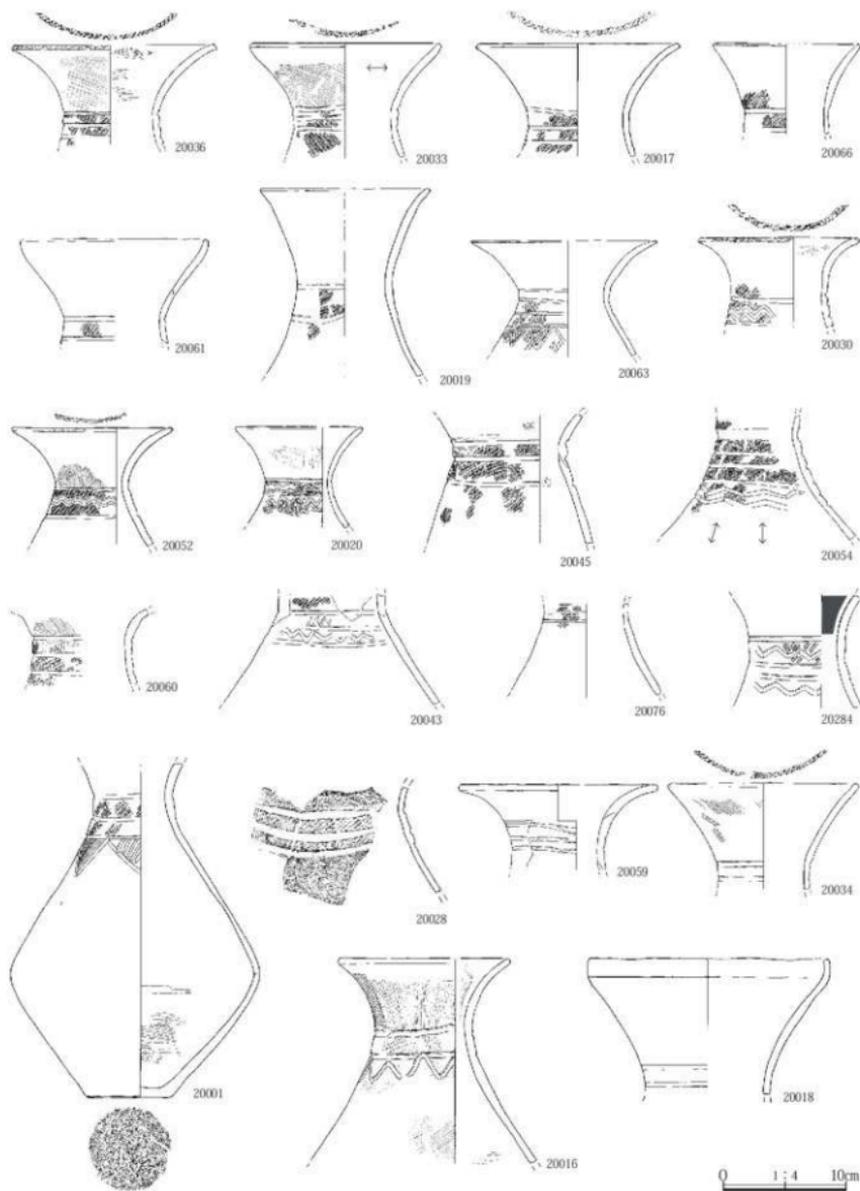
第99表	赤生土器観察表	26-27号型穴建物	234
第100表	赤生土器観察表	27-28号型穴建物	235
第101表	赤生土器観察表	28号型穴建物	236
第102表	赤生土器観察表	29-30号型穴建物	237
第103表	赤生土器観察表	30号型穴建物	238
第104表	赤生土器観察表	30-31号型穴建物	239
第105表	赤生土器観察表	31号型穴建物	240
第106表	赤生土器観察表	31号型穴建物	241
第107表	赤生土器観察表	31号型穴建物	242
第108表	赤生土器観察表	31~33号型穴建物	243
第109表	赤生土器観察表	33-34号型穴建物	244
第110表	赤生土器観察表	34-36号型穴建物	245
第111表	赤生土器観察表	36~38号型穴建物	246
第112表	赤生土器観察表	38-40号型穴建物	247
第113表	赤生土器観察表	40~42号型穴建物	248
第114表	赤生土器観察表	42号型穴建物	249
第115表	赤生土器観察表	42~44号型穴建物	250
第116表	赤生土器観察表	44~46号型穴建物	251
第117表	赤生土器観察表	46号型穴建物	252
第118表	赤生土器観察表	46号型穴建物	253
第119表	赤生土器観察表	47-48号型穴建物、161-164号土坑	254
第120表	赤生土器観察表	48-49号型穴建物、161号土坑	255
第121表	赤生土器観察表	49-50号型穴建物	256
第122表	赤生土器観察表	50号型穴建物	257
第123表	赤生土器観察表	50号型穴建物	258
第124表	赤生土器観察表	50-51-53-54号型穴建物	259
第125表	赤生土器観察表	54号型穴建物	260
第126表	赤生土器観察表	54号型穴建物	261
第127表	赤生土器観察表	54号型穴建物	262
第128表	赤生土器観察表	54-55-56-57号型穴建物、1号埋藏	263
第129表	赤生土器観察表	4号埋藏、10号孤立、10-12号并戸、78号土坑	264
第130表	赤生土器観察表	12-13-14号并戸、78号土坑	265
第131表	赤生土器観察表	69号土坑	266
第132表	赤生土器観察表	69号土坑	267
第133表	赤生土器観察表	69号土坑	268
第134表	赤生土器観察表	69-70号土坑	269
第135表	赤生土器観察表	70号土坑	270
第136表	赤生土器観察表	70号土坑	271
第137表	赤生土器観察表	70号土坑	272
第138表	赤生土器観察表	70号土坑	273
第139表	赤生土器観察表	70号土坑	274
第140表	赤生土器観察表	70号土坑	275
第141表	赤生土器観察表	70号土坑	276
第142表	赤生土器観察表	73-89-146-361号土坑	277
第143表	赤生土器観察表	361-362号土坑	278
第144表	赤生土器観察表	362-363号土坑	279
第145表	赤生土器観察表	363-365号土坑	280
第146表	赤生土器観察表	365-391-446-497-505号土坑	281
第147表	赤生土器観察表	438-505号土坑	282
第148表	赤生土器観察表	438-509-526号土坑、36号并戸	283
第149表	赤生土器観察表	36-38号并戸	284
第150表	赤生土器観察表	38号并戸	285
第151表	赤生土器観察表	38-40号并戸	286
第152表	赤生土器観察表	19-40-50号并戸、215-216-218号土坑	287
第153表	赤生土器観察表	74-77-80-87-91-105-108-127-134-245号土坑	288
第154表	赤生土器観察表	134-142-145-156-158-159-160-195-241号土坑	289
第155表	赤生土器観察表	229-249-269-278-284-316-366-367-374号土坑	290
第156表	赤生土器観察表	379-386-387-388号土坑	291
第157表	赤生土器観察表	418-439-442-474-498-508号土坑	292
第158表	赤生土器観察表	508-513-516-524号土坑	293
第159表	赤生土器観察表	513号土坑、97-98-100-129-142号溝	294
第160表	赤生土器観察表	147-298-313-316号溝	295

第161表	赤生土器観察表	313-316-317号溝、3号榎刈、1731-2069-2122-2127号ビット、1号集石	296
第162表	赤生土器観察表	1・2・3・5・7・8号集中群	297
第163表	赤生土器観察表	7・8号集中群、1号集石	298
第164表	赤生土器観察表	1号集石	299
第165表	赤生土器観察表	1号集石	300
第166表	赤生土器観察表	1号集石、1号遺物集中	301
第167表	赤生土器観察表	1号遺物集中、291号溝東岸	302
第168表	赤生土器観察表	291号溝東岸	303
第169表	赤生土器観察表	291号溝東岸-288号溝周辺	304
第170表	赤生土器観察表	268号溝周辺	305
第171表	赤生土器観察表	268号溝周辺、19-20号并戸、89-317-447号土坑	306
第172表	赤生土器観察表	317号土坑、99号溝、1195ビット、道溝外	307
第173表	赤生土器観察表	道溝外	308
第174表	赤生土器観察表	道溝外	309
第175表	赤生土器観察表	道溝外	310
第176表	赤生土器観察表	道溝外	311
第177表	赤生土器観察表	道溝外	312
第178表	赤生土器観察表	道溝外	313
第179表	赤生土器観察表	道溝外	314
第180表	赤生土器観察表	道溝外	315
第181表	赤生土器観察表	道溝外	316
第182表	赤生土器観察表	道溝外	317
第183表	赤生土器観察表	道溝外	318
第184表	赤生土器観察表	道溝外	319
第185表	赤生土器観察表	道溝外	320
第186表	赤生土器観察表	道溝外	321
第187表	赤生土器観察表	道溝外	322
第188表	赤生土器観察表	道溝外	323
第189表	赤生土器観察表	道溝外	324
第190表	赤生土器観察表	道溝外	325
第191表	土製碧玉観察表		326
第192表	人形容器-土製品観察表	49号型穴建物、1号集石、95-96-291号溝、道溝外	327
第193表	人形容器-土製品観察表	10-27-38号型穴建物、389号土坑、95号溝、39-40号并戸、1号集石、居住域西端、道溝外	328
第194表	土製紡輪-土製円板	5・28-29-46-47-50号型穴建物、95-96-291号溝、64-69-70号土坑、1号集石、道溝外	329
第195表	土製紡輪-土製円板	96号溝、1号集石、表採、道溝外	330
第196表	出土木製品観察表	95-96-245号溝	331
第197表	出土木製品観察表	96-140号溝、38-40号并戸、69-70号土坑	332
第198表	出土木製品観察表	70-89-362-365-391-446号土坑	333
第199表	出土木製品観察表	438-446-497-505号土坑、36号型穴建物	334
第200表	石器観察表	95-96号溝	335
第201表	石器観察表	96-140-245-268-291号溝、道溝外	336
第202表	石器観察表	4~9-6-26-29号型穴建物	337
第203表	石器観察表	8・19-21-26-27-30~33号型穴建物	338
第204表	石器観察表	33-36-40号型穴建物	339
第205表	石器観察表	40~43-45~49号型穴建物、道溝外	340
第206表	石器観察表	49-50号型穴建物、14-40号并戸、69-70-318号土坑	341
第207表	石器観察表	70-91-127-146-150-216-362-363-391-446-474-497-505号土坑	342
第208表	石器観察表	439-508号土坑、98-99-145-147号溝、1号河川跡、1号集石、道溝外、岩押町道跡4	343
第209表	石器観察表	213-420号土坑、41-128-142号溝、道溝外	344
第210表	石器観察表	13-15-54-55-56号型穴建物、128-137-255-274-275号溝、485号土坑、1号集中、道溝外	345
第211表	石器観察表	13号型穴建物、91-96-128-268-295-313号溝、70-388-430-485-522号土坑、遺物集中地点、道溝外	346

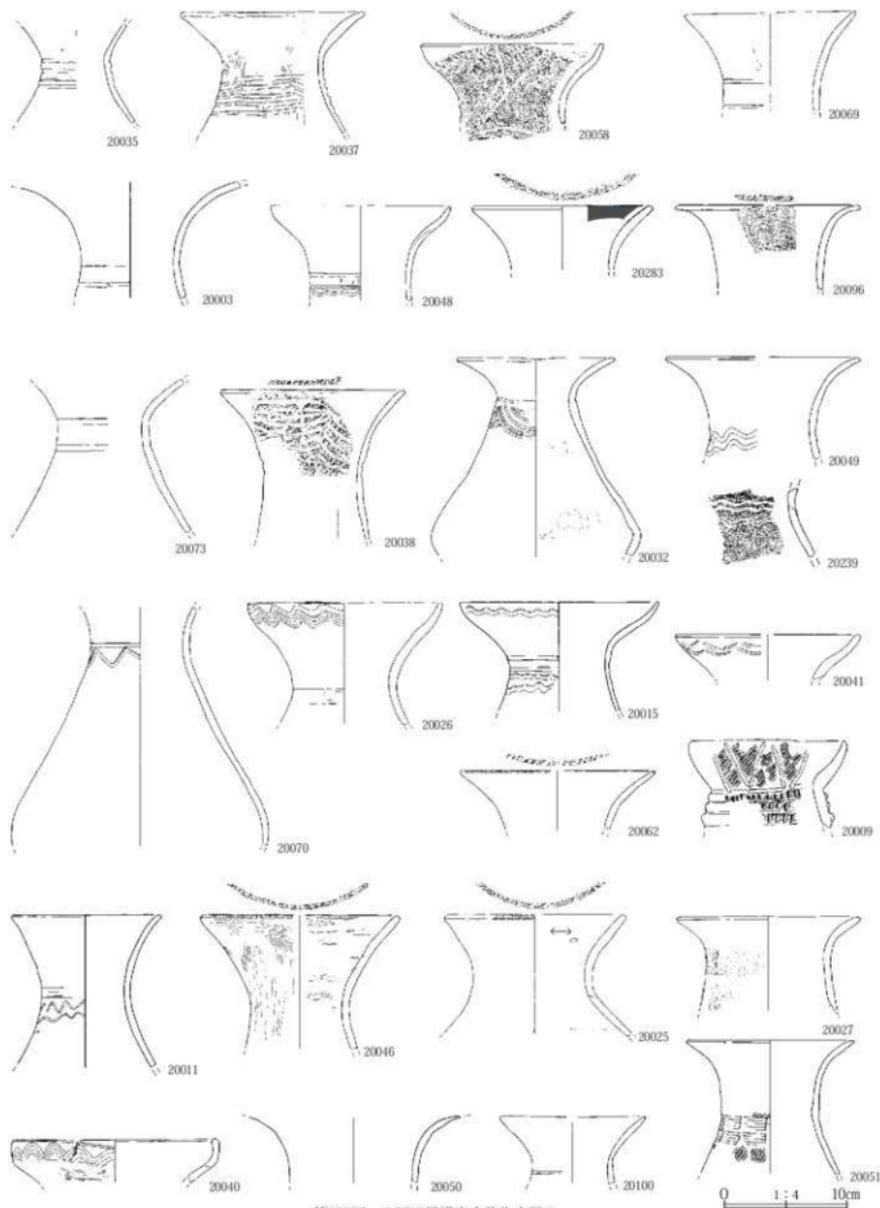


第275図 遺構外出土縄文土器

器物实测图

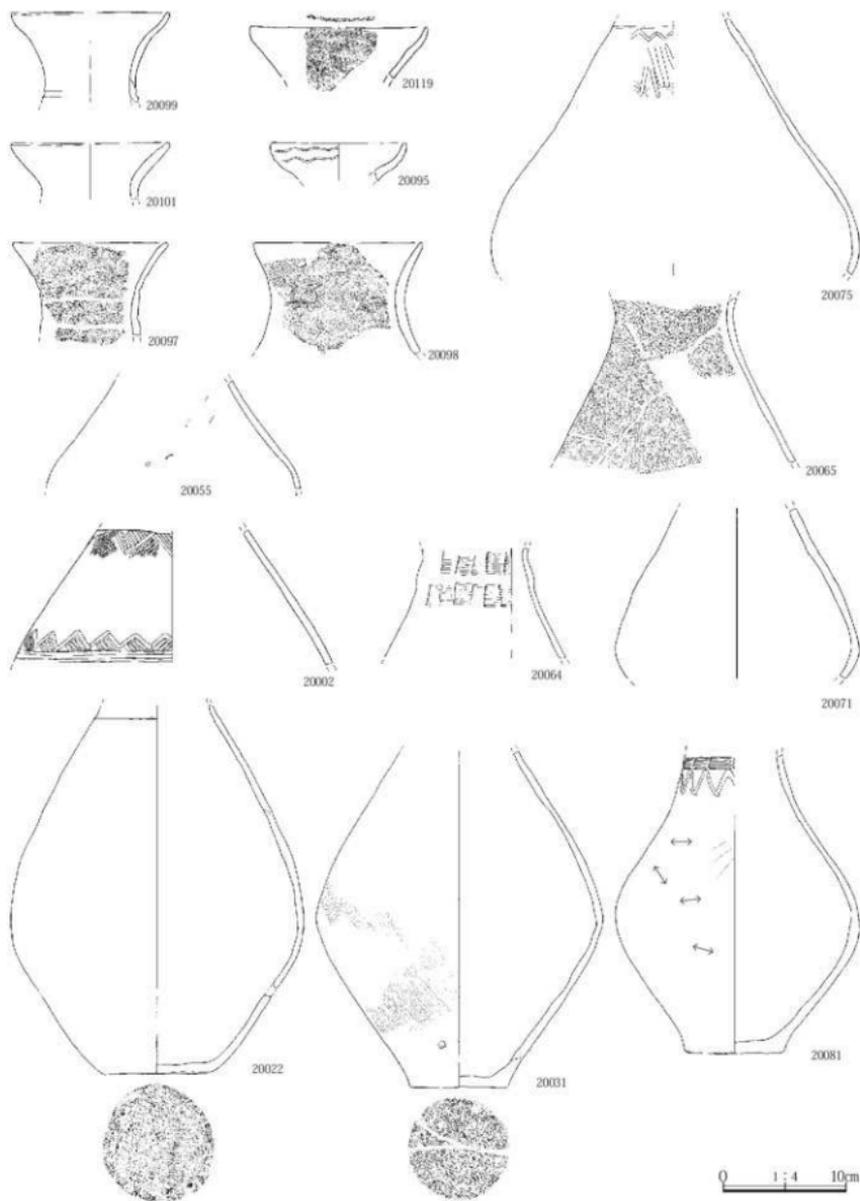


第276图 2区95号溝出土弥生土器 1

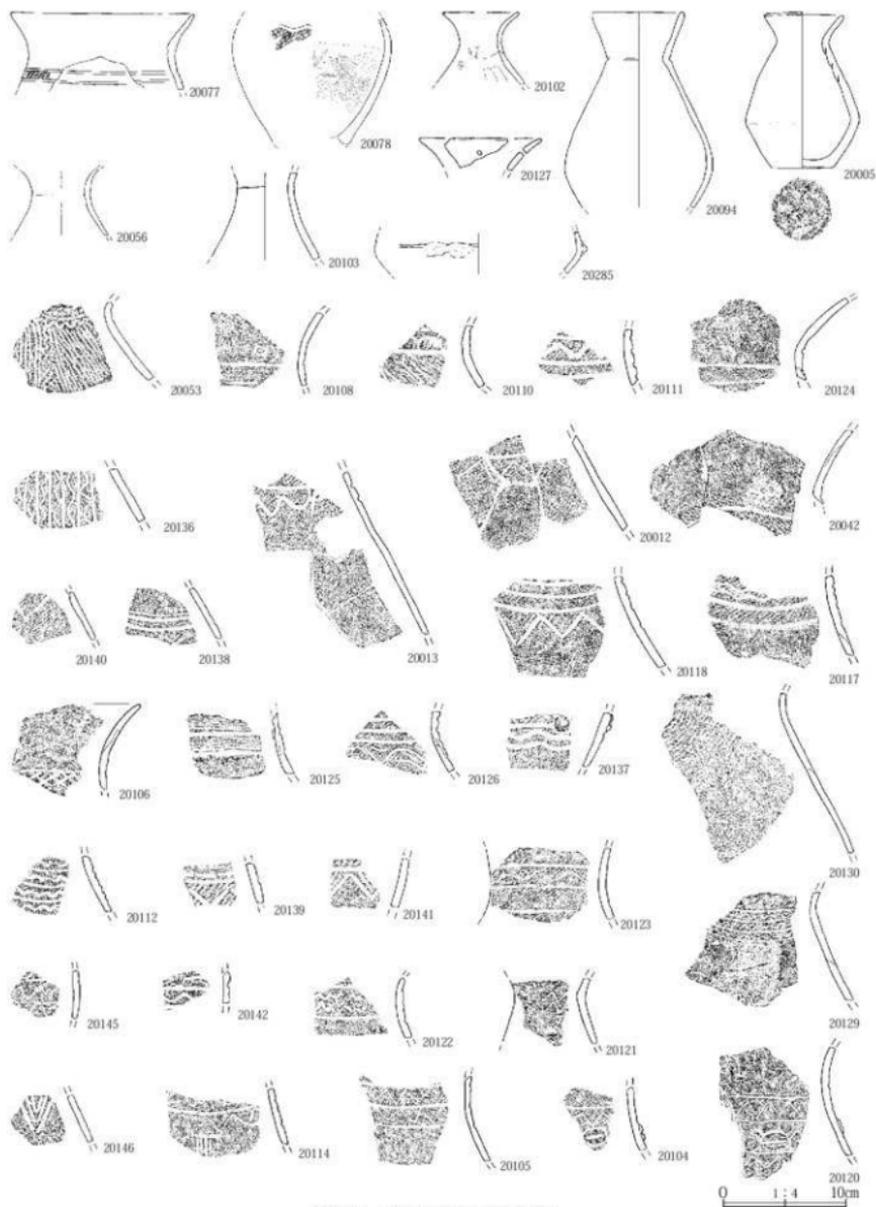


第277図 2区95号溝出土弥生土器 2

遺物実測図

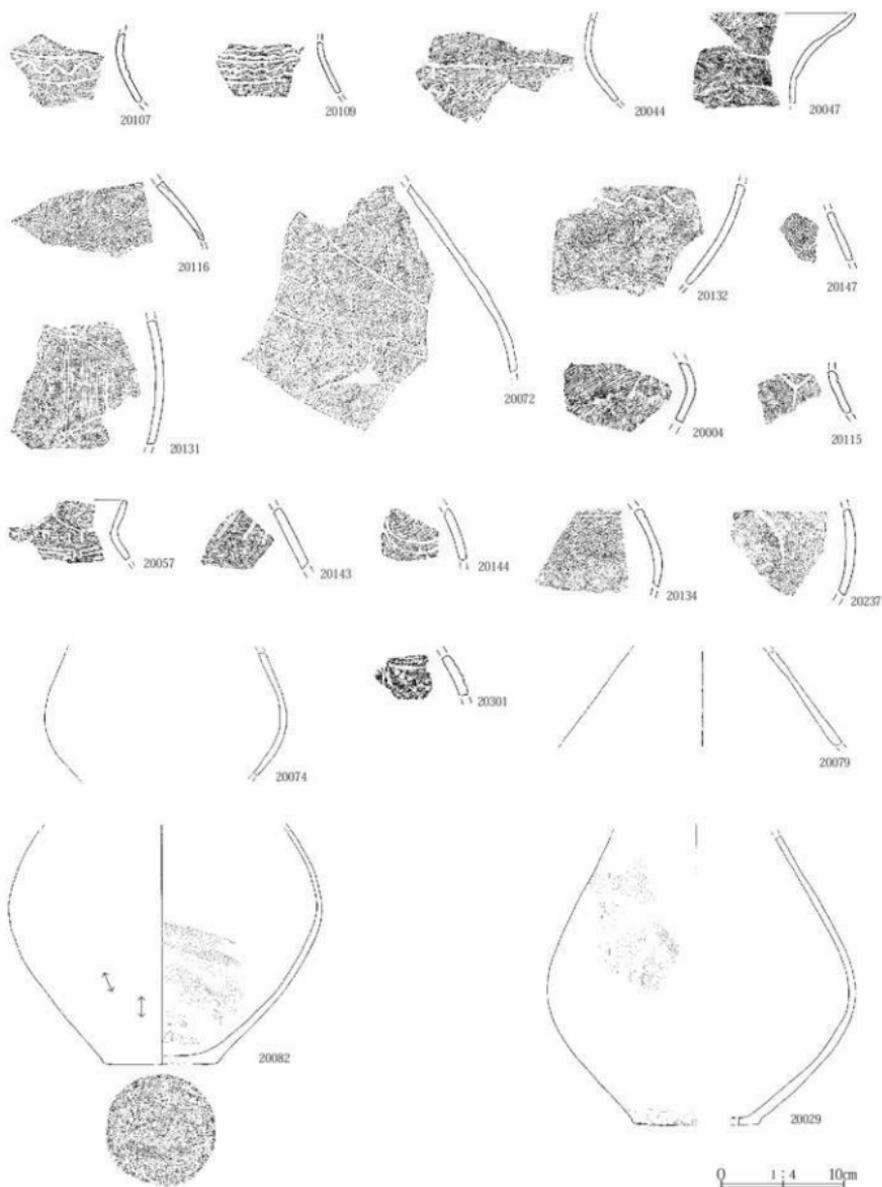


第278图 2区95号溝出土弥生土器 3

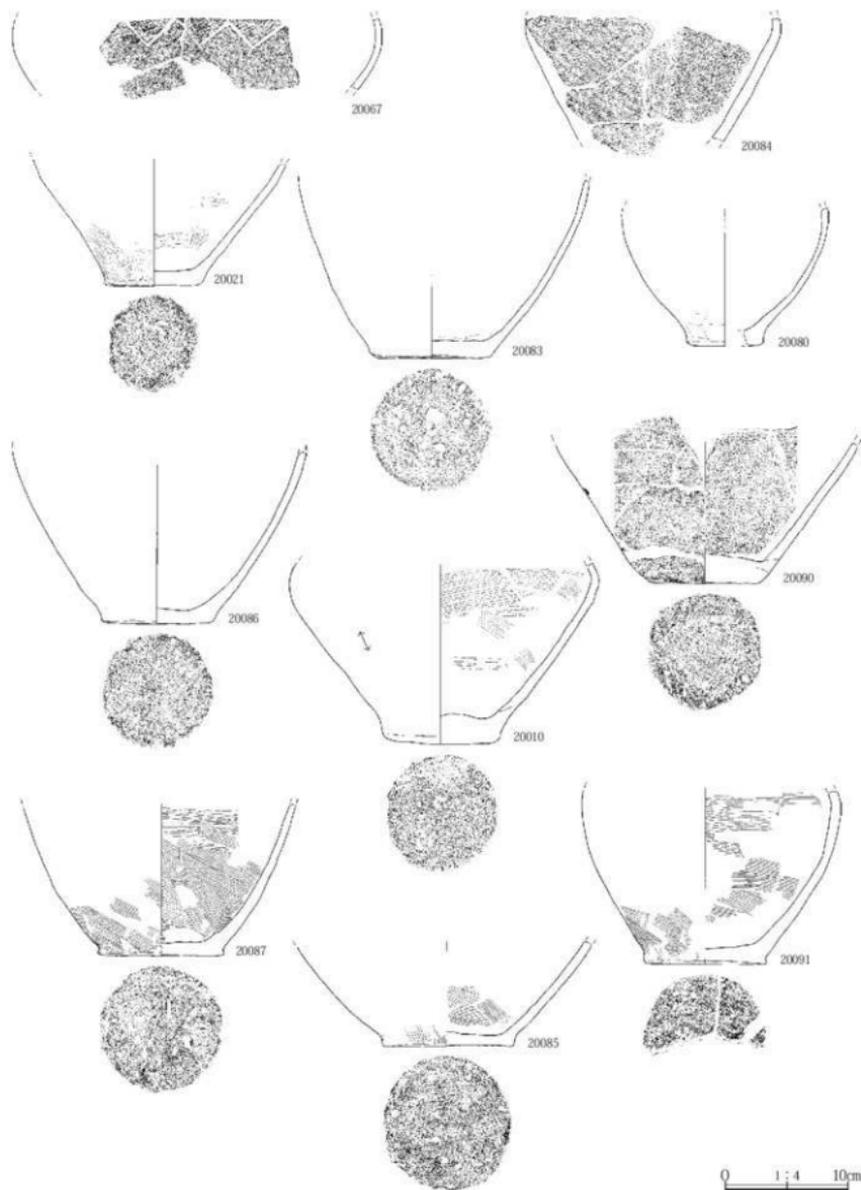


第279图 2区95号溝出土弥生土器 4

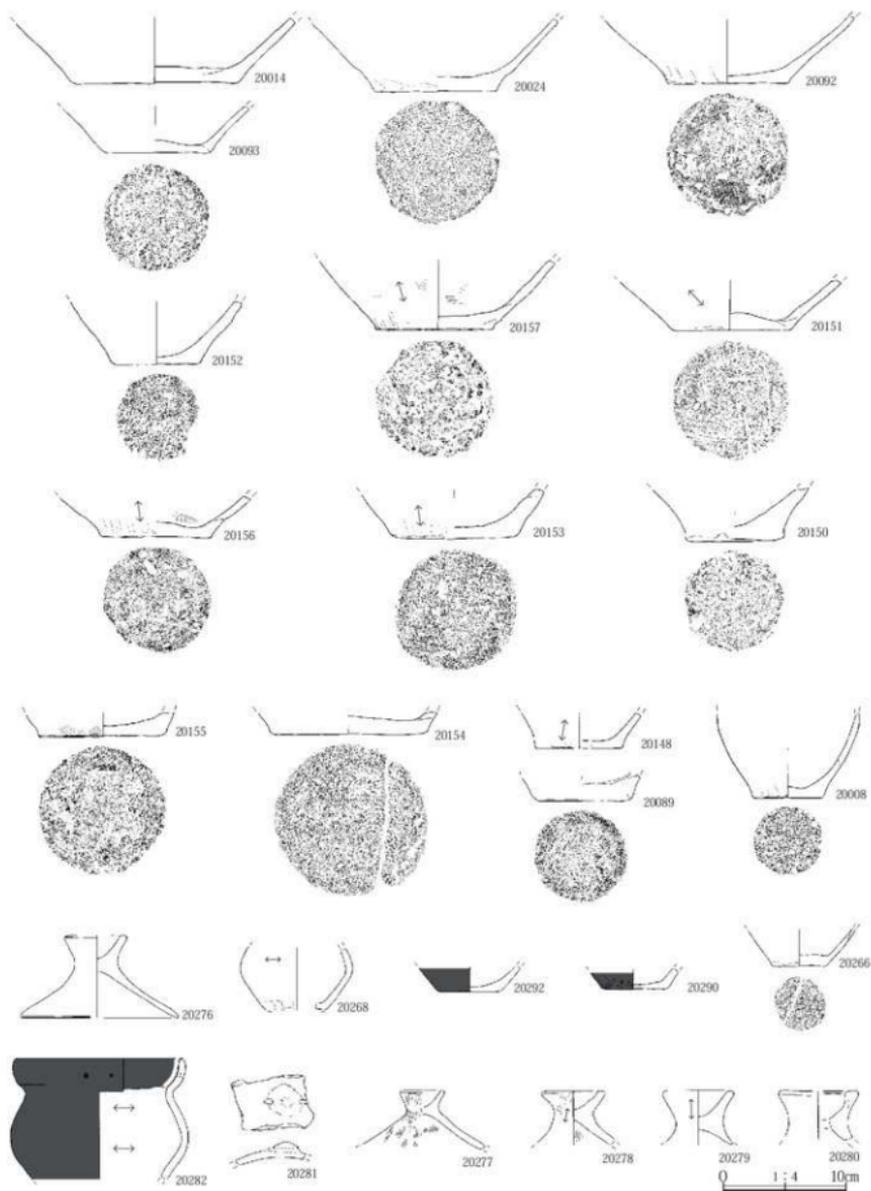
遺物実測図



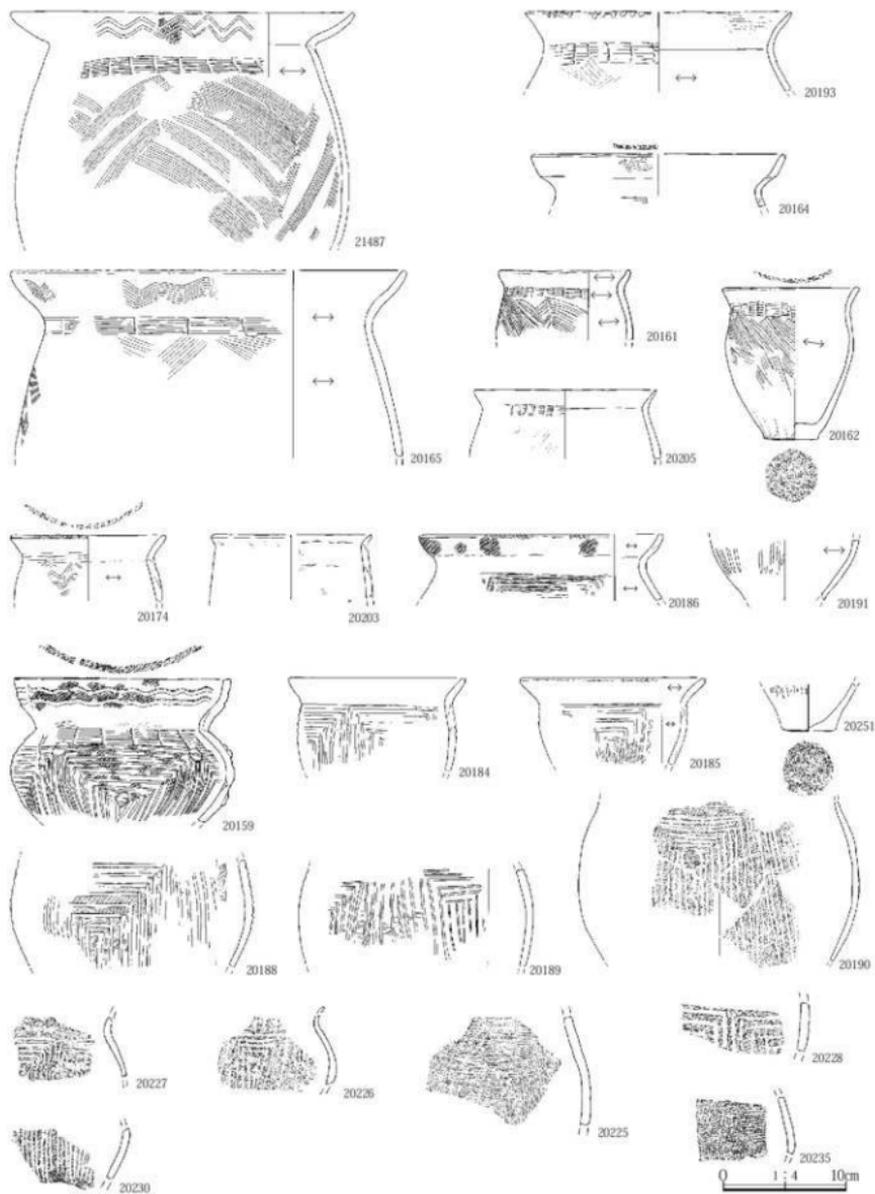
第280図 2区95号溝出土弥生土器 5



第281图 2区95号溝出土弥生土器6



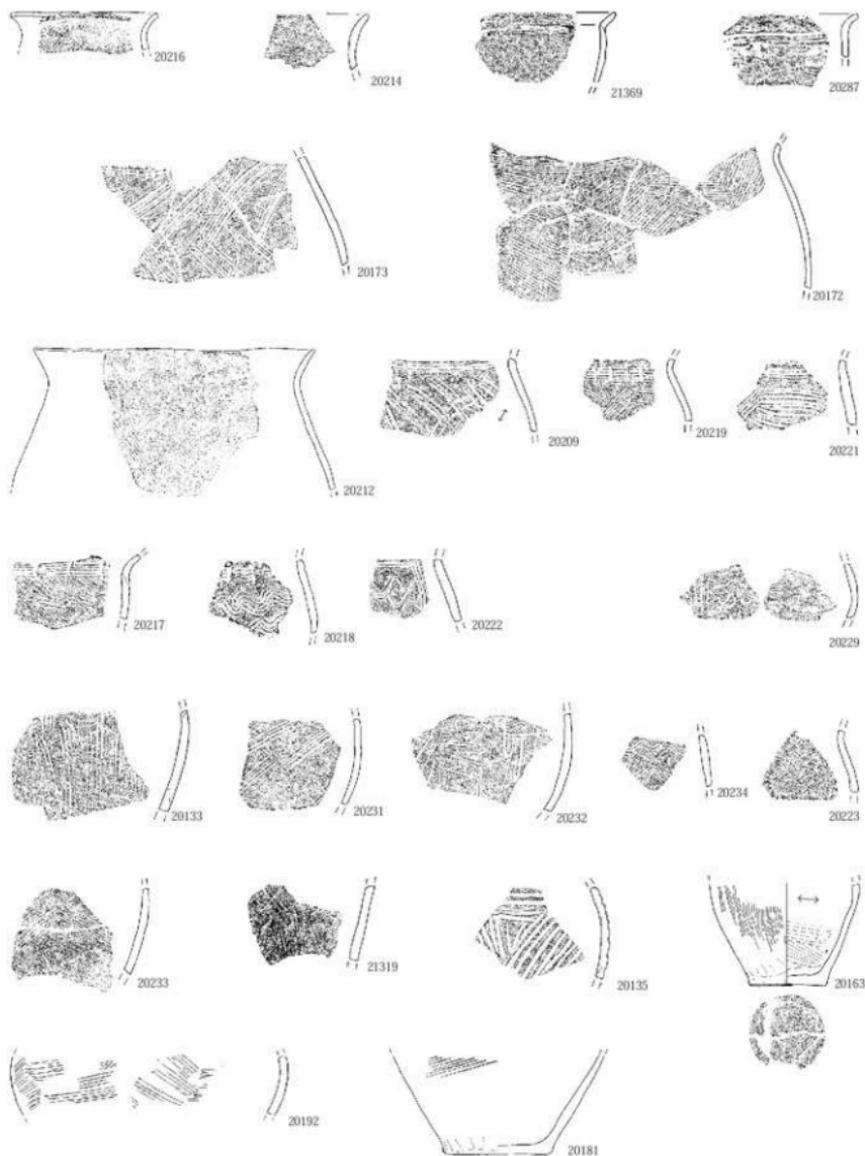
第282図 2区95号溝出土弥生土器 7



第283图 2区95号溝出土弥生土器8

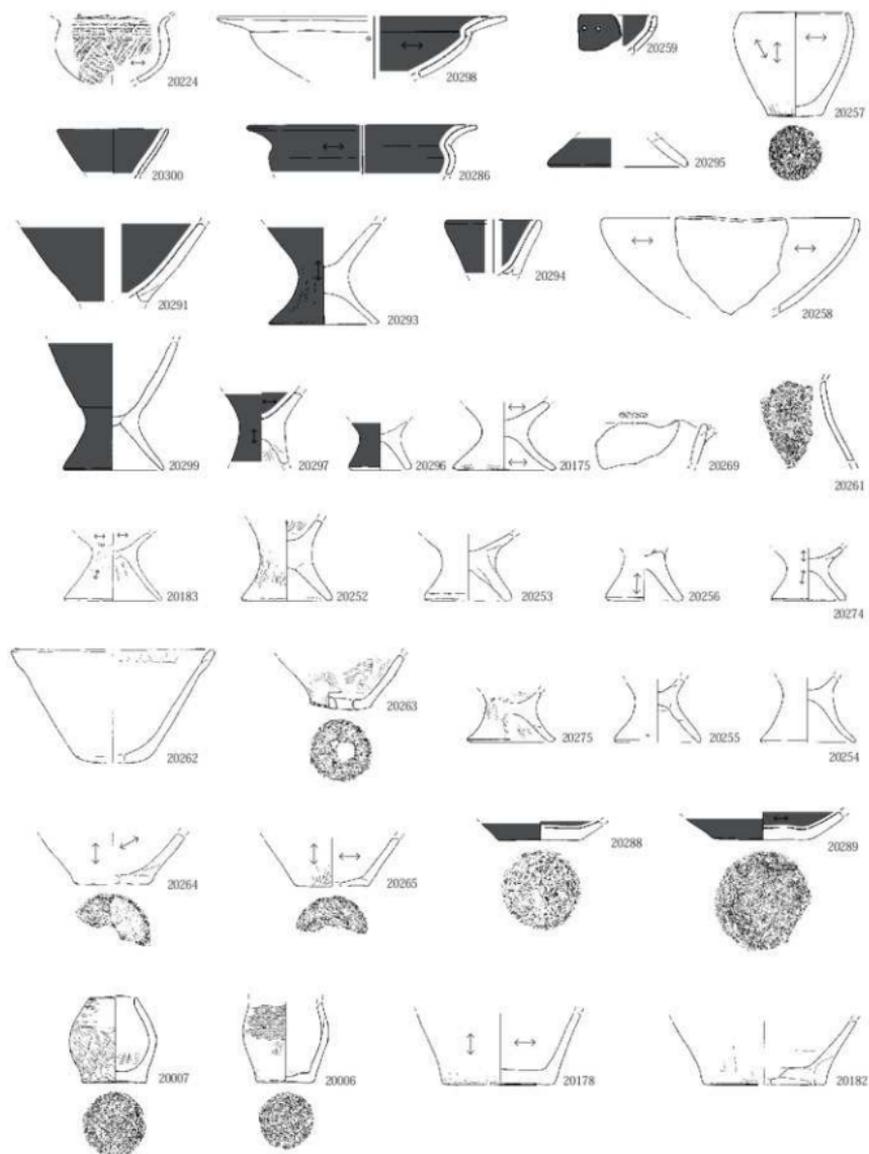


第284図 2区95号溝出土弥生土器9

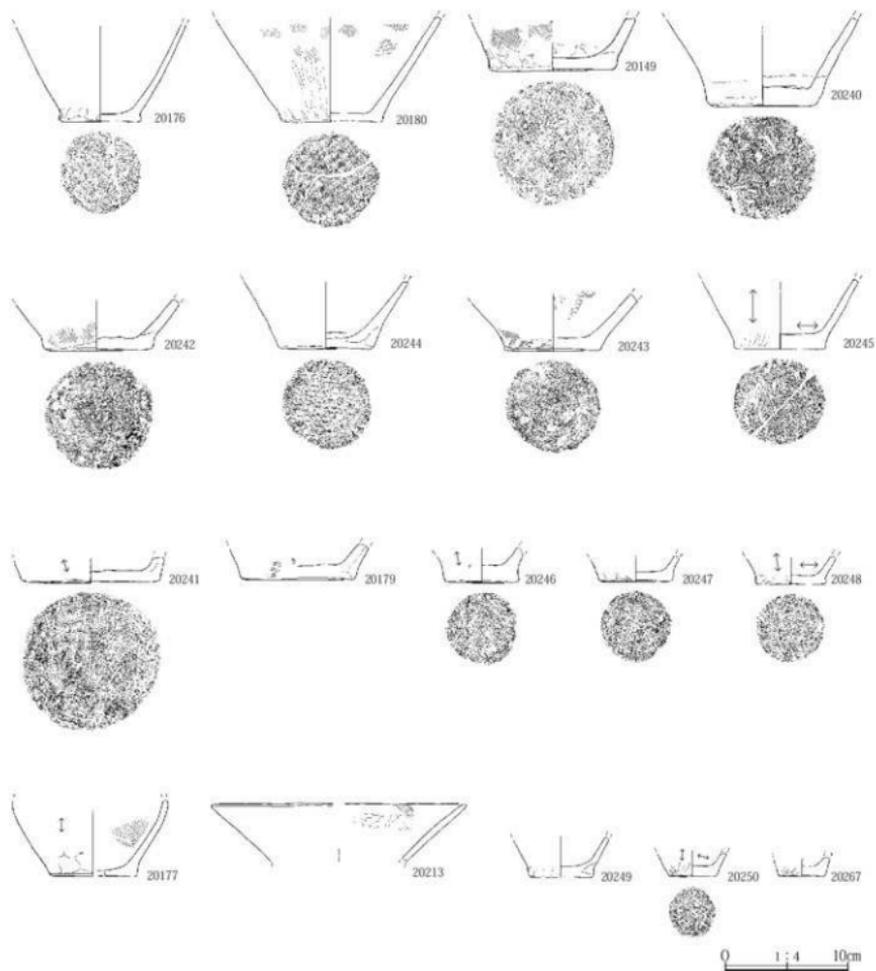


第285図 2区95号溝出土弥生土器10

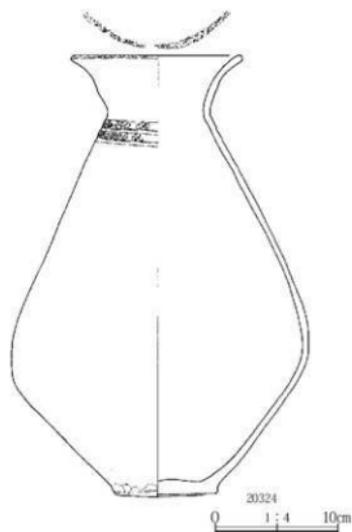
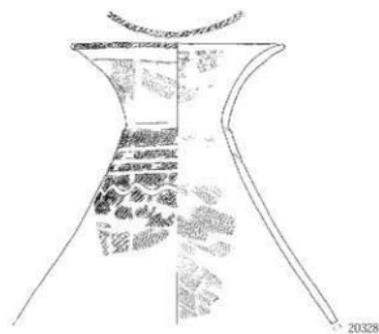
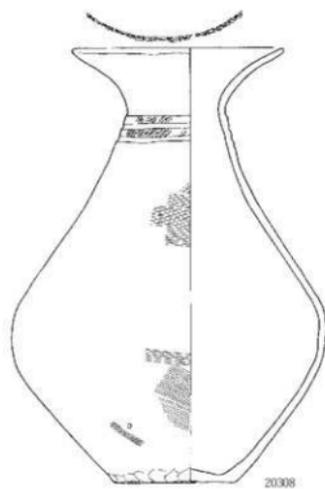
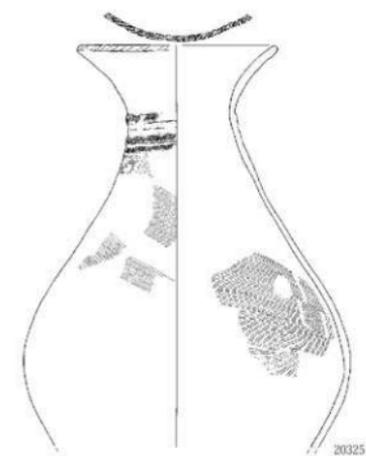
遺物実測図



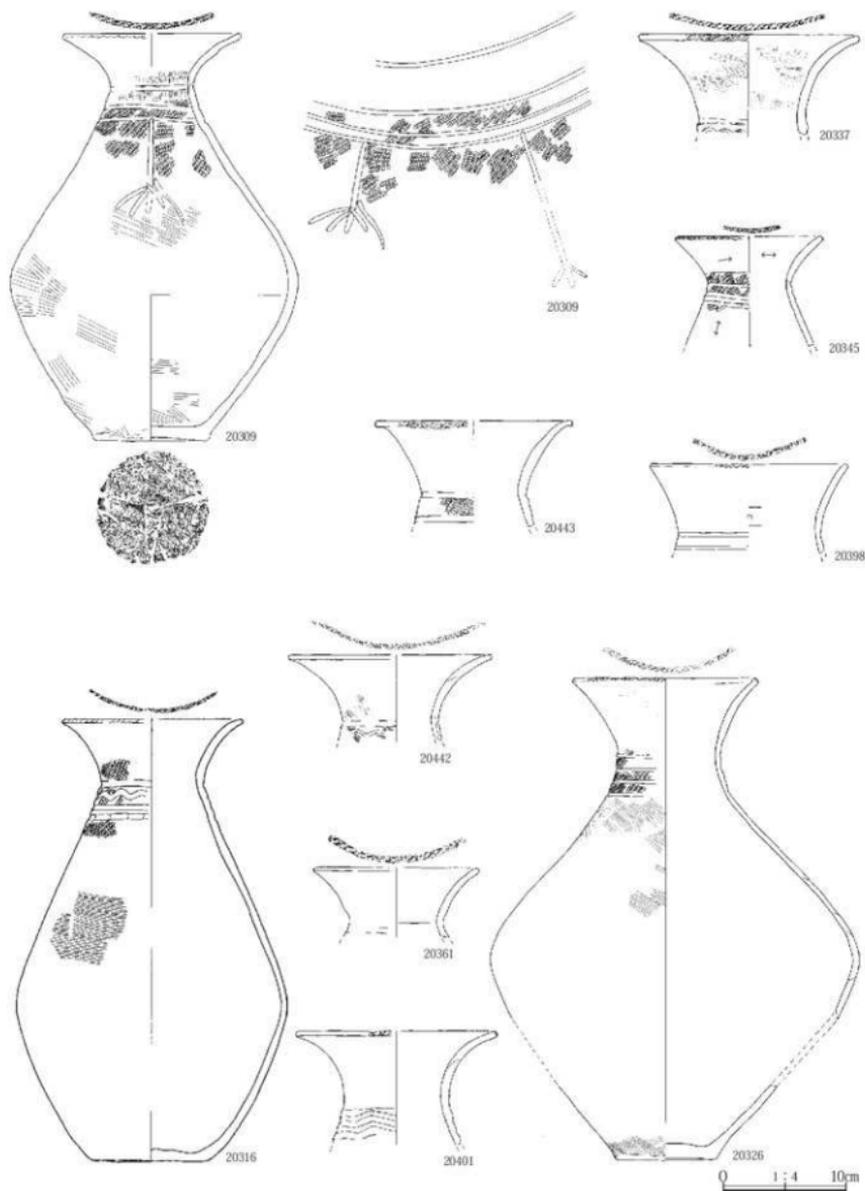
第286图 2区95号溝出土弥生土器11



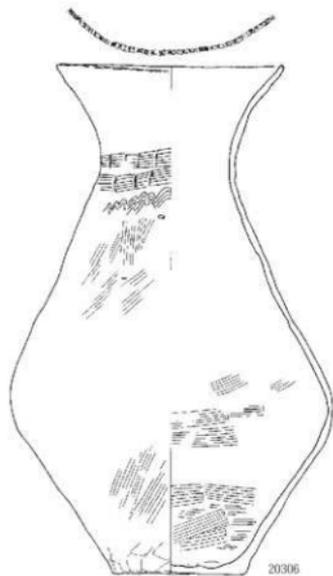
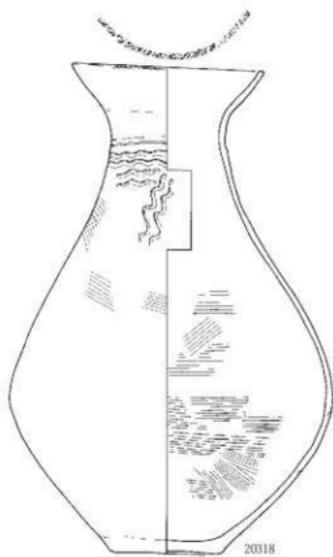
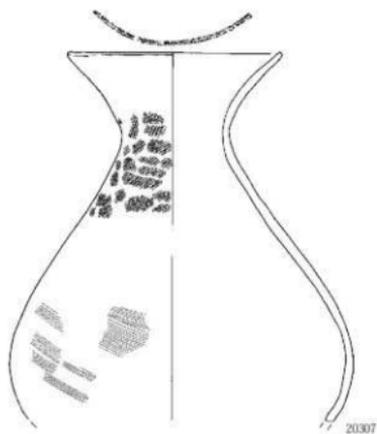
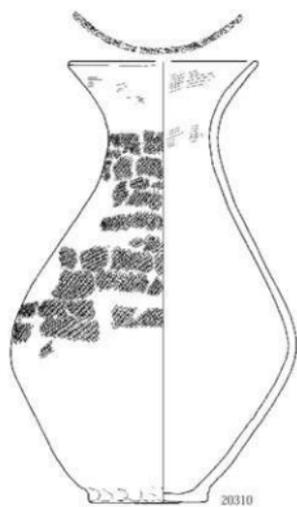
第287図 2区95号溝出土弥生土器12



第288图 2区96号清出土弥生土器 1

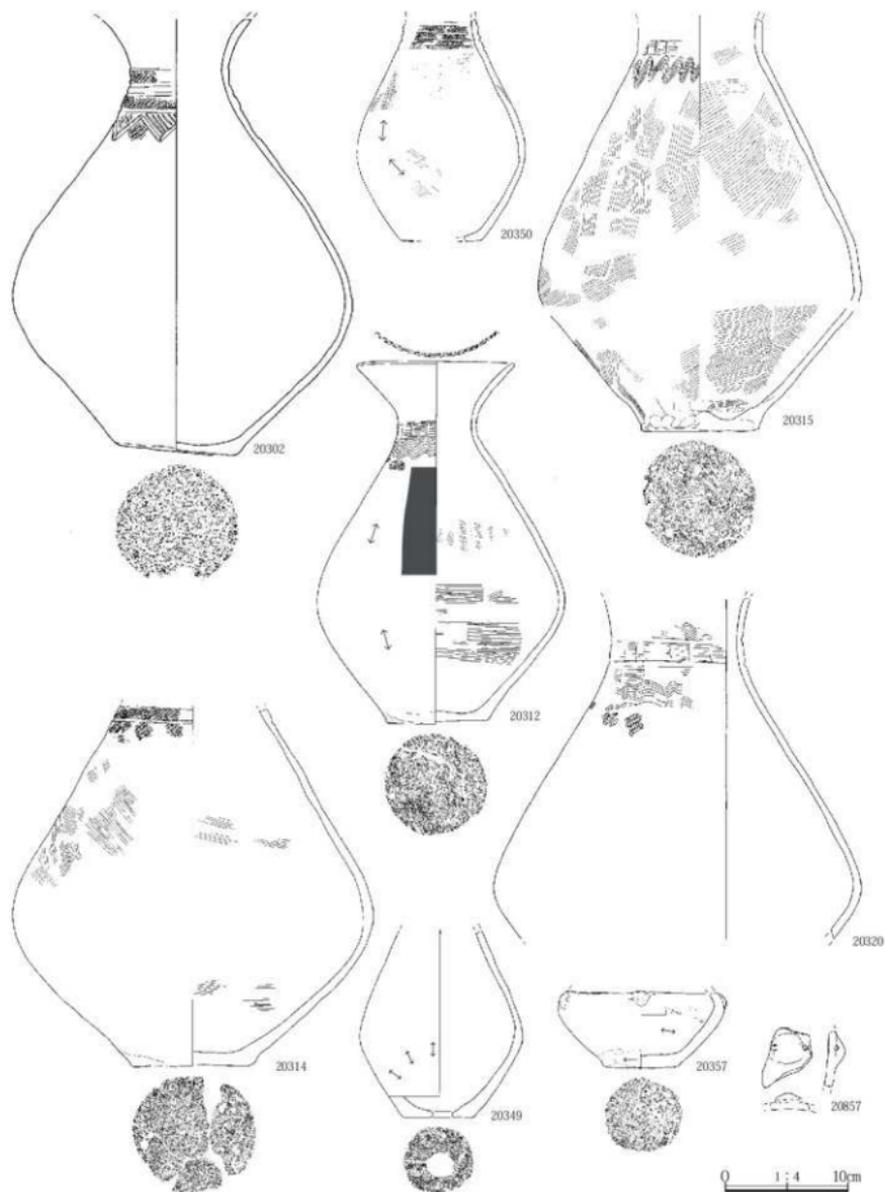


第289图 2区96号溝出土弥生土器 2

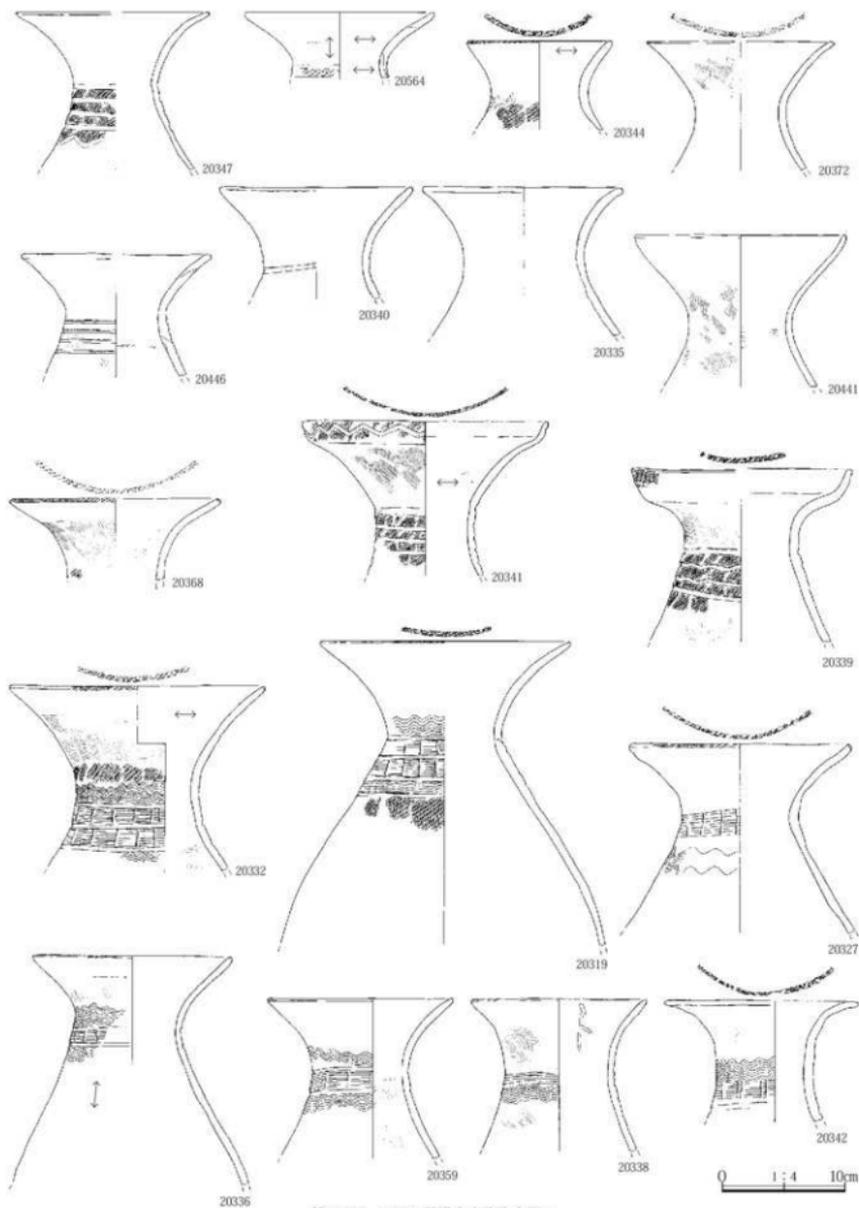


0 1:4 10cm

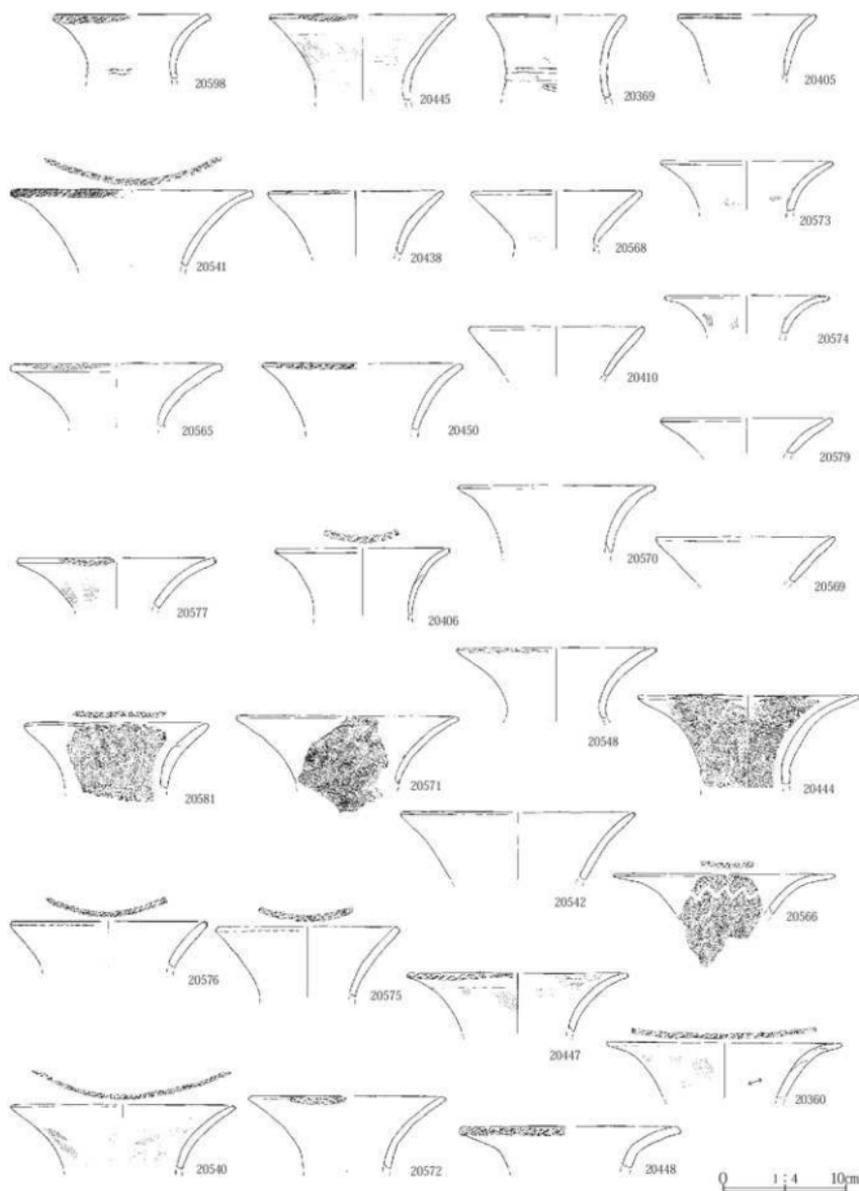
第290図 2区96号溝出土弥生土器 3



第291图 2区96号溝出土弥生土器4

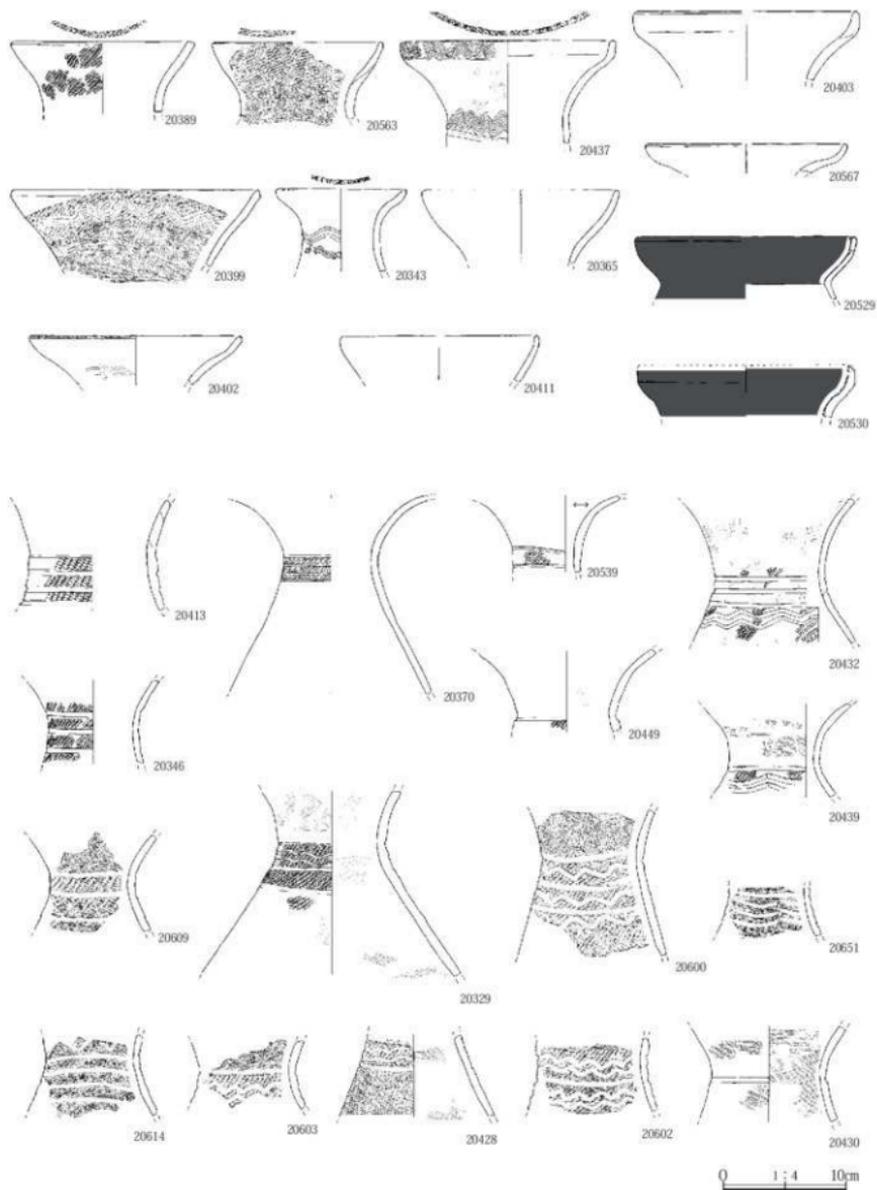


第292図 2区96号溝出土弥生土器 5

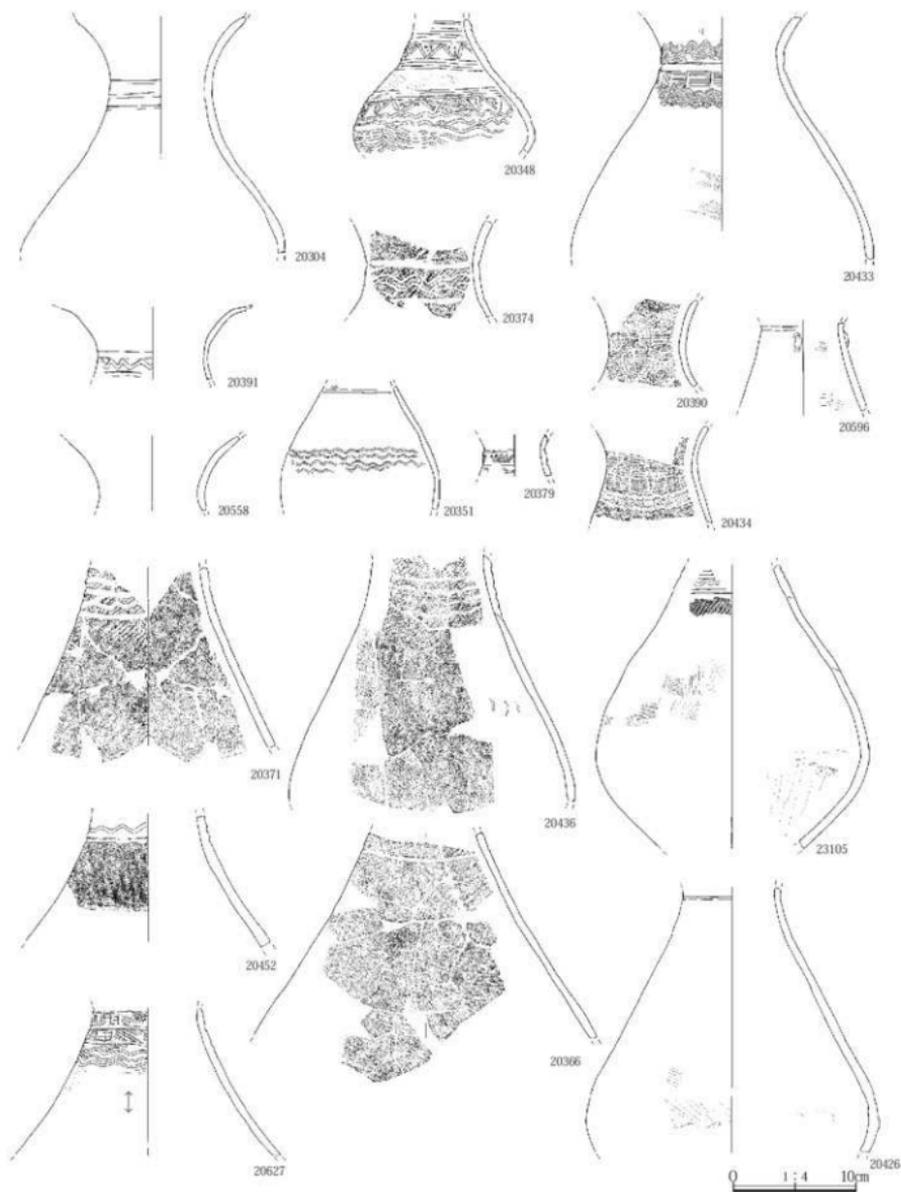


第293图 2区96号溝出土弥生土器6

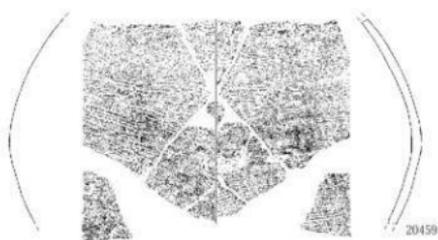
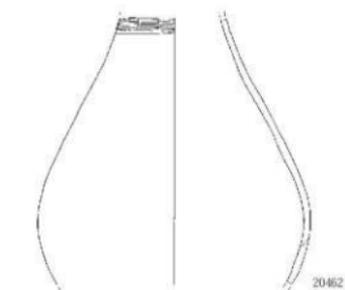
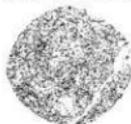
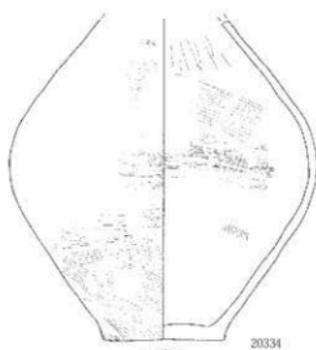
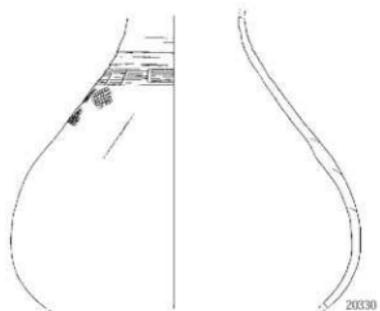
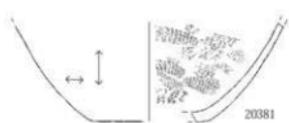
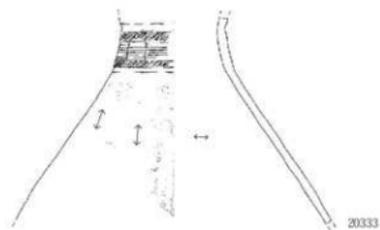
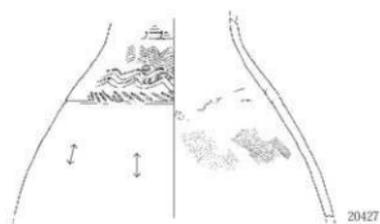
遺物実測図



第294图 2区96号溝出土弥生土器7

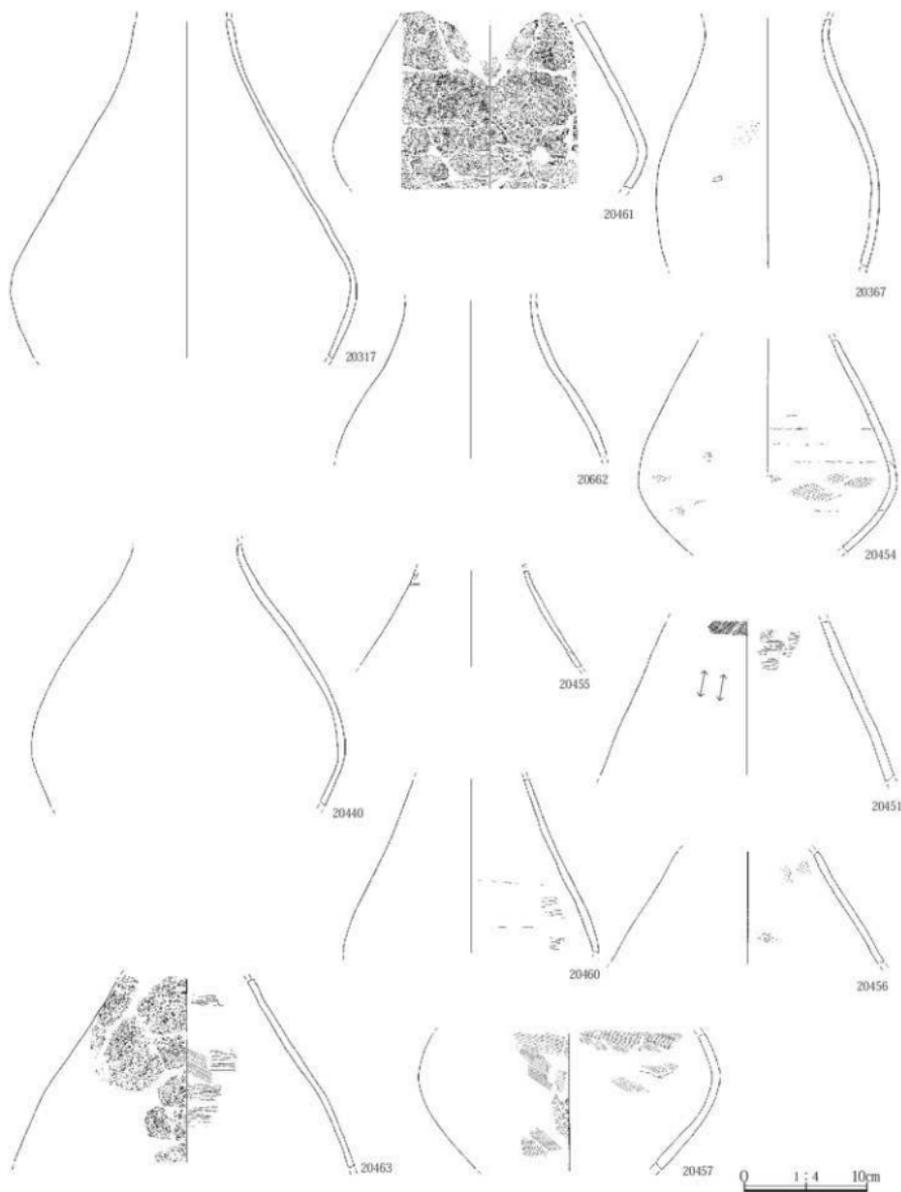


第295图 2区96号满出土弥生土器 8

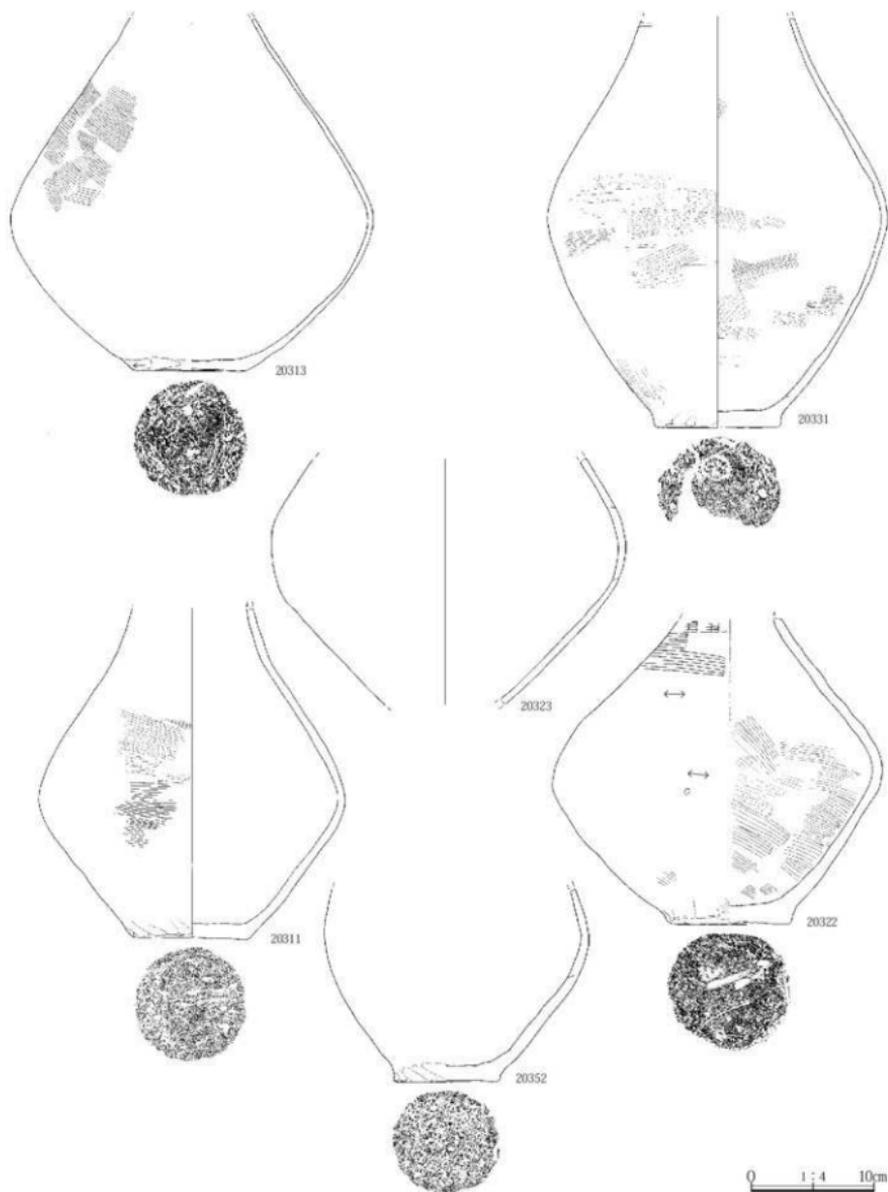


0 1:4 10cm

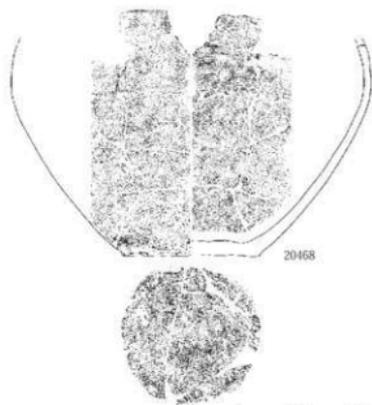
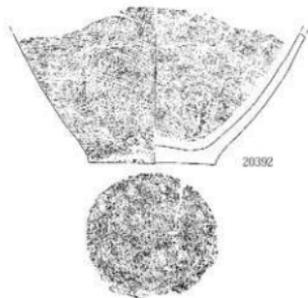
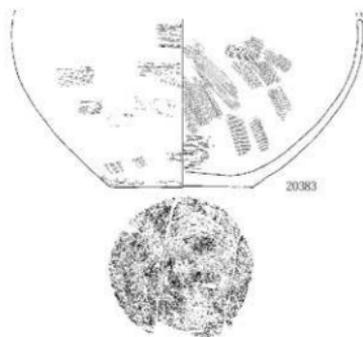
第296图 2区96号溝出土弥生土器9



第297図 2区96号溝出土弥生土器10

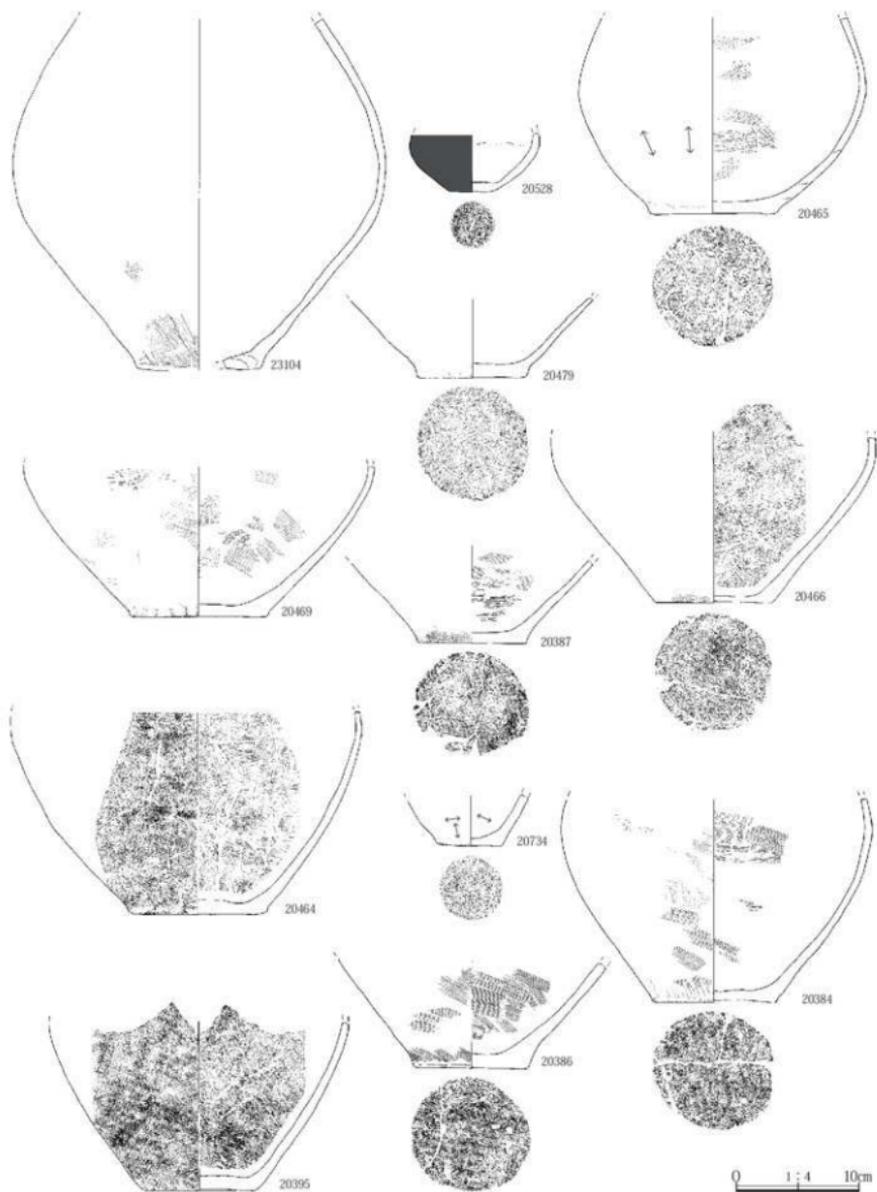


第298图 2区96号溝出土弥生土器11

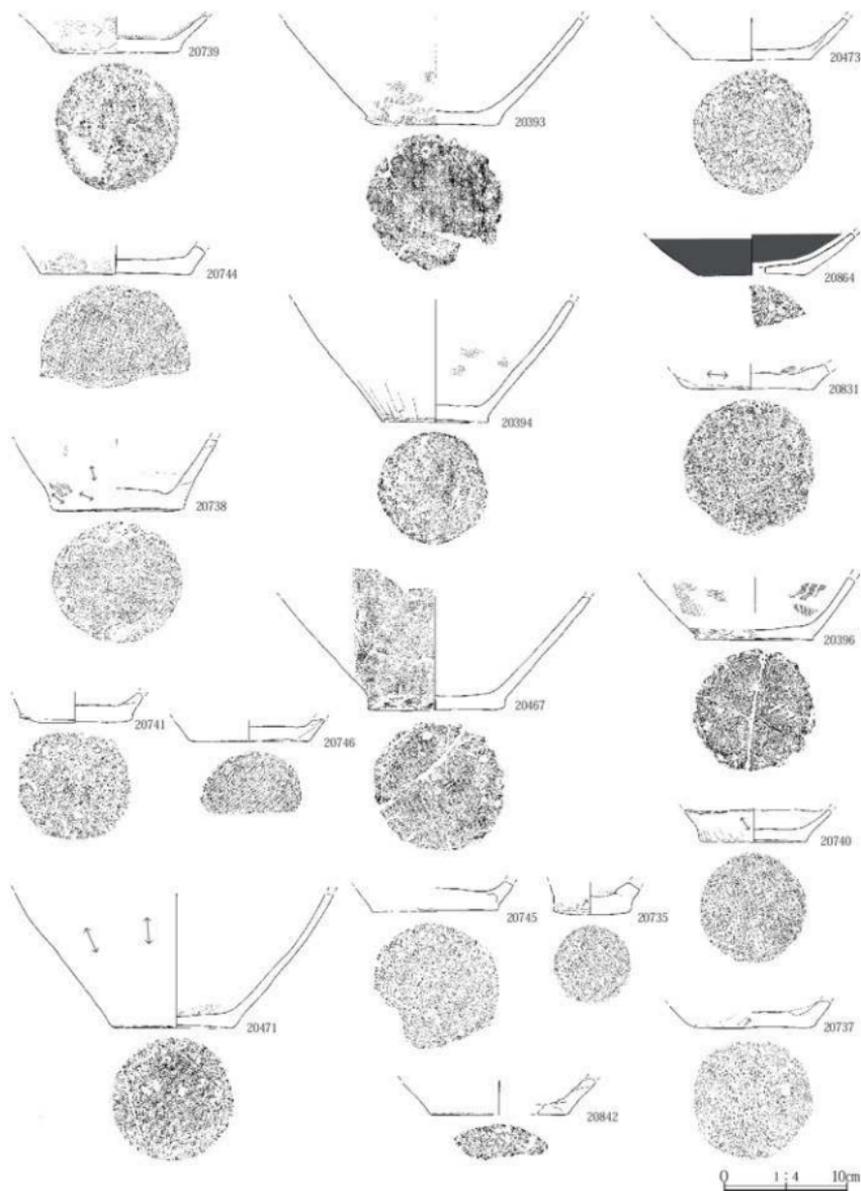


0 1:4 10cm

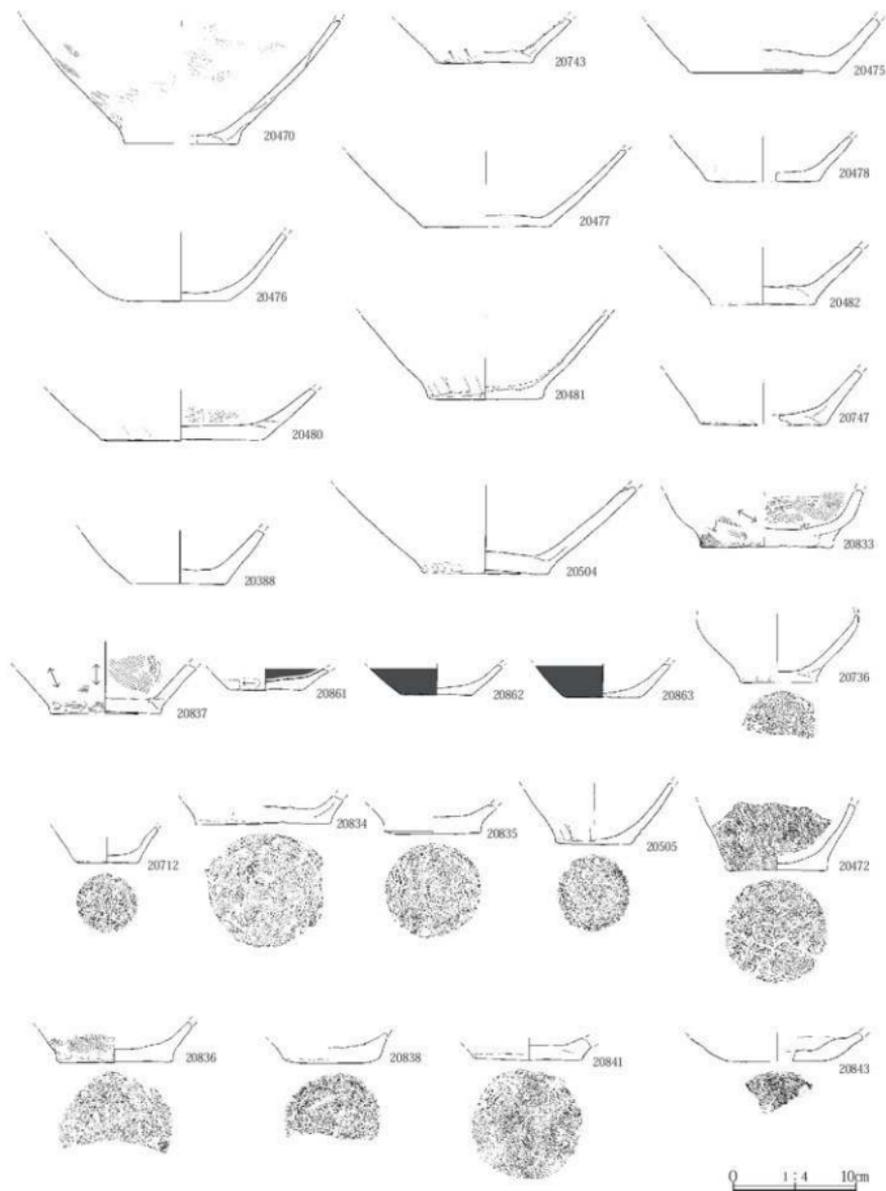
第299図 2区96号溝出土弥生土器12



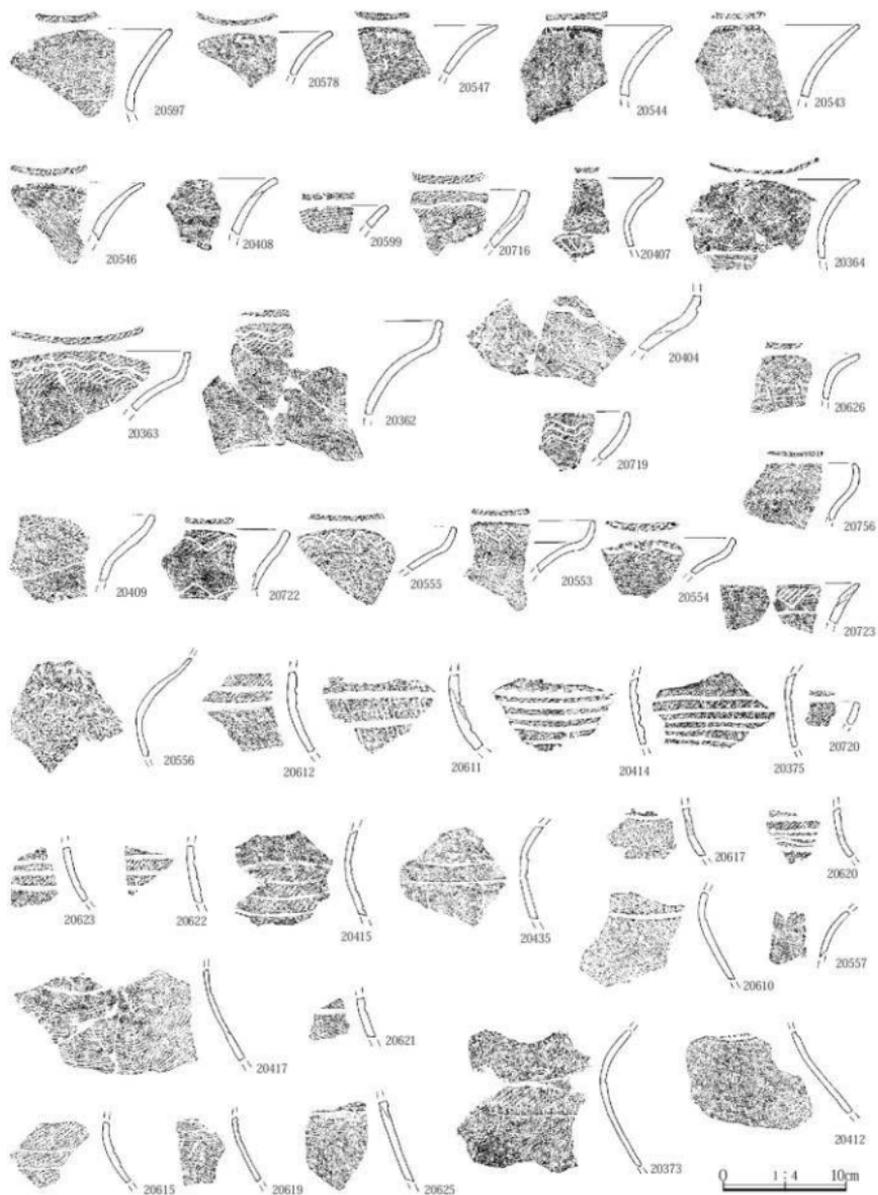
第300図 2区96号溝出土弥生土器13



第301图 2区96号溝出土弥生土器14

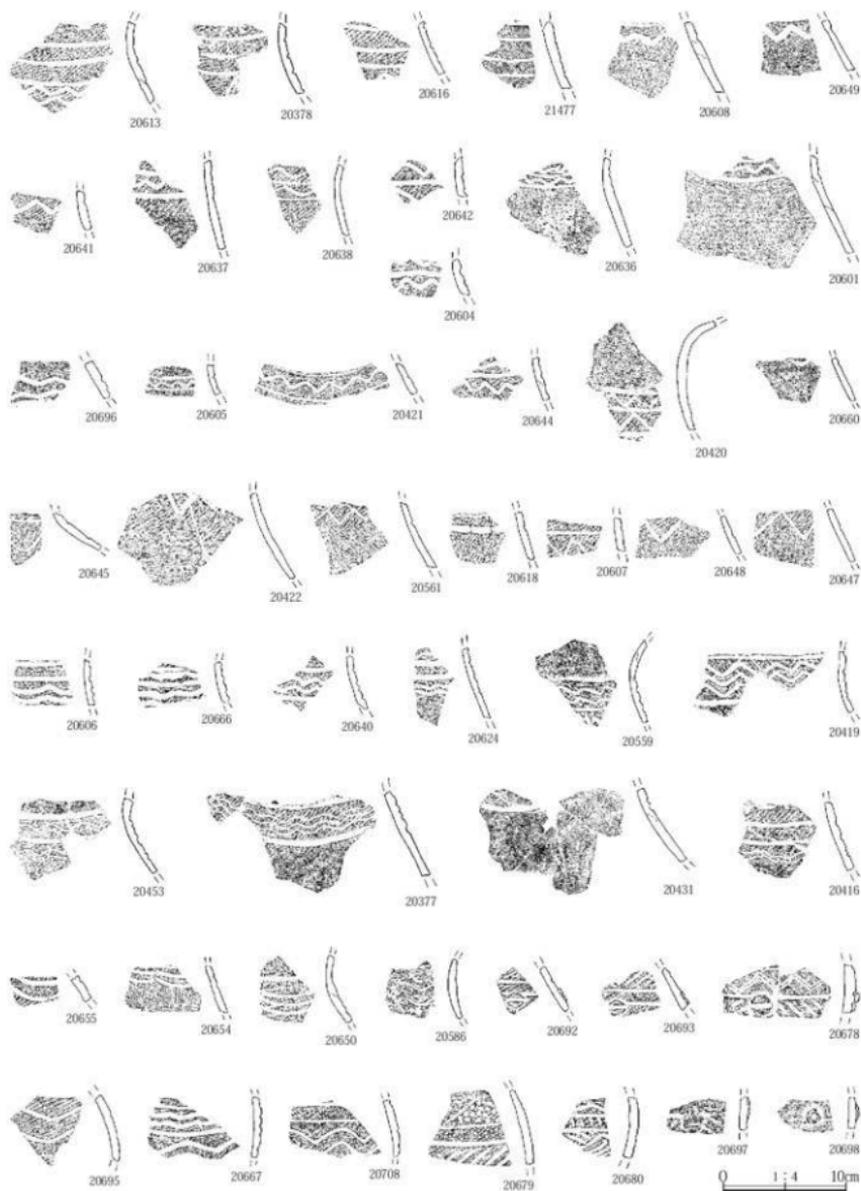


第302図 2区96号溝出土弥生土器15

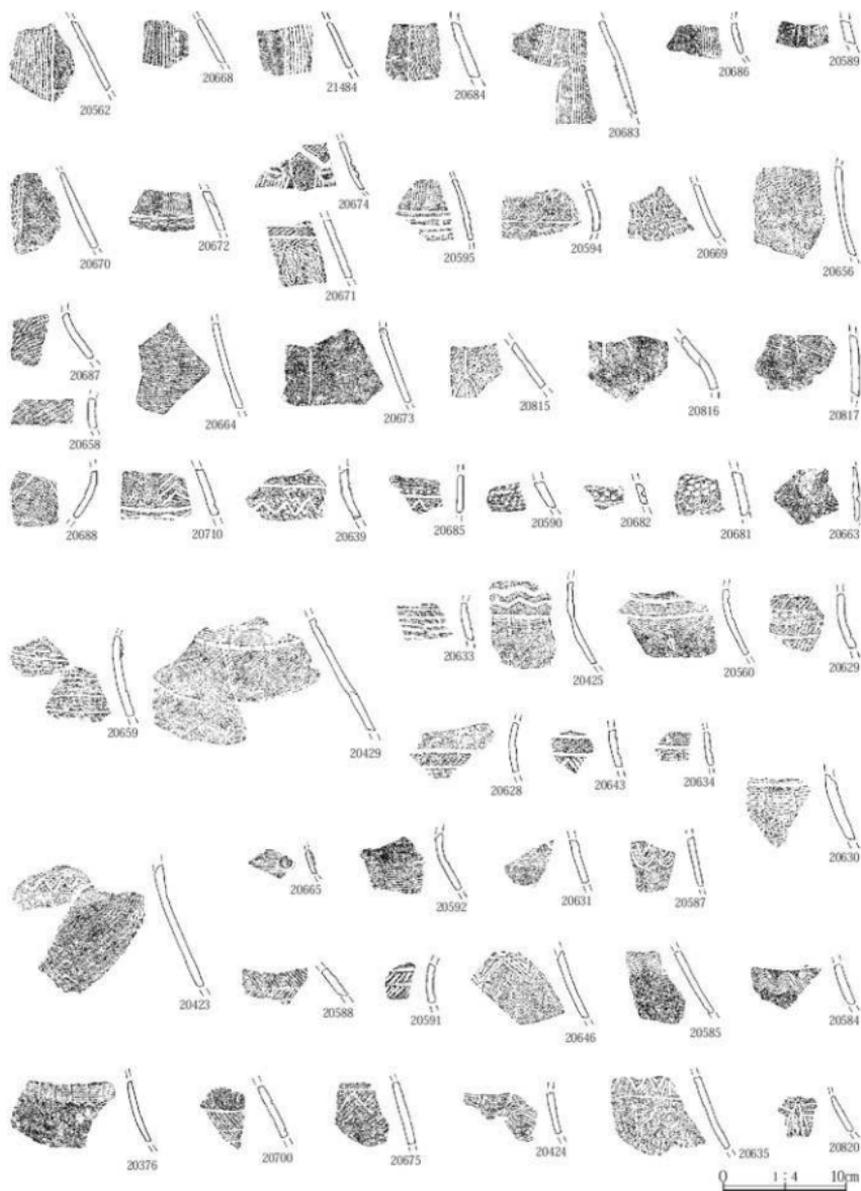


第303图 2区96号溝出土弥生土器16

遺物実測図

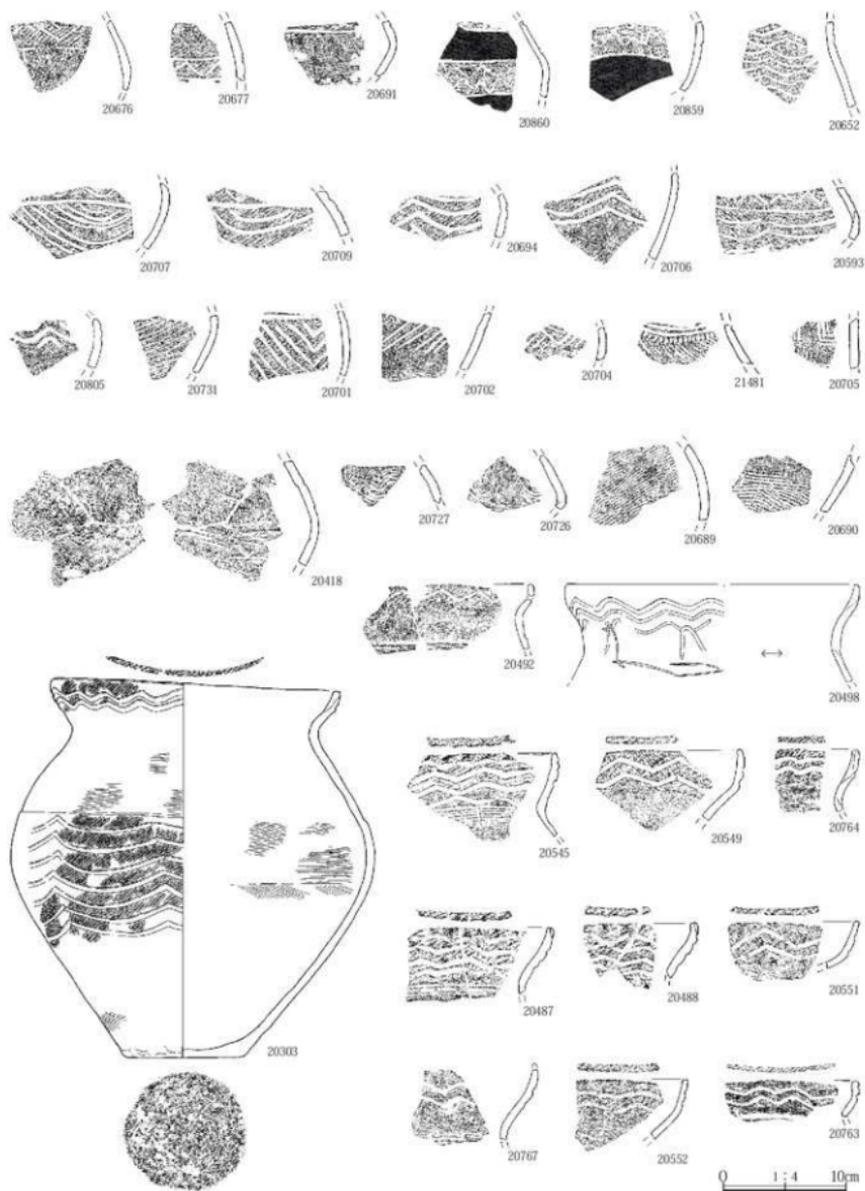


第304图 2区96号溝出土弥生土器17

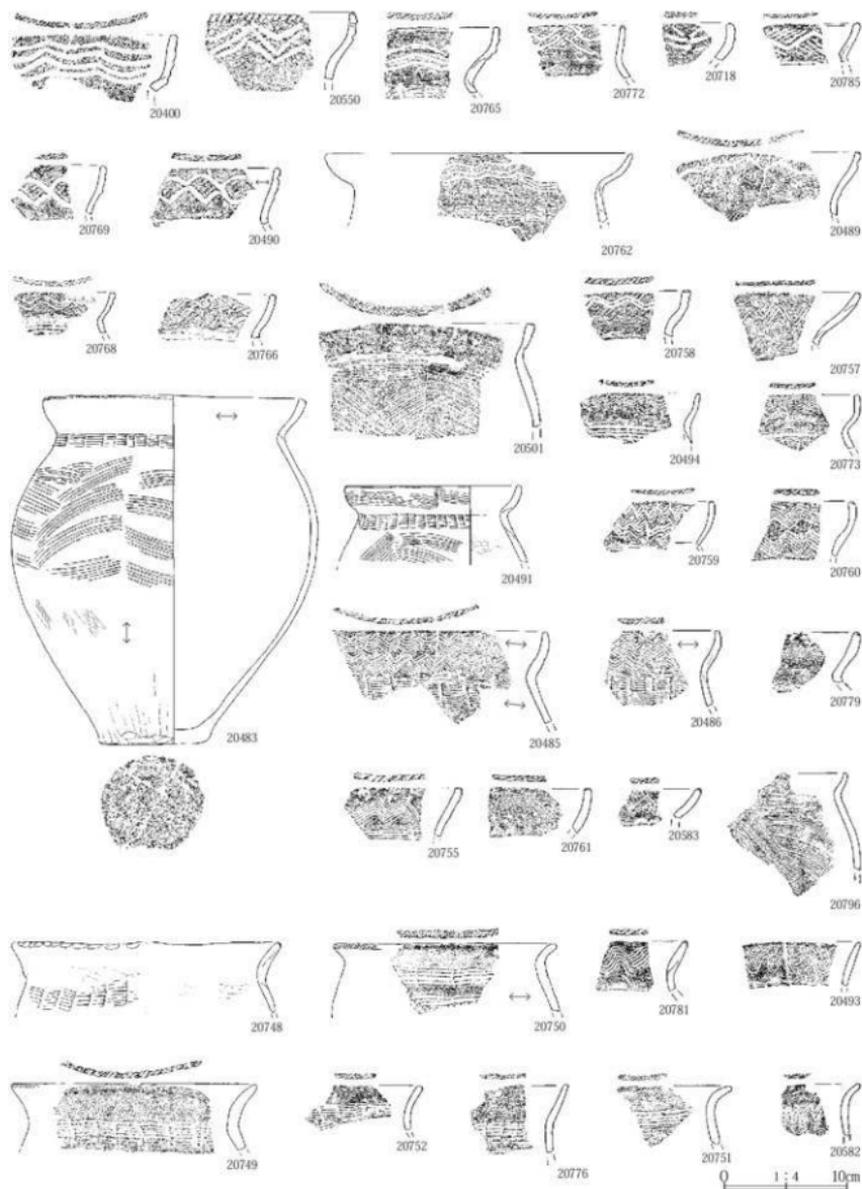


第305图 2区96号溝出土弥生土器18

遺物実測図

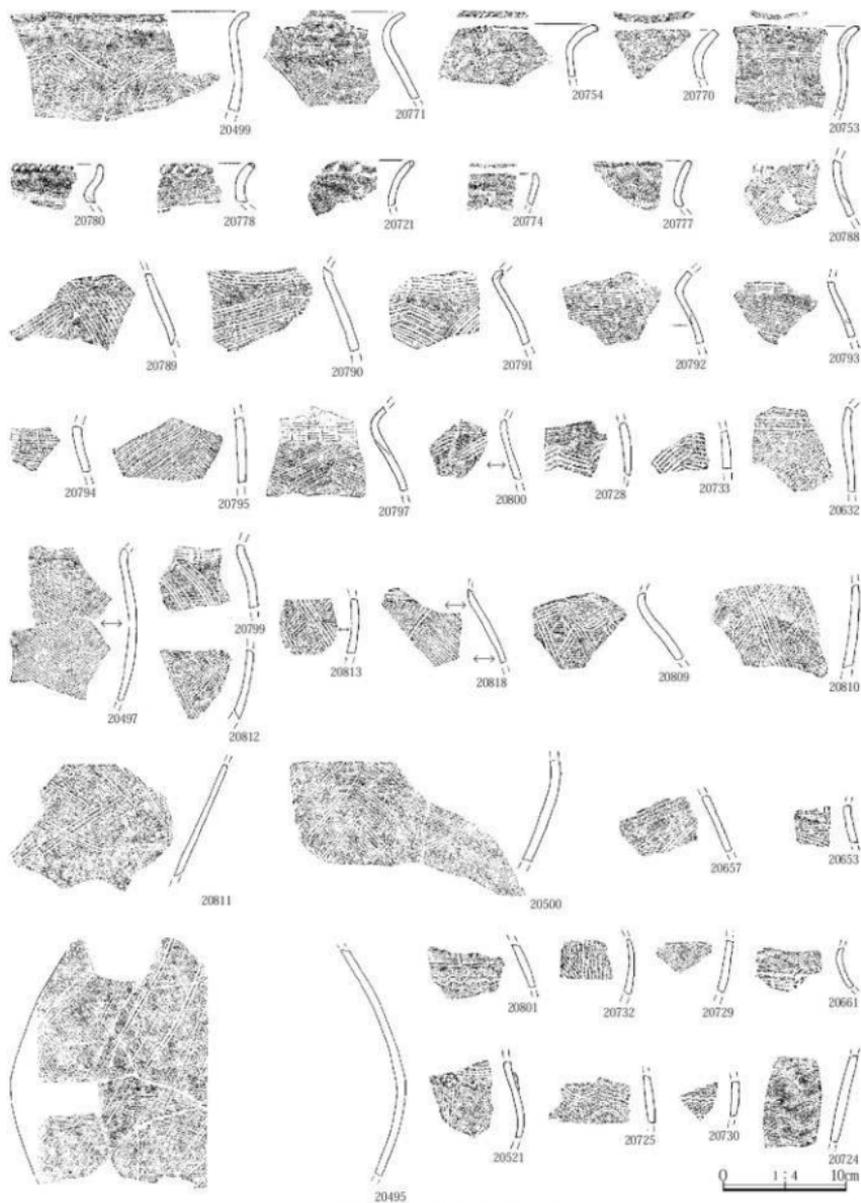


第306図 2区96号溝出土弥生土器19

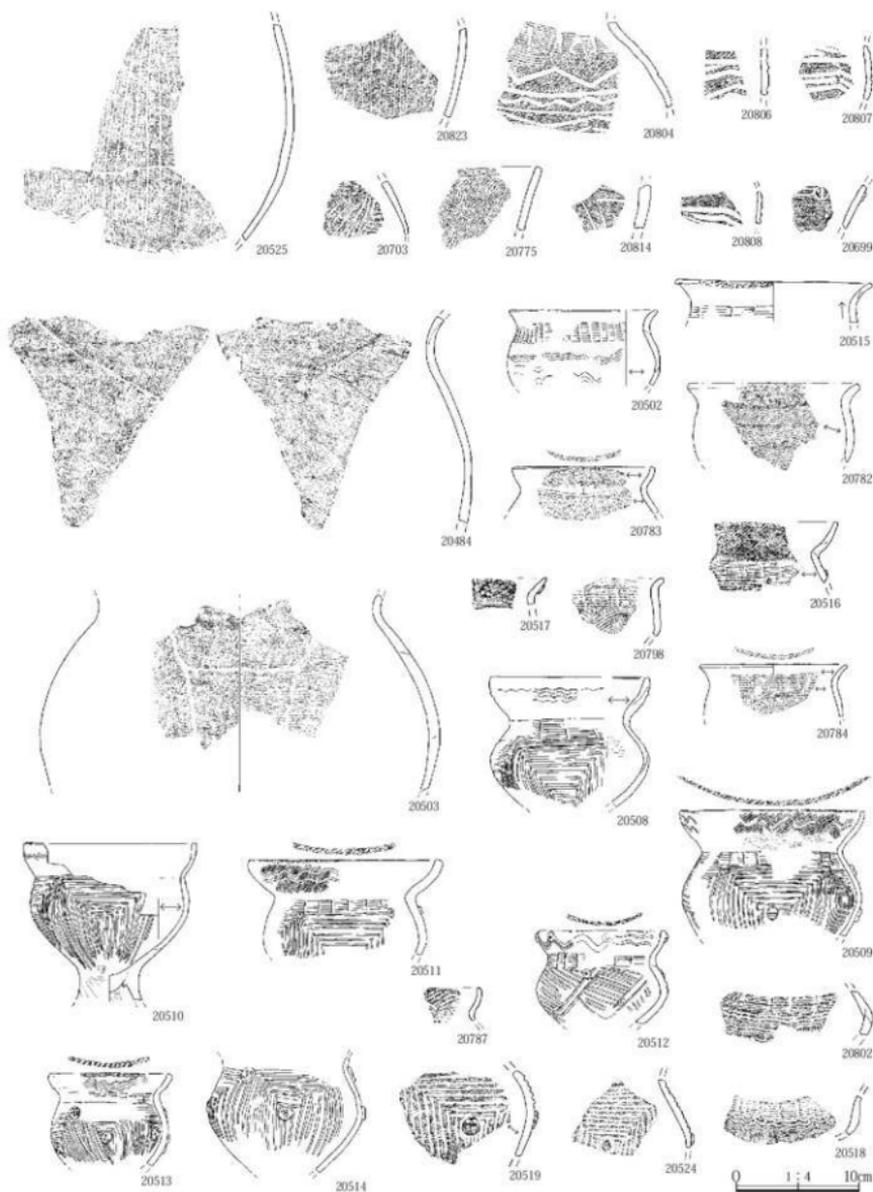


第307图 2区96号溝出土弥生土器20

遺物実測図

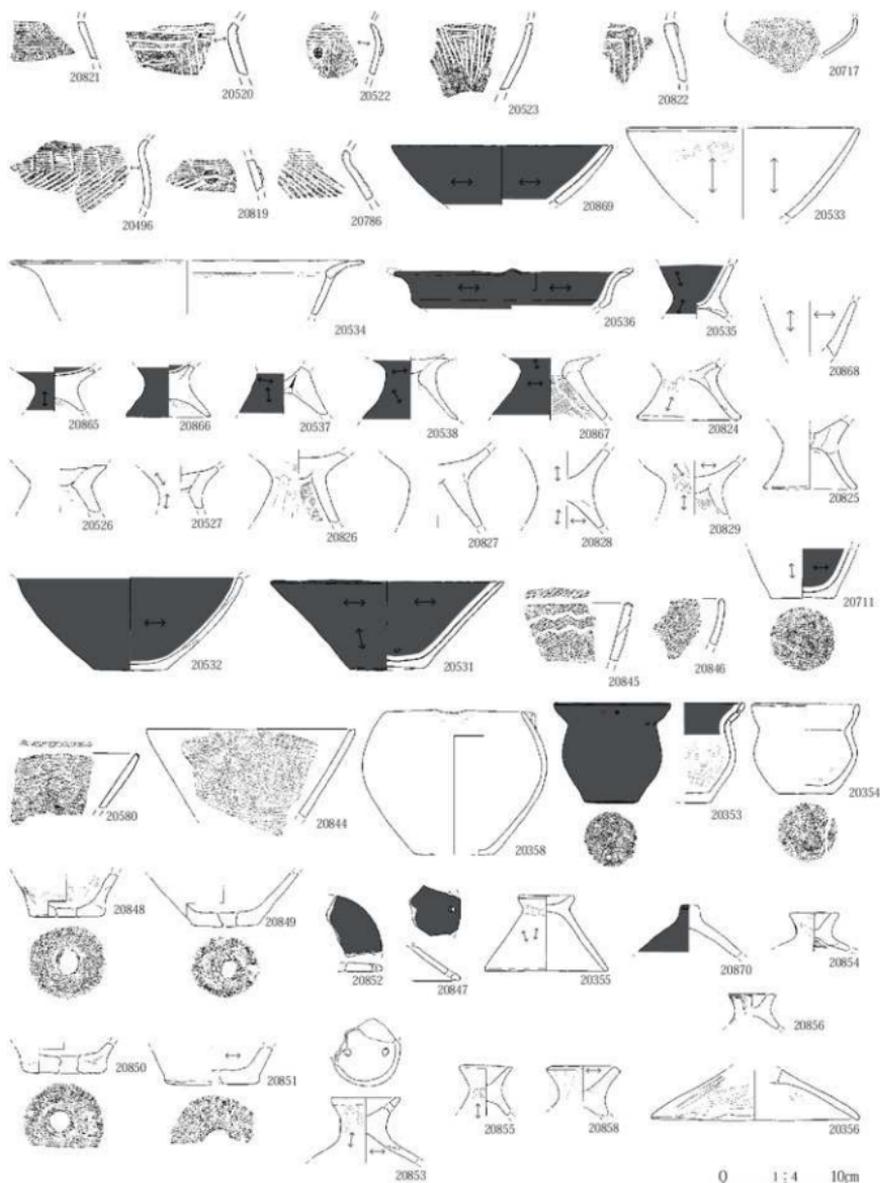


第308图 2区96号溝出土弥生土器21

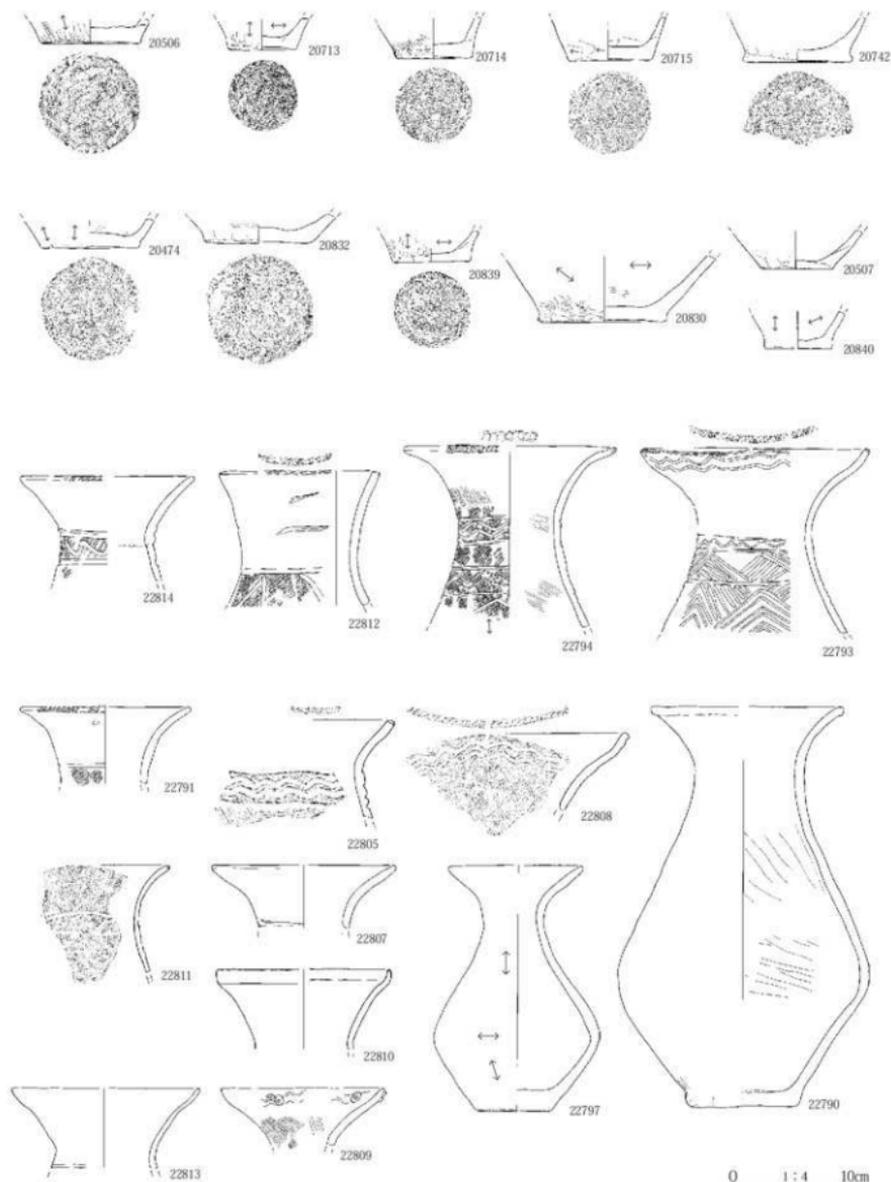


第309图 2区96号溝出土弥生土器22

遺物実測図

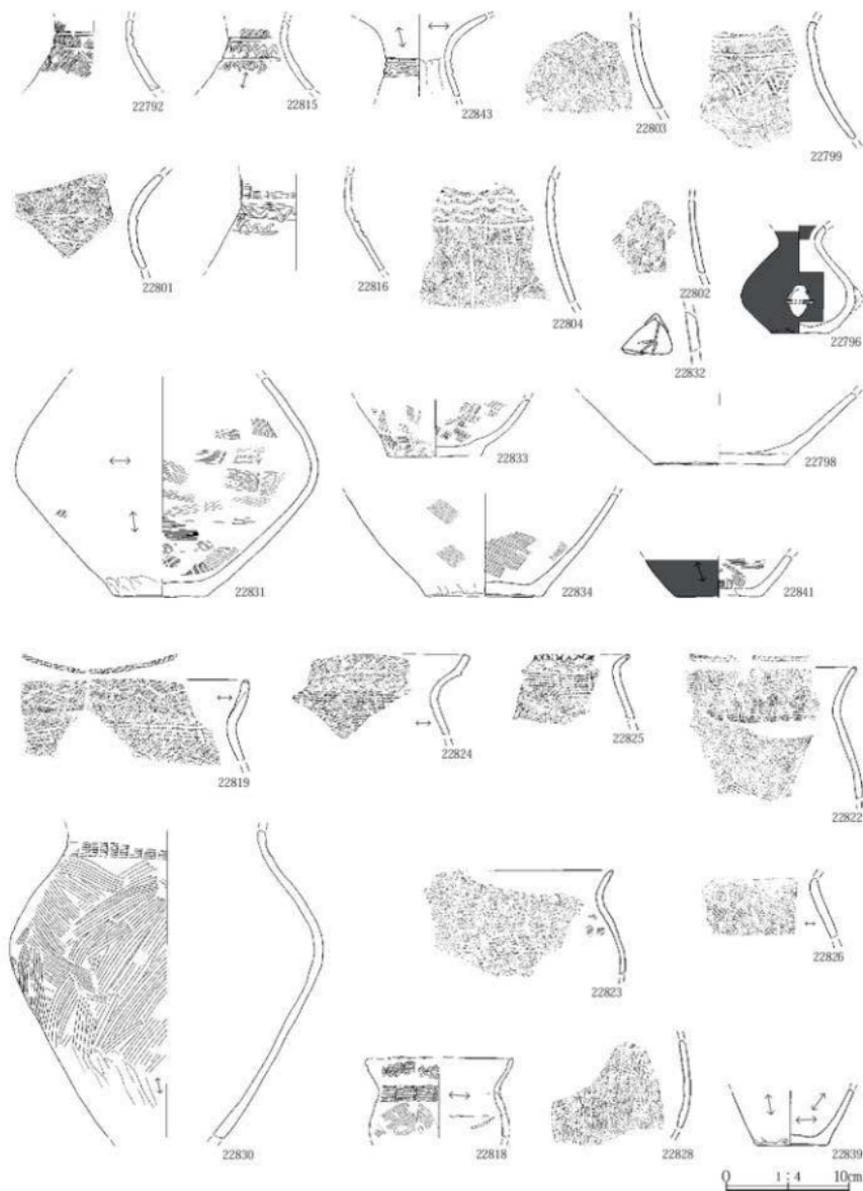


第310图 2区96号溝出土弥生土器23

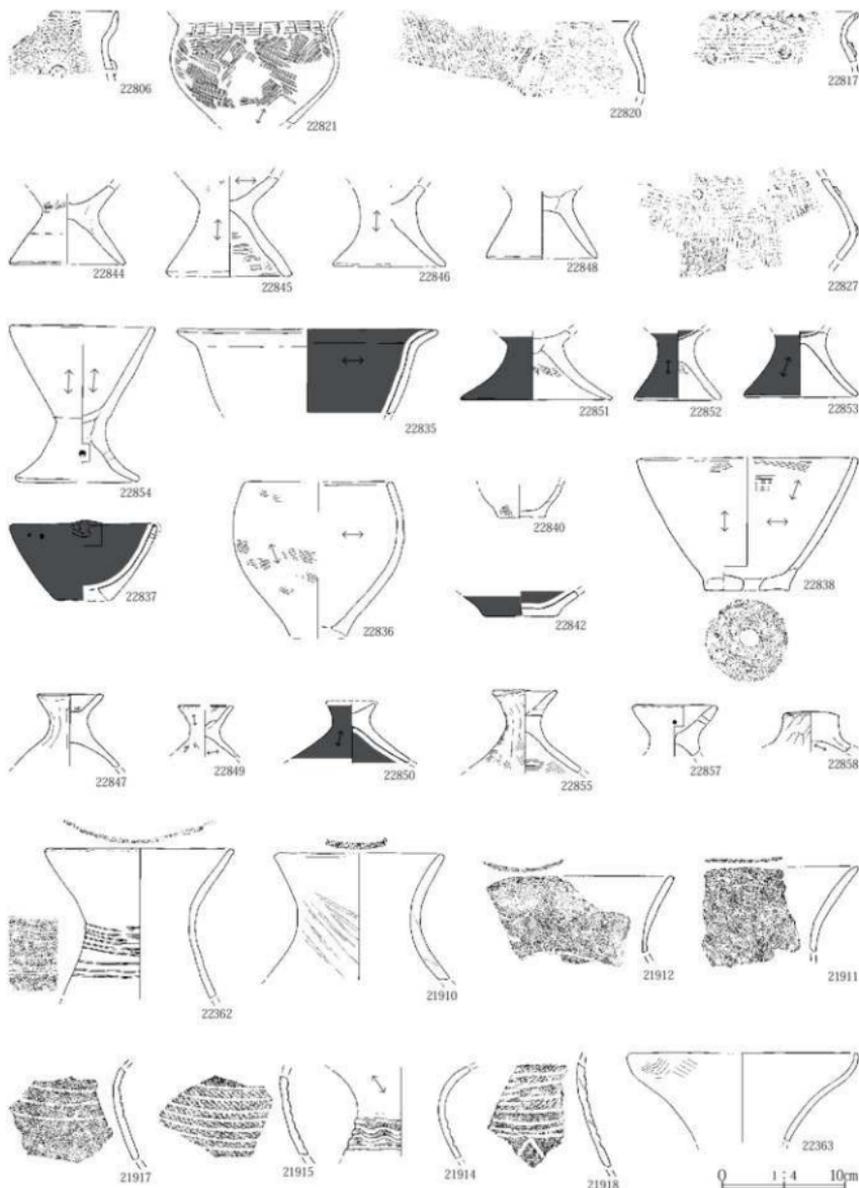


第311图 2区96号・2区北地区291号溝出土弥生土器

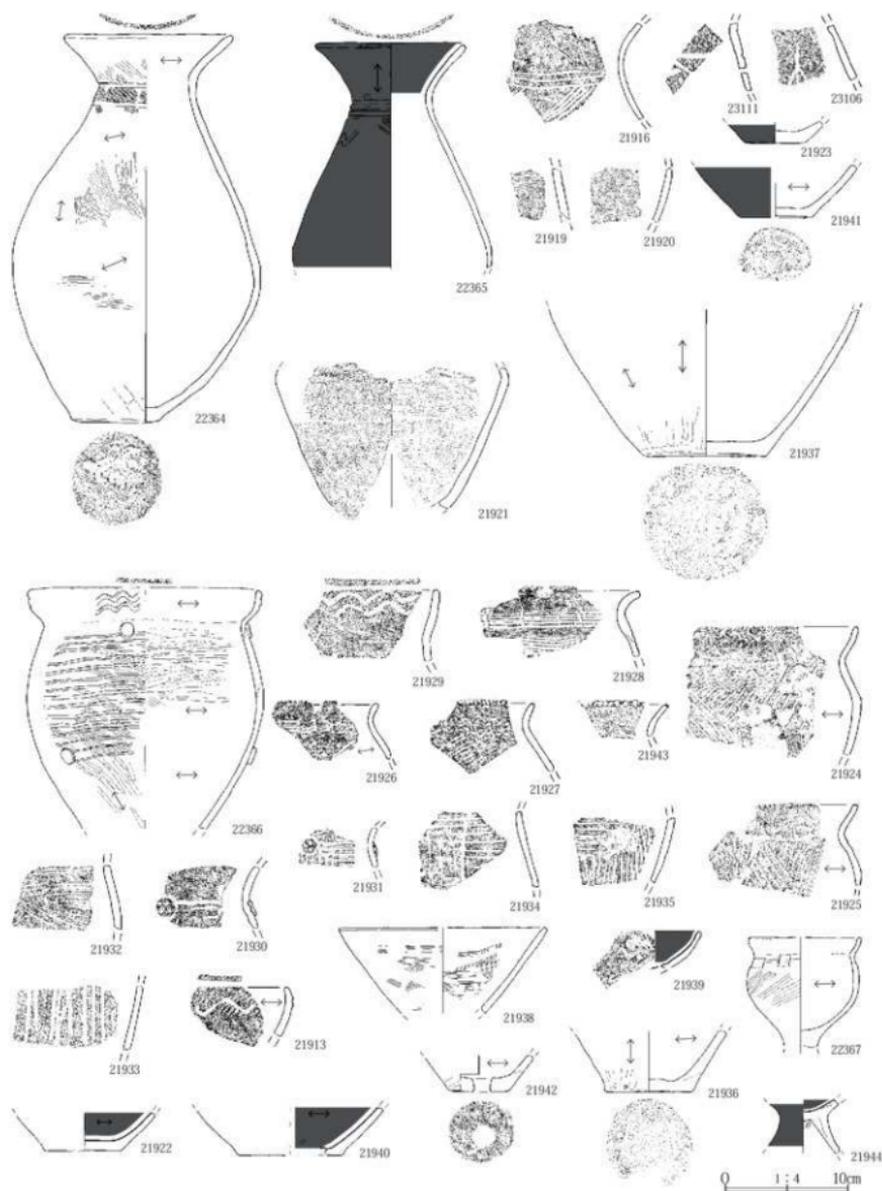
遺物実測図



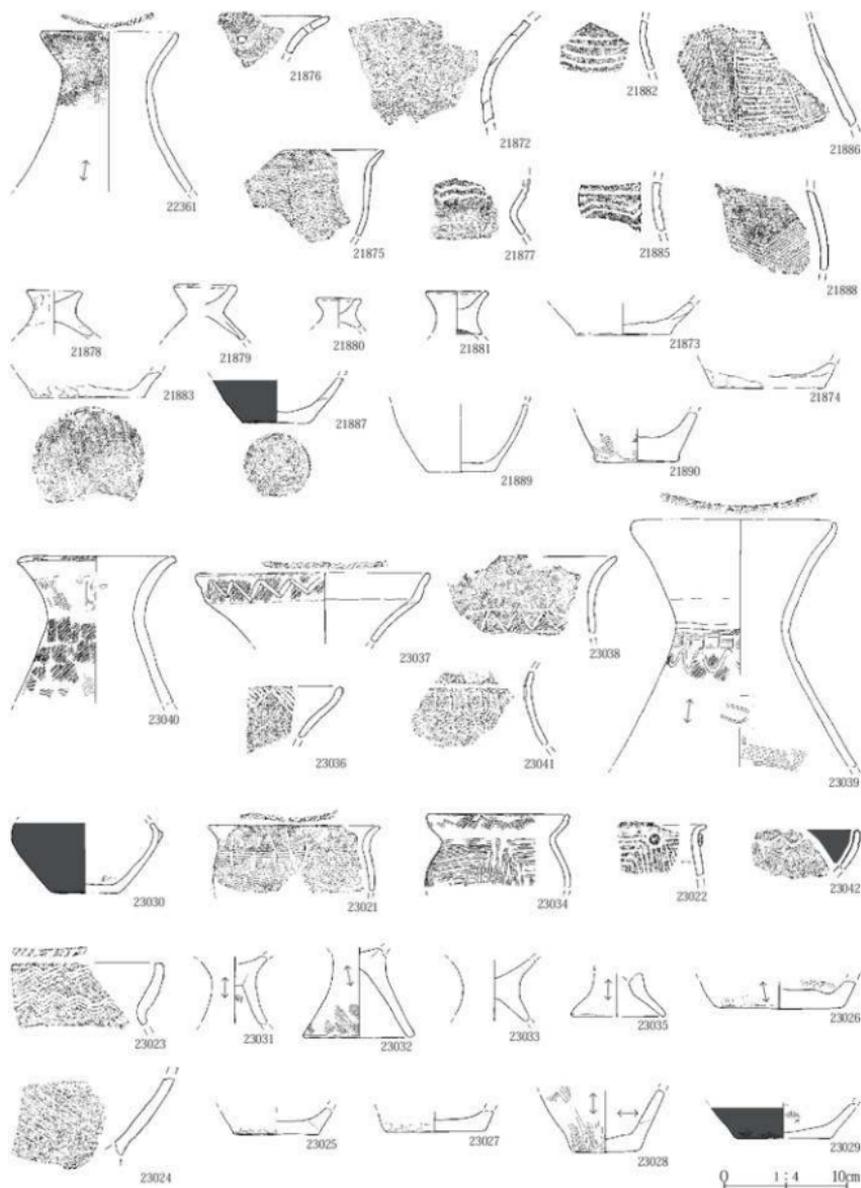
第312図 2区北地区291号溝出土生土器2



第313图 2区北地区291号满·6区140号满出土弥生土器

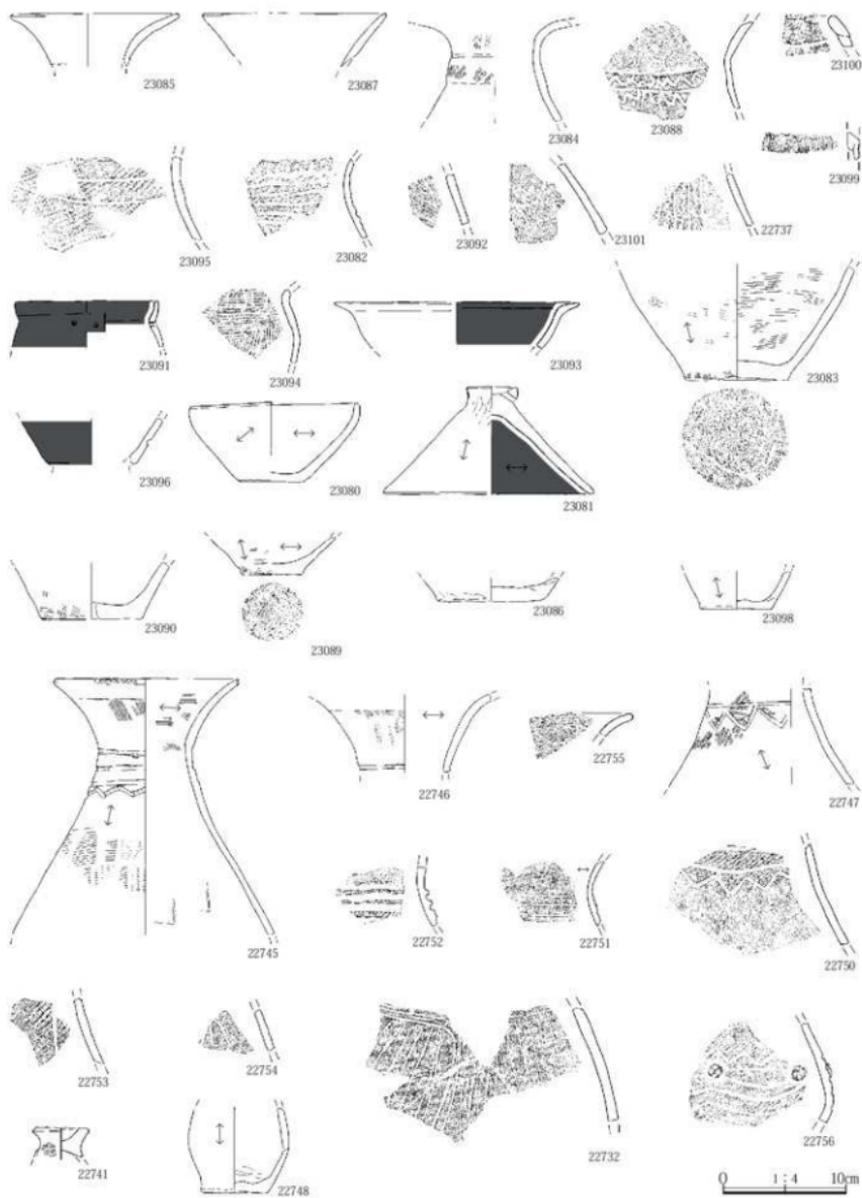


第314图 6区140号溝出土弥生土器2

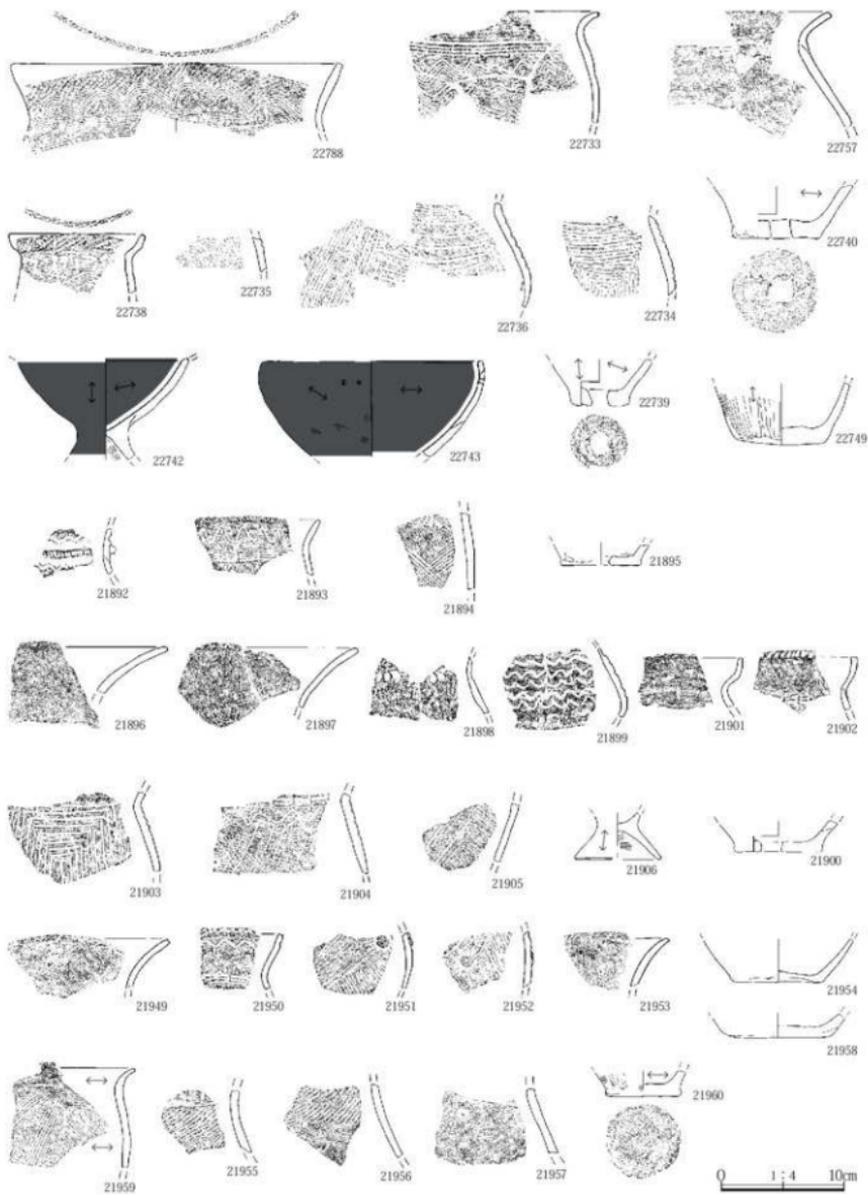


第315図 6区128号溝・7区245溝出土弥生土器

遺物実測図

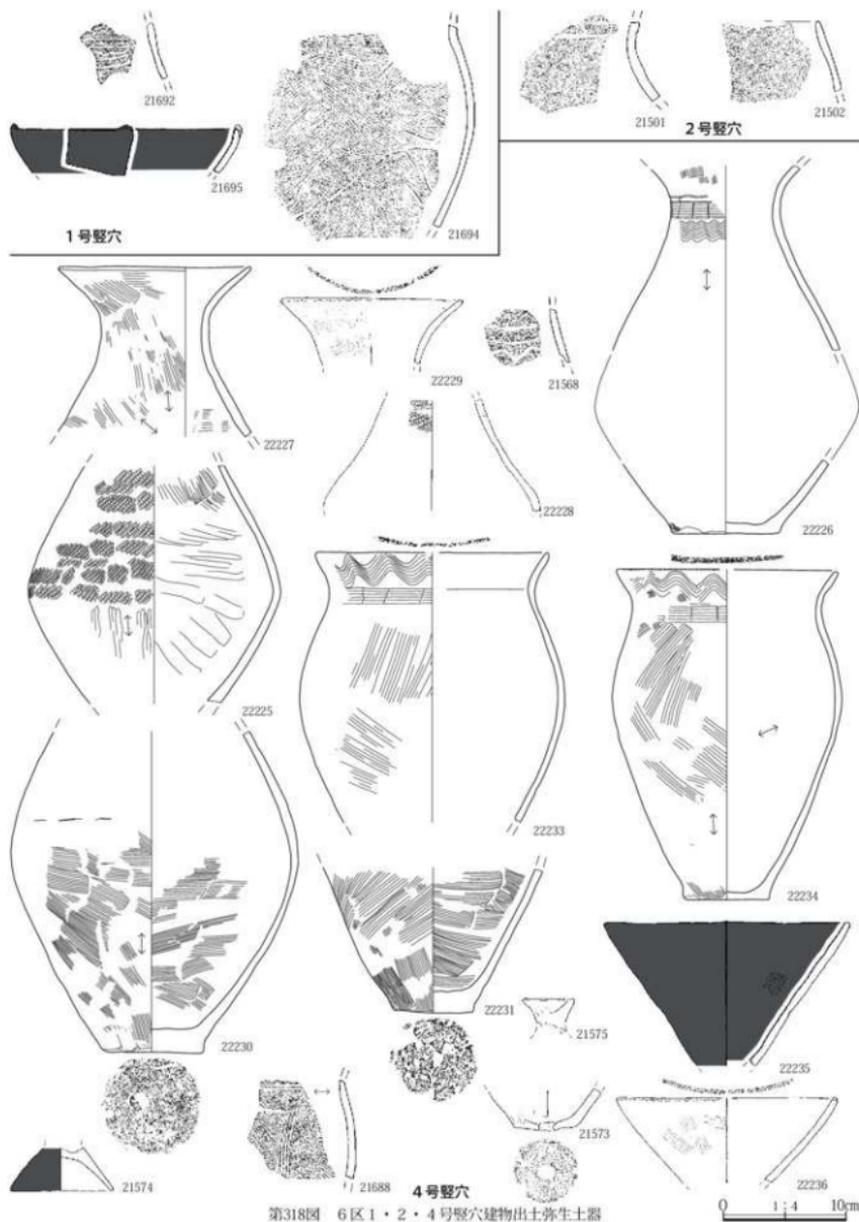


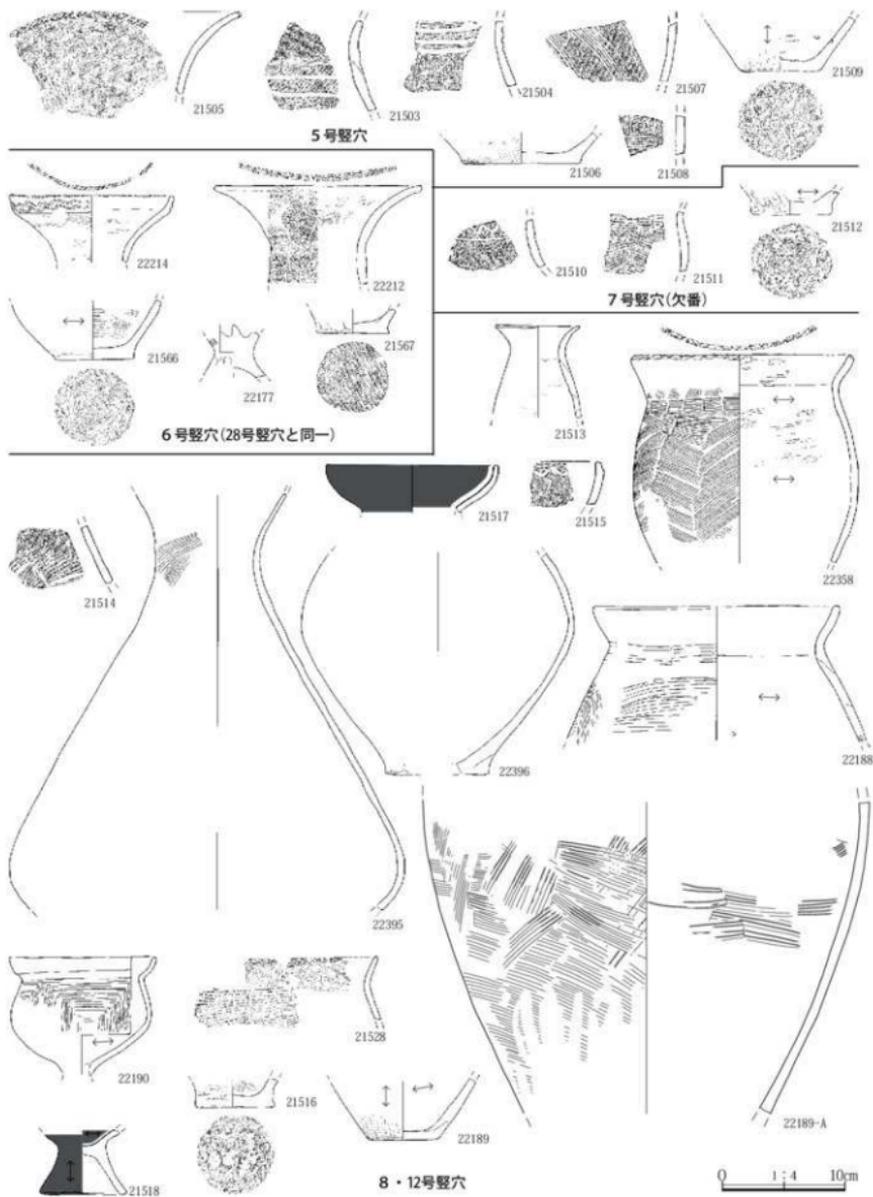
第316图 7区245号・2区北地区268号溝出土赤土器



第317图 2区北地区268号・6区130・131・145・146号满出土弥生土器

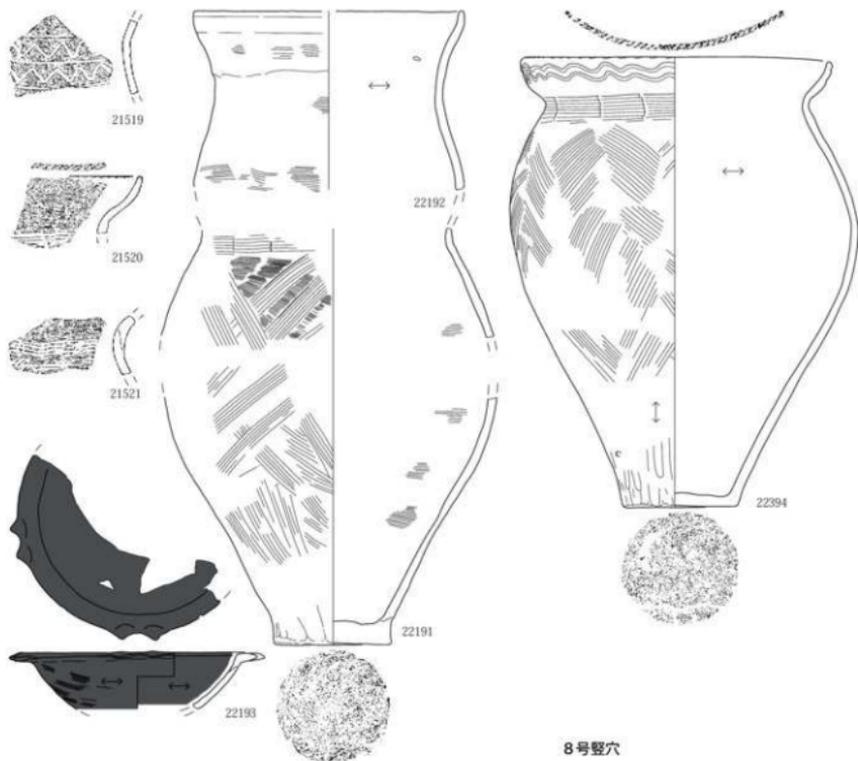
遺物実測図





第319図 6区5・6・7・8・12号竪穴建物出土弥生土器

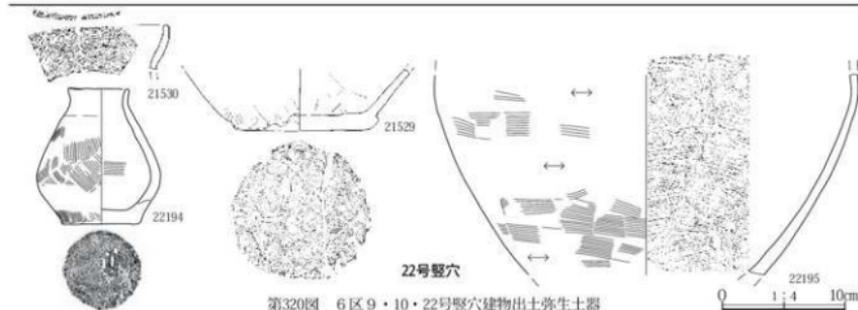
遺物実測図



8号竪穴

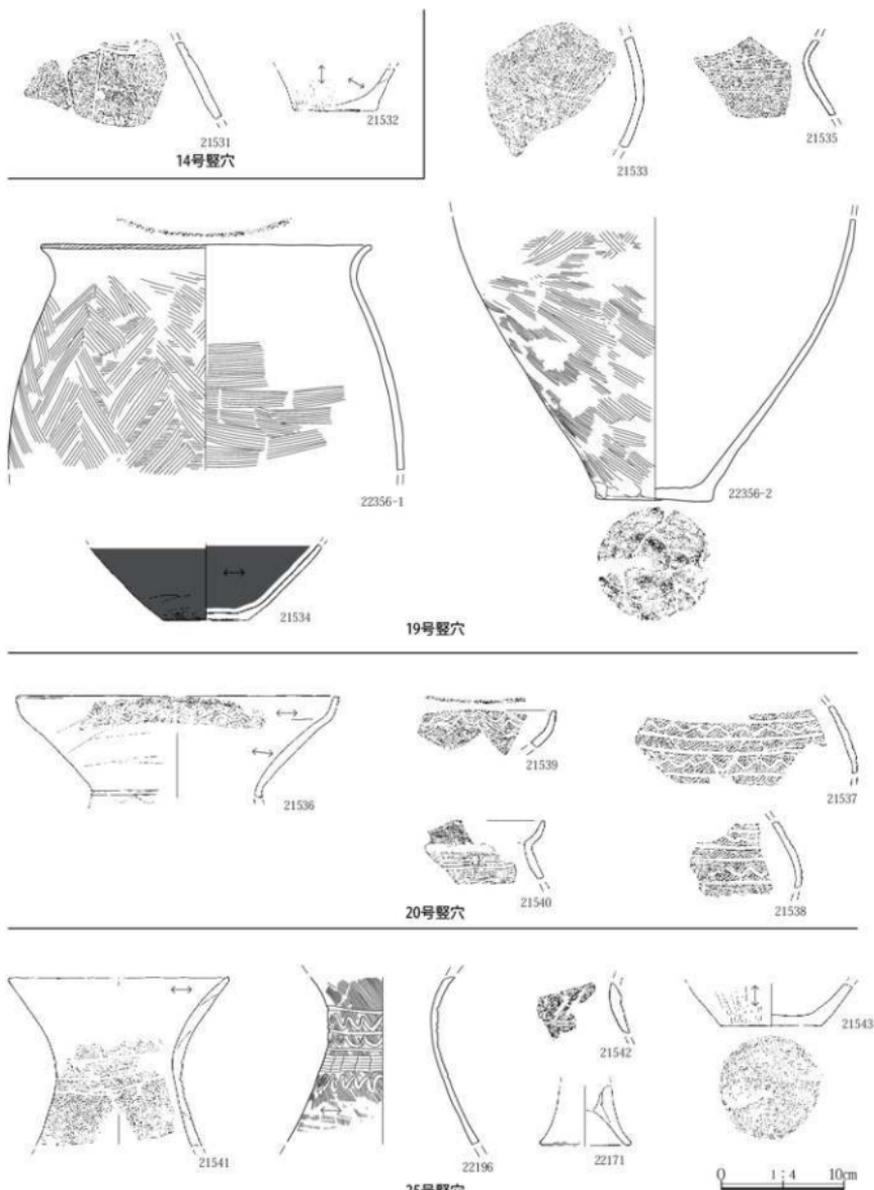


10号竪穴

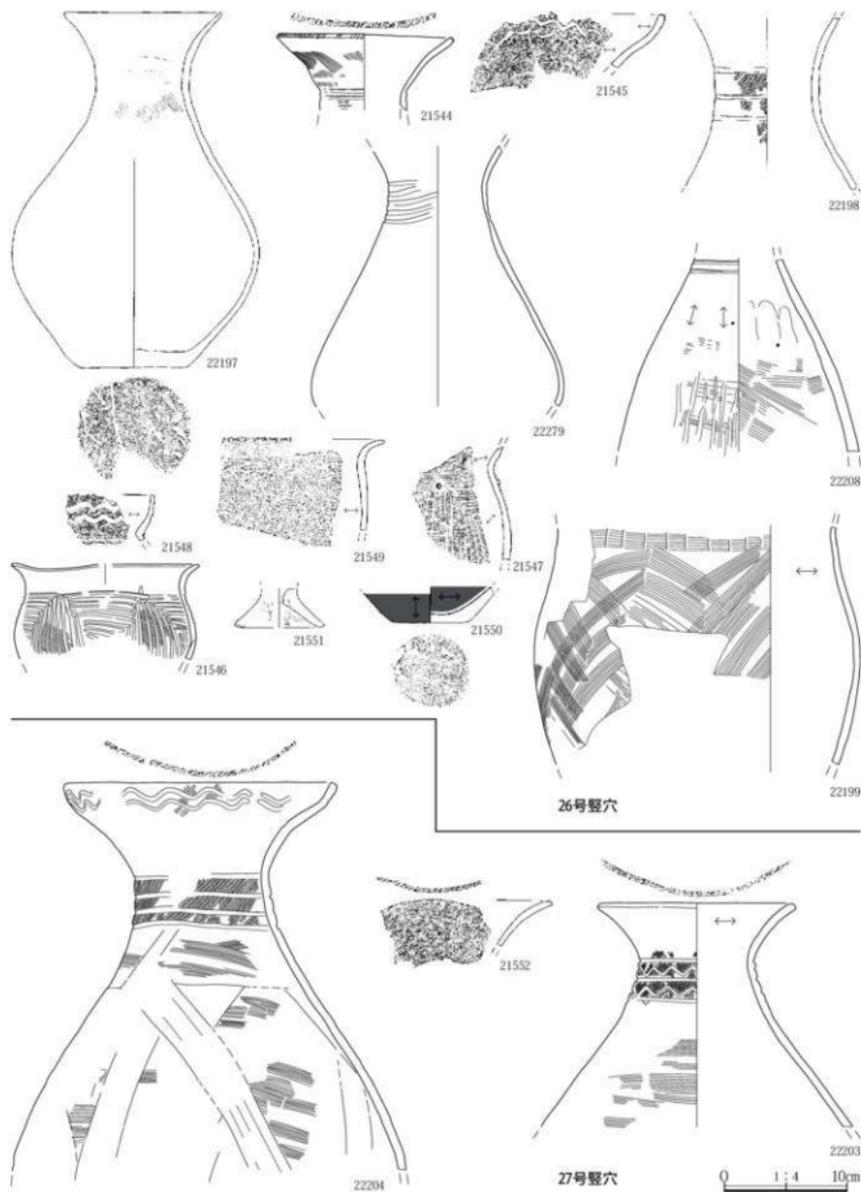


22号竪穴

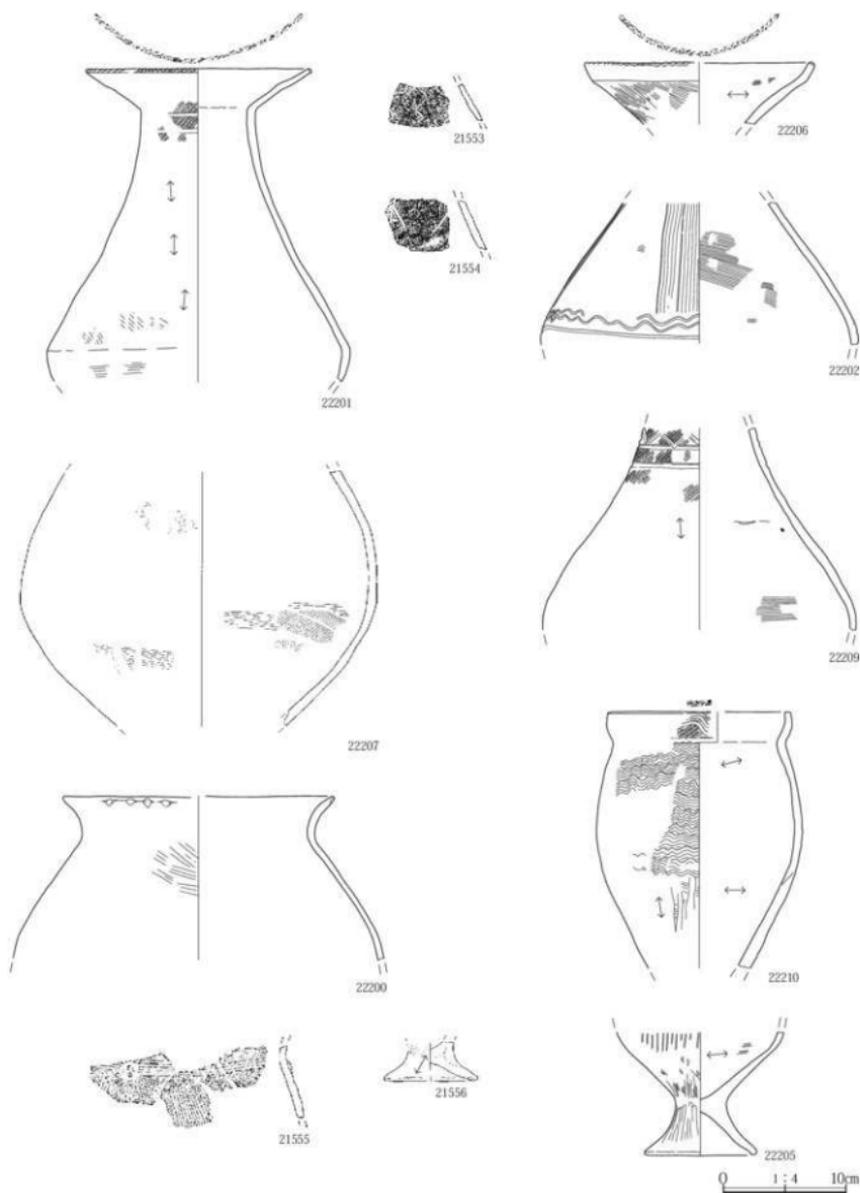
第320図 6区9・10・22号竪穴建物出土弥生土器



第321图 6区14・19・20・25号竪穴建物出土弥生土器

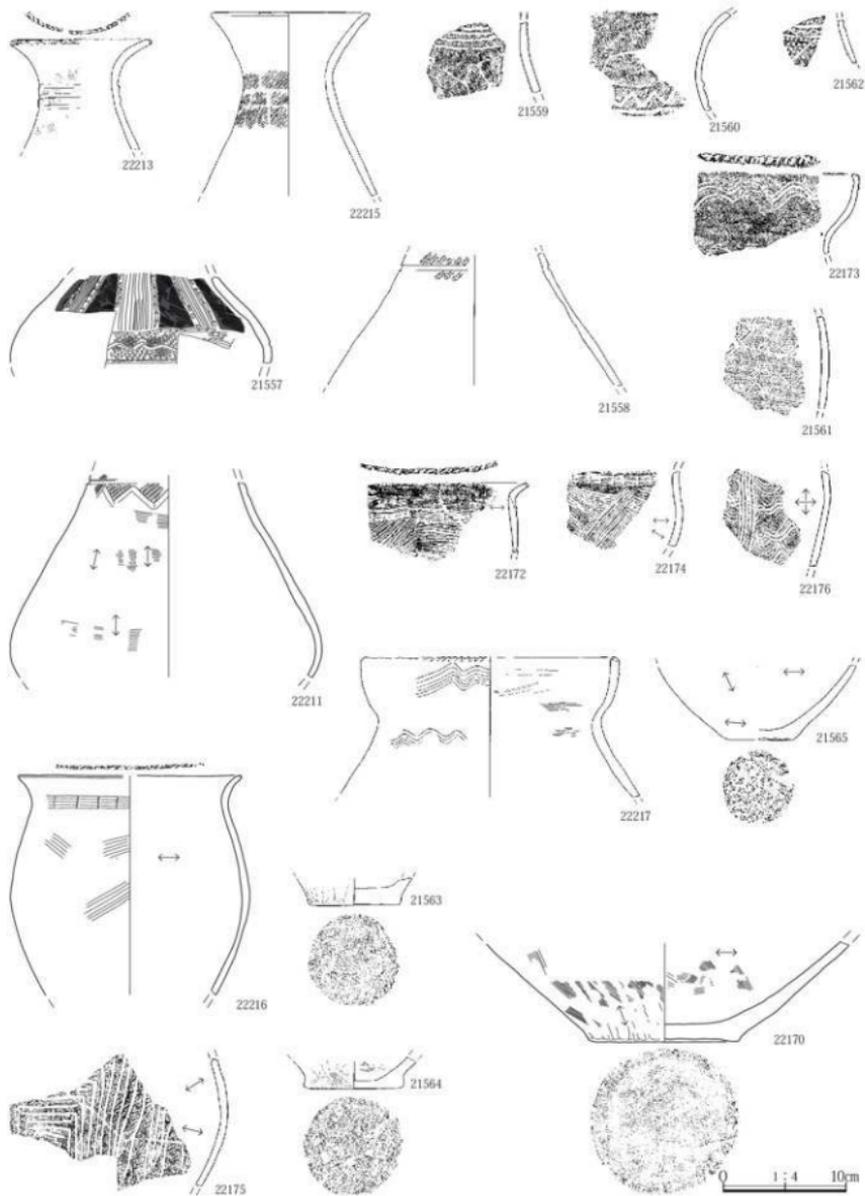


第322図 6区26・27号壑穴建物出土弥生土器

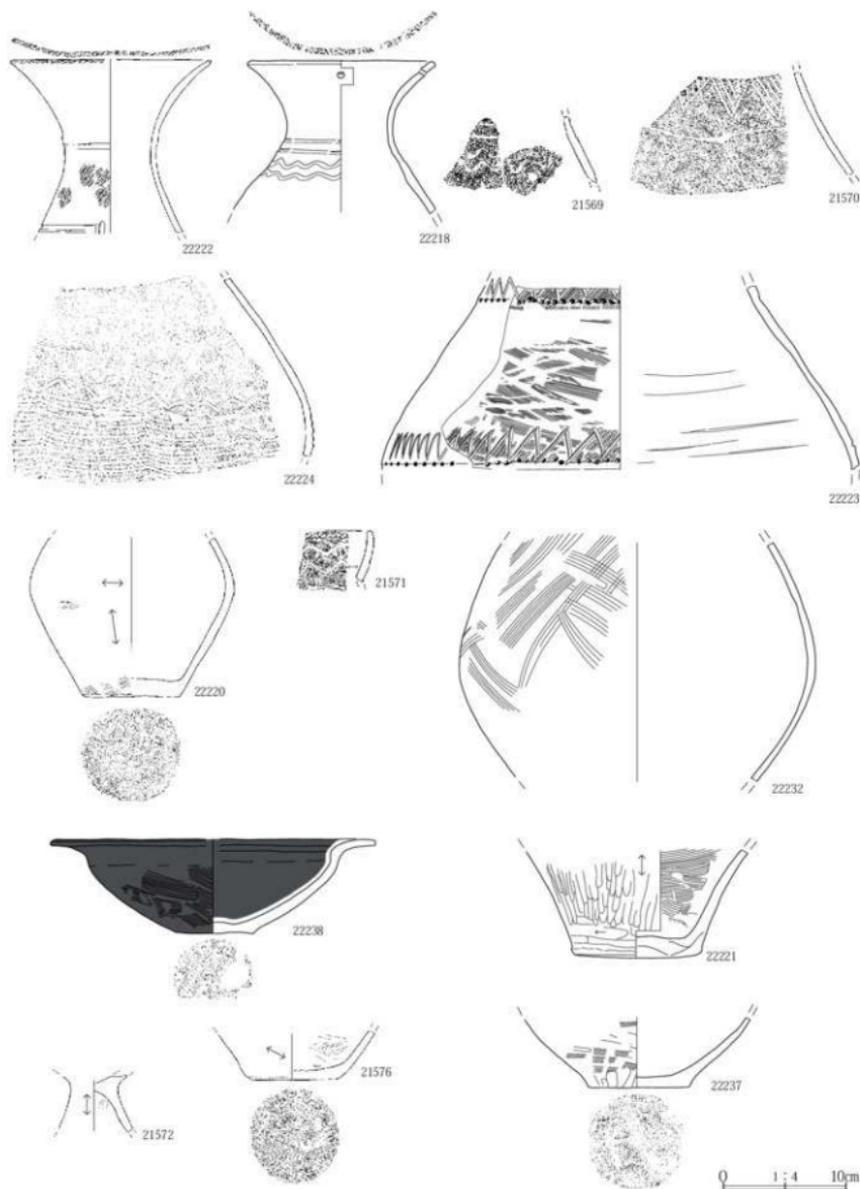


第323图 6区27号竖穴建物出土弥生土器2

遺物実測図

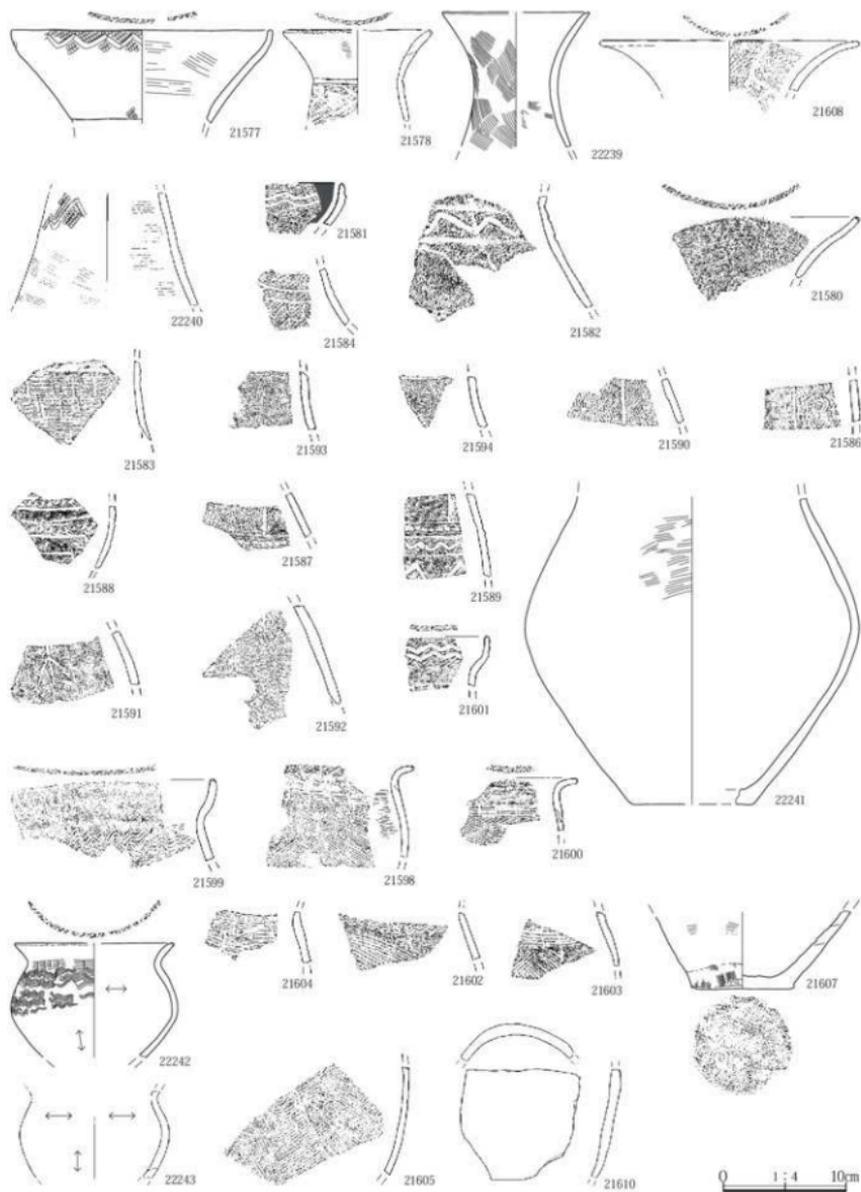


第324图 6区28号竪穴建物出土弥生土器

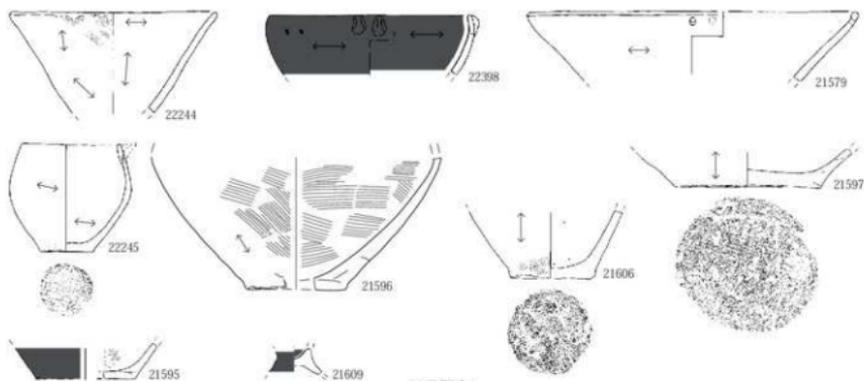


第325图 6区29号窖穴建物出土弥生土器

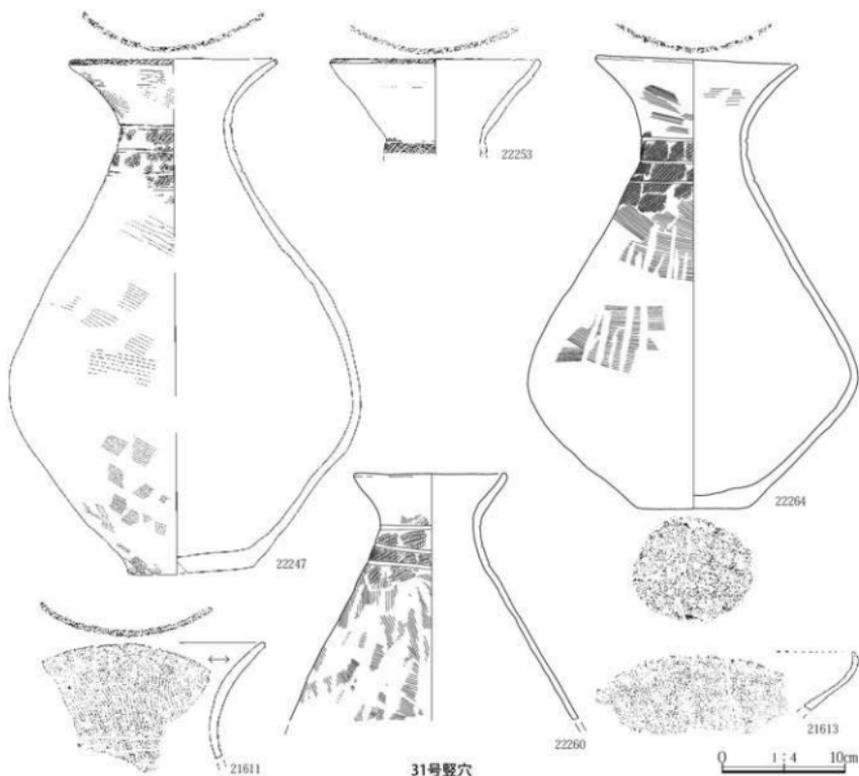
遺物実測図



第326図 6区30号竪穴建物出土弥生土器

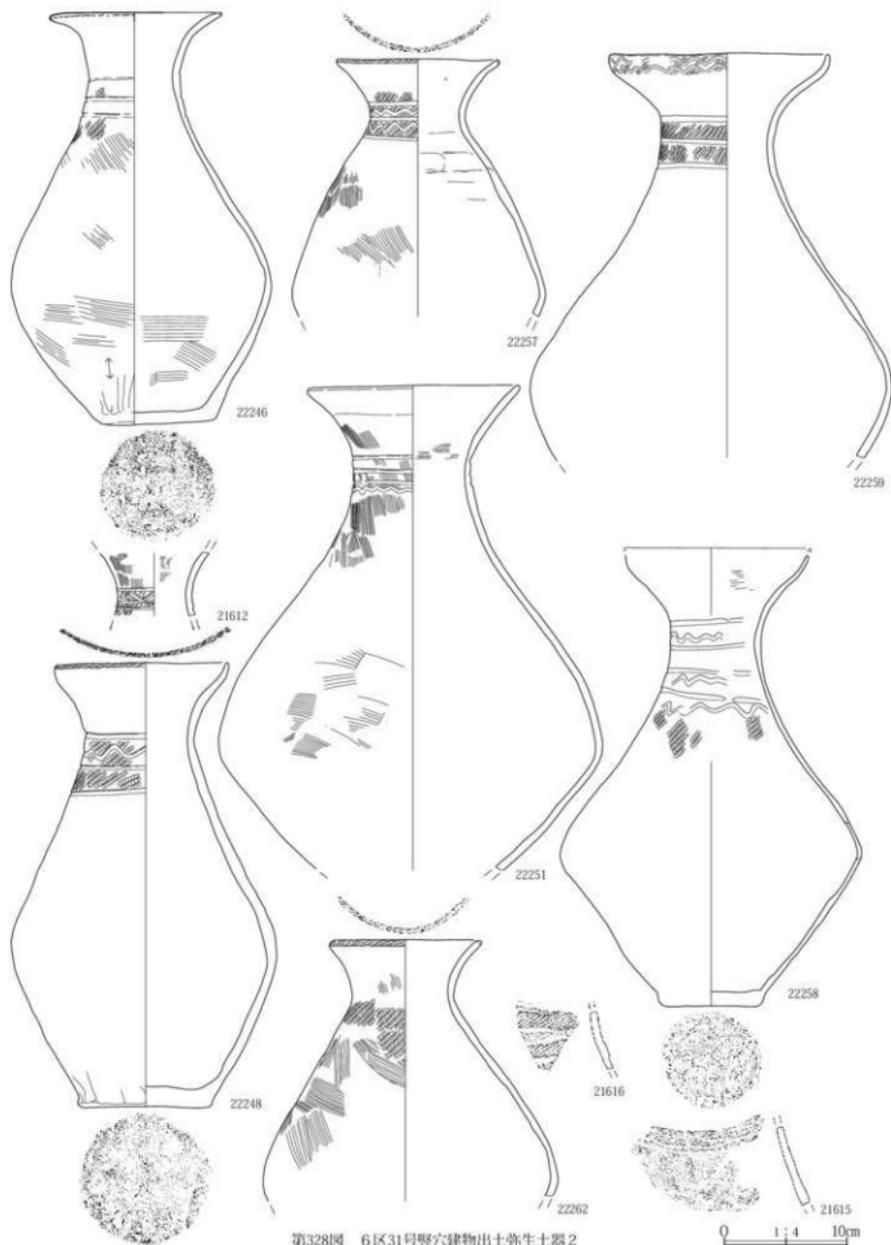


30号竪穴

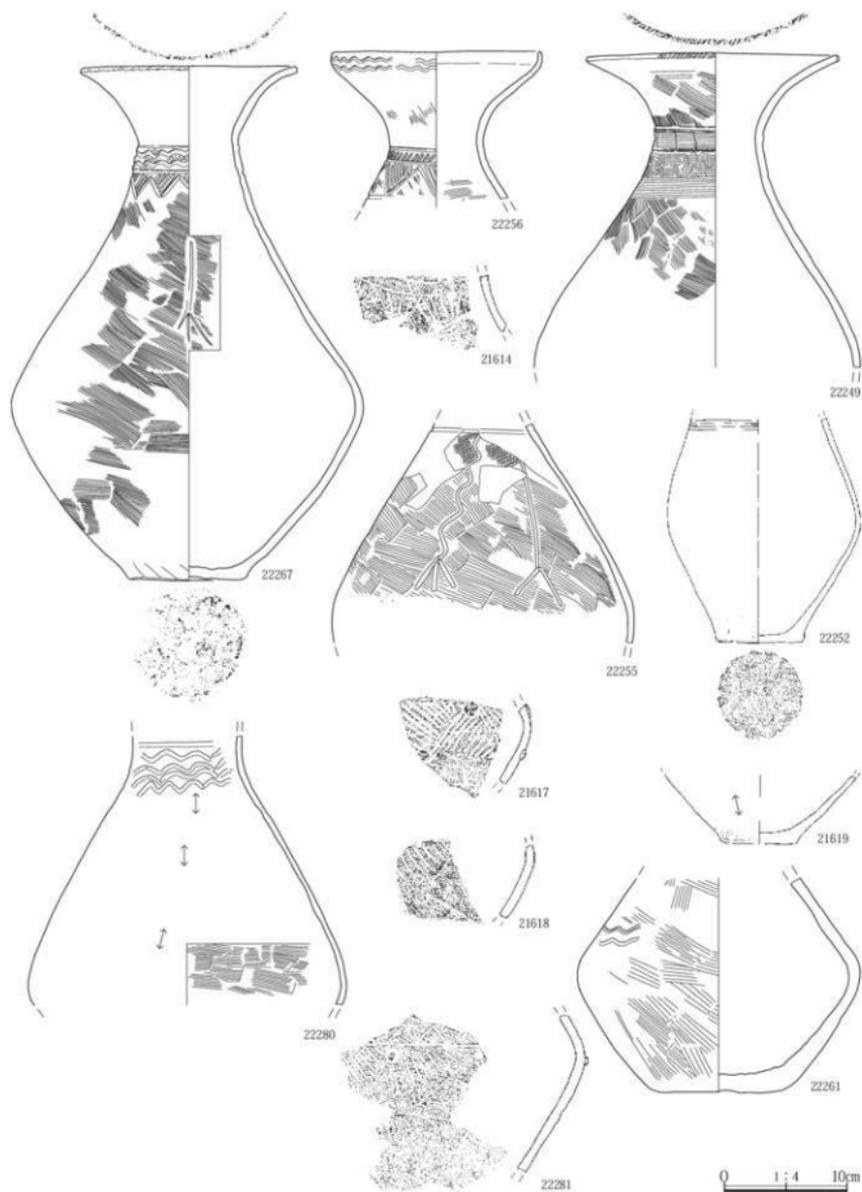


31号竪穴

第327図 6区30・31号竪穴建物出土弥生土器

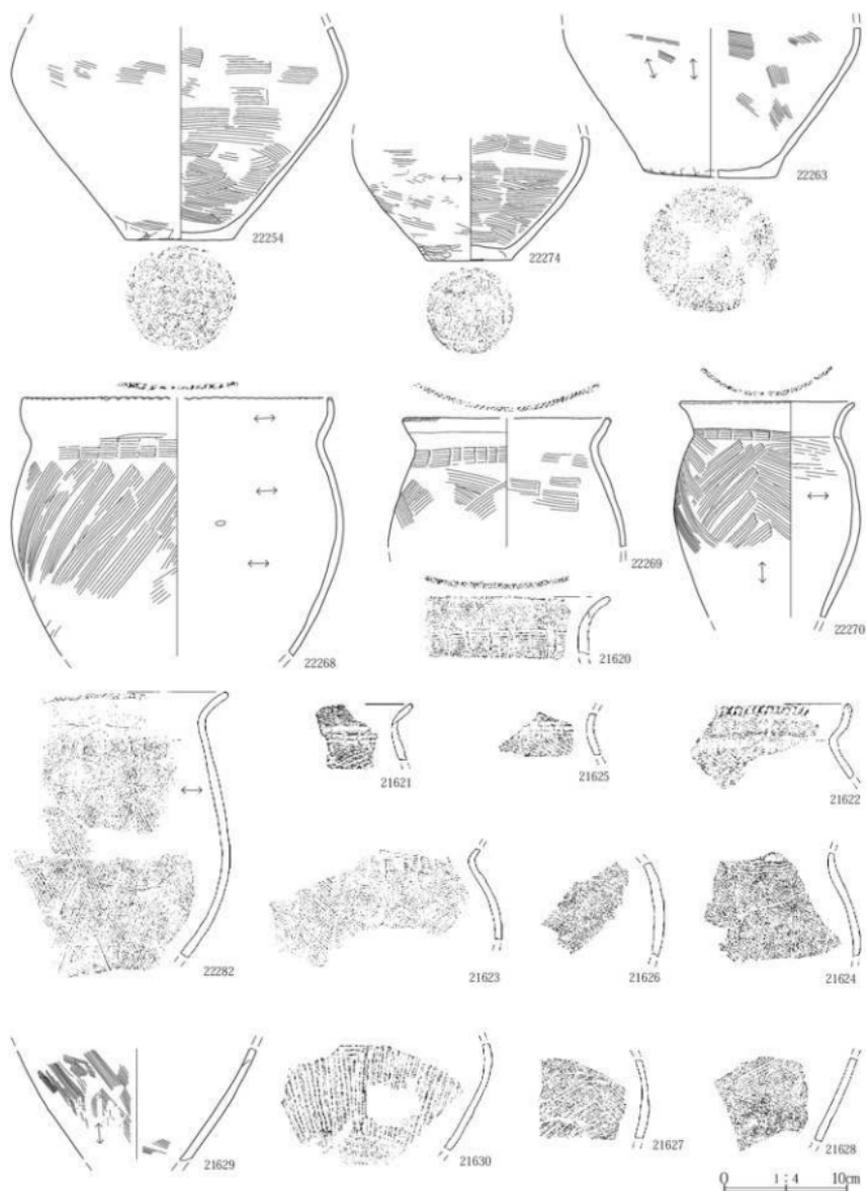


第328图 6区31号竖穴建物出土弥生土器2



第329图 6区31号竖穴建物出土弥生土器3

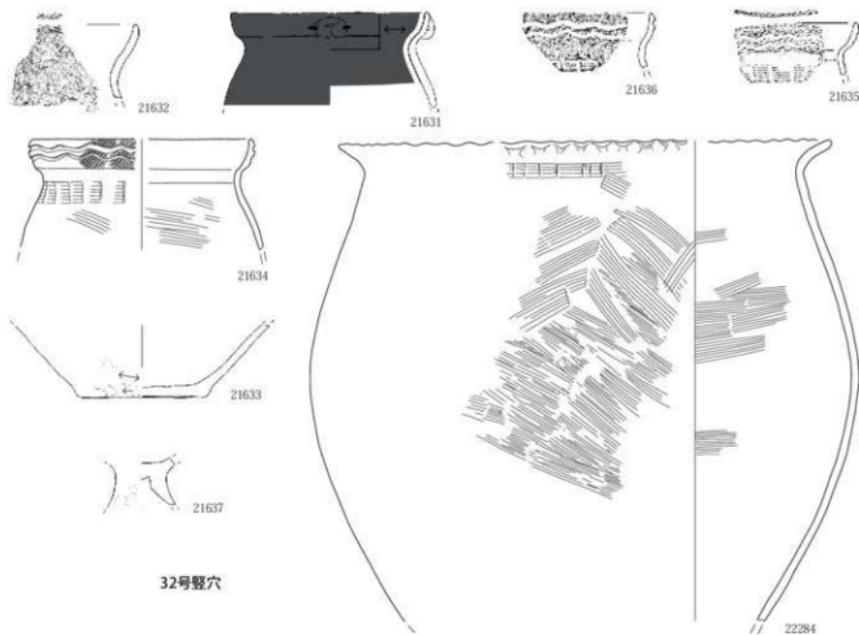
遺物実測図



第330图 6区31号竖穴建物出土弥生土器4



31号竪穴



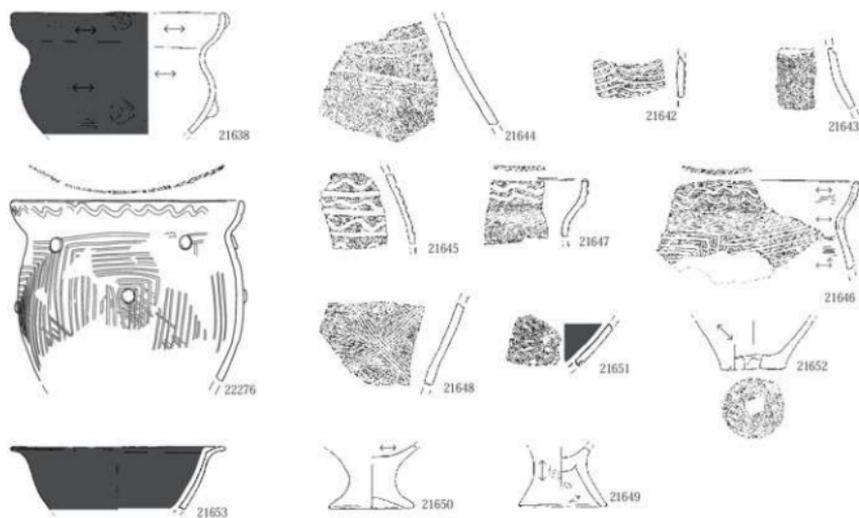
32号竪穴



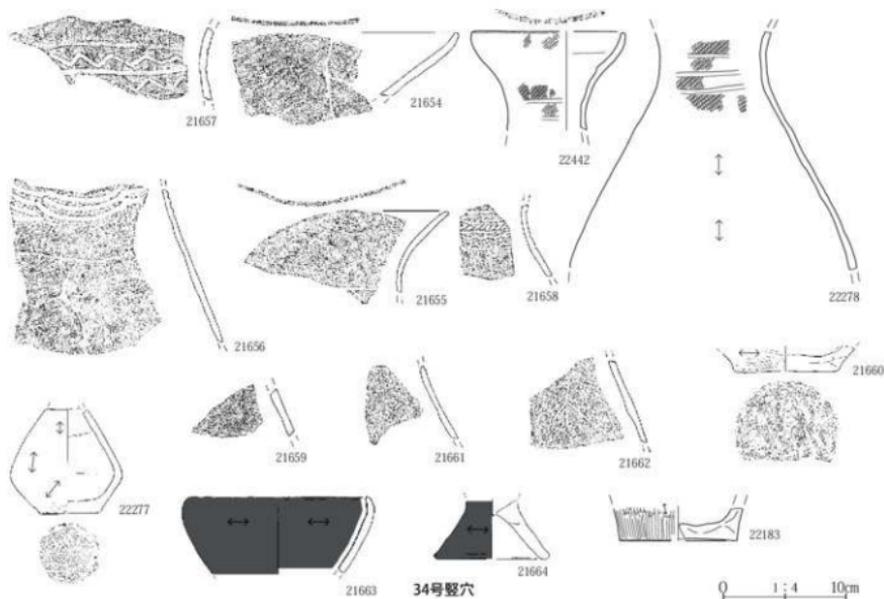
33号竪穴

第331図 6区31・32・33号竪穴建物出土弥生土器

遺物実測図



33号竪穴



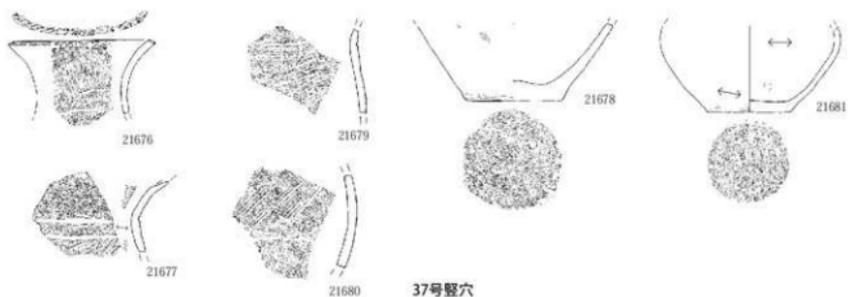
34号竪穴

第332図 6区33・34号竪穴建物出土弥生土器

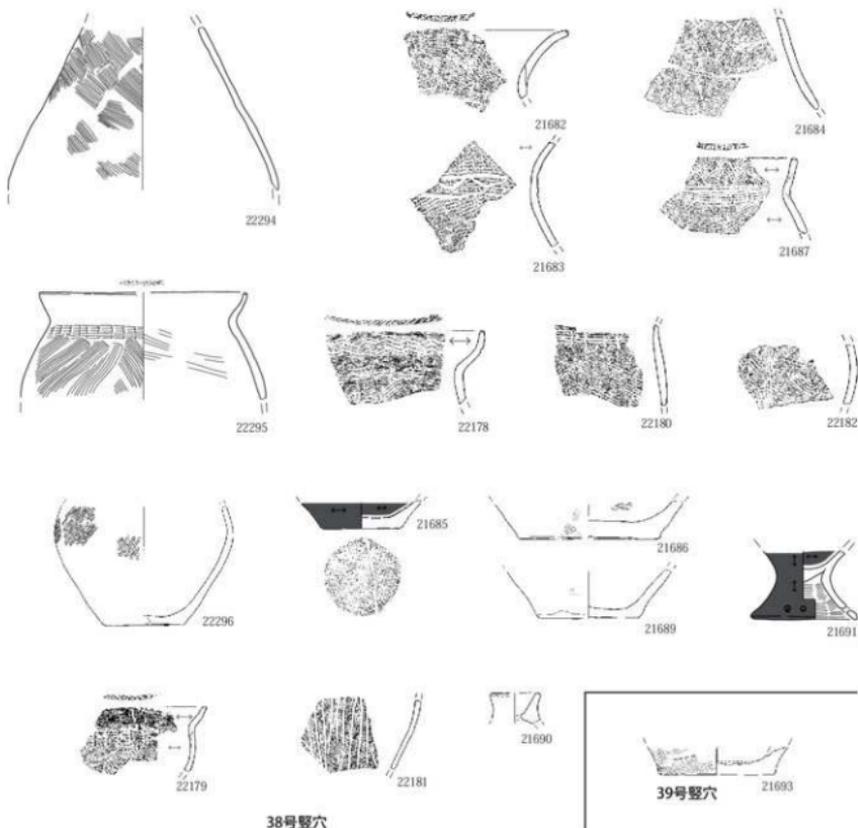


第333图 6区36号竪穴建物出土赤土器

遺物実測図



37号竪穴

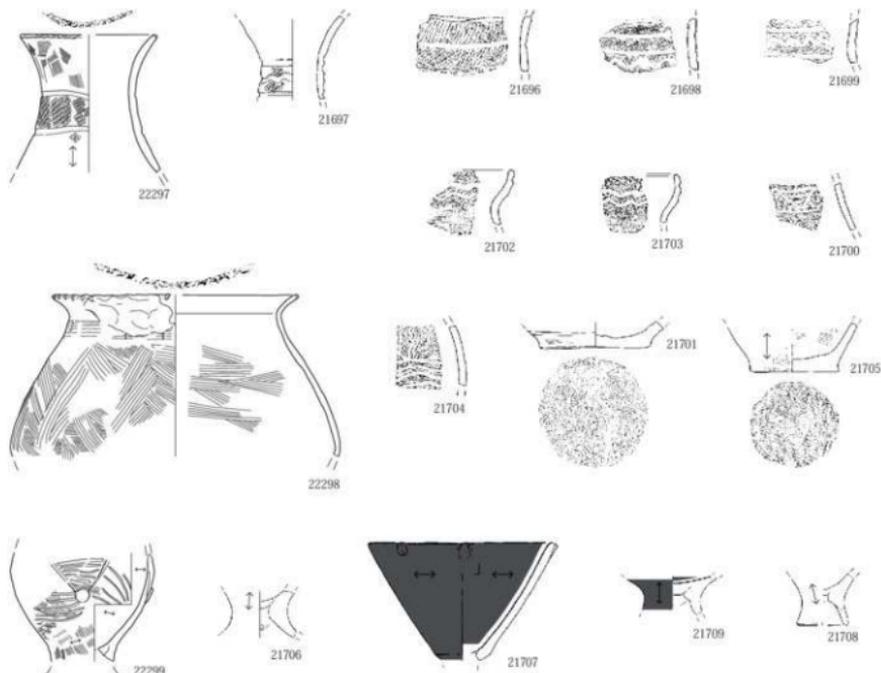


38号竪穴

39号竪穴

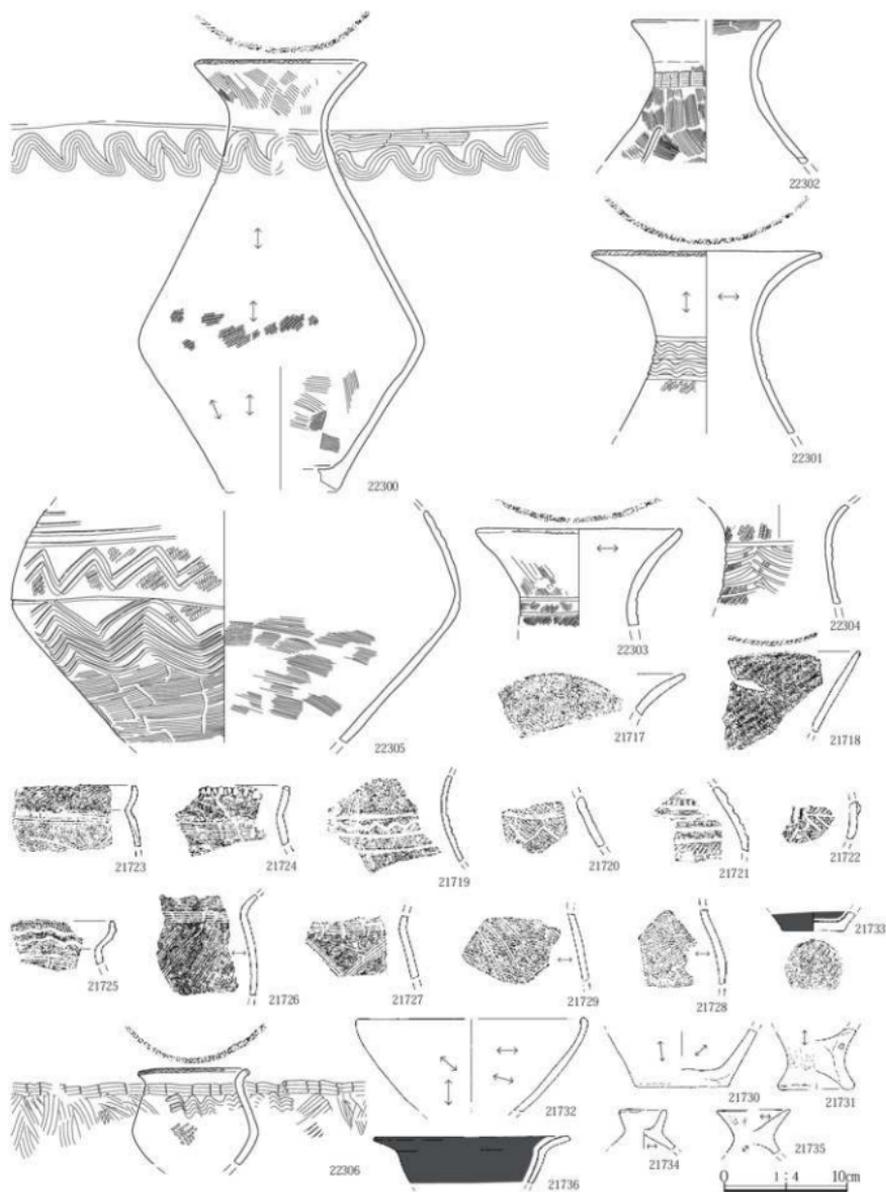
0 1:4 10cm

第334図 6区37・38・39号竪穴建物出土弥生土器

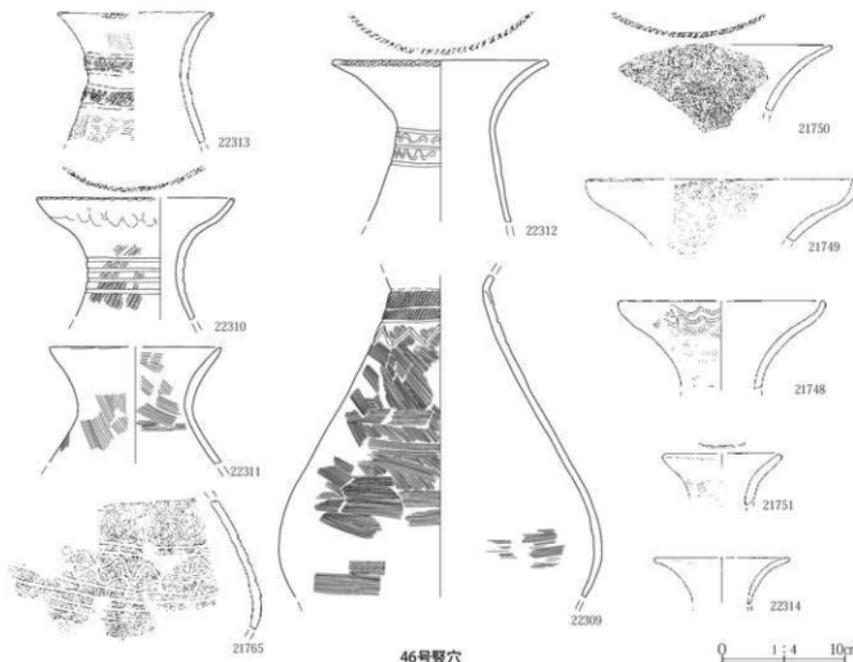
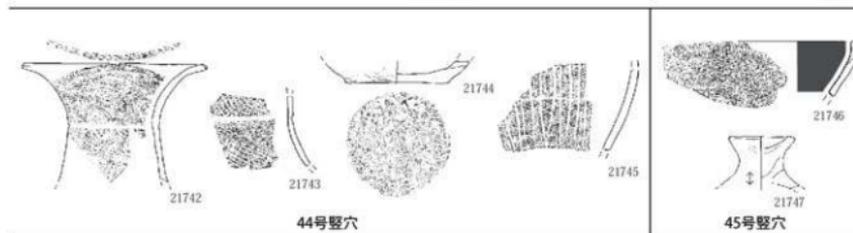
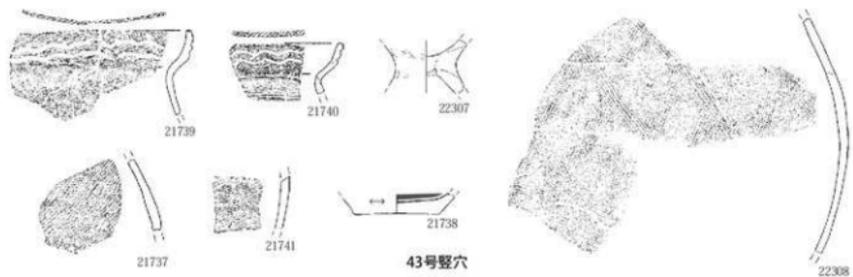


40号竖穴

41号竖穴



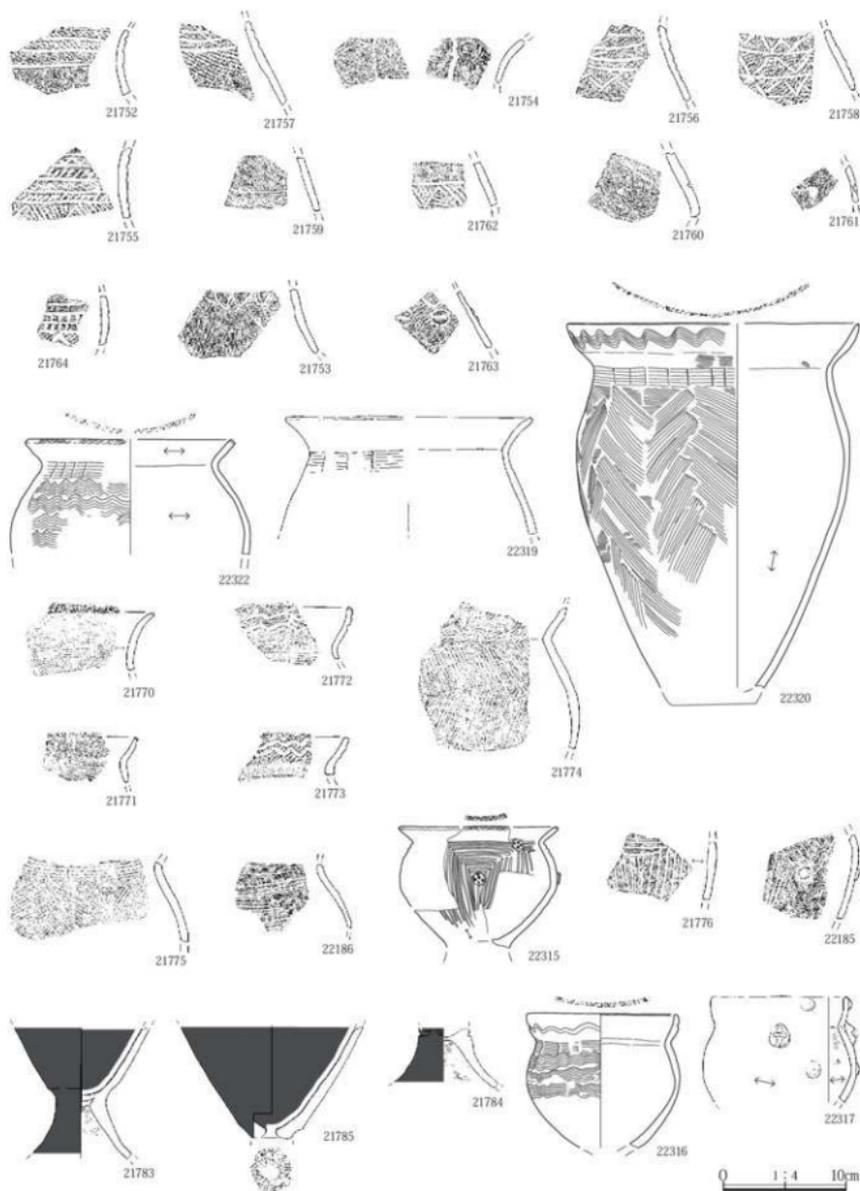
第336图 6区42号壑穴建物出土弥生土器



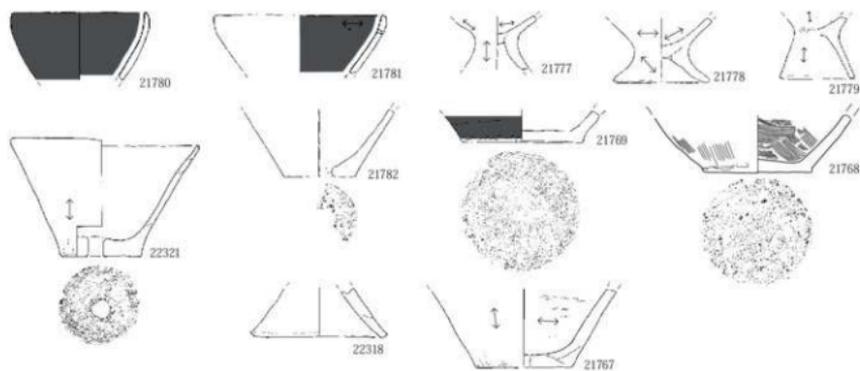
0 1:4 10cm

第337图 6区43・44・45・46号竪穴建物出土弥生土器

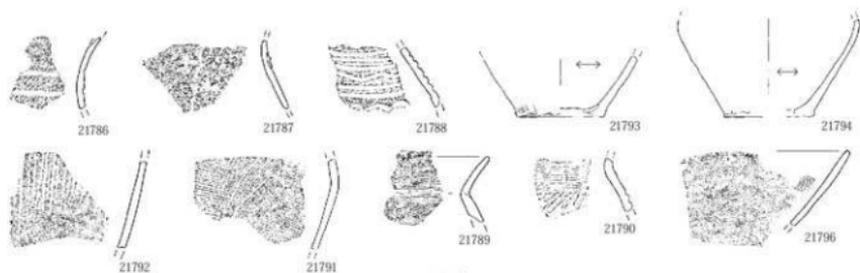
遺物実測図



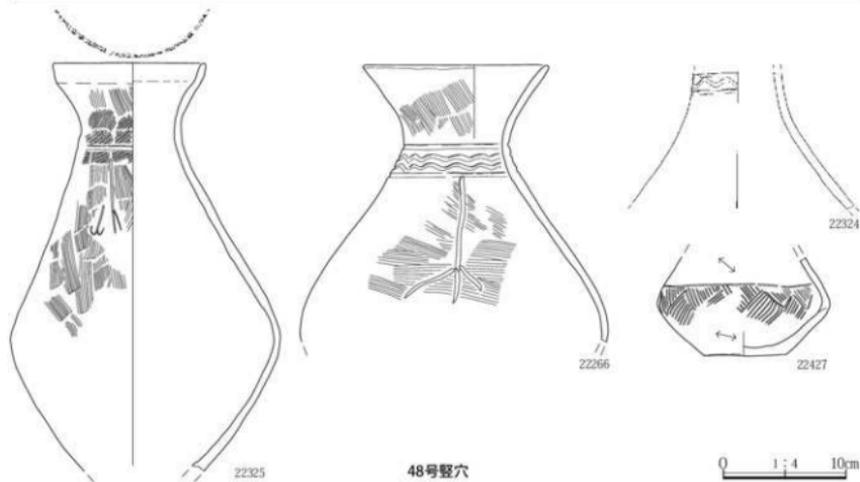
第338图 6区46号竖穴建物出土弥生土器2



46号竪穴



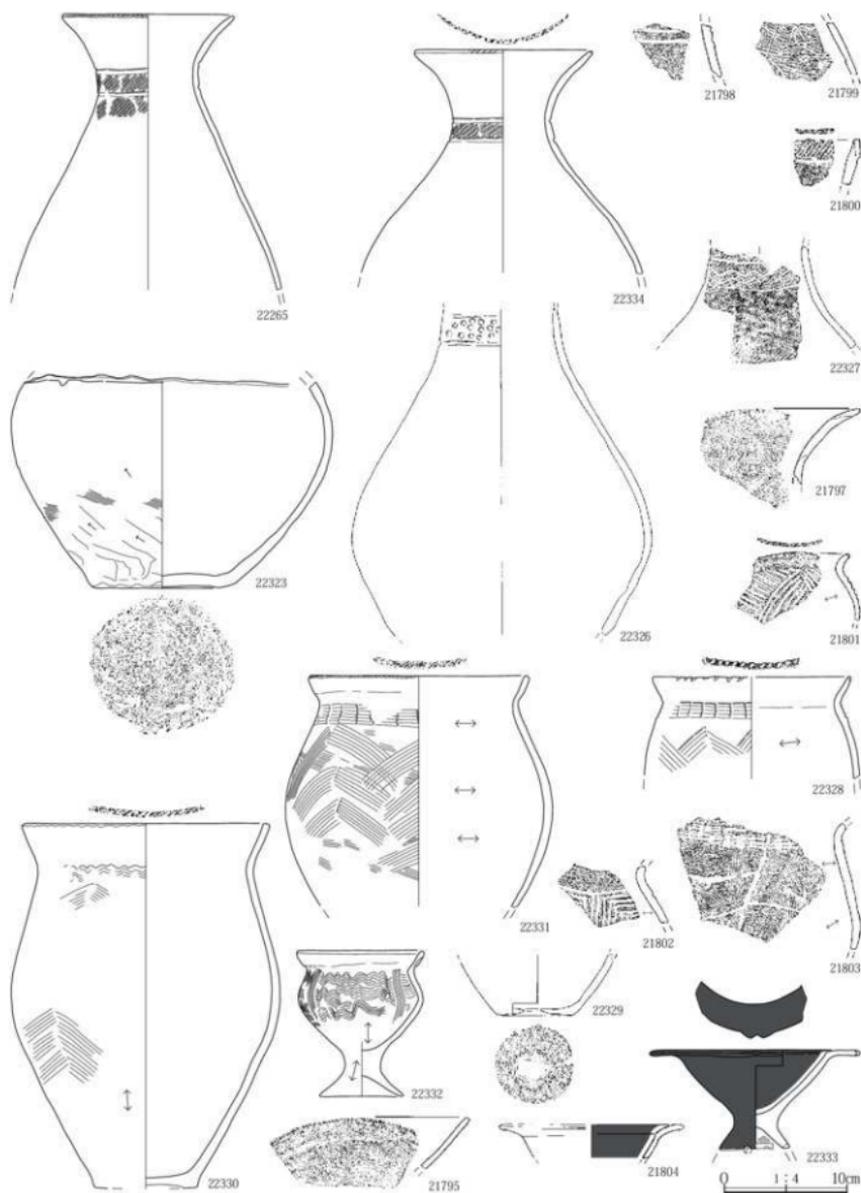
47号竪穴



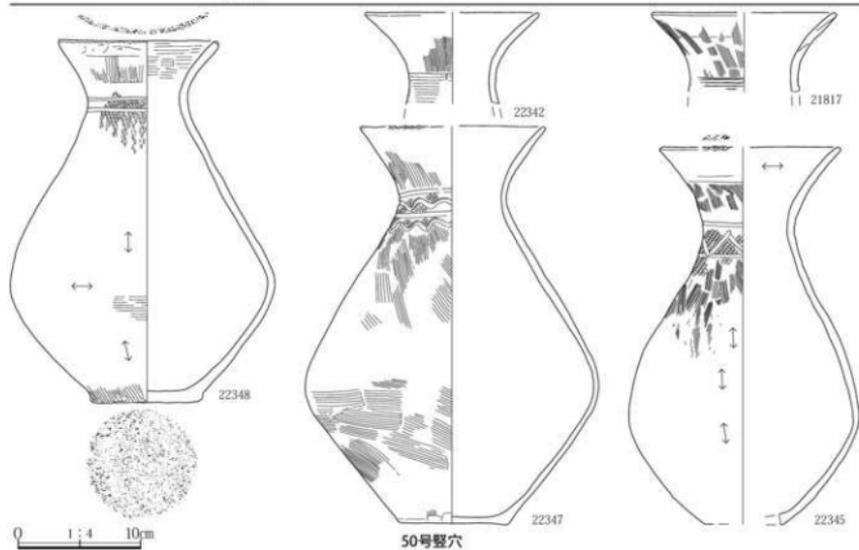
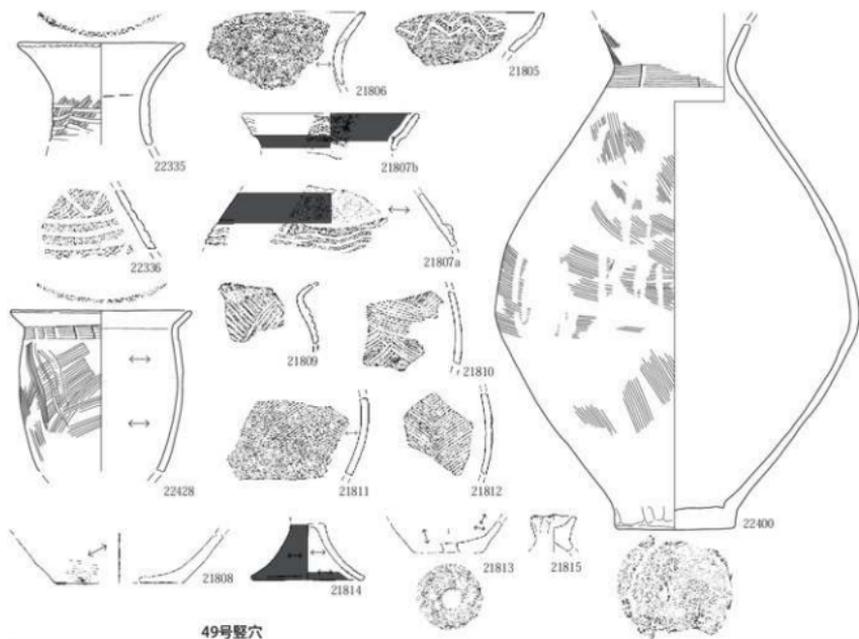
48号竪穴

0 1:4 10cm

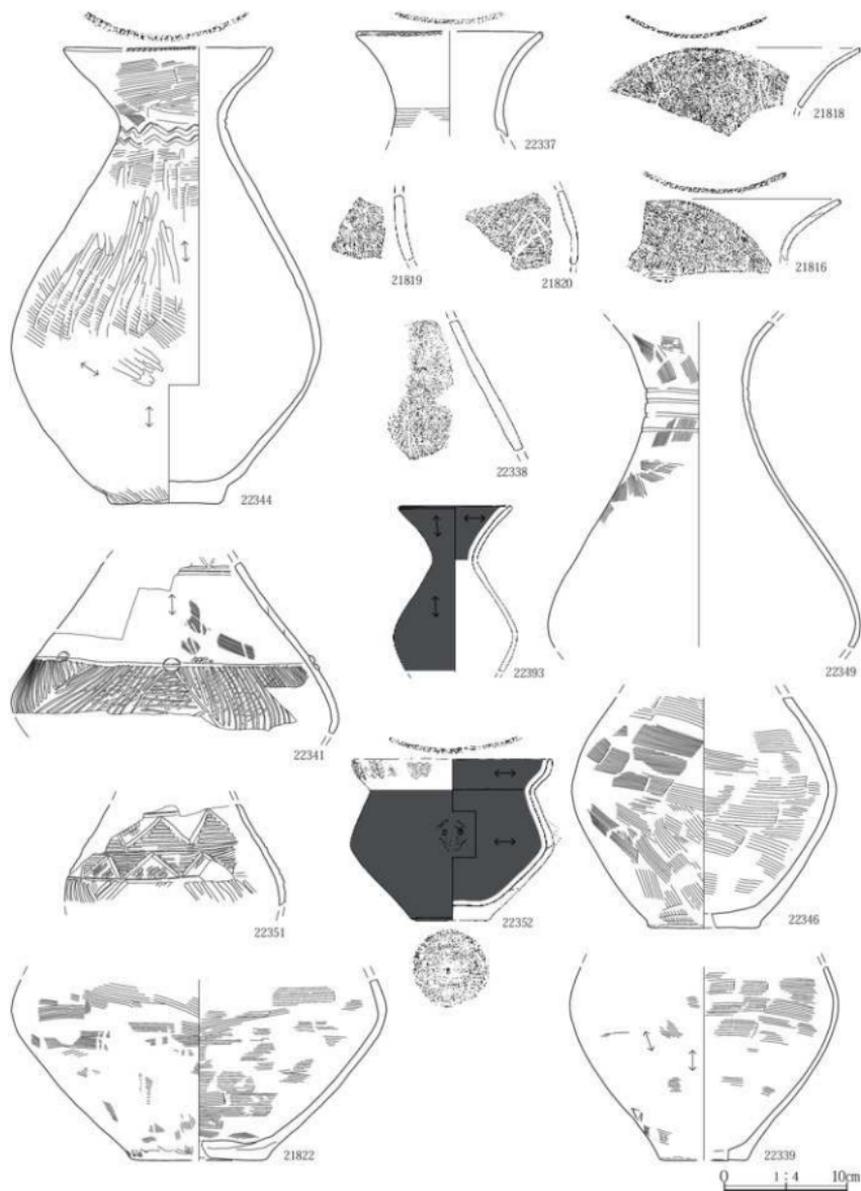
第339図 6区46・47・48号竪穴建物出土弥生土器



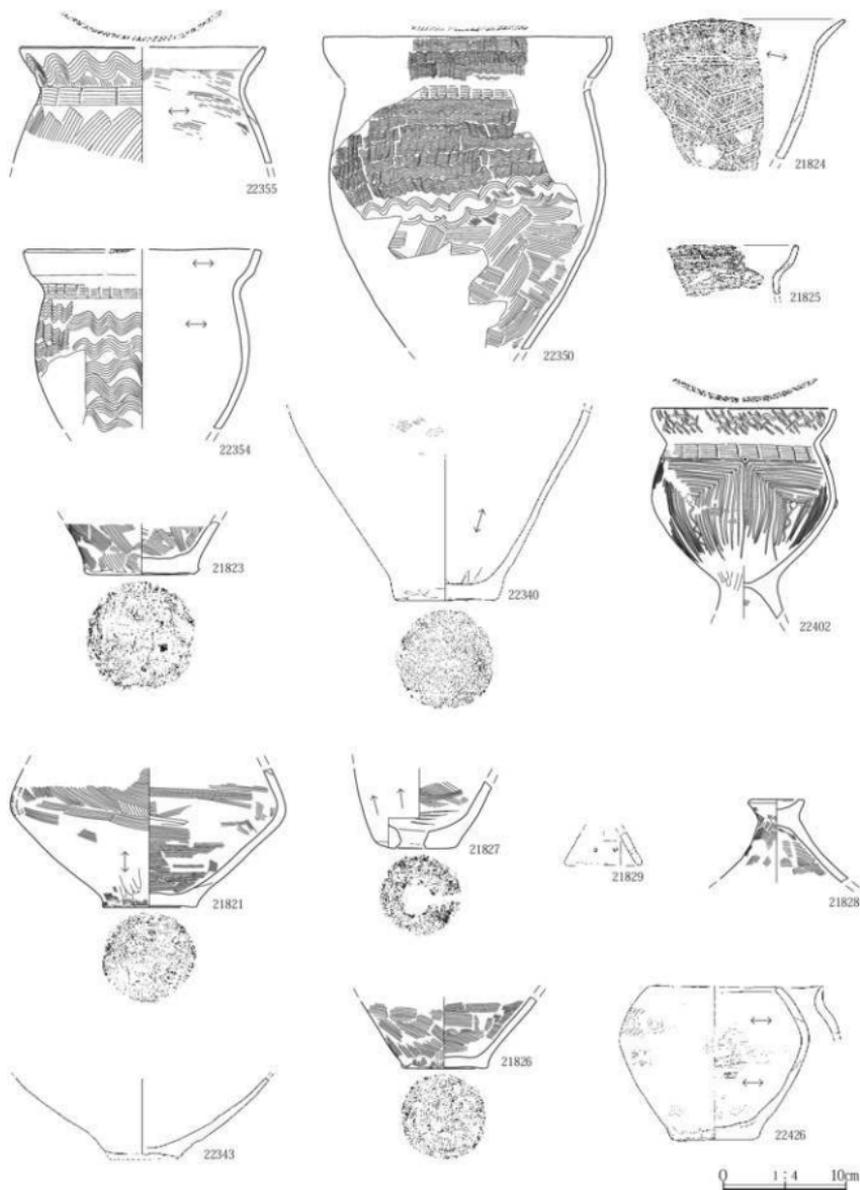
第340图 6区48号竖穴建物出土弥生土器2



第341图 6区49・50号竪穴建物出土弥生土器



第342图 6区50号竖穴建物出土弥生土器2



第343图 6区50号竖穴建物出土弥生土器3

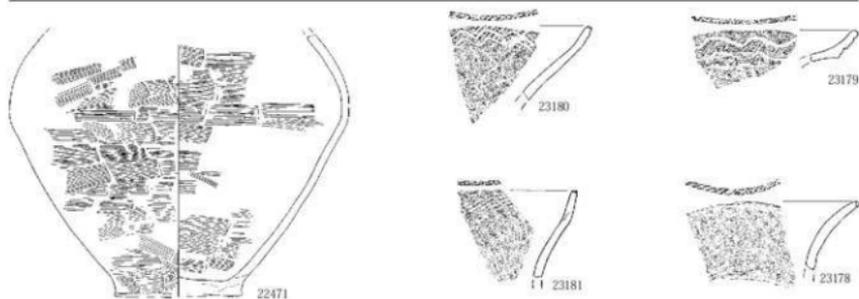
遺物実測図



51号竪穴



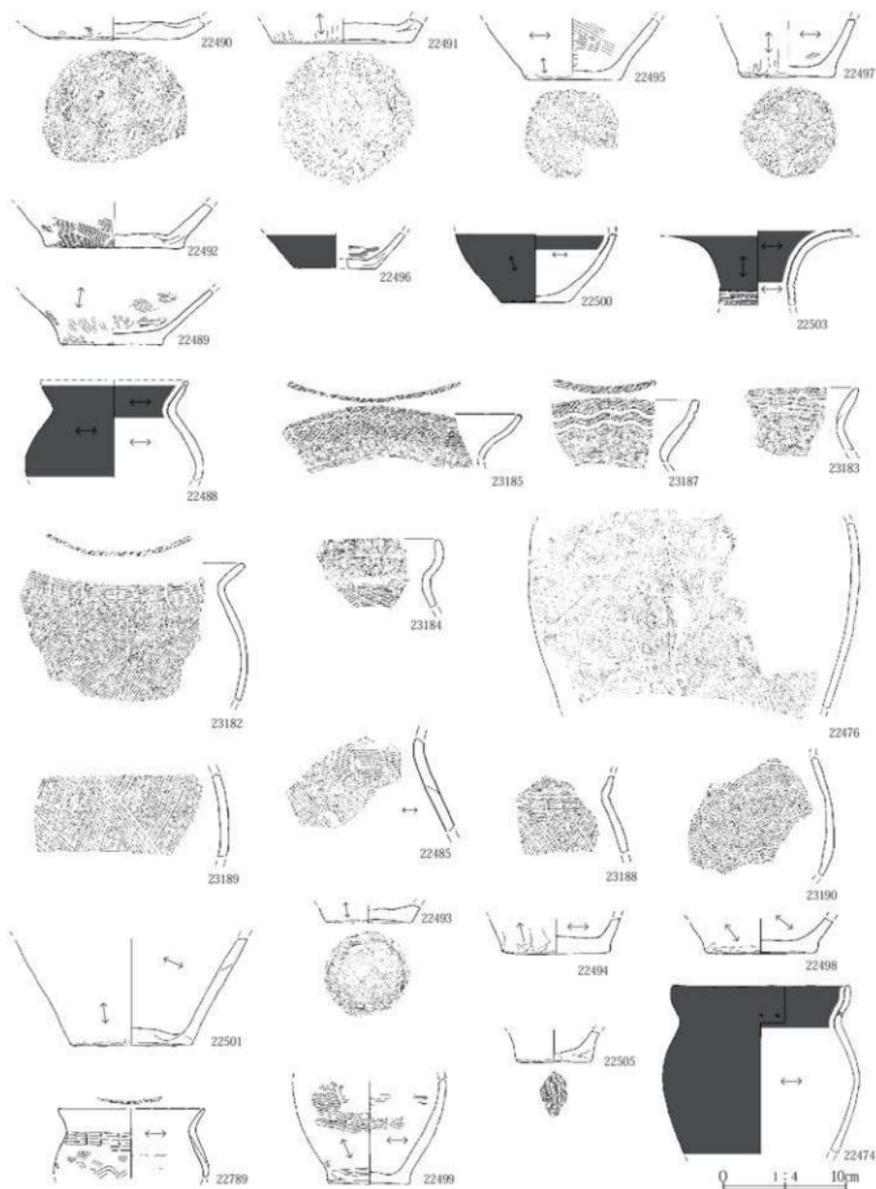
53号竪穴



54号竪穴

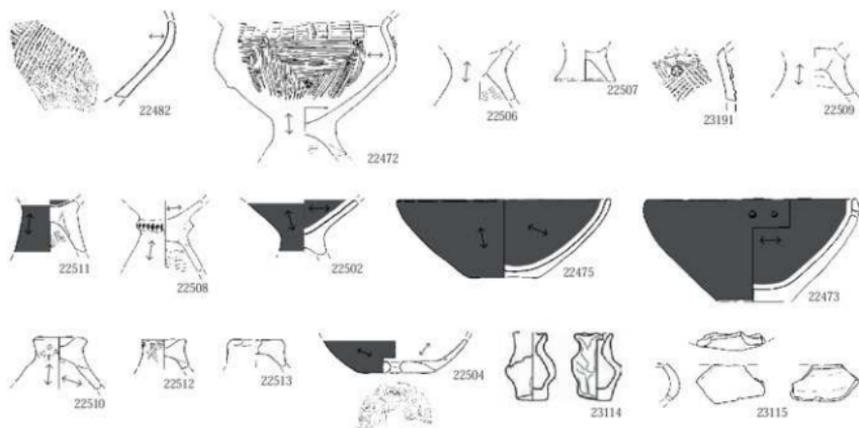


第344图 6区北地区51・53・2区北地区54号竪穴建物出土弥生土器

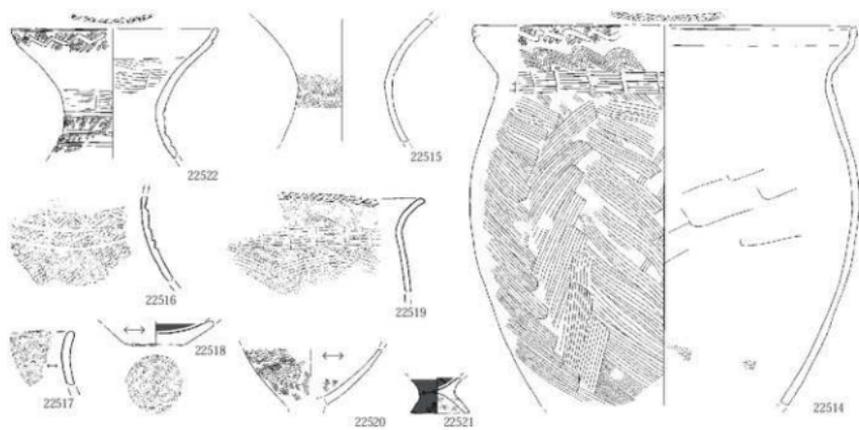


第345图 2区北地区54号竖穴建物出土弥生土器2

遺物実測図



54号竪穴



55号竪穴

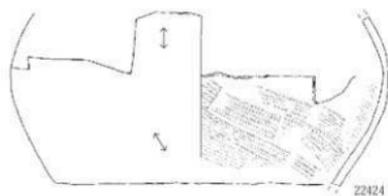
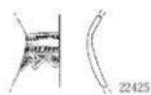


56号竪穴

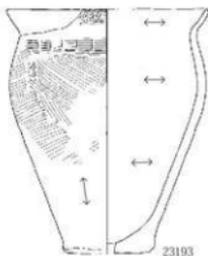
57号竪穴

0 1:4 10cm

第346図 2区北地区54・55・56号・6区57号竪穴建物出土弥生土器



1号埋藏



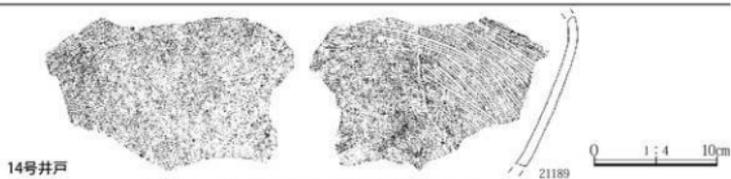
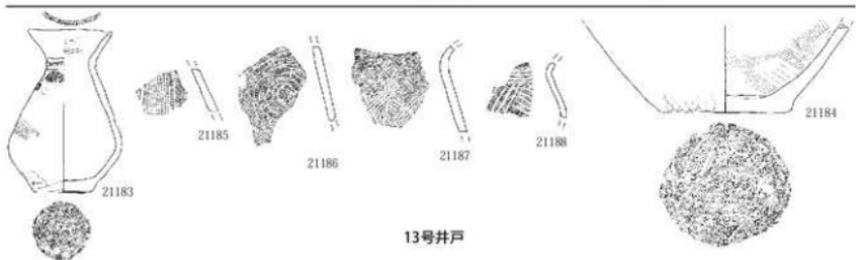
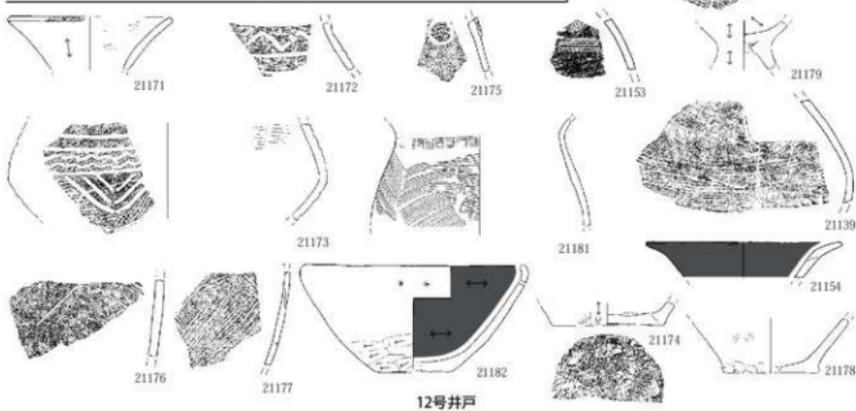
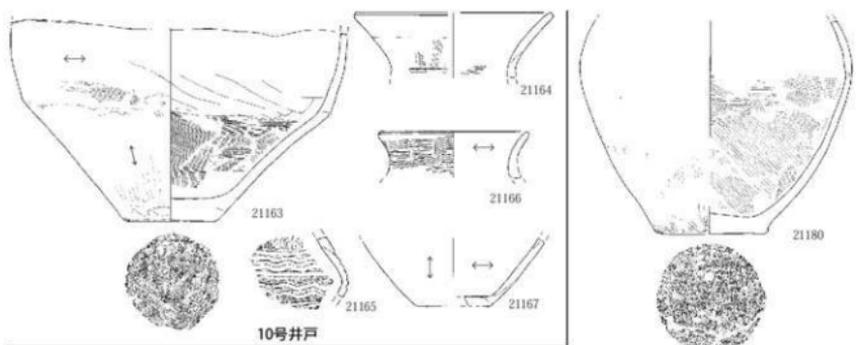
4号埋藏



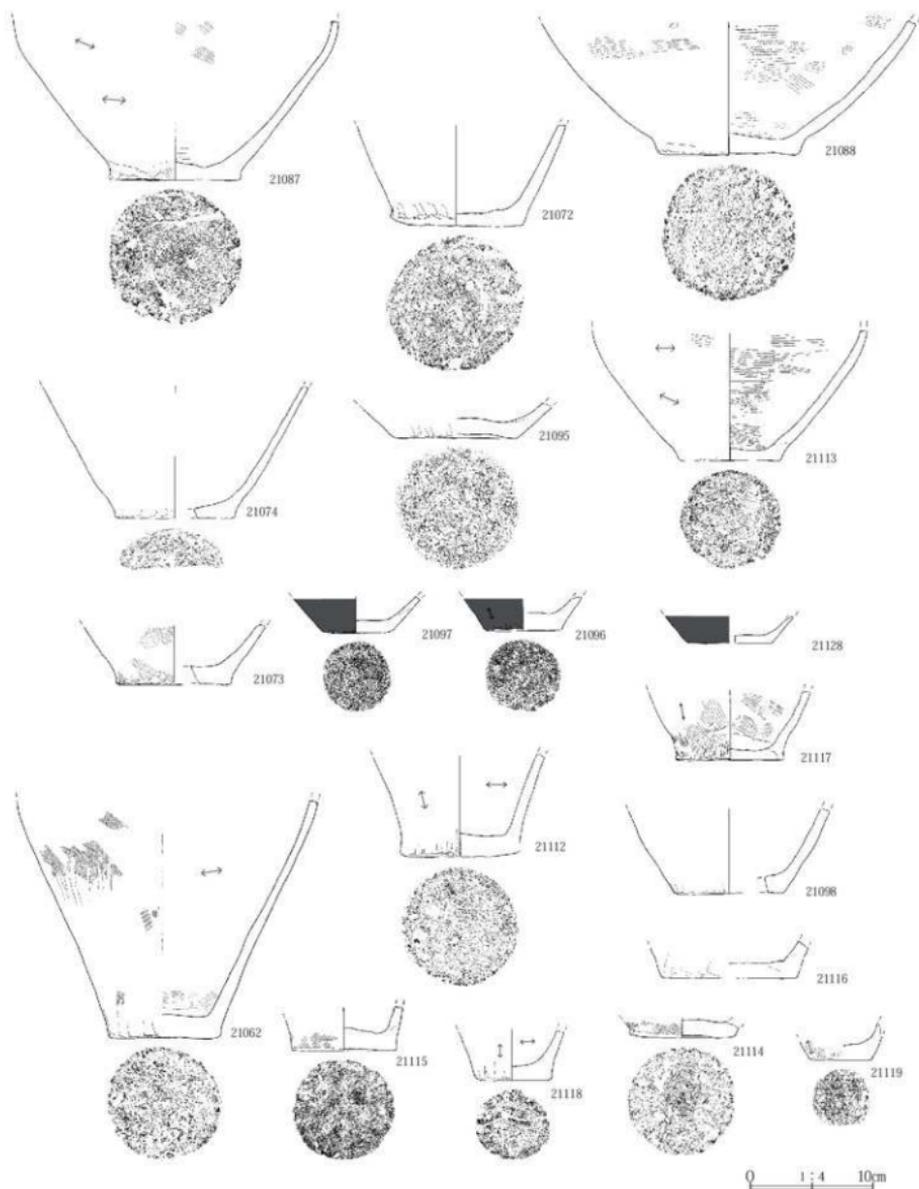
10号掘立柱建物

0 1:4 10cm

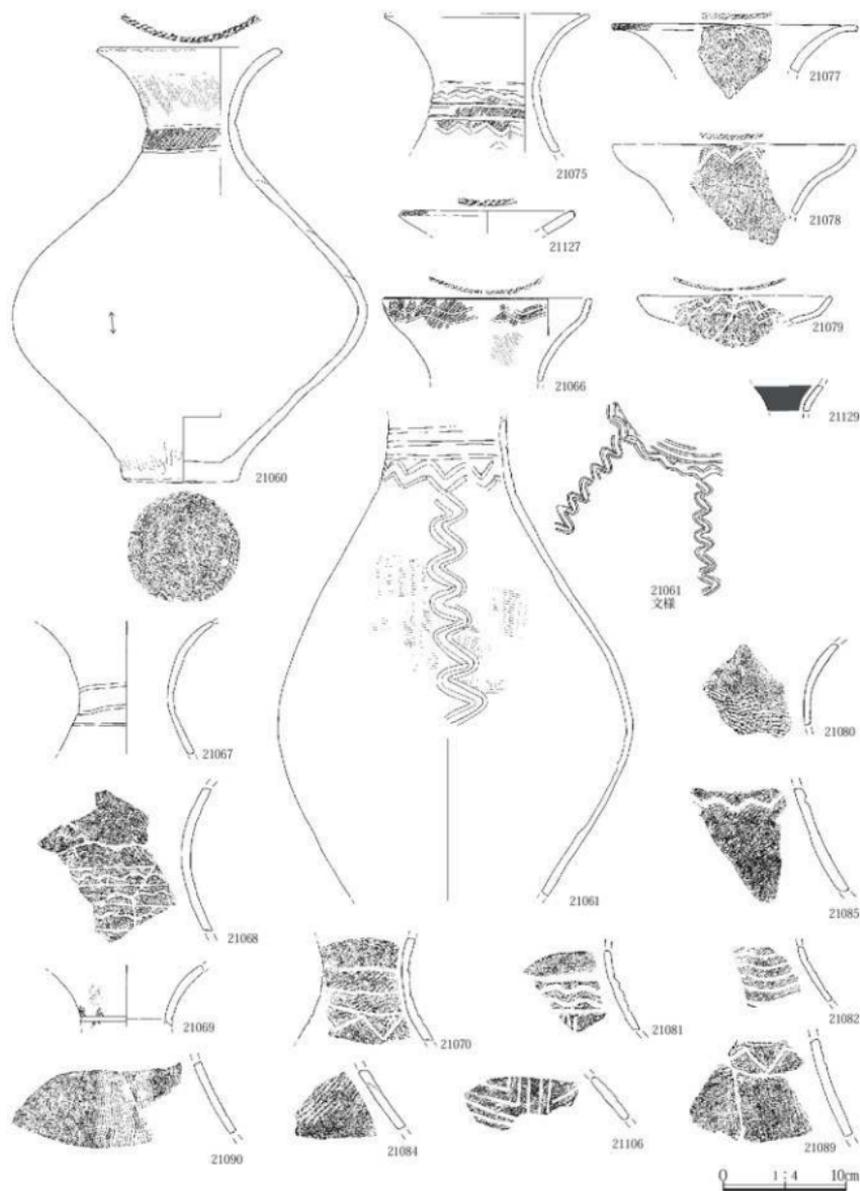
第347图 6区1・4号埋藏、10号掘立柱建物出土弥生土器



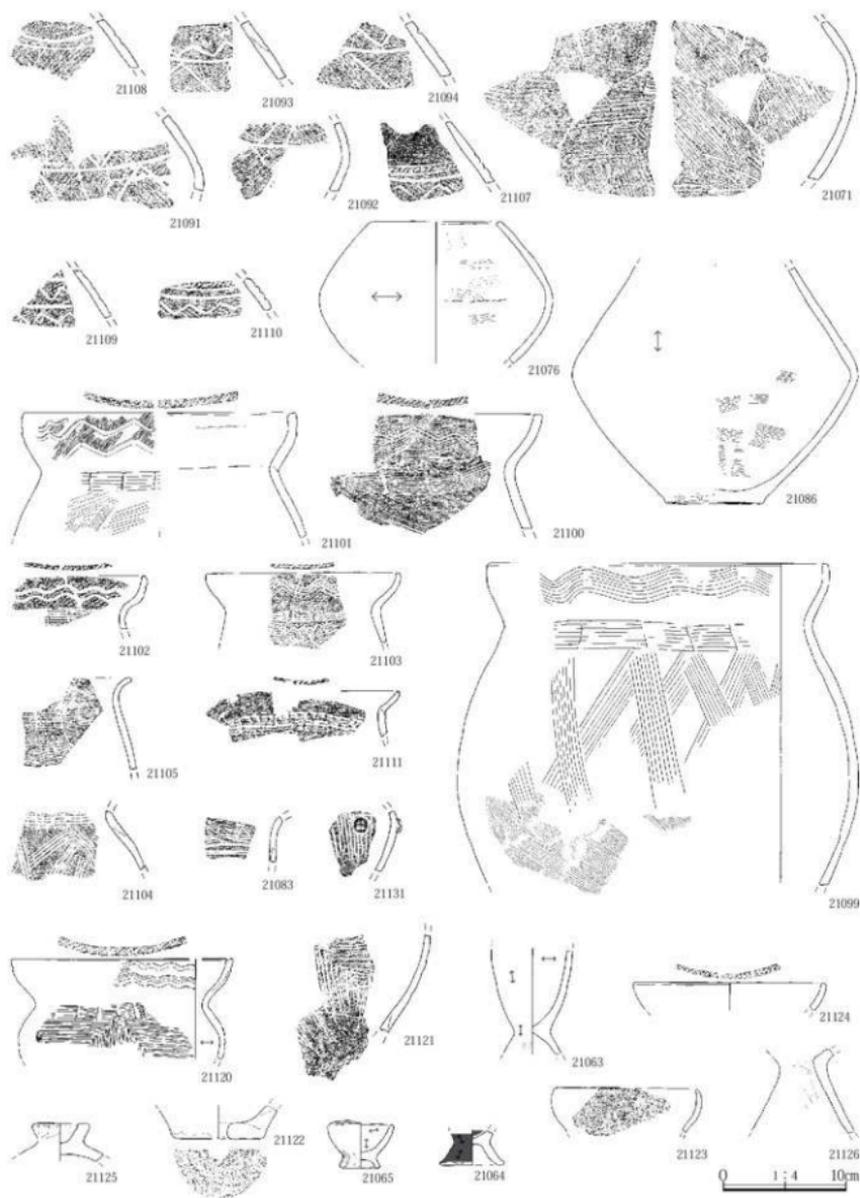
第348図 2区10・12・13・14号井戸出土弥生土器



第349图 2区69号土坑出土弥生土器1

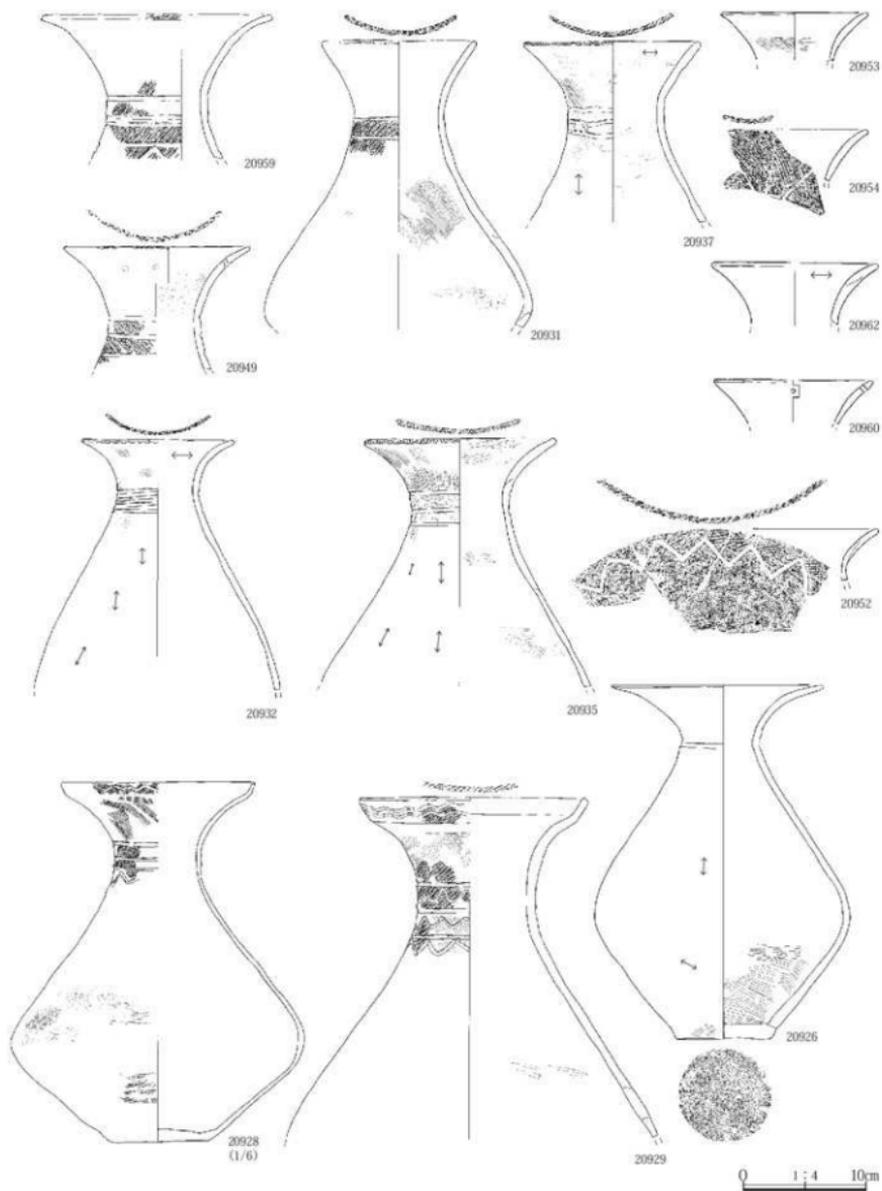


第350图 2区69号土坑出土弥生土器2

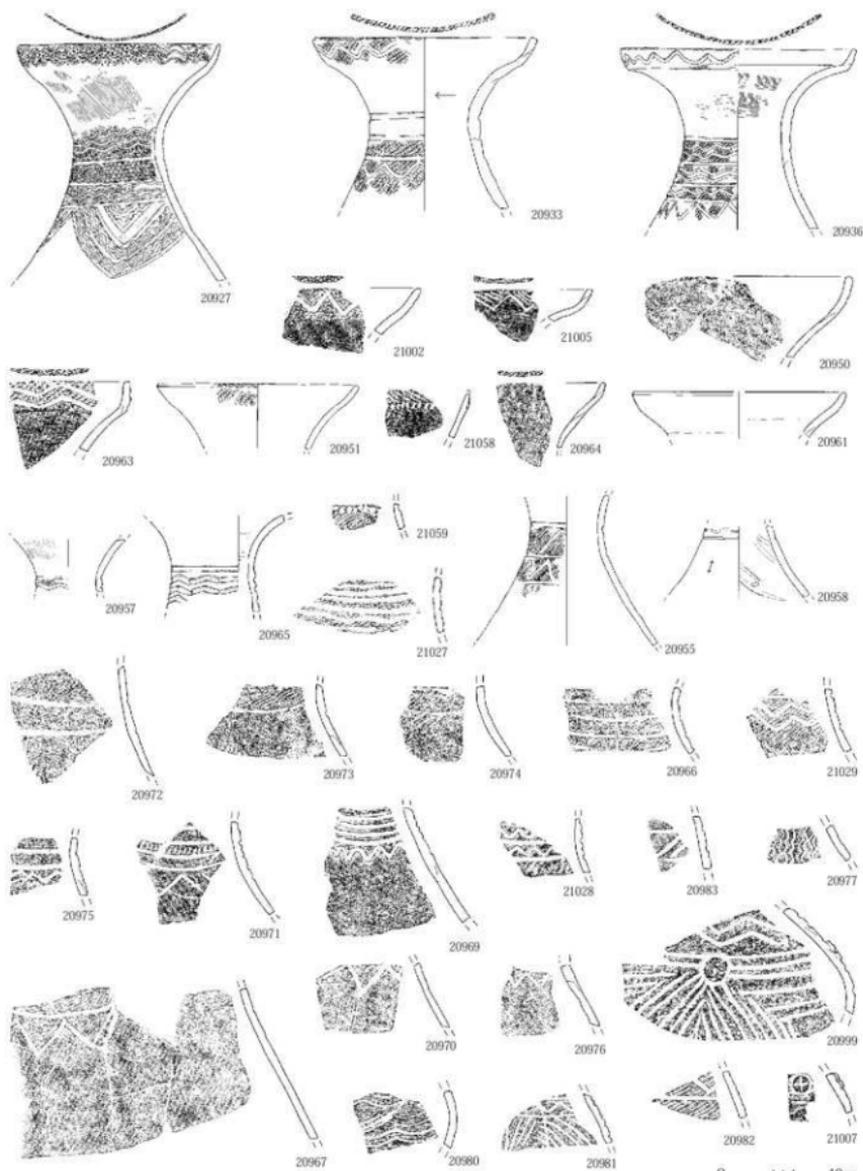


第351图 2区69号土坑出土弥生土器3

遺物実測図

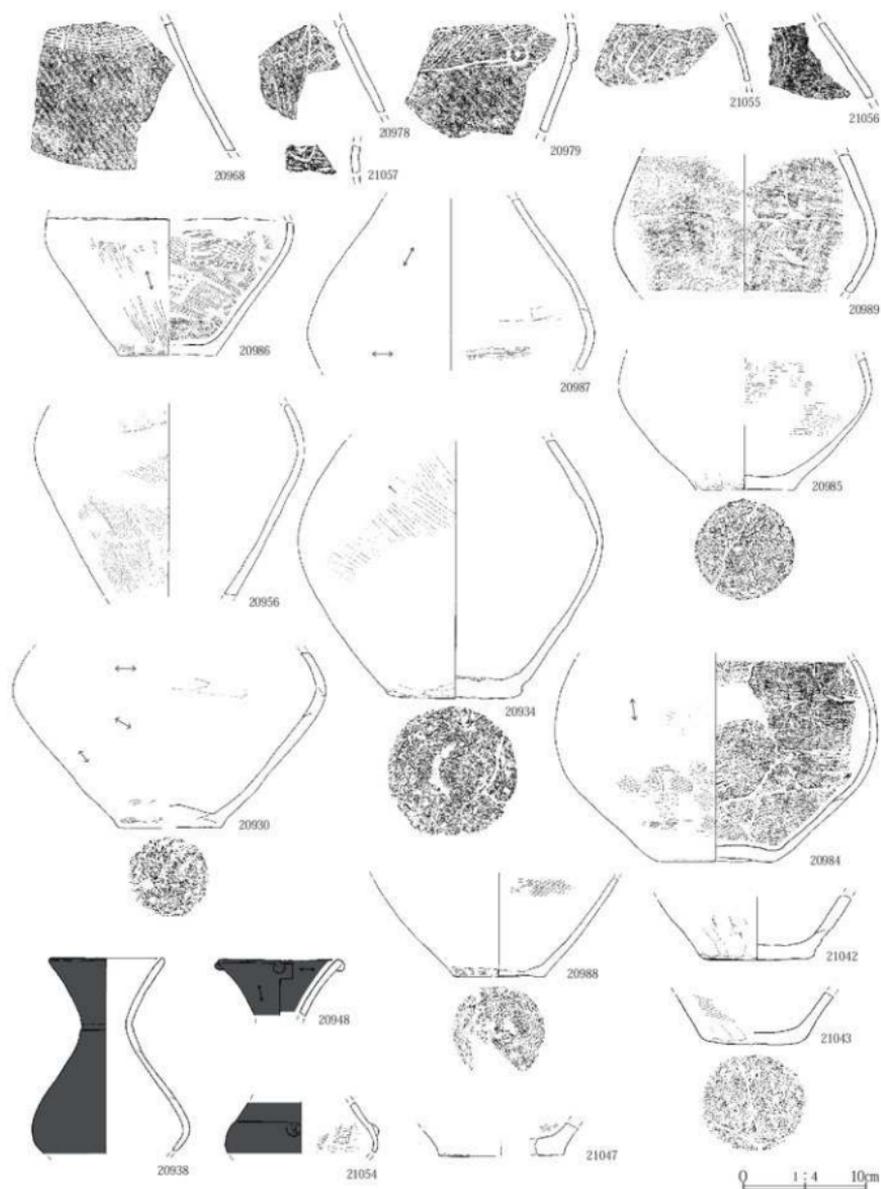


第352図 2区70号土坑出土弥生土器1



第353图 2区70号土坑出土弥生土器2

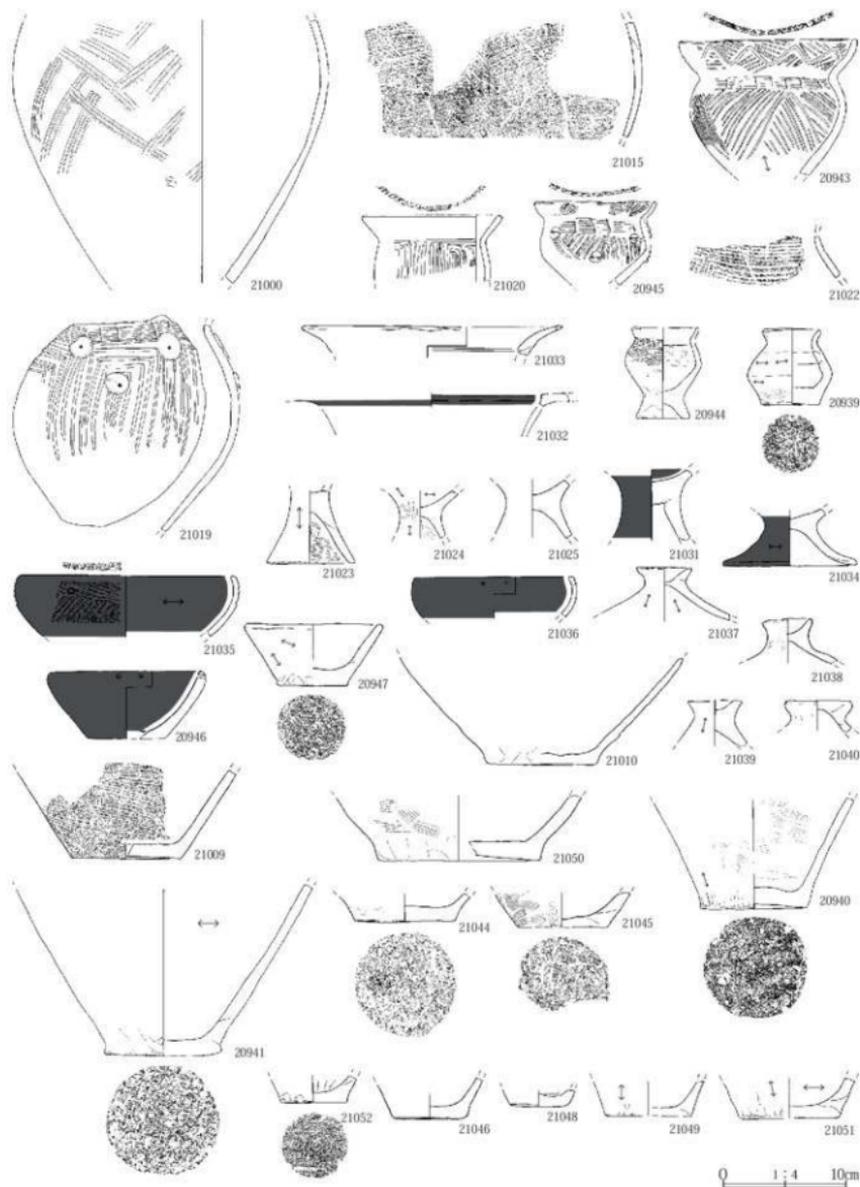
遺物実測図



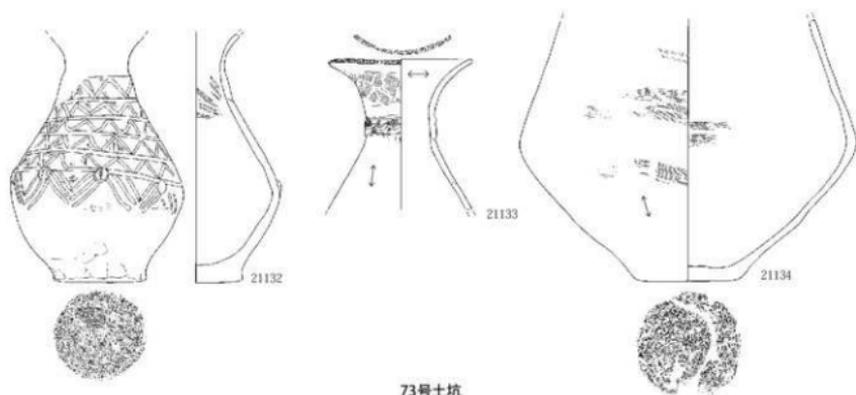
第354図 2区70号土坑出土弥生土器3



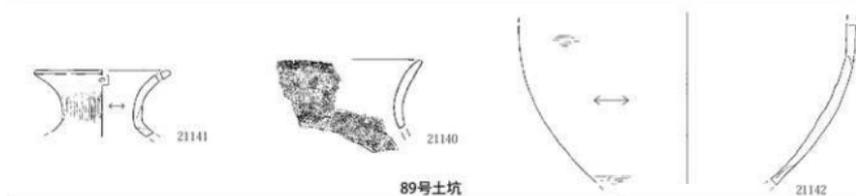
第355图 2区70号土坑出土弥生土器4



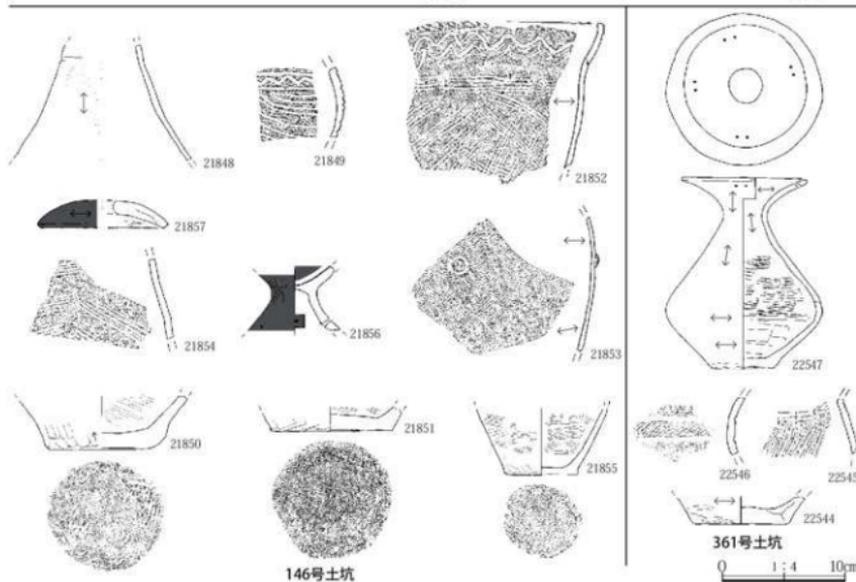
第356图 2区70号土坑出土弥生土器5



73号土坑



89号土坑

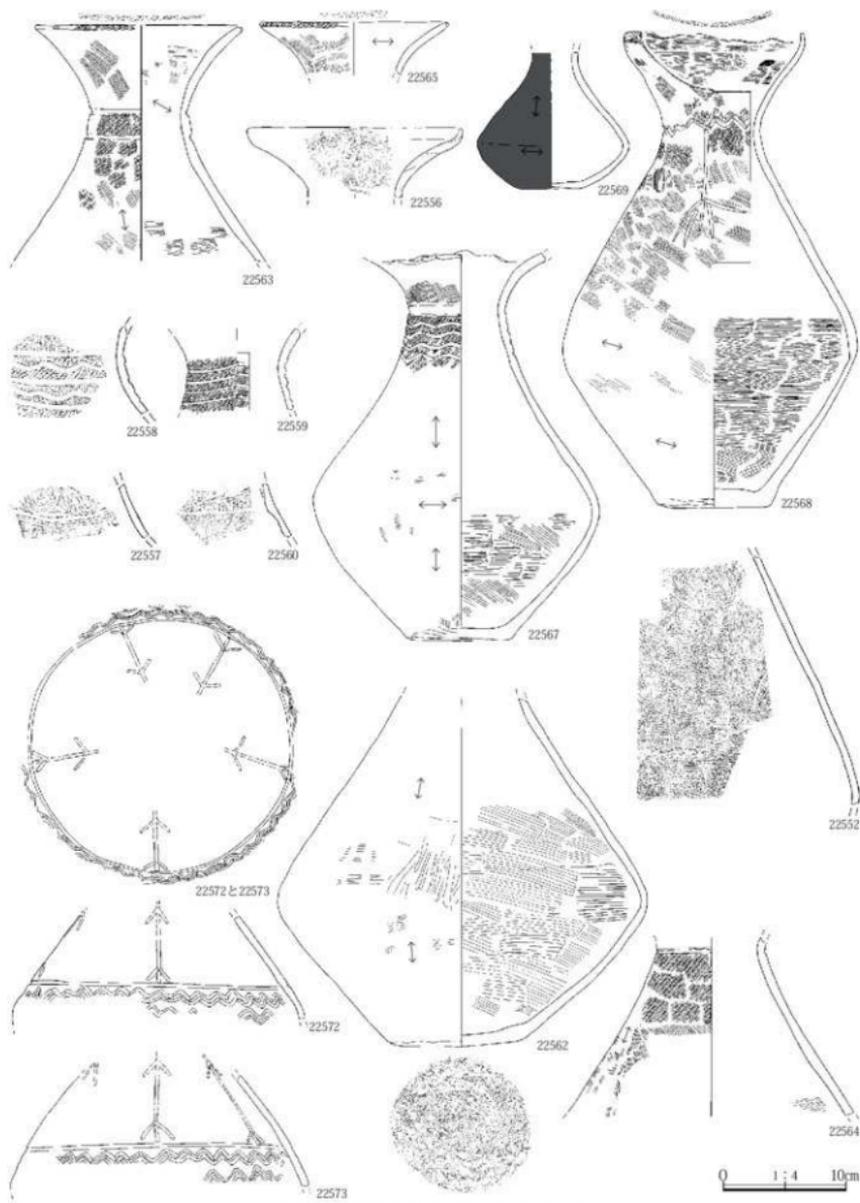


146号土坑

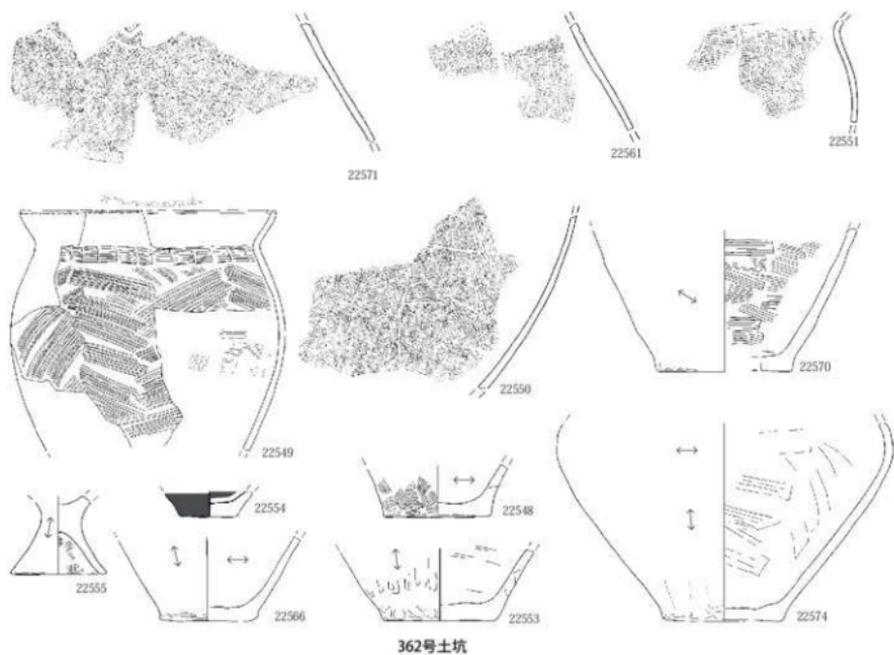
361号土坑

0 1 4 10cm

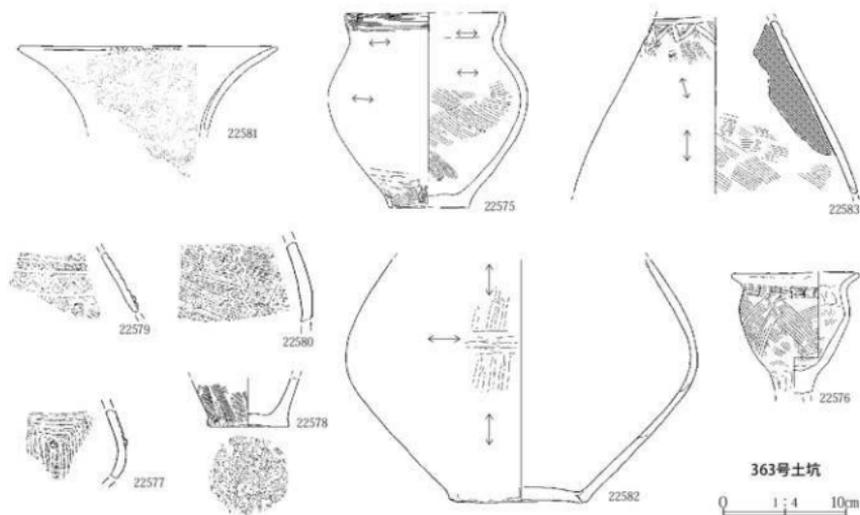
第357图 2区73·89号·6区146号·2区北地区361号土坑出土弥生土器



第358図 2区北地区362号土坑出土弥生土器



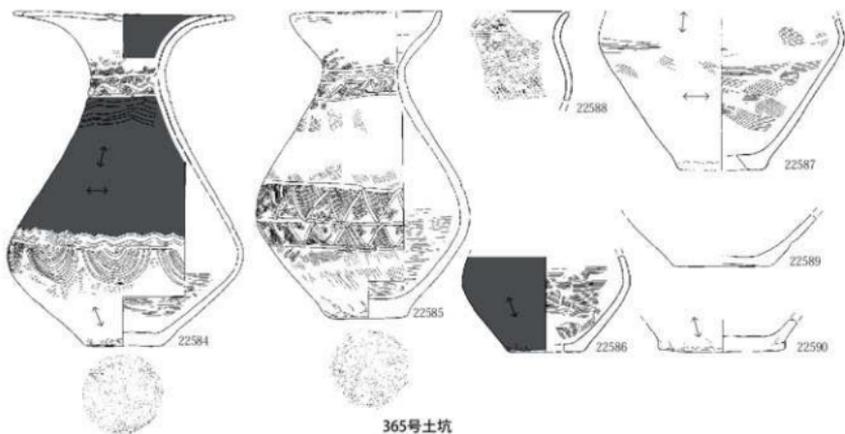
362号土坑



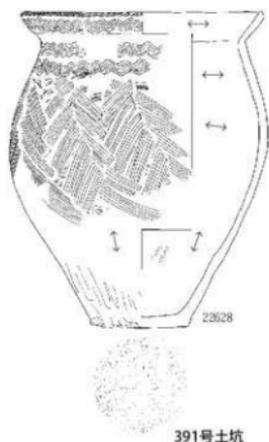
363号土坑

第359図 2区北地区362・363号土坑出土弥生土器

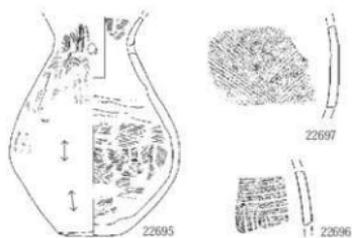
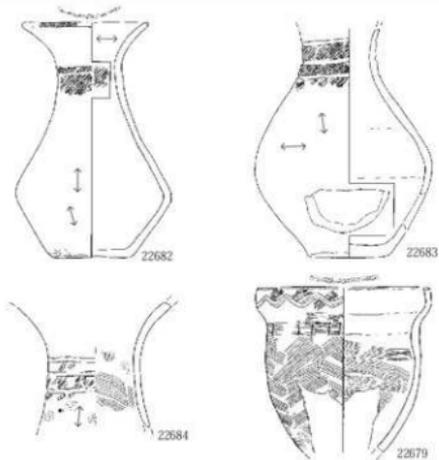
遺物実測図



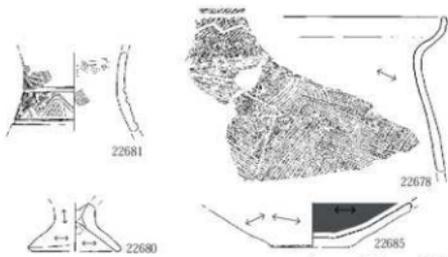
365号土坑



391号土坑

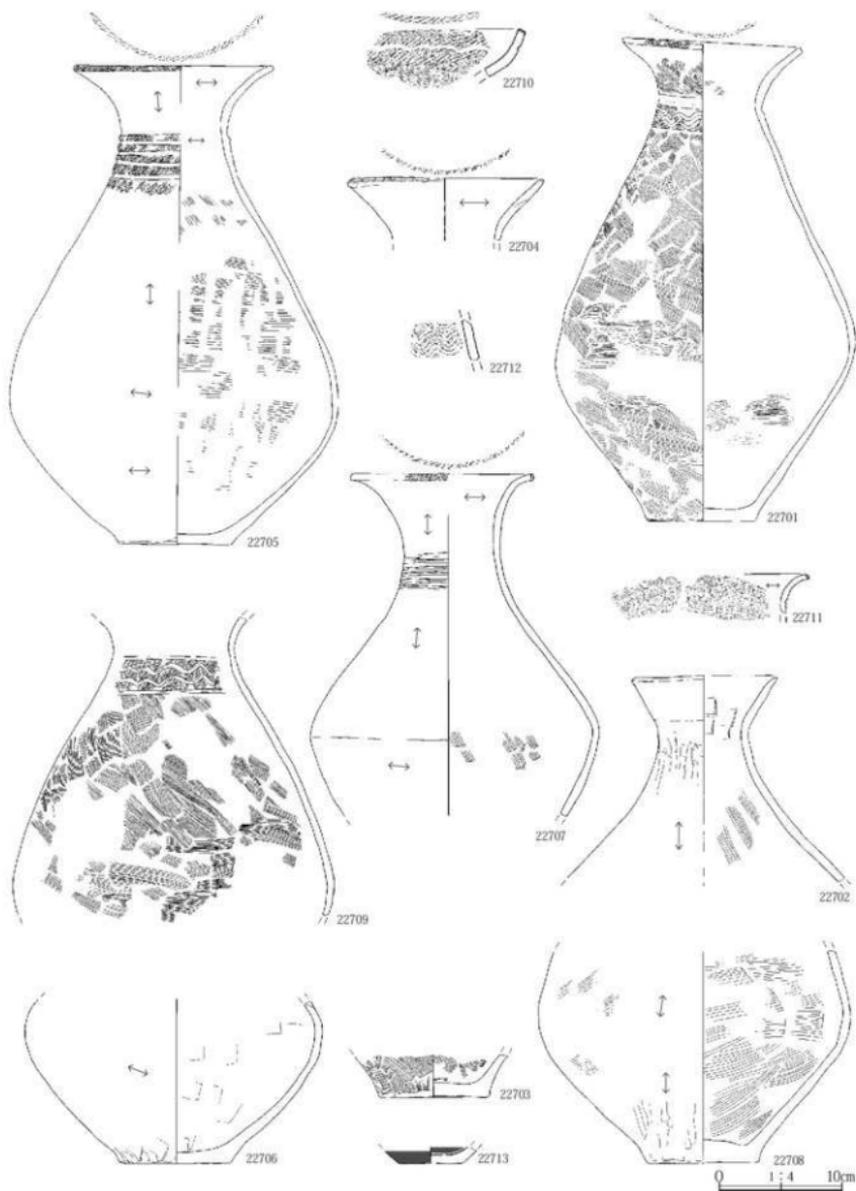


497号土坑

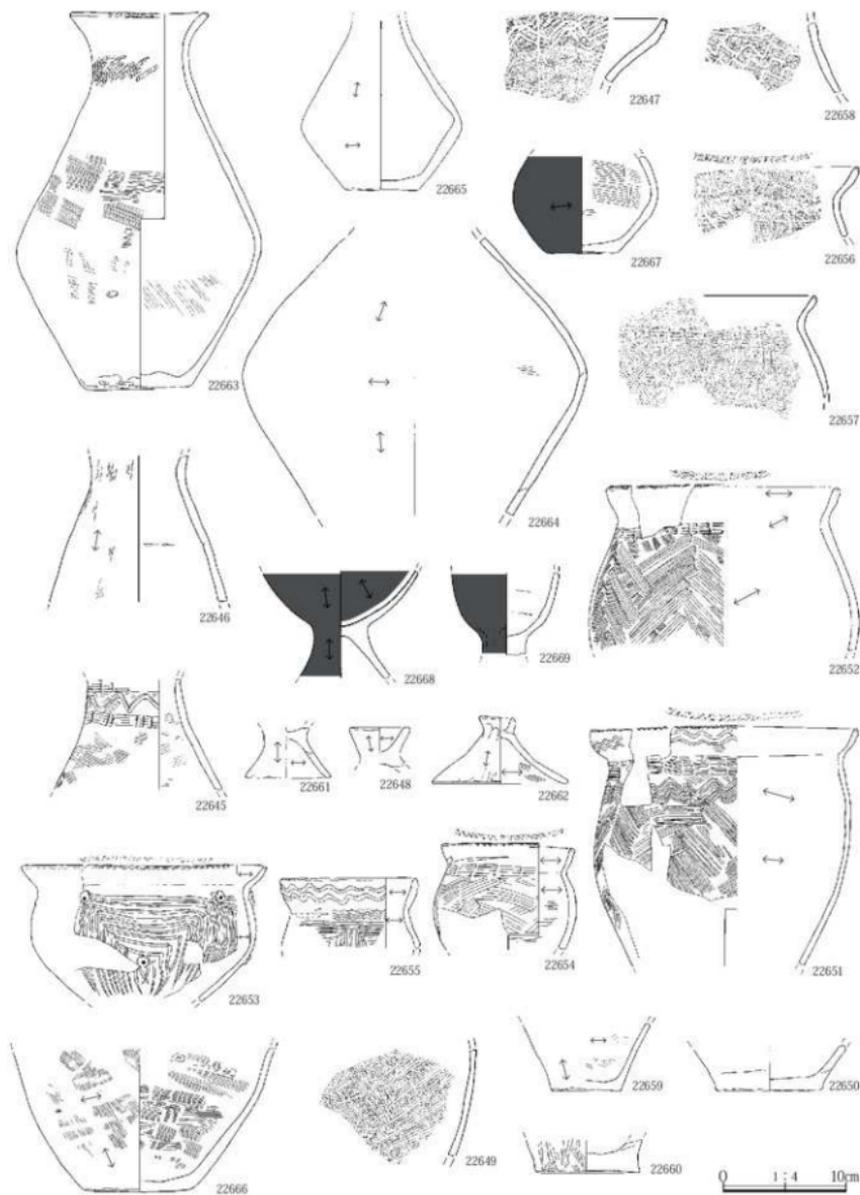


446号土坑

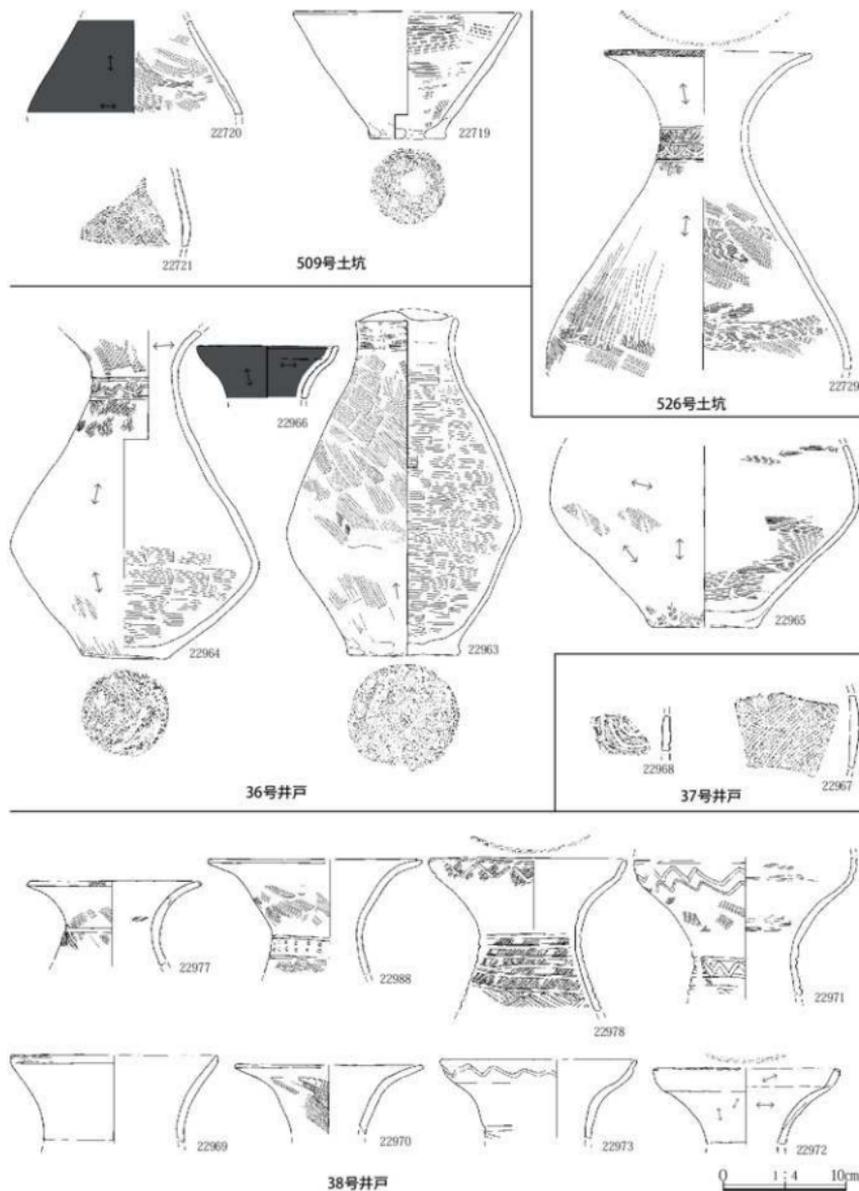
第360图 2区北地区365・391・446・497号土坑出土弥生土器



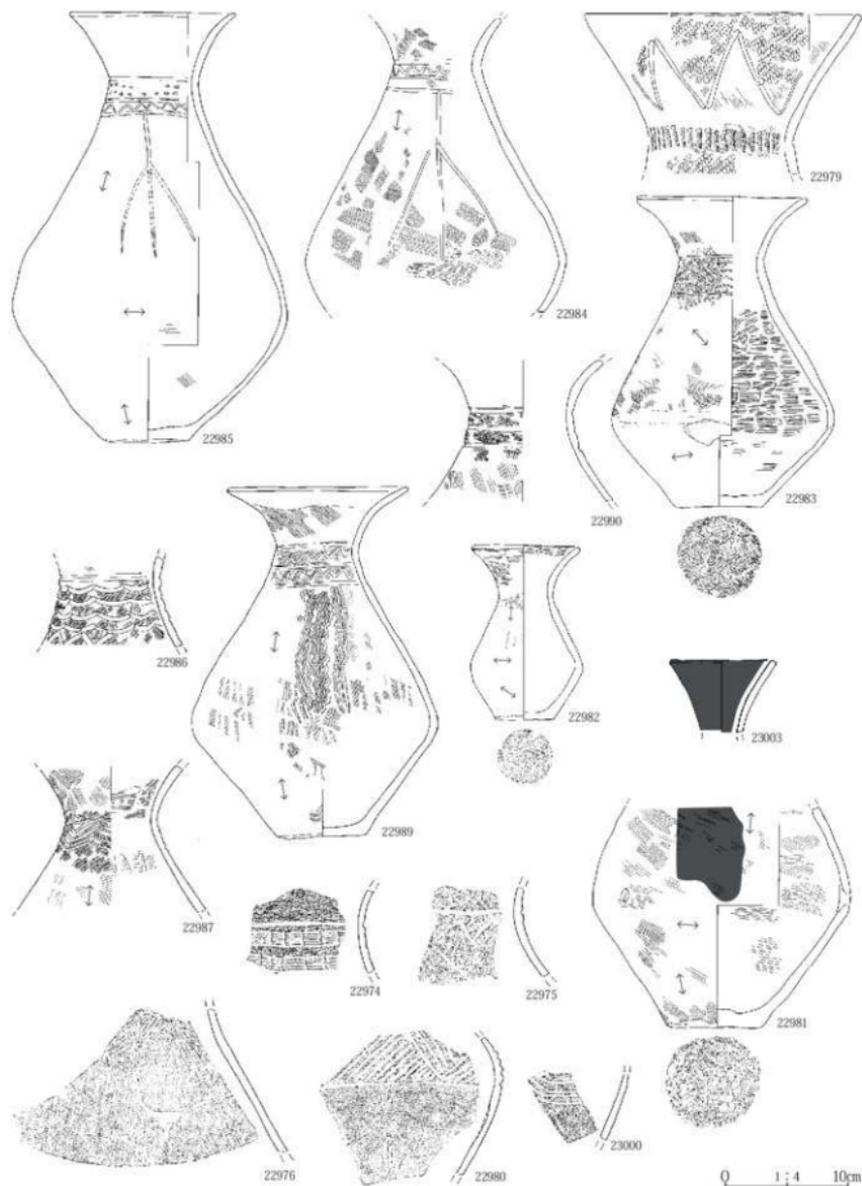
第361图 2区北地区505号土坑出土弥生土器



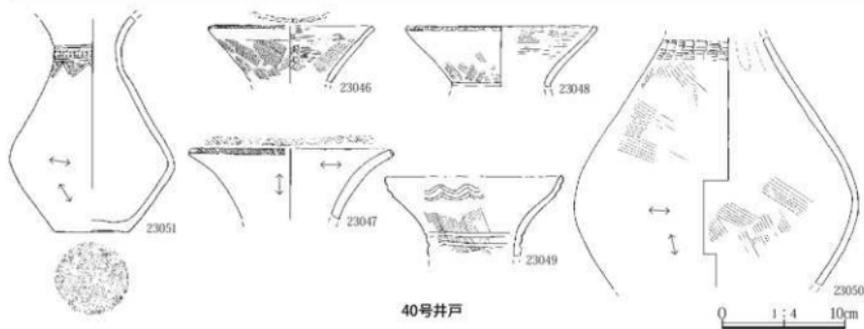
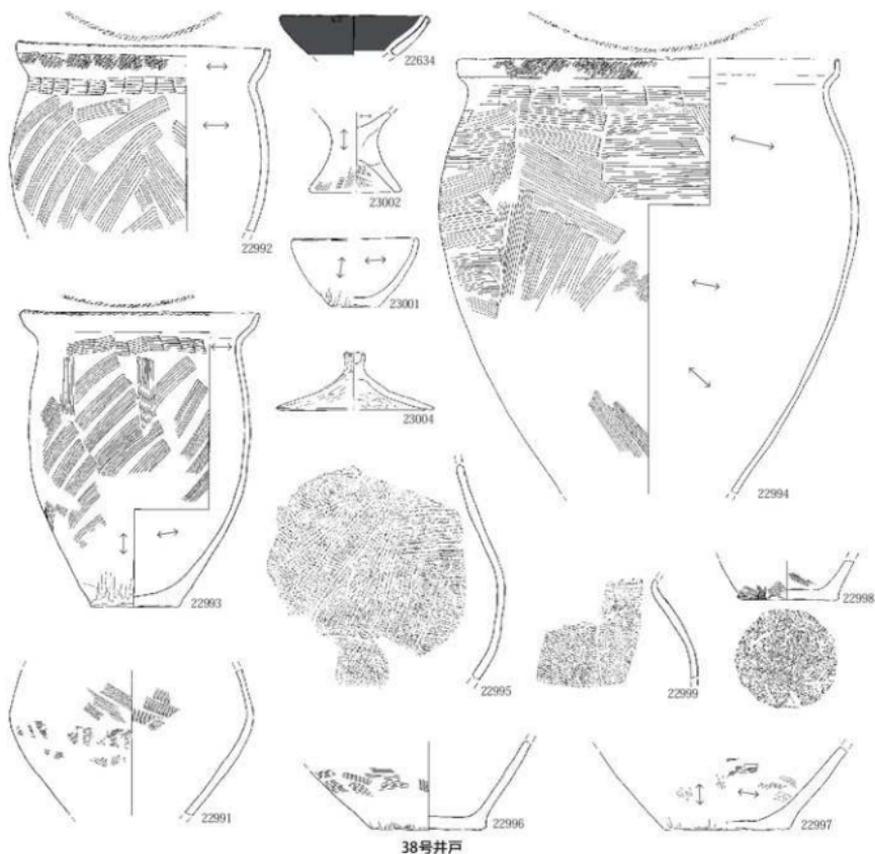
第362图 2区北地区438号土坑出土弥生土器



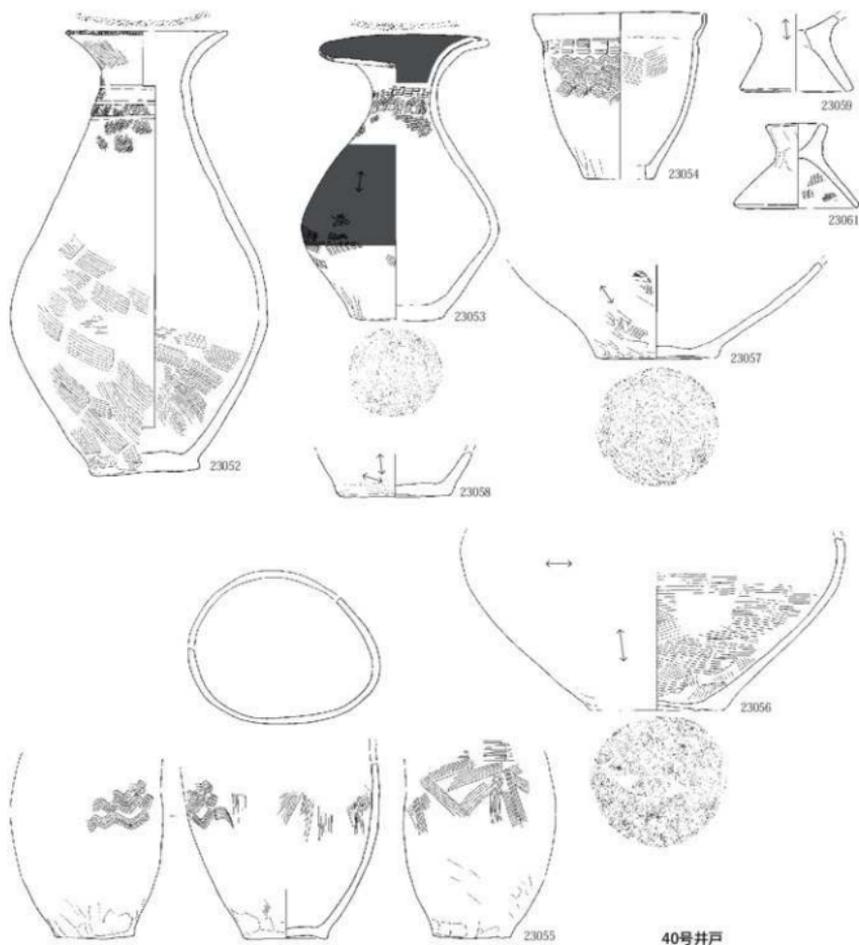
第363图 2区北地区509・526号土坑、6区北地区36・37・38号井戸出土弥生土器



第364图 6区北地区38号井戸出土弥生土器2



第365図 6区北地区38・40号井戸出土土器



40号井戸



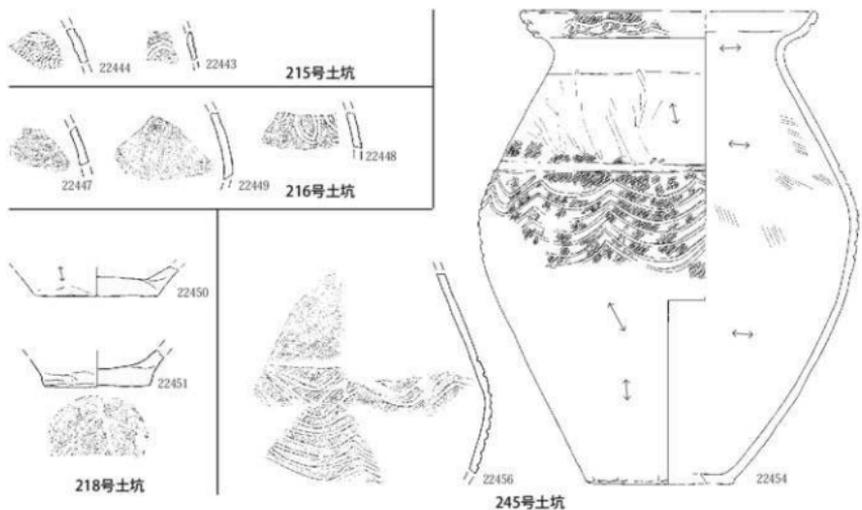
19号井戸



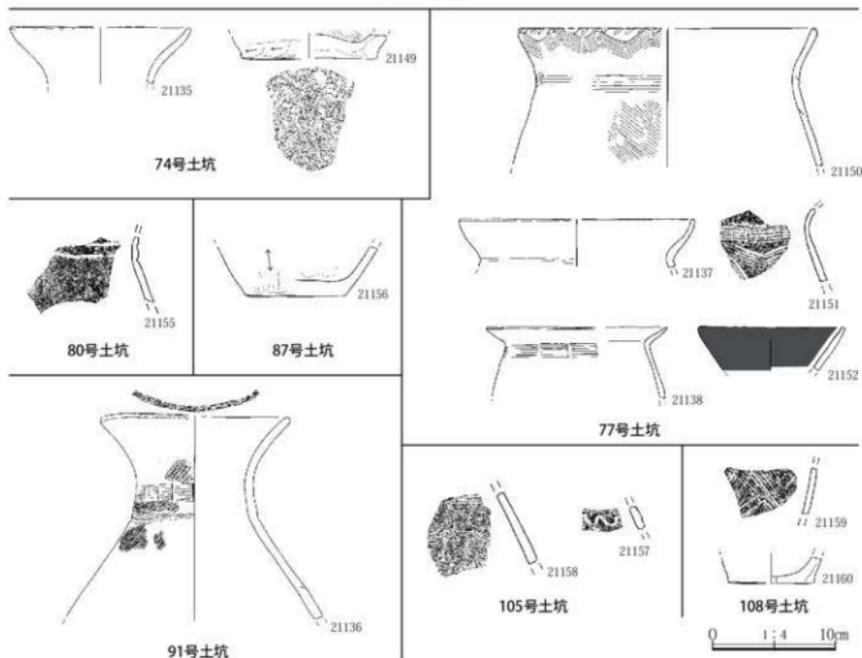
50号井戸



第366图 7区40号·1区19号·2区北地区50号井戸出土弥生土器



墓塚出土土器



第367图 墓塚出土弥生土器、2区74・77・80・87・91・105・108号土坑出土弥生土器

遺物実測図



21831

21830

21834

21832

21833

127号土坑



21844

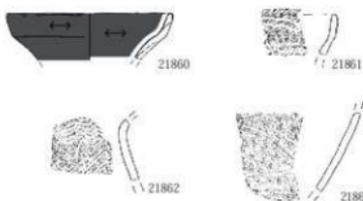
21843

21846

21847

21845

145号土坑



21860

21861

21862

21863

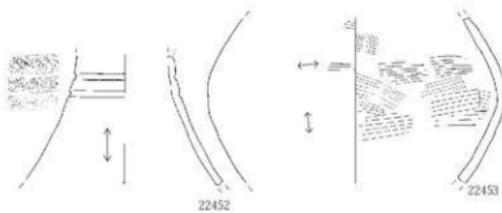
158号土坑



21869

21870

160号土坑



22452

22453

241号土坑



21835

21836

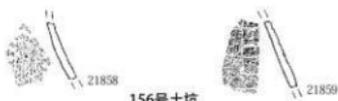
134号土坑



21840

21841

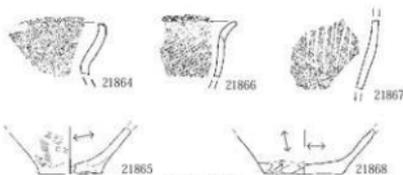
142号土坑



21858

21859

156号土坑



21864

21866

21867

21865

21868

159号土坑



22445

22446

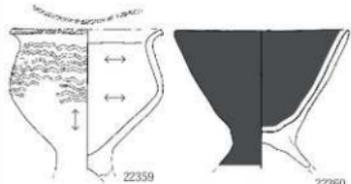
195号土坑



22458

22457

23145



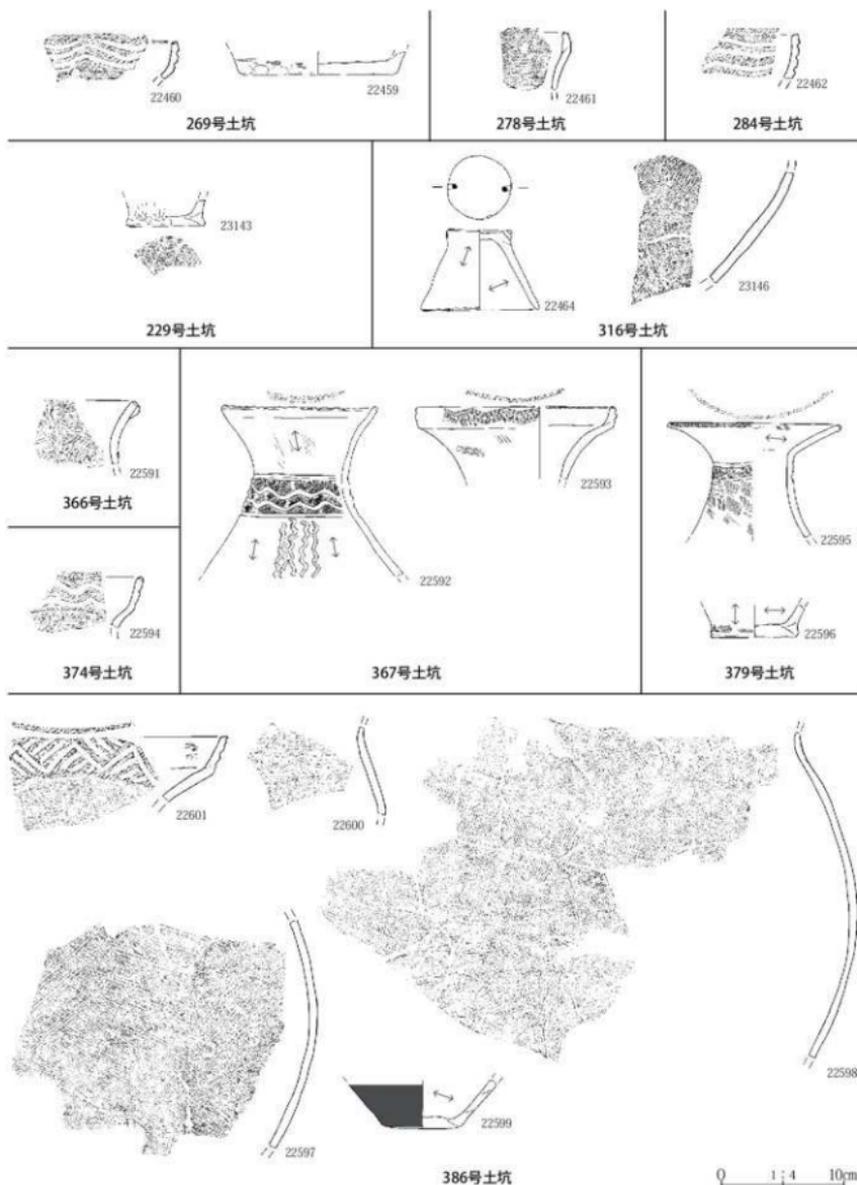
22359

22360

249号土坑

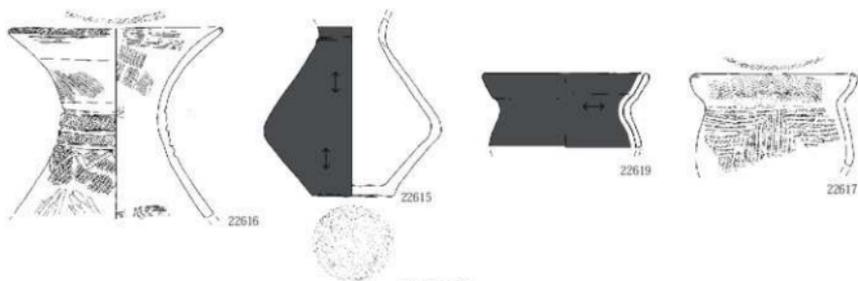
0 1:4 10cm

第368图 6区127・134・142・145・156・158・159・160号・1区南地区195・241・249号土坑出土弥生土器

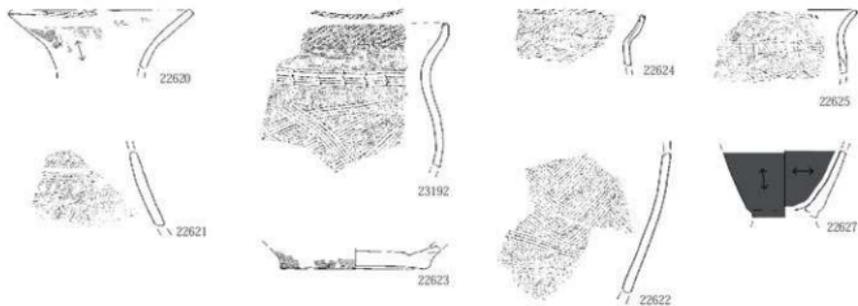


第369图 1区南地区229·269·278·284号·1区北西地区316号·2区北地区366·367·374·379·386号土坑出土弥生土器

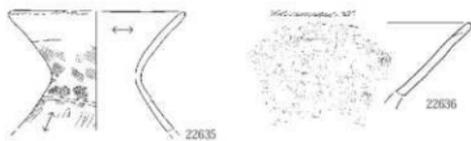
遺物実測図



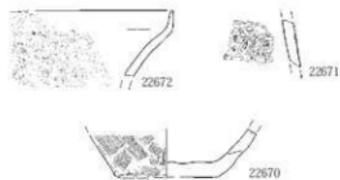
387号土坑



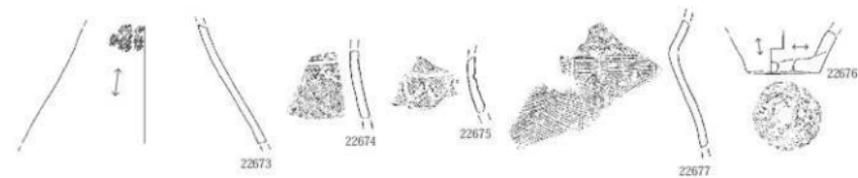
388号土坑



418号土坑

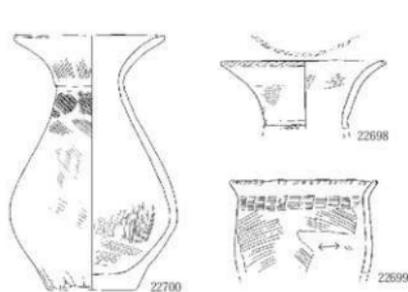
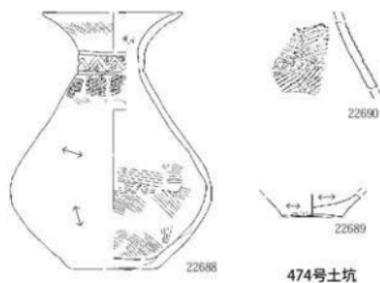


439号土坑

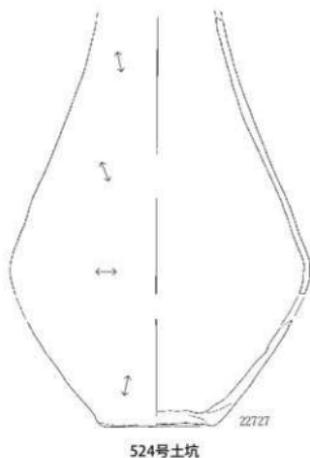
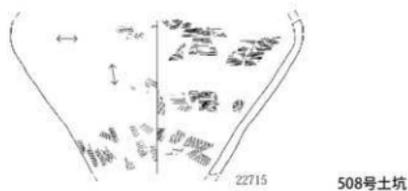
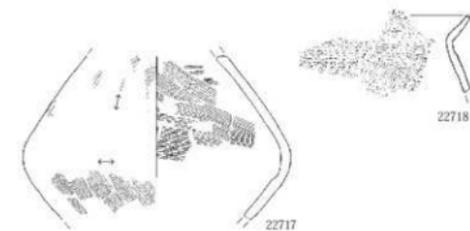
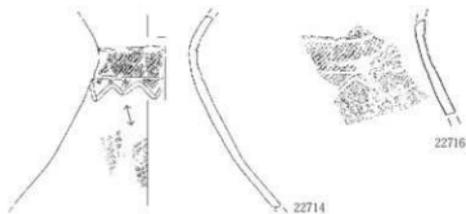
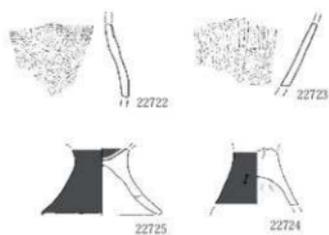


442号土坑





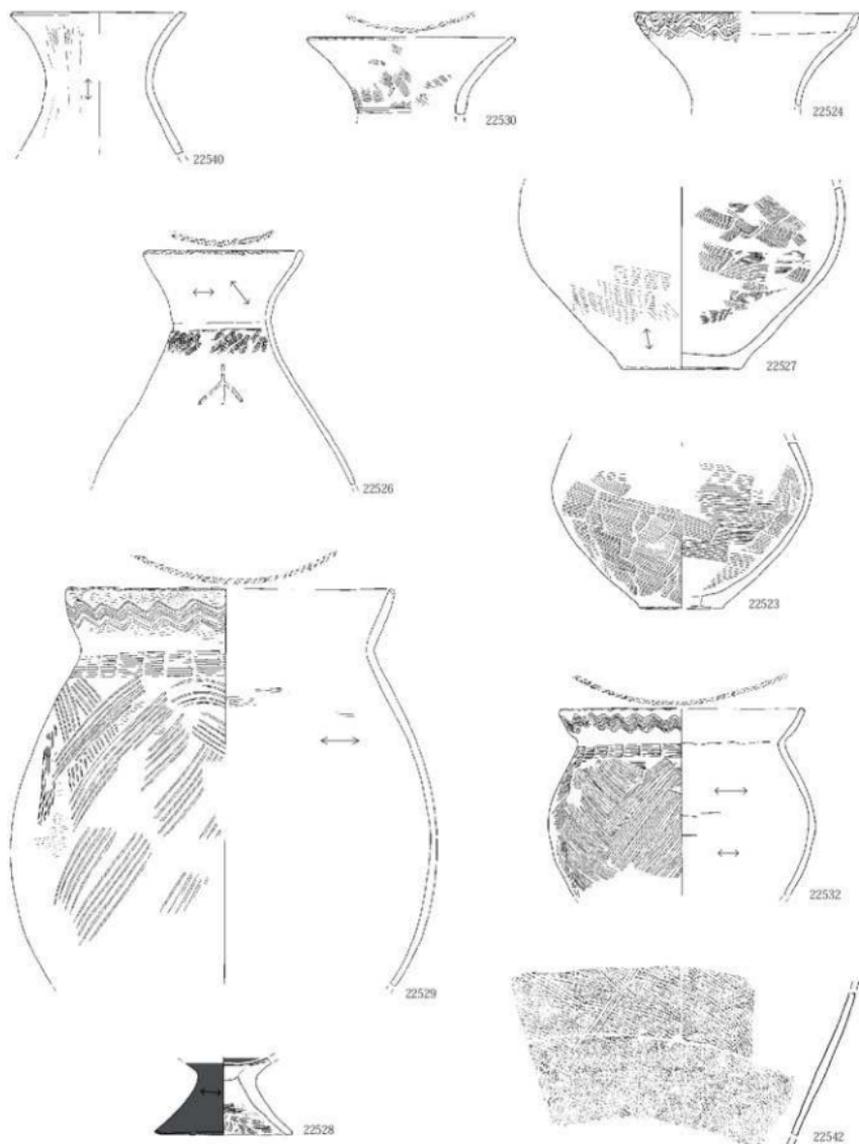
478号土坑



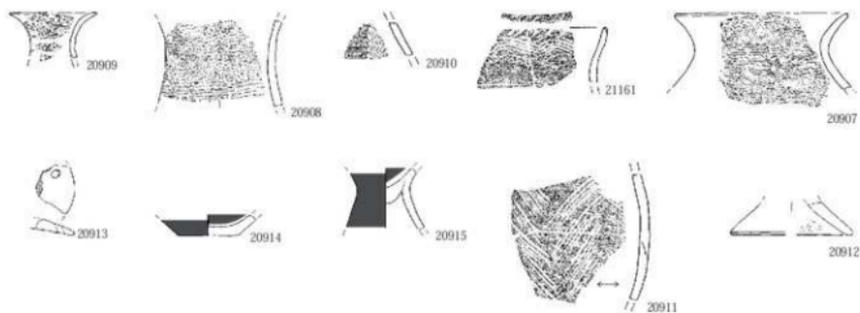
0 1:4 10m

第371图 2区北地区474・478・498・508・516・524号土坑出土弥生土器

器物实测图



第372图 2区北地区513号土坑出土弥生土器



97号溝



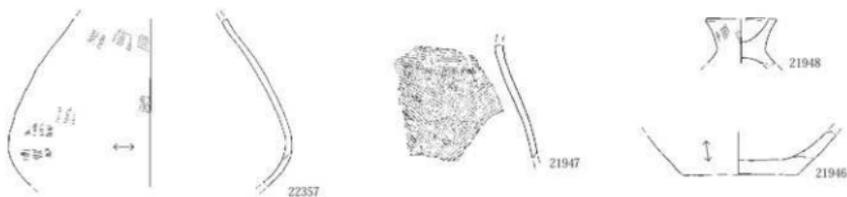
98号溝



100号溝



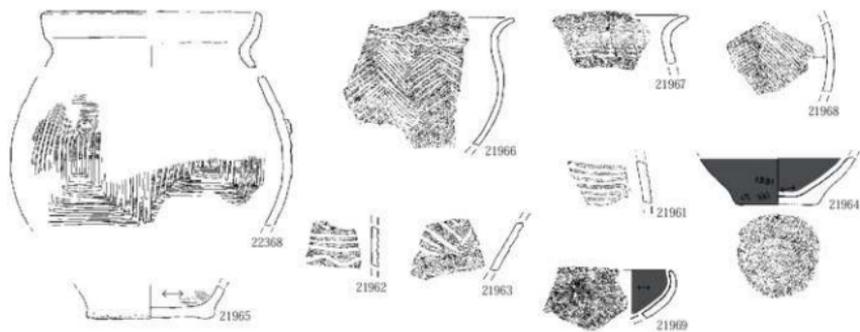
129号溝



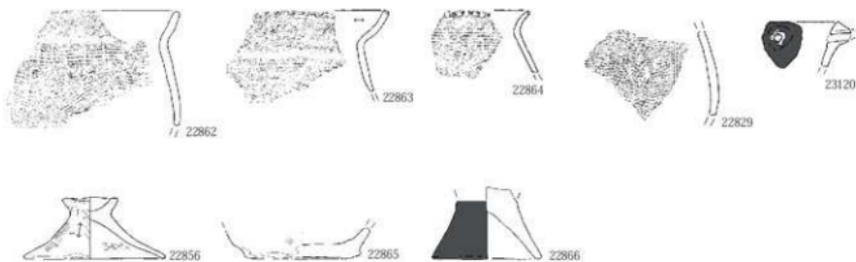
142号溝



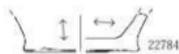
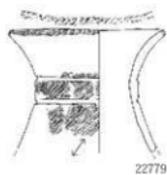
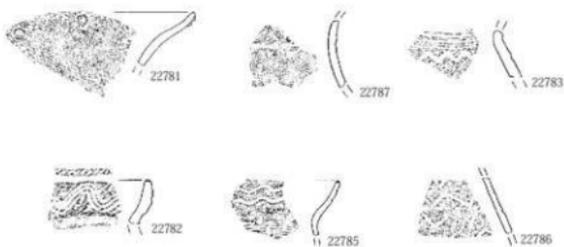
器物夹泥图



147号溝



298号溝



313号溝

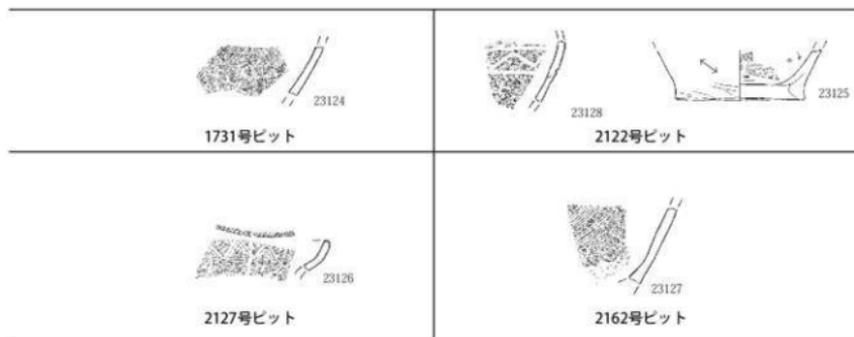
317号溝

0 1:4 10m

第374图 6区147号·2区北地区298·313·317号溝出土弥生土器



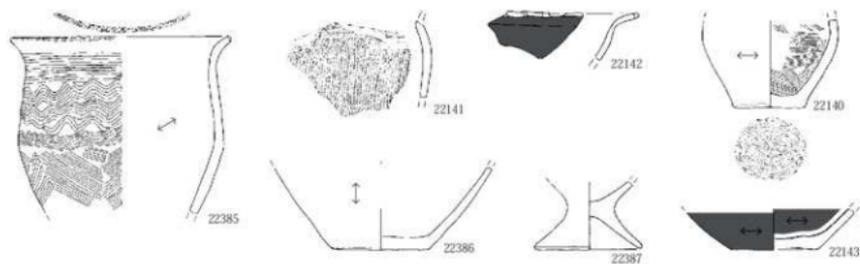
第375図 6区3号柵列出土弥生土器



第376図 2区北地区1731・2069・2122・2127・2162号ビット出土弥生土器



遺物実測図



1群(128号溝南岸)

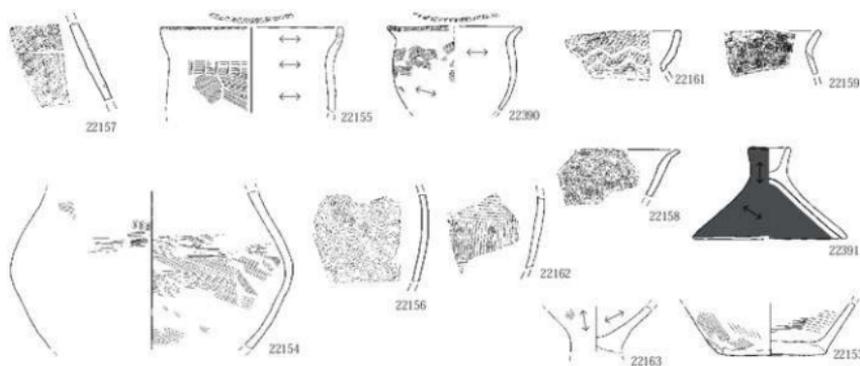


2群(128号溝南岸)

3群(128号溝南岸)



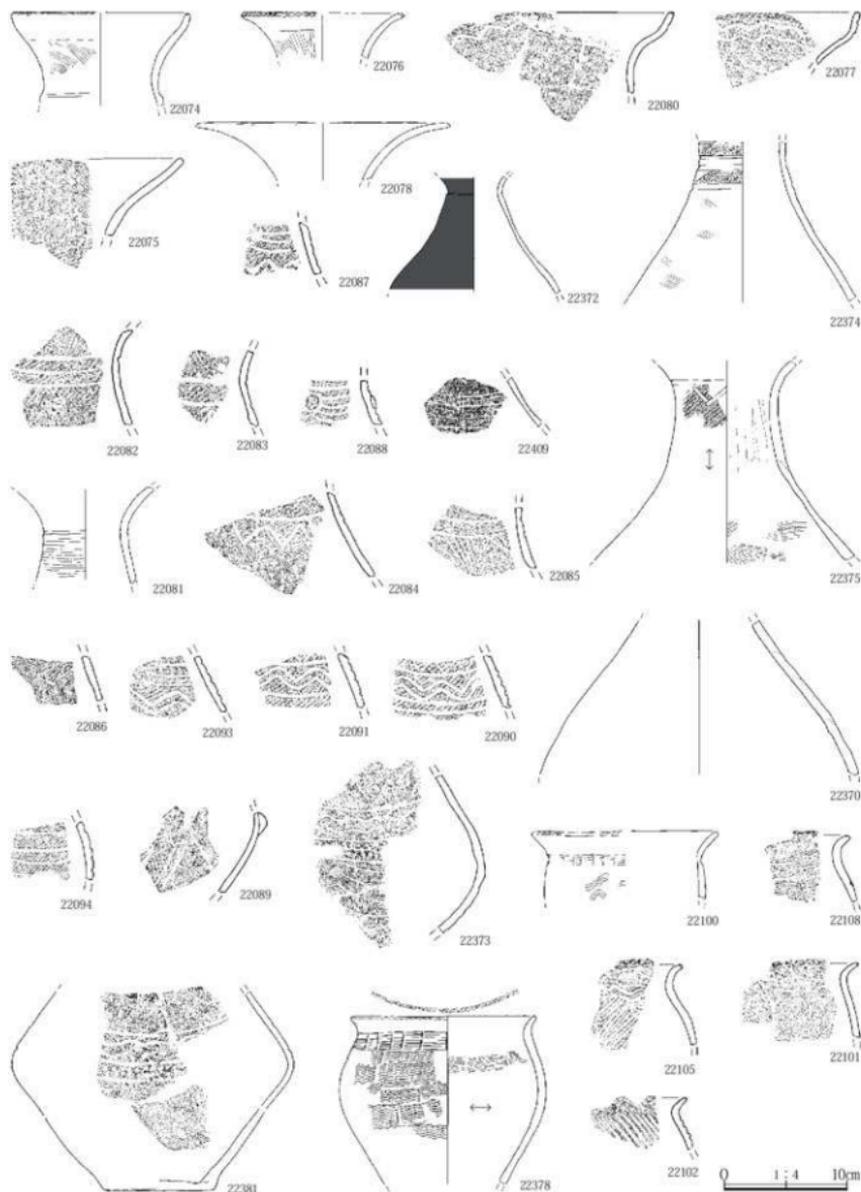
5群(6区竪穴群内)



7・8群(19号竪穴内)

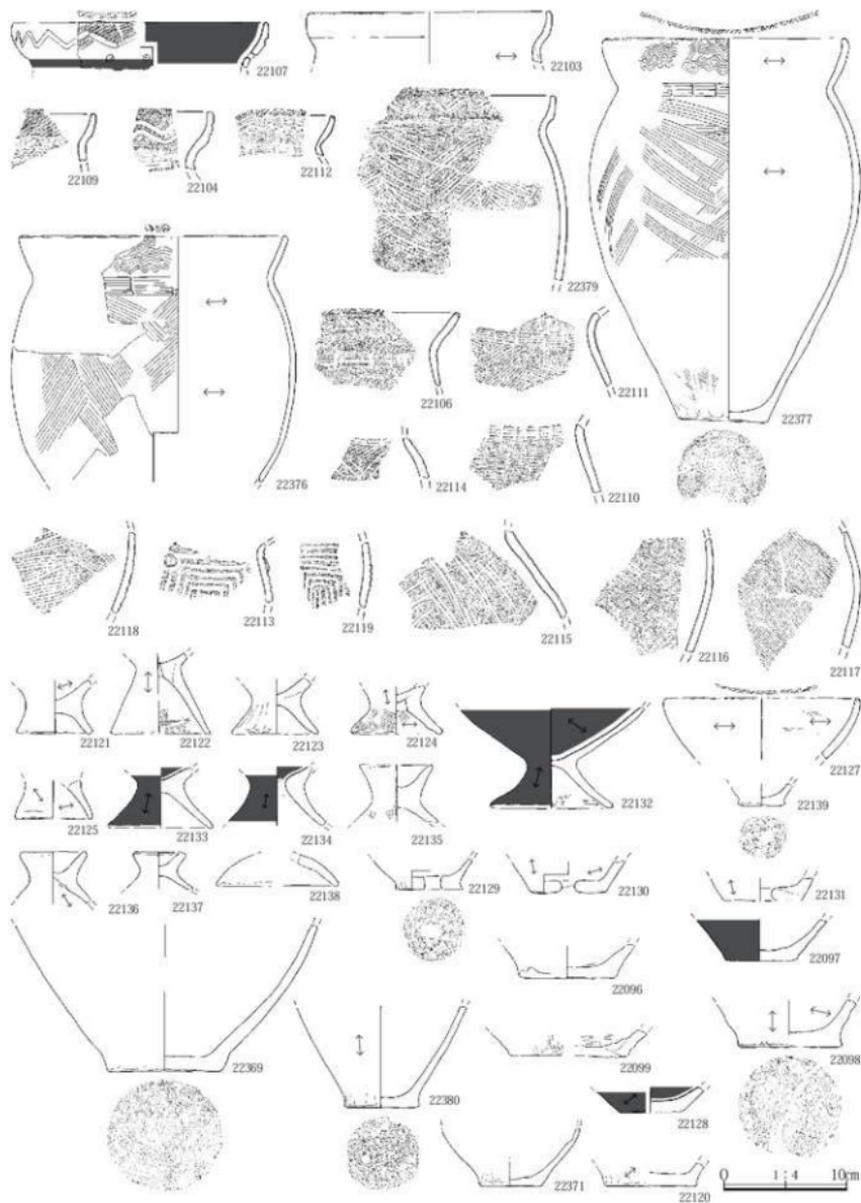
0 1:4 10m

第377図 6区遺物集中1・3・5・7・8群図所出土弥生土器



第378図 6区1号集石道構出土弥生土器1

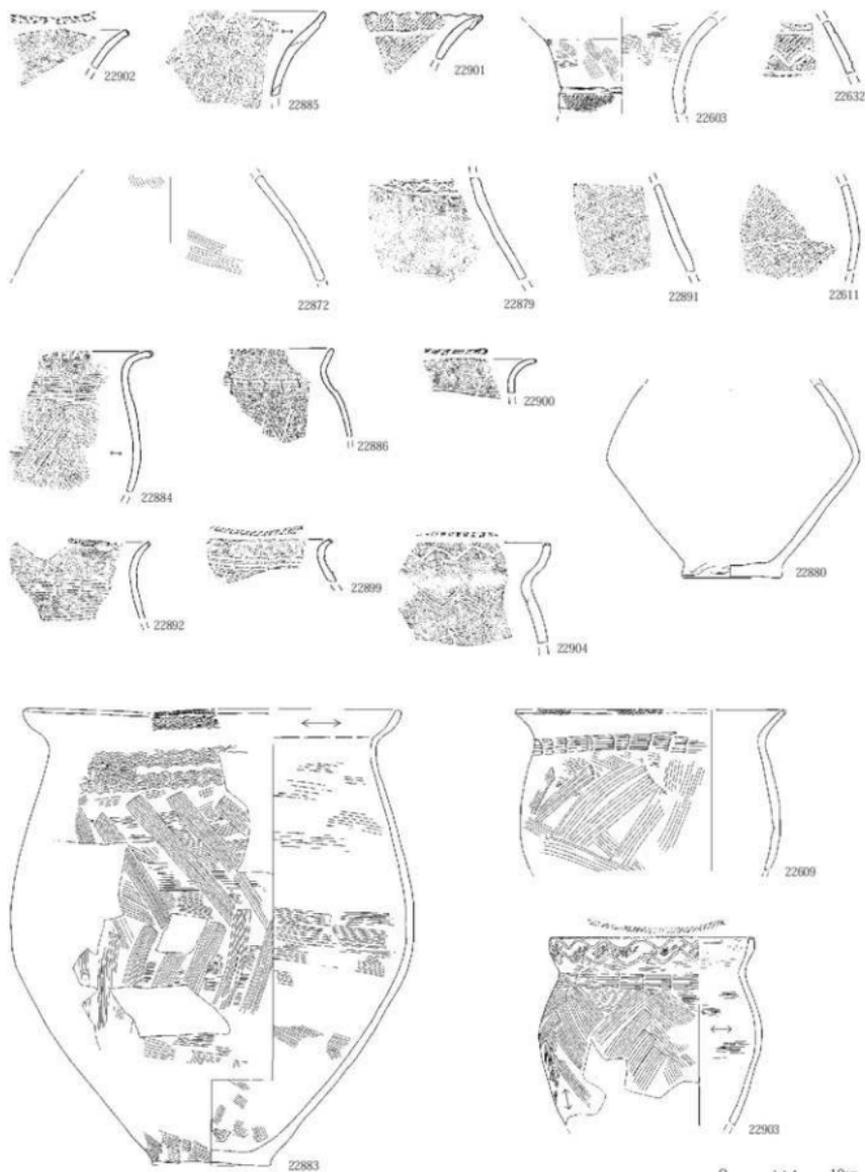
遺物実測図



第379図 6区1号集石遺構出土弥生土器2

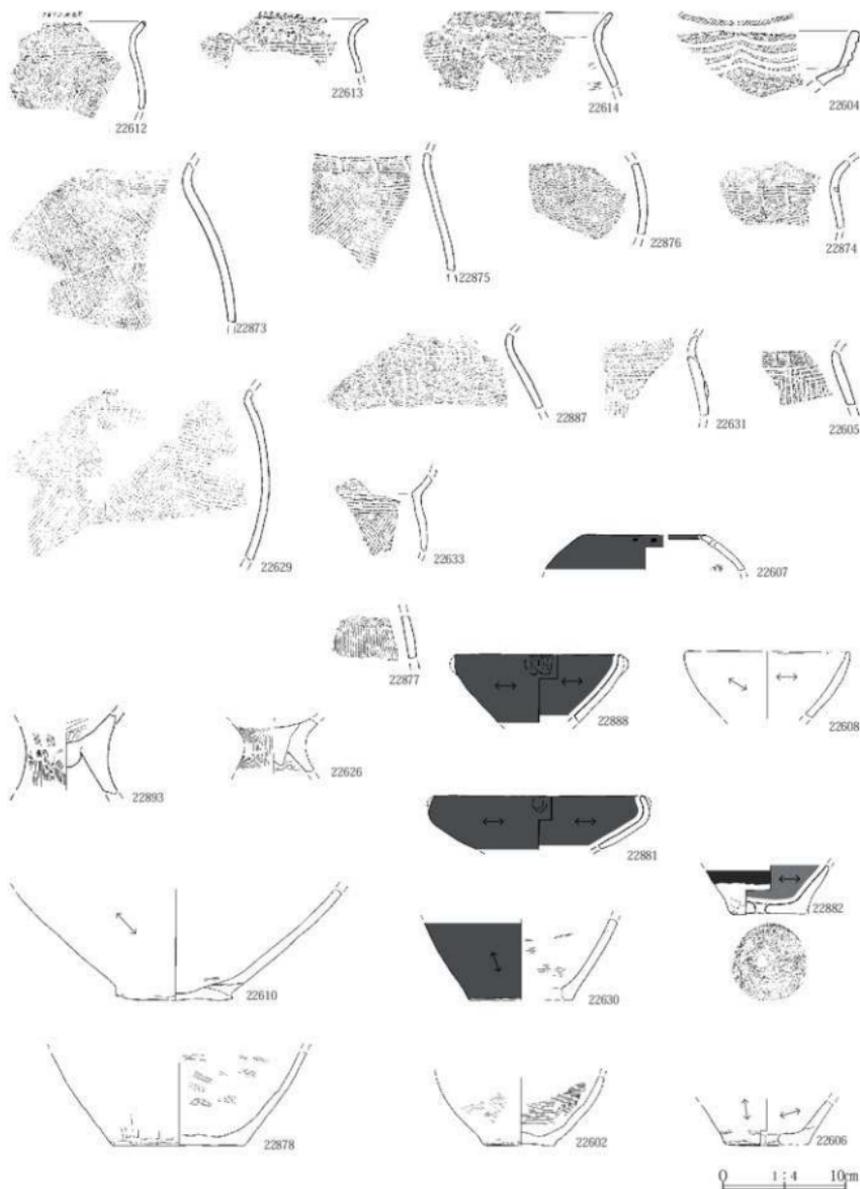


第380图 2区北地区1号遗物集中筒所出土弥生土器

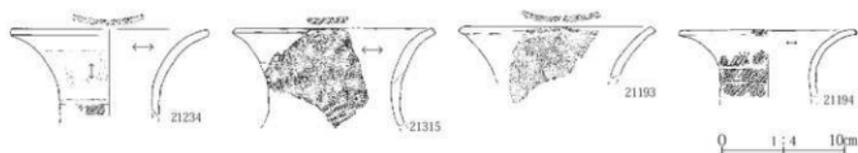
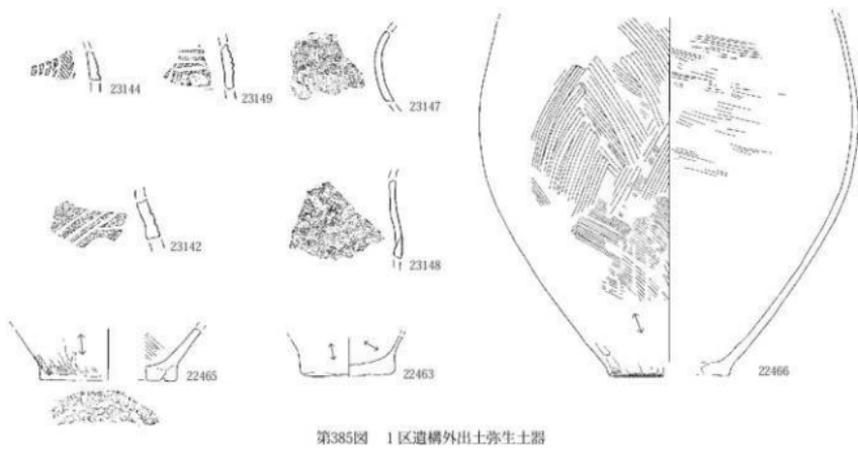
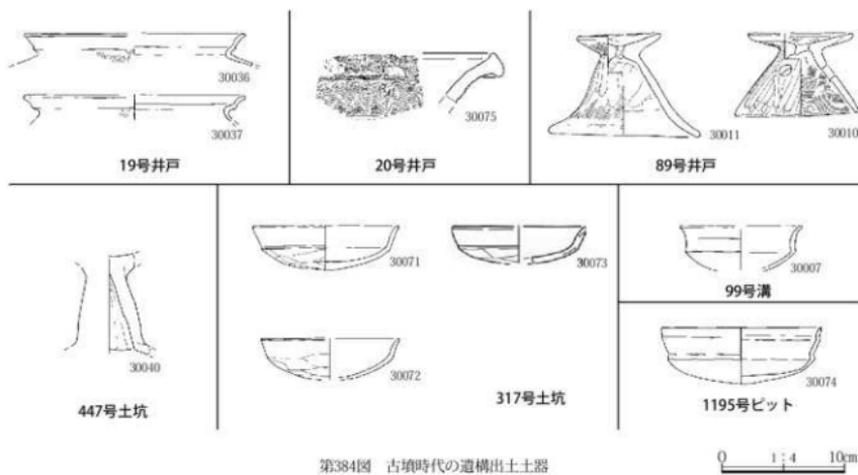


第382図 2区北地区268号溝周辺出土弥生土器1

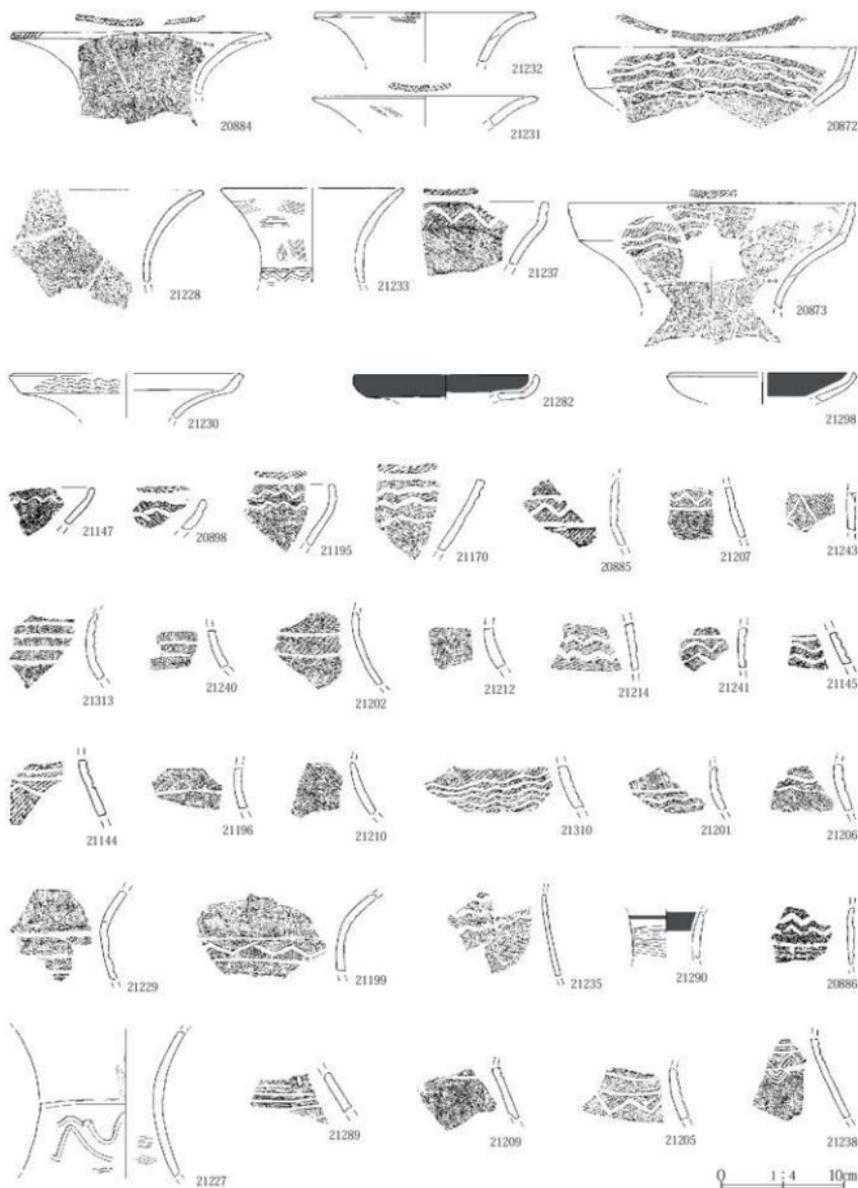
遺物実測図



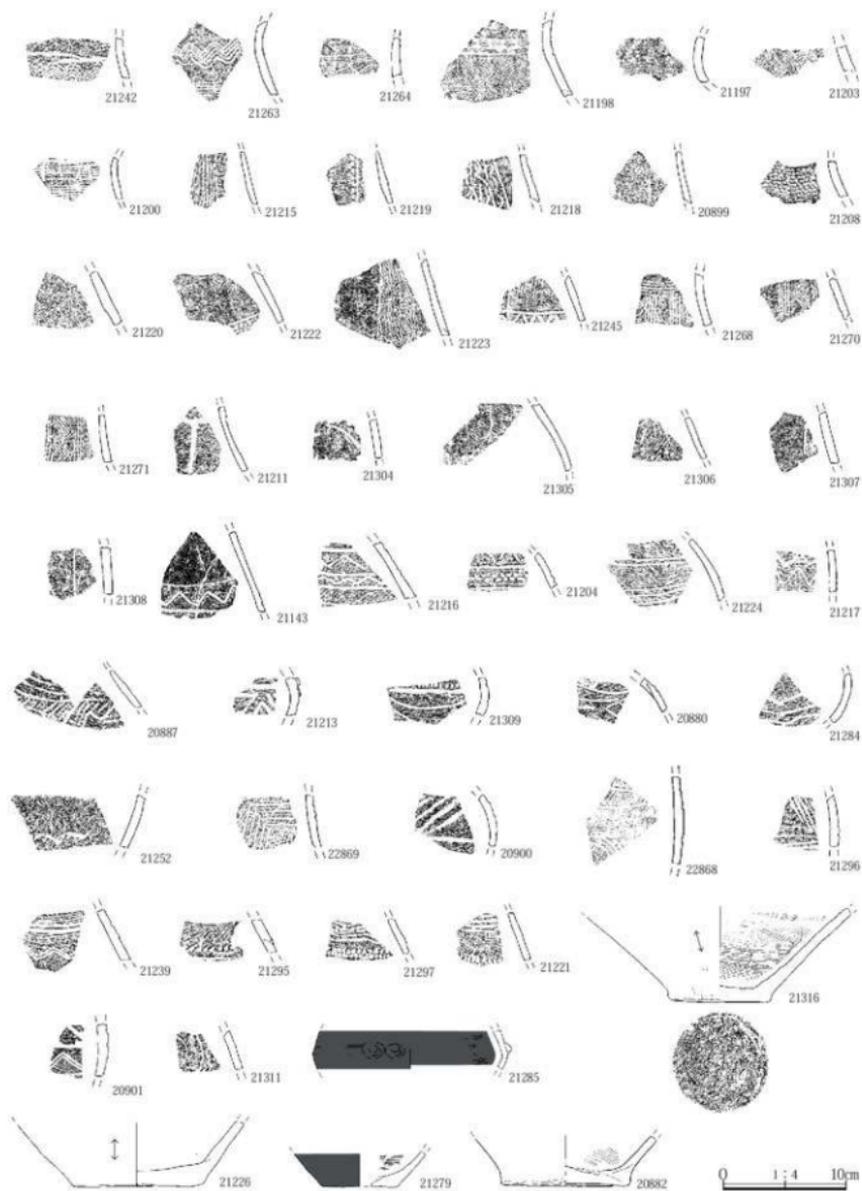
第383図 2区北地区268号溝周辺出土弥生土器2



遺物実測図

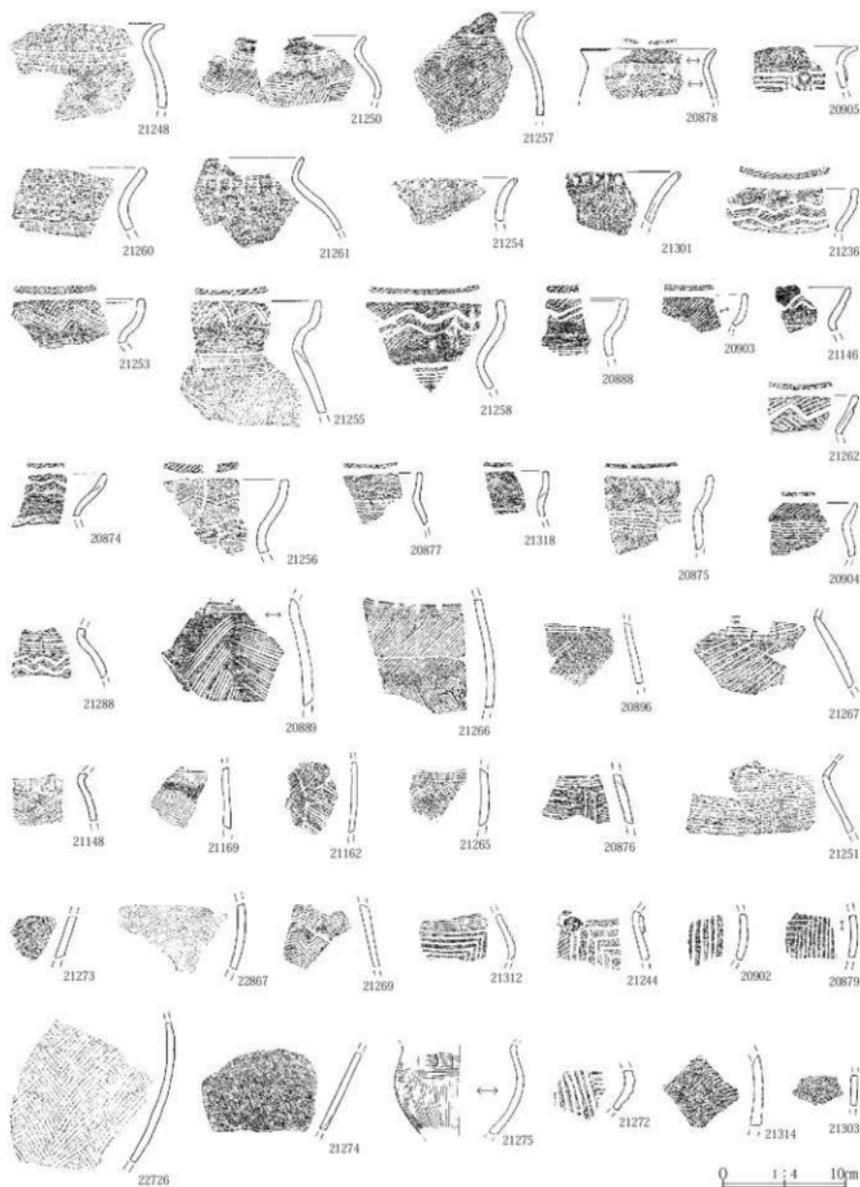


第387図 2区遺構外出土弥生土器2

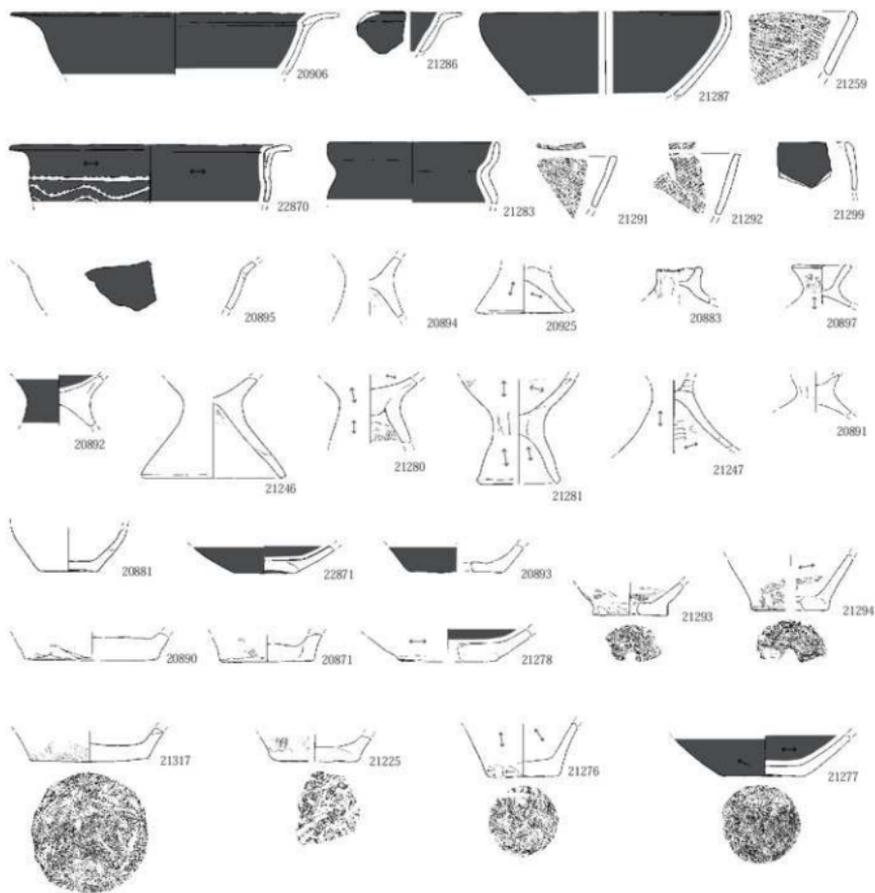


第388図 2区遺構外出土弥生土器 3

遺物実測図



第389图 2区遺構外出土弥生土器4

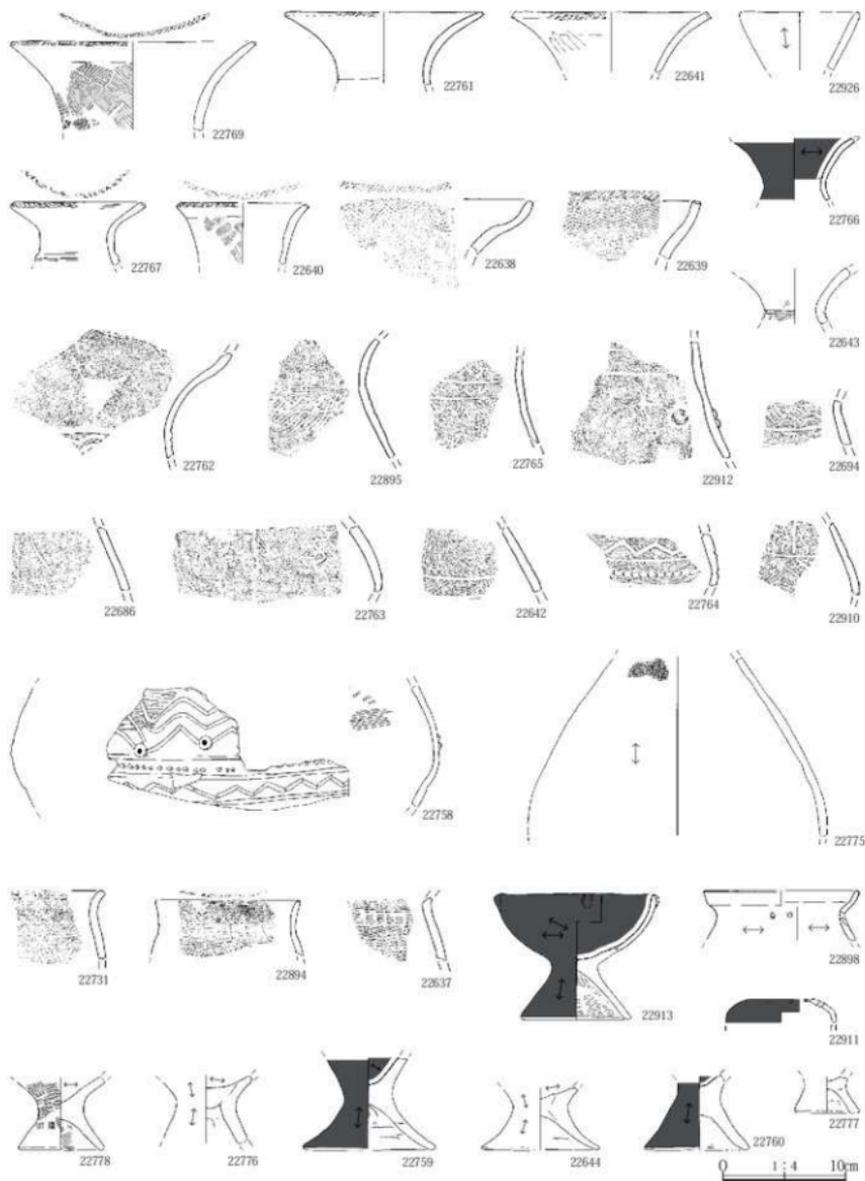


第390図 2区道構外出土弥生土器 5

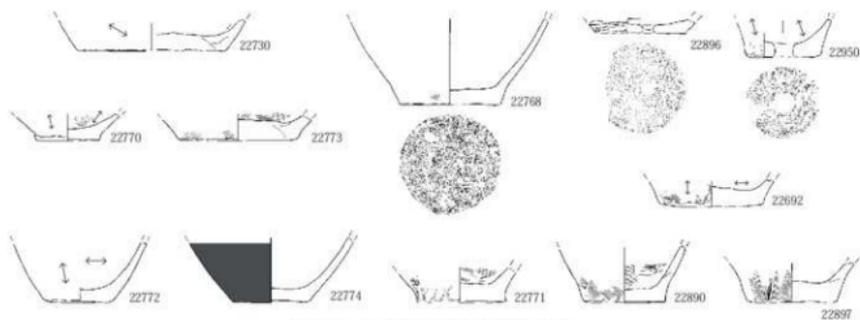


0 1:4 10m

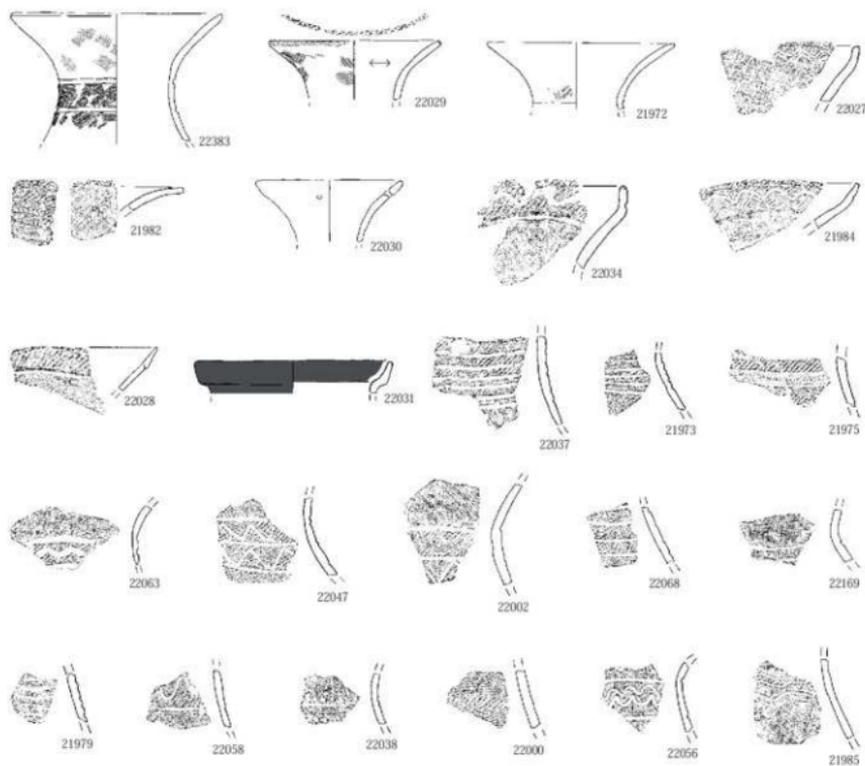
第391図 2区北地区道構外出土弥生土器 1



第392图 2区北地区遺構外出土弥生土器2



第393图 2区北地区道槽外出土弥生土器3



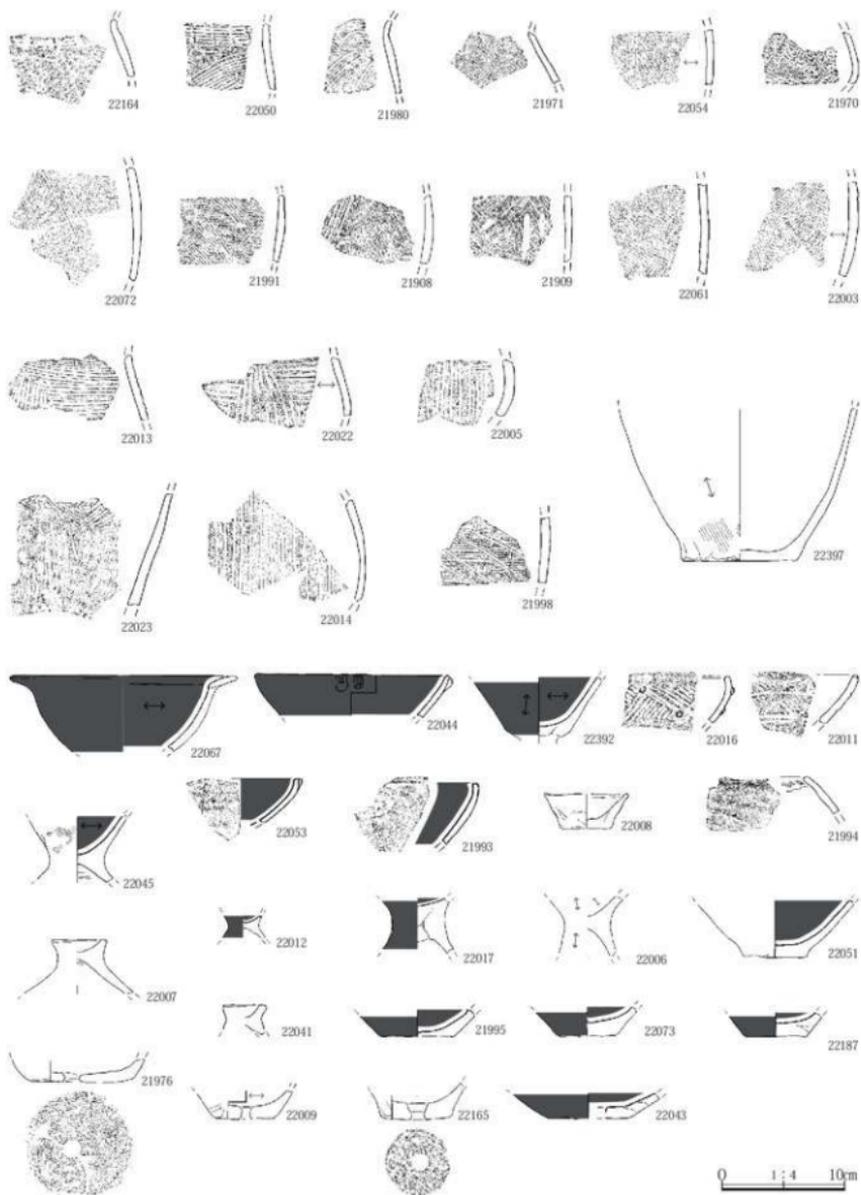
0 1:4 10m

第394图 6区道槽外出土弥生土器1

遺物実測図

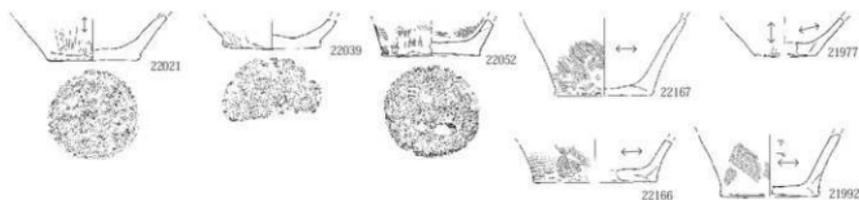


第395図 6区遺構外出土弥生土器 2

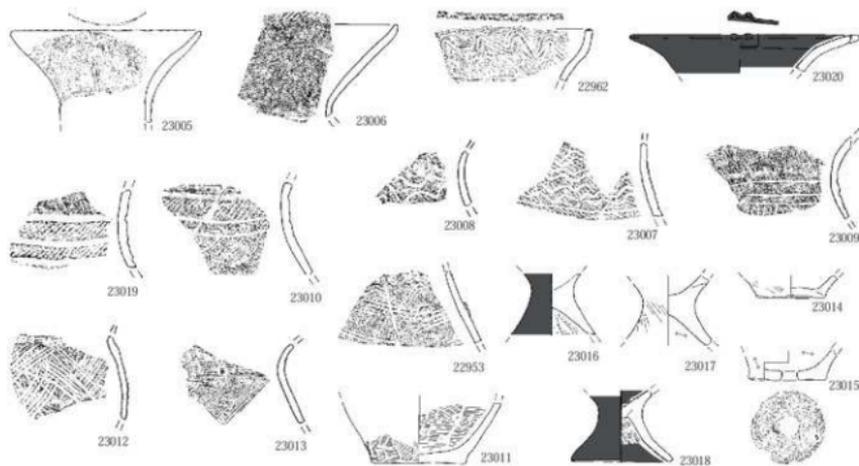


第396图 6区遺構外出土弥生土器 3

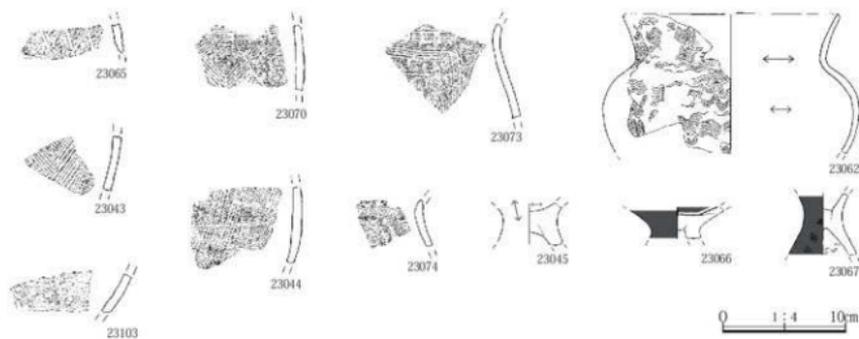
遺物実測図



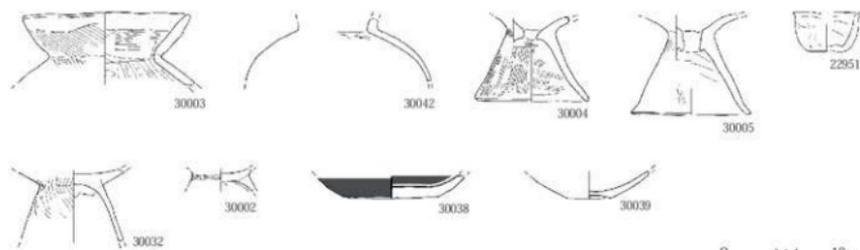
第397図 6区道構外出土弥生土器 4



第398図 6区北地区道構外出土弥生土器



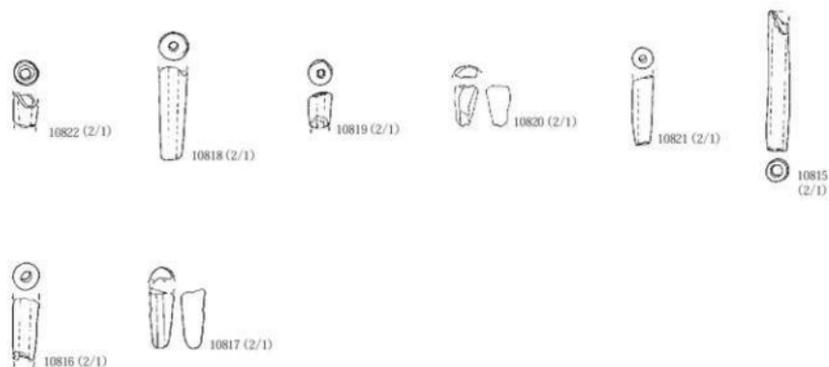
第399図 7区道構外出土弥生土器



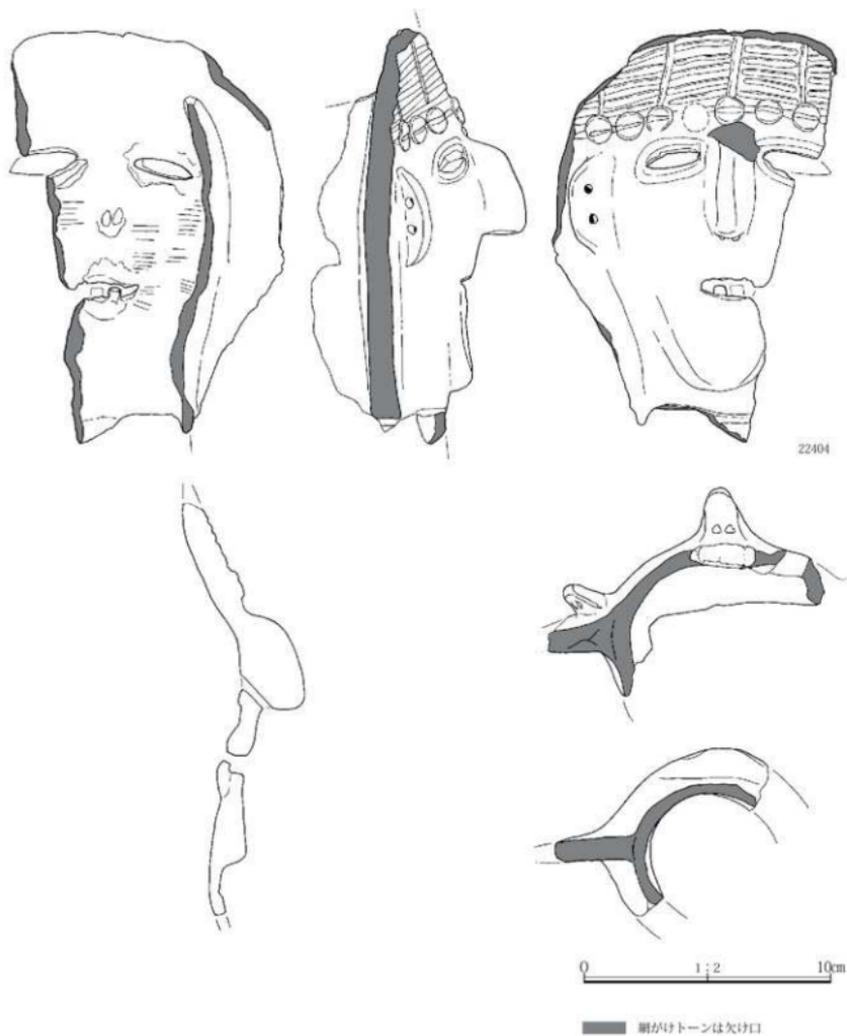
第400図 遺構外出土の古墳時代土器



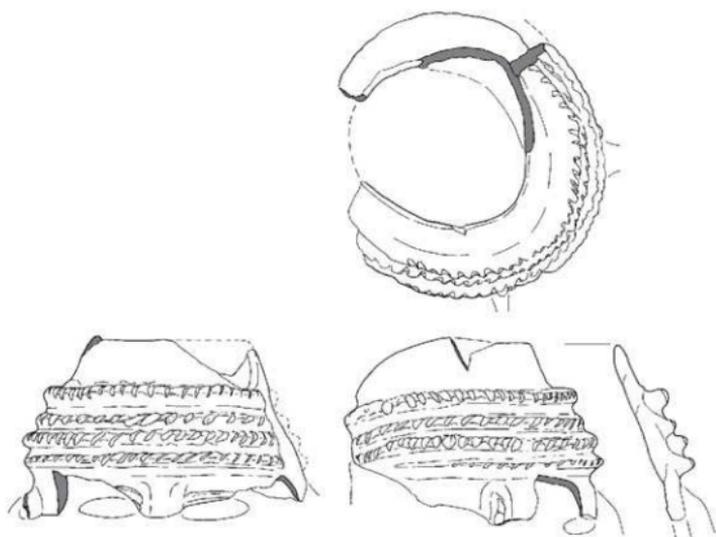
第401図 遺構外出土の埴輪



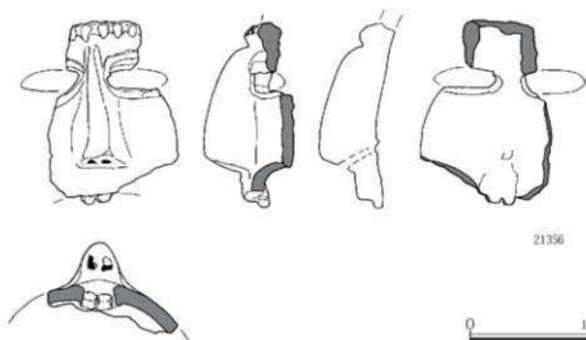
第402図 土製管玉



第403図 人形容器1



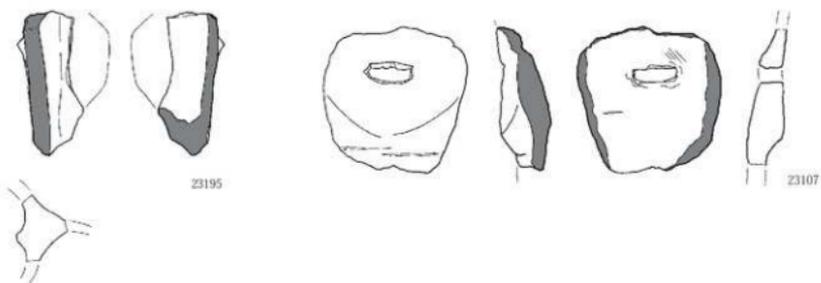
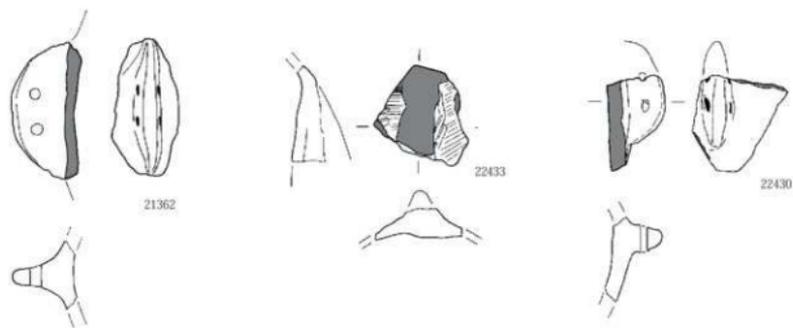
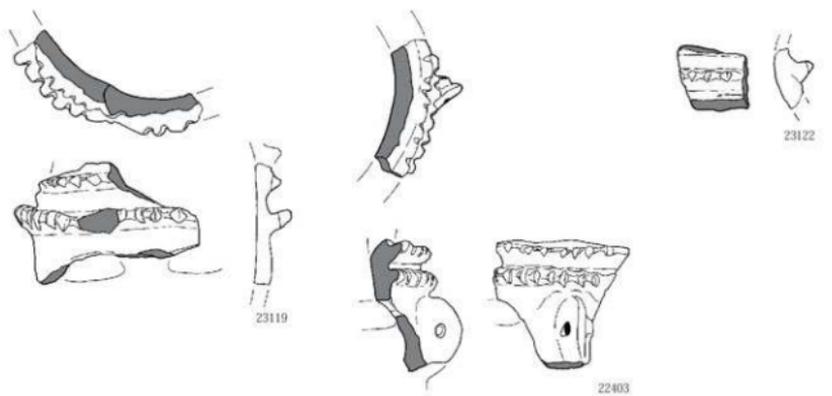
21357



21356

0 1/2 10cm

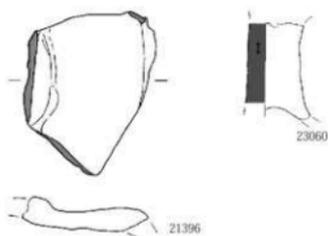
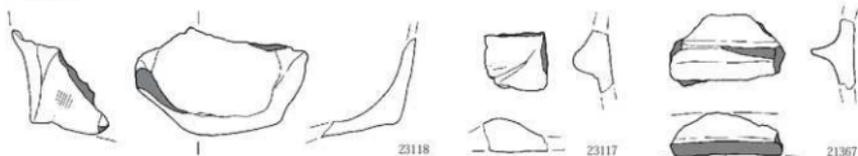
第404図 人形容器2



0 1:2 10cm

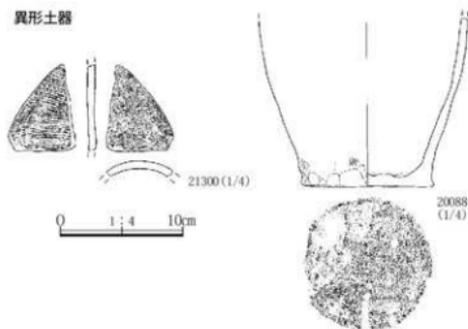
第405図 人形容器3

不明土製品

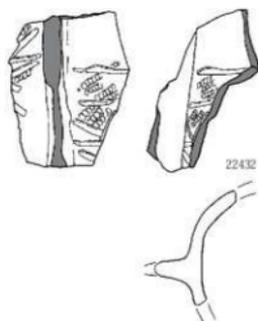


0 1:2 10cm

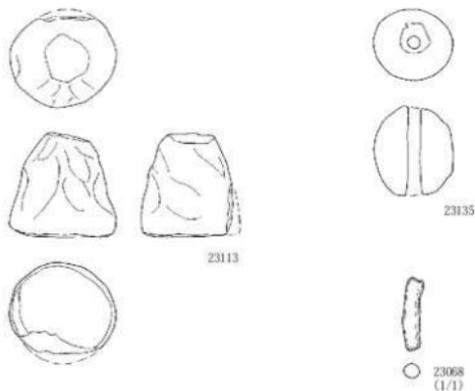
異形土器



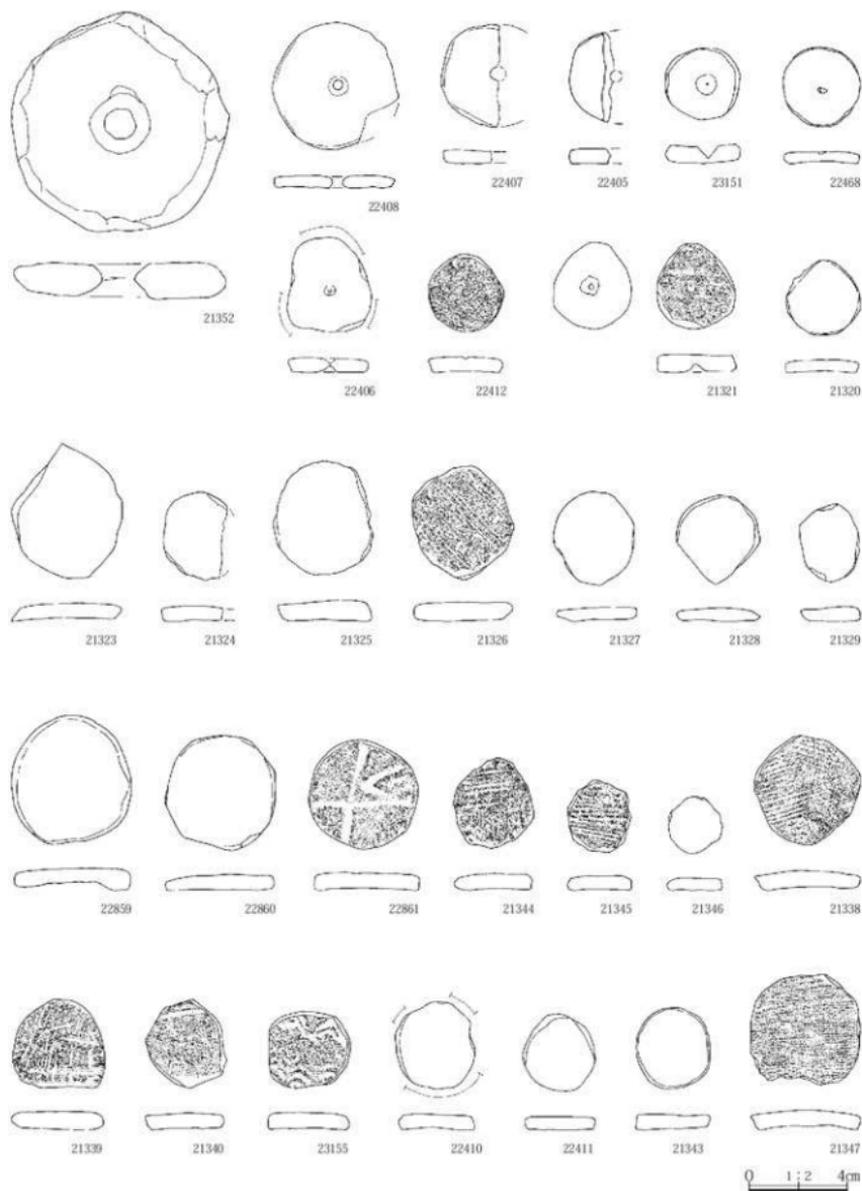
0 1:4 10cm



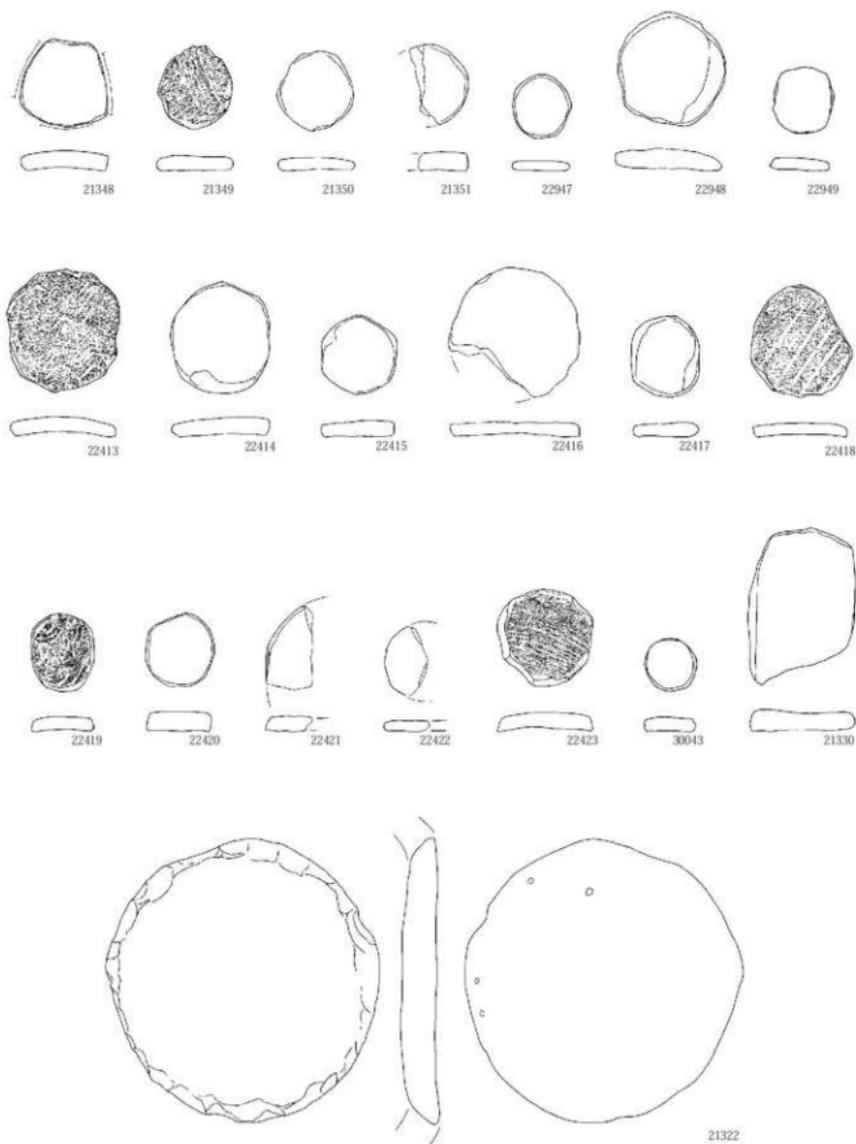
0 1:2 10cm



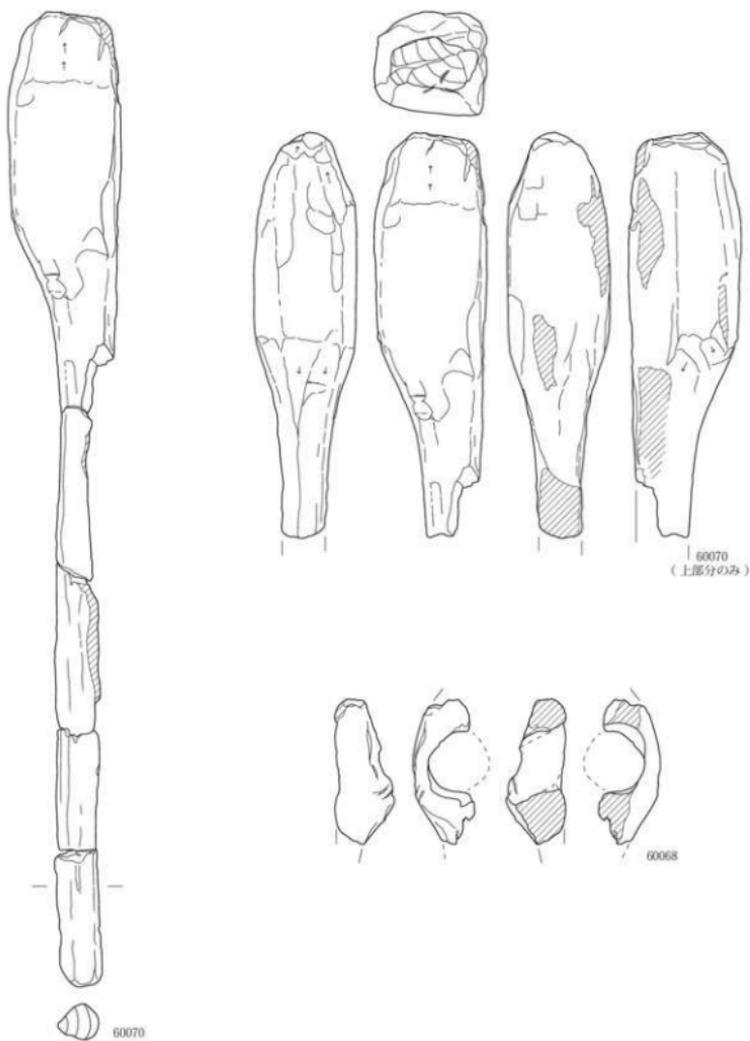
第406図 土製品(人形・銅鐸形・分銅・丸玉・土鐘)



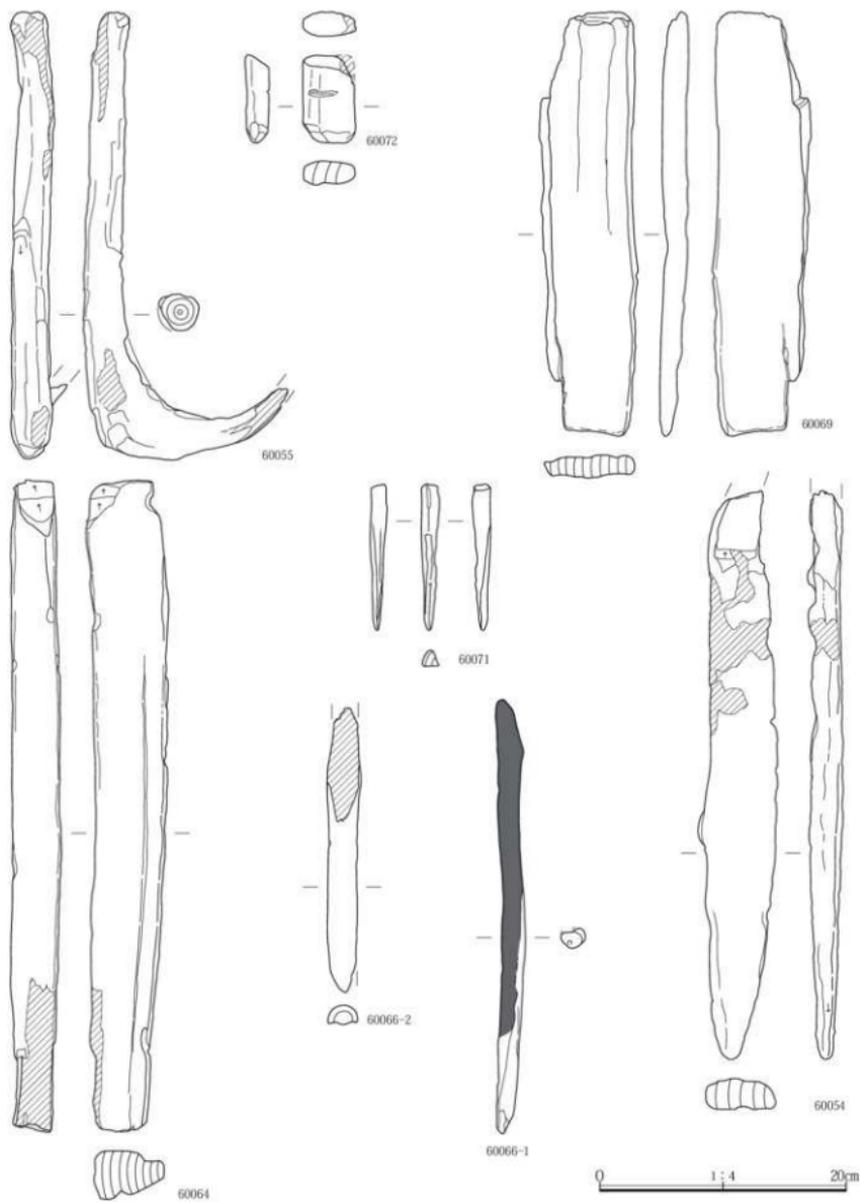
第407図 土製紡輪、土製円板1



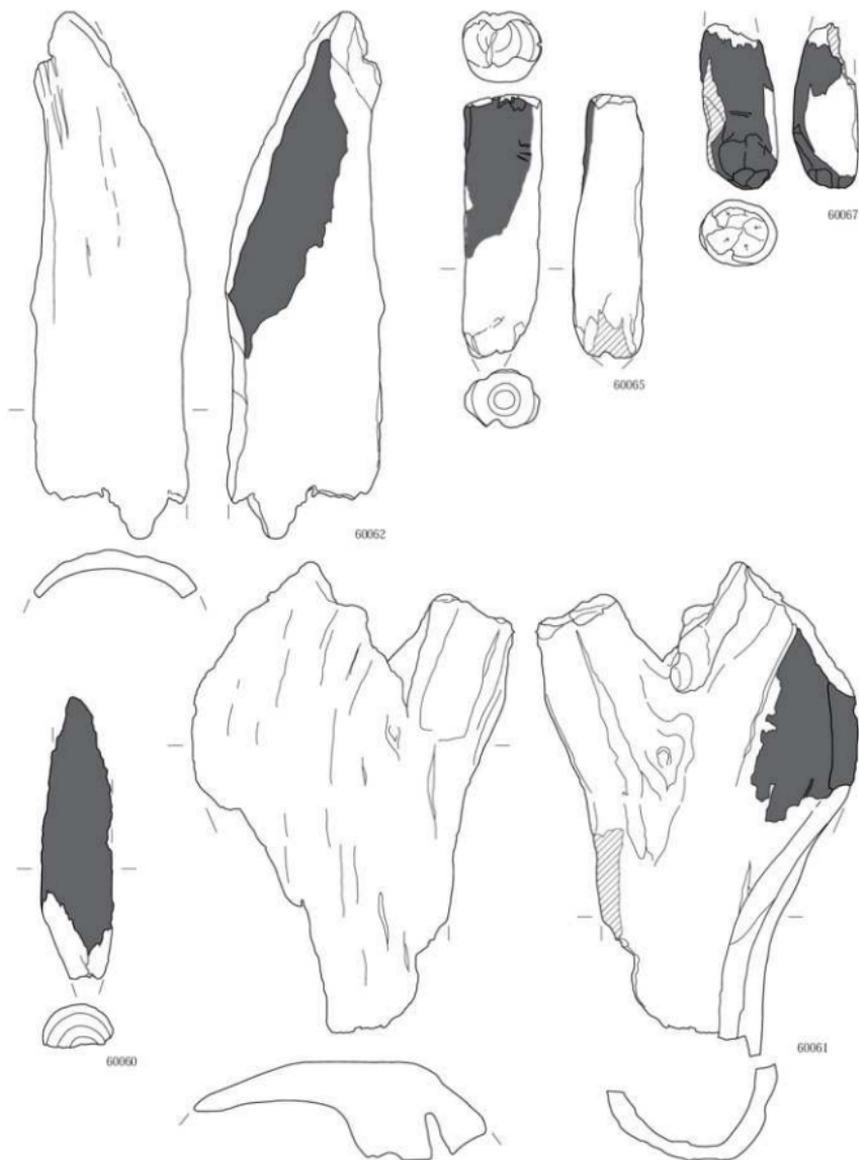
第408図 土製円板2



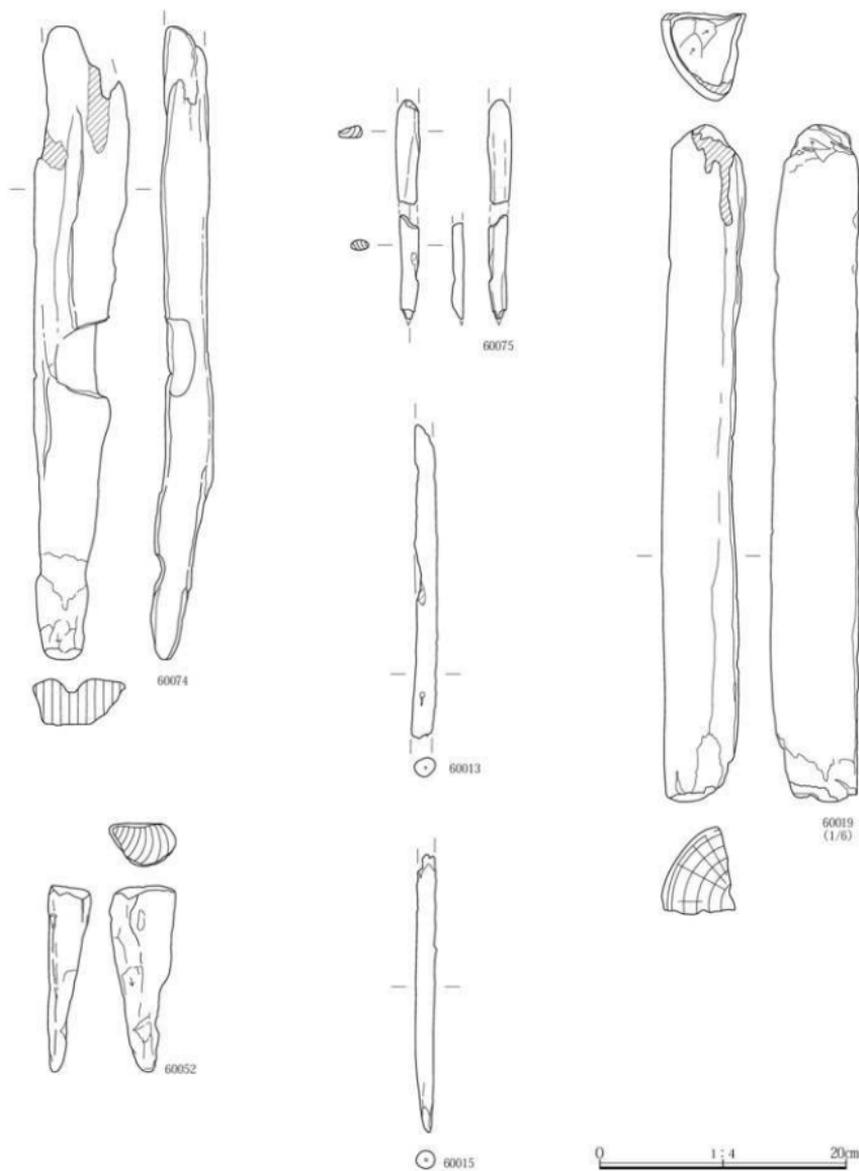
第409図 2区95号溝出土木製品1



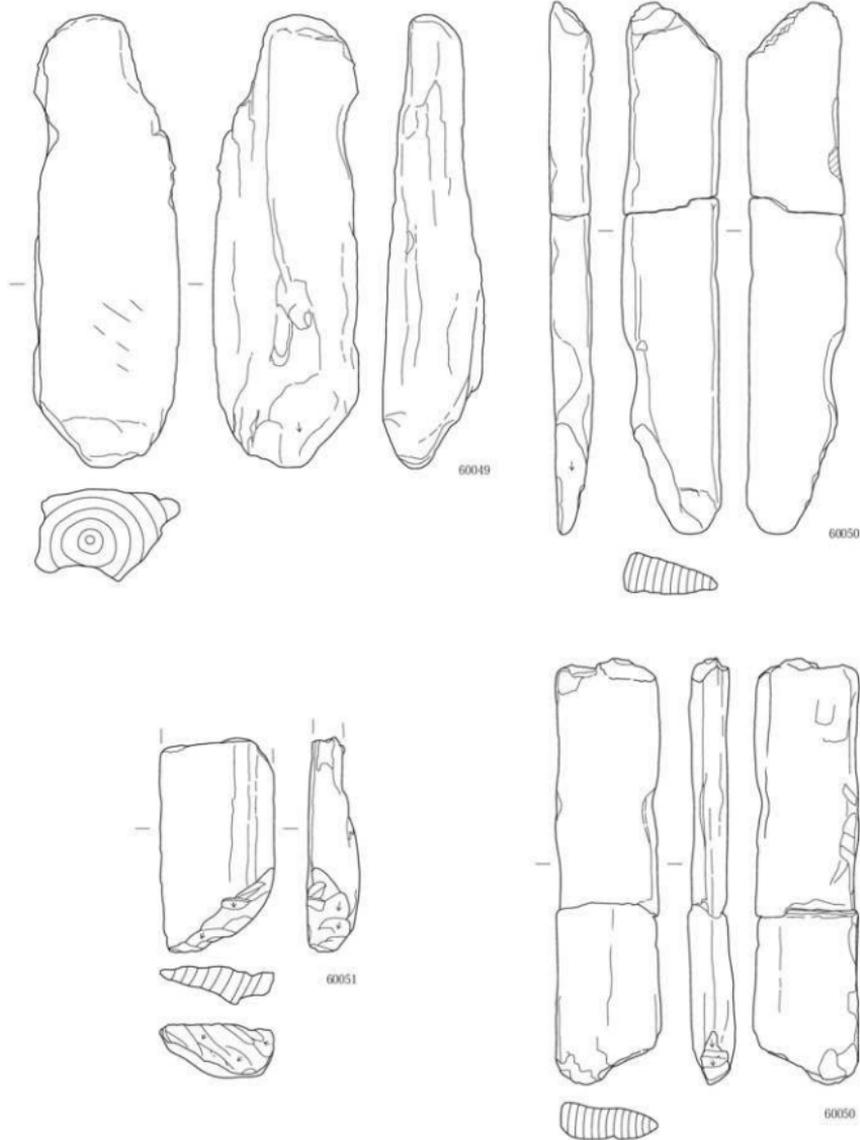
第410图 2区95号溝出土木製品2



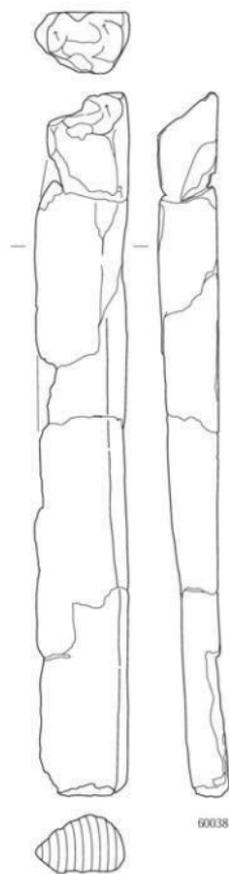
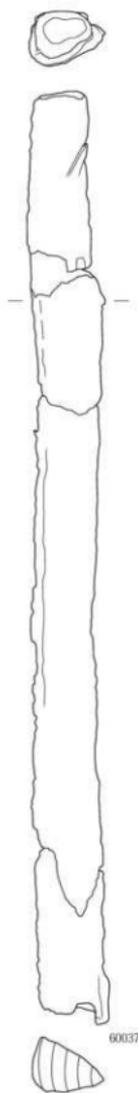
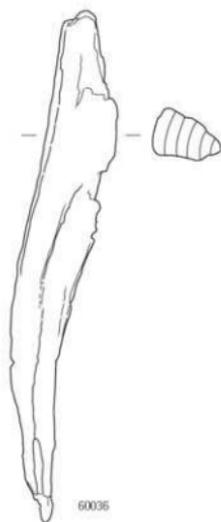
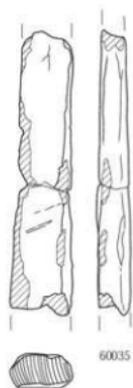
第411图 2区95号溝出土木製品3



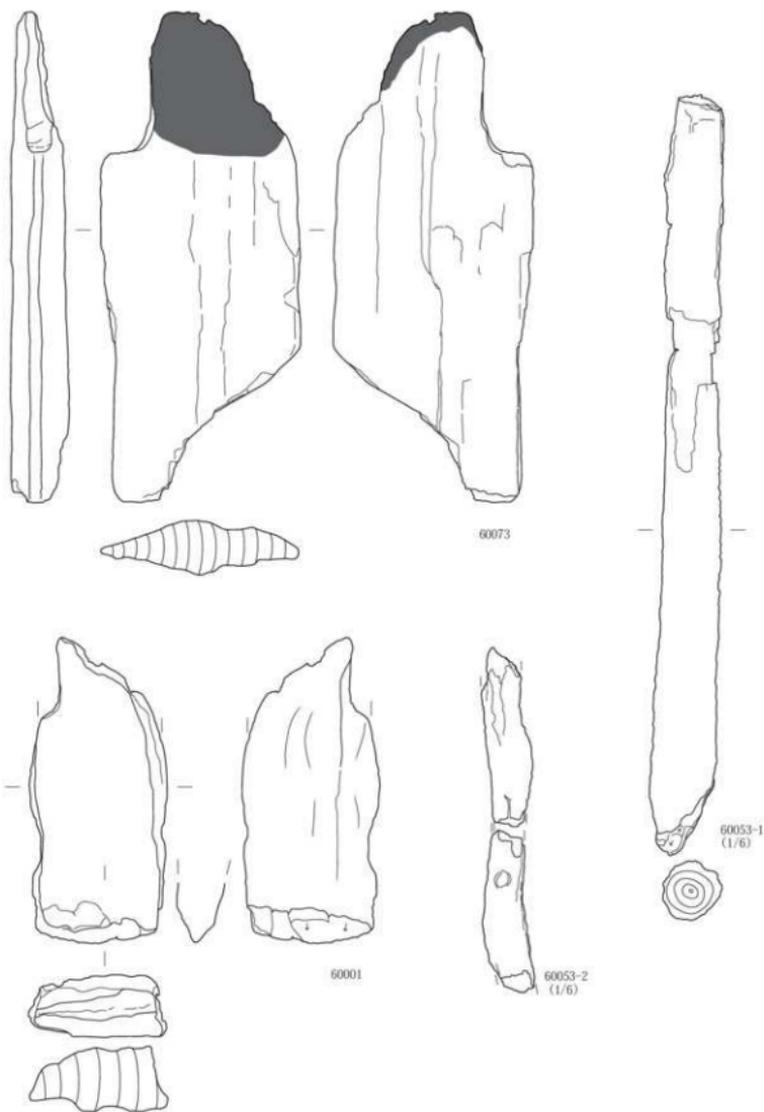
第412図 2区96号溝、6区140号溝、7区245号溝、6区38号井戸出土木製品



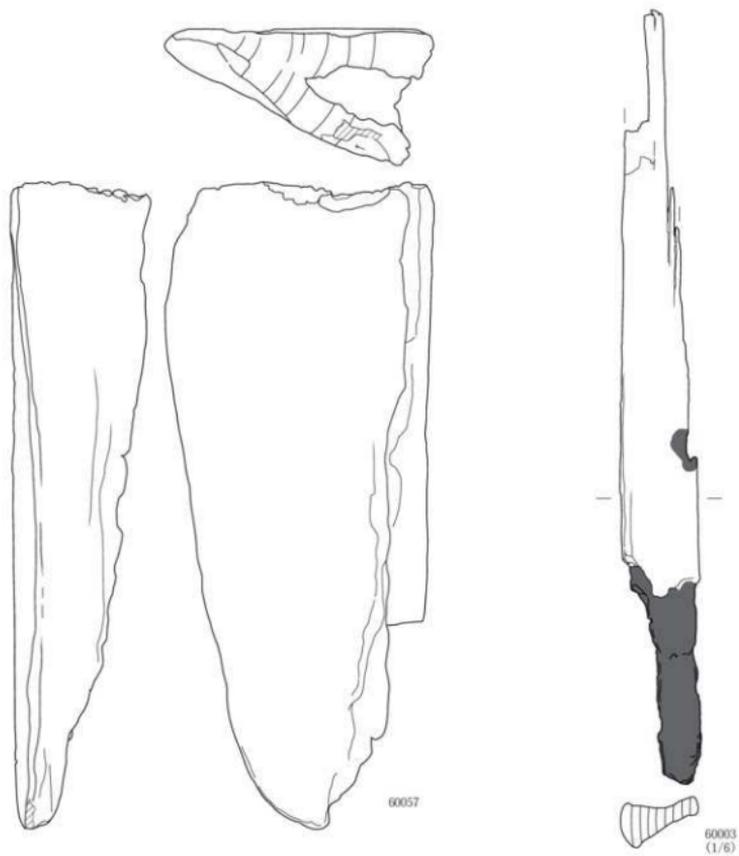
第413图 6区38号井戸出土木製品2



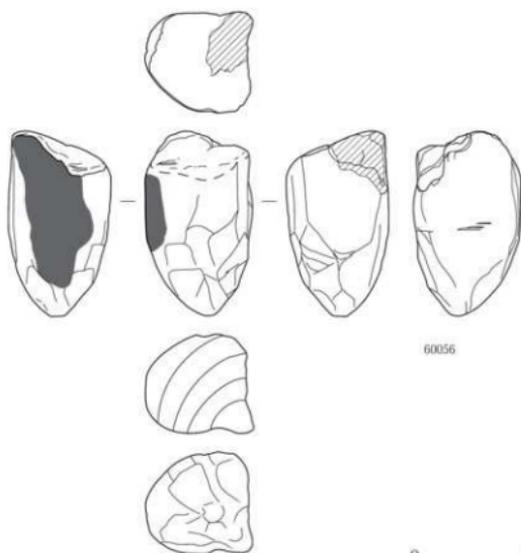
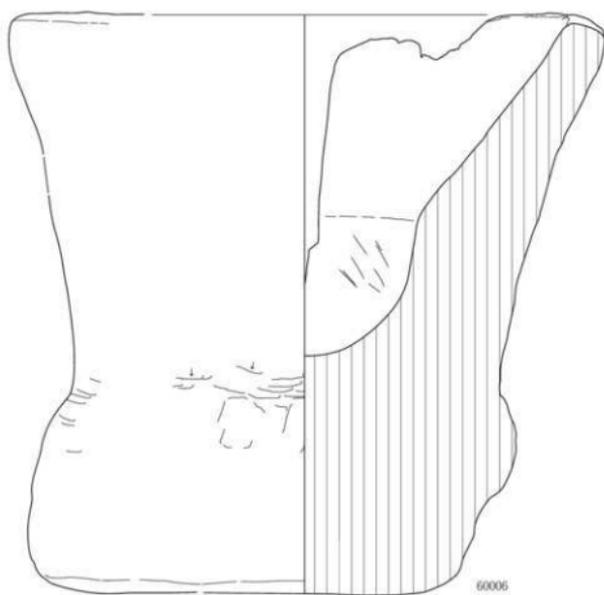
第414图 7区40号井戸出土木製品



第415图 2区69号土坑出土木製品 1

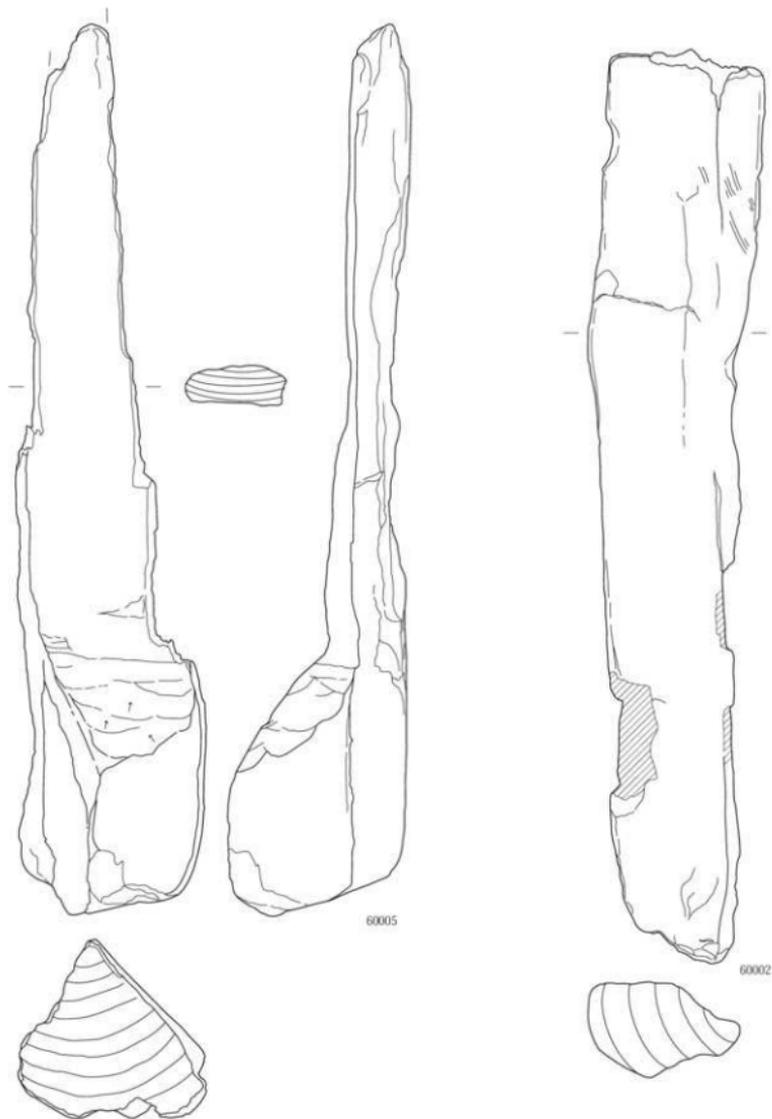


第416图 2区69号土坑出土木製品2

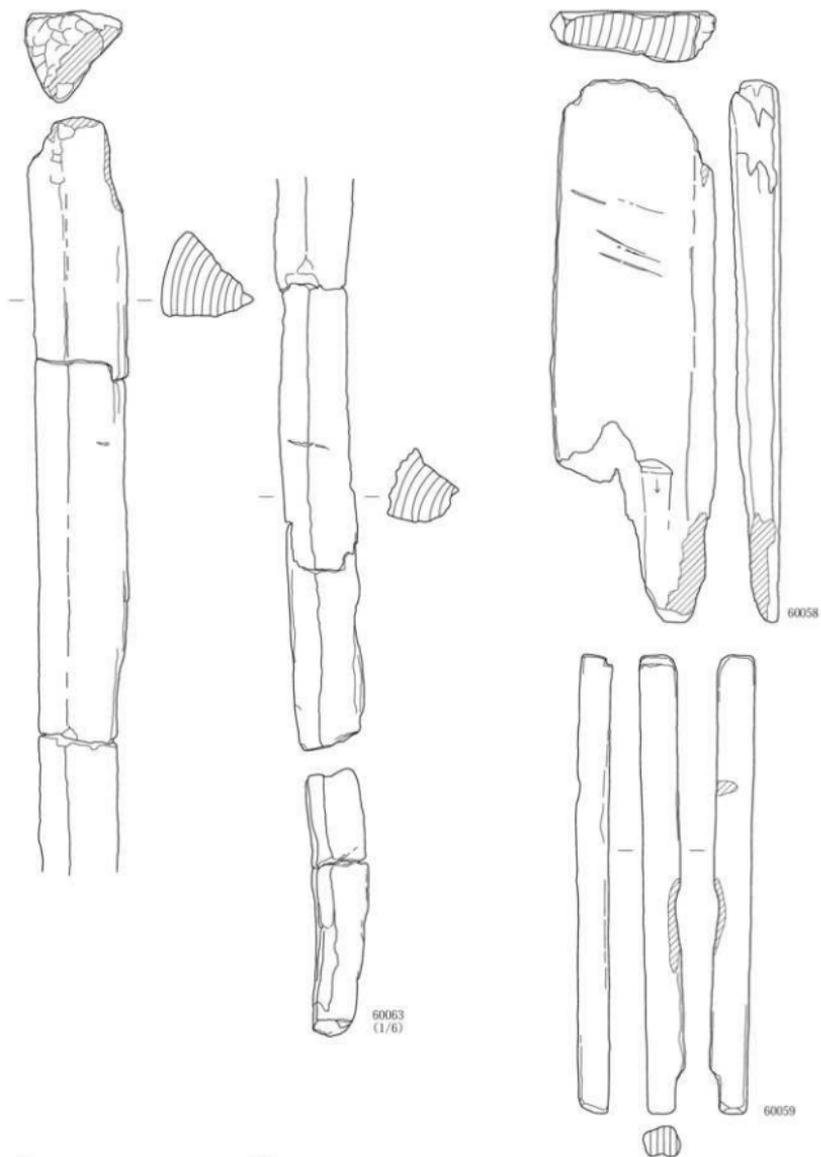


0 1:4 20cm

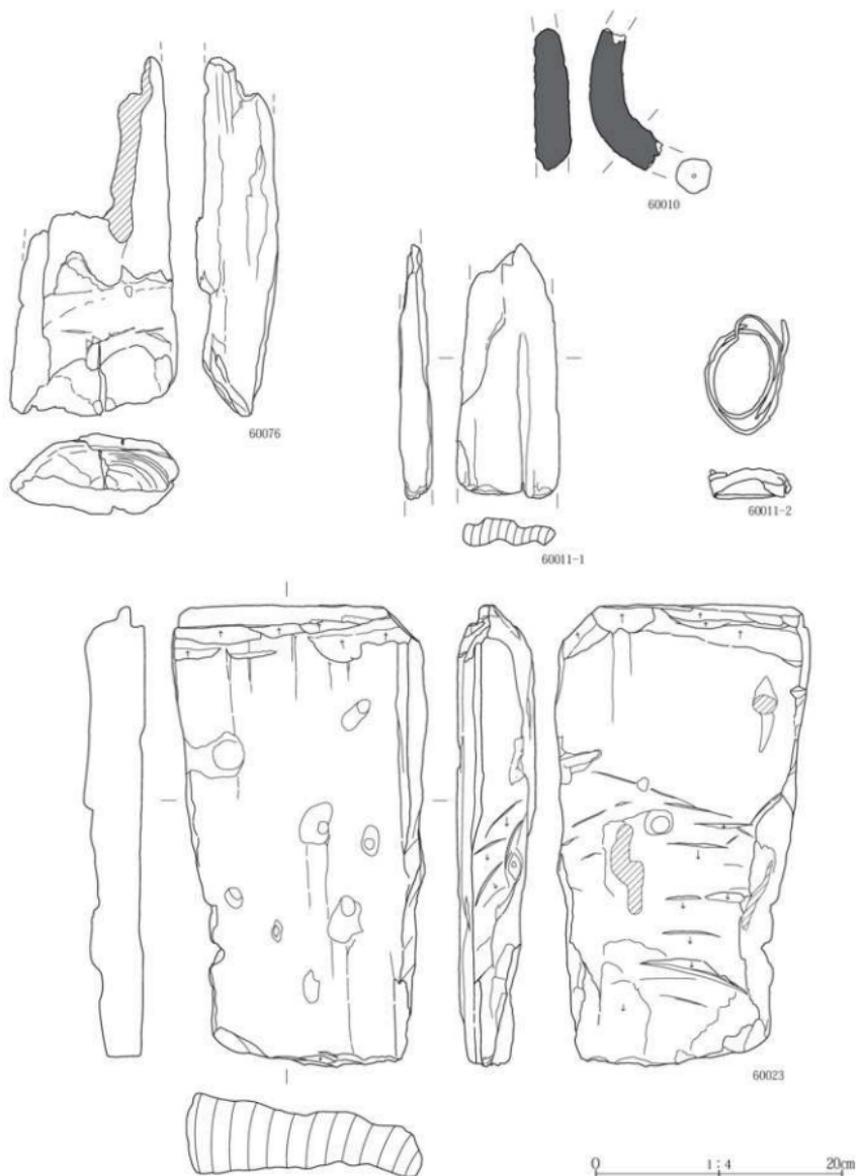
第417图 2区70号土坑出土木製品 1



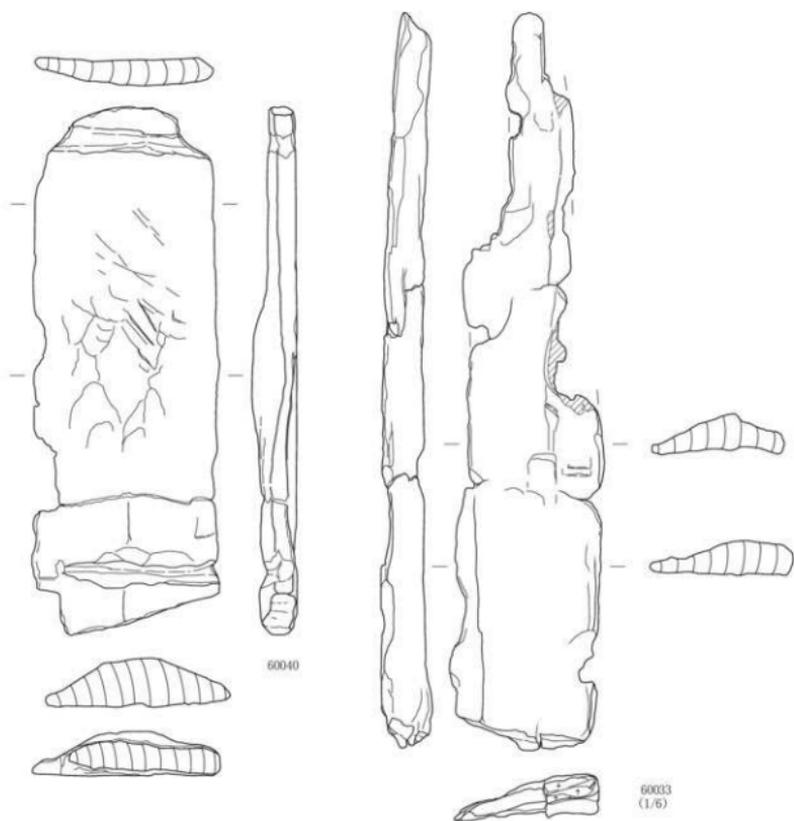
第418图 2区70号土坑出土木製品2



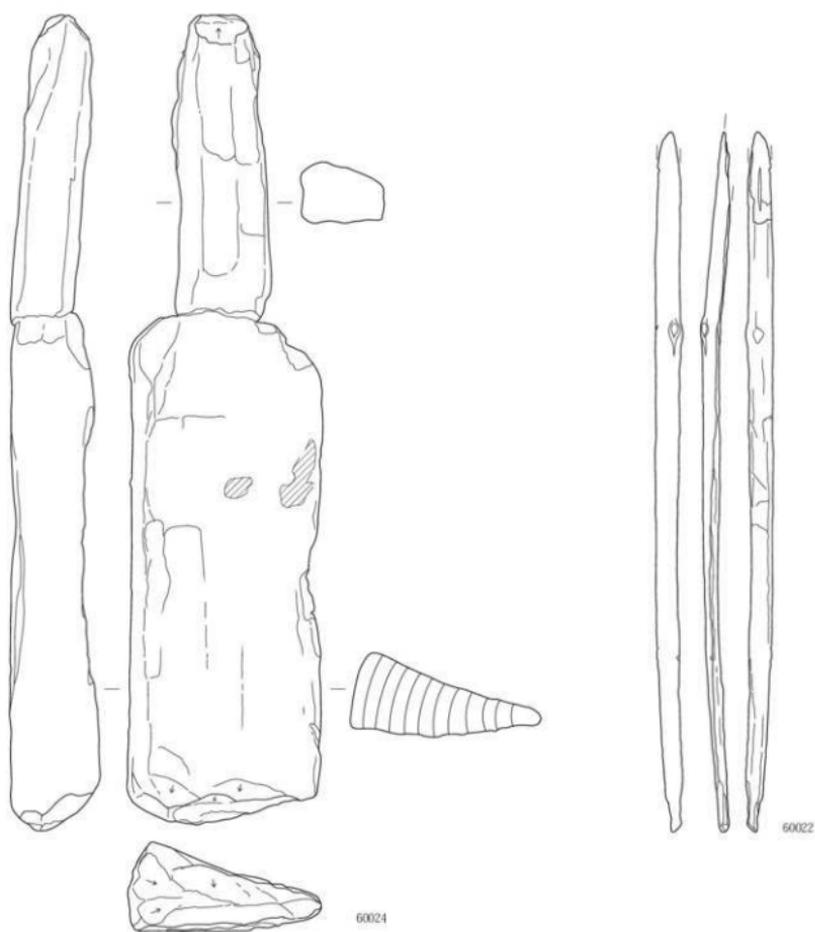
第419图 2区70号土坑出土木製品3



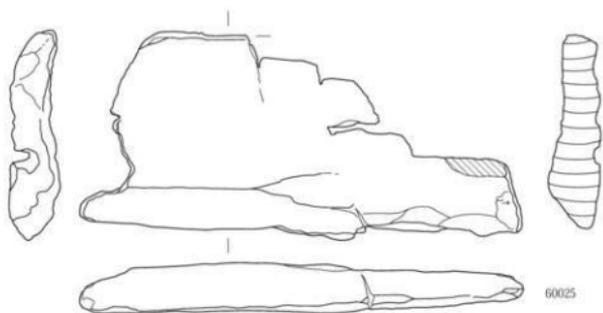
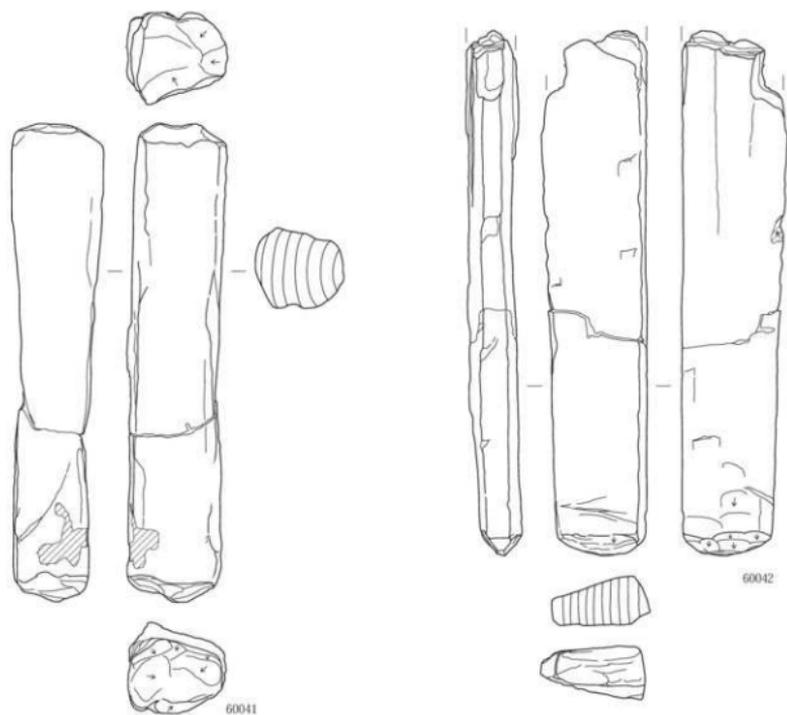
第420图 2区89号土坑、2区北地区362・365・391号土坑出土木製品



第421图 2区北地区446号土坑出土木製品1

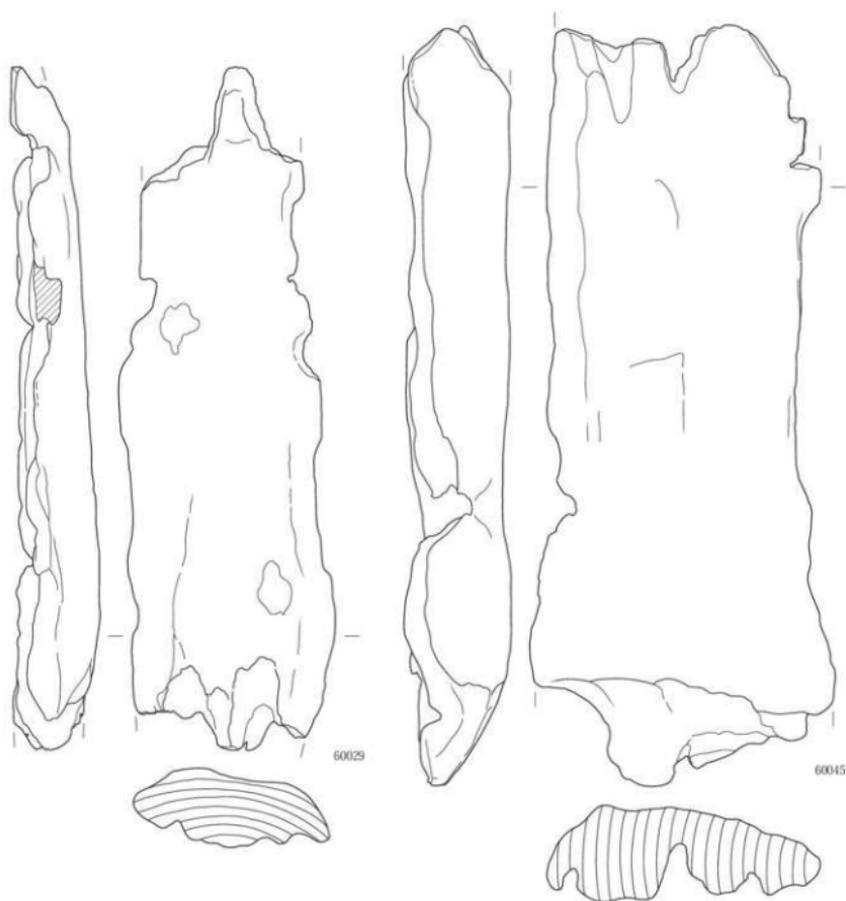


第422图 2区北地区446号土坑出土木製品2

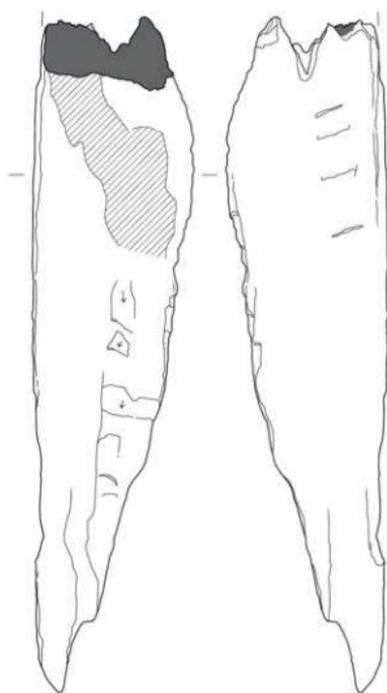


0 1:4 20cm

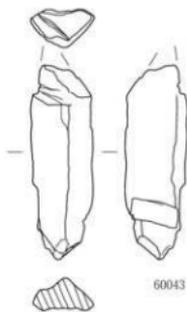
第423図 2区北地区446号土坑出土木製品3



第424图 2区北地区446号土坑出土木製品4



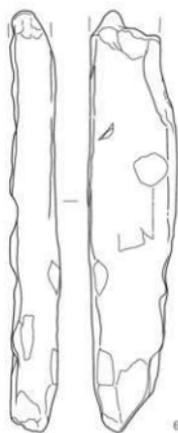
60034



60043



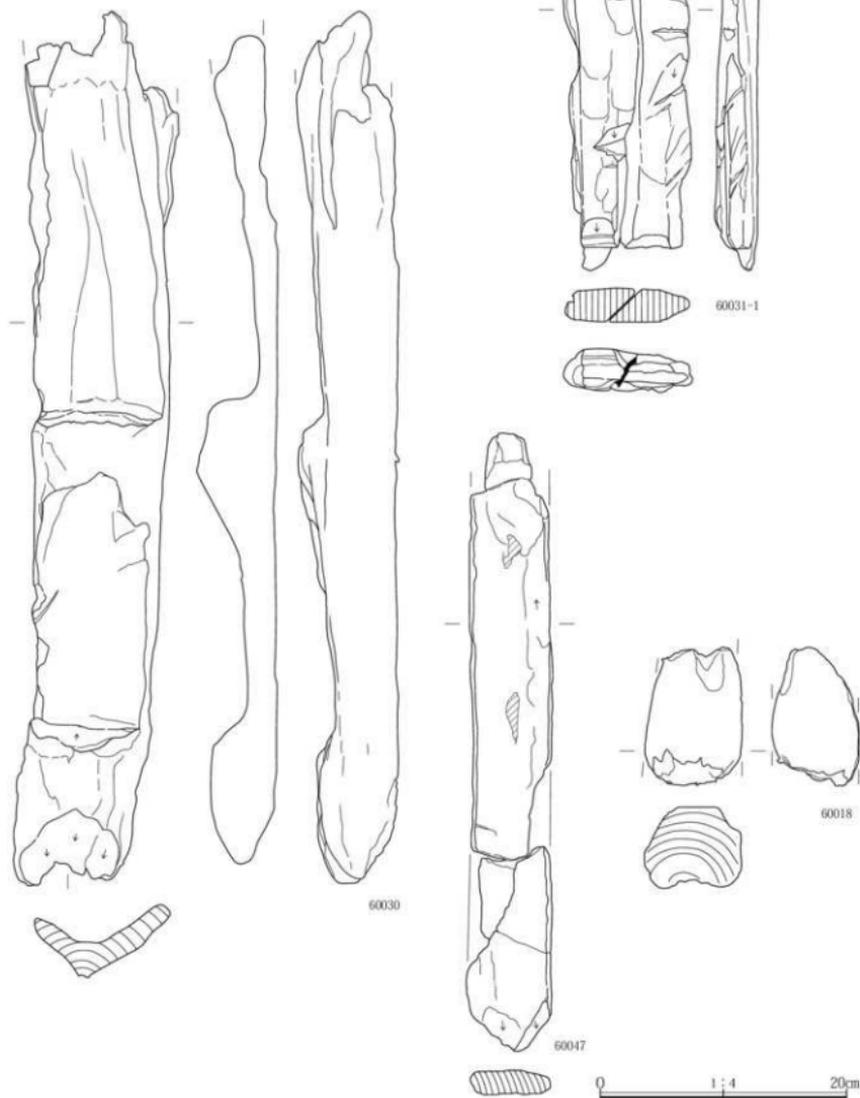
60046



60032

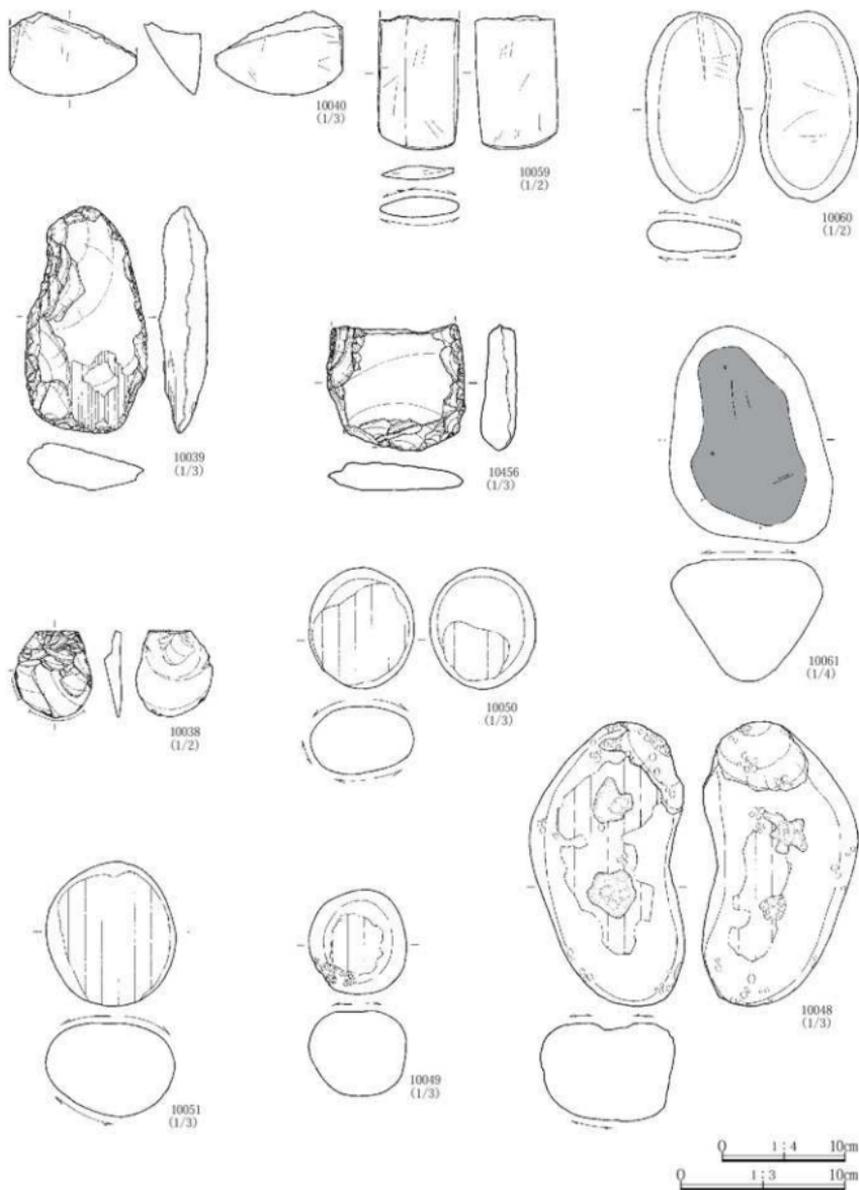


0 1:4 20cm

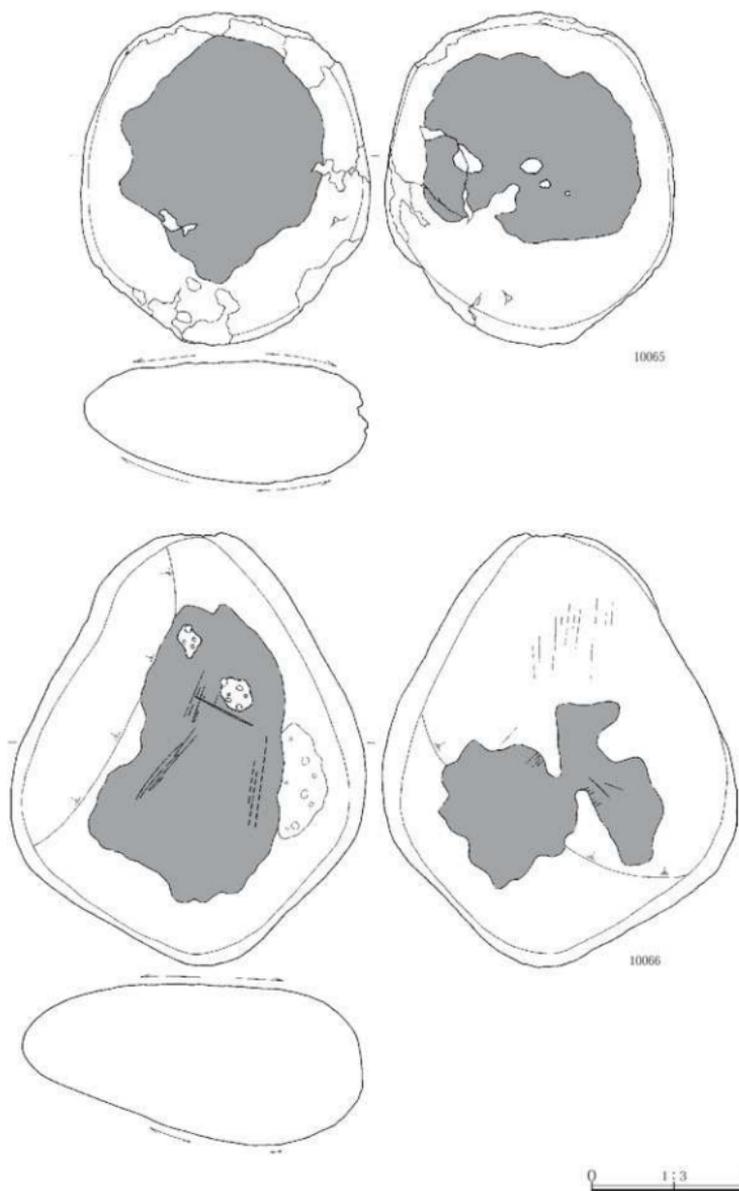


第426图 2区北地区505号土坑、6区36号聚穴建物出土木製品

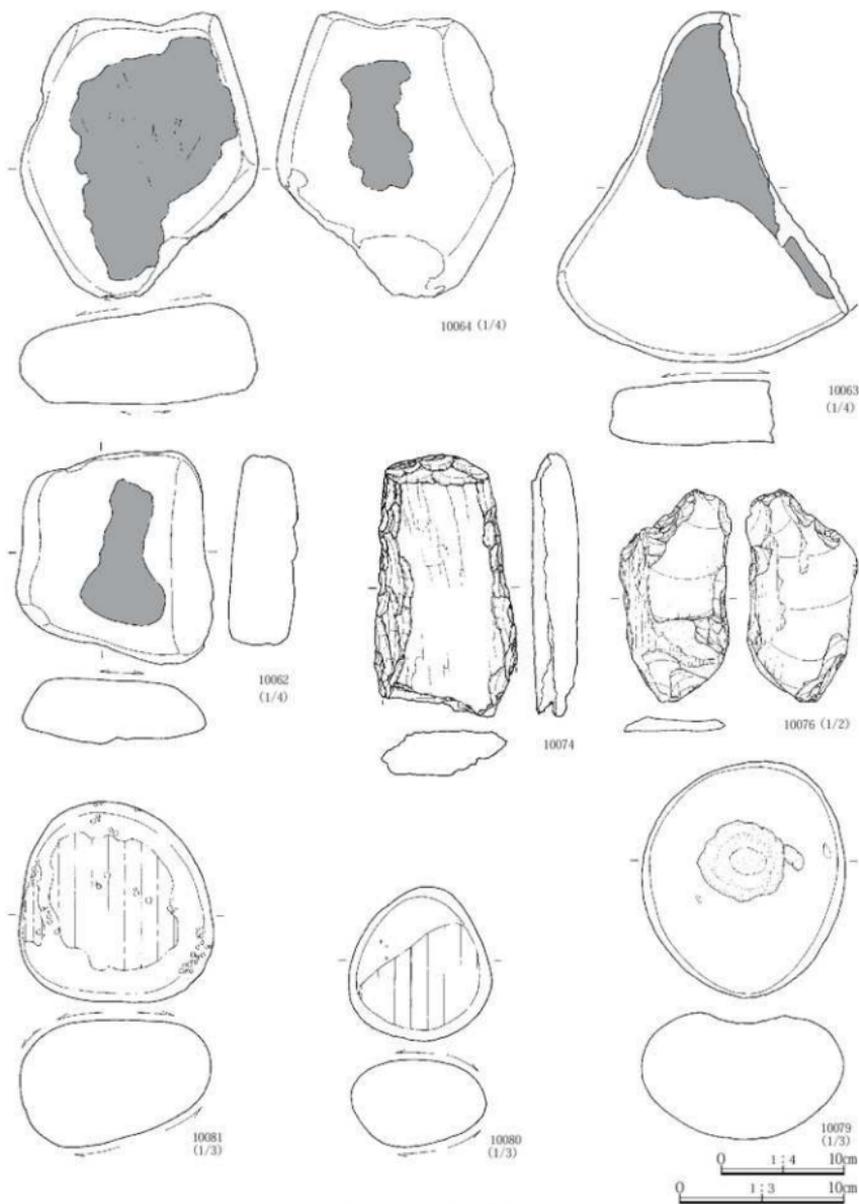
遺物実測図



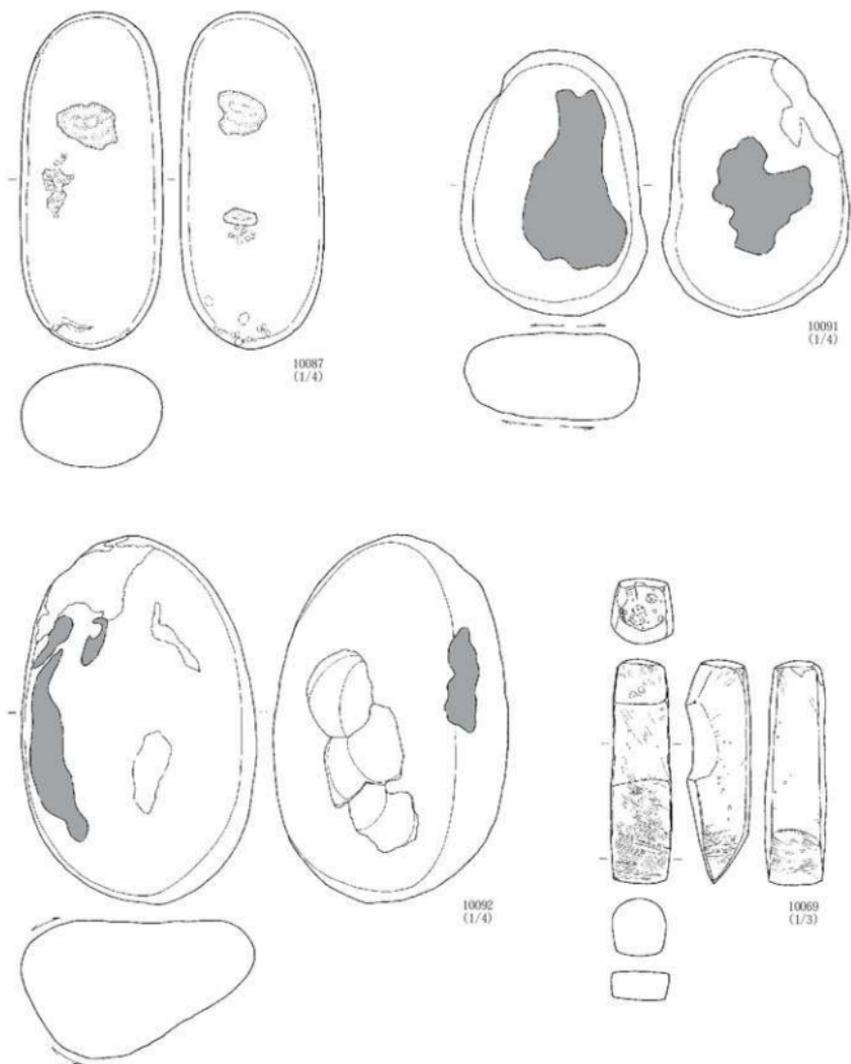
第427图 2区95号溝出土石器1



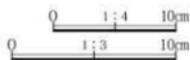
第428图 2区95号溝出土石器2

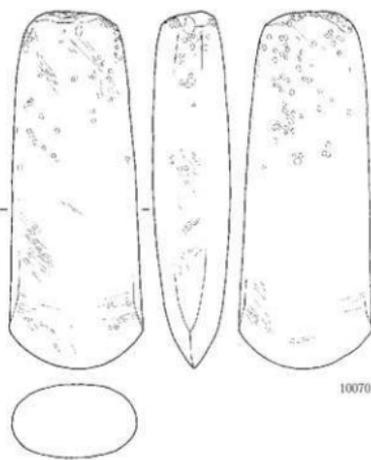
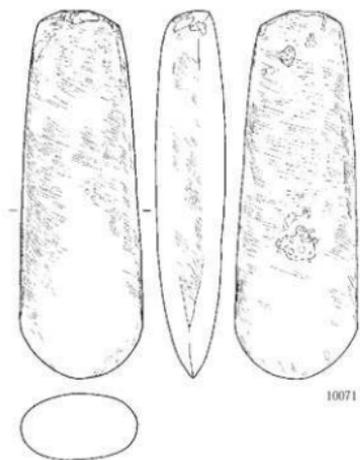
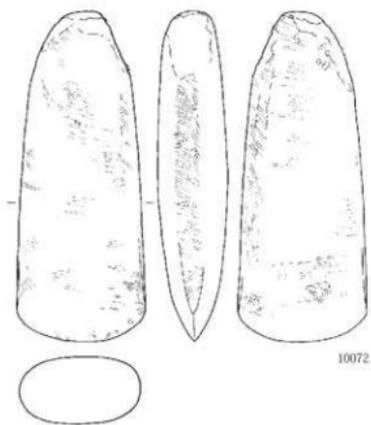
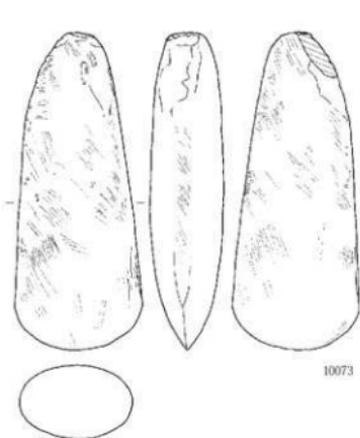


第429図 2区95・96号溝出土石器



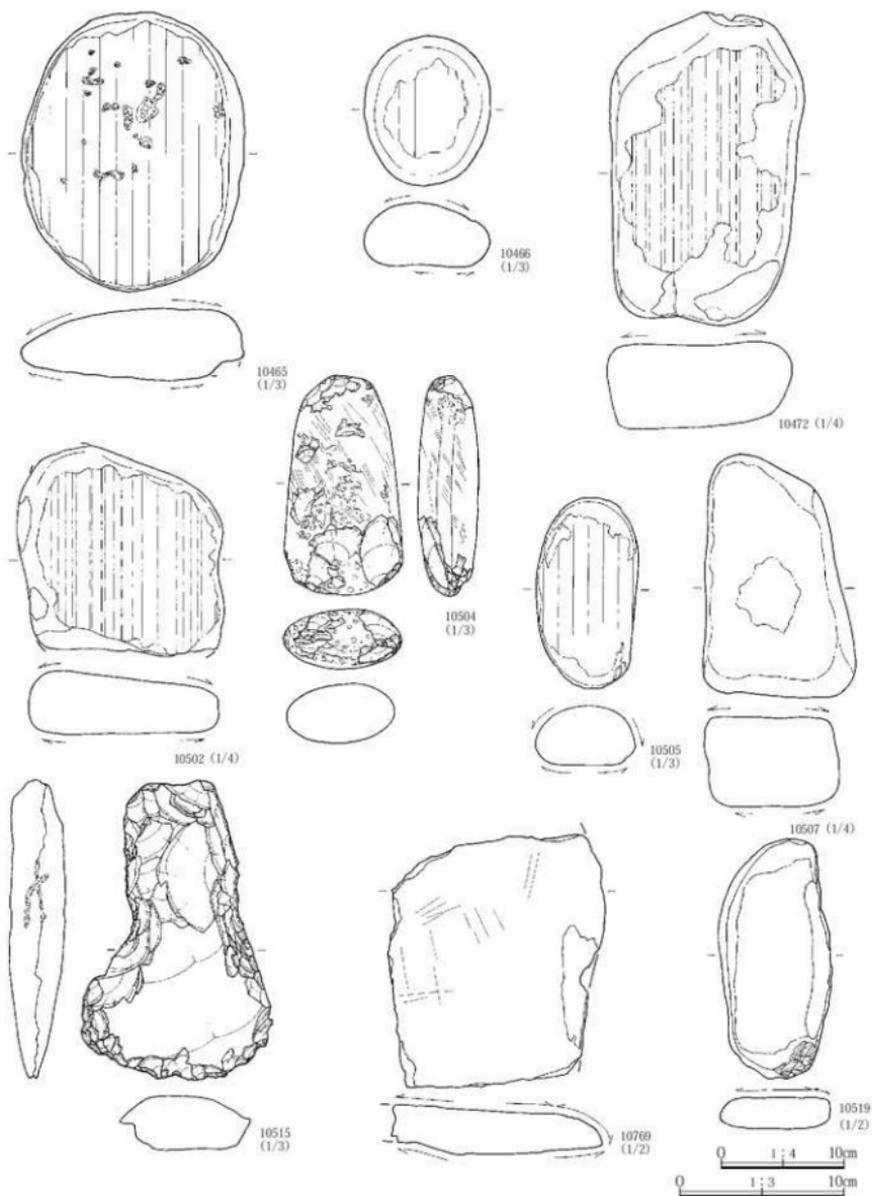
第430图 2区96号溝出土石器2





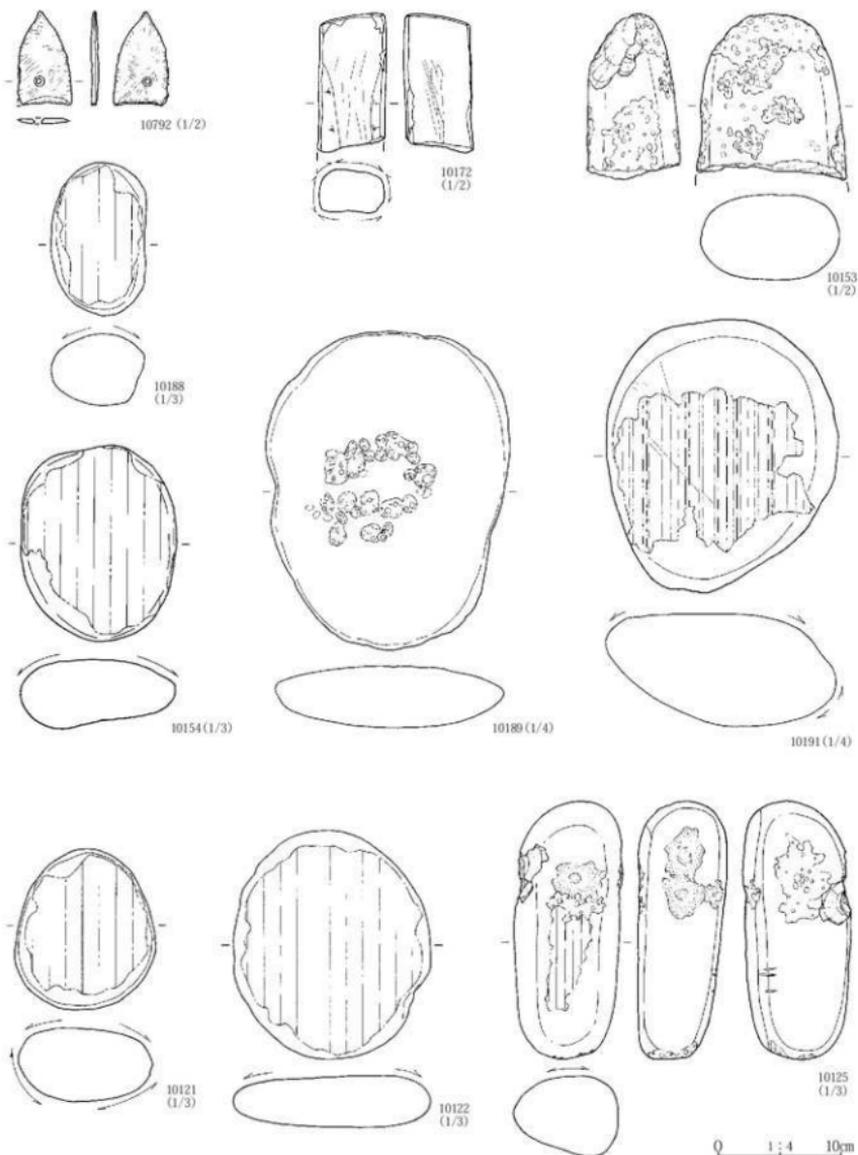
0 1:3 10cm

第431图 2区96号溝出土石器3

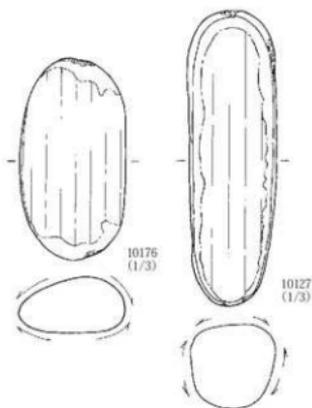
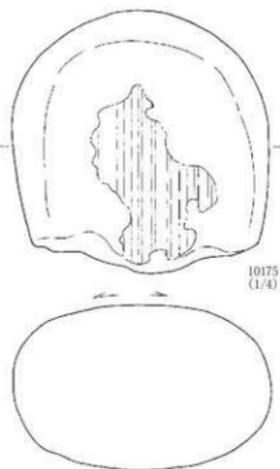
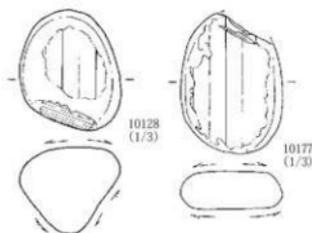
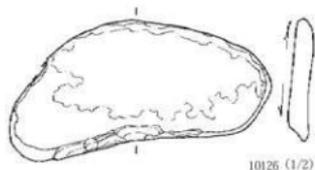
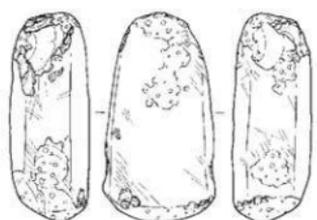
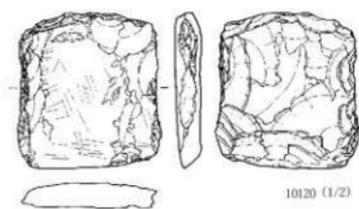


第432图 6区140号溝、7区245号溝、2区北地区268・291号溝出土石器

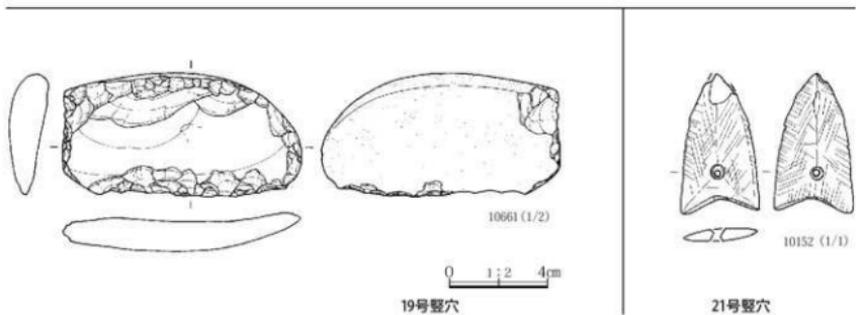
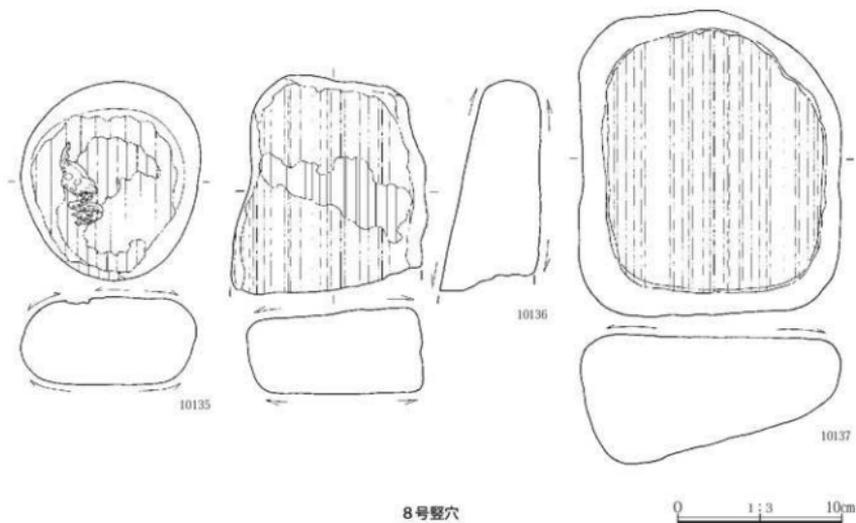
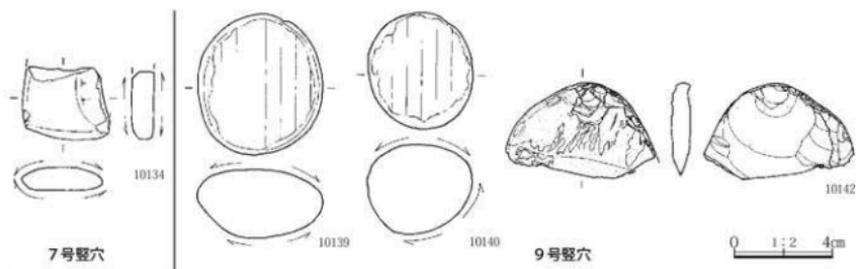
遺物実測図



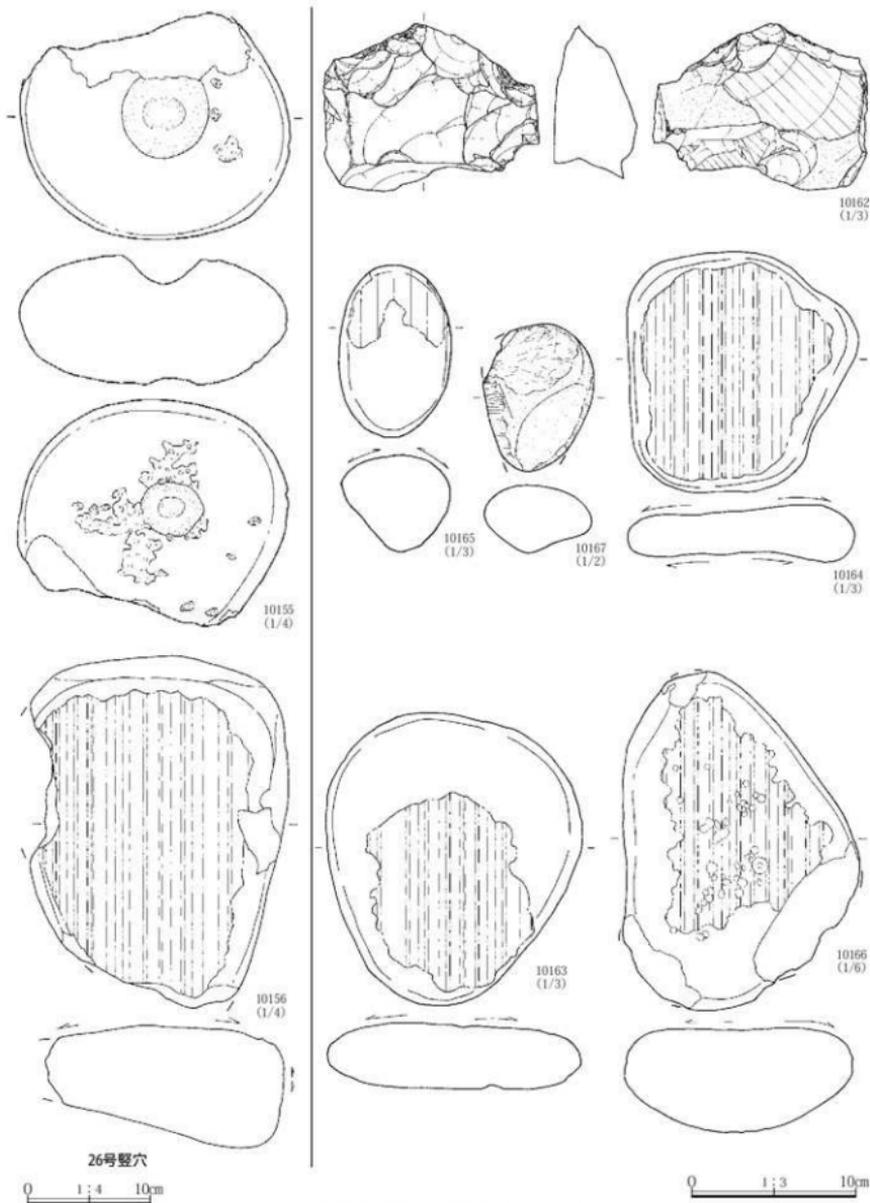
第433图 6区4・29号、5号竪穴建物出土石器



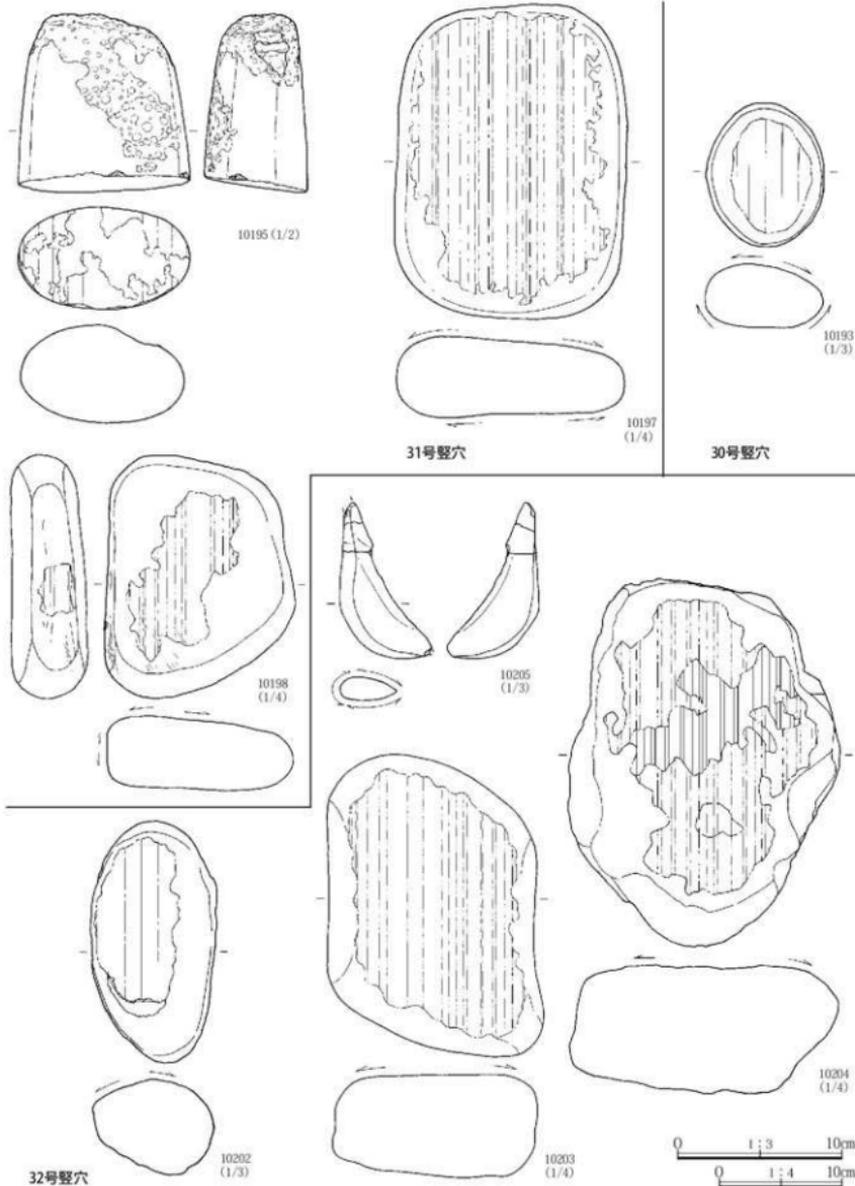
第434图 6区5・6号竪穴建物出土石器



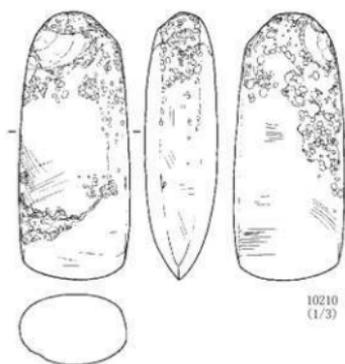
第435図 6区7・8・9・19・21号整穴建物出土石器



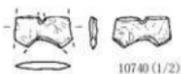
第436图 6区26・27号整穴建物出土石器



第437图 6区30・31・32号整穴建物出土石器



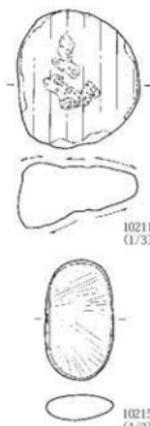
10210
(1/3)



10740 (1/2)



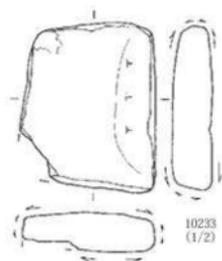
10213
(1/2)



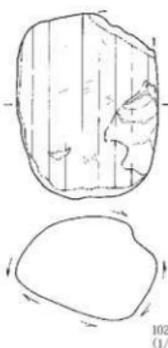
10211
(1/3)

10215
(1/2)

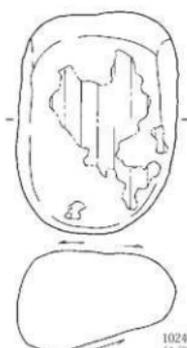
33号整穴



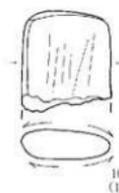
10233
(1/2)



10227
(1/3)

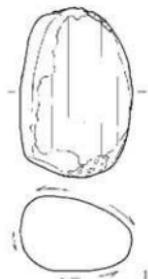


10246
(1/3)

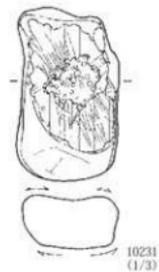


10247
(1/2)

37号整穴

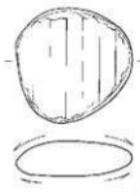


10228
(1/3)



10231
(1/3)

36号整穴

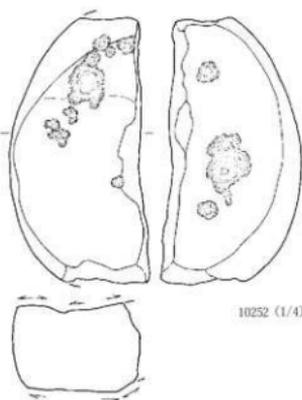
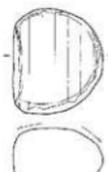
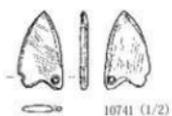


10259
(1/3)

39号整穴

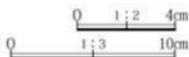
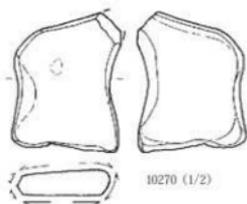
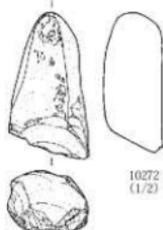
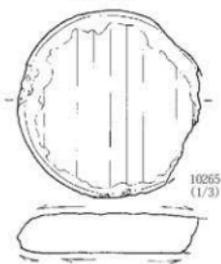
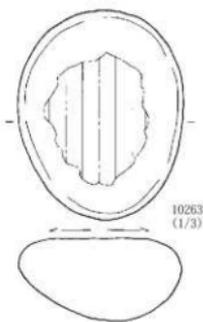
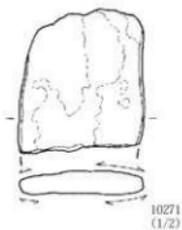
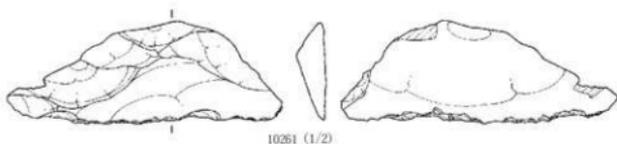
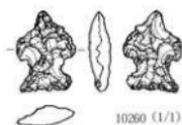


遺物実測図

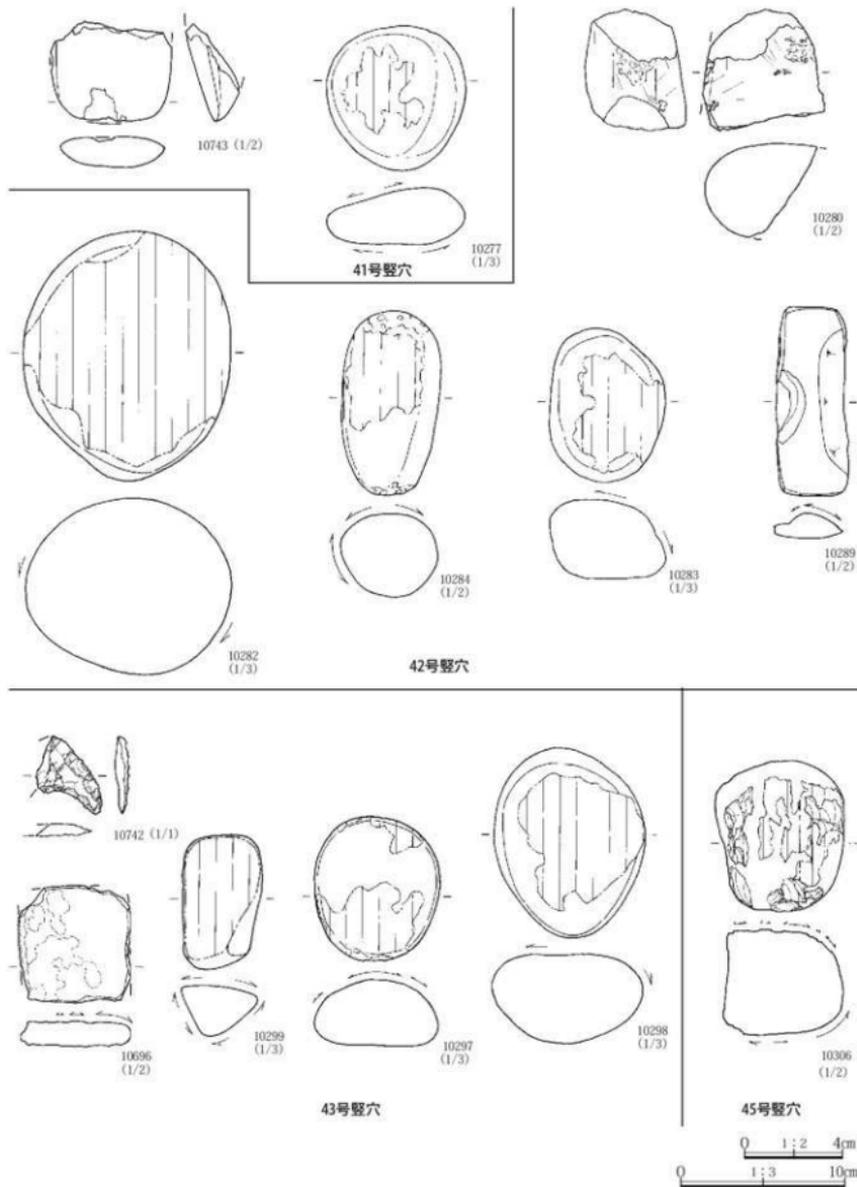


38号竪穴

10253 (1/2)

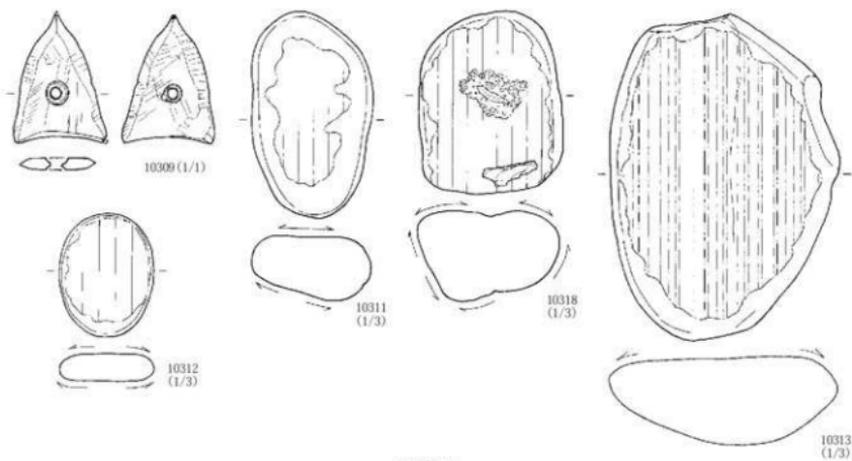


第439图 6区38・40号竪穴建物出土石器



第440図 6区41・42・43・45号竪穴建物出土石器

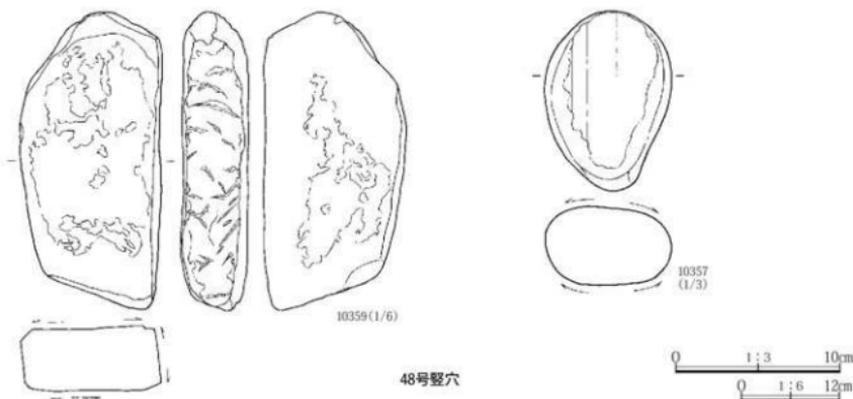
遺物実測図



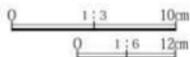
46号竪穴



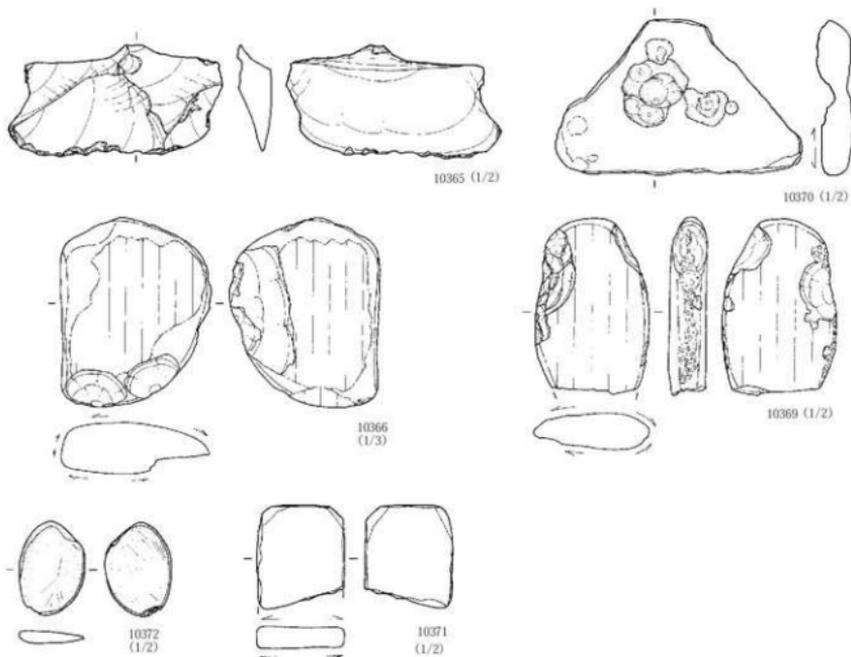
47号竪穴



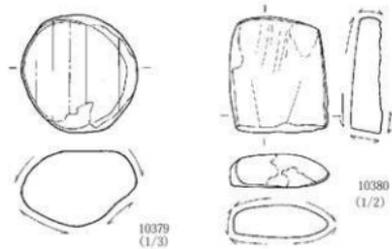
48号竪穴



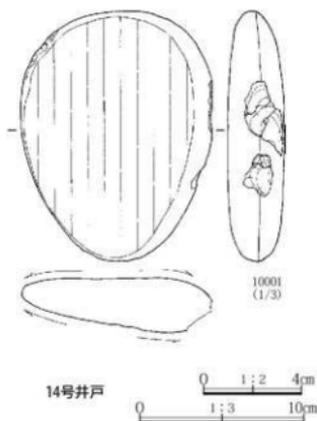
第441图 6区46・47・48号竪穴建物出土石器



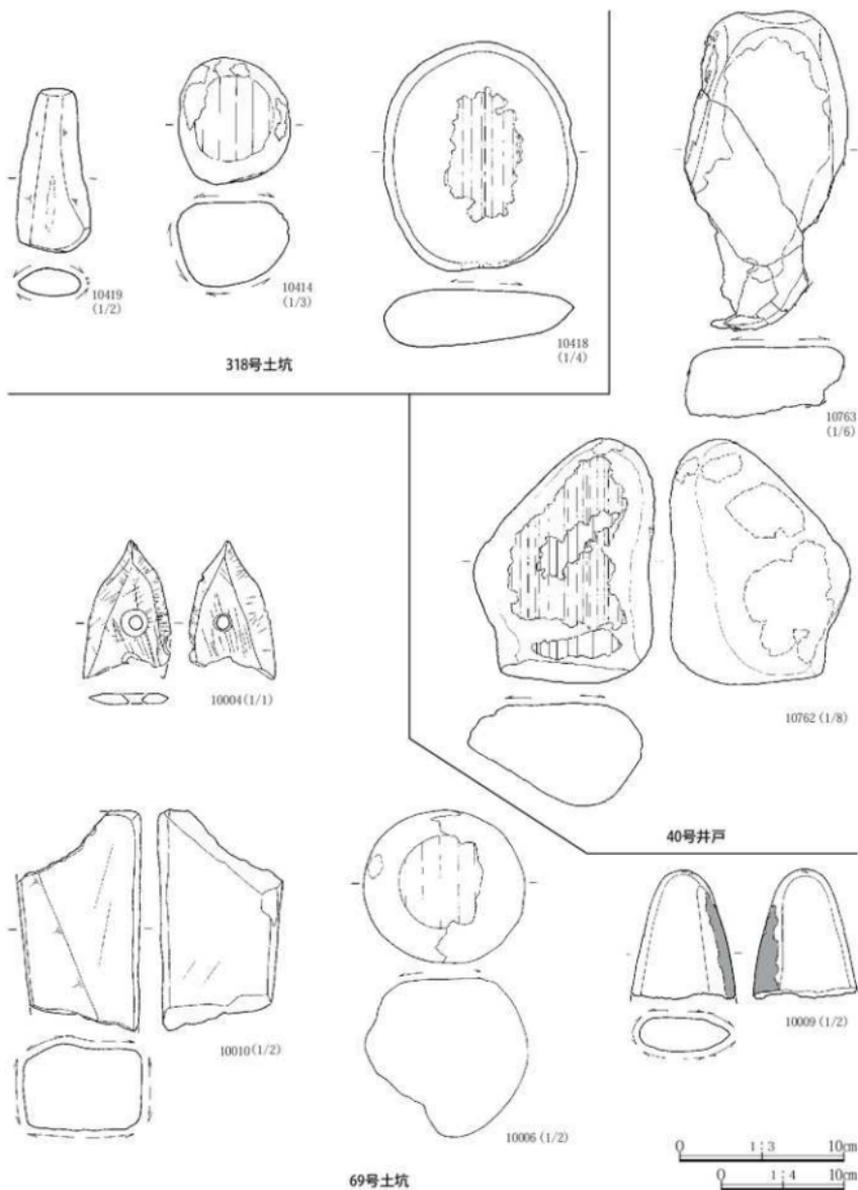
49号竪穴



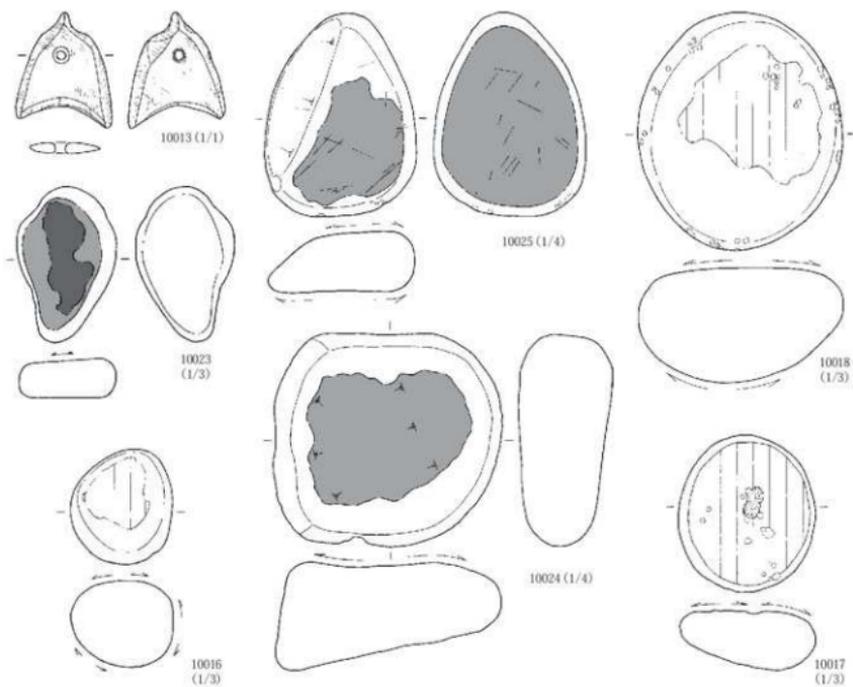
50号竪穴



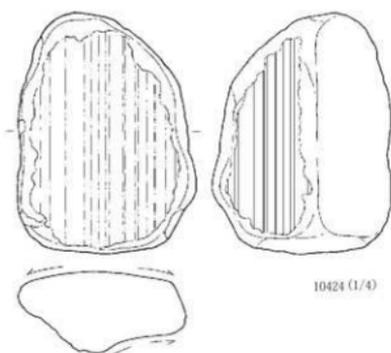
第442図 6区49・50号竪穴建物、2区14号井戸出土石器



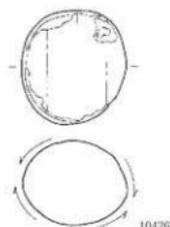
第443图 6区38号・7区40号・2区69号土坑出土石器



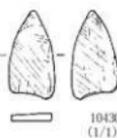
70号土坑



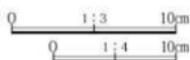
362号土坑



363号土坑

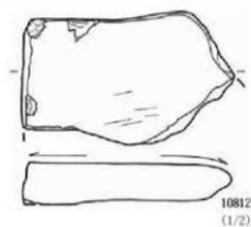
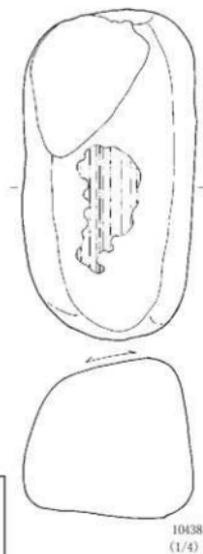
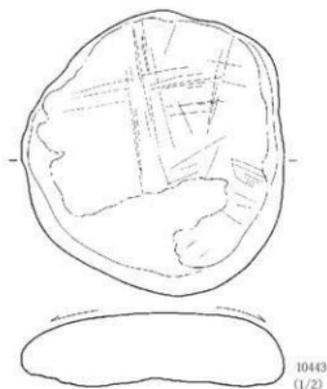
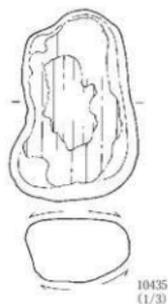
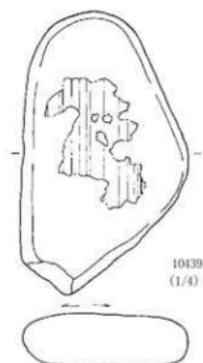
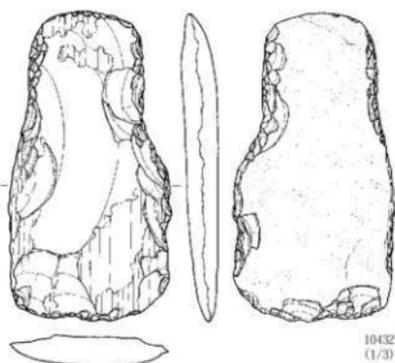
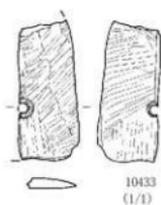


391号土坑



第444图 2区70号・2区北地区362・363・391号土坑(井戸)出土石器

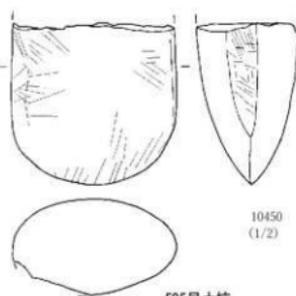
遺物実測図



446号土坑



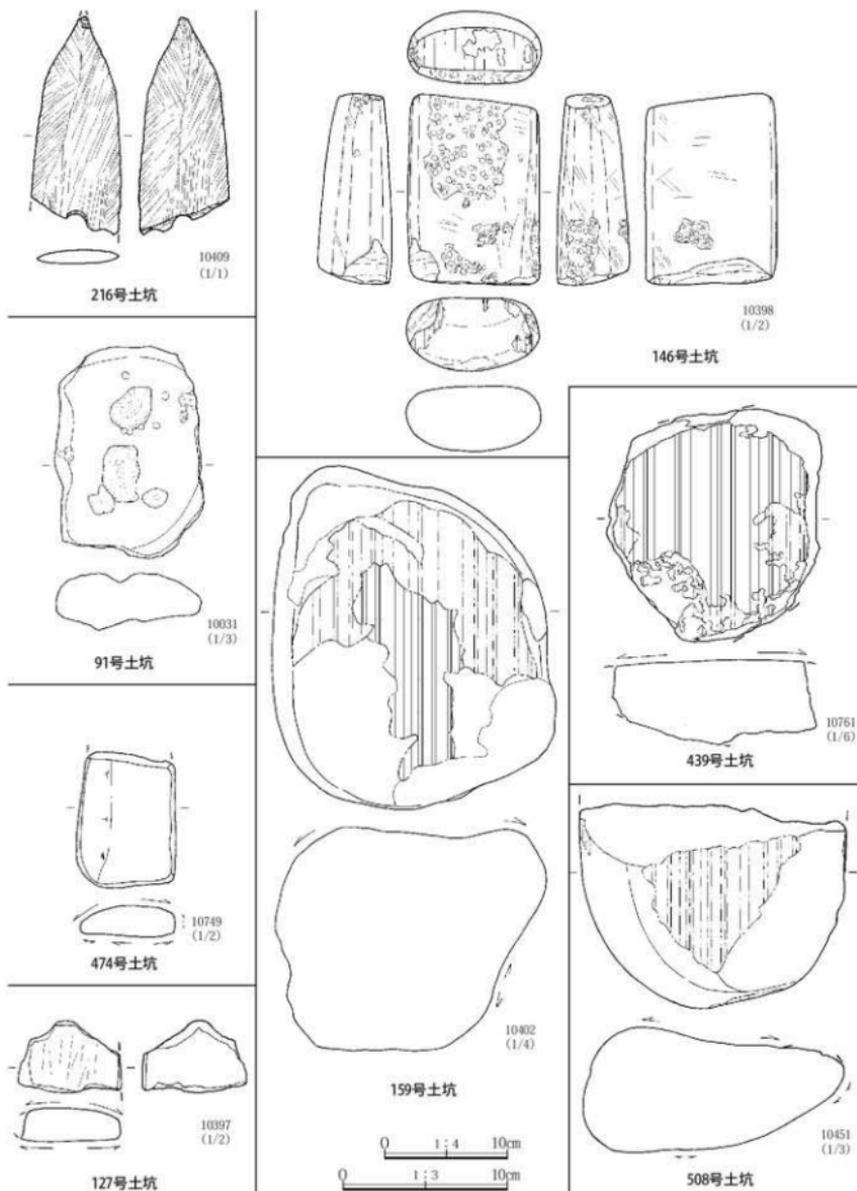
497号土坑



505号土坑

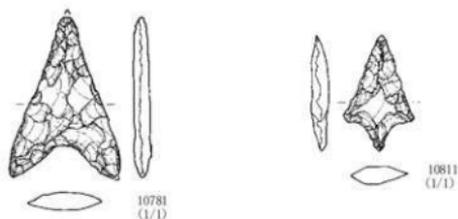
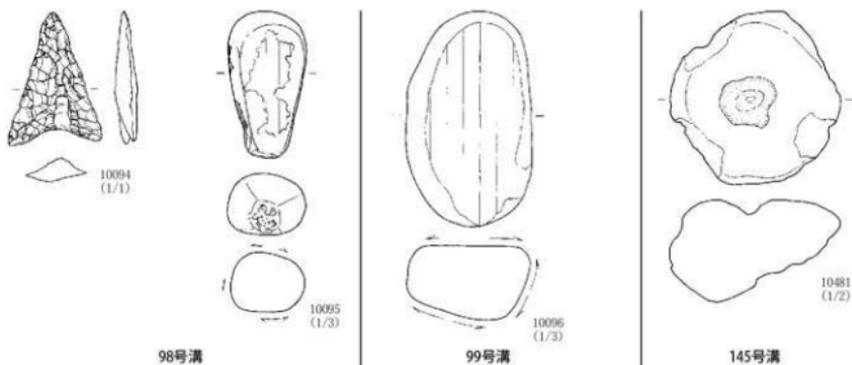


第445图 2区北地区446・497・505号土坑(井戸)出土石器



第446图 1区南地区地区216号土坑(墓塚)、2区91号・6区127・146・159号・2区北地区439・508号土坑出土石器

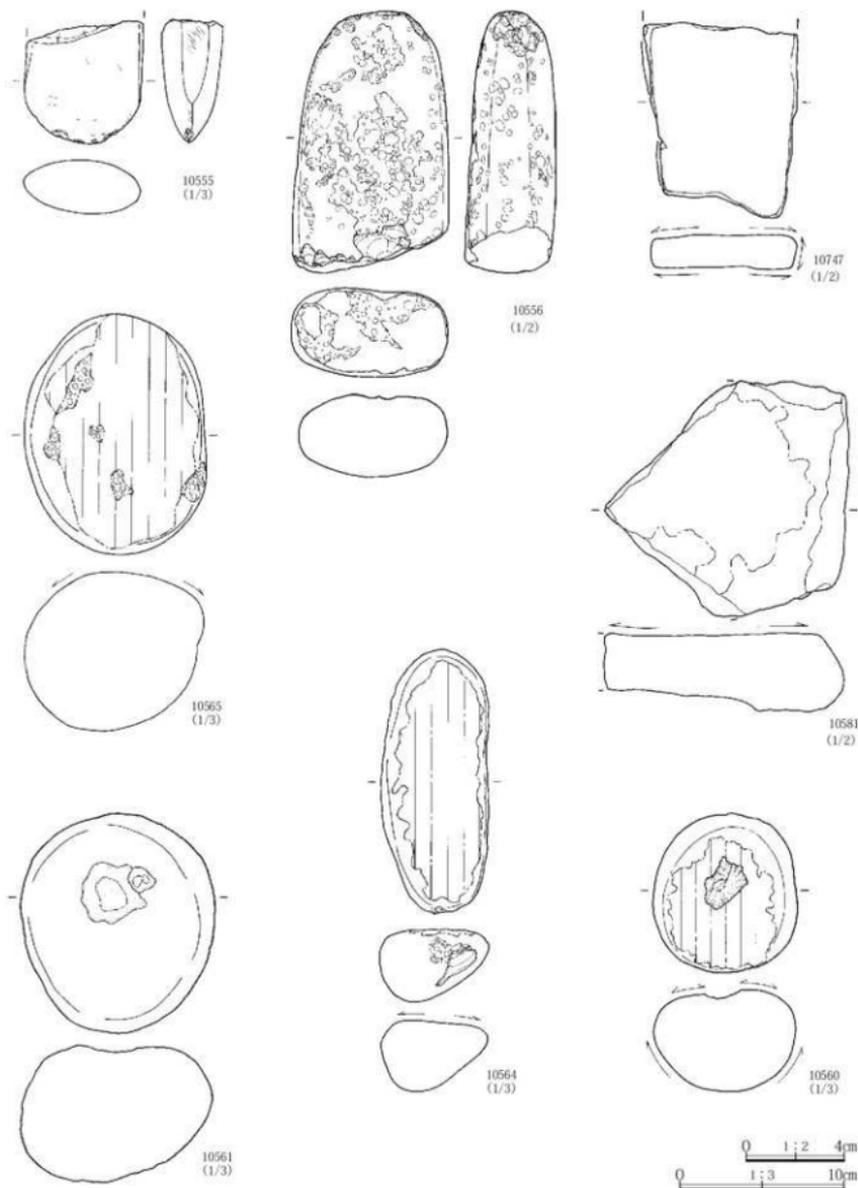
遺物実測図



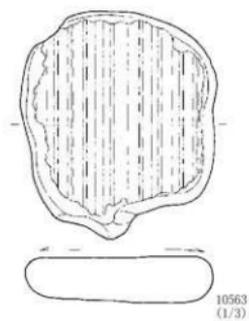
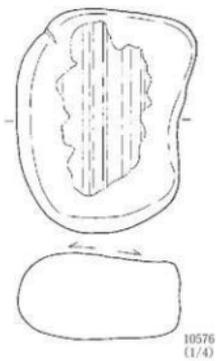
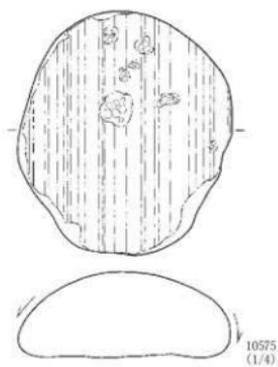
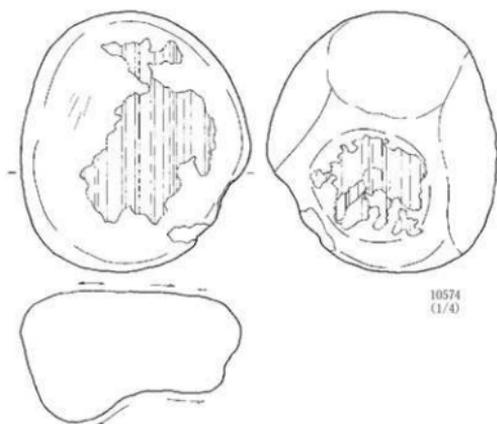
1号河川跡



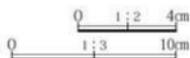
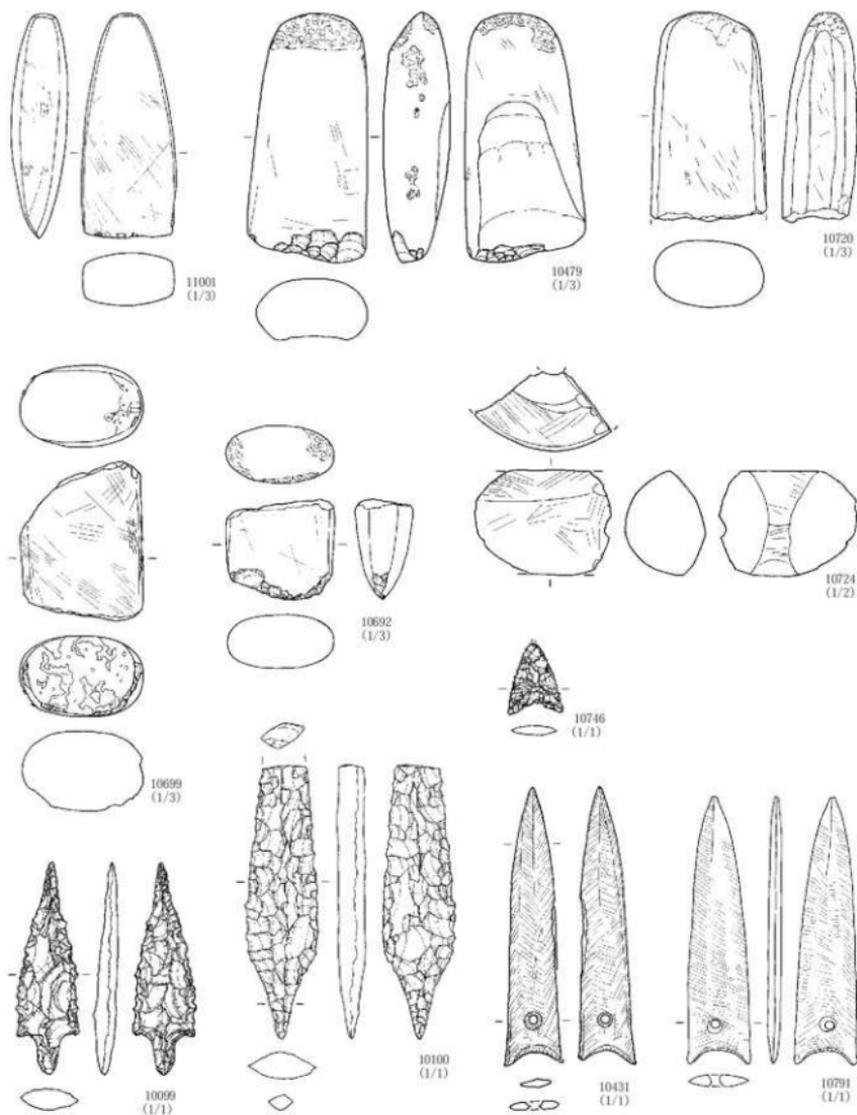
第447図 2区98・99号溝・6区145・147号溝・河川跡出土石器



第448図 6区1号集石遺構出土石器1

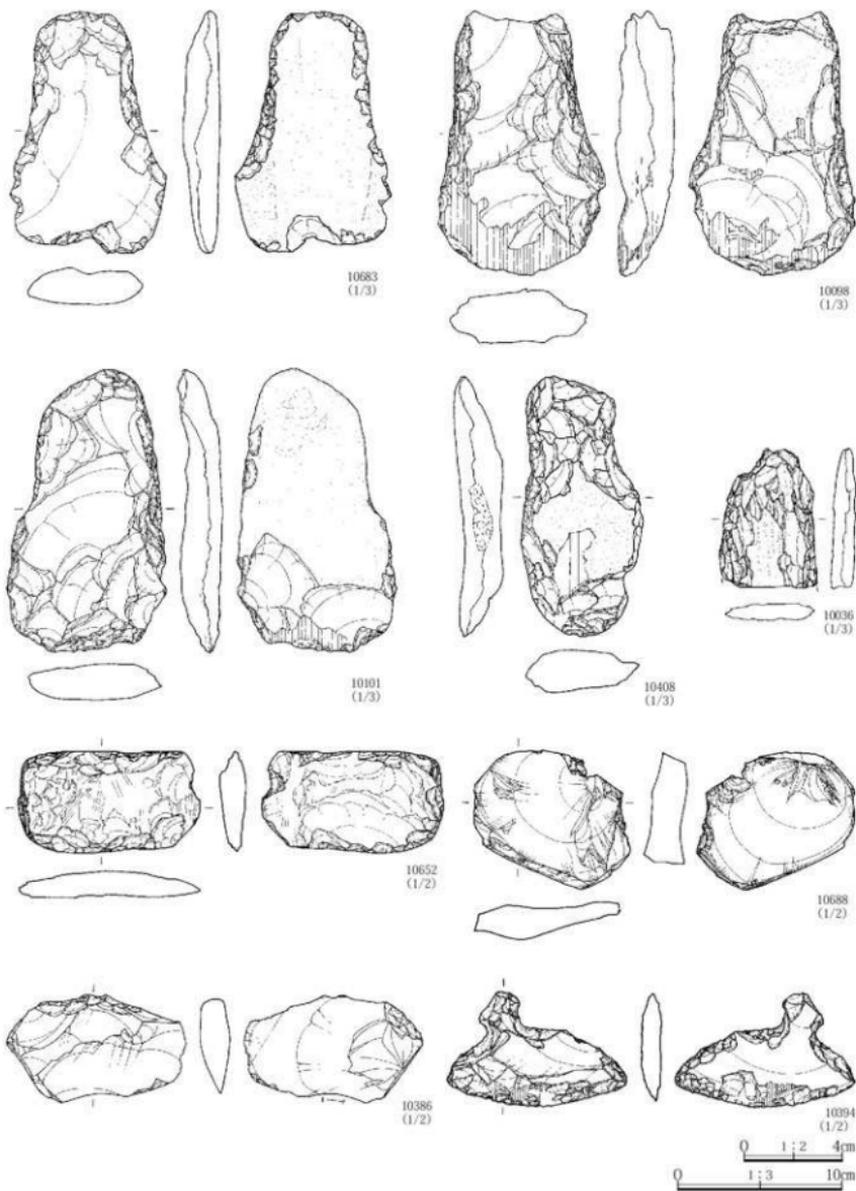


第449図 6区1号集石遺構出土石器2



第450図 遺構外出土石器 1

遺物実測図



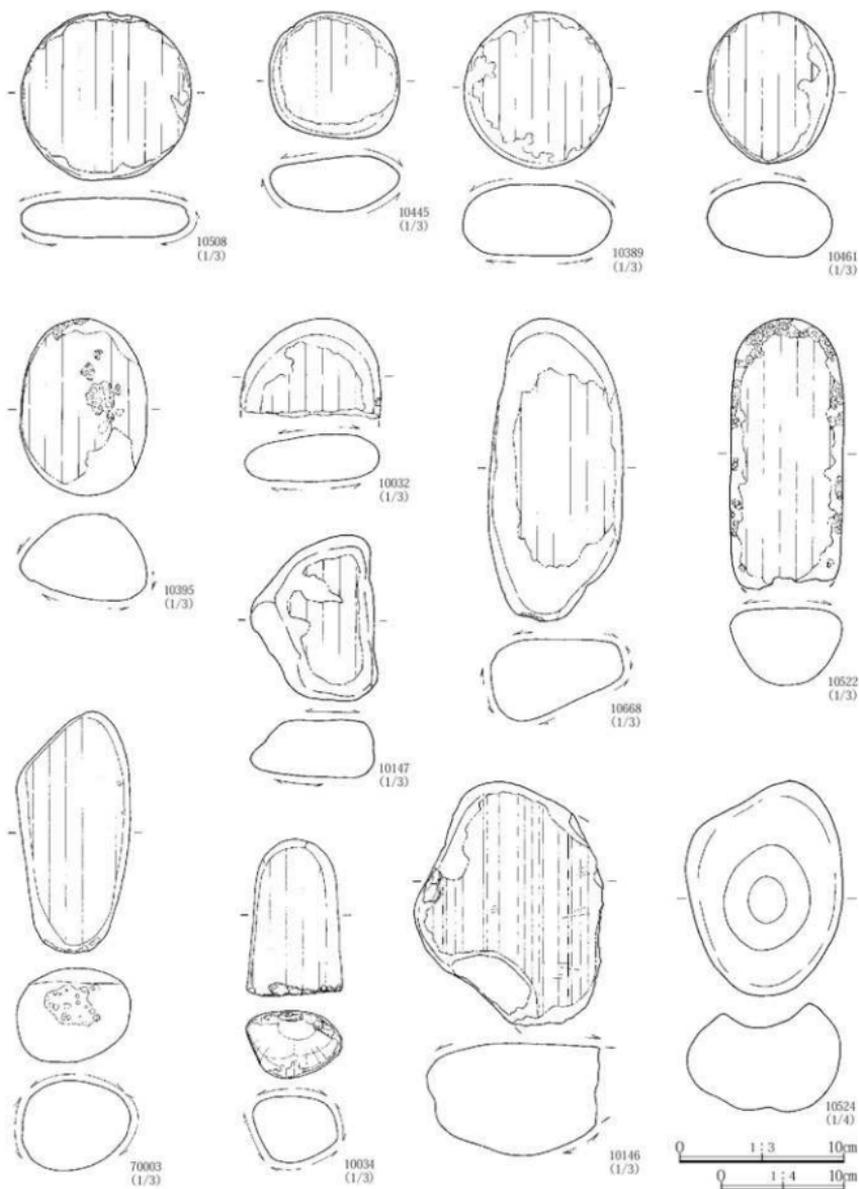
第451図 遺構外出土石器2

遺物実測図

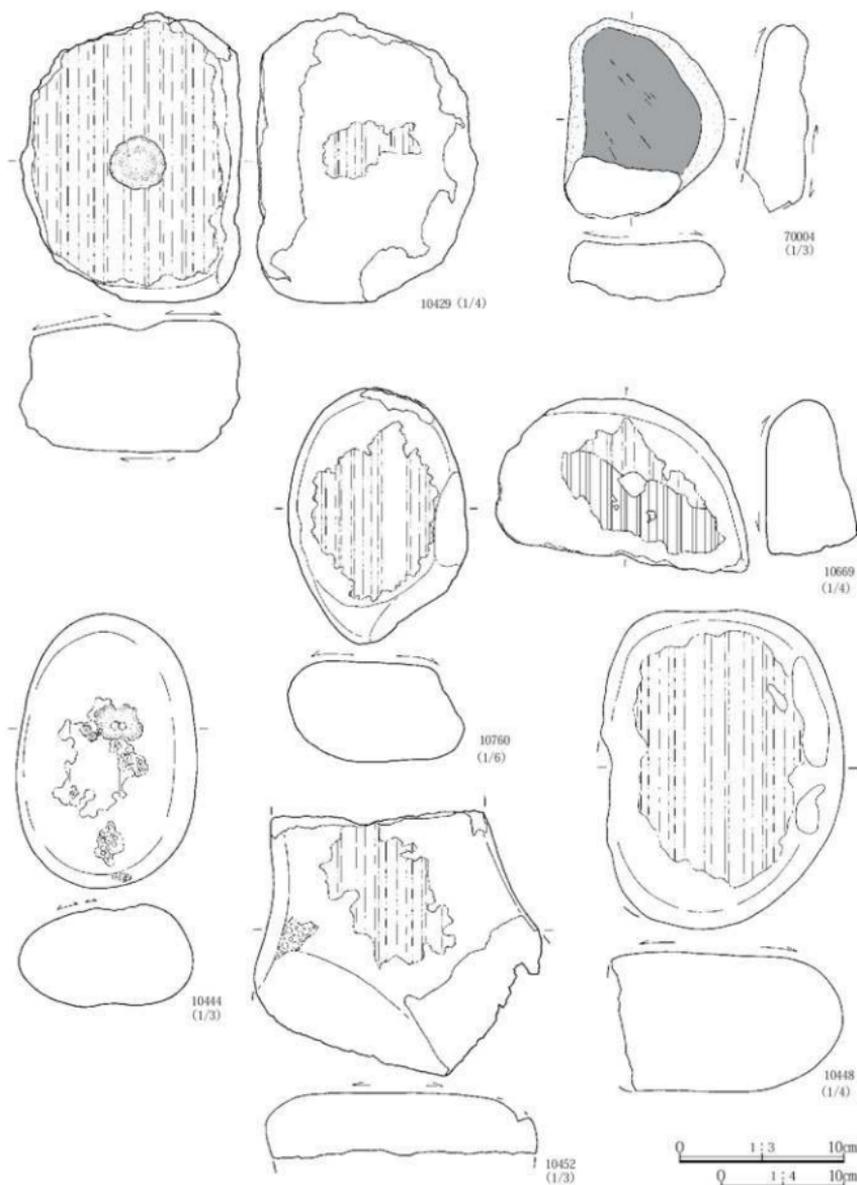


第452図 遺構外出土石器3

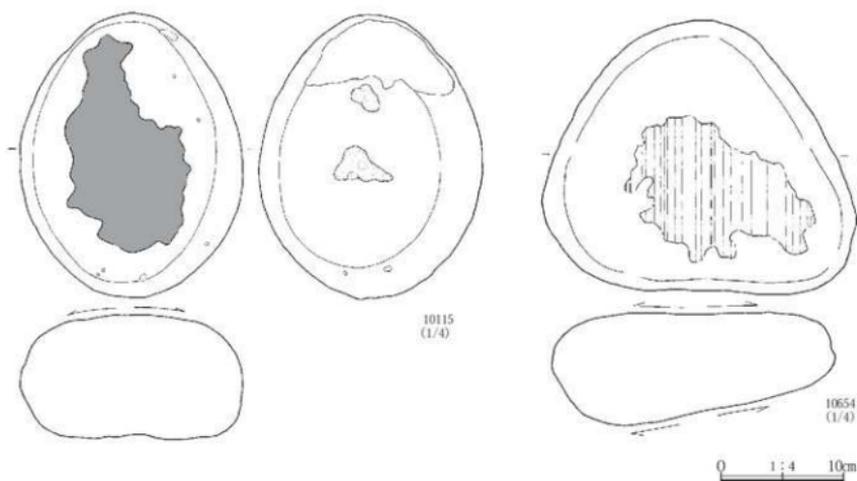
遺物実測図



第453图 遺構外出土石器 4



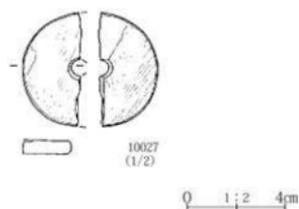
第454図 遺構外出土石器 5



第455図 遺構外出土石器6



第456図 壺形石製模造品



第457図 石製紡輪

第38表 縄文土器観察表

調査番号 写真ID版	登録 番号	土器種	出土地点	器種	残存部位	胎土夾雜物	色調	器形・文様の特徴	時期	型式
第2759号 PL-123	24001	縄文土器	1区南 249土坑	深鉢	口頭部破片	粗:石英・片岩類	褐色	幅広で強く開く口頭部。横位平行沈線 を地文とし棒状貼付文を縦位に付す。 内面研磨。	前期後葉	諸磯c式
第2759号 PL-123	24002	縄文土器	2区北	深鉢	口頭部破片	粗:石英・輝石	明赤褐色	斜位平行沈線を地文とし横位波状縦線 と縦位結節浮線文を付す。内面平滑 な面で調整。	前期末葉	
第2759号 PL-123	24003	縄文土器	6区 46野穴建物	深鉢	体部破片	粗:石英・輝石多	黄灰色	内傾する体部上半。横位沈線以下に小 型の内形刺突文が治う。内面平滑な面 で調整。	中期初葉	五箇ヶ台2式
第2759号 PL-123	24004	縄文土器	2区北 446土坑	深鉢	口頭部破片	粗:石英・輝石	鈍い褐色	押圧を加えた横位跳状隆線上位縦位 結刺突文。下位は横位小波状隆線文を 配す。内面磨削・縦位研磨。	中期前葉	磨板1式
第2759号 PL-123	24005	縄文土器	1区北西	深鉢	体部破片	粗:石英・輝石・白 色粒	褐色	小径で直立気味の体部。縦位波状隆線 による懸重文構成。地文に縦位懸糸L を施す。内面磨削・縦位研磨。	中期中葉末	加曾利E1式
第2759号 PL-123	24006	縄文土器	6区 26野穴建物	深鉢	体部破片	粗:輝石・白色粒	明褐色	孤立沈線3条を配す。あるいは渦巻き 状意匠か。地文にRを施す。内面平 滑な面で調整。	中期後葉	加曾利E2式
第2759号 PL-123	24007	縄文土器	6区 26野穴建物	深鉢	体部破片	粗:石英・輝石・ チャート・白色粒	褐色	縦位・斜位Rを施す。内面縦位研磨。	中期後葉	加曾利E2式
第2759号 PL-123	24008	縄文土器	6区	深鉢	体部破片	粗:石英	にぶい黄褐色	縦位沈線3条による懸重文構成。外器 面磨削。内面縦位研磨。	中期後葉	加曾利E3式
第2759号 PL-123	24009	縄文土器	2区北	深鉢	体部破片	粗:輝石・白色粒	褐色	厚手。縦位Rを施す。内面丁寧な研磨。	中期後葉	加曾利E3式
第2759号 PL-123	24010	縄文土器	2区 111号溝	内耳直	口頭部破片	粗:石英・輝石	褐色	内外器面磨削。頸部に設けられた横位 沈線を大型の横状把手が繋ぐ。縄文の 施文は判然とし無い。	中期後葉	加曾利E3式
第2759号 PL-123	24011	縄文土器	2区北 54野穴建物	深鉢	口頭部破片	粗:石英(大)・片岩	にぶい褐色	口頭部横位縦隆線を設ける。以下横位 L Rを施す。内面平滑な面で調整。	中期末葉	加曾利E4式
第2759号 PL-123	24012	縄文土器	1区南 269号土坑	深鉢	体部破片	粗:石英(多)・輝石	黄褐色	沈線群による幾何学文区画。縦横位L Rを充填する。内面無調整。	後期前葉	瓶之内2式
第2759号 PL-123	24013	縄文土器	1区北西	深鉢	体部破片	粗:石英・チャート ・白色粒	にぶい黄褐色	外反する体部。横位加節Lが覆う。内 面平滑な面で調整。	後期前葉	瓶之内2式

高崎競馬場遺跡 出土縄文土器総量

遺構名	時 期 型式名等	数量
遺構外	有尾式	1
	諸磯b式	1
	前期末葉	1
	五箇ヶ台2式	1
	阿五台1b式	1
	新巻類型	2
	磨板2式	2
	加曾利E1式	2
	加曾利E2式	14
	加曾利E3式	23
	加曾利E4式	2
	瓶之内1式・2式	11
	不明	7
	加曾利E3式	1
未掲載	69	
掲載	13	
合 計		82

遺物観察表

第39表 弥生土器観察表 95号溝

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第276号 -	20036	2	95溝	壺	埋土中 層・下層	口へ頸部 口縁1/2	17.4	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 3条の沈線による横線文 で地文縄文(LR)	口縁部外面、内面に斜 ハケメ	浅黄橙 S+赤粗砂	
第276号 -	20033	2	95溝	壺	埋土下層	口縁部へ 頸部1/2	(15.2)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 3条の横沈線、縄文地文 (LR)	外面は口唇から口縁上 部に横ナデ、斜ハケメ 内面は横ミガキ	浅黄 S	
第276号 -	20017	2	95溝	壺	西平下層	口縁部へ 頸部3/4	16.7	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、頸部 に縄文(LR)を地文とし3 条の横沈線	口縁内面は横ナデ	灰白 S+赤粒	
第276号 -	20066	2	95溝	壺	西側埋土	口唇部 1/2	12.0	-	-	-	頸部に縄文(LR)を施し、 2条の横沈線をめぐらす 口唇部に縄文(LR)をめぐ らす	器面荒れて不明	灰白 S	
第276号 -	20061	2	95溝	壺	北西端埋 土	口縁2/3	15.2	-	-	-	頸部に2条沈線横 帯区内に地文縄文(LR)を めぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S	口縁に種子 圧痕?
第276号 -	20019	2	95溝	壺	北西端下 層	口縁部へ 頸部	(13.6)	-	-	-	頸部に縄文地文(LR)と し、2条の沈線による横 線文	外面口唇部に縦ミガキ か、内面口縁部にナデ	灰白 S	二次的焼熱 により色変 と歪み
第276号 -	20063	2	95溝	壺	西側下層	口縁部へ 肩部	(15.0)	-	-	-	頸部に4条の横沈線、1条 の沈線波状文の中を縦線 文地文(オオバコ文)	内外面ナデ	灰白 S	
第276号 -	20030	2	95溝	壺	埋土上層	口縁部へ 頸部1/3	13.0	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、頸部 に2条の横沈線区画部の 内に2条沈線による波状 文をめぐらす縄文(LR)地 文	内面に縦かゝハケメ整 形	灰白 S輝石多	
第276号 -	20052	2	95溝	壺	東部中層	口縁部へ 肩部1/3	(13.0)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、頸部 に2条の横沈線区画部の 中を2条の横線波状文	外面と口縁下部に斜ハ ケメ、肩に粗いミガキ	にぶい黄橙 S	
第276号 -	20020	2	95溝	壺	西平下層	口縁部へ 頸部	(10.2)	-	-	-	頸部に縄文地文(LR)、2 条沈線の横線区内に波状 文、下位に1条の波状文 をめぐらす	口縁外面に縦ハケメの ち横ナデ	にぶい橙 S輝石・白岩 片多	
第276号 -	20045	2	95溝	壺	中央部下 層	頸部へ肩 部1/3	-	-	-	-	頸部に太い3条の横沈線、 縄文地文(LR)	外面口縁部下位に縦ハ ケメ整形のち横ミガキ 、内面横ミガキ	灰白 S	
第276号 -	20054	2	95溝	壺	中央部埋 土	頸部へ体 部1/3	-	-	-	-	土層を段状沈線で曲し縄 文地文(LR)、頸部に3条 の横沈線、下位に2条の 沈線山形文	外面に縦ナデ、内面へ ラナデ	にぶい橙 S	
第276号 -	20060	2	95溝	壺	西平部中 層	頸部2/3	-	-	-	-	頸部に縄文地文(LR)、3 条の横沈線	外面にハケメ	灰白 S	
第276号 -	20043	2	95溝	壺	西平部下 層	頸部へ体 部1/4	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)の地文と し、3条沈線の横線文と 波状文	内外面とも荒れて整形 不明	にぶい黄橙 S	
第276号 -	20076	2	95溝	壺	埋土	頸部へ肩 部2/3	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)地文、3 条以上の横沈線をめぐらす	外面はミガキ、内面荒 れて整形不明	灰黄 S	
第276号 -	20284	2	95溝	壺	西平部埋 土	頸部	-	-	-	-	内面上半に赤彩、頸部外 面に縄文(LR)を地文とし て、横沈線の横帯区画内 と下位に沈線山形文をめぐ らす	器面荒れて整形不明	灰白 S輝石多	
第276号 PL-124	20001	2	95溝	壺	埋土	頸部へ底 部2/3	-	-	7.0	-	頸部に縄文(LR)の地文と し、3条の横沈線をめぐ らす、下位に縦線文(平 行線充地)	器面荒れて整形不鮮明	灰白 S	胴外面に種 子圧痕?
第276号 -	20028	2	95溝	壺	西分岐部 埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に太沈線 3条の横線文	内面に指押捺	灰白 S	
第276号 -	20059	2	95溝	壺	西平埋土	口縁へ頸 部片	(15.8)	-	-	-	頸部に3条の横沈線をめ ぐらす	外面は器面荒れ	灰黄 S	
第276号 -	20034	2	95溝	壺	西平埋土	口縁1/3	(15.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 2条の横沈文をめぐらす	板小ハケメ(ナデに 近い)、内面はナデか	灰白 S+鐵	

第40表 弥生土器観察表 95号簿

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第276区 -	20016	2	95溝	壺	西平下層	口縁部～ 頸部	(13.8)	-	-	-	頸部に2条の沈線の横線 文と1条の波状文をめぐ らす	外面は口縁部上位は横 ナデ、その他縦ハケメ、 頸部は縦ハケメ、 内面は横ハケメ、頸部 内面は指ナデ	灰白 S+赤多	
第276区 -	20018	2	95溝	壺	西平中層	口縁部 2/3	(19.6)	-	-	-	受け口の口縁部に縦口縁 か、頸部に浅い2条の横 沈線	頸部荒れ整形不明	浅黄橙 S+片岩塵	
第277区 -	20035	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部1/2	-	-	-	-	頸部に4条の沈線による 横線文	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+赤粒	頸部上位に 種子?圧痕 多
第277区 -	20037	2	95溝	壺	西分岐部 下層	口縁～体 部1/3	15.0	-	-	-	頸部、5条の横沈線をめ ぐらす	頸部に縦ハケメ、口縁 部外面内面は横ナデ	にぶい黄橙 S	
第277区 -	20058	2	95溝	壺	西平下層	口縁2/3	(15.0)	-	-	-	口縁部から口縁にかけて 縦線文をめぐらせ、頸部 に段状の沈線をめぐらす	外面は縦ハケメ整形、 内面は割離著しい	灰白 S	
第277区 -	20069	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁～頸 部	(13.9)	-	-	-	頸部に2条沈線をめぐら す	口縁に縦ハケメ	灰白 S	
第277区 -	20003	2	95溝	壺	西端埋土	口縁～頸 部 3/4	-	-	-	-	頸部上位に段状沈線、中 位に沈線による横線文、 縄文地文の有無は不明	内外面荒れ、整形不明 内面にミガキ	にぶい黄橙 S+赤粒粗砂	
第277区 -	20048	2	95溝	壺	分岐部西 上層	口縁～頸 部1/2	(15.0)	-	-	-	頸部に2条の横沈線の周 に刻突文、その下位に沈 線波状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+赤粒・赤 粒	
第277区 -	20283	2	95溝	壺	平内溝埋 土	口縁部 1/2	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、口縁 内面に赤彩	器面荒れて整形不明	浅黄橙 J層粗砂多	
第277区 -	20096	2	95溝	壺	西分岐部 埋土	口縁～頸 部1/4	(15.2)	-	-	-	口縁に縄文(LRか)	器面荒れて、整形不明	浅黄橙 S	外面口縁下 に刻痕1
第277区 -	20073	2	95溝	壺	西平埋土	頸部～体 部2/3	-	-	-	-	頸部に2条の沈線文帯	外面はミガキ、内面は ナデ	浅黄橙 S+安山岩片	
第277区 -	20038	2	95溝	壺	西平埋土	口縁～頸 部1/3	(14.8)	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 1条の横線文、6条(以上) の沈線による透気文	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+塵	
第277区 -	20032	2	95溝	壺	西平上～ 中層	口縁～体 部1/2	(12.6)	-	-	-	頸部から体部にかけて 1条の横線をめぐらせ、5 条の沈線による透気文	内面は口縁ミガキ、頸 部ナデ、体部下位に指 オサエ痕あり	灰白 S	
第277区 -	20049	2	95溝	壺	西平埋土 中層	口縁部 1/4	(15.6)	-	-	-	頸部に2条の沈線波状文 をめぐらす	器面荒れ著しい	浅黄橙 S+塵	
第277区 -	20229	2	95溝	壺	中央部埋 土下層	頸部片	-	-	-	-	平截竹管と思われる2条 沈線で波状文を2段にめ ぐらす	内面はナデ	灰白 S+赤粒	
第277区 -	20070	2	95溝	壺	西平埋土	頸部～体 部	-	-	-	-	頸部に横沈線と沈線波状 文をめぐらす	外面は縦ミガキ、内面 荒れて整形不明	浅黄橙 S	
第277区 -	20026	2	95溝	壺	西平埋土 中層	口縁～頸 部	15.8	-	-	-	口縁に縦線波状文をめ ぐらす、頸部に横線文と思 われる	器面は荒れ、整形、文 様は不明瞭	灰白 S	
第277区 -	20015	2	95溝	壺	北西端下 層	口縁部～ 頸部	16.5	-	-	-	口縁部に切みらしき部位 あり、口縁部上位に1条 の沈線波状文、頸部に2 条の横沈線のうち1条描き で2条沈線波状文	器面荒れて整形不明	灰白 S+粗砂	
第277区 -	20041	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁部 1/3	(14.8)	-	-	-	口縁に2条沈線の透気文 をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白 S粗砂主	
第277区 -	20062	2	95溝	壺	西平埋土 上層	口縁部	15.8	-	-	-	口縁部に切みをめぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+赤・白粘 土塵多	
第277区 PL.124	20009	2	95溝	壺	西平埋土	口縁～頸 部 1/2	12.4	-	-	-	口縁部に縄文地文(LR) と沈線山形文、頸部に3 条の縦線をめぐらせ割 みを入れる。	内面ハケメ	浅黄橙 縦線・片岩 ・安山岩・赤 粒・チャー ト等	北島式の影 響

遺物観察表

第41表 弥生土器観察表 95号溝

持回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第277R -	20011	2	95溝	壺	西平下層	口縁～頸部 1/2	12.1	-	-	-	頸部上位に縞状文をわずかに残る。3条横線波状文で地文縞を確認できず	器面荒れて整形不明	灰白 S	表面面剥離著しく、文様・整形とも不明瞭二次的焼結による色変の可能性あり
第277R -	20046	2	95溝	壺	東埋土	口縁～頸部 1/3	15.8	-	-	-	口唇部に縄文(LRか)	外面は斜ハケメのち縦ミガキ。内面はハケメ	灰白 S	口縁に粘土痕。器台転用の可能性あり
第277R -	20025	2	95溝	壺	分岐部西 中層	口縁～同部	14.3	-	-	-	口唇部に縄文(LR)	外面は横ヘラナデ。内面は粗い横ミガキ	灰白 S	口縁に粘土痕。器台転用の可能性あり
第277R -	20027	2	95溝	壺	西平中層	口縁部～ 頸部1/2	(14.6)	-	-	-	無文	外面は頸部から体部上位に縦ハケメ、口縁は外面内面に横ナデ、内面は割離	灰白 S	
第277R -	20040	2	95溝	壺	西平埋土	口縁部 1/3	(16)前後	-	-	-	受け口の口縁部に縞線波状文(3条/9mm)	外面は口唇部から口縁に横ナデ、口縁下位に横ハケメ。内面は口唇部から横ナデ	灰 白/バミス、 安山岩跡跡	
第277R -	20050	2	95溝	壺	西平埋土	口縁～頸部 1/3	-	-	-	-	無文	内外面とも割離著しい	浅黄 S	
第277R -	20100	2	95溝	壺	西分岐部 中層	口縁小片	(11.8)	-	-	-	頸部に細く浅い横波線を含めらる	内外面荒れて不明瞭	浅黄槽 S	
第277R -	20051	2	95溝	壺	西平下層	口縁部～ 同部1/3	(13.6)	-	-	-	頸部に縄文地文(LR)、2帯の縞状文(4条/11mm、20～22mmスパン)を時計回りに施す	口縁部は外面内面ともに横ナデ	灰白 S	
第278R -	20009	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁～頸部 1/4	(12.6)	-	-	-	頸部に横波線を含めらる	内外面ミガキと思われるが、荒れて不明瞭	浅黄槽 S	色変
第278R -	20119	2	95溝	壺	中央下層	口縁小片	(14.2)	-	-	-	口唇と口縁外面に縄文(LRか)	外面はミガキ。内面荒れて整形不明	灰白 S	
第278R -	20101	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁小片	(12.8)	-	-	-	無文	口縁内外面横ナデ	灰白 S	内面に縦圧痕か
第278R -	20095	2	95溝	壺	埋土	口縁片	(11.0)	-	-	-	2条波線による波状文を含めらる	内面横ナデ	灰白 S	
第278R -	20097	2	95溝	壺	埋土中層	口頸部片	(12.4)	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文とし、2条の横波線を含めらる	内面ナデ	灰白 S	
第278R -	20098	2	95溝	壺	埋土下層	口頸部片	(13.6)	-	-	-	無文	口縁に横位、頸部に縦位のハケメ	淡黄 S	
第278R -	20075	2	95溝	壺	北西下層	体部2/3	-	-	-	-	頸部に縄文(原体不明)を地文とし、横波線と沈線波状文を含めらる	外面はハケメ後ミガキ。内面は割離で不明	灰白 S	
第278R -	20055	2	95溝	壺	西平下層	体部上半 1/3	-	-	-	-	外面は口の頂面が複数あり	器面荒れて整形不明	灰黄 S	外面に種子圧痕
第278R -	20065	2	95溝	壺	西分岐部 中層・下層	頸部～体部 1/2	-	-	-	-	頸部に縞線方孔?然り反しの可能性あり	外面は縦ミガキ。内面はヘラナデ	灰白 S	体部断面に管状物質が入っていた空ダキ
第278R PL.124	20002	2	95溝	壺	分岐部西 下層	頸部～体部 1/2	-	-	-	-	頸部は縄文地文(LR)で細い斜線充填の副縄文。胴部に2条以上の横波線を含めらる。その上に斜線充填の沈線山形文を含めらる	体部外面は横ミガキ	灰白 S(細砂玉)	胴部欠け口は丸く磨滅しており器台として転用された可能性あり。外面に偏球形の種子圧痕2。内面に種子圧痕1
第278R -	20064	2	95溝	壺	西埋埋土 下層	頸部～体部 1/4	-	-	-	-	頸部に2部の縞状文を反時計回りにめらる	器面荒れて整形不明	灰白 S+赤粒	縞状文の中に粘土痕
第278R -	20071	2	95溝	壺	分岐部西 下層	頸部～体部	-	-	-	-	無文	外面ミガキ。内面荒れて整形不明	灰白 S	

第42表 弥生土器観察表 95号溝

採回 PL No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第278段	20022	2	95溝	甕	北西下層	頸部～体部2/3	-	-	9.0	-	頸部下位は段状につくりだす	外面は器面荒れ、文様不明瞭	灰白 S+白多	
第278段	20031	2	95溝	甕	西平下層	頸部～底部	-	-	8.0	-	無文	器面荒れ	灰白 S+粗砂～黒 礫	体部下位外 部に仕置
第278段	20081	2	95溝	甕	西平下層	頸部～底部1/3	-	-	8.1	-	頸部に横状文(口縁/6周 17～23スパン)を反時計 まわりに、下位に波状 状文を描い、体部に不明 瞭ながら3本刻線みえる	外面はミガキ、内面は 磨麗らしい、内外面と も全体に還元	暗灰 S+石少	
第279段	20077	2	95溝	甕	埋土	口縁部片	15.0	-	-	-	頸部に横文(1R)を地文と して、2条の横波線をめ ぐらす	器面荒れて整形不明	灰白 S	太知頭で器 形歪む
第279段	20078	2	95溝	甕か鉢	西端埋土 下層	体部	-	-	-	-	上位に横文(1R)を地文と して、沈脚山形文をめぐ らす	内外面ハケマ、外面は 荒れて不明瞭	灰白 S	長胴器形と、 上端を口縁 付近と想定 すれば鉢の 可能性あり。 底部付記に 被熱赤変
第279段	20102	2	95溝	甕	西分岐部 下層	口縁～同 部	6.0	-	-	-	無文	外面は縦ハケマのち縦 ミガキ、同部内面指オ サエ	灰 S	
第279段	20127	2	95溝	甕	西端埋土	口縁片	9.8	-	-	-	無文	内外面横ナデ、口縁下 に横波線	灰白 S	
第279段	20094	2	95溝	甕	埋土	同部と底部欠	7.4	-	-	-	頸部に1条の横波線をめ ぐらす	外面は粗いミガキ、内 面はナデ	灰白 S	体部片面に 黒斑
第279段 PL.124	20005	2	95溝	小型甕	分岐部西 部欠	口縁部一 部欠	6.2	12.8	4.9	-	無文	口縁外面、胴部外面上 位は縦ミガキ、胴部外 面下位は粗い弱ミガキ	灰白 S/弱磨粒砂	
第279段	20056	2	95溝	小型甕	分岐部西 下層	頸部～胴 部上位	-	-	-	-	頸部に段状の沈脚か	器面荒れて整形不明	粗 S+赤粒	
第279段	20103	2	95溝	甕	西平埋土	頸部～同 部	-	-	-	-	頸部に段状の横波線をめ ぐらす	内外面荒れて不明瞭	浅黄粒 S	
第279段	20285	2	95溝	甕	西平埋土 下層	胴部片	-	-	-	-	外面に2連の凹形瘤を付 す	内面はナデ	浅黄粒 白・無色岩 片や長石の 粗～細砂多	
第279段	20053	2	95溝	甕	西平下層	頸部～体 部1/3	-	-	-	-	頸部に管状具(径2mm強) の刺突列点と沈脚をめぐ らせ下位に波状状文。 同には2箇単位の棒状具 を用いて波状文を垂下 し、その間を同一施文具 で縦位沈脚による充填	内面ナデ	灰黄 S	
第279段	20108	2	95溝	甕	中央灰層 上	胴部片	-	-	-	-	頸部に2条の平行沈脚の 横線文間に横文(原形不 明)	内面ミガキ	灰白 S	
第279段	20110	2	95溝	甕	東分岐部 下層	胴部片	-	-	-	-	横文地文(1R)に2条の沈 脚による横線文区画のち 横線斜行文	内面ナデ	浅黄粒 S	
第279段	20111	2	95溝	甕	西端埋土 下層	胴部片	-	-	-	-	頸部に横文(1R)地文に横 位沈脚文帯の部に山形 文、下位に横位沈脚文	内面ナデ	灰白 S	角礫状の 粗砂多
第279段	20124	2	95溝	甕	西平埋土 下層	口縁～胴 部片	-	-	-	-	頸部に縦横文(オオバコ 文)を地文とし、その上 に2条平行沈脚による横 線文	内面ナデ	灰白 S	灰白 S
第279段	20136	2	95溝	甕	西平埋土 上層	同部	-	-	-	-	直線と波状の交互沈脚を 垂下する	内面に指横ナデの凸部 あり	灰白 S	灰白 S
第279段	20140	2	95溝	甕	西端埋土	体部片	-	-	-	-	横文地文(1R)に沈脚による 縦横文	内面ナデ	灰白 S	輝石多

遺物観察表

第43表 弥生土器観察表 95号溝

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第279Ⅷ -	20138	2	95溝	壺	西平埋土 中層	体部片	-	-	-	-	頸部に管状凹区画による 懸垂文、3条の沈線による 横線文(太線2筋一筋の 無文(1R)の可能性あり)、 縄文(1R)地文に沈線山形 文をめぐらす	内面ナデ	浅黄橙 S+チャート	
第279Ⅷ -	20013	2	95溝	壺	西平埋土 中層・下 層	胴部片	-	-	-	-	胴部に沈線による横線文 と波線波状文で地文縄文 (1R)	胴部外面に縦ミガキ、 胴部内面にナデ	浅黄橙 S+チャート・ 割片雜多	
第279Ⅷ -	20012	2	95溝	壺	西平埋土 下層	胴部片	-	-	-	-	胴部に沈線による横線文 と沈線山形文で地文縄文 (1R)	胴部外面にミガキ、胴 部内面にナデ	浅黄 S	
第279Ⅷ -	20118	2	95溝	壺	東埋理土	頸部～胴 部片	-	-	-	-	頸部に縄文の地文(1R)に 3条の横沈線とその下に 彫函文	外面胴部に横ハケメ整 形、内面はナデ	にぶい黄橙 S	
第279Ⅷ -	20042	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁1/3	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に横沈 線をめぐらす	口縁にハケメ、内面に ハケメのちミガキ	にぶい黄橙 S	
第279Ⅷ -	20117	2	95溝	壺	中央埋土 中層	体部片	-	-	-	-	縄文の地文(1R)に、細い 2条の沈線波状文と2条の 沈線横線をめぐらす	内面ナデ	灰白 S	
第279Ⅷ -	20106	2	95溝	壺	西埋理土 下層	口縁部片	-	-	-	-	口縁部下位に横沈線区 画部の中を沈線斜格子で 充填する	内面ナデ	浅黄橙 S	
第279Ⅷ -	20125	2	95溝	壺	西平埋土	頸部片	-	-	-	-	2条以上の沈線による横 線区画内に柳葉横線文(6 溝/13mm)をめぐらす(粘 土帯をめぐらせ、上下の 輪郭を沈線で画している 手法のようにみえる)	内面ナデ	にぶい橙 S	
第279Ⅷ -	20126	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文の地文(1R)に3条の 平行沈線による横線文、 沈線による波状文が波型 凹部に写し線を入れる	胴部下位に縦ハケメ	灰白 S	内面に堆け 状の黒色付 着物
第279Ⅷ -	20137	2	95溝	壺	西分岐部 埋土中層	体部下位 片	-	-	-	-	縄文(1R)地文に沈線山形 文、横沈線の上に円形彫 付文・円形刺突がある。 下段に2条の沈線による 波状文	内面ナデ	にぶい橙 S	
第279Ⅷ -	20112	2	95溝	壺	西平埋土 中層	胴部片	-	-	-	-	胴部に横沈線と沈線波状 文の交互縄文	内面ナデ	灰黄 S+石多	
第279Ⅷ -	20139	2	95溝	壺	東分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	半管状具による押引文と 沈線による横線区画に縄 文(1R)の地文に沈線山形 文	内面ナデ	灰白 S+安山割片	
第279Ⅷ -	20141	2	95溝	壺	東分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	横沈線で上下を画し、上 に刺突列、下に細沈線 斜行文を充填した彫函文 をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄橙 円形刺突多	
第279Ⅷ -	20123	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)地文に、3条(以 上)の横沈線、下段に1条 沈線の波状文をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄橙 白割片、 チャート等 雜多	
第279Ⅷ -	20130	2	95溝	壺	西平埋土 中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部～体部にかけて上下 3帯の横位の縄文(1R)	内外面に斜ハケメ	灰白 S+雜	
第279Ⅷ -	20145	2	95溝	壺	西平埋土 下層	体部片	-	-	-	-	柳葉文(オオノコカ)を地 文とし、横沈線と沈線山 形文を交互に縄文	内外面ともに整形にハ ケメ、内面はナデ上 げ	灰黄 S	
第279Ⅷ -	20142	2	95溝	壺	西平埋土 下層	胴部片	-	-	-	-	円形彫付文、縄文の地文 (1R)に横沈線の区画内に 沈線山形文	内面ナデ	にぶい橙 S	
第279Ⅷ -	20122	2	95溝	壺	西平埋土 中層	頸部片	-	-	-	-	2条の沈線による横線文 の間に2条の沈線波状文 をめぐらす	内面ナデ	灰白 S+安山岩雜 多	
第279Ⅷ -	20121	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部小片	-	-	-	-	柳葉波状文を複数帯重 ねる。施文具詳細は不明瞭	内面ナデ	灰白 S	

第44表 弥生土器観察表 95号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)					
第279区 -	20129	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部~体 部片	-	-	-	-	頸部に2条の平行沈線文 と沈線波状文を交互にめぐ らす	体外外面は縦ミガキ、 体内外面は縦ハケメ	灰白 S 縦溝・粗 砂多		
第279区 -	20146	2	95溝	壺	西端埋土	頸部片	-	-	-	-	集束する沈線による縦 線文	内面ナデ	灰白 安山岩等の 片断細砂多		
第279区 -	20114	2	95溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)地文に横沈線 の上下に沈線山形文をめぐ らす肩部に1条の短横 線を引き、縷直線文(6~ 7溝/20mm)を垂下する	内面ナデ	浅黄橙 S		
第279区 -	20105	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文地文(1L)に3条の横 沈線をめぐらせ、間に1 条の沈線の波状文	内面ナデ	灰白 チャート・ 白岩片の細 砂多		
第279区 -	20104	2	95溝	壺	西端埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縷縄文(オオバコ文)を地 文とし、横位沈線区画帯 の中に沈線山形文、横線 包みの横門形胎付文	内面は丁寧なナデ	灰白 S		
第279区 -	20120	2	95溝	壺	西分岐部 埋土下層	頸部片	-	-	-	-	同部に横沈線と沈線山形 文を交互にめぐらせ、 中に横門形胎付文を付す 中位の山形文は2条の沈 線による	頸内面はナデ、肩内面 は指オサエ	灰白 S+パミス多	20104と同一 か	
第280区 -	20107	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	ハケメ整形後2条の沈線 による横線文間に1条の 沈線波状文	内面ナデ	浅黄橙 赤胎・チャー トの細砂多		
第280区 -	20109	2	95溝	壺	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	横位沈線文帯の間に2条 の平行沈線波状文	内面ナデ	浅黄橙 S+チャート 白岩片細砂		
第280区 -	20044	2	95溝	壺	平岡埋土 下層	頸部1/2	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に上位 沈線区画の縷文をめぐら せ、下位に沈線波状文(5 溝/13mm)	器面荒れて整形不明	灰黄 S		
第280区 -	20047	2	95溝	壺	西平埋土 下層	口縁1/5	-	-	-	-	頸部に角状の縷帯と縷 波状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白 S		
第280区 -	20116	2	95溝	壺	西分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	縦位に縷波状文3条を 垂下し、下位に2帯の縷 波状文をめぐらす	内面は横ハケメ	灰白 S	百瀬式意類 似	
第280区 -	20131	2	95溝	壺	西分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	横沈線をめぐらせ沈線に よる円文ないし弧文を描 き、管状具先端による刺 突を充填する。その下位 に縷帯具(5~7溝)で大き な弧文を描き、内に縦垂 下文を施す。左上には刺 突を施す。縷帯具文具 は7溝まで確認できる不 揃いのスパンの広いもの で、通常の葉林式系のも のと異質	器面荒れて整形不明	灰白 S	赤・白 輝石少なく、 チャート、 細砂多	非葉林式系
第280区 -	20072	2	95溝	壺	西平中~ 下層	胴部片	-	-	-	-	頸部に縷波状文を反時計ま わりにめぐらせ、肩部に 縷波状文を間隔をあけて 垂下し、肩上位に縷波 状文(個体8溝/17mm)を 1帯めぐらす	外面ハケメ、内面ナデ	灰白 赤・チャー ト・白岩 細砂多	縦直面 百瀬式意類 似	
第280区 -	20132	2	95溝	壺	西端埋土 下層	体部片	-	-	-	-	1条の沈線波状文をめぐ らす	内面ナデ	灰白 S		
第280区 -	20147	2	95溝	壺	下層	頸部片	-	-	-	-	3箇縷帯具による縷波 状文を垂下する	内面ナデ	赤・白 輝石少なく		
第280区 -	20004	2	95溝	壺	西平埋土	胴部片	-	-	-	-	外面は整形のち三叉状記 号文を描く	内外面ともハケメ	灰白 S		

遺物観察表

第45表 弥生土器観察表 95号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第280段 -	20115	2	95溝	壺	西分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	体部に沈線による山形文 をめぐらせ頂点から三叉 状記号文かと思われる直 線文垂下	内面ナデ	灰白 S	
第280段 -	20057	2	95溝	小型甕	西平理土 中層	口縁～頸 部1/4	-	-	-	-	頸部に重状文(5歯/9mm) を時計まわりにめぐら す。胴部に沈線によるコ の字重文	器面荒れて整形不明	黒 S細粒	
第280段 -	20143	2	95溝	壺	東分岐部 埋土下層	体部片	-	-	-	-	2条一組の櫛歯状によ る斜行文	外面は横ハケメ	に赤い黄粒 S	
第280段 -	20144	2	95溝	壺	東下層	体部片	-	-	-	-	2条沈線によるフラスコ 文内に縄文(1本)充填する	内面ナデ	に赤い黄粒 白岩片・片 岩・石英細 粒多	北島式か
第280段 -	20134	2	95溝	壺	西平理土 下層	体部片	-	-	-	-	1条の横沈線、2条の櫛歯 状文(6歯/12mm)	内面ナデ	灰白 S	
第280段 -	20237	2	95溝	壺	西平理土 下層	体部片	-	-	-	-	記号文	器面荒れて整形不明	灰白 S・白岩粒	
第280段 -	20074	2	95溝	壺	北西端底 面	体部片	-	-	-	-		外面は荒れて不明、内 面はナデ	浅黄粒 S	
第280段 Pl.124	20301	2	95溝	壺	平門溝埋 土下層	胴部片	-	-	-	-	2～3条沈線による三角連 弧文、内区に刺突充填文、 地文は縄文か	器面荒れて整形不明	灰黄褐 輝石・白岩 片の粗砂多	
第280段 -	20079	2	95溝	壺	西端埋土	胴部	-	-	-	-	無文	外面はミガキか、内面 は割断で不明	に赤い黄粒 S	
第280段 -	20082	2	95溝	壺	北西端下 層	胴部～底 部	-	-	9.3	-	無文	外面ケズリのち麗ミガ キ、内面は斜ハケメ底 面はケズリ	灰白 S	胴部外面下 位に横突圧 痕1内外面 の対面位置 に黒度
第280段 -	20029	2	95溝	壺	西端埋土 下層	胴～底部 2/3	-	-	10.3	-	無文	外面はハケメ、底面は ケズリ後ナデ。内面荒 れて整形不明	浅黄粒 S	
第281段 -	20067	2	95溝	壺	西平理土 下層	胴部片	-	-	-	-	胴部に沈線断片文(か すかに斜線重環が残る)	器面荒れて整形不明	粉 S	内面に種子 圧痕1
第281段 -	20084	2	95溝	壺	西分岐部 埋土下層	体部下平 1/2	-	-	-	-	無文	内外面とも横ハケメ整 形	灰白 S	
第281段 -	20021	2	95溝	壺	西平下層	体部下位 ～底部	-	-	7.8	-	無文	胴外面は縦ハケメ、胴 内面に横ハケメ、底内 面はナデ	灰白 S	底面磨滅
第281段 -	20083	2	95溝	壺	西平理土 下層	体部～底 部	-	-	8.6	-	無文	体部外面は縦ミガキ (全体に荒れ割断)、底 部外面は割断著し、 底部内面は指ナデ	灰白 S・白岩片・ 種?の圧痕 チャート	
第281段 -	20080	2	95溝	(壺)	北岸	体部下平 ～底部片	-	-	(6.4)	-	無文	内外面とも横ハケメ	灰白	
第281段 -	20086	2	95溝	甕	西平下層	体部下平 ～底部	-	-	8.8	-	無文	器面荒れて不明	浅黄粒 S・細粒	外面に焼熱 色変あり
第281段 -	20010	2	95溝	壺	西端埋土	胴部下平	-	-	9.4	-	底部周縁部磨滅	体部外面・内面にハケ メ	灰黄 S+粗砂	外面底一片 部に黒部内 面全体に炭 素焼着
第281段 -	20090	2	95溝	壺	平門溝～ 西分岐部 埋土中層	体部～底 部1/2	-	-	9.0	-	無文	内面は横ハケメ	灰白 S	色変、黒泥不 明
第281段 -	20087	2	95溝	壺	分岐部西 下層	胴部～底 部	-	-	10.4	-	無文	体部外面・内面にハケ メ、底部立ち上がり に指ナデ。底部外面の縁 は周縁磨滅	灰白 S	底部片面に 黒泥
第281段 -	20085	2	95溝	壺	西端埋土 下・中層	胴部下位 ～底部	-	-	10.5	-	無文	外面はハケメ後粗いミ ガキ、内面はハケメと ナデ	灰黄 S	外面片黒黒 泥底面に圧 痕2
第281段 -	20091	2	95溝	壺	西端埋土 下～中層	体部～底 部	-	-	9.8	-	無文	内外面ともハケメ整 形。底部は粗いミガキ	灰白 S・白色斜行 筋物	底部に圧痕 多数

第46表 弥生土器観察表 95号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第282R -	20014	2	95溝	壺	西平埋土 下層	底部一部 欠	-	-	13.6	-	底部内部に押圧痕多い。	底面外面・内面にナデ	灰白 S+チャート・ 石片粗砂	脚部下位の 片側に黒炭 あるが焼成 時のものか 不明
第282R -	20093	2	95溝	壺	西端埋土 下層	底部	-	-	8.3	-	無文	内外面荒れて不明瞭	灰白 S	
第282R -	20024	2	95溝	壺	埋土	底部	-	-	10.4	-	無文	底面外面にナデ	灰白 S+白・無色 鉱物粗砂多 →石英or長 石	
第282R -	20092	2	95溝	壺	西平埋土	体部下位 ～底部	-	-	9.8	-	無文	外面ミガキ、内面ナデ	灰白 S+細漚	体部片面に 黒炭
第282R -	20152	2	95溝	(鉢)	東埋土	体部下位 ～底部	-	-	7.0	-	無文	外面は不明、内面は丁寧なナデ	浅黄漚 S+細漚	
第282R -	20157	2	95溝	壺	埋土	胴下位～ 底部	-	-	9.6	-	無文	外面縦ミガキ、内面横 ハケメ	浅黄漚 S	底面に圧痕 外面一部に 黒炭
第282R -	20151	2	95溝	壺	北西端底 面	底部	-	-	9.6	-	無文	外面は新しいミガキ、内 面荒れて整形不明	灰白 S+細漚	底面に押し 痕? 1
第282R -	20156	2	95溝	壺	埋土	底部	-	-	9.0	-	無文	外面縦ミガキ、内面横 ハケメ	に赤い黄漚 S	底面に圧痕 1 外面の3/4 ほど黒炭
第282R -	20153	2	95溝	壺	西平埋土 下層	底部	-	-	10.3	-	無文	外面縦ミガキ、内面ナ デ	浅黄 S	底の内外面 に1か所づつ の圧痕外面 の一部に黒 炭
第282R -	20150	2	95溝	壺	東埋土下 層	胴部下位 ～底部	-	-	7.8	-	無文	内外面とも荒れて整形 不明	灰黄 S	底面は剥離、 磨痕
第282R -	20155	2	95溝	壺	西平下層	底部	-	-	10.2	-	無文	外面ハケメ、底面と内 面荒れて整形不明	灰 S	
第282R -	20154	2	95溝	壺	北岸	底部	-	-	12.6	-	無文	底面は新しいミガキ、内 面は剥離で不明	灰白 S	
第282R -	20148	2	95溝	甗	西平埋土	底部1/3	-	-	(7.0)	-	無文	外面縦ミガキ、内面は 平滑だが不明	浅黄漚 S	
第282R -	20089	2	95溝	壺	西端埋土 下層	底部	-	-	7.6	-	無文	器面荒れて、整形不明	黒 輝石少なく 白岩片主	底面磨蝕内 面に圧痕
第282R PL.124	20008	2	95溝	小型壺	北西端下 層	体部～底 部1/2	-	-	5.6	-	無文	外面は縦ヘラナデ、内 面ケズリか	浅黄漚 S+赤粒	
第282R PL.124	20276	2	95溝	蓋	北西端下 層	口縁部 2/3欠	12.6	6.7	5.1 (口径)	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第282R -	20268	2	95溝	小型壺	西端埋土 下層	製部片	-	-	-	-	無文	外面底部付近をケズ リ、胴部外面は横ミガ キか、内面ナデ	灰白 S	外面は黒炭
第282R -	20292	2	95溝	壺	西平埋土 下層	底部2/3	-	-	4.9	-	無文	器面剥離のため整形不 明	灰白 S	内面に磨 痕? 圧痕
第282R -	20290	2	95溝	(小型壺)	埋土下層	底部	-	-	5.3	-	無文	器面荒れて整形不明	に赤い黄漚 S	
第282R -	20266	2	95溝	小型壺	西平埋土 下層	底部	-	-	4.3	-	無文	外面はハケメのちな デ、内面はナデ、底部 はケズリのちなデ	灰白 S	
第282R -	20282	2	95溝	短頸壺	西端埋土 下層	口縁～体 部1/3	13.6	-	-	-	無文	口縁に2孔1対で穿孔、18 mmスパン。口縁内側と外 面全体に赤彩	灰黄 S(粗砂土)	
第282R -	20281	2	95溝	壺	中央埋土	製部片	-	-	-	3	外面に円形粘土を粘付 け、横位に穿孔する。	外面ナデ、内面ハケメ	に赤い黄漚 S(長石・角閃 石・輝石、 白岩片、褐 色岩片の粗 ～細砂)	
第282R -	20277	2	95溝	蓋	北西下層	縁～天 井部片	3.6	-	-	-	無文	内外面ハケメ後ミガキ	灰白 S	

遺物観察表

第47表 弥生土器観察表 95号溝

持回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第282回 -	20278	2	95溝	蓋	埋土	破み一天井部片	5.2	-	-	-	無文	外面ミガキ、内面はハケメ後削いミガキ	灰白 S+黄緑	
第282回 -	20279	2	95溝	蓋	埋土	破み部	5.7	-	-	-	無文	破み部内面はナデ、他は内外面ミガキ	黄灰 白・無色白 片の細砂土	
第282回 -	20280	2	95溝	(蓋)	埋土	(破み部) 1/2	-	-	(6.2)	-	無文	内外面ナデ	灰白 S	台付裏の脚部の可能性も残す
第283回 PL.124	21487	2	95溝	甕	西平埋土 上層・中層	口縁一体部 1/4	27.8	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁部に2条の縹波状文で縄文地文、頸部に縹状文(8溝/17mm)、体部に縦位縹縹羽状文	内面全体に横ミガキ	灰黄 S	
第283回 -	20193	2	95溝	甕	西端埋土 下層	口縁一部 1/4	(21.8)	-	-	-	口唇外側にへら削み、頸部に縹状文(6溝/15mm、スパン13mm前後)、体部に縦位縹縹羽状文を施す	内面に口縁に横ハケメ、体部に横ミガキ	灰白 S	
第283回 -	20164	2	95溝	甕	西平埋土 下層	口縁部片	(20.6)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁に縹波状文、頸部に縹状文(単位不明)	口唇部は削い削み	に赤い糖 丸山岩、 チャート、 赤の細礫	
第283回 PL.124	20165	2	95溝	甕	西平埋土	口縁一部 1/3	(32.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁外面に縹波状文、頸部に縹状文(7溝/19mm、35~50mmスパン)、体部に縹縹羽状文を施す	内面に横ミガキ	糖 S+細礫	
第283回 PL.124	20161	2	95溝	小型甕	西平下層	上半部	10.6	-	-	-	頸部に縹状文(4溝/8mm、時計まわり)、体部に縦位縹縹羽状文(4溝/8mm)、縹状文と縹縹羽状文は同一工具	口縁部外面に横ナデ、内面横ナデ	灰白 S+赤	片面にまだら黒斑
第283回 -	20205	2	95溝	甕	西平埋土 中層	口縁一体 上部片	(14.8)	-	-	-	頸部に縹状文、体部に縹縹羽状文か縹縹羽状文の痕跡が残る	器面削れて整形不明	灰白 S 赤粒の細礫、赤粘土塊多	
第283回 PL.124	20162	2	95溝	小型甕	北西端下層	3/4	10.8	12.6	4.4	-	口唇に縄文(LR)、頸部に縹状文(4溝/9mm、反時計まわり)、体部に縹縹羽状文(行下さがり)	口縁部内外面に横ナデ、内面に横ミガキ、底部外面にケズリ	灰黄褐 S	外面全体にスケ
第283回 -	20174	2	95溝	小型甕	西平埋土	口縁部一 体部片	12.4	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、頸部に縹状文(3溝/9mm)をめぐらせ、下位に縹縹羽状文	内面はミガキ	に赤い黄緑 S+細礫	
第283回 -	20203	2	95溝	甕	西平埋土 中層	口縁一体 上部片	(12.8)	-	-	-	無文	外面はハケメのち削いミガキ、内面はナデのちハケメ	灰黄褐 S	
第283回 -	20186	2	95溝	甕	西平下層	口縁一部 1/5	(19.2)	-	-	-	口唇と口縁外面に縄文(LR)、頸部に1条の沈線をめぐらせ、以下体部にコの字重ね文	外面はナデ、内面は横ミガキ	灰黄褐 S+細砂土	
第283回 -	20191	2	95溝	台付甕	平門溝埋 土下層	体部片	-	-	-	-	外面にコの字重ね文	内面に横ミガキ	に赤い黄緑 S+削り細砂 熱炭	胴下位に被
第283回 PL.124	20159	2	95溝	台付甕	東埋土上層	口縁一体 部 1/2	17.8	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁に縹波状文で縄文地文(LR)、頸部に縹状文(7溝/19mm)、体部にコの字重ね文で交点に円形貼付文(縹沈線)	器内面に横ハケメのち横ミガキ	淡黄 チャート・ 片岩・赤粒 細礫多、輝 石少	
第283回 -	20184	2	95溝	台付甕	西平中層	口縁一体 部1/3	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、体部はコの字重ね文	内面は丁寧な横ミガキ	灰黄褐 S	
第283回 -	20185	2	95溝	台付甕	西平中層	口縁一体 上半1/5	(14.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に1条沈線をめぐらせ、体部にコの字重ね文	外面は横ハケメ、内面はミガキ整形	灰黄褐 S+白岩片多	
第283回 -	20251	2	95溝	甕	西端埋土 下層	体部下位 一部	-	-	4.3	-	コの字重ね文	器面削れて整形不明	に赤い黄緑 S	外面片面に黒斑

第48表 弥生土器観察表 95号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第283号 -	20188	2	95溝	台付甕	西平埋土 中層	体部片	-	-	-	-	外面はコの字重ね文	外面は覆ける、内面は ハケメのちナデ	にぶい黄褐色 S細砂土	
第283号 -	20189	2	95溝	台付甕	西平埋土 下層	体部片	-	-	-	-	外面はコの字重ね文	内面はミガキ	にぶい黄褐色 S	
第283号 -	20190	2	95溝	台付甕	西端埋土 下層	体部片	-	-	-	-	外面は中心に円形胎付文 を配し、そこから螺旋波 状文を重下するコの字重 ね文を強く	内面ミガキ	にぶい黄褐色 S・安山岩・ 白岩片細砂	
第283号 -	20227	2	95溝	台付甕	西端埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	横ナデのち、断面カマ ボコ形茎状具によるコの 字重ね文の一部剥離	外面は横ハケメのちナ デ	灰黄褐色 S	
第283号 -	20226	2	95溝	小型甕	西平埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に葉状文を時計まわ りにめぐらせ、下にコの 字重ね文	内面ミガキ	黄褐色 S・チャート 礫	外面に緑と 思われる圧 痕1
第283号 -	20225	2	95溝	甕	西端埋土 下層	体部片	-	-	-	-	櫛歯によるコの字重ね文 (6mm/11mm)	内面は丁寧なミガキ	黒褐色 S・石英多、 チャート礫	
第283号 -	20230	2	95溝	小型甕	北西底面	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文	外面縦ミガキ、内面ミ ガキ	黄褐色 S	
第283号 -	20228	2	95溝	台付甕	埋土	体部片	-	-	-	-	横ハケメのちコの字重ね 文	外面は横ハケメ、内面 は縦ミガキ	灰黄褐色 白岩片の細 礫	
第283号 -	20235	2	95溝	甕	西分岐部 埋土中層	体部片	-	-	-	-	櫛歯によるコの字重ね文	内面は丁寧な縦ミガキ	灰白 S・石英	
第284号 PL.124	20158	2	95溝	甕	西平中～ 下層	口縁片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)の地 文、上縁は縄文(LR)の 地文に2条沈線による波 状文、頸部に葉状文(9mm /20mm、20～25mmスパン)、 胴部に螺旋羽状文	内面はミガキ	灰 S	
第284号 -	20171	2	95溝	小型甕	西平埋土 上層・下 層	口縁～体 部片	-	-	-	-	口縁部に斜め、頸部に葉 状文(6mm/12mm、13～16mm スパン)を時計まわりで めぐらせ、胴部に螺旋羽 状文	内面はミガキ	灰黄褐色 S	
第284号 -	20170	2	95溝	甕	西平埋土 下層	口縁～体 部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、上縁 に螺旋波状文、頸部に葉 状文(6mm/9mm・10mmスパン)を時計まわりめぐら せ、胴部に螺旋羽状文 、胴部に螺旋羽状文	上縁外面に横ナデ、胴 内面は丁寧なナデ	灰白 S	
第284号 -	20187	2	95溝	台付甕	西平埋土 下層	頸部～体 部1/4	-	-	-	-	口縁に斜小口によると思 われる斜め、頸部に葉状 文(6mm/12mm、13mmス パン)、胴部に縦位螺旋羽 状文	内面はミガキと思われ るが、荒れて不明瞭	灰黄褐色 S・白色岩片多 色変	下位は被熱 変色
第284号 -	20206	2	95溝	甕	西平埋土 中層	口縁部片	(16.0)	-	-	-	口縁に斜小口によると思 われる斜め、頸部に葉状 文(6mm/12mm、13mmス パン)、胴部に縦位螺旋羽 状文	内面はハケメのち横ミ ガキ	黒 S・輝石少	
第284号 -	20202	2	95溝	甕	埋土	口縁～体 部上片	(18.8)	-	-	-	口縁に縄文(LR)、上縁に 螺旋波状文、頸部に葉状 文(5mm/11mm、11～13mm スパン)、胴部に縦位螺旋 羽状文	外面横ハケメ、内面は 横ハケメのち横ミガキ	灰黄褐色 S・輝石少	外面覆付首
第284号 -	20200	2	95溝	甕	埋土	口縁～体 部上1/4	(18.2)	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 螺旋波状文、胴部に縦位 螺旋羽状文(5mm/13mm)を 時計回りに施す波状文→ 螺旋羽状文の粗	上縁外面は横ナデ、内 面は全体に横ミガキ	黒褐色 S・輝石少なく、 石英・長石 多	
第284号 -	20208	2	95溝	小型甕	西平埋土 下層	口縁～体 部上片	(9.8)	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 葉状文(6mm/14mm、12～ 15mmスパン)、胴部に縦 位螺旋羽状文	器面荒れ、整形不明	灰褐色 S赤粒多	被熱変色

遺物観察表

第49表 弥生土器観察表 95号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第284区 -	20204	2	95溝	甕	東埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縞状文(7mm/11~12mmスパン) 口内に縞文か、口縁に2条の平行沈線による波状文(間隔8mm)、頸部に縞状文(7mm/17mm)を時計まわりにめぐらせ、その下に沈線(山形文か)	内面は横ナデ	灰白 S+石多	
第284区 -	20215	2	95溝	甕	西端埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口内に縞文か、口縁に2条の平行沈線による波状文(間隔8mm)、頸部に縞状文(7mm/17mm)を時計まわりにめぐらせ、その下に沈線(山形文か)	内面は横ナデ、頸部内面は荒れ	浅黄橙 S+チャート・ 細礫	
第284区 Pl.124	20166	2	95溝	壺	西分岐部埋土下層	口縁部1/4	23.4	-	-	-	口唇部に縞文(1R)、口縁に縞文の地に2条の沈線波状文、頸部に縞状文(8mm/19mm)を28mm前後のスパンでめぐらす	内面はミガキ	にぶい黄橙 S+赤粒細礫	二次的焼熱を受け一部発色
第284区 -	20210	2	95溝	甕	中央戻層上一括	口縁部片	-	-	-	-	口唇に板小口状具による削み、2歯一組施文具による沈線波状文、下位に時計まわりに縞状文(6mm以上/15mm以上、スパン35mm)	内面は横ナデ	にぶい黄橙 S+赤・チャート・ 細礫	
第284区 -	20194	2	95溝	甕	西端埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に板小口の削みがあり、口縁に縞波状文(6mm/18mm)、頸部に縞状文(2mm前後スパン)を時計まわりにめぐらせ、その下に波状文がわずかにみえる	内面は丁寧なナデ	灰白 S細礫~粗礫 が主	
第284区 -	20201	2	95溝	甕	西端埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口唇付近に縞波状文(5mm/10mm)、下位に縞状文を時計まわりにめぐらす	内面は口縁下位に種圧痕あり	にぶい黄橙 S	
第284区 -	20211	2	95溝	甕	西分岐部埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	口内に縞文(1R)、口縁部に縞波状文(5mmか)	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第284区 -	20160	2	95溝	甕	西端埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に削み、口縁に縞波状文(2~3mm)、頸部に縞状文を時計まわりにめぐらす	器面荒れて不明	浅黄橙 S・細礫	
第284区 -	20167	2	95溝	甕	西平埋土埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇に板小口による削み、口縁に縞波状文をめぐらせ、頸部に縞状文(形状不明)を時計まわりにめぐらす	内面は横ハケメ	灰黄 S細砂土	
第284区 -	20168	2	95溝	甕	東分岐部埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縞波状文、頸部に縞状文がわずかに残る	器面荒れて、整形不明	にぶい黄橙 S	
第284区 -	20196	2	95溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇と口縁部上位に縞文(1R)、沈線による重山形文をめぐらせ、頸部に縞状文(20mm前後スパン)を時計まわりにめぐらす	内面はナデか	浅黄橙 S	
第284区 -	20199	2	95溝	甕	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に板小口による押圧削み、頸部に縞状文を時計まわりにめぐらす	内面は横ハケメ	浅黄橙 チャート・ 白岩片の細礫	
第284区 -	20207	2	95溝	甕	西端埋土下層	口縁部片	(15.0)	-	-	-	頸部に縞状文(6mm/12mm)	内外面横ナデ	粗灰 S輝石多	外面保付着
第284区 -	20169	2	95溝	甕	西平埋土下層	口縁~体部片	-	-	-	-	口縁から唇上位に縞文(1R)の地に、口縁に沈線波状文、頸部に縞状文(23~28mm、5mm/11mm)をめぐらす	器面荒れて、整形不明	にぶい黄橙 S・細礫	
第284区 -	20197	2	95溝	甕	西分岐部埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縞文(1R)、頸部に縞状文(8mmスパン)を時計まわりにめぐらす	内面は横ミガキ	灰白 S+雲母	
第284区 -	20236	2	95溝	甕	西分岐部埋土中層	口縁部~頸部片	-	-	-	-	縞状文(8mm/15mm)、縞波状文を交互に時計まわりにめぐらす	内面は丁寧なナデと粗いミガキ	にぶい黄橙 S白岩片細砂	後期末多

第50表 弥生土器観察表 95号溝

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第284号 -	20185	2	95溝	甕	西分岐部 埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に窄小口の削みがあり、口縁に櫛歯状文(6歯/16mm)、下位に波状文	内面は横ナデ	灰白 S+細礫	
第284号 -	20198	2	95溝	甕	西分岐部 埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁と頸部に縄文	内面はナデとミガキで覆れ	灰白 S	
第285号 -	20216	2	95溝	小型甕	東分岐部 下層	口縁片	(11.8)	-	-	-	口唇部と頸部以下体部に縄文(LR)を施す	器面荒れて整形不明	浅黄褐色 S	
第285号 -	20214	2	95溝	甕	西平埋土 上層	口縁部片	-	-	-	-	櫛歯状文を重ねる	器面荒れて整形不明	にぶい・粗 S+赤粒・白 岩片の角礫	
第285号 -	21369	2	95溝	小型甕	埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文(6歯/7mm)、体部に縦位の櫛歯状文を重ねて垂下する。	内面はミガキと思われるが、荒れて不明瞭	灰黄褐色 S	
第285号 -	20287	2	95溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に横線文	内面はミガキ	浅黄褐色 S	
第285号 -	20173	2	95溝	甕	西平埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	縄文文を時計まわりにめぐらせ、櫛歯状文(6歯/17mm)を描く	内面はナデ	灰白 S+石多	
第285号 -	20172	2	95溝	甕	西端埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	縄文文(5歯/11mm・18～24mmスパン)をめぐらせ、櫛歯状文を描く	ミガキと思われるが器面荒れて不明瞭	にぶい・黄褐色 S+細砂土	
第285号 -	20212	2	95溝	甕	西端埋土 下層	口縁～体 部上片	(23.0)	-	-	-	頸部に縄文(8歯/17mm、25～30mmスパン)、体部に縦位櫛歯状文	器面荒れ、整形不明	浅黄褐色 S+他土器砂 片	
第285号 -	20209	2	95溝	甕	西分岐部 埋土中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文(6～8mmスパン)、体部に縦位櫛歯状文(4歯/10mm)	内面は斜ナデ	浅黄褐色 S	
第285号 -	20219	2	95溝	甕	西平埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文(12mm/5歯、径2mm)を時計まわりにめぐらせ、縦位櫛歯状文	内面は横ミガキ	黒 S	
第285号 -	20221	2	95溝	甕	西端埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文を時計まわりにめぐらせ、その下に片流れの櫛歯斜行文(16mm/5歯)を逆時計まわりに描く	器面荒れて整形不明	灰白 片岩あり	
第285号 -	20217	2	95溝	甕	埋土	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文(5歯/12mm、25mm前後スパン)を時計まわりにめぐらせ、その下に縄文(LR)と櫛歯状文	内面は横ミガキ	黒 S+チャート 細礫	外面全体に S+付着
第285号 -	20218	2	95溝	甕	西平埋土 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄文、その下に2段以上の櫛歯状文(5歯/19mm、径2.5mm)を時計まわりにめぐらす	内面はナデ	灰 S	
第285号 -	20222	2	95溝	甕	東分岐部 埋土中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	体部に櫛歯状文(下から上)のち頸部に櫛歯状文と櫛歯垂下文(5歯/11mm)	内面は横ハケメのちミガキ	灰黄褐色 S	
第285号 -	20229	2	95溝	小型甕	東分岐部	体部片	-	-	-	-	外面に櫛歯状文のち櫛歯垂下直線文	器面荒れて整形不明	灰黄褐色 S+チャート・ 白岩の礫	内面に修正 痕
第285号 -	20234	2	95溝	甕	西端埋土 埋土	体部片	-	-	-	-	櫛歯状文(10mm/4歯)	外面は横ハケメ	灰黄 S	
第285号 -	20133	2	95溝	甕	西平埋土 下層	体部片	-	-	-	-	縦に櫛歯文(5歯/15mm)	内面は横ミガキ	灰黄 S	
第285号 -	20231	2	95溝	甕	西平埋土 下層	体部片	-	-	-	-	横ハケメのち櫛歯斜行文(幅13mm/5歯)	外面は横ハケメ、内面は横ハケメのちミガキ	灰黄褐色 S	
第285号 -	20232	2	95溝	甕	東埋土下 層	体部片	-	-	-	-	斜ハケメのち2系同時の沈線による縦位櫛歯状文	外面は斜ハケメ、内面はナデ	粗灰 S+細礫	
第285号 -	20223	2	95溝	甕	西端埋土	頸部～体 部片	-	-	-	-	斜ハケメのち5段以上の櫛歯状文を重ねる	外面は斜ハケメ、内面は横ミガキ	灰白 S	
第285号 -	20233	2	95溝	甕	埋土下層	体部片	-	-	-	-	縦位櫛歯状文(17mm/8歯)	内面は斜ミガキ	灰 S	

遺物観察表

第51表 弥生土器観察表 95号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第2859区 -	21319	2	95溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	先端の鋭い棒道具による 櫛目状文(5mmか/9mm) 太沈線(約3mm)による重 三角文を描き、中央に櫛 痕を加える	内面は斜〜横ハケム	灰白 S+細砂多	
第2859区 -	20135	2	95溝	(台付甕)	西平理土 下層	体部片	-	-	-	-	三角文を描き、中央に櫛 痕を加える	内面は横ミガキ	灰白 S+雲母	
第2859区 -	20192	2	95溝	甕	西端理土 下層	体部片	-	-	-	-	外面に櫛目状文、胎文 具不明瞭	ナデとミガキか	灰黄褐 S	
第2859区 -	20181	2	95溝	甕	埋土	甕	-	-	8.6	-	外面は斜行する櫛目文	内面は新しいミガキ、底 面は新しいミガキ	灰黄 S	内面の底を 除く全周に コゲツキ痕
第2859区 PL-124	20103	2	95溝	小型甕	西平中〜 下層	体部2/3 〜底部	-	-	6.4	-	櫛状具(白陶・6mm)の垂下 文を重ねる	内面ハケム、上位に横 ミガキ、底部は剥離	灰褐 S	内面に輝直目
第2860区 -	20224	2	95溝	小型台付 甕	西平理土 中層	胴部〜体 部	-	-	-	-	胎部に櫛状文(5mm/2mm、 10mmスパン)、体部に斜 線充填三角文を描く。	内面横ミガキ	灰黄褐 S	
第2860区 -	20208	2	95溝	高杯か鉢	西端理土 下層	口縁〜杯 部1/3	(23.6)	-	-	-	内面に赤彩。	内面横ミガキ、外面は 荒れて整形不明	浅黄橙 S	口縁下位の 段状部に径3 mmの穿孔1カ 所破片のため 他他孔は不明
第2860区 -	20259	2	95溝	鉢	西端理土 下層	口縁片	-	-	-	-	内外面赤彩の痕跡残す。 口縁下1cmで一對孔を穿 つ。	内面荒れて整形不明	灰白 S輝石等黒色 細砂多	
第2860区 -	20300	2	95溝	高杯	西平理土 下層	口縁片	(9.0)	-	-	-	外面赤彩、内面に赤彩 痕を残す	内外面ミガキと思われ るが、荒れて不明瞭	にぶい黄橙 S	
第2860区 -	20296	2	95溝	高杯	西平理土 下層	口縁片	(18.6)	-	-	-	内外面赤彩。	内外面横ミガキ	灰白 S輝砂少	内面黒斑
第2860区 -	20295	2	95溝	高杯	西平理土 下層	脚部片	-	-	(11.2)	-	外面に赤彩。	内面はケズリ後ナデ か。	灰白 S	内外面に黒 斑
第2860区 PL-124	20257	2	95溝	鉢	西平下層	口縁部一 部欠	9.0	8.6	2.6	-	片側で縦口縁残す	外面は縦〜斜ミガキ、 内面は横ミガキ	灰黄 S	
第2860区 -	20291	2	95溝	高杯	西平理土 下層	杯部片	-	-	-	-	内外面赤彩。	内外面ミガキと思われ るが、荒れて不明瞭	灰黄褐 S+細砂	
第2860区 -	20293	2	95溝	高杯	西平下層	杯体部下 半〜脚部	-	-	(9.2)	-	外面に赤彩、杯部内面の 彩色は剥離で不明。	外面ミガキ	灰白 S	
第2860区 -	20294	2	95溝	小型鉢か 高杯	西平理土 下層	口縁〜体 部1/3	(8.0)	-	-	-	内外面に赤彩。	内外面ミガキ	灰白 S	
第2860区 -	20258	2	95溝	高杯か鉢	西平下層	口縁〜杯 部片	(20.8)	-	-	-	無文	内外面とも横ミガキ	灰白 S	外面一部黒 斑
第2860区 PL-124	20209	2	95溝	高杯	西分岐部 埋土	杯体〜台 部、割 1/2	-	-	7.9	-	外面は全面赤彩、内面は 赤彩の可能性があるが剥 離のため不明	結合はほぼ欠損による。 胎文は不明	浅黄橙 S中〜細砂で 少	
第2860区 -	20297	2	95溝	高杯	西平理土 上層	脚結合部	-	-	-	-	内外面に赤彩。	外面と杯部内面はミガ キ、脚内面は横ハケムと ナデ	にぶい黄橙 S細砂多	
第2860区 -	20296	2	95溝	高杯	西平理土 下層	脚部	-	-	5.4	-	外面に赤彩、内面は剥離 で不明。	脚内面はナデ	灰白 S	外面の一部 Sに裏面
第2860区 PL-124	20175	2	95溝	高杯	西分岐部 下層	脚部	-	-	7.6	-	無文	脚部外面に逆弧状のミ ガキで下に斜ハケム、 脚部内面は横ミガキ	にぶい黄橙 チャート細 砂多	
第2860区 -	20209	2	95溝	片口鉢	西平理土 上層	口縁片	-	-	-	-	片口部以外の口縁部に櫛 文(直)。	内外面ともナデ	灰黄褐 S	内面は還元 知味
第2860区 -	20261	2	95溝	片口鉢	西端理土 下層	胴部〜脚 部片	-	-	-	-	無文	胴部は器面剥離著し い、脚部は櫛文の可能 性があるが剥離で不明瞭	灰白 S	
第2860区 -	20183	2	95溝	台付甕	西平理土 下層	脚部2/3	-	-	(11.0)	-	無文	体部外面はハケム後横 ミガキ、脚外面は縦、 底部内面は横ミガキ、 脚内面は板小孔による ナデ	灰黄褐 S細砂主	脚部は被熱 色変
第2860区 -	20252	2	95溝	脚部	西平理土 下層	脚部	-	-	7.3	-	無文	外面は縦ハケム、内面 はナデ	灰 S	外面被熱
第2860区 -	20253	2	95溝	台付甕	埋土	脚部2/3	-	-	(6.3)	-	無文	底面内面はナデ、他は 器面荒れて整形不明	灰黄褐 S	被熱赤変

第52表 弥生土器観察表 95号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第286Ⅸ -	20256	2	95溝	台付甕	北西下層	脚部	-	-	5.9	-	無文	外面ミガキか、内面ナデ	にぶい黄褐色	被熱赤変か
第286Ⅸ -	20274	2	95溝	台付甕	西分岐部埋土	脚上部	-	-	5.8	-	無文	内外面ともミガキ、脚内面は丁寧なナデ	にぶい黄褐色 S輝石多	被熱色変
第286Ⅸ PL.124	20202	2	95溝	有孔鉢	西端埋土下層	口縁～底部1/3	(15.9)	-	6.0	-	無文	口縁に彫刻押捺痕、内外面の器面荒れ	にぶい黄褐色 S+安山岩 質磨粒砂	口径不明
第286Ⅸ -	20263	2	95溝	有孔鉢	西平埋土	体部下半～底	-	-	5.0	1.4	無文	内外面ともハケメ、部分的にナデ	浅黄褐色 白・灰色粗 片多	底面に被熱赤変か
第286Ⅸ -	20275	2	95溝	台付甕	埋土	脚上部	-	-	6.6	-	無文	内外面ともハケメ、底内面はミガキ、他はナデ	にぶい黒 S輝石多	
第286Ⅸ -	20255	2	95溝	台付甕	西平埋土上層	脚部2/3	-	-	6.6	-	無文	外面ミガキか、内面ナデ	にぶい黄褐色 輝石少、無 色粗砂多	外面に二次被熱直脚部 外面に圧痕1
第286Ⅸ -	20254	2	95溝	台付甕	西平埋土中層	脚部3/4	-	-	7.6	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白 S	被熱赤変、器面黒濁
第286Ⅸ -	20264	2	95溝	有孔鉢	西端埋土下層	体部下位～底部1/2	-	-	(6.2)	(0.9)	無文	内外面ミガキ	灰白 S輝石砂と黒 塵多	外面一部に黒濁
第286Ⅸ -	20265	2	95溝	有孔鉢	分岐部西下層	体部下位～底1/2	-	-	6.0	(0.8)	無文	外面は縦ミガキ、内面は横ミガキ。穿孔はくり抜き	灰黄褐色 S	底内面に圧痕1 底面を含む、内外面に黒色物が薄く付着
第286Ⅸ -	20288	2	95溝	鉢	西平埋土下層	底部	-	-	6.8	-	底面除く内外面に赤紫	内面ミガキ、外面と底面は荒れて不明瞭	灰白 S黒色粗砂多	底面一部に黒濁
第286Ⅸ -	20280	2	95溝	鉢	東端埋土	底部	-	-	8.3	-	底面除く内外面に赤紫	内面ミガキ、外面と底面は荒れて不明瞭	灰黄 S	内面の3/4黒濁
第286Ⅸ PL.124	20007	2	95溝	小壺	西平底面	完形	3.7	7.1	5.2	-	無文	外面に横ナデ、外面下位に靴い木でナデ、内面上位に横ナデ、内面下位に横ハケメ	にぶい黄 S	外面片側に縦スジの黒濁
第286Ⅸ PL.124	20006	2	95溝	小壺	西平埋土下層	胴部～底部2/3	-	-	4.7	-	体部に磨損波状文(6mm/10mm)	外面はハケメ、底部にナデ、内面は丁寧なナデ	灰黄 S	
第286Ⅸ -	20178	2	95溝	甕	西平埋土上層	底部3/4	-	-	9.1	-	無文	外面は縦、内面は横位のミガキ。底面ミガキ	灰黄 S	
第286Ⅸ -	20182	2	95溝	甕	西端埋土中層	体部下位～底部1/2	-	-	(9.8)	-	無文	外面はケズリ後縦ミガキ、内面荒れて整形不明	灰白 S+無色細塵	底外縁に圧痕1
第287Ⅸ -	20176	2	95溝	甕	西端埋土下層	体部～底部	-	-	6.8	-	無文	内面はミガキ	灰黄褐色 S	
第287Ⅸ -	20180	2	95溝	甕	北西端底面	体部～底部	-	-	8.1	-	無文	外面はハケメのちミガキ、内面はハケメ後ミガキ、底面はケズリ後靴いミガキ	灰黄褐色 S	内面2/3におこげ直底縁に指オサエ
第287Ⅸ -	20149	2	95溝	甕	西平下層	底部	-	-	10.2	-	無文	外面は斜ハケメ、内面はナデ、底面はナデ	にぶい黄褐色 S	底面に圧痕1
第287Ⅸ -	20240	2	95溝	甕	西平埋土下層	体部下半～底	-	-	8.4	-	無文	内面ナデ外面は荒れて整形不明	灰白 S+赤粒細塵	内面に圧痕(粉か)底面黒濁
第287Ⅸ -	20242	2	95溝	甕	西平埋土中層	底部	-	-	8.8	-	無文	外面は斜ハケメ、内面はナデ底面は靴いミガキ	灰白 S	底縁はやや磨滅底面黒濁
第287Ⅸ -	20244	2	95溝	甕か甕	西平南テラス上	体部下半～底	-	-	7.4	-	底面に刺代痕を残す。不明だが、龍目(一週一週り)か。	器面荒れ、整形不明	灰白 長石・石英・ 白粉片粗砂 多	
第287Ⅸ -	20243	2	95溝	(甕)	西平南法面	胴下位～底部	-	-	7.8	-	無文	内外面ハケメ、内面はナデで仕上げ	にぶい黄褐色 割片細塵多	内外面とも全体に黒濁
第287Ⅸ -	20245	2	95溝	甕	西分岐部灰層下	体部下半～底	-	-	7.4	-	無文	外面は縦ミガキ、内面は横～斜ミガキ	灰白 S	底面に棒突? 圧痕1外面に付着

遺物観察表

第53表 弥生土器観察表 95・96号溝

採回 PL No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第287段 -	20241	2	95溝	壺	北西下層	底部	-	-	11.3	-	無文	外面ハケム後ミガキ、 内面はナデ	灰黄 S	外面1/2埋戻
第287段 -	20179	2	95溝	甗	東埋土中 層・下層	底部	-	-	9.2	-	無文	外面ハケム、内面ナデ 底面整形は不明	灰黄 S赤粘	内面にリン グ状コゲ底 面端に種実 圧痕1
第287段 -	20177	2	95溝	小型壺	西端埋土 下層	割下平〜 底1/2	-	-	7.0	-	無文	外側ケズリのちナデと 履位ミガキ、内面は斜 ハケム	灰黄 S 白岩片と 輝石多	底縁は磨滅
第287段 -	20213	2	95溝	(甗)	西端埋土 下層	口縁片	(20.6)	-	-	-	無文	内面ハケム後、ミガキ	灰白 S	外面に覆付 委山岩砂粒 着
第287段 -	20246	2	95溝	甗	西端埋土 中層	底部	-	-	6.0	-	無文	外面はハケム後ミガ キ、内面ナデ底面はケ ズリ	灰黄 S赤粘	外面に灰付 着外面の一 部に黒塵
第287段 -	20247	2	95溝	甗	西平埋土 上層	底部	-	-	6.0	-	無文	器面荒れて整形不明	灰黄 S赤粘	外面に灰付 着外面の一 部に黒塵
第287段 -	20248	2	95溝	甗	北西下層	底部	-	-	5.7	-	無文	外面は縦、内面は横ミ ガキ。底面は荒れて不 明	灰黄褐 S	底面に種実 圧痕
第287段 -	20249	2	95溝	甗	西平埋土 下層	底部1/2	-	-	5.0	-	無文	内外面荒れて整形不明	灰白 S	底面にイネ 類圧痕1、 体 部下平外面 に種実圧痕 1体部下位 から底の一 面に黒塵
第287段 -	20250	2	95溝	甗	東分岐部 埋土下層	底部	-	-	3.9	-	無文	外面縦、内面横のミガ キ	褐灰 S	
第287段 -	20207	2	95溝	(小型壺)	西端埋土 下層	底部片 2/3	-	-	3.8	-	無文	外面はハケム、内面と 底面は荒れて整形不明	灰白 S	
第288段 PL.125	20325	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁〜胴 部 1/2	15.6	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 縄文地文(LR)に4条の平 行沈線	外面ハケム	灰黄 S赤粘	
第288段 PL.125	20308	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体の一部 欠	16.8	35.6	9.8	-	口縁と頸部に縄文(LR)を 無し、頸部には上位を段 状沈線であらし、以下2 条の横沈線をめぐらす	外面はハケム後粗ミ ガキ、内面荒れて整形 不明	浅黄橙 S	底面にイネ 類圧痕1、 体 部下平外面 に種実圧痕 1体部下位 から底の一 面に黒塵
第288段 PL.125	20328	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部〜 体部2/3	17.2	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、頸部 に縄文地文(LR)とし、1 条の沈線をめぐらせ上位 をナデ消し段状にして、 3条沈線による平行横線 文、1条の沈線段状文	口縁部上位に横ナデの ち斜ハケム、体部はハ ケム、口縁内面はミガ キのち横ハケム、頸部 から体部内面に横ハ ケム	灰黄 S	内面にイネ 類圧痕 S
第288段 PL.125	20305	2	96溝	壺	西平埋土 下層	口縁〜胴 部2/3	15.6	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 縄文地文(LR)に3条の横 沈線がめぐる。圧痕かと 思われる箇所あり	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第288段 PL.125	20324	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁〜底 部2/3	13.1	36.1	8.2	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 2条沈線による横線文で 縄文圧痕のようにみえる (粗いほど思われる)が節 はほとんど見えず	外面ミガキ、内面は不 明瞭	浅黄橙 S赤粘	
第289段 PL.126	20309	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁〜胴 部1/3欠	14.2	33.3	8.8	-	口縁に縄文地文(LR)、頸 部に縄文地文(LR)の上に 3条の横沈線をめぐらす。 正面に2条の三叉記号 文が垂下する。ただし末 端は5条の沈線、全体を4 等分した5等分線上に無文	外面部は履ハケム、体 部外面はかなり粗いハ ケムで整形、底面は粗 いナデのみ、胴内面は 横位主体の粗いハケム	浅黄橙 S	粗面多い 割下層一部 のみ黒塵
第289段 -	20443	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁〜頸 部1/3	(16.0)	-	-	-	口縁に縄文(LR)を強く押 捺、頸部に2条の沈線に よる横線文の間に縄文地 文(LR)	口縁部外面は横ナデ、 口縁部内面は横ハケム	灰白 S	
第289段 PL.125	20337	2	96溝	壺	埋土 (上一部 欠)	口縁〜頸 部1/3	17.6	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 沈線による横線文、沈線 段状文	口縁部外面はハケム、 口縁部内面は上位に斜 〜横ハケム	灰白 S赤粘	

第54表 弥生土器観察表 96号溝

採回 PL No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第289回 PL.125	20345	2	96溝	壺	西平埋土 中層・下層	口縁～胴部 1/4	(11.5)	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に3条の沈線による横線文で縄文地文(LR)	口縁外面・口縁内面・胴部内面は横ナデ、胴部外面は縦ミガキ	にぶい黄橙 S+灰白片 継ぎ多	
第289回 -	20398	2	96溝	壺	東分岐部	口縁1/2	15.6	-	-	-	口内に斜みか縄文で不明瞭、頸部に2条の沈線を含めぐるす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S	胴部外面に イネ粒1条
第289回 PL.126	20316	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	3/4	14.2	36.1	9.3	-	口内に縄文(LR)、頸部に縄文地文(LR)に2条の横沈線の中を1条の沈線波状文、下位に押引き状の沈線文(LR)を含めぐるす	外面は横ハケメ、底部の縁はケズリ痕があり、底部にはミガキ	浅黄橙 S+赤粘継 多	
第289回 -	20442	2	96溝	壺	埋土	口頸部 1/3	(16.5)	-	-	-	口内と頸部に縄文(LR)を施し、頸部を段状の横沈線で画し、沈線波状文を含めぐるす	外面はハケメ、内面ナデ	浅黄橙 S	
第289回 -	20361	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片 1/3	(13.5)	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に1条の沈線による横線文がめぐる	器面荒れたため整形不明	浅黄橙 S+チャート 継	
第289回 -	20401	2	96溝	壺	埋土	口縁片 1/4	(16.4)	-	-	-	口内に縄文(LR)か、頸部に3条以上の沈線波状文	器面荒れて整形不明	灰白 S+白片多	器面荒れた整 形不明
第289回 PL.126	20326	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部下 大部分欠	14.5	(39.2)	8.2	-	口内と頸部に縄文(LR)、頸部には4条の横沈線を含めぐるす	外面にハケメ、内面は剥離が著しく不明	浅黄橙 S	
第290回 PL.126	20310	2	96溝	壺	中央灰層 下	2/3	15.0	36.0	9.4	-	口内に縄文(LR)、頸部から体部に10～11段横位の縄文、末端4～5段は不明瞭で横帯の印象は少ない	外口縁はハケメのちナデ、内面は剥離。底部縁はナデ、底部はケズリのちヘラムミガキ	灰白 S+輝石多	
第290回 PL.127	20307	2	96溝	壺	西分岐部 灰層下	口縁1/2と 体部下 半欠	17.0	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に上下5帯の横位縄文	外面ハケメ、内面はナデ主体	にぶい黄橙 S+輝石多	
第290回 PL.127	20318	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部～体 部1/2	14.8	40.0	8.2	-	口内に縄文(LR)、段状の横沈線で上限を画し、2条平行沈線波状文を含めぐるす、その下位に同じ2条沈線による短い波状文を横位と縦位に施す	内外面ハケメ後、外面にミガキ	浅黄橙 S+細砂主	
第290回 PL.127	20306	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部の一 部欠	18.0	41.4	10.6	-	口内に不規則な斜み、頸部の2帯の横位文(5歯/12mm、15～17mmスパン)を反時計回りにめぐるす。横位文下には横位波状文を1帯めぐるす	外面は縦～斜ハケメ、内面は横～斜ハケメ	浅黄橙 S	胴部外面に イネ粒1
第291回 PL.127	20302	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部～底 部で3/4	-	-	9.8	-	頸部に2条の沈線による横線文に地文縄文(LR)を2回繰り返し、平行線充填の縄文文	体部外面に一部ミガキを残す。体部内面は荒れ	浅黄橙 S+細砂主	胴下半～底 面の片面に 黒炭
第291回 PL.126	20350	2	96溝	小型壺	P1埋埋土	頸部～底 部1/4	-	-	6.6	-	単線による横位文の横沈線で地文縄文(LR)	胴部外面は縦ハケメ、のちミガキ。胴部内面は横ハケメを一部に残す。底部はケズリ	にぶい黄橙 S+細砂主	
第291回 PL.128	20312	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁～胴 部一部欠	12.3	29.7	8.1	-	口内に縄文地文(LR)、頸部に縄文地文(LR)、横位文と横位波状文(6歯/13mm)、頸部の一カ所に赤彩の垂下文がみられる	口縁に横ナデ、体部内面上位にハケメ	浅黄橙 S	底外面に粘 土1 回と対面す る底～胴下 半に黒炭
第291回 PL.126	20315	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部～底 部2/3	-	-	9.5	-	頸部に横位文、下位に横位波状文を含めぐるす(5歯/11mm)	整形は内外面とも斜ハケメ	灰白 S	
第291回 PL.128	20314	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口～底 部2/3	-	-	9.4	-	頸部に2条の沈線による横線文で地文縄文(LR)	外面は斜ハケメのちミガキ、内面は横～斜ハケメでかなり荒れる	浅黄橙 S	

遺物観察表

第55表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第291区 Pl.128	20349	2	96溝	小型壺	中央埋土	口へ頸部 欠	-	-	5.6	-	底部に外からの敲打による地成後穿孔(口径19.6mm)	胴部表面は摩滅で不明瞭、胴部内面はハケメのちナデ	浅黄褐色 S	底へ口と胴 中位に1カ 所ずつ凹痕 あり
第291区 Pl.128	20320	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部へ体 部1/2	-	-	-	-	頸部に縹緋状文、上下を沈線で両す。2部の縹緋状文(8mm/14mm)を時計回りにめぐらす。肩に縄文(1)	器面荒れて整形不明瞭、内面に横上げ痕あり	浅黄褐色 S	体部に圧痕
第291区 Pl.128	20357	2	96溝	小型壺	東分岐部 埋土下層	底部へ体 部2/3	13.5	6.2	6.0	-	頸口縁、増減しており鉢として再利用したと思われる。粘土層の突起を5カ所に貼付	底面はケズリ、体部外面は横へラミガキ、体部内面は横ミガキ、ヘラ先の凹痕あり	にぶい黄褐色 S	
第291区 -	20857	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	0.2	円形の癭を貼り付け、横位に貫通する口孔を穿つ	胴部整形は荒れて不明	にぶい黄褐色 S	
第292区 Pl.128	20347	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁へ頸 部1/3	(15.5)	-	-	-	頸部に縄文地文(1)で、3条の沈線による横線文、下位に鋸歯状文をめぐらす	内面は割磨きしい	浅黄褐色 S	
第292区 -	20564	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(15.4)	-	-	-	頸部に2条の横沈線をめぐらせ、内区に沈線状文を描く	外面は縦位、内面は横位 のミガキ	黄褐色 S	
第292区 -	20344	2	96溝	壺	中央部中 層	口縁へ頸 部1/2	11.2	-	-	-	口縁に縄文(1)、胴部に縄文(1)	胴部に縦ハケメ	灰白 S+長石・ チャート	
第292区 -	20372	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁1/2 割	(15.2)	-	-	-	口縁に縄文(1)、それ以外は無文	頸部外面に斜ハケメ、内面にナデ	浅黄褐色 S+チャート・ 粗砂	
第292区 -	20446	2	96溝	壺	埋土	口縁へ頸 部片	(15.4)	-	-	-	頸部に4条の沈線による横線文(時計回り推定)	口縁部外面は横ナデ、口縁部内面はナデ	浅黄褐色 S	
第292区 Pl.128	20340	2	96溝	壺	P1協埋土	口縁へ頸 部	15.8	-	-	-	口縁に凸凹あり簪な面あり、胴部は1条沈線(断面V字形)の横線文	外面は縦ハケメのちナデとミガキ、内面は横ハケメのちミガキ	浅黄 S(粗砂主)	
第292区 Pl.128	20335	2	96溝	壺	中央埋土	口縁へ同 部	15.8	-	-	-	無文	外面はケズリのちナデ、口縁内面は粗いミガキ、胴内面は割磨	灰白 S+粗砂	外面に虫体 圧痕1(マダ ソコガキ類)
第292区 -	20441	2	96溝	壺	P1協埋土 協埋土	口頸部	(16.8)	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、内面はナデと思われる	灰白 S・細磨-粗 砂多	
第292区 -	20368	2	96溝	壺	中央埋土	口縁1/3	(16.6)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(1)	外面は斜ハケメ、口縁部横ナデ、内面は横ハケメのちナデとミガキか	灰白 S	
第292区 Pl.128	20341	2	96溝	壺	北東部上 層	口縁へ頸 部	19.8	-	-	-	口縁に沈線状文で縄文地文(1)、胴部は6条の沈線による横線文	口縁外面下位は細かハ斜ハケメのち粗ナデ、口縁内面は横ハケメのち横ミガキ	にぶい黄褐色 S+赤粒	
第292区 Pl.128	20339	2	96溝	壺	中央埋土	口縁部へ 胴部1/2	17.5	-	-	-	口縁に縄文(1)、口縁部に縄文(1)、末端回転直、胴部に縄文地文(1)、上下を両す2条の沈線による横線文の間を2条の沈線状文	胴部にハケメ、胴部に縦ハケメ	浅黄褐色 S+細磨	
第292区 Pl.128	20332	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部へ 胴部1/2	20.4	-	-	-	口縁部に縄文(1)、胴部に縄文(1)を地文として2部の縹緋状文(9mm/14mm)を時計まわりにめぐらせ、下位に2部の縹緋状文(時計回り)の後、上中下を沈線で区画する。胴部にも縹緋状文をめぐらす	外面は縦ハケメ、内面は横ハケメ。口縁は内外面横ナデのち内面のみ横ミガキ	浅黄 S(粗砂主)	

第56表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第292区 Pl.128	20319	2	96溝	壺	中央埋土	口縁~胴部 1/2	20.2	-	-	-	頸部上位から帯幅波状文 →2段波状文→帯幅波状 文をめぐらせ、各段を横 波線で飾す。肩は地文陶 文(LR)	外面はハケメ、内面は 指オサエのち横ナデ、 横波線。肩はハケメのち縦 ヘラナデ	浅黄橙 S	
第292区 Pl.129	20327	2	96溝	壺	中央埋土	口縁~胴部	17.6	-	-	-	口胴部に縄文(LR)、頸部 に帯状文(8歯/19mm、17mm スパン)、下位に1部の帯 幅波状文を特記まわりに めぐらす	内面は指ナデ	浅黄橙 S	
第292区 Pl.129	20336	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口~胴部	16.0	-	-	-	口胴に縄文(LR)か、頸部 に帯幅波状文(8歯/16mm) 幅広くめぐらせ、中位で 2条の横波線の間に帯状 文をめぐらす	口縁上位に横ナデのち 縦ハケメ、口縁~体部 内面は横ナデでナデ上 げ	浅黄橙 S+粗砂	
第292区 -	20359	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部~ 胴部1/2	14.8	-	-	-	頸部に帯状文、その上下 に帯幅波状文(8歯/14mm 20mmスパン)をめぐらす	外面にハケメ、内面に 横ハケメ	浅黄橙 S	
第292区 Pl.129	20338	2	96溝	壺	中央埋土	口縁~頸部	14.0	-	-	-	口胴に縄文(LR)、頸部 に平行波線文(2条)と帯 幅波状文(6歯/10.5mm)	口縁部に斜ハケメ、頸 部下位にハケメ	浅黄橙 S	
第292区 Pl.129	20342	2	96溝	壺	中央灰層	口縁部~ 頸部(口 縁1/3次)	15.2	-	-	-	口胴部に縄文らしき面跡 あるが不明瞭。頸部に帯 幅波状文(7歯/13.7mm)の あと2道止る帯状文(13分 画)、下位を横波線で区 画	口縁部外面上位に横ナ デのち縦ミガキ、口縁 部内面はナデ	にぶい黄橙 S+円多	
第293区 -	20398	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(12.4)	-	-	-	口胴に縄文(LR)、頸部に 2条以上の波線による波 状文をめぐらす	器面荒れて、整形不明	にぶい橙 S	
第293区 -	20445	2	96溝	壺	埋土	口縁~頸部 1/4	14.8	-	-	-	口胴に縄文(LR)	口縁外面上位は横ナデ から斜ハケメ、口縁内 面は横ハケメ	浅黄橙 S	
第293区 -	20369	2	96溝	壺	埋土	口縁~頸部 1/3	10.7	-	-	-	頸部に2条の波線による 横線文	口縁内外面横ナデ、口 縁下位外面ナデ、頸部 外面斜ハケメ、頸部内 面ナデ	にぶい黄橙 S	
第293区 -	20405	2	96溝	壺	中央灰層 上	口縁片 1/4	(11.2)	-	-	-	器面割断のため整形・文 様不明	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+チャート・ 赤褐色 赤褐色	器面割断
第293区 -	20541	2	96溝	壺	東分岐部 埋土	口縁部片	(19.4)	-	-	-	口胴に縄文(LR)	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第293区 -	20498	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	(14.0)	-	-	-	口胴部に縄文(LR)	器面荒れて不明	浅黄橙 S+粗砂	
第293区 -	20568	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(13.4)	-	-	-	無文	外面ナデ、内面は割断 で不明	にぶい黄橙 S	
第293区 -	20573	2	96溝	壺	中央埋土	口縁片	(13.8)	-	-	-	無文	内外面ともハケメ後横 ナデ	にぶい黄橙 S	
第293区 -	20565	2	96溝	壺	東分岐部	口縁片	(16.6)	-	-	-	口胴に縄文(LR)	細かい面跡を残すナデ	にぶい黄橙 S	内面に線状 圧痕
第293区 -	20450	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片 1/4	(16.3)	-	-	-	口胴に縄文(LR)	器面割断のため文様・ 整形不明	浅黄橙 S+チャート・ 白片層	
第293区 -	20410	2	96溝	壺	中央灰層 上一括 (小片)	口縁片	(14.0)	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白 S+糖	
第293区 -	20570	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(15.6)	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第293区 -	20574	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(13.2)	-	-	-	無文	外面ハケメ後横ナデ、 内面横ナデ	橙 S	
第293区 -	20579	2	96溝	壺	北東埋土	口縁片	(13.6)	-	-	-	無文	内外面荒れて整形不明	浅黄橙 S	
第293区 -	20569	2	96溝	壺	埋土	口縁片	(14.3)	-	-	-	無文	内外面割断・ミガキ	にぶい橙 S	二次的焼熱 で色変

遺物観察表

第57表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第293区 -	20577	2	96溝	壺	東分岐部	口縁片	(15.9)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)	外面に縦ハケメ、内外 面ナデ	浅黄橙 S	
第293区 -	20406	2	96溝	壺	西分岐部 埋土上層	口縁片 (小片)	(14.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、整形・ 文様不明	器面荒れて整形不明	灰黄褐色 S(粗砂主)	
第293区 -	20548	2	96溝	壺	中央灰層上	口縁片	(16.1)	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	にぶい黄橙 S+輝石多	表面割離
第293区 -	20444	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁-頸部 1/3	(17.8)	-	-	-	口唇に縄文らしき圧痕、 頸部に段をめぐらす	外面は口縁部上位は横 ナデ、その他縦ハケメ、 内面は横ハケメ	浅黄橙 S	
第293区 -	20581	2	96溝	壺	東分岐部 下層	口縁片	(14.5)	-	-	-	口唇部と頸部に縦縄文	外面は縦、内面は横主 体のハケメ	にぶい黄橙 S	
第293区 -	20571	2	96溝	壺	東分岐部 下層	口縁片	(17.8)	-	-	-	頸部に縄状文(施文員詳 細は不明)	外面がハケメ後ナデ、 内面は横ナデ	灰白 S輝石多	
第293区 -	20542	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	(18.8)	-	-	-	無文	口縁は横ナデ、頸部は縦 ミガキ、内面荒れて整 形不明	灰白 S	
第293区 -	20576	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(15.5)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)	内外面ナデ	にぶい黄橙 S+赤色粒	内面に半球 形種子?圧 痕
第293区 -	20575	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片	(14.4)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)	内外面ナデ	にぶい黄橙 S	内面に種 子?圧痕
第293区 -	20447	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁片 1/3	(18.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)	外面上位から横ナデと 斜ハケメ、内面は横ハ ケメ	灰白 S+チャート・ 赤粒	
第293区 -	20566	2	96溝	壺	中央灰層 上	口縁片	(17.6)	-	-	-	口唇内面に縄文(LR)と沈 降山形文をめぐらす	内外面ナデ	浅黄橙 S	
第293区 -	20360	2	96溝	壺	埋土	口縁部片 1/3	(19.1)	-	-	-	口唇に縄文(LR)	口-頸部外面は縦ハケ メ、頸部外面横ナデ、 口唇内外面は横ナデ、 口-頸部内面に横ミガ キ	浅黄橙 S+粗砂が主	
第293区 -	20540	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	(18.0)	-	-	-	口唇に縄文と思われるが 不明瞭	外面は縦ハケメ後、口 縁横ナデ、頸部ミガキ 内面は横ハケメ後、横 ミガキ	灰白 S	
第293区 -	20572	2	96溝	壺	平円溝埋 土中層	口頸部片	(16.2)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)	内外面荒れて整形不明	灰 S	全体に還元
第293区 -	20448	2	96溝	壺	埋土	口縁片 1/4	(18.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)	器面荒れのため文様・ 整形不明	浅黄橙 白岩片、 チャート類 多	
第294区 -	20389	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部	13.8	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁部 に3帯(以上)の横縄文 (LR)	内面ナデか	浅黄橙 S、粗砂主	
第294区 -	20563	2	96溝	壺	埋土	口縁片	(13.4)	-	-	-	口唇-口縁全体に縄文 (LR)、頸部に横沈線を含 ます	外面は縦ハケメ、内面 はナデ	灰白 S	頸部外面に 楕円形圧痕
第294区 Pl. 129	20437	2	96溝	壺	埋土	口縁-頸部	17.6	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁に 7面の帯幅波状文、頸部 上位に帯幅波状文(7溝 /4mm)、下に茎の横沈 線	外面は縦ハケメのち横 ナデ、内面は丁寧な横 ナデ	浅黄橙 S+粗砂、輝 石多	
第294区 -	20403	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁1/3	(18.3)	-	-	-	口唇に縄文押捺か、器面 割離のため整形・文様 不明	器面荒れて整形不明	橙 S+細礫-粗 砂	表面割離
第294区 -	20399	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁1/3	(20.3)	-	-	-	口縁に地文縄文(LR)、そ の上位に帯幅波状文(5溝 /2mm)をめぐらす	口唇内面横ナデ	灰白 S+石英多	
第294区 Pl. 129	20343	2	96溝	壺	中央埋土	口縁-頸部 口 1/3	(10.4)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、頸部 に2段の2条一弁の沈線波 状文(上段は波長長く、 下段は細かい)、2条の間 隔は一定せず	内面は丁寧な横ナデ	灰白 S	
第294区 -	20365	2	96溝	壺	埋土	口縁1/2	(16.0)	-	-	-	無文	口唇内外面に横ナデ、 内面ナデ	浅黄橙 S	

第58表 弥生土器観察表 96号溝

探検 PL. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							上径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第294区 -	20567	2	96溝	甕	中央埋土 下層	口縁片 (16.2)	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	灰黄褐色 S+赤鉄 S	内面2、外面 2の上面	
第294区 -	20529	2	96溝	短頸甕	西分岐部 埋土下層	口縁部 1/3	(17.6)	-	-	外面と口縁内部に赤彩。	器面割離で整形不明	灰黄褐色 S	内面、黄褐色 S	
第294区 -	20530	2	96溝	短頸甕	中央埋土	口縁部片	(17.5)	-	-	外面と口縁内部に赤彩。	赤彩残ミガキ	灰黄褐色 S		
第294区 -	20402	2	96溝	甕	東分岐部 埋土	口縁片	(17.3)	-	-	口内に縄文(LR)、口縁部 下位にハケメ	口縁部内外面に横ナデ	灰白 S+輝石多		
第294区 -	20411	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁片 (小片)	(16.3)	-	-	無文	器面荒れて整形不明	浅黄褐色 S+輝石多		
第294区 -	20413	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部1/3	-	-	-	頸部に4条横沈線、地文 縄文(LR)	頸部内面に横ナデ	灰白 S+黄褐色 S+山岩		
第294区 -	20370	2	96溝	甕	西分岐部 下層	口縁～頸 部	-	-	-	4条の沈線による横線文 のち刺突印点文を充填す	外面は器面荒れて整形 不明、内面はナデ	灰白 S+粗砂		
第294区 -	20539	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁～頸 部	-	-	-	2条の沈線による横線文 と縄文(LR)	内面は横ミガキ	浅黄褐色 S	片面2カ所に 割痕	
第294区 -	20449	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	頸部に沈線による横線文 と縄文(LR)	外面はナデ	灰白 S		
第294区 -	20432	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部	-	-	-	縄文(LR)を地文として、 3条の横沈線、2条沈線の 波状文をめぐらす	内外面ハケメ、頸～体 部内面はナデ	淡黄 S		
第294区 -	20439	2	96溝	甕	中央埋土	口縁～頸 部	-	-	-	口縁外部に横ハケメ、 頸部外部に縦ハケメとし て複数沈線で造弧文 をめぐらす	口縁外部に横ハケメ、 頸部外部に縦ハケメとし 横ナデ、内面荒れて整形 不明	浅黄褐色 S+粗砂		
第294区 PL.129	20346	2	96溝	甕	中央埋土	頸部	-	-	-	頸部に縄文(LR)で、 3条の沈線による横線文	頸部内面はナデ	灰白 S+	天地逆の可 能性あり。器 面荒れて著し い	
第294区 -	20609	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	縄文(LR)地文に、3条の 横沈線をめぐらす	上面は外側はミガキ、内 面は全体にナデ	灰白 S		
第294区 PL.129	20329	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸～頸部 1/2	-	-	-	頸部に地文縄文(LR)、3 条の横沈線をめぐらせ、 上位に2条沈線波状文を めぐらす	頸部外面上位は斜ハケ メ、頸部上位外面にナ デ消しと横ハケメ、の ち粗ミガキ。頸部内 面は横ハケメ	浅黄褐色 S+礫		
第294区 -	20600	2	96溝	甕	東分岐部 下層	頸部片	-	-	-	縄文(LR)を地文に、横沈 線と沈線波状文を交互に 3部めぐらす	頸部外面はハケメ、頸 部内面ミガキ、頸部内 面はナデ	浅黄褐色 S	外面一部割 痕	
第294区 -	20651	2	96溝	甕	西分岐部 中層	頸部片	-	-	-	横沈線で面し、下位に4 条(以上)沈線による造弧 文をめぐらす	内面荒れて整形不明	灰黄褐色 S		
第294区 -	20614	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	縄文(LR)か地文に、4条 の横沈線をめぐらせ、同 部に沈線山形文を描く。	内面荒れて整形不明	灰黄褐色 S+赤粒、白 無色岩片の 懸濁多		
第294区 -	20603	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	段状沈線で上位を面し、 頸部を縄文(LR)地文とし て、2条沈線波状文をめ ぐらす	内面は粗ミガキ	浅黄褐色 S		
第294区 -	20428	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文とし 、2条の横沈線で上下 を面した内に2条の沈線 波状文をめぐらす	外面はミガキ、内面は ハケメとナデ	灰白 S+粗砂主		
第294区 -	20602	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	縄文(LR)地文に、横沈線 と2条沈線波状文を交互 にめぐらす	内面はハケメ様の横ナ デ	灰白 S		
第294区 -	20430	2	96溝	甕	埋土	頸部～頸 部片	-	-	-	頸部に段状の横沈線のみ をめぐらす	内外面ともハケメ	灰白 S		
第295区 PL.129	20304	2	96溝	甕	西端～西 半埋土中 層・下層	頸部～頸 部上位	13.6	-	-	頸部に3条の沈線による 横線文	ミガキ・ナデ腹は不明	灰白 S+輝石多		

遺物観察表

第59表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第295区 Pl.129	20348	2	96溝	甕	北東部上層	頸部→胴部 上半	-	-	-	-	頸部から4条の沈線による横線文→何れも充填黒文→2条の沈線横線文。同様に黒文横帯を帯け、胴部に2条沈線の横線文→横線充填黒文。最大幅部を2条沈線波状文で両下位に重連弧文をめぐらす	胴部上位外面にハケメ、胴部内面に横ハケメのちナデ	にぶい黄緑 S+赤粒	
第295区 -	20374	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部1/2	-	-	-	-	頸部に2条の太い沈線による横線文(幅5.5mm)をめぐらせた中に、地文網文(LR)と3条沈線の波状文(幅2mm)をめぐらす。沈線の弧文方向は反時計回り	口縁下位外面に縦ハケメ、胴部内面に横ハケメ	にぶい黄緑 S	
第295区 -	20433	2	96溝	甕	埋土	頸部→胴部 片	-	-	-	-	頸部上位から順に攀指波状文、沈線による横線文、縹状文(9mm/17mm)、沈線波状文をめぐらす	体部外面に斜ハケメ、体部内面に平滑な板状貝小片によるナデ	にぶい黄緑 S	
第295区 -	20391	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁→頸部 1/2	-	-	-	-	頸部に沈線による横線文をめぐらせ、中に沈線波状文	器面荒れて整形不明	粗 S(細砂)主	
第295区 -	20558	2	96溝	甕	中央埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に縹文(器体不明)を地文として、沈線をめぐらせるが、荒れて不明瞭	器面荒れて整形不明	にぶい 粗 S(細砂)主	
第295区 Pl.129	20351	2	96溝	小型甕	中央埋土	頸部→底 部1/2	-	-	-	-	頸部に沈線波状文、沈線による横線文、体部中心に2条帯位の沈線波状文	器面荒れて整形不明	灰白 S+算石多	
第295区 -	20379	2	96溝	小型甕	中央埋土 →東分岐部	頸部 1/2	-	-	-	-	頸部に2条の沈線による横線文をめぐらせ、上位沈線はナデ消して段状とする。横線文の中に板小片による刺突列点文、下位に攀指波状文(3mm以上)	頸部内面ナデ	浅黄 S(細砂)主	
第295区 -	20380	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	2帯の縹状文(5mm/8mm、1mmは途中で欠損が、10～15mmスパン)を反時計回りにめぐらす	頸部上位はナデ、胴部は外面ミガキ	にぶい黄緑 S+赤粒	
第295区 -	20434	2	96溝	甕	東分岐部	頸部	-	-	-	-	縹文(LR)を地文として、頸部に2帯の縹状文(8mm/17mm・6mm/13mm)の2帯、12～15mmスパン)、下位に攀指波状文(6mm/13mm)をめぐらす	内外面ナデか	灰白 S	
第295区 -	20596	2	96溝	甕	西分岐部 埋土中層	胴部片	-	-	-	-	頸部に浅い縹横線、下位に帯状突起を付す	内外面に斜ハケメ、腕ナデ	浅黄緑 S	
第295区 -	20371	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部→胴部 上位砂片	-	-	-	-	地文縹文(LR)の上に、2条の横沈線で上下を囲い、沈線波状文をめぐらす	体部外面は縦ミガキ、胴部内外面にハケメ	にぶい黄緑 S+粗→細砂	
第295区 -	20436	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部→胴部 1/4	-	-	-	-	頸部に縹文(LR)を地文として、横沈線、沈線波状文をめぐらす	体部外面全体に斜ハケメ、体部内面全体にナデ	にぶい黄緑 S	
第295区 -	23105	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部→胴部 下位	-	-	-	-	頸部に寛数条の横沈線と1条沈線波状文、下位に縹文(LR)	外面はハケメのち整形、内面は指押さえのち横ナデ、縦か、横ハケメのち縦ヘラナデ	灰白 S	
第295区 -	20452	2	96溝	甕	北東部上層	頸部→胴部 1/3	-	-	-	-	頸部に1条の沈線波状文をめぐらせ、1条の横沈線で両した下位に縹縹文	内面は丁寧なナデ	灰白 S	

第60表 弥生土器観察表 96号溝

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第295区 -	20627	2	96溝	壺	中央灰層 上	胴部片	-	-	-	-	胴部～胴部上位に地文の 縄文(非串は標串と思われる) を施し、胴部に3条の 横波線をめぐらせて、横 波線間にスパンの状の波 状文(3mm/9mm)を描く。下 位には平行する3条の波線 波状文をめぐらす	外面は斜～横ハケメ 後、縦ミガキ。内面 は前離で整形不明	にぶい黄 S	
第295区 -	20366	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部上部 1/2	-	-	-	-	胴部に縄文地文(1R)、1 条横波線をめぐらす	胴部外面に横ハケメ。 内面にナデ	にぶい黄 S	
第295区 -	20426	2	96溝	壺	埋土	胴部～胴 部	-	-	-	-	胴部に段状となる1条の 横波線をめぐらす	体部下位に斜ハケメ、 内面下位に横ハケメ	浅黄 S 赤砂+赤 粒	胴片に黒 斑
第296区 PL.128	20427	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部～胴 部 上半1/3	-	-	-	-	胴部に横波文、肩に縄文 (1R)を地文とし横波文 7mm/16mmと2条波状 文7mm/16mmと板状具小 皿による列突点文を順にめ ぐらせ、下位を1条横波線 で囲す	外面無文部の整形はミ ガキ、内面はハケメを 施す	にぶい黄 S+岩片 黒斑	
第296区 -	20380	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	肩～胴部 2/3	-	-	-	-	無文	胴内外面はハケメ、肩 内面にナデ、胴内面に ハケメ	にぶい黄 S	
第296区 PL.129	20333	2	96溝	壺	埋土	胴部～体 部2/3	-	-	-	-	胴部は地文を縄文(1R)、 上下を段状の波線で囲 い、中央に横波文(7mm /16mm)をめぐらす	外面は横ハケメのち粗 い縦ミガキ、内面はナ デと粗いミガキ	浅黄 S	
第296区 -	20381	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～胴 部1/4	-	-	(10.0)	-	無文	胴中位外面にハケメ残 す。外面は縦横ミガキ 底部外面はケズリのち ミガキ、内面は横ハケ メ	にぶい黄 S	片面に黒 斑
第296区 PL.129	20330	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部～胴 部1/2	-	-	-	-	胴部に3条の波線による 横波文で波線間は無文。 その下に斜縄文(1R)。縦 波線あり(文様か整形道 かは不明)	外面は器面離で整形 不明瞭	浅黄 S 赤砂主	胴1/2片に黒 斑
第296区 PL.129	20334	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部～底 部1/2	-	-	9.8	-	無文	外面は横ハケメのち粗 いハケメ。内面は横ハ ケメ後粗いミガキで器 ナデ上げ。ハケメの工 具は細かい縦線痕を残 す。	浅黄 S 赤砂主	
第296区 -	20462	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部～胴 部下位 1/4	-	-	-	-	胴部に横波文(5mm以上)、 下位を横波線で囲す	外面はミガキ、内面は ナデ	浅黄 S	
第296区 -	20459	2	96溝	壺	西平埋土 中層・下 層	胴部片	-	-	-	-	無文	外面・内面ともに粗目 のハケメ	灰白 S	
第297区 PL.130	20317	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部 2/3	-	-	-	-	無文	器面荒れ、文様・整形 不明	浅黄 S+赤粒 黒斑	
第297区 -	20461	2	96溝	壺	埋土	体部1/4	-	-	-	-	無文	内外面ともに横ハケメ	にぶい黄 S	
第297区 -	20662	2	96溝	壺	西平埋土 下層	胴部～胴 部片	-	-	-	-	無文	器面荒れて、整形不明	灰白 S	胴内面1、 胴部外面1 の圧痕
第297区 -	20367	2	96溝	壺	西分岐部 灰層下	胴部～胴 部片	-	-	-	-	無文か	外面に粗い斜ハケメ、 胴下半外面に縦ミガ キ、内面全体にナデ	にぶい黄 S+白岩片+赤 粒	
第297区 -	20454	2	96溝	壺	中央埋土	体部片 1/4	-	-	-	-	無文	輪精度	灰黄 S	
第297区 -	20440	2	96溝	壺	埋土	胴部～体 部上半	-	-	-	-	無文	器面ともに荒れて整形 不明	にぶい黄 S+角型石 斑	

遺物観察表

第61表 弥生土器観察表 96号講

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第297区 -	20455	2	96溝	甕	中央灰層 上層	胴部片	-	-	-	-	胴部上位に横沈線と沈線 波状文をめぐらす	器面とも荒れ整形不明 底面ミガキ	浅黄楢 S	
第297区 -	20460	2	96溝	甕	西端埋土 中層	胴部一 体部1/3	-	-	-	-	無文	外面はミガキ、内面は 横ハケメ整形のち横ハ ケメ	灰黄 S	
第297区 -	20451	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部一 体部1/3	-	-	-	-	頸部に縄文地文(LR)	外面は横ハケメのち縦 ミガキ、内面は全体に 横ハケメ	にぶい黄楢 S	
第297区 -	20456	2	96溝	甕	西平埋土 下層、西 端埋土中 層	胴一 体部片	-	-	-	-	無文	外面はハケメ整形のち ミガキ、内面はハケメ 整形のちナデ	浅黄 S	
第297区 -	20463	2	96溝	甕	埋土	胴一 体部1/4	-	-	-	-	胴部に1条の沈線による 横線文とその下に沈線波 状文、縄文地文か	内面にハケメ	浅黄 S	
第297区 -	20457	2	96溝	甕	埋土	胴下 部片	-	-	-	-	無文	外面にハケメ整形の み、内面にハケメのち ナデ	灰白 S細砂主	外面に一部 黒斑
第298区 Pl.130	20313	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	胴部1/2 一底部	-	-	9.0	-	無文	外体部は粗い弱ハケ メ、外底面はケズリ のみ粗いミガキ、内体部 はナデ整形残る。	浅黄楢 S細砂主、 輝石・石英 多	底部内面は 種子?住痕 あり
第298区 Pl.130	20331	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部一 底部2/3	-	-	10.2	-	頸部に1条の沈線をめぐ らす	内外面ハケメ整形。器 面荒れ著しい	灰白 S細砂主	
第298区 Pl.130	20311	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁一 胴部一 部欠	-	-	9.4	-	無文	器表面割断。外面に横 位主体のハケメを残 す。ミガキ、内面整形 は不明	浅黄楢 S	
第298区 -	20323	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	胴部	-	-	-	-	縦口縁(割断)しており 無蓋として再利用)	外面は弱ハケメ、内外 面は荒れて整形不明 内外面ともに荒れて整 形不明	浅黄楢 S細砂主 S+粗砂	黒斑
第298区 Pl.130	20352	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部一 底部	-	-	8.4	-	無文	外面はハケメのち横か ら斜めミガキ、内面は 胴内面はナデ、体部は 粗いハケメ	浅黄楢 S+粗砂	底部に種豆1
第298区 Pl.130	20322	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部一 底部2/3	-	-	9.4	-	頸部に横状文(5南以上) を時計まわりにめぐらす	外面は横ハケメのち縦 主体のミガキ、内面は 横ハケメ	にぶい黄楢 S	底面に種豆 3
第299区 -	20385	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁一 体部	-	-	9.6	-	無文	内外面は細い弱ハケ メ	にぶい黄楢 S	種豆(分析 *)
第299区 Pl.130	20321	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部一 底部2/3	-	-	9.7	-	無文	胴部下位外面にハケ メ、底部にケズリ	にぶい黄楢 S細砂主	胴下半の一 部に黒斑
第299区 Pl.131	20397	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	胴一 底部	-	-	8.2	-	無文	内外面ともにハケメ、 底面ミガキ	にぶい黄楢 S	
第299区 -	20383	2	96溝	甕	埋土	胴一 体部1/3	-	-	11.7	-	無文	外体部にやや粗いハケ メ、内体部に細い横 ハケメ、外封面に粗い ミガキ、内底面に胎ナ デ	にぶい黄楢 S	
第299区 -	20468	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	底部一 体部1/3	-	-	11.0	-	無文	内外面とも横一弱ハケ メ底部に粗いミガキ、 底縁に著しい指痕住痕	にぶい黄楢 S細砂主	外片面に黒 斑
第300区 -	23104	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	胴部一 底部1/3	-	-	9.8	-	無文	内面は割断。横ハケ メがわずかに残る。底部 にケズリからナデ	浅黄楢 S細砂主 チャート	胴下位の一 部に黒斑 内面に黒斑 底面磨痕
第300区 Pl.131	20528	2	96溝	小型甕	西分岐部 下層	胴部下 半部	-	-	3.6	-	無文	外面に赤彩のちミガ キ、内面ナデ	にぶい黄楢 S	
第300区 -	20479	2	96溝	甕	埋土	胴部一 体部	-	-	8.9	-	無文	外面はヘラナデ、内面 はナデ	にぶい黄楢 S細砂主	
第300区 -	20465	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	底部一 体部	-	-	10.3	-	無文	外面は縦ミガキ、内面 は横ハケメ	にぶい黄楢 S細砂主	片面一部に 黒斑
第300区 -	20469	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	底部一 体部1/3	-	-	11.0	-	無文	外面はケズリのち弱ハ ケメ、内面全体に横ハ ケメ、底部内面ナデ底 部たちあがり指痕	にぶい黄楢 S	底部一胴下 位の一部に 黒斑

第62表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包溝名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第300区 -	20387	2	96溝	壺	埋土	底部～体 部	-	-	8.7	-	無文	外面はハケメのちミガキ、内面は細かいハケメ、底面は粗いミガキ、底内面はナデ	にぶい黄褐色～黒砂(川砂多)	
第300区 -	20466	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部1/3	-	-	9.4	-	無文	外面はハケメのち粗ミガキ、内面は斜ハケメのちナデ、底部はケズリのちナデ	灰白 S黒胎土	外面2/3黒斑
第300区 -	20464	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部下平 1/2	-	-	10.2	-	無文	内外面ともにハケメ	浅黄 S 内面還元	
第300区 -	20734	2	96溝	小型壺	中央灰層 下層	底部	-	-	5.1	-	無文	外面ケズリのち縦横ミガキ、内面ミガキ	灰黄 S+チャート 細織	片面に黒斑
第300区 -	20384	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部1/2	-	-	10.0	-	無文	内外面とも細かいハケメのち外面はミガキ	灰白 S+石多	
第300区 -	20395	2	96溝	壺	埋土	胴部下位 ～底部	-	-	9.0	-	無文	胴外面は斜ハケメのち粗いミガキ、底縁外面はケズリ、底面は粗いミガキ、底内面は指オサエ痕、胴内面は斜ハケメ	浅黄褐色 S+チャート 細織	
第300区 -	20386	2	96溝	壺	東分岐部 埋土	底部～体 部	-	-	9.3	-	無文	内外面ともに細かい斜ハケメ、底面は粗いミガキ	灰黄褐色 S	
第301区 -	20739	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部	-	-	10.0	-	無文	外面横ハケメと指オサエ、内面は削磨で不明	にぶい黄褐色 S 炭化した 植物繊維	
第301区 -	20303	2	96溝	壺	埋土	胴部下位 ～底部	-	-	9.6	-	無文	胴部外面に横ハケメ、胴～底内面にヘラナデ、底面にケズリのちナデ	にぶい黄褐色 S+織	
第301区 -	20473	2	96溝	壺	中央灰層 下	底部	-	-	9.6	-	無文	底内面に指オサエ痕	浅黄褐色 S+チャート	胴下位の片 面に黒斑
第301区 -	20864	2	96溝	鉢	埋土	体部下位 ～底部 1/4	-	-	(8.6)	-	底面除き内外面赤彩。	内外面ともミガキ	灰白 S	底面黒斑
第301区 -	20744	2	96溝	壺	中央灰層 上層	底部2/3	-	-	12.2	-	無文	外面はハケメ整形、内面はミガキ、底面はミガキ	にぶい黄褐色 S	底面に圧 痕? 1
第301区 -	20738	2	96溝	壺	中央部埋 土	胴下位～ 底	-	-	10.5	-	無文	外面ハケメ後ミガキ、底面ミガキ、内面ナデ	にぶい黄褐色 S+赤粒	
第301区 -	20394	2	96溝	壺	埋土	胴部下位 ～底部	-	-	8.5	-	無文	胴部外面にケズリのち縦ミガキ、内面にハケメのちナデ	にぶい黄褐色 S	底部に粉痕2 点
第301区 -	20831	2	96溝	壺	中央埋土	底部	-	-	10.5	-	無文	外面はミガキ、内面にハケメ、底面整形は荒れて不明	灰白 S	底面外縁は 磨減
第301区 -	20467	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部1/3	-	-	10.8	-	無文	内外面ともにハケメ	浅黄 S	底縁に指止 痕底部に粉 圧痕1
第301区 -	20396	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部	-	-	10.0	-	無文	胴下位外面に粗いハケメ、内面に細かいハケメ、底内面にナデ、底部外面はミガキ、内面にナデ	にぶい黄褐色 S	
第301区 -	20741	2	96溝	壺	東分岐部	底部	-	-	9.0	-	無文	内面はナデ、底面は荒れ	にぶい黄褐色 S+赤粒	底面に指止 痕? 2
第301区 -	20746	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底辺1/2	-	-	9.4	-	無文	内外面、底面ともに丁寧に磨なミガキ	灰 S	
第301区 -	20471	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部～体 部下平 1/3	-	-	9.6	-	無文	外面縦ミガキ、内面はナデ、底面はミガキ、底内面はハケメ	浅黄褐色 S	

遺物観察表

第63表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第301区 -	20745	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部	-	-	10.3	-	無文	内面はナデ、底部は割離	にぶい黄褐色 S 礫砂土	底面に圧痕 礫石少
第301区 -	20842	2	96溝	(壺)	中央埋土	底部小片	-	-	(11.0)	-	無文	器面荒れて整形不明	粗 S	全体に焼熟 赤変
第301区 -	20735	2	96溝	(壺)	東分岐部	底部	-	-	6.0	-	無文	外面ケズリ、底面ケズリ、内面ナデ	にぶい黄褐色 S	
第301区 -	20740	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部	-	-	8.5	-	無文	外面ミガキ、底面ケズリ、内面はナデ	浅黄褐色 S	上端を故意 に打ち欠い て粗形に転 用した可能 性あり
第301区 -	20737	2	96溝	壺	東分岐部	底部	-	-	9.8	-	無文	外面ケズリ後ナデか、 内面整形は割離で不明	浅黄褐色 S 黒岩片、 赤粒	
第302区 -	20470	2	96溝	壺	埋土	底部～体 部 1/2	-	-	9.1	-	無文	外面にハケメのちミガキ、 底部ミガキ、内面ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第302区 -	20743	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部辺 2/3	-	-	8.0	-	無文	外面ケズリ後粗いミガキ、 内面ナデ	灰白 S 礫石多	
第302区 -	20475	2	96溝	壺	東分岐部 下層	底部2/3	-	-	11.9	-	無文	底内面に指オサエ痕	にぶい黄褐色 S+チャート、 赤粒	二次的焼熟 による赤変
第302区 -	20476	2	96溝	壺	西端埋土 中層、西平 埋土中層	底部 3/4	-	-	8.2	-	無文	内外面荒れのため、整形 不明	黄褐色 S	底部一部に 黒斑
第302区 -	20477	2	96溝	壺	東分岐部 埋土、東分 岐部埋土 下層	底部1/3	-	-	10.2	-	無文	外面はミガキ、内面は 割離	にぶい黄褐色 S 礫砂土	
第302区 -	20478	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部1/3	-	-	(9.0)	-	無文	外面はハケメ後ミガキ、 内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第302区 -	20480	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部4/5 ～体部	-	-	13.1	-	無文	底部はケズリのち粗い ミガキ	浅黄褐色 S 礫砂土	
第302区 -	20481	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部1/3	-	-	(9.4)	-	無文	外面はミガキ、底内面 は割離	にぶい黄褐色 S+石多粗砂	
第302区 -	20482	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部～体 部1/2	-	-	(8.4)	-	無文	外面は粗いミガキ、内 面は割離	粗 S+赤粒細礫	
第302区 -	20747	2	96溝	壺	中央埋土 下層	割下位～ 底1/3	-	-	(10.2)	-	無文	内外面ナデと思われるが、 器面荒れて不明	浅黄褐色 S	
第302区 -	20388	2	96溝	壺	埋土	底部片	-	-	7.8	-	無文	外面はミガキ、内面は ナデ、底面はケズリの ち粗いミガキ	浅黄褐色 S 礫砂土	
第302区 -	20504	2	96溝	甕	西平埋土 下層	底部～体 部1/4	-	-	10.8	-	無文	内面は丁寧なミガキ、 底縁磨滅	浅黄褐色 S 白岩片、 チャート、 赤粒等の細 礫多	
第302区 -	20833	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部	-	-	10.6	-	無文	内外面ハケメ、外面は 斜位ミガキで仕上げ、 底部外縁一部に粘土 積付加して底部整形。	浅黄褐色 S	底部周辺の 形状歪む
第302区 -	20837	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部片	-	-	9.0	-	無文	内外面ハケメ後、外面 ミガキ、底面ミガキ	灰白 S	内面還元
第302区 -	20861	2	96溝	鉢	埋土	底部	-	-	6.6	-	内面赤彩	外面と底面にケズリ	にぶい黄褐色 S	
第302区 -	20862	2	96溝	鉢	中央埋土	底部	-	-	6.0	-	外面～底面に赤彩	内面ナデ	灰白 S 礫石、角閃 石多	内面還元
第302区 -	20863	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部片 1/2	-	-	(6.1)	-	底面のぞき外面赤彩	外面ハケメ後ミガキ、 内面ナデ・ミガキか	にぶい黄褐色 S	底面1（散散 虫か?）、体 部外面下端 に1の圧痕

第64表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第302区 -	20736	2	96溝	壺	東分岐部 下層	割下半〜 底1/2	-	-	6.0	-	無文	外面はズリ後ナデ、底 面ミガキ。内面ナデ	灰黄 S	上端は腹口 縁状に丸い
第302区 -	20712	2	96溝	壺	西分岐部 灰層下	底部	-	-	5.0	-	外面に赤彩の痕跡残す	内面荒れて不明	灰黄 S	底縁磨滅
第302区 -	20834	2	96溝	壺	中央埋土 下層	底部	-	-	10.9	-	無文	外面はズリ、内面は 横ナデ。底部はケズリ	にぶい黄褐 S	底部に仕痕 1,内面仕痕1
第302区 -	20835	2	96溝	壺	西半埋土 中層	底部片	-	-	7.8	-	無文	ケズリ痕を残すが、最 終の器面整形は不明	灰黄 S	底面1, 内面 1の種実? 仕痕
第302区 -	20505	2	96溝	(横)	中央灰層 上一括	底部	-	-	6.3	-	無文	外面はナデ、底縁磨滅	にぶい黄褐 S	
第302区 -	20472	2	96溝	甕	中央埋土	底部	-	-	8.2	-	無文	外面に縦ハケメ、内面 に斜ハケメ。底ナデ	浅黄 S	片面黒斑
第302区 -	20836	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	底部片 3/4	-	-	9.4	-	無文	外面に横〜斜ハケメ後 指オサエ。内面荒れて 整形不明	にぶい黄褐 S	外面一部黒 斑
第302区 -	20838	2	96溝	(壺)	中央灰層 上一括	底部2/3	-	-	7.6	-	無文	内外面ともに荒れ、測 量が難しい	にぶい黄褐 白地・無色 黒物の粗砂	底面に仕痕1
第302区 -	20841	2	96溝	(壺)	中央埋土	底部片	-	-	8.9	-	無文	内面はハケメとナデ。 底面は荒れ	灰黄褐 S	底面に仕痕4
第302区 -	20843	2	96溝	壺	中央埋土	底部片	-	-	(8.0)	-	無文	外面はナデ、内面はナ デ	灰白 S	底面に仕痕3
第303区 -	20597	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文、頸部に縄文 (LR)地文を面す横沈線 をめぐらす	内面は横ナデ	灰白 輝石多	
第303区 -	20578	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(形体不明)	内面荒れて整形不明	にぶい黄褐 舞・黒・白 の粒〜粗	
第303区 -	20547	2	96溝	壺	中央灰層 中層	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縦縄文	外面は横ナデ、内面は 横ミガキ	にぶい黄褐 S	
第303区 -	20544	2	96溝	壺	北東部上 層	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(オオハコ 文)。上縁は無文、口縁 下位に沈線による段出有	外面は縦ヘラナデ	灰黄 S	
第303区 -	20543	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)	外面は斜ハケメ、内面 は横ハケメ	浅黄 S	
第303区 -	20546	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)	外面は横ナデのち斜ハ ケメ、横ハケメのち横 ミガキ	にぶい黄褐 S	
第303区 -	20408	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)	外面は横ナデのち斜ハ ケメ、横ハケメ	灰白 S	
第303区 -	20599	2	96溝	(壺)	東分岐部 埋土	口縁部片	-	-	-	-	縄文(LR)の斜位筋文	内面はナデのちミガキ	にぶい黄褐 S	
第303区 -	20716	2	96溝	壺	東分岐部	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)に1条沈線 波状文(4.5mm幅)をめぐ らす	外面は横ヘラナデ。内 面はナデのち横ミガキ	灰白 S+チャート	
第303区 -	20407	2	96溝	壺	西半埋土 上層	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、口縁 下位に縄文(LR)を地文と して細い横位沈線区画内 に2条沈線による山形 文を描く	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第303区 -	20364	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部にヘラ柄目、頸部 に横沈線で面した下位に 横状文(25mmスパン)を特 計まわりにめぐらす	口縁部周辺は横ナデ、 外面は斜ハケメ。内面 は横ナデ	浅黄 S	
第303区 -	20363	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、受け 口外面を縄文地文とし、 2条平行沈線の波状文	内面は横ナデのち斜ハ ケメ	にぶい黄褐 S	20362と同一 か
第303区 -	20362	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部 1/3	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、受け 口外面を縄文地文とし、 2条平行沈線の波状文	内外面とも横ハケメ	にぶい黄褐 S	
第303区 -	20404	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に2条の 沈線波状文を描く	外面にハケメ後ナデ	灰白 S+チャート・ 細砂	

遺物観察表

第65表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺物No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包莖名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第303区 -	20626	2	96溝	壺	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	口内に浅い斜みか縄文欠 損の可能性もある。口縁 に柳葉波状文と横状文 (幅14mm/7溝)を時計まわ りに描く	内面は横ミガキ	浅黄 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20719	2	96溝	(壺)	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に4条の沈線(2mm幅) による波状文	器面荒れて整形不明	浅黄槽 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20409	2	96溝	壺	西平埋土	口縁部片	-	-	-	-	無文	器面荒れ、整形・文様 不明	灰白 S	
第303区 -	20722	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁先端に縄文地文(LR) に沈線山形文、口縁下位 に沈線山形文(短横線ミ ガキ)	口縁外面に横ナデのち 縦ハケメ、内面は横ミ ガキ	浅黄槽 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20555	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LRか)、縄 文(LRか)の地文に2条の 沈線波状文	内面荒れて整形不明	灰 S	
第303区 -	20553	2	96溝	壺	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	縄文(原形不明)の地文に 沈線山形文	内面荒れて整形不明	にぶい槽 S+片岩礫	
第303区 -	20554	2	96溝	壺	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、口縁 を縄文(LR)地文とし1条 の沈線波状文	外面ハケメ	浅黄槽 S	
第303区 -	20756	2	96溝	壺	西分岐部	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR?)、口縁 に柳葉波状文(幅10mm/8) (5溝)	口縁外面下位にハケ メのち斜ミガキ、内面 荒れて整形不明	灰白 S+チャート・ 赤砂	
第303区 -	20556	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	頸部下位を縄文(LR)地文 とし、横沈線をめぐらす	外面は斜ハケメ、内面 は割罫	灰白 S	
第303区 -	20612	2	96溝	壺	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)地文に、3条の 横沈線(幅3mm)をめぐ らす	内面はナデとミガキ	浅黄 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20611	2	96溝	壺	西分岐部 中層	頸部片	-	-	-	-	2条の沈線による横線文 (径5mm断半円)とその中 間に1条の粗い沈線がめ ぐるが文様と思われず	内面はへらの横辺をあ てて横ナデ	浅黄 白・黒・黒 の粗砂多	
第303区 -	20414	2	96溝	壺	東分岐部	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)地文に4条の横 沈線をめぐらす。棒状具 をあと沈線に描いて段 をつくる	内面は横ハケメ	灰白 S	
第303区 -	20375	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に5条の 横沈線をめぐらす	内面ナデ	明赤陶 S	
第303区 -	20723	2	96溝	壺	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	内面の折り返し部に沈線 充填(2~2.5mm)の断面文 を描く	ハケメ後、外面ナデ	灰白 S	
第303区 -	20720	2	96溝	(壺)	中央灰層 上層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁に 柳葉波状文(13mm/7溝最 下条が闊広く)、下位に 縄文(LR)	内面ミガキ	灰黄陶 S	
第303区 -	20623	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LRか)の地文に浅い 3条の沈線による横線文 (幅4mm 断かまぼこ)	内面荒れて整形不明	灰白 S+赤砂	
第303区 -	20622	2	96溝	壺	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文とし、3 条の沈線による横線文 (幅3.0~3.5mm)	内面ナデ	にぶい黄槽 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20415	2	96溝	壺	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に3条の 横沈線をめぐらす	内面荒れて整形不明	浅黄槽 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20435	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	2条の沈線で横網文帯、 凸帯状とする	外面はハケメ	にぶい槽 S+粗砂	
第303区 -	20617	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	1条の横沈線	外面は縦位へら先ナ デ、内面は一部割罫	灰白 S+チャート・ 細礫	
第303区 -	20620	2	96溝	壺	中央灰層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に4条の 横線をめぐらせ、下2条 の間に1条の沈線による 波状文を描く	内面ナデ	灰白 S+チャート・ 細礫	

第66表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)					
第303区 -	20610	2	96溝	甕	中央灰層 下層	頸部~体 部片	-	-	-	-	段状沈線による横線文	外面は斜ハケメ、内面 は横ハケメ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第303区 -	20557	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁内面に縄文(LR)	外面はナデ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第303区 -	20417	2	96溝	甕	埋土	頸部~同 部片	-	-	-	-	2条の横沈線	外面は斜ハケメ、 内面は横ハケメ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第303区 -	20621	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	オオハコの特徴文を地文と し、上下を沈線横線で 区画する(幅4mm/1条)	内面ナデ	灰白 S	にぶい黄緑 S+チャート 細顆	
第303区 -	20615	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に2条の 横沈線(幅2mm強)	内面はミガキ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第303区 -	20619	2	96溝	甕	東分岐部	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に3条の 横沈線(幅1.5~1.8mm)を 時計まわりでめぐらす	内面は斜ハケメ	灰黄褐 S	内面に輝正 黄	
第303区 -	20625	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文?の地文、沈線による 横線文(波状文と同じ 手法)	外面は横ハケメ、縦ハ ケメのちね斜ハケメ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第303区 -	20573	2	96溝	甕	西分岐部 埋土下層	頸部~同 部片	-	-	-	-	頸部に横沈線区画帯をめぐ らせ、頸部~胴部に縄 文(LR)を地文として着す	器面荒れて整形不明	灰白 S	粗砂土	
第303区 -	20412	2	96溝	甕	埋土	胴部片	-	-	-	-	太い横沈線をめぐらす	外面は斜ハケメ、内面 は横ハケメのちナデ	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第304区 -	20613	2	96溝	甕	東分岐部	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR前段多条)の地文 に3条の横位沈線文帯(4 mm幅)、下位に2条の波状 文(下波文を先、上波文 を後に描き、菱形状の文 様)をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白 S		
第304区 -	20378	2	96溝	甕	西平埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に上3 条の横沈線をめぐらせ、 下位に沈線山形文か	内面ナデ	灰白 S		
第304区 -	20616	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に3条の 横位沈線(幅4mm強)をめぐ らせ、下位に波状文	内面ナデ	灰白 S		
第304区 -	21477	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	縄線文(オオハコ)を地文 に、4条の横沈線をめぐ らす	内面割離で不明	灰白 S	にぶい黄緑 S	
第304区 -	20608	2	96溝	甕	中層	頸部片	-	-	-	-	1条の横沈線と沈線山形 文(幅4mm)	外面は縦ハケメ、内面 はナデ	灰白 S+チャート		
第304区 -	20649	2	96溝	甕	東分岐部	体部片	-	-	-	-	縄文(LR置き戻しか)の 地文に沈線山形文(径2mm ×2箇東むによる)	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S		
第304区 -	20641	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文地文(LR置き戻しか) に沈線山形文(幅3.5mm 断面半円)	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S+赤粒		
第304区 -	20637	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部~体 部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に沈線に よる横線(幅5mm弱)と波 状文を交互に施文	外面ハケメ後、ナデ	淡黄 S		
第304区 -	20638	2	96溝	甕	西分岐部 上層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に1条の 沈線による横線文と波状 文の交互施文	内面荒れて整形不明	灰白 S+赤粒		
第304区 -	20642	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横沈線 と山形文を交互施文	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S+チャート		
第304区 -	20604	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横沈線 と山形文を交互施文	内面荒れて整形不明で 不明	灰黄 S+チャート		
第304区 -	20636	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部~体 部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横沈線 と波状文を交互施文	外面は縦ミガキ	灰黄褐 S+輝石多		
第304区 -	20601	2	96溝	甕	中央埋土	頸部~体 部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横沈線 と波状文を交互施文	外面は斜ハケメ、内面 はナデと一部斜ハケメ	灰白 白・石英・輝 石 粗~細 砂		
第304区 -	20696	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文地文(LR)に2条の沈 線波状文(幅3mm)を時計 まわりでめぐらす	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S		

遺物観察表

第67表 弥生土器観察表 96号溝

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第304回 -	20005	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	2条の横沈線間に1条の波 状文(幅2mm)をめぐら す。地文に縄文らしき痕 跡(原形不明)	内面土位はミガキ、下 位はナデ	灰白 S+赤鉄	
第304回 -	20421	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文文(オノボコ)を地文 とし2条横沈線区画内 に1条の波状山形文	内面荒れて整形不明	灰白 S	にぶい黄緑 S
第304回 -	20644	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横位沈 線と山形文の交互施文 (幅3mm)	内面は横位ナデ	灰黄 S	
第304回 -	20420	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に3条(以 上)沈線と山形文の交互 施文	内面ナデ	灰白 S	
第304回 -	20060	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	沈線弧文(3mm幅)に官 状具(径2mm)による刺突 列点をめぐらす	器 S+チャート		
第304回 -	20645	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	沈線による横線文(幅3 mm)と1条の沈線による波 状文、地文に縄文	外面はハケメ、内面は 横ハケメ	灰黄 S+チャート	
第304回 -	20422	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	肩部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として沈 線山形文、下端に縄文原 形の未端押付痕	内面荒れて整形不明	灰黄 S+赤	
第304回 -	20561	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に山形文	内外面はハケメ	灰白 S	にぶい黄緑 S
第304回 -	20618	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に押引き による波状文(幅6mm)を 時計まわりでめぐらす	内面ナデ	灰黄 S	
第304回 -	20007	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文地文(LR)に1条の横 沈線(幅3.5mm)と波状文 の組み合わせ	内面はミガキ	灰白 S+チャート	
第304回 -	20648	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文と沈線 施文(幅4mm)	内面割離で整形不明	灰黄 S+チャート	
第304回 -	20647	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に細縄文 (幅3mm程)	外面はナデ消し	灰黄 S+赤鉄粒	
第304回 -	20006	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文地文(LR)に横沈線と 2条沈線の波状文(幅4mm) を時計まわりに描く	内面はミガキ	灰白 S	
第304回 -	20066	2	96溝	甕	中央灰層 下層	頸部片	-	-	-	-	2条の横線をめぐらせ、 さらに3条の沈線波状文 を重ねる	内面はナデ	灰白 S	にぶい黄緑 S
第304回 -	20040	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(原形不明)を地文と し、1条横沈線と2条沈線 波状文を交互施文	内面はナデ	灰白 S+赤鉄粒	
第304回 -	20624	2	96溝	甕	中央灰層 上層	頸部片	-	-	-	-	2条の沈線による横線文 (幅5mm)の下位に、平軟 竹管(幅7mm)によると思 われる流状文	内面荒れて整形不明	灰白 S	
第304回 -	20559	2	96溝	甕	中央埋土 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に2条の 横沈線区画内に2条沈線 波状文、下位にも沈線波 状文がみられる	内面はナデ	灰黄 S	
第304回 -	20419	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし2条 沈線で上下を囲し、内に 3条沈線による山形文	内面ナデ	灰黄 S	
第304回 -	20453	2	96溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、 横沈線と平軟竹管による 波状文を交互2段にめぐ らす	内面ナデか	灰黄 S 10YR8/3 S	
第304回 -	20377	2	96溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に太沈線 による横位区画帯をめぐ らせ、中に3条一組の沈 線波状文	内外面とも斜ハケメ	灰黄 S	
第304回 -	20431	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部+肩 部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に太沈 線による横位区画帯とそ の上下に沈線波状文	外面はハケメ、内面は ナデ	灰黄 S	

第68表 弥生土器観察表 96号簿

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第304回 -	20416	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	縄文(L)の地文に3条の 太い横沈線をめぐらせ、 下位に半截竹管と思われ る波状文	外面は横ハケメ、内面 はナデ	浅黄褐色 S	
第304回 -	20655	2	96溝	壺	東分岐部	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)で重垂線 (4mm幅)	内面ハケメ	灰白 S+チャート	
第304回 -	20654	2	96溝	壺	中央灰層 土層	頭部片	-	-	-	-	複数条沈線による短線の 波状文(3.5mm)	縦方向のハケメ、内面 は一部割離	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20650	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	横縄文を地文に1条の段 状沈線をめぐらす下位 に、4条(以上)の重垂線 文(幅2.5mm)をめぐらす	内面はナデ	灰白 S+赤鉄多	
第304回 -	20586	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	櫛目状文(幅10mm/5mm) で沈線区画は不明	内面はナデ	にぶい黄褐色 S+チャート	
第304回 -	20002	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)縦すり返し に2条の平行横沈線、円 形貼付文(横沈線)下位に 斜行する沈線(波状文か 山形文)	内面はナデ	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20093	2	96溝	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)地文の上に斜線 充填彫刻文か、円形貼付 文(横沈線、幅3mm強)	内面ハケメ後、ナデ	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20678	2	96溝	壺	70土坑、北 岸	胴部片	-	-	-	-	2条の横沈線区画帯の中 に櫛目山形文(2mm/5mm) をめぐらす。胴部下位に 重三角文と交点に円形貼 付文(横沈線)	内面はハケメ	灰白 S	
第304回 -	20095	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)赤土)地文に、2 条沈線の波状文(幅4mm)	内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20667	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	-	縄文地文(L)に沈線による 横線文と2条の山形文 (3mm強)を交互に施す。 外面に赤彩	内面荒れて整形不明	灰黄褐色 白片含	
第304回 -	20708	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(L)で充填した沈線 と2条平行沈線の波状文 (幅2.5mm)	内面は横ナデ	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20679	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	沈線による三角文内に円 形スタンプ(大、径3mm) を左側に傾けて刺突充 填。横線区画に2列の円 形スタンプ(小、径2.5mm) を右側に傾けて刺突充 填。下位は重三角文か重 山形文と思われる(幅3.5 mm)	内面はナデ	浅黄褐色 S+チャート+ 赤鉄	
第304回 -	20680	2	96溝	壺	東分岐部	体部片	-	-	-	-	沈線波状文と2条の横沈 線帯にへう先による刺突 文(縦線)をめぐらせ、 下位に交互斜線を充填し た三角文。地文縄文	内面はミガキ	にぶい黄褐色 S	
第304回 -	20697	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	横沈線で画した下位に、 交点に貼付文を加えた重 三角・山形・波状文と思 われる文様を描く	内面割離で整形不明	にぶい黄褐色 S+赤鉄	
第304回 -	20098	2	96溝	壺	東分岐部	体部片	-	-	-	-	三角文(山形文)と横線文 をめぐらせ交点に円形貼 付文(円スタンプ)を貼付	内面荒れて整形不明	灰白 S	
第305回 -	20562	2	96溝	壺	中央埋土	胴部片	-	-	-	-	沈線区画で櫛目直線文充 填の懸垂文(7mm/13mm)	内面は割離	灰白 S	
第305回 -	20668	2	96溝	壺	西端埋土	頭部片	-	-	-	-	管状具(幅4mm)の押し きによる区画に、櫛目直 線文を縦向き充填した懸 垂文(不明縦幅)6mm/6mm)	内面はナデ	にぶい黄褐色 S	
第305回 -	21484	2	96溝	壺	中央埋土	頭部片	-	-	-	-	櫛目文(7mm/19mm)を2条 垂下する。	内面割離で不明	にぶい黄褐色 S	

遺物観察表

第69表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第305区 -	20684	2	96溝	壺	東分岐部	体部片	-	-	-	-	上半は縄文(L線)を施文、 沈線区画内に藤編波状文 を充填する懸垂文	内面はミガキ	相沢 -	
第305区 -	20683	2	96溝	壺	東分岐部	頭部片	-	-	-	-	初突列点文(径2mm)で区 画し、藤編波状文と直線 文(幅11mm/5面)を充填し た懸垂文	外面はミガキ、内面は 一部剥離	にぶい黄緑 S+チャート	
第305区 -	20686	2	96溝	壺	東分岐部	体部片	-	-	-	-	初突区画と藤編波状文に よる懸垂文	外面はハケメのちミガ キ	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20589	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	縄文(L線)を地文とし、 沈線区画に藤編波状文充 填の懸垂文を施す	内面はナデ	にぶい黄緑 S+チャート	
第305区 -	20670	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	藤編波状文による懸垂文	外面無文は粗いミガ キ、内面はナデ	にぶい黄緑 S+赤粒	
第305区 -	20672	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	藤編波状文(幅11.5mm/5 面)の懸垂文と、胴部に 縄文地文(L線)で、1条づ つ(径2mm)の押引き文を 巻めぐらす。反時計回りに 施文	内面はナデ	灰黄緑 S	
第305区 -	20674	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線と縄文地文(L線か) に太い沈線(幅5mm弱、断 方マボコ)で山形文をめぐ らす。山形文の下位頂 角部に円形付文(横沈 線)を配し、ここから下 方に藤編直線文を垂下す る(幅2.4mm/9面)	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20671	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	藤編懸垂文(直状文幅11 mm/5-6面)を垂下、縄文 地文(L線)に2条の沈線(3 mm幅10mm間隔)の横線文	内面は丁寧な横ナデ	にぶい黄緑 S+赤粒	
第305区 -	20695	2	96溝	壺	東分岐部 下層	体部片	-	-	-	-	初突区画の藤編懸垂文 (波状)、胴部に平截竹管 による(7)2条平片沈線、 横沈線をめぐらす	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20594	2	96溝	壺	西分岐部 上層	体部片	-	-	-	-	縦位沈線波状文を垂下 し、横線による沈線区画 下位に単沈線による波状 文をめぐらす	内面はヘラナデ	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20669	2	96溝	壺	平門溝埋 土	頭部片	-	-	-	-	単線指肉の縦線と縦位波 状文を交互に施文	内面はナデ	にぶい黄 S	
第305区 -	20656	2	96溝	壺	中央埋土	頭部片	-	-	-	-	縄文地文(L)	外面は縦ミガキ、内面 は剥離	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20687	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	縄文(L線)施文	内面はミガキ	灰黄緑 S	
第305区 -	20658	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	縄文(L)	内面ミガキ	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20664	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頭部片	-	-	-	-	無文	外面は横ハケメ、内面 はナデ	灰白 S+白砂片	
第305区 -	20673	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	三叉状記号文か? 1条の 沈線(幅2mm)を垂下	外面にミガキ、内面に 凹凸あり、ハケナデの ちナデ	灰白 S	
第305区 -	20815	2	96溝	壺	中央埋土	頭部片	-	-	-	-	縄文地文(L線)に三叉状記 号文、沈線はヘラ先によ る浅いW字状	外面はハケメ、内面ナ デ	灰白 S	
第305区 -	20816	2	96溝	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	胴から頭部への接合カ所 に三叉状記号文、沈線断 面は平門形	内面はハケメ	浅黄緑 S+チャート +石英多	
第305区 -	20817	2	96溝	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	三叉状記号文	内面はハケメ	浅黄 S	

第70表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第305区 -	20688	2	96溝	壺	東分岐部 下層	体部片	-	-	-	-	縦間文(オオバコ)を地文 に波線山形文(幅3mm弱)	内面はハケメ工具によ る強い横ナデ	灰白 S+赤鉄・児 廻した黒引 漆	
第305区 -	20710	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	4条(以上)の重山形文(幅 2mm)をめぐらせ、横波線、 波線山形文を幅4mm弱に 描く	外面は横ハケメ、内面 はナデ	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20679	2	96溝	壺	中央灰層	頸部片	-	-	-	-	波線による横波文(幅2.5 mm)と管状片先端による 刺穴充填のち波線山形 文をめぐらす(幅3.5mm)	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S	
第305区 -	20685	2	96溝	壺	東分岐部 埋土	体部片	-	-	-	-	管状片2面を兼ねた工具 端による刺突列点文、1 条の横波文(幅3mm)、縦 間文が波状文	器面剥離で整形不明	橙 S+赤鉄・石 英	
第305区 -	20590	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	横波線の上・下位に刺突列 点文(厚1mm)をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20682	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	肥厚した横帯に円形スタ ンプ(径3.5mm)の列点文	内面荒れて整形不明	浅黄橙 S+チャート	
第305区 -	20681	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	波線による変型ないし三 角文を描き、内部に方形 刺突を充填する	器面荒れて整形不明	にぶい・橙 石英・輝石 の粗砂多	
第305区 -	20663	2	96溝	壺	中央埋土 下層	体部片	-	-	-	-	無文	内部欠損	にぶい黄緑 S+白引片	外面に粉付 着痕
第305区 -	20659	2	96溝	壺	東分岐部 埋土	胴部片	-	-	-	-	2条波線波状文、横線、2 条波線による押引文を交 互にめぐらす	内面はナデ	橙 S	
第305区 -	20429	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部~胴 部片	-	-	-	-	太波線の押引文で区画し た横帯に、廉状文(6mm /13mm、20~23mmスパン) を時計まわりにめぐら す。地文に縄文(LR)	外面はハケメ、内面は ナデ	灰白 S	
第305区 -	20630	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	廉状文を時計まわりに描 く。下位に横波線描文	内面ミガキ	淡黄 S	
第305区 -	20425	2	96溝	壺	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	2条波線の山形文、その 下位に廉状文(8~9mm/19 mm、13~17mmスパン)を めぐらす	内面荒れて整形不明	浅黄橙 S	
第305区 -	20560	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	横波線で画した廉状文(6 mm/11mm、22mmスパン)と、 下位に横波線波状文を めぐらす	外面ミガキ、内面ナデ	浅黄橙 S	
第305区 -	20629	2	96溝	壺	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に横位波 線(幅2.5mm)を2条めぐ らせ、廉状文を時計まわ りで中位にめぐらす。下 位に波線山形文	内面荒れて整形不明	淡黄 S	
第305区 -	20628	2	96溝	壺	中央灰層 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文の地文(LR)に、横波 線と廉状文を時計まわ りに描く	内面は丁寧な横ナデ	浅黄橙 S	
第305区 -	20643	2	96溝	壺	東分岐部 下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文とし、2 条横波線(幅3mm)と、下 位に斜線充填の縦間文	内面荒れて整形不明	浅黄橙 S+チャート・ 黒引片	
第305区 -	20634	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	3条の横波線区内に上 下2段の廉状文(幅9.5mm /5mm)を時計まわりに めぐらす	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第305区 -	20630	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	波線の横線と廉状文(幅 17mm /7mm)を24mm前後ス パンで時計まわりにめぐ らせ、縦位の廉状文を垂 下。縦位廉状文間には地 文の縄文(LR)	内面はナデ	浅黄 S+チャート・ 赤鉄	

遺物観察表

第71表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第305区 -	20423	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文とし、 縹状文(7箇/14cm 18~20 mmスパン)と1条の沈線状 状文をめぐらす交互縹文 か。	外面は縦ハケメ。内面 はナデ	にぶい・黄緑 S	
第305区 -	20665	2	96溝	壺	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	縹状文(13mmスパン)と円 形貼付文(円スタンプ)	内面はナデ	浅黄緑 S	
第305区 -	20592	2	96溝	壺	東分岐部	頸部片	-	-	-	-	沈線状の低い段をめぐら せ、縹縹直線文(15mm/8 ~9箇)	内面はナデ	にぶい・黄緑 S	
第305区 -	20631	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)地文に、縹状文 (幅14mm/8箇)を時計まわ りにめぐらす	内面はナデ	浅黄 S	
第305区 -	20587	2	96溝	壺	東分岐部	頸部片	-	-	-	-	縹縹状文(幅14mm/4~5 箇)	内面荒れて整形不明	灰白 S	
第305区 -	20588	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	細沈線による矢羽根状文 (幅1mm、断面V字)	内面荒れて整形不明	にぶい・黄緑 S+チャート	
第305区 -	20591	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	横沈線を3条めぐらせ、 沈線部に薄い板状具(厚 さ1mm強)小口による斜突 斜線充填	内面荒れて整形不明	にぶい・黄緑 S+チャート	
第305区 -	20646	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	細沈線をめぐらせ、上位 に沈線状文、下位に収 束沈線充填の縹縹文	外面は斜ハケメ	灰白 S+赤粒	
第305区 -	20585	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文地文(1R)で、縹縹 状文(幅15mm/7箇)	外面は斜ハケメのち縹 ミガキ、内面は斜ハケ メ	灰白 S	
第305区 -	20584	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	上位に横沈線5箇をめぐ らせ、縹縹状文(幅14 mm/8箇)を時計まわり にめぐらす	外面はハケメ後、無文 部ミガキ内面ナデ	浅黄緑 S+チャート	
第305区 -	20376	2	96溝	壺	東分岐部 埋土	頸部片	-	-	-	-	縹状文(8箇/15mm、11~14 mmスパン)を時計まわり にめぐらす	外面は斜ハケメのちミ ガキ	にぶい・黄 S	
第305区 -	20700	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	細沈線(2~1mm断面V字)3 条を横位にめぐらせ、交 互斜線による矢羽根状文 を描く	内面ミガキ	黄灰 S+チャート	
第305区 -	20675	2	96溝	壺	西分岐部 上層	体部片	-	-	-	-	縹状文を時計まわりにめ ぐらせ、縄文(1R断り反 し)を地文に縹縹文(幅2 mm)	器面荒れて、整形不明	灰白 S+チャート	
第305区 -	20424	2	96溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縹状文を時計まわりにめ ぐらせ、下位に縹縹状文 (7箇/17mm)	内面荒れて整形不明	にぶい・黄緑 S	
第305区 -	20635	2	96溝	壺	北東埋土	頸部片	-	-	-	-	1条の沈線で縹縹区画。 収束斜線充填の縹縹文 をめぐらす	内面荒れて整形不明	浅黄緑 S+輝石多	
第305区 -	20820	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	頸部片	-	-	-	-	重四角文か?	内面荒れて整形不明	灰黄 S	
第306区 -	20676	2	96溝	壺	西分岐部 上層	体部片	-	-	-	-	沈線区画に縄文(1R)地文 で沈線山形文をめぐらす	外面にミガキ、内面に 横ハケメ	灰白 S	
第306区 -	20677	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文地文(1Rか)とし、 横沈線部に沈線山形文を 描く	内面に横ナデ	灰黄緑 S	
第306区 -	20691	2	96溝	壺	中央灰層 下層	体部片	-	-	-	-	1条の横沈線をめぐらす	外面は粗いミガキ、内 面荒れて整形不明	にぶい・黄 S+赤粒	
第306区 -	20860	2	96溝	壺	中央灰層 下層	頸部片	-	-	-	-	2条の沈線6箇の中を赤 彩し、縹縹文を地文とする 沈線状文	内面は横ナデ	灰白 S+石多	20859と同一 個体と思わ れる
第306区 -	20859	2	96溝	壺	西分岐部 下層	体部片	-	-	-	-	細沈線による乱れた山形 文、外面赤彩	内面ナデ	灰白 S+黄砂多	

第72表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第306区 -	20652	2	96溝	壺	東分岐部	頸部～胴 部片	-	-	-	-	2条平行沈線(8mm間隔)で 4段(以上)の重連弧文を めぐらす	内面荒れて整形不明	粗 S+赤粒・ チャート・ 石莖漣	
第306区 -	20707	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)から地文に沈線 波状文と横位沈線をめぐ らせ、下位に重連弧文	内面はナデか	灰白 S+赤粒	
第306区 -	20709	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)とし、中位 に1条沈線の横線文をめぐ らせ、下位に3条(以上) 沈線の重連弧文(幅4mm)	内面はヘラナデ	灰黄褐 S	
第306区 -	20694	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)に4条(以 上)の沈線による重連弧 文	内面は横ミガキ	にぶい粗 S+輝石・ チャート・ 粗漣	
第306区 -	20706	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(L)地文に3条(以 上)沈線(幅3.5mm)による 重連弧文	内面ナデ	にぶい黄褐 S+赤鉄・黒 岩片	
第306区 -	20593	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(L)の地文に沈線山 形文、1条横沈線で面した 下位に3条以上沈線の 重連弧文	内面ナデか	にぶい黄褐 S+赤粒	
第306区 -	20805	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)に沈線による 重波状文か重連弧文	内面荒れて整形不明	黄褐 S+輝石多	
第306区 -	20731	2	96溝	壺	中央埋土	胴部片	-	-	-	-	斜線充填(大振り)の縦溝 文か)	内面にナデ	黄褐粗 S+チャート	
第306区 -	20701	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文地文(L)に横線をめ ぐらせ、その下位に沈線 (幅4mm)による重山形文	内面ナデ	黄褐粗 S+赤粒	
第306区 -	20702	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	縄文(L)から地文に、重 山形文	外面はミガキ、内面荒 れて整形不明	にぶい黄褐 S+赤粒	
第306区 -	20704	2	96溝	壺	中央灰層 中層	体部片	-	-	-	-	交互斜線充填の断面文な いし、山形文	内面ナデ	粗灰 S	
第306区 -	21481	2	96溝	壺	北東埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(R)を地文に、上位 に3条(以上)の横沈線と 半月形刺突列点、下位に 複数沈線の波状文をめぐ らす	内面ナデ	にぶい黄褐 S	北島式・御新 田式類似
第306区 -	20705	2	96溝	壺	中央埋土 下層	体部片	-	-	-	-	縄文(L)地文に沈線(幅 2mm)で重内文を描く。 下位に横沈線	内面ミガキ	粗灰 S+白岩片	
第306区 -	20418	2	96溝	壺	中央埋土	胴部片	-	-	-	-	1帯の櫛歯波状文(6mm/2 mm)を描く	内面は横ハケメ	にぶい黄褐 S	
第306区 -	20727	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	-	櫛歯波状文(12mm/5mm)	内面ハケメ	にぶい粗 S	
第306区 -	20726	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	-	櫛歯波状文(8mm/3mm)	胴下平と上半の積み上 げ痕残す	にぶい黄褐 S+チャート 粗漣	
第306区 -	20689	2	96溝	壺	中央埋土	体部片	-	-	-	-	斜方向の縄文(L)	内面ナデ後、粗いミガ キ	粗灰 S+チャート 粗漣	
第306区 -	20690	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	無文	全体的に横ハケメ	にぶい黄褐 S	
第306区 Pl.131	20303	2	96溝	広口頸壺 壺	中央灰層 上一括	2/3	22.6	30.5	9.0	-	口内と受口口のL線外面 に縄文(L)、口縁に2条 の沈線波状文。体部に段 状沈線をめぐらせ、縄文 地文(L)に7条沈線による 重連弧文	外面は体部上位に横ハ ケメ、体部下位に斜ハ ケメ・粗いミガキ、口 縁内面上位は丁寧な横 ナデのち押しスナデと 斜ハケメ。底部は荒れ て磨滅	粗灰 S+輝石多	黒陶がはと んどなし。歯 として機能 内面は焦げ つきは見ら れない

遺物観察表

第73表 弥生土器観察表 96号溝

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)					
第306図 -	20492	2	96溝	短頸造	中央灰層 上層、中央 埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁は縄文(LR)を地文とし、1条の沈線山形文。その中心に内側から穿孔(孔径2mm)	内面整形不明瞭		淡黄橙 S	
第306図 -	20498	2	96溝	甕	埋土	口縁部へ 頭部1/3	23.5	-	-	-	口縁下部に3条沈線波状文。頸部に浅沈線による大振りな波状文。胴部上位に沈線蛇面か。不明瞭	体部内面横ナデ		にぶい黄橙 S	
第306図 -	20545	2	96溝	甕	埋土	口縁へ頭 部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)と前面押圧。口縁は縄文(LR)地文に。上下を太い沈線波状文で直し、なかに2条沈線の山形文をめぐらす。頸部に縷状文(7mm/16mm、23〜33mmスパン)を時計まわりにめぐらす	外面は横ハケメ		にぶい黄橙 S	
第306図 -	20549	2	96溝	甕	東分岐部	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、受け口外面に縄文(LR)地文として2条の沈線山形文	外面は横ハケメ		淡黄 S	
第306図 -	20764	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口唇と口縁に縄文地文(LR)。2条沈線の波状文(幅4.5mm×2)を時計まわり。頸部に縷状文を時計まわりにめぐらす	外面はナデ、内面は横ミガキ		にぶい黄橙 S	内面黒変
第306図 -	20487	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)と前面押圧。口縁は縄文(LR)地文に。上下を太い沈線波状文で直し、なかに2条沈線の山形文をめぐらす。頸部に縷状文を時計まわりにめぐらす	内面は横ミガキ		にぶい黄橙 S	20545と同一か。
第306図 -	20488	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)と前面押圧。口縁は縄文(LR)地文に。上下を太い沈線波状文で直し、なかに2条沈線の山形文をめぐらす。頸部に縷状文を時計まわりにめぐらす	内面は横ミガキ		にぶい黄橙 S	20545と同一か。
第306図 -	20551	2	96溝	甕	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇部と口縁に縄文(LR)。そのうえで2条の沈線山形文	内面ミガキと思われるが不明		淡黄 S	
第306図 -	20767	2	96溝	甕	中央灰層 下層	口縁部片	-	-	-	-	口縁に2条沈線波状文(幅3.5mm×2)、頸部に縷状文(幅3mm×3条以上)を時計まわりにめぐらす	外面は斜ハケメ、内面はミガキ。一部剥離している		にぶい橙 S+チャート 細織	
第306図 -	20552	2	96溝	(甕)	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇部と口縁に縄文(LR)。2条の沈線波状文	内面荒れて整形不明		淡黄橙 S	
第306図 -	20763	2	96溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)。口縁に2条沈線の波状文	外口縁は横ナデ、口縁内面はナデのち横ミガキ		褐色 S	
第307図 -	20400	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口唇部と口縁に縄文(LR)。4条の沈線沖弧文	内面ミガキか		淡黄橙 S新砂土	
第307図 -	20550	2	96溝	甕	中央埋土 下層	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口縁に3条の沈線山形文を描き、波形谷部に内柱状具で衝突文を施す	器面荒れて整形不明		橙 S+チャート 細織	
第307図 -	20765	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文地文(LR)磨り直し。口縁に3条の沈線波状文。頸部に縷状文(1.6mm×6幅以上 20mmスパン)	外面口縁はナデ、内面はケズリのみ横ミガキ		にぶい黄橙 S+赤橙・石 灰多	

第74表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第307区 -	20772	2	96溝	甕	中央灰層 上層	口縁部片	-	-	-	-	口縁と口縁に彫い縄文 (丸), そのうえで2条沈 線の連弧文か波状文(3 mm)、頸部以下は櫛目引 状文か	内面は丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S+赤粒・石 灰多	
第307区 -	20718	2	96溝	甕	東分岐部	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)とし沈線山 形文、下位に2条による 波状文か	内面は横ナデ	樽 S	
第307区 -	20785	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁は縄文または沈線 による地文(幅4.5mmの1 条沈線で交互斜線充填の 縄文文)。頸部に縄状文 (最上段の櫛目沈線のみ) で時計まわり	内面荒れて整形不明	樽 S	
第307区 -	20769	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)に沈線波状 文(交互の山を重ねる)	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S+赤粒	
第307区 -	20490	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)に沈線波状 文(交互の山を重ねる)、 下位に縄状文	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S+榊櫛	
第307区 -	20768	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁に 2条の沈線波状文(1.5mm ×2)、頸部に縄状文か櫛 目横線文(2mm×4条以上)	外面はナデ	にぶい黄緑 舞・白・黒 粒砂	
第307区 -	20766	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)、2条沈線 の波状文(1.5mm幅)	外面は横ナデ(縄文地文 と)。内面は横ミ ガキ	黄灰 S	
第307区 -	20762	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	(25.0)	-	-	-	口縁に縄文(LR)を地文と し、太い櫛目波状文(3mm) をめぐらす。頸部に時計 回りの櫛状文(7mm/12mm、 12~17mmスパン)。胴部 に斜行櫛目文と1条沈線 の区画文らしき部分がわ ずかにみられるが文様構 成は不明	外面は斜ハケメ、内面 は口縁がナデ、胴部が ミガキ	にぶい黄緑 S	
第307区 -	20489	2	96溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、口縁 へ頸部は縄文(LR)を地文 として、口縁に1条の沈 線波状文	内面は横ミガキ	浅黄緑 S	
第307区 -	20501	2	96溝	甕	西分岐部 埋土	口縁~体 部1/4	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、頸部 に櫛状文(7mm/15mm、13 ~16mmスパン)、体部に 縦位櫛目引状文を時計ま わりに地文	口縁外面はケズリ	にぶい黄緑 S	
第307区 -	20758	2	96溝	甕	中央埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁は 縄文地文(LR)に2条一対 沈線の波状文、頸部に櫛 状文が一部残る	内面に微収残す横ナデ のち横ミガキ	にぶい黄緑 S+榊櫛	
第307区 -	20757	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁に 櫛目波状文(10mm/3mm)	頸部外面に横ハケメ、 内面に横ナデから彫い ミガキ	灰白 S	
第307区 -	20494	2	96溝	小型甕	北東埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縄文、口縁に櫛 目波状文(4mm以上)/12 mm(以上)、17~19mmスパン をめぐらす	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第307区 -	20773	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)、口縁に 櫛目波状文、頸部に櫛状 文	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	

遺物観察表

第75表 弥生土器観察表 96号溝

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第307号 Pl. 131	20483	2	96溝	壺	中央灰層 上一括	3/4	20.6	28.5	8.4	-	口内に縄文あるが荒れて 形体不明。頸部に縞状文 (5mm/11mm, 10mmスパン)、 体部上位に不整な縦位縞 幅羽状文(時計回りに縞 文)	体部外面に斜ハケメの ち縦ミガキ、体部内部 にハケメ	浅黄 S細砂土	体部内面下 位に焦子つ き痕
第307号 -	20491	2	96溝	壺	口縁部～ 胴部上位 2/3	1	14.3	-	-	-	口縁部に縞幅波状文、頸 部に縞状文(6mm/12mm)、 胴部に片流れの縞幅羽 状文	頸部外面に横ナデ、口 縁内面に横ナデ、胴部 内面に板小口ナデ	褐色 S	
第307号 -	20759	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁に 2段の縞幅波状文(12mm/4 mm)、頸部に縞状文	内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第307号 -	20760	2	96溝	甕	東分岐部 埋土	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁に 2段の縞幅波状文(15mm/6 mm)	内面は横ナデのち縦ミ ガキ	灰白 S	
第307号 -	20485	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口内にハケメ整形具によ る刻み、口縁に2帯の縞 幅波状文(6mm/15mm)、頸 部に縞状文を上下2段に 飾文(20mmスパン)	外面は斜ハケメ、内面 は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第307号 -	20486	2	96溝	甕	西分岐部	1	-	-	-	-	口内にハケメ整形具によ る刻み、口縁に2帯の 縞幅波状文、頸部に2段 の縞状文	内面は横ミガキ	灰白 S	
第307号 -	20779	2	96溝	甕	中央埋土	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁に 縞幅波状文(10mm/5mm)を 時計まわり、頸部に縞幅 波状文	外面は横ナデ、内面は 横ミガキ	灰黄褐色 S赤粒	
第307号 -	20755	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口内に移状具による刻 み、口縁に縞幅波状文(16 mm/7mm)と頸部縞状文を 時計まわりにめくらす	口内外面に指頭押圧 痕が並び、内面は横ナ デ後横ミガキ	にぶい黄褐色 S+チャート	
第307号 -	20761	2	96溝	甕	中央埋土	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)を押圧、 口縁に大ぶりの縞幅波状 文(11mm/6mm)	内面は横ミガキ	灰白 S赤粒	
第307号 -	20583	2	96溝	壺	西分岐部	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁 に縞幅波状文(幅11mm/4 mm)、下位に縞状文か	内面荒れて整形不明	灰黄褐色 S赤粒	
第307号 -	20706	2	96溝	小型甕	中央部埋土	1	-	-	-	-	頸部に縞状文(7mm/4mm 8～9mmスパン)、体部に 縞幅羽状文	口縁外面は横ナデ、内 面は横ミガキ	褐色 S+チャート	
第307号 -	20748	2	96溝	甕	中央灰層 下層	1	(21.5)	-	-	-	口内に押圧刻み、頸部に 不揃いの縞状文(8mmか 20mm前後)をめくらす	口縁横ナデ、頸部外面 にケズリ、体部内面に 横ハケメ	にぶい黄褐色 赤黄粒含み、 内面縞線が多	
第307号 -	20750	2	96溝	甕	埋土	1	(17.8)	-	-	-	口内に縄文、頸部に縞 状文(5mm/14mm, 30mmス パン)、胴上位に縞幅羽 状文か	口縁横ナデ、胴内面に 横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第307号 -	20781	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、口縁 部に縞幅波状文(1.8mm× 7mm)	外面は横ナデ、内面は 横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第307号 -	20483	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口縁部に刻み(板小口) か縞文(不明瞭)、口縁に 縞幅波状文(8mm/17mm)、 頸部に縞状文をめくらす	内面整形不明瞭	浅黄褐色 S	
第307号 -	20749	2	96溝	甕	埋土	1	(17.6)	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に 縞状文(7mm/10mm, 15～ 22mmスパン)を時計回りに めくらす	横ハケメ後口縁を横ナ デ、体部内面は粗いミ ガキ	にぶい黄褐色 S	
第307号 -	20752	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	1	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に 縞状文(2.2mm×4mm 9 mm)のち縦位縞幅羽状文	内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	

第76表 弥生土器観察表 96号溝

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第307区 -	20776	2	96溝	甕	西分岐部 上層	口縁部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(15mm/5溝) をめぐらせ、細い縦線に よる横筋がみえる	内面は斜ハケメのち粗 い横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第307区 -	20751	2	96溝	甕	中央土層	口縁部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(3mm×7南 20mm)	内面の口縁上位にミガ キのちハケメ	にぶい黄緑 S+チャート・ 赤鉄	
第307区 -	20582	2	96溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	頸部に縹波状文(幅16 mm/5溝)	口内～口縁上位にかけ て横ナデ、内面は横ハ ケメのちミガキ	粗 S	
第308区 -	20499	2	96溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口内面に縹文(1区)、体部 に縦の縹羽状文(5南 /15mm)	口縁外面は横ナデのち 横ハケメ、口縁内面は 横ナデ、下位はハケメ	にぶい黄緑 キメ細かくハ 細砂	
第308区 -	20771	2	96溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	体部に縹羽斜格子文(9mm /5溝)	頸部外面は唇直を挟み 横ナデのち斜ハケメ、 頸部内面は横ハケメの ち横ナデ、体部内面は 丁寧な横ミガキ	灰黄 S+雲母少	
第308区 -	20754	2	96溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口内に縹文(1区)	内面はまばらな横ナデ と縦口によるナデ	浅黄緑 S+チャート・ 赤鉄	
第308区 -	20770	2	96溝	甕	中央灰層 下層	口縁部片	-	-	-	-	無文	口内から外面は横ナ デ、内面荒れて整形不 明	灰白 S+チャート・ 赤鉄	
第308区 -	20753	2	96溝	小型甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口内に縹文(1区)か、頸 部に縹状文(幅12mm/6 溝)、体部に3段以上の 縹波状文	内面は横ハケメのち全 体に横ミガキ	灰黄褐 S+白岩片	
第308区 -	20780	2	96溝	甕	東分岐部 上層	口縁部片	-	-	-	-	口内面に縹器具の割 み、頸部に縹状文を時計 まわりにめぐらす	外面は横ナデ、内面は 横ナデ	にぶい黄緑 S+チャート・ 白内漣	
第308区 -	20778	2	96溝	甕	東分岐部 埋土	口縁部片	-	-	-	-	口内に縦小口による割 み、頸部に縹状文を時計 まわりにめぐらす	外面ハケメ	にぶい黄 S	
第308区 -	20721	2	96溝	甕	平内溝埋 土上層	口縁部片	-	-	-	-	口内にへらによる割 み	口縁部にナデから斜ハ ケメ、内面はナデ	浅黄緑 S	
第308区 -	20774	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口内から口縁にかけて縹 縹文(オオバコか)	内面は丁寧な横ミガキ	黄灰 S	
第308区 -	20777	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	無文	外面はナデ、内面は黄 緑	にぶい黄緑 S	
第308区 -	20788	2	96溝	甕	頸部～体 部片	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(幅9mm/4 溝)を時計まわりにめぐ らせ、体部に縹羽羽状 文	外面はナデ、内面は横 ミガキ	にぶい黄緑 S	
第308区 -	20789	2	96溝	甕	中央灰層 中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(止め単位 幅かく6mm平均)を時計 まわりめぐらせ、体部に 縹羽羽状文(12mm/4溝)	内面は丁寧な横ミガキ 赤鉄	S+チャート・ 赤鉄	
第308区 -	20790	2	96溝	甕	中央灰層 下層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(3mm×3南 以上、17mm～12mm間隔) をめぐらせ、体部に縹 羽羽状文。羽状文は5～6南 単位で時計まわりに施文 して最後の単位	内面は横ハケメのち横 ミガキ	粗灰 S	
第308区 -	20791	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文、体部に縹 羽羽状文(14mm/5溝)を時 計まわりに施く	外面は細いハケメ整 形、内面は横ミガキ	粗灰 S	
第308区 -	20792	2	96溝	甕	埋土	頸部～胴 部片	-	-	-	-	口縁部に縹状文を(2mm/5 溝、18mmスパン)時計ま わりめぐらせ、体部に 縹羽羽状文	口縁内面は横ハケメの ち横ミガキ、体部内面 は横み上げ直	灰褐 S	
第308区 -	20793	2	96溝	甕	東分岐部	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(1.5mm×6 溝以上 11～12mmスパン)を時計まわり、体部 に縹羽羽状文	内面に横ミガキ	にぶい黄 S	
第308区 -	20794	2	96溝	甕	中央土層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縹状文(16mm/8 溝)、下位に縹羽羽状文	外面に斜ハケメ	灰黄褐 S	

遺物観察表

第77表 弥生土器観察表 96号溝

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第308回 -	20795	2	96溝	甕	中央埋土	体部片	-	-	-	-	体部に藤編羽状文(13mm/7mm)	内外面ともハケメ	黄緑 S	
第308回 -	20797	2	96溝	小型甕	東分岐部埋土	口縁~体部片	-	-	-	-	頸部に篋状文(14mm/6mm)、体部に藤編羽状文を時計まわりに描く	口縁下位はナデ、内面は横ハケメのち横ミガキ	黄緑 S	
第308回 -	20800	2	96溝	甕	中央灰層上一括	頸部~胴部片	-	-	-	-	頸部に篋状文(7mm後開脚)を時計まわりにめぐらせ、体部に藤編斜行文(11mm/4mm)を左下なりに描く	内面は丁寧なミガキ	黄 S+赤粒	
第308回 -	20728	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部片	-	-	-	-	体部に藤編波状文(18mm/6mm)か羽状文を描く	内面に横ハケメ	灰白 S	
第308回 -	20733	2	96溝	甕	西分岐部	胴部片	-	-	-	-	縦位藤編羽状文(20mm以上/6mm以上)を描く	内面にミガキ	黄 S	
第308回 -	20632	2	96溝	甕	中央埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に篋状文(幅22mm/8mm、38mm以上の間隔)、体部に縦の藤編羽状文	内面荒れて整形不明	黄 S+チャート 細礫	
第308回 -	20497	2	96溝	甕	東分岐部	頸部~体部片	-	-	-	-	頸部に藤編波状文、体部に縦の藤編羽状文	内面は横ハケメのち横ミガキ	灰 S	
第308回 -	20799	2	96溝	甕	埋土	頸部~胴部片	-	-	-	-	頸部に篋状文、体部に藤編羽状文(11.5mm/4mm)を描く	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S+石英 中 ~細砂	
第308回 -	20812	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部片	-	-	-	-	体部に藤編斜格子文(12mm/6mm)を描く	器面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第308回 -	20813	2	96溝	甕	中央埋土	胴部片	-	-	-	-	藤編斜格子文(15mm/6mm)を左下→右下の順に描く	外面は横ハケメ、内面は丁寧な横ミガキ	黄 S+白泥片	
第308回 -	20818	2	96溝	甕	中央灰層上一括	頸部~体部片	-	-	-	-	頸部に篋状文を時計まわりにめぐらせ、体部は交互斜行藤編文で充填する三角文を描く	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S+チャート 白肉礫	
第308回 -	20809	2	96溝	甕	東分岐部埋土	頸部~体部片	-	-	-	-	体部に藤編斜格子文(14mm/5mm)を左下→右下へ順に描き、頸部に藤編波状文をめぐらす	内面は横ハケメ	にぶい黄緑 S+赤粒	
第308回 -	20810	2	96溝	甕	中央埋土下層	胴部片	-	-	-	-	藤編斜格子文(12mm/8mm?)を左下→右下の順に描く	内面は横ハケメのちミガキ	灰白 S+雲母・石 英細砂	
第308回 -	20811	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部片	-	-	-	-	藤編斜格子文(8mm/3mm)を描く。他の欄には削れたか	内面はミガキ	灰白 S+赤粒・白 泥片粗砂多	
第308回 -	20500	2	96溝	甕	北東部上層	胴部片	-	-	-	-	胴部に縦の藤編羽状文(5mm/14mm)。左から3箇目の歯を欠く	内面は横ハケメ	にぶい黄緑 S+メ細砂 中メ細砂	
第308回 -	20657	2	96溝	甕	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縄文地文(1R)を重ねて藤編斜行文を描く	内面はナデ	にぶい黄緑 S(粗砂土)	
第308回 -	20653	2	96溝	(甕)	中央灰層上一括	頸部片	-	-	-	-	篋状文を時計まわりにめぐらせ、三角文、藤編横線文、斜行文か藤編羽状文を描く	内面はミガキと思われるが不明	にぶい黄 S+赤粒	
第308回 -	20495	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部	-	-	-	-	体部外面に藤編斜行文(歯の欠けた8~9mm/22mm)、一部に鋭い波線で格子目状に飾文	体部外面に斜ハケメ、内面はハケメのち丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第308回 -	20801	2	96溝	甕	東分岐部	体部片~底部	-	-	-	-	篋状文(16mm以上/7mm以上)を時計まわりにめぐらせ、その下に重畳する藤編波状文	内面は板小口による横ナデのち削いミガキ	にぶい黄 S+チャート 細礫	
第308回 -	20732	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部片	-	-	-	-	波状文と思われる器面荒れ著しく不明瞭	外面にハケメか	にぶい黄緑 S+赤粒	
第308回 -	20729	2	96溝	甕	中央灰層上一括	胴部片	-	-	-	-	縦位藤編波状文を重ねる(幅? 6mm以上)	内面に横ミガキ	黄緑 S	外面に被熱 変色
第308回 -	20661	2	96溝	甕	中央灰層上一括	頸部片	-	-	-	-	頸部に篋状文(15mm/5mm 13~14mmスパン)をめぐらす	内面荒れて整形不明	黄 S+赤粒	

第78表 弥生土器観察表 96号溝

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第308号 -	20521	2	96溝	台付甕	中央灰層 中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(4mm/10mm、10mmスパン)、刺突加えた円形胎付文を起点に縷描直線文を垂下し、その間を縷描波状文を重畳して埋める	内面はハケメのちぬいミガキ	硝灰 S	
第308号 -	20725	2	96溝	甕	東分岐部 埋土	製部片	-	-	-	-	横位縷描波状文を重ねる	器面荒れて整形不明	浅黄緑 S+チャート 細礫	
第308号 -	20730	2	96溝	甕	中央埋土	製部片	-	-	-	-	縷描波状文(11mm/4mm)	内面にナデ	硝灰 S+チャート	
第308号 -	20724	2	96溝	甕	中央埋土	製部片	-	-	-	-	横位縷描波状文(10mm/4mm)を乱並に重ねる	ハケメ後、内面ナデ	硝灰 S	
第309号 -	20625	2	96溝	甕	中央灰層 下層、中央 灰層上層	体部片	-	-	-	-	幅1.5mmほどの沈線でコの子重文を掻く。胎文は巻文を繰り返す棒状文	内面は横ハケメ、内面は横ハケメ	にぶい黄緑 S	外面下半に 煤付着
第309号 -	20823	2	96溝	甕	西分岐部 埋土下層	製部片	-	-	-	-	コの子重文	内面は横ハケメ後、縦 ミガキ	硝灰 S赤粒	
第309号 -	20804	2	96溝	(短頸甕)	中央埋土	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(17mm/8mm、18mm前後スパン)を時計回りめぐらせ、縷文地文(LD)に大振り沈線山形文、横沈線、小単位の沈線山形文を繰り返して重ねる。下位は2条沈線による沈状文か山形文と思われる	内面は横ハケメのちミ ガキ	黄灰 S(細砂主)	
第309号 -	20806	2	96溝	壺か甕	東分岐部 埋土	体部片	-	-	-	-	縷文地文(LD)に、重連弧文か重山形(波状)文を4mm幅で掻く	内面荒れて整形不明	灰白 S	
第309号 -	20807	2	96溝	壺か甕	中央埋土 下層	体部片	-	-	-	-	縷文地文(LD)に重連弧文か重山形(波状)文を3条沈線で掻く	内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	
第309号 -	20703	2	96溝	(甕)	中央埋土 下層	体部片	-	-	-	-	交互斜線充填の三角文	内面ミガキ	にぶい黄緑 S+チャート 塵	
第309号 -	20775	2	96溝	甕	中央埋土 下層	口縁部片	-	-	-	-	4帯以上の横位縷文帯を全体めぐらす	内面はナデ	オリーブ黒 S	
第309号 -	20814	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	製部片	-	-	-	-	重三角文か重連弧文と思われる	内面は横ハケメ、内面は沈線	灰黄褐 S+チャート 塵	
第309号 -	20808	2	96溝	壺か甕	中央灰層 下層	体部片	-	-	-	-	縷文地文(LD)に重連弧文	内面荒れて整形不明	灰白 S	
第309号 -	20609	2	96溝	甕	中央埋土	体部片	-	-	-	-	縷描引状文に縷沈線を刻む円形胎付文を付す	内面は横ミガキ	黄灰 S中～細礫	外面に輝土 痕か(1カ 所)
第309号 -	20484	2	96溝	甕	中央部埋 土	頸部～体 部片	-	-	-	-	無文	外面は斜ハケメ、内面は横ハケメ	灰白 S	
第309号 -	20502	2	96溝	小型甕	中央灰層 上一括	口縁部～ 体部片 1/3	(11.9)	-	-	-	頸部に縷状文(7mm/18mm)、体部に縷描波状文	製部内面横ミガキ	浅黄緑 S+チャート 細礫	割断著しい
第309号 -	20515	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	口縁	15.6	-	-	-	口内に縷文(LD)、頸部に縷状文(6mm以上/13mm)	口縁内外面は横ナデ、 体部内面はミガキ	灰黄 S	
第309号 -	20783	2	96溝	(台付甕)	中央灰層 上一括	口縁～頸 部片	(11.0)	-	-	-	口内に縷文(LD)、頸部に時計回りの縷状文(3～4mm、16mmスパン)をめぐらせ、下位に縷描波状文を施す	内面ミガキ	にぶい黄 S+岩片細礫	
第309号 -	20782	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	口縁～体 部片	(13.8)	-	-	-	口内に縷文(LD)、体部に3帯(以上)の縷描波状文(5mm/11mm)をめぐらす	外面ナデ、内面はミガ キ	にぶい黄緑 S	縷状の有 機物を胎土 に混入し、分 解のため孔 となっている

遺物観察表

第79表 弥生土器観察表 96号溝

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第309回 -	20516	2	96溝	台付甕	東分岐部	口縁～頸 部片	-	-	-	-	口縁に2条沈線による波 状文、頸部に縞状文(7箇 /11cm、14～16cmスパン)、 下位に細沈線によるゴの 字重ね文。交点部に小円 形貼付文を付す	口縁外面から内面にか けて横ナデ、内面は丁 字な横ミガキ	黄灰 S	口縁外面全 体に覆着
第309回 -	20503	2	96溝	甕	西平理土 層・下層	頸部～体 部1/4	-	-	-	-	無文	内外ともに横ハケメ、 口縁は横ナデ	灰黄 S細砂主	
第309回 -	20517	2	96溝	台付甕	西分岐部	口縁片	-	-	-	-	口縁に2条沈線による波 状文と、刺突を加えた内 形貼付文	内面ミガキ	にぶい黄褐 S	
第309回 -	20798	2	96溝	小型甕	中央埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	頸部に縞状文(14箇/6箇 8～9cmスパン)を時計ま わりで描き、体部に柳描 羽状文	口縁外面は斜ハケメ、 口縁内面は横ミガキ、 体部内面は斜ハケメ	相灰 S	
第309回 -	20784	2	96溝	(台付甕)	中央灰層 上層	口縁～頸 部片	(11.6)	-	-	-	口唇に縄文(L)。頸部に 時計回りの縞状文(6箇 /12cm、7～12cmスパン) をめぐらせ、体部には柳 描によるゴの字重ね文を 描く。頸部直下の交点部 に円形貼付文の断片痕を 残す	内面ミガキ	にぶい橙 S	
第309回 Pl.131	20510	2	96溝	台付甕	中央埋土	口縁～脚 上半1/2	(13.6)	-	-	-	口唇に縄文(L)。口縁外 面に縞状波状文をめぐ らせ、頸部～体部にゴの 字重ね文(5分箇)を描 く。	口縁外面は斜ハケメ、 体部外面 は横ハケメ後、無文部 をミガキ、内面は横ミ ガキ	灰黄褐 S細砂主	体部外面に イネ粘土痕 1、内面に粘 土?口唇1 部部は被熱 色変
第309回 Pl.131	20511	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	口縁～体 部1/3	(15.6)	-	-	-	口唇に縄文(L)、口縁部 に2条の沈線波状文で地 文縄文(L)。頸部に縞状 文(5箇/9cm)。体部にゴ の字重ね文で、交点に円 形スタンプを加えた円形 貼付文	外面ハケメ、内面ミガ キ	灰黄褐 S細砂多	
第309回 -	20787	2	96溝	小型甕	東分岐部 埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に三角文(鋭く深い 沈線による斜線充満)、 頸部に縞状文と思われる	内面の口唇から内面に かけて横ナデ、内面は 横ミガキ	橙 S+チャート	
第309回 -	20508	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	口縁部～ 体部1/3	(13.0)	-	-	-	口縁外面に2条沈線の波 状文、頸部に縞状文(9箇 /19cm)、胴部にゴの字重 ね文	口縁内面横ミガキ、胴 部内面粗いハケメ	にぶい橙 S+チャート	被熱色変
第309回 Pl.131	20512	2	96溝	台付甕	中央埋土	口縁～体 部1/2箇	10.0	-	-	-	口唇に縄文(L)、口縁外 面に2条沈線波状文に円 形貼付文、頸部に縞状文、 体部に2条沈線で横位に 重複する三角文を描き、 内を斜行沈線で充填する	体部内面に丁字な横ミ ガキ	暗灰黄 S	口縁外面は 覆ける。体部 下位は斜く 被熱
第309回 Pl.131	20509	2	96溝	台付甕	中央埋土 下層	口縁～体 部3/4	(15.5)	-	-	-	口唇に縄文(L)、口縁は 地文縄文(L)とし、2条 沈線による波状文をめぐ らせる。頸部は縞状文(6 箇/11cm)、体部はゴの字 重ね文(5分箇)で、交 点に横沈線で斜小円形貼 付文を配す	ハケメ整形	相灰 S+礫	
第309回 -	20802	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	-	胴部に縞状文(14mm以上 /6箇か)、体部に柳描波 状文を重ねる	内面は丁字な横ミガキ	灰黄 S	

第80表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第309号 Pl. 131	20513	2	96溝	台付甕	中央埋土	口縁～体部1/3	9.8	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 縄状文(4mm/8mm、7～9mm スパン)をめぐらす。胴 部にコの字重ね文(7単位 か)を描き、交点に刺突 を加えた円形貼付文を配 す	内面全体に横ミガキ	黄 S細砂多	焼熱赤変
第309号 Pl. 131	20514	2	96溝	台付甕	北東部中層	頸部～体部3/5	-	-	-	-	頸部から体部にコの字重 ね文、交点に刺突を加え た円形貼付文を配す	内面全体に横ミガキ	にぶい・黄緑 S・黄	
第309号 Pl. 131	20519	2	96溝	台付甕	中央灰層下	体部片	-	-	-	-	体部にコの字重ね文、コ の字中央に刺突を加えた 円形貼付文を付す	内面は横ハケメのち斜 ミガキ	黄緑 S	
第309号 -	20524	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文、コの字中 央に円形貼付文を付す	内面ミガキ	にぶい・黄緑 S細砂主	
第309号 -	20518	2	96溝	台付甕	中央埋土	頸部～胴 1/4	-	-	-	-	頸部から胴にかけて、縄 状文(7mm/15mm、16mmス パン)の下に櫛歯状文 をめぐらす	内面ミガキ	にぶい・黄緑 S	
第310号 -	20821	2	96溝	台付甕	中央埋土	胴部片	-	-	-	-	縄状文を時計まわりにめ ぐらせ、櫛歯によるコの 字重ね文(10mm/5mm)を描 く	内面ミガキ	にぶい・黄緑 黄黒、石英 細砂多	
第310号 -	20520	2	96溝	台付甕	北東埋土	頸部～体 部片	-	-	-	-	コの字重ね文を描き、交 点への刺付文はみられない	内面は横ミガキ	黄緑 S	
第310号 -	20522	2	96溝	台付甕	中央埋土	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文、コの字中 心部に円形貼付文	内面は横ミガキ	黄黄緑 S	
第310号 -	20523	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	体部片	-	-	-	-	下位で収集するコの字重 ね文を描く	外面ハケメ、内面横ミ ガキ	黄黄緑 S	
第310号 -	20822	2	96溝	台付甕	東分岐部	頸部～体 部片	-	-	-	-	縄文地文(LR)にコの字重 ね文、交点に孔を加え た円形貼付文	内面ミガキ	黄黄緑 S・黄	
第310号 -	20717	2	96溝	台付甕	中央灰層 上層	体部片	-	-	-	-	体部上位に櫛歯状文	内面は横ミガキ	にぶい・黄緑 輝石少なく 白層片多	
第310号 -	20496	2	96溝	甕	中央埋 土、中央埋 土	頸部～胴 部上位片	-	-	-	-	頸部に縄状文(9mm/16mm 17～22mmスパン)を時計 回り、斜行沈線を充填し た三角文	内面は横ミガキ	にぶい・黄 S	
第310号 -	20819	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	胴部片	-	-	-	-	縄状文を時計まわりに描 き、下位に円形貼付文を 起点にした4葉の斜行沈 線を描く	内面はミガキと思われる が不明	にぶい・黄緑 S	
第310号 -	20786	2	96溝	(台付甕)	中央灰層 上一括	頸部～体 部片	-	-	-	-	縄状文(14mm/7mm)を時計 まわりにめぐる。多葉 沈線による斜行文(断面 内充填の可能性あり) を描く	内面は横ナデ	にぶい・黄緑 白・灰・黒 の粗砂	
第310号 -	20809	2	96溝	高杯か鉢	中央埋土	口縁片 (17.8)	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面横ミガキ	灰白 S	
第310号 -	20533	2	96溝	高杯か鉢	東分岐部	杯部片 (18.8)	-	-	-	-	無文	ハケメ後、内外面に散 射状の縦ミガキ	にぶい・黄 赤粒細砂多	
第310号 -	20534	2	96溝	高杯	中央灰層 中層	杯部片 (28.4)	-	-	-	-	無文	断面荒れて整形不明	にぶい・黄緑 S	
第310号 -	20536	2	96溝	高杯	中央灰 層、中央灰 層上層	口縁片 (19.0)	-	-	-	-	外面全体に赤彩	口縁外面、内面に横ミ ガキ	黄黄 S、粗～細砂 主	口縁に突起 有(4ヶ所か)
第310号 -	20535	2	96溝	高杯	埋土	脚部	-	-	-	-	内外面全体に赤彩、結合 部内部に孔(5mm)有	頸部外面、接合部外面 に縦ミガキ	黄黄 S+中～細砂 主	
第310号 -	20868	2	96溝	(小型 高杯)	中央埋土	杯部下平 片	-	-	-	-	無文	内外面ミガキ	灰白 S	
第310号 -	20865	2	96溝	高杯	中央埋土	脚台結合 部	-	-	-	-	杯部内外面～脚外面に赤 彩。	内外面ミガキ、脚内面 にはハケメ	にぶい・黄緑 S	杯部底面は 還元

遺物観察表

第81表 弥生土器観察表 96号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第310号 -	20866	2	96溝	高杯	埋土	脚部	-	-	6.7	-	外面～杯部底面に赤彩。	脚部内面にハケメ	にぶい黄褐色 S	外面黒褐色
第310号 -	20537	2	96溝	高杯	中央灰層 上一括	脚部	-	-	-	-	外面全体に赤彩	結合部外面に横ミガキ、 脚部外面に縦ミガキ	にぶい黄褐色 S細砂主	
第310号 -	20538	2	96溝	高杯	東分岐部 埋土	台部	-	-	-	-	外面全体に赤彩	結合部外面に横ミガキ、 脚部外面に縦ミガキ	にぶい黄褐色 S+算石多	脚部内面は 剥離
第310号 -	20867	2	96溝	高杯	東分岐部 下層	脚部上半	-	-	-	-	外面に赤彩。	脚部外面は横、杯部外 面は縦のミガキ。脚部 内面は横ハケメ、中央 穿孔孔部はほぞ粘土充填 による	にぶい黄褐色 S赤粒	
第310号 -	20824	2	96溝	台付甕	中央灰層 上層	脚台1/2	-	-	(8.0)	-	無文	内外面ミガキ、脚内面 荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第310号 -	20825	2	96溝	台付甕	中央灰層 下層	脚部1/3	-	-	(7.0)	-	無文	脚外面と体部内面はミ ガキと思われるが、荒 れて不明確	にぶい黄褐色 S赤粒	脚部内面 に棒状？圧 痕1
第310号 -	20526	2	96溝	台付甕	中央埋土 下層	台部	-	-	-	-	無文	外面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S+算石少	
第310号 -	20527	2	96溝	台付甕	中央埋土	脚部	-	-	-	-	無文	器面・結合部内面上部 に縦ミガキ、結合部内 面下位にナデ	にぶい黄褐色 S+粗～細砂	
第310号 -	20826	2	96溝	台付甕	中央灰層 上一括	脚部	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ、底内面 と脚部外面は粗いミガ キ	浅黄 S	被熱色変
第310号 -	20827	2	96溝	台付甕	中央灰層 下層	脚部	-	-	-	-	無文	底内面はミガキ、他は 器面荒れて不明確	灰黄 S	被熱赤変
第310号 -	20828	2	96溝	台付甕	東分岐部 埋土	脚結合部	-	-	-	-	無文	底内面はミガキ、脚 内面荒れて整形不明	浅黄 S	底部内面全 体におこげ 痕
第310号 -	20829	2	96溝	台付甕	中央埋土	脚結合部	-	-	-	-	無文	内外面ミガキ、脚内面 はハケメ	灰黄褐色 S	脚は被熱赤 変、底内面は 還元
第310号 -	20532	2	96溝	鉢	中央埋土	体部～底 部1/3	-	-	5.8	-	外面・内面・底部に焼成 前の赤彩	赤彩のちミガキ、内面 に横ナデ	にぶい黄褐色 S+塵	
第310号 PL.131	20531	2	96溝	鉢	中央下部 層	1/2	(18.8)	7.2	6.2	-	内外面に赤彩。	内外面は横ミガキのち 赤彩、剥離著しい	淡黄 S	底外面に粗 面1、内面に 粗面口
第310号 -	20845	2	96溝	鉢	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文地文(1R)、口 縁は縄文地文(1R)に2条 浅線による波状文(5mm)	内面は横ハケメ	灰黄 S+チャート	
第310号 -	20846	2	96溝	鉢か壺	中央灰層 上一括	口縁部片	-	-	-	-	口縁、縄文地文に縞線波 状文(4面か)	内面は丁字家横ミガキ	浅黄 S 中～細砂 多	
第310号 -	20711	2	96溝	(鉢)	中央埋土	体部下位 ～底部	-	-	5.2	-	内面に赤彩	内外面とも丁字家ミガ キ	にぶい黄褐色 S	底面と外面 に灰付着
第310号 -	20580	2	96溝	(鉢)	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(1R)	外面は横ハケメ、内面 は横ハケメのち部分別 にミガキ	灰白 S	粗灰 白・黒・石 灰の粗～細
第310号 -	20844	2	96溝	鉢	埋土	口縁～体 部1/4	(16.2)	-	-	-	無文	外面は粗い縦ハケメ、 口縁横ナデ、内面は粗 い縦ハケメ	にぶい黄褐色 S きめ細かつ 細砂	
第310号 PL.131	20358	2	96溝	片口鉢	中央灰層 下層、中央 埋土上層・ 下層	3/4、口 縁1/3	(11.2)	11.5	6.2	-	無文	体部内面は丁字家ミガ キ、底部はヘラナデ	灰白 S細砂主	外面剥離著 しい
第310号 PL.131	20353	2	96溝	小壺	中央埋土	口縁部 2/3欠	9.2	4.4	8.2	-	外面全体、口縁部内面に 赤彩、口縁と底部に、2 孔一対の蓋繋神孔を穿つ	脚部内面にハケメ	浅黄褐色 S	穿孔部充填 したものか
第310号 PL.131	20354	2	96溝	小壺	中央灰層 上一括	口縁部～ 底部1/2	(8.4)	7.4	4.6	-	無文	外面にハケメ、内面に ナデ	にぶい黄褐色 S	
第310号 -	20848	2	96溝	有孔鉢	中央灰層 下層	底部片	-	-	6.2	1.6	無文	外面は縦、内面は横の ハケメ	灰黄褐色 S+粗砂	

第82表 弥生土器観察表 96・291号溝

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 釉土の特徴	その他の 特徴
							上径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第3109R -	20849	2	96溝	有孔鉢	中央灰層 下	体部下位 ~底部	-	-	5.3	1.5	無文	器面荒れて不明。内 面はハケメとケズリか	にぶい黄緑 S	
第3109R -	20852	2	96溝	蓋	中央灰層 上一括	約1/3	(9.0)	-	-	(0.3)	上面赤彩。緑に繫轡孔を 穿つ	内外面ともミガキ	にぶい黄緑 S	
第3109R -	20847	2	96溝	蓋	中央灰層 上一括	口縁部片	(6.0)	-	-	0.5	外面赤彩。緑部に2孔の 繫轡孔を穿つ	器面荒れて整形不明	浅黄緑	
第3109R PL.131	20355	2	96溝	蓋	中央灰層 上一括	1/3	4.6 (軸径)	6.2	(10.0)	-	蓋の縁は強い油取り	外面はミガキ。積みは ナデ。内面は丁寧なナ デ	黄灰 S	
第3109R -	20870	2	96溝	蓋	埋土	天井部片	-	-	-	-	外面赤彩。積みは乳濁形	内面にナデ。天井部内 面に爪痕を多く残す	にぶい黄緑 S	
第3109R -	20854	2	96溝	蓋	中央灰層 上一括	積み部	4.0	-	-	-	無文	内外面ハケメ後ナデ	灰 S	
第3109R -	20856	2	96溝	蓋	北東部上 層	積み部	(3.7)	-	-	-	無文	内外面ハケメ	浅黄緑 S	
第3109R -	20850	2	96溝	有孔鉢	埋土	底部片	-	-	6.3	1.5	無文	外面荒れて整形不明。 底面は粗いナデ	にぶい黄緑 S	内面に縦線 の付着物
第3109R -	20851	2	96溝	有孔鉢 (復)	中央灰層 上一括	底部1/2	-	-	(7.6)	(1.2)	無文	内面は横ミガキ。外面 は不明	槽 S	内面から孔 にかけて灰 白付着物
第3109R -	20853	2	96溝	蓋	中央灰層 下層	積み~天 井部片	(5.5)	-	-	-	左右に相對する孔を穿つ	外面は縦。内面は横ミ ガキ	粗灰 S 礫石少	孔に積すれ 等の痕跡は 不明
第3109R -	20855	2	96溝	蓋	中央埋土	積み部	3.8	-	-	-	無文	外面は積み縁部が横ナ デ。他はミガキ。内面 はナデか	にぶい黄緑 S	
第3109R -	20858	2	96溝	蓋	中央埋土	積み部	(5.0)	-	-	-	無文	内外面ともミガキ	浅黄緑 S	
第3109R PL.131	20356	2	96溝	蓋	半円溝埋 土	積みなし、 口辺1/2	-	-	(16.8)	-	無文	外面は粗いミガキ。内 面はハケメのち粗いミ ガキ	黒陶 S	
第3111R -	20506	2	96溝	(復)	東分枝部	底部	-	-	8.1	-	無文	外面横ミガキ。底部は ケズリ	にぶい黄緑 S 黒地縁が浅い	
第3111R -	20713	2	96溝	甕	東分枝部	底部	-	-	5.6	-	無文	外面ケズリ後横ミガ キ。内面ミガキ。底面 はケズリ	にぶい黄緑 S	底外面端部 に圧痕1
第3111R -	20714	2	96溝	(復)	中央埋土	底部	-	-	6.5	-	無文	底面はミガキ	にぶい黄緑 S+赤粒多	
第3111R -	20715	2	96溝	甕	埋土	底部	-	-	6.5	-	無文	外面はケズリ。内面ミ ガキ	にぶい黄緑 S	
第3111R -	20742	2	96溝	甕	中央灰層 上一括	底部	-	-	8.6	-	無文	外面はヘラケズリとナ デ。内面はナデ	にぶい黄緑 S	底内外面に 種子圧痕2
第3111R -	20474	2	96溝	甕	埋土	底部	-	-	8.5	-	無文	内面はハケメのちミガ キ。底面はナデ	粗灰 S	底面に種? 圧痕3
第3111R -	20832	2	96溝	甕	中央埋土 下層	底部	-	-	8.4	-	無文	外面はハケメ整形後ミ ガキ。内面荒れて整形 不明。底部は荒れ	灰黄緑 S	底部に圧痕1
第3111R -	20839	2	96溝	甕	埋土	底部	-	-	6.2	-	無文	外面横ミガキ。内面横 ミガキ底面ナデ	にぶい黄緑 S	
第3111R -	20830	2	96溝	甕	中央灰層 上	底部	-	-	10.4	-	無文	底縁外面に敷状具によ るケズリ。胴部外面は ミガキ。内面はハケメ 後ミガキ。底面外縁に は粗砂多い粘土を付加	にぶい黄緑 S	外面におず かに灰付着 痕
第3111R -	20507	2	96溝	(復)	中央灰層 上一括	底部3/4	-	-	6.0	-	無文	外面はヘラナデ	灰黄緑 S+細砂・石 莖多	
第3111R -	20840	2	96溝	甕	東分枝部 下層	底部1/2	-	-	(5.3)	-	無文	外面は縦。内面は横ミ ガキ底面ケズリ	にぶい黄緑 S	
第3111R -	22814	2北	291溝	甕	中央埋土	口縁部	(14.2)	-	-	-	口内と頸部に縄文(LR)を 地文とし、頸部に2条の 横波線様帯のなかに沈 波状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい槽 S	

遺物観察表

第83表 弥生土器観察表 291号溝

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第311回 -	22812	2北	291溝	壺	埋土	口頸部	(13.0)	-	-	-	面取りした口頸部上面に 縄文(LR)。頸部には段状 の横波線と上部を画した 横位文様帯に縄文(LR)を 充填、分断した沈淪山形 文か縦山文と思われる文 様を描く。	口縁外面はナデ、ヘラ 先痕を残す。内面は新 形で不明	灰白 S+白粘土小 塊・赤雜多	器形は非業 林系で、宮ノ 台式に類似
第311回 -	22794	2北	291溝	壺	北部埋土 下層	口頸部	(17.4)	-	-	-	口頸は篋状の押E。頸 部全体に縄文(LR)を地文 とし、2条横波線で区画 した横位文様帯に2条沈 淪山形文をめぐらす。こ れを上下2段に施文し、 肩下位に1条沈淪山形文 を描く。	内外面ハケメ、後に内 面にナデと思われるが 不明瞭	灰白 S	
第311回 -	22793	2北	291溝	壺	埋土	口縁～肩 部	18.6	-	-	-	口頸に縄文(LR)。口縁外 面に2条沈淪波状文頸部 から肩部にかけて横波線 を3条めぐらせ、上段に 沈淪波状文、中段に交互 斜線充填の三角文、下段 に重三角文か菱形文を描 き三角部に斜線充填。	内外面とも荒れて不明	にぶい黄橙 S+白色～黒 色泥片が多	
第311回 -	22791	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部	14.0	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)を 地文、頸部に横波線をめぐ らせ、頸部文様帯として いる。	内外面荒れて不明	黄灰 S細砂主	口縁上位に イネ糊圧痕 1
第311回 -	22805	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部	-	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)。 頸部には、段状の横波線 2条をめぐらせて幅状の 凸部状とし、なかに2条 沈淪波状文をめぐらす	器面荒れて、整形不明	灰白 S	
第311回 -	22811	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部	-	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)を 地文とし、頸部には3条 の横波線と横位文様帯を めぐらす。中位をのぞき 上位帯と下位帯には1条 沈淪山形文をめぐらす	口縁横ナデ頸部外面は 縦ハケメ、内面は不明 瞭なナデ	灰白 S	器面荒れて 文様、整形と も不明
第311回 -	22807	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部 1/4	(15.0)	-	-	-	頸部に横波線をめぐらす	内外面横ナデとナデ	灰白 S	
第311回 -	22810	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部 1/3	(14.2)	-	-	-	口頸に刻みか縄文	器面荒れて不明	浅黄橙 S	
第311回 -	22813	2北	291溝	壺	北部埋土 上層	口頸部	(15.3)	-	-	-	頸部に斜い1条の横波線 をめぐらす	器面荒れて不明	浅黄橙 S細砂主	
第311回 -	22809	2北	291溝	壺	北部埋土	口頸部	(13.3)	-	-	-	内側口縁の外面に横波線 状文(横単位不明)を1 帯めぐらせ、推定6箇所 に1孔刺突の円形彫付文 を配する	外面にハケメ、内面荒 れて整形不明	にぶい橙 S	
第311回 -	22808	2北	291溝	壺	中央埋土	口頸部	-	-	-	-	口縁横ナデ、頸部の外 面は縦波ナデ、内面は 粗い横ミガキ	灰白 S+輝石の粗 砂多		
第311回 Pl.132	22797	2北	291溝	小型壺	北部埋土 下層	口縁2/3 欠	(11.0)	20.1	6.0	-	無文	外面は丁寧なミガキ、 内面はナデ	黄灰 S	
第311回 Pl.132	22790	2北	291溝	壺	南部埋土 下層	口縁2/3 欠	(15.7)	32.7	9.0	-	無文	外面は荒れて不明、内 面はナデ	灰白 S	
第312回 -	22792	2北	291溝	壺	中央埋土	頸部	-	-	-	-	頸部全体に縄文(LR)を地 文とし、2条の横波線と 下位に沈淪山形文をめぐ らす	内外面荒れて不明	灰 S	
第312回 -	22815	2北	291溝	小型壺	中央埋土	頸部	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と し、2条横波線の横位文 様帯に沈淪波状文をめぐ らす	外面無文帯はミガキ、 内面はナデ	灰黄 S	

第84表 弥生土器観察表 291号溝

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第312区 -	22843	2北	291溝	甕	中央埋土	口頸部	-	-	-	-	頸部に2条横沈線で画した文様帯に沈線波状文をめぐらす	外面は縦、内面は横ミガキ頸部内面はナデ	灰白 S	内面はやや還元
第312区 -	22803	2北	291溝	甕	中央埋土	頸部～胴部	-	-	-	-	地文に縄文(直)を施し、沈線波状文をめぐらす	外面は不明、内面はナデ	灰黄緑 S	
第312区 -	22799	2北	291溝	甕	中央埋土	頸部～胴部	-	-	-	-	頸部に3条の横沈線をめぐらせ、下位に斜線充填彫刻文を描く	外面はミガキ、内面は割線で不明	灰白 S(粗砂)	
第312区 -	22801	2北	291溝	甕	中央埋土	頸部	-	-	-	-	横沈線と柳葉波状文(5南/12mm)を交互にめぐらす	内外面ハケメ後、外面はナデ、内面は粗いミガキ	灰黄緑 S	
第312区 -	22816	2北	291溝	甕	中央埋土	頸～胴部	-	-	-	-	頸部に反時計回りの縄状文(8南/17mm、15mm前後スパン)、胴部との境界に、3条の横沈線と間に歪んだ波形の沈線波状文をめぐらす。これは太端で切れるため、らせん状に反時計回りに施文した可能性あり	外面は不明、内面は粗オシエとナデ	灰白 S(粗砂)	
第312区 -	22804	2北	291溝	甕	埋土	頸～胴部	-	-	-	-	3条(以上)の沈線山形文をめぐらせ、胴部との境に縄状文(8南/19mm、11～18mmスパン)、胴部には縄状文から反号文と思われる2条の沈線を垂下する	器面荒れて不明	にぶい S+粗口塵	
第312区 -	22802	2北	291溝	甕	埋土	胴部	-	-	-	-	頸部縄状文と同じく2条の沈線を垂下する	器面荒れて不明	にぶい S+粗口塵	
第312区 -	22832	2北	291溝	甕	埋土	体部	-	-	-	-	「足」表現と推測される三叉状の絵柄が描かれる	内面粗いミガキ	にぶい S+赤粒	
第312区 Pl.132	22796	2北	291溝	小型甕	南端底面	口縁欠	-	-	4.8	-	外面と口頸部内面に赤彩。体部最大幅部に瘤状突起を付し、横位の口孔を穿つ	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第312区 -	22831	2北	291溝	甕	北部埋土 中層	体部～底部	-	-	8.2	-	無文	内外面ハケメ後、外面はミガキ	にぶい S+黄緑	体部上端の断面は磨減しており、頸部以上を欠いた状態で再利用された可能性あり。底面磨減。片面黒面
第312区 -	22833	2北	291溝	甕	南部埋土 下層	体部下層～底部	-	-	7.9	-	無文	内外面ともハケメ、底面は磨減で不明	灰白 S	
第312区 -	22834	2北	291溝	甕	北部埋土 上層	体部下層～底部	-	-	9.4	-	無文	内外面ハケメ、外面はミガキか、底面ケズリ	にぶい S+黄緑	外面片面に黒面
第312区 -	22798	2北	291溝	甕	北部埋土 中層	体部下層～底部	-	-	10.9	-	無文	内外面とも荒れて不明	にぶい S+土塵砂片	
第312区 -	22841	2北	291溝	甕	北部埋土	体部下位～底部片	-	-	(7.0)	-	外面赤彩。	外面ミガキ、内面はハケメ	にぶい S+黄緑	内面に縄文 片重1、内面還元
第312区 -	22819	2北	291溝	甕	中央埋土	口頸部	(24.5)	-	-	-	口縁と受け口外面から体部上平にかけて縄文(直、系束)を施す。口縁外面には2条沈線波状文、頸部には縄状文(4南/12mm、20～25mmスパン)、体部に柳葉波状文を描く	内面は横ハケメ後、横ミガキ	灰黄 S	
第312区 -	22824	2北	291溝	甕	中央埋土	口縁～頸部片	-	-	-	-	受け口外面に柳葉波状文、頸部に縄状文(5南/11mm、20～25mmスパン)、体部に柳葉波状文	口縁横ナデ、体部内面に横ミガキ	にぶい S+黄緑 赤粒細塵～粗砂多	

遺物観察表

第85表 弥生土器観察表 291号講

探出 Pt. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第312IV -	22825	2北	291講	甕	中央埋土	口縁~体 部上半	-	-	-	-	口唇に突起、頸部に縞状 文(8南/20m、25mスパン)、 体部に縞幅羽状文	器面荒れて不明	にぶい黄 S	
第312IV -	22822	2北	291講	甕	南端埋土	口縁~体 部上半	-	-	-	-	口唇に縞文(1北)、口縁外 面に縞幅羽状文、頸部に 縞状文(5南/14m前後、 24~27mスパン)、体部 に縞幅羽状文あるが荒れて 文様不明	器面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 S細砂土	
第312IV -	22830	2北	291講	甕	北部埋土 中層	頸部~体 部	-	-	-	-	頸部に縞状文(5南/12m、 9~12mスパン)、体部に 荒れた縞幅羽状文(7南 /14m)	外面無文部にミガキ、 内面荒れて整形不明	にぶい黄 S+白岩片角 礫多	
第312IV -	22823	2北	291講	甕	北部埋土	口縁~体 部片	-	-	-	-	口縁と体部全体に縞幅羽 状文(5南/13m)	内面にハケメ後、粗い ミガキ	灰黄褐色 S	
第312IV -	22818	2北	291講	甕	南部埋土	口縁~体 部上半	(12.0)	-	-	-	内側突縁(口縁の外)面に縞 幅羽状文をめぐらす。頸 部には縞状文(8南/12m、 12~24mスパン)、体部 に縞幅羽状文を施す。縞 状文は通常の押し引き手 法ではなく、縞幅横線文 の上に縞先で刺突する手 法と思われる	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	灰黄褐色 礫石等少 S	体部外面に 覆付着
第312IV -	22828	2北	291講	(甕)	北部埋土	体部	-	-	-	-	細紋線による荒れた口の 字重文	外面ハケメ、内面ミガ キ	にぶい黄緑 S	外面覆ける
第312IV -	22826	2北	291講	甕	中央埋土	頸部~体 部上半	-	-	-	-	縞幅羽状文(4南/9m)を 2帯(以上)重ねる	内面は横ミガキ	灰黄 S	
第312IV -	22809	2北	291講	甕	南端埋土	体部下位 ~底部	-	-	5.8	-	無文	内外面ミガキ	灰黄褐色 S	内面還元
第313IV -	22806	2北	291講	(付付費)	北部埋土	口縁~体 部片	-	-	-	-	受け口の口縁から体部に かけて縞幅羽状文を重ね る。体部上位には円形刺 突を加えた円形貼付文	器面荒れて、整形不明	にぶい黄緑 S	
第313IV -	22821	2北	291講	付付費	北部埋土 上層	頸部~体 部	-	-	-	-	頸部に縞状文(4南/10m、 9~16mスパン)。体部に 縞幅羽状文	内外面とも縞ハケメ 後、外面は縦、内面は 横のミガキ	にぶい黄緑 S	外面がやや 覆ける
第313IV -	22820	2北	291講	(付付費)	中央埋土	口縁~体 部上半	-	-	-	-	体部にやや太めの沈線で 大振り三角区画文を施 す。区内に鋭い細沈線で 交互斜線充填	内外面ハケメ後、内面 は粗い横ミガキと思わ れる	にぶい黄緑 S	
第313IV -	22817	2北	291講	(付付費)	中央埋土	口頸部	-	-	-	-	口唇に丸棒で押し、頸部 に1条の横沈線めぐら せ、そこから体部に沈線 によるコの字重文を施 す。交点部には5孔刺突 の円形貼付文を付す	口縁横ナデ、内面は丁 字な横ミガキ	灰黄 S	
第313IV -	22844	2北	291講	付付費	南端埋土	脚部1/3	-	-	(9.4)	-	無文	外面横ナデ、脚内面ナ デ、体部外面はハケメ、 体部内面はミガキと思 われるが不明瞭	灰黄 S	
第313IV -	22845	2北	291講	付付費	南部埋土	脚部	-	-	10.2	-	無文	体部内面と脚外面はミ ガキ、脚内面はハケメ	灰黄 S	
第313IV -	22846	2北	291講	付付費	南部埋土	脚部	-	-	9.2	-	無文	脚外面はミガキ、他は 器面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 赤粒の細礫	
第313IV -	22848	2北	291講	付付費	北部埋土 上層	脚部	-	-	9.1	-	無文	内外面ともナデ、体部 結合はほぞ穴充填による	にぶい黄緑 S細砂土	
第313IV -	22827	2北	291講	付付費	北部埋土 中層	体部	-	-	-	-	頸部に縞状文(4南/9m)、 体部に細沈線でコの字重 文を施す。交点部には 円孔刺突の円形貼付文を 付す	内外面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 S	

第86表 弥生土器観察表 291・140号講

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第313回 PL.132	22854	2北	291溝	高杯	南東部法 面埋土	口縁一 部、脚底 大平欠	11.8	12.8	(10.0)	-	結合部に沈線状の段をも つ。脚中に凹孔1を穿 つ。他面での穿孔有無は 不明	内外面とも縦ミガキ、 杯部と脚部結合はほぞ 穴充填による	にぶい黄橙 S	
第313回 -	22855	2北	291溝	高杯	中央埋土	口縁一杯 部上半	(21.0)	-	-	-	内面に赤彩	外面は荒れて不明、内 面横ミガキ	にぶい黄橙 S	
第313回 PL.132	22851	2北	291溝	高杯	南東部埋 土層	脚部	-	-	12.3	-	外面に赤彩	脚内面はハケメ、他は 荒れて不明、杯部結合 はほぞ穴充填による	にぶい橙 S(粗砂主)	
第313回 -	22852	2北	291溝	高杯	南東部埋 土	脚部	-	-	7.0	-	外面と杯部内面に赤彩	脚内面はハケメ	にぶい黄橙 S	
第313回 -	22853	2北	291溝	高杯	北部埋土	脚部	-	-	9.3	-	杯部内外面と脚部外面に 赤彩	外面ミガキ、脚内面は ナデ	にぶい黄橙 S	脚内面は選 元
第313回 PL.132	22837	2北	291溝	鉢	中央埋土	口縁～底 部1/4	(12.0)	6.4	(4.6)	-	内外面に赤彩。口側に瘤 状突起を付す。口縁下に 2孔一對の小孔を穿つ	器面荒れて不明	にぶい黄橙 S	
第313回 -	22836	2北	291溝	鉢 (片口鉢)	南端底面	口縁一体 部1/3	(12.2)	(12.8)	(4.5)	-	無文	内外面横ハケメ後、外 面は縦、内面は横のミ ガキ	浅黄橙 S	底部付近の 内面に白色 物質付着二 次的焼熱痕 は認められ ない
第313回 -	22840	2北	291溝	ミニチュ ア	北部土層	体部下平 ～底部	-	-	3.9	-	無文	外面ハケメ後ナデか。 内面荒れて整形不明	灰黄 S	
第313回 -	22842	2北	291溝	鉢	中央埋土	底部1/3	-	-	(5.3)	-	内外面赤彩	器面荒れて不明	にぶい黄橙 S	
第313回 -	22838	2北	291溝	有孔鉢	北部埋土 土層	口縁片～ 底部	(18.0)	10.8	6.9	1.4	無文	内外面ハケメ後ミガキ	にぶい黄橙 S	底外面の一 部
第313回 -	22847	2北	291溝	蓋	中央埋土 中層	天井部上 半	-	-	5.5	-	無文	外面へラナデ、内面は 粗いミガキ、組み部内 面はナデ	灰白 S	
第313回 -	22849	2北	291溝	蓋	南東部埋 土	組み部	-	-	(4.5)	-	無文	内外面ハケメ後ミガ キ、組み部内面はナデ	にぶい黄橙 S	
第313回 -	22850	2北	291溝	蓋	南東部埋 土層	天井部上 半	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面ともミガキ	灰白 S	
第313回 PL.132	22855	2北	291溝	蓋	中央埋土	組み～天 井部	-	-	5.2	-	無文	組み部下位に、左右に 貫通する孔を穿つ。内 外面ハケメ後ナデ	灰白 S	
第313回 -	22857	2北	291溝	(蓋)	中央埋土	組み部 2/3	-	-	6.9	-	無文	内外面ナデか、中位に 1孔を穿つ。対面部位 は欠損で不明	灰白 S+赤磯	
第313回 -	22858	2北	291溝	(蓋)	北部埋土 中層	組み部	-	-	4.5	-	無文	外面ナデ、内面はミガ キ	灰黄褐 S	
第313回 -	22362	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口縁～頸 部	15.6	-	-	-	口料と頸部全体に横縄文 (オオハコカ)。頸部に横 棒状具を束ねた帯状具(6 歯目と3歯目)で横縄文を めぐらす	内外面横ナデ、内面は 割磨で不明磨	にぶい黄橙 S+赤磯・ チャート	
第313回 -	21910	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口頸部片	(13.8)	-	-	-	口料に横縄文	口料は内積する面取 り。頸部外面に提状具 ナデ直。内面ナデ	灰白 S(粗砂主)	
第313回 -	21912	6	140溝	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	頸部に横縄文(オオハコ カ)を地文とし、腹縁き 洗線めぐらす	外面は斜ハケメ、内面 は粗い横ミガキ	浅黄橙 S	
第313回 -	21911	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口縁片	-	-	-	-	無文	外面は斜ハケメ、内面 は割磨	灰白 長石、白磯 多	
第313回 -	21917	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	頸部片	-	-	-	-	縄文(Ⅱ)を地文に、3条の 横沈線めぐらす	内面ナデ	にぶい黄橙 S	
第313回 -	21915	6	140溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(Ⅲ)を地文に、7条 (以上)の横沈線めぐらす	内面割磨	灰黄 S	

遺物観察表

第87表 弥生土器観察表 140号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)					
第313区 -	21914	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線による横帯 区画をめぐらせ、内に縄 文(LR)地文とし、2条沈 線による波状文をめぐら す	外面は横ナデ後、無文 部ミガキ、内面はナデ	にぶい黄 S		
第313区 -	21918	6	140溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、7~ 10条の横沈線をめぐら せ、肩部に沈線山形文を 描く	器面荒れて不明	灰白 S		
第313区 -	22363	6	140溝	壺	埋土	口縁	18.8	-	-	-	受け口状内側口縁の外 面に柳葉状文をめぐら す	内外面とも剥離著しく 不明	灰白 S+赤粒・ チャート		
第314区 PL-132	22364	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口縁3/4、 体部的 1/2欠	(13.7)	31.7	7.2	-	口唇と頸部に縄文(LR)、 頸部に2条沈線による横 帯区画をめぐらす	外面ハケメ後ミガキ、 内面は器面荒れて不明	にぶい黄槽 S+輝石多	体部片側と 封面に荒損	
第314区 -	22365	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	口縁~体 部上半 1/3	12.2	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 3条の横沈線、その下位 に沈線波状文か斜線充填 副南文を描く。外面と口 縁内面に赤彩痕を残す	体部内面はナデ、外面 は口頸部でハケメとミ ガキ面を残す以外、荒 れて不明	浅黄槽 S		
第314区 -	21916	6	140溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	3条の沈線をめぐらせ、 肩部に柳葉斜行文(4歯 /12mm)を描く	器面荒れて不明	浅黄槽 S		
第314区 PL-132	23111	6	140溝	壺	南東部埋 土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、太 沈線で画した下位に副南 文と思われる沈線を描 く。その左下は横位の細 い格子孔を穿つ	内面ナデ	浅黄槽 S		
第314区 -	23106	6	140溝	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	三叉状記号文を描く	器面荒れて不明	灰白 S		
第314区 -	21919	6	140溝	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	縦縄文(オオハコカ)を 地文に、2条平行沈線 をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄槽 S		
第314区 -	21920	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	体部片	-	-	-	-	縦縄文(オオハコカ)を 地文	内外面ハケメ	器壁に径1.5 mm、深さ5mm の小孔、胎土 中の植物茎	浅黄 S	
第314区 -	21923	6	140溝	壺	埋土	底部	-	-	5.0	-	外面赤彩	内面剥離で不明	灰白 S		
第314区 -	21941	6	140溝	鉢	埋土	体~底部	-	-	5.8	-	外面赤彩	内外面とも横ミガキ、 木葉帯ではないが、底 面中央に1条沈線	浅黄 S		
第314区 -	21921	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	体部片	-	-	-	-	無文	内外面ともハケメ	黄灰 S	全体に還元 気味焼成	
第314区 -	21937	6	140溝	壺	南東部埋 土中層	体下半~ 底部	-	-	10.0	-	無文	外面は横ミガキ、内面 はナデ	灰白 S	全体に還元 黒炭	
第314区 PL-132	22366	6	140溝	甕	南東部埋 土中層	口縁~体 部片	(19.0)	-	-	-	口唇に鋭形、口縁に2 条沈線による波状文、体 部に15条の横沈線をめぐ らす。横沈線部の上下界 に、三角頂点位置に円形 彫付文	内外面ともハケメ後 ミガキ	黄灰 S	外面全体に 覆付着、体部 下半内面に コゲつき痕 残す	
第314区 -	21929	6	140溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口唇~口縁に縄文(LR)、 口縁外面に2条沈線によ る波状文	内外面ハケメ後ナデ	灰白 S		
第314区 -	21928	6	140溝	甕	南東部埋 土中層	口~頸部 片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 縷状文(5歯/14mm、17~ 30mmスパン)、体部に柳 葉縷状文をめぐらす	口縁横ナデ、体部内面 は横ミガキ	黄灰 S	外面全体に 覆付着	
第314区 -	21926	6	140溝	(甕)	埋土	口縁片	-	-	-	-	頸部に縷状文(4歯/11 mm)、体部に柳葉縷状文 を描く。	内面横ミガキ	黄灰 S	内面に柳正 皿I	

第88表 弥生土器観察表 140・128号溝

探出 Pt. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第314号 -	21927	6	140溝	(甕)	埋土	口縁片	-	-	-	-	口内に縄文(原体不明)、 頸部に縞縞状文(4mm/10mm)、 体部に縞縞状文を施す	内面横ナデか	にぶい・粗 白灰片、赤 粒、石英等 塵	
第314号 -	21943	6	140溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に貫による彫り	横ナデ	にぶい・粗 S+白濁	
第314号 -	21924	6	140溝	(台付甕)	埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	口縁～口縁に縄文(L)を 地文とし、口縁に1条状 縞による波状文、頸部に 縞縞状文(4mm/10mm)、 体部に沈線充填の三角文 を施す	外面はナデ後、無文部 ミガキ。内面は横ミガ キ	灰黄褐 S	外面全体に 復付着
第314号 -	21932	6	140溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縞状文(27mmスパン)、 体部に丸線な縦文 縞縞状文(3mm/11mm)	内面荒れて不明瞭	にぶい・黄褐 S	
第314号 -	21930	6	140溝	(甕)	埋土	頸部片	-	-	-	-	縞状線によるコの字重 文、頸部の交点部に孔 新変の円形彫付文	外面ナデ、内面は荒れ て不明	浅黄褐 S	
第314号 -	21931	6	140溝	(甕)	南東部埋 土中層	頸部片	-	-	-	-	口縁に沈線波状文、頸部 以下体部に縞状線による コの字重文。交点部に 孔新変の円形彫付文	内面ミガキ	灰黄 S	
第314号 -	21934	6	140溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	縞状線によるコの字重 文	外面横ハケメ、内面ナ デ	灰黄褐 S	
第314号 -	21905	6	140溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	縞状線によるコの字重 文	外面ハケメ、内面は横 ミガキ	灰黄褐 S	外面全体に 復付着
第314号 -	21925	6	140溝	(台付甕)	南東部埋 土中層	口縁～体 部片	-	-	-	-	口縁に縄文(L)、口縁外 面は剥離で不明、体部に 沈線充填の三角文	内面横ミガキ	灰黄 S(細砂主)	
第314号 -	21933	6	140溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	太い沈線でコの字重文 を施すと思われる	外面は横ハケメ、内面 はナデと粗いミガキ	にぶい・黄褐 S+細砂多	
第314号 -	21913	6	140溝	鉢?	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁～口縁に縄文(L)O、 やや太い沈線山形文を めぐる	内外面ともミガキ	にぶい・黄褐 S	
第314号 -	21938	6	140溝	(有孔鉢)	埋土	口～体部 片	(17.0)	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、粗い ミガキ	にぶい・赤褐 S	口縁付面に 被熱赤変部 分あり
第314号 -	21939	6	140溝	鉢	南東部埋 土中層	口縁片	-	-	-	-	内面赤彩	ナデ、ミガキ	灰白 S	
第314号 -	21922	6	140溝	鉢	南東部埋 土中層	体～底部	-	-	6.3	-	内面赤彩	内面は横ミガキ、外面 は荒れて不明瞭	灰白 S	底面に黒痕
第314号 -	21940	6	140溝	鉢	埋土	底部片	-	-	(8.4)	-	内面赤彩	器面荒れて不明瞭	灰白 S	内面に軽土 層1
第314号 -	21942	6	140溝	有孔鉢	埋土	底部	-	-	5.5	1.4	無文	外面斜ケズリ、底面は ミガキ。内面ミガキ	にぶい・黄褐 S(細砂主)	外面片断に 黒痕
第314号 -	21936	6	140溝	甕	南東部埋 土上層	底部	-	-	7.5	-	無文	外面ハケメ後縦ミガ キ、内面ナデと横ミガ キ	灰黄褐 S	内底から1.5 cmほどで内 面にコゲツ き遺残す
第314号 -	22367	6	140溝	小型 台付甕	埋土	口縁一部 ～体部 1/2	(9.1)	-	-	-	頸部に縞状文(5mm/9mm、 9～15mmスパン)、体部に 縞縞状文	内面は粗い・横ミガキ	にぶい・黄褐 S	外面に復付 着
第314号 -	21944	6	140溝	高杯	埋土	脚上半	-	-	-	-	杯部内外面と脚外面に赤 彩	脚内面にハケメ	浅黄褐 S+チャート	
第315号 -	22361	6	128溝	壺	埋土	口縁～脚 部	11.3	-	-	-	口縁と頸部に縞縄文(オ オバコカ)	外面無文部縦ミガキ、 内面は一部ハケメ残し ナデ	灰黄 S+細砂	-
第315号 -	21876	6	128溝	壺	東部埋土	口縁片	-	-	-	0.3	無文	口縁に穿孔1カ所	灰黄 S(細砂主)	
第315号 -	21875	6	128溝	甕	東部埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	頸部～体部に縞縞状文 (4mm/9mm)を7帯(以上)重 ねる。胎文はブロック手 法、時計回り、土から下 の順	内面横ナデ、体部内 面はハケメ後横ミガキ	灰白 S(細砂主)	
第315号 -	21872	6	128溝	壺	東部埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(L)をめぐら す	口縁内面はミガキ、頸 部内面はナデ	浅黄褐 S+赤・白濁	

遺物観察表

第89表 弥生土器観察表 128-245号溝

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第315号 -	21877	6	128溝	甕	東部埋土	口頸部片	-	-	-	-	口縁に2条平行沈線による波状文。頸部に横状文(口幅7.4cm)	内面ハケメ後ミガキ	にぶい黄褐色S肌砂多	
第315号 -	21882	6	128溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	2条単位の沈線による横線文。縦い造弧文を重ねる。造弧文には止め痕を残す時回り造文	器面剥離	灰白S	
第315号 -	21885	6	128溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	上位を得状沈線で画し、2条単位の沈線による造弧文をめぐらす	内面ナデ	灰黄S肌砂主	
第315号 -	21886	6	128溝	甕	埋土	肩部片	-	-	-	-	垂下する懸垂文を描く。内区には沈線と列点状押引文を交互平行線とし、中央では横位で縦線区画。左側では縦位で横、無文区は赤彩。頸部には横沈線をめぐらす	内面は横ハケメのち、ナデ	黄灰S	
第315号 -	21884	6	128溝	(白付甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	3条単位の櫛状具によるコの字垂ね文	内面ミガキ	にぶい黄褐色S	
第315号 -	21888	6	128溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に横状文(7mm/3mm以上)、体部に櫛指羽状文を描く	外面ハケメ、内面荒れて不明	灰黄褐色S肌砂主	外面腐付着
第315号 -	21878	6	128溝	蓋	東部埋土	横み部	(4.5)	-	-	-	無文	外面ナデ、内面荒れて不明	灰白S	
第315号 -	21879	6	128溝	蓋	東部埋土	横み部	(5.1)	-	-	-	無文	外面ナデ、内面荒れて不明	にぶい黄褐色S肌砂主	
第315号 -	21880	6	128溝	蓋	東部埋土	横み部	3.6	-	-	-	無文	外面ナデ、内面荒れて不明	灰白S	
第315号 -	21881	6	128溝	蓋	東部埋土	横み部	5.0	-	-	-	天井内面に赤彩	外面ナデ	灰黄S	
第315号 -	21873	6	128溝	甕	東部埋土	底部	-	-	7.7	-	無文	内外面ともナデ、底面ケズリ	にぶい黄褐色S+礫	
第315号 -	21874	6	128溝	甕	東部埋土	底部	-	-	(9.4)	-	無文	外面ナデ、内面荒れて不明	灰白S+礫	
第315号 -	21883	6	128溝	甕	埋土	底部	-	-	9.1	-	無文	内外面指オサエ、底面は粗いミガキ	灰白S	
第315号 -	21887	6	128溝	甕	埋土	底部片	-	-	5.6	-	外面に赤彩	内面ナデ	灰黄S	
第315号 -	21889	6	128溝	甕	埋土	体下平～ 底部	-	-	5.6	-	無文	内外面荒れて不明	にぶい黄褐色S	
第315号 -	21890	6	128溝	甕	埋土	底部	-	-	6.8	-	無文	外面ハケメのちミガキか。	にぶい黄褐色S肌砂主	内面因縁にコゲ痕
第315号 -	23040	7	245溝	甕	北半埋土	口頸部	12.9	-	-	-	口頸と頸部に横位縄文帯(L)を重ねる	内面に縦ハケメ、内面はナデ	灰白S+輝石粗砂	L線下の内外面に輝石粗砂
第315号 -	23030	7	245溝	甕	南半埋土	体下平～ 底部	-	-	5.6	-	外面に赤彩。最大頸部に懸状突起を付す	内面ハケメ後ナデ	にぶい黄褐色S	
第315号 -	23037	7	245溝	甕	南半埋土	口縁片	(19.2)	-	-	-	懸状突起の口縁と外面に縄文(L)を地文とし、沈線山形文を描く	器面荒れて不明瞭	浅黄褐色S	
第315号 -	23038	7	245溝	甕	南半埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線区画帯をめぐらせ、なかに縄文(L)を地文とする沈線山形文を描く	横ナデ	浅黄褐色S	
第315号 -	23036	7	245溝	甕	南半埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に横沈線による斜線突起造弧文	L線横ナデ	灰白S+輝石	
第315号 -	23041	7	245溝	甕	北半埋土	頸部片	-	-	-	-	上位を得状沈線で画し、その下に縄文(L)を地文とし、横状文(4mm/9mm上下2段、13mmスパン)をめぐらす	器面剥離で不明	にぶい黄褐色S	

第90表 弥生土器観察表 245号溝

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第315号 Pl.132	23039	7	245溝	壺	南半埋土	口縁1/3 ～胴部	17.2	-	-	-	縄文(LR)を胴部の地文とし、上信を太沈線で画し、 縄文(5画/11mm, 11～ 15mmスパン)と下位に沈 線波状文をめぐらす。頸 部文様下に、沈線による 楕円形状の沈線表現あり	ハケメ後、外面はミガキ 手、内面はナデ	灰白 S+細糠	
第315号 -	23023	7	245溝	甗	北半埋土	口縁片	-	-	-	-	口胴に裂み、口縁外面に 2帯の縞線波状文(4画/15 mm)、胴部に縄文をめぐ らす	器面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 S	
第315号 -	23021	7	245溝	甗	南半埋土	口縁+体 上部片	(14.0)	-	-	-	口胴と体上部に縄文(LR) 幾文縞部に縄文(6画 /12mm, 12～17mmスパン)、 胴上部に縞線波状文2帯 をめぐらす	口縁線ナデ、内面はハ ケメ後ミガキ	灰黄褐 S	全体に黒炭
第315号 Pl.132	23034	7	245溝	台付甗	南半埋土	口縁+体 上半	11.6	-	-	-	口縁外面に縄文(LR)地 文、1条沈線で波状文を めぐらす体部に2本の字 重文(5分画)	外面はハケメ、内面縞 ミガキ	灰黄褐 S+チャー ト+白糠	外面胴部以 下に黒炭着
第315号 -	23022	7	245溝	甗	北半埋土	口縁+頸 部片	-	-	-	-	沈線によるコの字重文 文、交点部に1孔状の 円形胎付文	内面縞ミガキ	灰黄褐 S	
第315号 -	23042	7	245溝	鉢	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に1条沈線の山形文 をめぐらす。内面に赤 黒く鋭い縞状文による斜 線充填の三角モチーフの 文様を描く	器面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 S	
第315号 -	23031	7	245溝	高杯	埋土	結合部	-	-	-	-	無文	内面ハケメ、ナデ外面 はミガキと思われる。	灰黄褐 S	
第315号 -	23032	7	245溝	台付甗	北半埋土	脚部	-	-	9.1	-	無文	外面に斜ハケメを残し 粗いミガキ、内面はナ デ	灰黄 S	
第315号 -	23033	7	245溝	台付甗か 高杯	北半埋土	脚部片	-	-	-	-	無文	器面荒れて不明	浅黄緑 S(細砂) +	
第315号 -	23035	7	245溝	高杯	埋土	脚部片	-	-	(7.8)	-	無文	外面は縞ミガキ、内面 はナデ	にぶい黄緑 S+チャー ト+白糠	
第315号 -	23026	7	245溝	壺	南半埋土	底部	-	-	10.4	-	無文	外面縞ミガキ、内面ハ ケメとナデ	にぶい黄緑 S	
第315号 -	23025	7	245溝	甗	北半埋土	底部2/3	-	-	7.0	-	無文	外面ナデ、内面ナデ	にぶい黄緑 S	
第315号 -	23027	7	245溝	(甗)	南半埋土	底部	-	-	8.2	-	無文	外面ナデ、内面ナデ	灰黄 S	
第315号 -	23028	7	245溝	甗	南半埋土	体下半～ 底部	-	-	5.6	-	体部に縞縞羽状文	外面ハケメ後、ミガキ 内面は縞ミガキ	灰黄 S	
第315号 -	23029	7	245溝	壺	埋土	底部片	-	-	(8.0)	-	外面に赤彩	外面はハケメ、内面は ハケメとナデ	灰黄 S	口縁下にイ 木刺圧痕1
第316号 -	23085	市道	245溝	壺	埋土中層	口頸部	(15.0)	-	-	-	頸部に横沈線をめぐらす	器面荒れて不明	にぶい相 S(細砂) +	
第316号 -	23087	市道	245溝	壺	埋土中層	口縁1/2	(15.0)	-	-	-	無文	器面荒れて不明	浅黄緑 S+赤粘多	
第316号 -	23084	市道	245溝	壺	埋土中層	頸部	-	-	-	-	頸部に段状の沈線を横位 にめぐらせ、地文に縄文 (LR)を幾す	器面荒れて不明	灰白 S	
第316号 -	23088	市道	245溝	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線と沈線波状 文を交互に2帯めぐらす	外面ハケメ、内面縞 で不明	浅黄緑 S	
第316号 -	23100	市道	245溝	(無頸壺)	埋土	口縁胎付	-	-	-	-	粘土積上げ面をそのまま 残す	指頭押正	浅黄 S	
第316号 -	23099	市道	245溝	不明	埋土	不明	-	-	-	-	無文	成形段階の粘土帯が露 出したもの、指頭押正 を明確に残し、十分な 整形はしていない	浅黄 S	
第316号 -	23095	市道	245溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と して横沈線を2条(以上) めぐらす	外面はハケメ、ナデ内 面ナデ	浅黄緑 S	

遺物観察表

第91表 弥生土器観察表 245・268号溝

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第316号 Pl. 132	23082	市道	245溝	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	縄文(18か)を地文に、上位に斜線波状文、中位に5本の横波線をめぐらせ、下位に斜線文あるいは斜線充填の区画文を描く	器面荒れて不明	灰白 S	
第316号 -	23092	市道	245溝	(壺)	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄波線で輪飾と思われる波線を描く	外面ハケメ、内面ナデ	灰白 S	
第316号 -	23101	市道	245溝	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線で垂下する三叉状記号文を描く	内外面ハケメ	樽 S	
第316号 -	22737	2北	245溝	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	縄文(18か)を地文に、沈線による直線と波線を交互に垂下する	内面は横ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	23091	市道	245溝	短頸壺	埋土中層	口縁部片	(11.4)	-	-	-	外面と口縁内面に赤彩	頸部に2孔一対の繫縛孔を穿つ。器面荒れて不明	灰白 S	
第316号 -	23094	市道	245溝	(台付)壺	埋土	胴～体部片	-	-	-	-	頸部に2進止め瘤状文(5溝/12mm、20mmスパン)、体部に帯瘤(3溝/7mm)のゴの字重ね文を描く	内面にハケメを残し、横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	23093	市道	245溝	(高杯)	埋土下層	口縁部片	(20.0)	-	-	-	内面に赤彩	器面荒れて不明	灰白 S	
第316号 -	23083	市道	245溝	壺	埋土上～下層	体部下平～底部	-	-	8.4	-	無文	内外面ハケメ後、外面に横ミガキ	灰黄 S	底面に輪正 面1
第316号 -	23096	市道	245溝	高杯	埋土	杯部下平片	-	-	-	-	外面赤彩。内面は還元黒色で赤彩の有無不明	内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	外面中位に イネ粒土直1 内面還元
第316号 Pl. 132	23080	市道	245溝	鉢	埋土	口縁1/3 欠	13.8	6.5	5.0	-	無文	内外面ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第316号 Pl. 132	23081	市道	245溝	蓋	埋土中層	裾部3/4 欠	(17.2)	8.7	4.3	-	内面に赤彩	横み部に対称位置に一対の斜孔を穿つ。蓋との繫縛孔と思われる。内外面ミガキ、横み部ナデ	灰白 S	
第316号 -	23090	市道	245溝	(壺)	埋土	体部下位～ 底部 1/3	-	-	(8.2)	-	無文	外面ハケメ後横ミガキ内面荒れて整形不明	灰黄 S	
第316号 -	23089	市道	245溝	(鉢)	埋土中層	体部下位～ 底部	-	-	5.0	-	無文	外面はハケメを残し横ミガキ内面は丁寧な横ミガキ	浅黄褐色 S	
第316号 -	23086	市道	245溝	壺	埋土中層	底部	-	-	8.8	-	無文	器面荒れて不明	灰白 S	底面磨滅
第316号 -	23088	市道	245溝	(壺)	埋土	底部	-	-	6.0	-	無文	外面ミガキ、内面ナデ	浅黄 S	
第316号 -	22745	2北	268溝	壺	中央埋土 下層	口縁～体 部	15.1	-	-	-	口縁に縄文(18)。頸部に3本の横波線をめぐらせ、下位に帯瘤(6溝)先端斜突を充填した縦山形文	内外面ハケメ後、口縁は横ナデ、体部外面に横ミガキ、体部内面に横ナデ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	22746	2北	268溝	壺	埋土	口縁部	-	-	-	-	頸部に横波線をめぐらす	外面ハケメ後、口縁部横ナデ、内面は横ミガキ	灰白 S	
第316号 -	22755	2北	268溝	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	内面に垂んだ波形の沈線波状文を2条めぐらす	外面にハケメ、横ナデ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	22747	2北	268溝	壺	埋土	頸部～肩 部	-	-	-	-	頸部に縄文(18)を地文として、横波線と沈線山形文をめぐらす	外面無文部は横ミガキ、内面はナデ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	22752	2北	268溝	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	縄文(18)を地文に、2本の太く深い横波線をめぐらせ、凸帯状につくりだす	内外面ナデ	にぶい黄褐色 S	
第316号 -	22751	2北	268溝	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	頸部に3本の細い横波線をめぐらせ、上位文様帯に細い管状片で刺突列点をめぐらす	外面は横ミガキ。内面は横ミガキ	灰白 S	

第92表 弥生土器観察表 268号講

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第316区 -	22750	2北	268溝	壺	中央埋土 中層	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(L)を地文とし、2条の横沈線と下位に縄文を残した副函文をめぐらす	外面は縦ハケメ、内面は斜ハケメとナデ	にぶい黄褐色	
第316区 -	22753	2北	268溝	壺	埋土	胴部	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、頸部に横沈線をめぐらせ、肩に直線文を垂下する。三叉状記号文の可能性あり	内面ナデ	にぶい黄褐色	
第316区 -	22754	2北	268溝	壺	南平埋土	体部片	-	-	-	-	三叉状記号文を描く	外面ハケメ後ミガキ、内面はハケメ	にぶい黄褐色	
第316区 Pl.132	22732	2北	268溝	壺	南平埋土	体部	-	-	-	-	上位に横沈線をめぐらせ、下位に縦沈線を充填した方形区画文を横行で配す。沈線は角ばった細い棒状具先端で描く	器面整形はナデと思われるが、不明瞭	にぶい黄褐色 赤地粘土の キメ細かく、 石英・黒色 鉱物等の微 細砂	
第316区 -	22741	2北	268溝	蓋	埋土	胴み部	-	-	4.6	-	無文	外面ハケメ、内面は割盤で不明	にぶい黄褐色	
第316区 -	22748	2北	268溝	小型甕	南平埋土 ～底部	体部下平 ～底部	-	-	5.9	-	無文	外面斜いミガキ、内面はナデ	にぶい黄褐色	被熱痕なし
第316区 -	22744	2北	268溝	壺	中央北寄り 埋土	底部	-	-	11.4	-	無文	外面ハケメ、内面はナデ 底面は割盤	灰白	
第316区 -	22756	2北	268溝	壺	中央埋土 北寄り上層	体部	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、横沈線と上下を画し、上位に沈線山形文、下位に4条(以上)の沈線による重連弧文をめぐらす。副函文の頂部には4孔を刺突する円形刺付文	内面にハケメ後ナデ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22788	2北	268溝	甕	中央北寄り 埋土上層、388土 坑	口縁部 1/3	(27.0)	-	-	-	口縁と口縁外面に縄文(L)を地文とし、口縁外面に柳細波状文(6溝/14mm)、頸部に直線状文(23～30mmスパン)をめぐらす	内外面ハケメ後、内面は横ミガキ	浅黄褐色	
第317区 -	22733	2北	268溝	甕	埋土	口縁～体部	-	-	-	-	口縁に刺付、頸部に直線状文(4溝/13mm、19～23mmスパン)、体部に柳細波状文を3帯めぐらす	内面に横ハケメ後、斜い横ミガキ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22757	2北	268溝	甕	南平、中 央埋土	口縁～体部 上半片	-	-	-	-	無文	内外面横ハケメ後、内面に横ミガキ、口縁横ナデ	黄灰 S	
第317区 -	22738	2北	268溝	小型甕	南平埋土	口縁部片	(11.0)	-	-	-	口縁と受け口外面、体部上半に縄文(L)を地文とする。頸部に直線状文(6溝/11mm、8～13mmスパン)、体部に柳細波状文	内外面ハケメ後、横ミガキ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22735	2北	268溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	柳細波状文(6溝/15mm)、左上に管状具先端で刺突	内面横ミガキ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22736	2北	268溝	甕	南平埋土	頸～体部	-	-	-	-	頸部に直線状文(4溝/10mm以上)、体部に縄文(L)を地文に、コノ字重ね文を描く	内面ナデ	黄灰 S	
第317区 -	22734	2北	268溝	甕	中央埋土	体部片	-	-	-	-	コノ字重ね文	内外面とも横ハケメ	にぶい黄褐色	内面にややこげ付き痕
第317区 -	22742	2北	268溝	高杯	中央埋土 上層	杯部1/3 ～胴上部	-	-	-	-	内外面赤彩	赤彩部ミガキ側内面はハケメ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22743	2北	268溝	鉢	中央埋土 上層	口縁～体部 1/3	(18.0)	-	-	-	内外面赤彩	口縁下に2孔一対で穿孔。内外面ミガキ	黄灰褐色 S	
第317区 -	22739	2北	268溝	有孔鉢	南端埋土 中層	底部	-	-	4.7	1.7	無文	内外面ミガキ	にぶい黄褐色	
第317区 -	22740	2北	268溝	有孔鉢	南平埋土 中層	底部	-	-	7.2	2.0	無文	内面ミガキ、外面は荒れて不明瞭	にぶい黄褐色	

遺物観察表

第93表 弥生土器観察表 268・130・131・143・145号溝

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第317図 -	22749	2北	268溝	甕	南端埋土 中層	底部	-	-	7.3	-	無文	外面は縦ミガキ。内面 荒れて整形不明。底面 はやや突出気味で距離 著しい	にぶい黄緑 S+白磁多	
第317図 -	21892	6	130溝	壺	埋土	頭部片	-	-	-	-	凸帯に刻み、上下に1条 沈線による波状文をめぐ らす	内面ナデ	にぶい黄緑 長石、チャー ト、白磁多 わずかに骨 針	
第317図 -	21893	6	130溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文口縁外面に 1条沈線の波状文、頭部 に横文(5溝/10mm)、体 部に横波状文か垂下文 を描く	口縁横ナデ、体部内面 は横ミガキ	にぶい黄緑 長石、チャー ト、赤粒、 白磁多	
第317図 -	21894	6	130溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頭部に横文、体部に横 波状文(6溝/14mm)を描 く	内面ハケメとナデ、内 面は横ミガキ	にぶい黄緑 長石、チャー ト、赤粒、 白磁多	
第317図 -	21895	6	130溝	有孔鉢	埋土	底部1/3	-	-	(6.4)	(1.8)	無文	外面ケズリ、内面はハ ケメを残しナデ	淡黄 長石、チャー ト、白磁多	
第317図 -	21896	6	131溝	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文	内外面ナデ	灰白 S	
第317図 -	21897	6	131溝	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文(1.8か)	外面ハケメ、内外面横 ナデ	にぶい黄緑 S	
第317図 -	21898	6	131溝	壺	埋土	頭部片	-	-	-	-	爪先と思われる圧痕列を めぐらす	内外面荒れて不明	浅黄緑 S	
第317図 -	21899	6	131溝	壺	中央部埋 土	体部片	-	-	-	-	管状具による2条平行沈 線で波状文を3帯めぐら す	内面ナデ	にぶい黄緑 細磁多	
第317図 -	21901	6	131溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に板状具小口による 刻み	内外面横ナデ	灰黄褐 細砂主	
第317図 -	21902	6	131溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文(1.8)、頭部に 横文(4溝/2mm以上)	内面横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第317図 -	21903	6	131溝	甕	埋土	頭部一体 部片	-	-	-	-	頭部以下体部に1条沈線 によるコの字重ね文	外面は縦ハケメ、内面 ハケメ後ナデ	黒濁 S+白磁多	
第317図 -	21904	6	131溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頭部に横文、体部に横 波状文。体部に横 波状文頭部下に2 条平行沈線による波状文 を1帯めぐらす。管状具 は5溝/17mm、時計回り施 文	内外面とも横ハケメ	にぶい黄緑 S	
第317図 -	21905	6	131溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縦位横波状文(5溝/10 mm)を描く	内面ナデ後刻いミガキ	黄灰 S	
第317図 -	21906	6	131溝	台付甕	中央埋土	頭部片	-	-	(7.0)	-	無文	体部内面と脚内面はミ ガキ、脚内面にハケメ 残す	浅黄緑 S	被熱赤変
第317図 -	21900	6	131溝	甕	埋土	底部片	-	-	7.2	1.6	無文	丁寧なナデ	黄灰 S	
第317図 -	21949	6	143溝	壺	北西埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文(1.8)	内外面距離で不明	浅黄緑 S(細砂主)	
第317図 -	21950	6	143溝	甕	北西埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文(1.8)、口縁外 面に1条沈線波状文頭部 に横文(4溝/1mm以上、 15mmスパン)	口縁横ナデ頭部内面は ミガキ	にぶい黄緑 S+白磁多	
第317図 -	21951	6	143溝	(甕)	北西埋土	体部片	-	-	-	-	細沈線による縦線充填三 角文、交点部に管状具刺 突を加えた円形貼付文 斜線充填の三角文、下腹 を沈線で面す特異な文様 構成。下端に1刺突の円 形貼付文	内面ハケメ後刻いミガ キ	浅黄緑 S	
第317図 -	21952	6	143溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	無文	内面ミガキ	にぶい黄緑 S+白磁多	
第317図 -	21953	6	145溝	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	口側に縦文(1.8)	ハケメ後横ナデ	浅黄緑 S	

第94表 弥生土器観察表 145・146号溝、1・2・4号竪穴建物

探検 Pt. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 釉土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第317R -	21954	6	145溝	壺	埋土	体下半～ 底部	-	-	-	-	無文	器面剥離で不明	灰 S	
第317R -	21959	6	146溝	甗	埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、体部に 櫛歯引状文(7溝/14mm)	内外面ハケメ、内面は ハケメ後ミガキ	灰黄褐 S	全体に還元 黒変
第317R -	21955	6	146溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	上位に沈線による区画 文、段状沈線で画した下 位に幅広い縄文帯(LR)	内面ナデ	浅黄褐 S	
第317R -	21956	6	146溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を横位に施す	外面はハケメ、内面ナ デ	にぶい 黄褐 S	
第317R -	21957	6	146溝	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	三又状引文を間隔を空 けて垂下する	外面はハケメ、内面ナ デ	にぶい 黄褐 S	
第317R -	21960	6	146溝	甗	埋土	底部	-	-	6.0	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ、内面はミガキ	灰黄褐 S	
第317R -	21958	6	146溝	壺	埋土	底部	-	-	8.4	-	無文	外面ミガキ内面と底面 は剥離で不明	にぶい 黄褐 S	
第318R -	21692	6	1号穴建物	壺	P4	頸部片	-	-	-	-	2条横沈線を複数帯(2帯 以上)めぐらせて、その 間に沈線状文をめぐら す	器面荒れて不明	灰白 S	
第318R -	21695	6	1号穴建物	高杯カ鉢	P2	口縁部片	-	-	-	-	内外面赤彩。口内に三 角形突起を付す	ミガキと思われる	灰白 S	
第318R -	21694	6	1号穴建物	甗	P1	体部	-	-	-	-	縦位の櫛歯引状文(5溝 /11mm、20～25mmスパン) を描く	内外面ともハケメ後、 内面に斜ミガキ	粗灰 S	外面焼け
第318R -	21501	6	2号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として2 条の横沈線をめぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄褐 S	
第318R -	21502	6	2号穴建物	無頭壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	無文	内外面ナデ	灰黄褐 S	
第318R PL-133	22227	6	4号穴建物	壺	北壁型床 面	口縁～胴 部	15.7	-	(15.8)	-	無文	内外面ハケメ不明瞭な がら、外面はミガキ。 内面ナデの痕跡残す	にぶい 黄褐 S	下位欠損面 が全周、磨 滅しており、 器台として 転用された 可能性あり
第318R -	22229	6	4号穴建物	壺	北壁型床 面	口縁部片	(15.0)	-	-	-	口内に縄文(LR)	口縁横ナデ、外面にハ ケメ、内面ナデ	浅黄褐 S	口縁下内面 に横状沈線 1
第318R -	21568	6	4号穴建物	壺	北壁型埋 土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、2条 の横沈線と1条沈線状 文をめぐらす	内面ナデ	にぶい 黄褐 S	
第318R -	22228	6	4号穴建物	壺	北壁型床 面	体部上半	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)	器面荒れて、整形不明	灰白 S+輝石多	
第318R -	22226	6	4号穴建物	壺	北壁型床 面	頸部～体 部 体部下半 ～底部	-	-	8.8	-	頸部上位に横沈線をめ がらせて上層を画し、その 下に櫛状文(7溝/14mm、 13mmスパン)と櫛歯引状 文をめぐらす	頸部外面はハケメ、体 部はミガキ、内面はハ ケメを残してナデ	にぶい 黄褐 S	
第318R -	22233	6	4号穴建物	甗	北壁型床 面	口縁～体 部1/3	(19.0)	-	-	-	口内に縄文(LRか)、口縁 外面に櫛歯引状文(8溝 /18mm)、頸部に櫛状文(5 溝/14mm、25～30mmス パン)、体部に横位櫛歯引 状文を描く	外面はハケメ後、無文 部ミガキ、内面は全体 に丁寧な横ミガキ	にぶい 黄褐 S	
第318R -	22234	6	4号穴建物	甗	北壁型床 面	口縁～底 部1/5	(18.0)	27.3	7.0	-	口内に縄文(LR)、口縁外 面に櫛歯引状文、頸部 に櫛状文(5溝/14mm、22 ～26mmスパン)、体部に 横位櫛歯引状文を描く	外面はハケメ後、無文 部に横ミガキ、内面は 全体に横ミガキ	にぶい 黄褐 S	体部の内外 面が還元
第318R PL-133	22225	6	4号穴建物	壺	北壁型下 層	体部1/3	-	-	-	-	体部上半全体に、8～9 帯の横位縄文を施す	外面無文部にミガキ、 内面に数小孔によるナ デ	灰黄 S	
第318R -	22231	6	4号穴建物	甗	北壁型床 面	体部下半 ～底部	-	-	6.6	-	櫛歯引文(5溝/12mmか) 横位櫛歯引状文を描く	内外面に細かく浅いハ ケメ	にぶい 黄褐 S	外面にイネ 糊土直1

遺物観察表

第95表 弥生土器観察表 4・5・6・7号竪穴建物

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第318号 -	21575	6	4号穴建物	蓋	北壁期床 面	胴み部	-	-	4.3	-	無文	外面はナデと粗いミガキ 内、内面ナデ	灰黄褐色 S	
第318号 Pl. 133	22230	6	4号穴建物	壺	北壁期床 面	体部～底 部	-	-	8.4	-	無文	内外面ハケメ後、内面 上位はナデ、底面に押 状具による押注痕を残す	にぶい黄褐色 S	
第318号 Pl. 133	22235	6	4号穴建物	高杯	北壁期下 層	杯部1/3	(20.4)	-	-	-	内外面赤彩	赤彩部ミガキ	にぶい黄褐色 S(粗砂)主	素地内にイ ネ粉は各種 実圧直を多く含む
第318号 -	21574	6	4号穴建物	高杯	北壁期床 面	胴部片	-	-	8.4	-	外面に赤彩	胴内面に丁寧なナデ	にぶい黄褐色 S	
第318号 -	21688	6	4号穴建物	甕	北壁期下 層	体部片	-	-	-	-	胴口に瘤状文、体部に楕 圓波状文をめぐらせ、体 部に楕圓直線文(4歯/11 mm)を重下する	外面はナデ、内面は丁 家な横ミガキ	灰黄褐色 白砂片、長 石、赤粒等 混	全体に還元 気味
第318号 -	21573	6	4号穴建物	有孔鉢	北壁期床 面	底部	-	-	5.6	1.3	無文	内外面ミガキ	浅黄褐色 S	
第318号 -	22236	6	4号穴建物	鉢	北壁期床 面	口縁～体 部片	(18.2)	-	-	-	口側に縄文(L)	外面はハケメ後、縦ミ ガキ、内面は丁寧な横 ミガキ	浅黄褐色 S(粗砂)主	
第319号 -	21505	6	5号穴建物	壺	埋土下層	口頸部片	-	-	-	-	口側に縄文(L)	口縁部ナデ部部の外面 は縦ハケメ、内面は粗 いミガキ	浅黄褐色 S	
第319号 -	21503	6	5号穴建物	壺	埋土下層	胴部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文にして、 段状の横波線と上段を面 し、2条の横波線をめぐ らす	外面はミガキ、内面は ナデ	にぶい黄褐色 S	
第319号 -	21504	6	5号穴建物	壺	埋土下層	胴部片	-	-	-	-	4条の横波線をめぐらす	外面ハケメ、内面はナ デ	にぶい黄褐色 S	
第319号 -	21507	6	5号穴建物	甕	埋土下層	体部片	-	-	-	-	楕圓羽状文(まぼろさ型 /19mm)を施す	内外面ともハケメ後、 ミガキ	灰黄褐色 白砂片・細 砂多	
第319号 -	21508	6	5号穴建物	甕	埋土下層	体部片	-	-	-	-	楕圓羽状文と、上位の方 形(菱形)空所に波線で 曲線文様(輪郭表規か) を描く	内面にハケメ後、ミガ キ	にぶい黄褐色 S	
第319号 -	21509	6	5号穴建物	甕	埋土下層	底部	-	-	6.7	-	無文	外面は縦ミガキ、内面 にはハケメを残す	にぶい黄褐色 S+細砂	内面中位に イネ粉土直2 底面には灰 付着、焼熱色 変
第319号 -	21506	6	5号穴建物	壺	埋土下層	底部2/3	-	-	10.0	-	無文	外面はハケメ、内面は ナデ、底内面に指オサ エ痕を残す	にぶい黄褐色 S	
第319号 -	22214	6	6号穴建物	壺	北壁期下 層	口頸部 3/4	13.6	-	-	-	口側に笠形、受けの外 面に2条波線状文、胴 部に横波線をめぐらす	外面はハケメ、内面は ハケメ後ナデと横ミガ キ	にぶい黄褐色 S	
第319号 -	22212	6	6号穴建物	壺	北壁期下 層	口頸部 1/2弱	(17.0)	-	-	-	口唇と胴部に縄文(オ オハコ文と思われる)、 胴部上を段状の横波線を めぐらせて面す	口縁の外面は横ナデ、 内面はハケメ後ミガキ	にぶい黄褐色 S+細砂	内面還元
第319号 -	21566	6	6号穴建物	壺	北壁期床 面	体部下位 ～底部	-	-	6.5	-	無文	外面はミガキ、内面は ハケメ	にぶい黄褐色 S	底面にイネ 粉土直1
第319号 -	22177	6	6号穴建物	台付甕	北壁期下 層	脚結合部	-	-	-	-	無文	体部結合面に野字状の 凹凸面を作り出す。脚 部内外面はナデ、体部 外面はハケメ	灰黄褐色 S+細砂	表面は焼熱 発色
第319号 -	21567	6	6号穴建物	甕	北壁期下 層	底部	-	-	6.1	-	無文	底面を含め、内外面ミ ガキ	にぶい黄褐色 S	焼熱色変
第319号 -	21510	6	7号穴建物	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、細い 波線で横線と波状文をめぐ らす	外面ハケメ、内面荒れ で整形不明	灰白 S	頸穴として は欠番

第96表 弥生土器観察表 7・8・9・12号竪穴建物

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第319号 -	21511	6	7号穴建物	甕	埋土	頸部～体 部上段片	-	-	-	-	頸部に反時計回りで縞状 文、体部に縞縞羽状文(6 歯/3mm)を描く	内面ミガキ	灰褐 S	頸穴として は欠番
第319号 -	21512	6	7号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	6.7	-	無文	外面は縞、内面は縞の ミガキ	にぶい S	頸穴として は欠番
第319号 -	21514	6	8号穴建物	甕	南壁際床 面	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文として、 1束の沈凹山形文をめぐ らす	外面無文部はミガキ、 内面はナデか	にぶい S	
第319号 PL-133	22395	6	12号穴建物	甕	砂内	頸部～体 部片	-	-	-	-	無文	器面荒れ、外面のハケ メをわずかに残す	浅黄槽 S	
第319号 -	21513	6	8号穴建物	甕	P347内	口縁～体 部上半 1/2	6.8	-	-	-	無文	口縁横ナデ、体部外面 は肌いミガキ、内面は ナデ	灰白 S	
第319号 -	21517	6	8号穴建物	(甕)	埋土	口縁部片	(13.9)	-	-	-	内外面に赤彩	赤彩後ミガキ	にぶい S	
第319号 -	21515	6	8号穴建物	(甕)	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇～口縁外面に縄文 (オオハコ文)を施し、口 縁外面に沈凹状文をめぐ らす	外面はハケメ後ミガ キ、内面はナデか	浅黄槽 S	
第319号 -	22396	6	12号穴建物	甕	砂内	体部～底 部1/4	-	-	(8.4)	-	無文	器面荒れて不明	にぶい S+チャー ト+赤粒	
第319号 PL-133	22358	6	12号穴建物	甕	砂内	体下部欠	18.0	-	-	-	口唇に粗い縄文(1R)。頸 部に縞状文(6歯/10mm、 13～16mmスパン)。体部 には縦位縞縞羽状文を密 に施す。縞状文・縞縞羽 状文とも反時計回りで施 文	内外面にハケメ後に内 面は縞ミガキ、口縁は 横ナデ	灰黄褐 S	
第319号 PL-133	22188	6	8号穴建物	甕	南床面	口縁～体 部上半 1/4	(20.0)	-	-	-	頸部に縞状文(5歯)、体 部に乱れた縦位縞縞羽状 文を描く	口縁横ナデ、体部内外 面はハケメ後内面に縞 ミガキ	灰黄褐 S	外面の頸部 下にイネ粉 圧痕1体部 外面の一部 に黒度
第319号 -	22190	6	8号穴建物	台付甕	南床面	体部一部 と脚部欠	11.8	-	-	-	頸部以下、体部全体にコ の字重文を描く	器面荒れて整形不明	にぶい S+赤粒	
第319号 -	21528	6	12号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口唇に粗い、頸部に反時 計回りの縞状文(6歯/15 mm、10～12mmスパン)、 体部に傾斜の強い縦位縞 縞羽状文を描く	内面縞ミガキ	灰褐 S	
第319号 -	21518	6	8号穴建物	高杯	P307脇	脚部	-	-	7.0	-	内外面に赤彩	赤彩部ミガキ、脚内面 はナデ	浅黄槽 S	
第319号 -	21516	6	8号穴建物	甕	南床面	底部	-	-	6.4	-	無文	外面はハケメ、内面と 底面は横ナデ	にぶい S	片面が黒度
第319号 -	22189	6	8号穴建物	甕	南壁際床 面	体部～底 部	-	-	5.8	-	体部に縞縞羽状文(4歯 /10mm)を描く。	内外面ともハケメ後、 ミガキ	にぶい S	外面の片面 S+白練多
第320号 -	21519	6	9号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	段状の横沈線で土痕を尚 し、以下に沈凹波状文と 横沈線を交互に2帯めぐ らす	外面は縞か肌いハケ メ、内面は縞ミガキ	灰白 S	
第320号 -	21520	6	9号穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内側口縁の口唇と外面に 縄文(1R系束)。頸部に縞 状文(4歯/12mm以上)をめぐ らす	口縁横ナデ	浅黄槽 S	
第320号 -	21521	6	9号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縞状文(4歯/12 mm)、体部に縦位縞縞羽 状文か片流れ状の縞縞文 を描く	外面は横ハケメ、内面 は肌い縞ミガキ	にぶい S	
第320号 PL-133	22192	6	9号穴建物	甕	南東壁際	口縁～体 部上半 1/3	(22.0)	-	-	-	器面割離により文様割 落と思われる。体部に縞 縞羽状文らしき痕跡を残す	外面に横ハケメ	粗 S+白砂土	

遺物観察表

第97表 弥生土器観察表 9・10・14・19・22号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第320区 -	22191	6	9号穴建物	甕	東寄り床 面	頸部~底 部約1/3	-	-	9.0	-	頸部に縷状文(5箇/14 cm)、体部にまぼろな縷 縷斜格子文を掻く	外面は目の粗いハケ メ、内面は細かいハケ メを施し、内面には粗 い横ミガキ	にぶい黄緑 S	体下部~底 部の1カ所 に黒斑
第320区 Pl.133	22394	6	9号穴建物	甕	町の西・ 南理土下 層	体一部欠 層	25.2	36.8	9.2	-	口側に縷文(1区)、内頸口 縁外面に2条沈線の波状 文、頸部に縷状文(8箇 /20mm、33~43mmスパン) をめぐらす。体部には縷 縷羽状文を掻く	内外面ハケメ後、外面 無文部に縦ミガキ、内 面は横ミガキ	粗 S+赤粘塵	
第320区 Pl.133	22193	6	9号穴建物	高杯	西隣床面	口縁~杯 体部1/2	(20.8)	-	-	-	内外面赤彩、口唇部の4 カ所に2個~1対の三角突 起を付す	ハケメ後横ミガキ	にぶい黄緑 S	対面する2カ 所に黒斑
第320区 -	21523	6	10号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縷文(1区)を地文として、 縷縷波状文(4箇/10mm)を めぐらす	外面ハケメ、内面ナデ	粗灰 S	
第320区 -	21525	6	10号穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内頸口縁の口唇と外面に 縷文(1区)、頸部に縷状文 (5箇/12mm以上)をめぐら す	口縁横ナデ、体部内面 はハケメを縦ミガキ	浅黄緑 S	
第320区 -	21524	6	10号穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内頸口縁外面に斜線充填 三角文を掻き、頸部には コの字垂ね文と思われる 沈線文様を掻く。三角文 頂部と頸部に円孔刺突を 加えた円形附付文を配す	内面ハケメ後ナデカ	浅黄緑 S	
第320区 -	21526	6	10号穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	(6.2)	-	無文	外面はミガキ、内面は ナデ	灰白 S	
第320区 -	21527	6	10号穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	4.5	-	無文	内外面ナデ、天井部 外面はミガキカ	灰黄 S	
第320区 -	21530	6	22号穴建物	甕	床面	口縁片	-	-	-	-	内頸口縁外面に縷縷波状 文(6箇以上)をめぐらす	横ナデ	粗 S+赤粘多	
第320区 Pl.134	22194	6	22号穴建物	壺	埋土	口縁一部 欠	5.0	11.0	6.4	-	無文	口縁横ナデ内外面ハケ メ後、内面にナデ、底 面は平坦な丁寧なナデ	にぶい黄緑 S	
第320区 -	21529	6	22号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	11.8	-	無文	外面は横ナデ、内面は 指頭と踵によるナデ、 底面は平坦なナデ	灰白 S	底面にイネ 粘土痕3底 部外面の一 部に黒斑
第320区 -	22195	6	22号穴建物	壺	埋土	体部下半 1/3	-	-	-	-	無文	内外面横ハケメ後、外 面はまぼろなミガキ	灰黄緑 S	内面の上位 と下端にイ ネ粘復2
第321区 -	21531	6	14号穴建物	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	頸部に3条(以上)の縷縷 (縷状文と同巧の止めあ り)をめぐらせ、肩部に 縷縷波状文と三文状記号 文と思われる1条沈線を 垂下する	外面無文部ミガキ、内 面はハケメとナデ	灰黄緑 S	頸穴として は欠番
第321区 -	21532	6	14号穴建物	甕	埋土	底部2/3	-	-	6.8	-	無文	内外面ミガキ底面はケ ズリ	灰黄緑 S	頸穴として は欠番
第321区 -	21533	6	19号穴建物	壺	埋土が陥 床面	体部片	-	-	-	-	無文	外面にハケメのほか に、目の粗い縷縷状員 による引っ掻き痕を残 しつつ、ミガキ内面は 板状員小口によるナデ	にぶい黄 S	
第321区 -	21535	6	19号穴建物	甕	埋土が陥 床面	頸部片	-	-	-	-	頸部に反時計回りの縷状 文(4箇/12mm、13mmスバ ン)、体部に縷縷羽状文 を施す	外面は細かいハケメ、 内面はナデカ	にぶい黄 S+赤・白粘	
第321区 -	21534	6	19号穴建物	鉢	埋土が陥 床面	体部~底 部	-	-	(7.0)	-	内外面赤彩、外面は縷縷 のみ	ミガキ底面はナデ	粗 S	

第98表 弥生土器観察表 19・20・25・26号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第321区 Pl. 134	22356	6	19号穴建物	甕	2号埋藏	口縁~底 部3/4	26.8	-	9.6	-	口唇に縄文(L)。体部に 縞帯羽状文(4條/1mm)を 施す	内外面ともハケメ後、 内面下半はナデと粗ミ ガキ	にぶい・黄褐色 S+白砂多	甲斐な被熱 痕や厚けが は見られないが、底面に 灰付着
第321区 -	21536	6	20号穴建物	壺	埋土	口頸部	(26.4)	-	-	-	受け口口縁の口唇と外面 に縄文(オオハコ文)を 施し、口縁外面には2条 沈線の波状文をめぐらす。 頸部は横沈線と沈線 波状文と思われる	口縁外面全体に横ナ デ、内面は全体に横ミ ガキ	浅黄褐色 S粗砂主	頸穴として は欠番
第321区 -	21539	6	20号穴建物	(壺)	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内側口縁の口唇と外面に 縄文(オオハコ文)を施 し、口縁には2条沈線の 波状文をめぐらす	内面ナデ、内面は丁寧 な横ミガキ	灰白 S粗砂主	頸穴として は欠番
第321区 -	21540	6	20号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口口縁の口唇に縄文 (L)。頸部に縞状文(7 mm/16mm)、その下位に縞 帯羽状文をめぐらす	内面は横ハケメ後、全 体に横ミガキ	粗灰 S+白砂片 多、輝石少	頸穴として は欠番
第321区 -	21537	6	20号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文として、 2条横沈線の区画内に1 条沈線波状文をめぐらす。 縞帯文を複数帯重ねる	内面測線で整形不明	にぶい・粗 S	頸穴として は欠番
第321区 -	21538	6	20号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文として、 2条横沈線の区画内に1 条沈線波状文をめぐらす。 縞帯文を複数帯重ねる	内面ナデ	にぶい・粗 S	頸穴として は欠番
第321区 -	21541	6	25号穴建物	壺	埋土	口頸部	(18.0)	-	-	-	頸部に縄文(オオハコ 文)を施し、3条の横沈 線をめぐらす。頸部には 3文状記号文と思われる 下沈線がみられる	外面はハケメ、内面は 丁寧な横ミガキ	にぶい・黄褐色 S	
第321区 Pl. 134	22196	6	25号穴建物	壺	埋土	頸~胴部	-	-	-	-	横沈線と沈線波状文の交 互施文、その下位に縞状 文(5mm/15mm, 13~15mm スパン)と沈線波状文を めぐらす	外面ハケメ後無文部横 ミガキ、内面ナデ	浅黄褐色 S	
第321区 -	21542	6	25号穴建物	壺か甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	30mmほどの輪の板小孔に よる押印で斜線列とす る。体部には縞帯羽状文 が斜行文	内面に横ハケメ	灰黄褐色 S	
第321区 -	22171	6	25号穴建物	台付甕	埋土	頸部片	-	-	(7.4)	-	無文	外面横ミガキ、内面ナ デ	粗 S	
第321区 -	21543	6	25号穴建物	壺	埋土 20号穴	底部	-	-	8.3	-	無文	外面横ミガキ、内面測 線で不明	明赤褐色 粗砂主	
第322区 Pl. 135	22197	6	26号穴建物	壺	P9の上	口縁大部 分と体部 1/2次	(12.7)	29.0	8.8	-	頸部に2条(以上)の横沈 線をめぐらす	外面にハケメ痕を残す が、器面荒れて整形不 明	にぶい・粗 S+粗砂~細 砂多	
第322区 -	21544	6	26号穴建物	壺	P3付近	口頸部 3/4	14.3	-	-	-	口唇に板小孔による粗 み。頸部に3条(以上)の 横沈線をめぐらす	外面ハケメ、内面は丁 家な横ナデ	にぶい・黄褐色 S	
第322区 -	21545	6	26号穴建物	壺	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	内側口縁外面に2条沈線 の波状文をめぐらす	外面ナデ、内面横ミガ キ	灰白 S	
第322区 -	22279	6	26号穴建物	壺	P3付近	頸部~体 部1/4	-	-	-	-	頸部に縄文(L筋?)と思 われる面線、その上に5 条の横沈線をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい・黄褐色 S	
第322区 -	22198	6	26号穴建物	壺	P413	頸~胴部	-	-	-	-	縄文(L)を地文として、 3条の横沈線をめぐらす	器面測線で荒れて整形 不明	粗 S粗砂主	
第322区 Pl. 135	22208	6	26号穴建物	壺	P9付近	頸部~体 部3/4	-	-	-	-	頸部に2条の横沈線をめ ぐらす	内外面ハケメ後、外面 は縦ミガキ、内面の上 位はナデ	浅黄 S	内外面の上位に種瓦正 組

遺物観察表

第99表 弥生土器観察表 26・27号竪穴建物

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第322号 -	21548	6	26号穴建物	甕	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	内側(口縁)の口外と外面に縄文(LR)。口縁には2条沈線の波状文。頸部に縄文(帯曲線不明)をめぐらす	内面ミガキ	灰白 S+輝石等有 色鉱物多	
第322号 -	21549	6	26号穴建物	甕	埋土下層	口縁~体 部上半	-	-	-	-	口外に刻み縄文(原体不明)。体部に帯曲線状文(6~7周/13~14cm)を間隔を変けて4帯めぐらす	内面横ミガキ	灰白 S+赤	口縁内面に イネ附圧痕 1
第322号 -	21547	6	26号穴建物	甕	埋土下層	頸部~体 部	-	-	-	-	頸部に縄文(5周/9cm、13cmスパン)。体部にコノ字垂ね文を描き、交点部に小さな円形附付文を付す	内外面ハケメ後、内面は丁寧な横ミガキ	灰黄褐 白岩片の粗 砂~細砂多 く。輝石等 有色鉱物は 少	内面にイネ 附圧痕1
第322号 Pl.134	21546	6	26号穴建物	甕	埋土下層	口縁~体 部1/3	(15.3)	-	-	-	口外に縄文(R)。体部にコノ字垂ね文を描く	口縁横ナデ、体部外面はハケメ、内面全体に横ミガキ	灰白 S附砂主	外面体部の 1カ所に黒 痕。内面中位 以下にこげ 付き痕
第322号 -	21551	6	26号穴建物	台付甕か 高杯	埋土下層	脚部1/4	-	-	(7.2)	-	無文	内外面ハケメ後、外面に削い縦ミガキ	灰白 S	やや成熟色 変
第322号 -	21550	6	26号穴建物	鉢	埋土下層	底部	-	-	6.1	-	内外面に赤彩	内外面ミガキ、底面は削いミガキ	灰白 S	
第322号 -	22189	6	26号穴建物	甕	埋土下層	頸部~体 部1/3	-	-	-	-	頸部に縄文(7周/15cm、14~20cmスパン)、体部に帯曲線状文を描く。	内外面横ハケメ後、内面に削い横ミガキ	灰白 S	
第322号 Pl.134	22204	6	27号穴建物	壺	中央埋土 下層	口縁~体 部上半	22.2	-	-	-	口外と受け口外面、頸部に縄文(LR)。頸部には4条の横沈線をめぐらす	内外面ハケメ後、内面はナデ	灰黄褐 S	外面に幅4cm (8mm幅の平 行束)の帯状 色変が斜格子 を構成する。 頸部直下 には横帯と 思われる直 線あり。体部 を包んだ有 機質の籠目 と考えられ る
第322号 -	21552	6	27号穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口外に縄文(LR)	器面荒れて整形不明	灰白 S+赤	
第322号 -	22203	6	27号穴建物	壺	中央埋土 下層	口縁~体 部上半	16.0	-	-	-	口外と頸部に縄文(若い穂先のオオハコ文と思われる)。頸部に3条の横沈線による横帯区画をめぐらせ、なかに沈線波状文を描く	外面ハケメのちミガキ。内面は体部が笠ナデで口頸部が横ミガキ	灰白 S	
第323号 Pl.134	22201	6	27号穴建物	壺	中央埋土 下層	口縁~体 部	22.0	-	-	-	口外と頸部に縄文(LR)。頸部には2条の横沈線をめぐらす	外面はハケメ後縦ミガキ。口縁内面は横ミガキ。体部内面は赤彩で不明	浅黄橙 S	
第323号 -	21553	6	27号穴建物	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	削い沈線波状文を間隔を変けて垂下する	外面はハケメ後ミガキ。内面は削彩で不明	黄灰 S	
第323号 -	21554	6	27号穴建物	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	3文状記号文を複数、間隔を変けて垂下する	外面はミガキ。内面ハケメ	黄灰 S	
第323号 -	22206	6	27号穴建物	壺	中央埋土 下層	口頸部片	(18.7)	-	-	-	受け口の口外に縄文(LR)	内外面ハケメ後、口縁は横ナデ。頸部内面は横ミガキ	灰白 S	

第100表 弥生土器観察表 27・28号竪穴建物

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第323回 Pl.134	22202	6	27号穴建物	壺	中央埋土 下層	体部上半	-	-	-	-	2帯を並行させた櫛歯直線文(6画/17mm)を4か所均等に垂下し、胴部最大幅部に2条沈線波状文と1条横沈線をめぐらす	内外面ハケメ後、外面無文部はミガキか。	にぶい・黄緑S	下縁が一部欠損するが、磨滅しており、かり土器として転用の可能性あり
第323回 Pl.134	22207		27号穴建物	壺	中央埋土 下層	体部	-	-	-	-	無文	ハケメ後、外面はミガキ、内面は上位をナデ	にぶい・黄S	上縁破損部が全周して磨滅、全体が被熱色変していることから、上縁を土にしたが内土面に転用された可能性あり
第323回 -	22209	6	27号穴建物	壺	東埋土下層	胴～体部 中位	-	-	-	-	胴～胴部で縄文(LR)を地文として、横沈線による横帯区画内に沈線山形文をめぐらす。下位に1条の横沈線をめぐらす	内外面ハケメ後、外面は縦ミガキ、内面はナデ	にぶい・黄緑S・白砂土	胴部内面に長さ4mmの楕円形窪み1個
第323回 -	22200	6	27号穴建物	甕	中央埋土 下層	口縁～体部 上半片	(22.0)	-	-	-	口内に指頭明し。体部には櫛歯羽状文と思われる面跡を残す	内外面ハケメ後、内面は縦ミガキと思われる。	黄緑S+白岩片粗砂多	
第323回 -	22210	6	27号穴建物	甕	中央埋土 下層	口縁～体部 約1/5	(15.0)	-	-	-	受け口縁の外面に縄文(LR)を地文として、2条沈線波状文をめぐらす。頸部～体部に櫛歯波状文(5画/12mm)を12～13帯重なる	ハケメ後、体部下半をミガキ内面全体に縦ミガキ	灰黄緑S	
第323回 -	21555	6	27号穴建物	甕	埋土	胴～体部 上半片	-	-	-	-	胴部に櫛状文(5画/12mm、15～17mmスパン)をめぐらせて、円形窪み文を付す。体部に櫛歯直線文を重ねて垂下する	外面はナデ、内面磨れて整形不明で整形不明	灰黄緑S+赤礫	
第323回 -	21556	6	27号穴建物	台付裏か蓋	東埋土	頸部か胴 み部	-	-	(7.6)	-	無文	外面はミガキ、内面はナデ	灰黄緑S	被熱直が不明瞭で蓋跡みの可能性あり
第323回 -	22205	6	27号穴建物	台付裏	中央埋土 下層	体部～脚部	-	-	9.1	-	体部に縦沈線によるコ字重文を描く	ハケメ後、外面は縦ミガキ、内面は横ミガキ	にぶい・黄S	脚部は被熱色変
第324回 -	22213	6	28号穴建物	壺	埋土下層	口頸部	11.4	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に段状の横沈線を上下めぐらせて低い凸帯状とし、なかに横沈線を1条めぐらす	外面はハケメ後ミガキ、内面は口縁を横ミガキ、胴部はナデ	にぶい・黄緑S	
第324回 -	22215	6	28号穴建物	壺	埋土下層	口縁～体部 上半	12.8	-	-	-	口内に縄文(原形不明)。胴部に3帯の縄文(LR)帯を横位に施す	器面磨れて整形不明	灰白S	
第324回 -	21559	6	28号穴建物	壺	埋土下層	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、4条(以上)の横沈線をめぐらす	外面は縦ミガキ、内面はナデ	にぶい・赤緑S+白礫多	
第324回 -	21560	6	28号穴建物	壺	埋土下層	頸部片	-	-	-	-	頸部に段状の横沈線で上帯を画し、縄文(LR)を地文として、沈線山形文と横沈線をめぐらす	器面磨れて整形不明	黄S+白礫多	
第324回 -	21562	6	28号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、横沈線による横帯区画に刺突列と縦沈線波状文をめぐらす。下位に沈線区画刺突列の副衝文	内面ナデ	にぶい・黄S	

遺物観察表

第101表 弥生土器観察表 28号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包囲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第324区 -	21557	6	28号穴建物	甕	埋土下層	体部上半片	-	-	-	-	押し引きの沈線ないし削突印点で区画した櫛歯直線文(8箇/17mm)充填の懸垂文を複数(8箇所)描く。体部中央には、2条の横沈線(上位は押し引き)による横位区画内に陶縄文(オオバコ文)を充填し、沈線状文をめぐらす。懸垂文の間隙は赤彩。	外面はハケメ、内面はナデと上位は粗いミガキ	にぶい黄褐色	S
第324区 -	21558	6	28号穴建物	甕	埋土下層	体部上半片	-	-	-	-	頸部に縄文(1区)を施し、横沈線をめぐらす	器面荒れて整形不明	粗 S(粗砂土)	
第324区 -	22173	6	28号穴建物	甕	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口内に板小口による刻み、受け口外面と頸部(以下)に櫛歯状文(6箇/20mm)をめぐらす	口縁横ナデ内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色	頸部内面に径4mmの棒状圧痕
第324区 -	21561	6	28号穴建物	甕	埋土下層	体部片	-	-	-	-	櫛歯状文(4箇/8mm)を5帯(以上)横位にめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい褐色 S+赤褐色	
第324区 -	22211	6	28号穴建物	甕	P8上	胴~体部	-	-	-	-	頸部に縄文(1区系帯)を地文として、横沈線をめぐらせ、下位に縦間文を描く	ハケメ後外面に粗ミガキ、内面は削磨で不明	にぶい粗 S	
第324区 -	22172	6	28号穴建物	甕	埋土下層	口縁~体部上半	(14.6)	-	-	-	口内に縄文(1区)。頸部に櫛状文(5箇/10mm、7~13mmスパン)。体部に片流れ状の縦位櫛歯引状文。施文は櫛歯引状文が下から上の時計回り方向で、櫛状文の前に施文する。櫛状文は時計回り方向だが、止めスパンが一定しない。	口縁外面横ナデ、内面全体に丁寧な横ミガキ	灰黄褐色	S
第324区 -	22174	6	28号穴建物	甕	埋土下層	胴~体部	-	-	-	-	頸部に櫛状文(6箇/11mm、9~10mmスパン)、体部に櫛歯引状文を描く。櫛歯引状文の施文は、上→下のうち左隣接区画で下→上の順	外面ハケメ、内面は丁寧な横ミガキ	黄灰 S	
第324区 -	22176	6	28号穴建物	甕	埋土下層	体部	-	-	-	-	櫛が流状文を5帯以上横位に施し、櫛歯直線文(5箇/14mm)を垂下する	外面はナデ、内面は丁寧な縦横のミガキ	暗灰褐色 S(粗砂土)	
第324区 -	22217	6	28号穴建物	甕	埋土下層	口縁~体部上半	(20.8)	-	-	-	口内に板小口による刻み、受け口外面と頸部直下に櫛歯状文(5箇/15mm)をめぐらす	口縁横ナデ、内面は粗い横位ナデ	にぶい粗 S+赤褐色	
第324区 -	21565	6	28号穴建物	鉢	4号竪穴重複部	体部~底部	-	-	5.8	-	無文	内外面とも丁寧なミガキ	浅黄 S	底面は削磨著しい
第324区 -	22216	6	28号穴建物	甕	埋土下層	口縁~体部	(18.0)	-	-	-	口内に縄文(1区)。頸部に櫛状文(18~22mmスパン)、体部に櫛歯引状文(7箇/16mm)を施す	ハケメ後、口縁は横ナデ、体部内面は横ミガキ	にぶい粗 S	
第324区 -	21563	6	28号穴建物	甕	埋土下層	底部	-	-	7.5	-	無文	内外面ミガキ、底面がゴリ後粗いミガキ	灰灰 S	
第324区 -	22175	6	28号穴建物	甕	埋土下層	体部	-	-	-	-	縄文(1区)を地文としてゴの字帯ね文を描く。ただし、「J」ではなく「J」を交互に重ねる。	内面に丁寧な横ミガキ	にぶい黄褐色 S(粗砂土)	
第324区 -	21564	6	28号穴建物	甕	北側未面 4号竪穴重複部	底部	-	-	8.3	-	無文	内外面ハケメ後、外面はミガキ、底面はケズリ	粗 S+赤	底面にイネ稗圧痕1
第324区 -	22170	6	28号穴建物	甕	P10上	体部下半~底部	-	-	12.3	-	無文	内外面ハケメ後、粗いミガキ。底面はケズリ後ミガキ	灰黄褐色 S	底面周縁は赤褐色全体に黒斑

第102表 弥生土器観察表 29・30号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第325区 -	2222	6	29号穴建物	壺	P2輪床面	口縁部 1/3	(16.2)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)。 頸部の上下限を横比線で 画し、下位の頸部に2条 沈線を重ね下する。	器面荒れて整形不明	浅黄褐色 S100砂土	
第325区 -	2218	6	29号穴建物	壺	床面	口縁～体 部上半	14.8	-	-	-	口縁及び肩～頸部に縄 文(オオハコ文)を施し、 頸部に2条の横比線、肩 部に2条の沈線沈状文を めぐらす。	口縁1か所に蓋家跡孔 を穿つ。口縁外面は横 ミガキ、口縁内面は横 ミガキ、体部内面はハ ケミナデ	にぶい黄褐色 S100砂土	
第325区 -	21569	6	29号穴建物	壺	埋土下層	肩部片	-	-	-	-	頸部文(オオハコ文)を 施し、2条横比線と2条沈 線沈状文をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄褐色 S	
第325区 -	21570	6	29号穴建物	壺	炉内	肩部片	-	-	-	-	斜線充填顔面文をめぐ らす	器面荒れて整形不明	灰白 S100砂土	
第325区 -	22224	6	29号穴建物	壺	埋土下層	体部上半 片	-	-	-	-	体部中に沈線山形文と 横比線をめぐらせて上 限を画し、下位に重 塗灰文を施す。	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S100砂土	
第325区 PL.135	22223	6	29号穴建物	壺	炉内	体部上半	-	-	-	-	下限を管状刻突列点 で画した縄文帯(LR)と 沈線山形文の横位文 帯を肩部と体部中に めぐらす。いずれも 下端に段状の沈線を めぐらせ、凸部状に 際立たせている。	内外面横ハケミ後、 外面は斜い刷～縦 ミガキ、内面は横 ミガキ、底面は斜 い刷ミガキ	灰白 S	
第325区 -	22220	6	29号穴建物	壺	床面	体部～底 部	-	-	8.0	-	無文	外面はハケミ後ミ ガキ、内面は刷面 で不明	灰白 S	
第325区 -	21571	6	29号穴建物	甕	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)。受 付口外面に2条沈線 沈状文をめぐらす	外面横ナデ、内 面は横ミガキ	灰黄褐色 S	
第325区 -	22232	6	29号穴建物	甕	P2輪床面	体部	-	-	-	-	帯幅斜格子文(5 mm/12mm前後)を 施す	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第325区 PL.135	22238	6	29号穴建物	鉢	床面	口縁の大 部分欠	(26.4)	7.8	6.2	-	内外面に赤彩	外面にハケミ残す。 内面は赤彩後ミ ガキ	浅黄褐色 S+赤	外面の一部 黒皮外面の 顔料は剥落 著しい
第325区 -	22221	6	29号穴建物	壺	P2輪床面	体部下半 ～底部	-	-	10.6	-	無文	外面は縦ミガキ、 内面は横ハケミ、 底面は横ナ デ	にぶい黄褐色 S	底面割断
第325区 -	21572	6	29号穴建物	付付甕	埋土下層	脚部	-	-	-	-	無文	外面は丁字な縦 ミガキ、内面は ハケミ後ナ デ	灰 S	外面に径3 mm、長さ12mm の管状口直
第325区 -	21576	6	29号穴建物	壺	床面	底部	-	-	7.5	-	無文	外面ハケミ後斜 いミガキ、内 面は斜い横 ミガキ	灰黄褐色 S100砂土	底面割断 部下層の両 側に黒皮
第325区 -	22237	6	29号穴建物	壺	床面	体部下半 ～底部	-	-	8.1	-	無文	外面はハケミ後 ミガキ、内面 は丁字なナ デ	にぶい黄 褐色 S	
第326区 -	21577	6	30号穴建物	壺	埋土	口縁部 3/4	21.3	-	-	-	口縁と受け口外面 及び頸部に縄文(LR)。 口縁外面には1 条の沈線沈状文を めぐらす。頸部 には横比線沈 線をめぐらす	外面はナデ、内 面はハケミ後 斜いミガキ	黄褐色 S100砂土	
第326区 -	21578	6	30号穴建物	壺	埋土	口縁部 1/2割	(12.0)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR) 糸。頸部に横比線 で上限を画し、沈 線による横位引 線文をめぐらす	口縁横ナデ、 頸部外面は ハケミ	灰白 S100砂土	片面に黒皮
第326区 -	22239	6	30号穴建物	壺	埋土	口縁部 1/2	(12.0)	-	-	-	無文	口縁横ナデ、 頸部内外 面にハケミ 後、内面に ナデ	灰白 S	
第326区 -	21608	6	30号穴建物	壺	埋土	口縁部 1/4	(21.0)	-	-	-	口縁と口縁内面に 縄文(LR)	器面荒れて整形不明	にぶい黄 褐色 S	
第326区 -	22240	6	30号穴建物	壺	埋土	頸～肩部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文 として、大振り の沈線沈状文を めぐらす	内外面ハケミ後、 外面は斜い ミガキ	にぶい黄褐色 S+輝石多	黒皮還元

遺物観察表

第103表 弥生土器観察表 30号竪穴建物

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第326図 -	21581	6	30号竪穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内側口縁の外面に2条平行沈線(半藁竹管か)による波状文をめぐらす。内面赤彩	ハケム後ミガキ	にぶい・黄 S	外にも赤 彩の可能性 あり
第326図 -	21584	6	30号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、3条の横沈線をめぐらせ、下位に沈線波状文をめぐらす	内面荒れて整形不明	にぶい・黄 S	
第326図 -	21582	6	30号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、2条の横沈線と、なかに沈線波状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい・黄 S 黒め土	
第326図 -	21580	6	30号竪穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口内に縄文(LR)	口縁横ナデ、内外面ハケム	灰黄褐 S	
第326図 -	21583	6	30号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、上段を横沈線で直し、2帯の縹状文(10mm/18mm、18~20mmスパン)と下位に縹縹縹文をめぐらす	内面ナデ	灰黄 S	
第326図 -	21593	6	30号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	上位に横沈線をめぐらせ下位に縹縹文(オオハコ文)を飾す	内面ナデ	灰黄褐 S	21594と同一 個体の可能 性あり
第326図 -	21594	6	30号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	上位に横沈線、下位に縹縹文(オオハコ文と思われる)を飾す	内面ナデ	にぶい・黄褐 S	天地逆の可 能性あり
第326図 -	21590	6	30号竪穴建物	甕	埋土	肩部片	-	-	-	-	沈線区画で縹縹波状文(7mm/18mm)を充填した懸垂文	内外面ともハケム	浅黄 S	
第326図 -	21586	6	30号竪穴建物	甕	埋土	肩部片	-	-	-	-	沈線区画内に縹縹波状文(5mm/13mm)を充填した懸垂文を描く	器面荒れて整形不明	浅黄褐 S	大部分黒炭
第326図 -	21588	6	30号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	垂直縹文をめぐらせ、1帯おきき三日月形突起を充填し、残った帯をミガキ消す	外面ハケム、内面は半縹な板状具小口によるナデ	にぶい・黄褐 S	
第326図 -	21587	6	30号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線区画に縹縹波状文(4mm/9mm)を充填した懸垂文	外面はハケム後、無文部ミガキ、内面はナデ	灰褐 S	21580と同一 個体の可能 性あり
第326図 -	21589	6	30号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線区画で縹縹波状文を充填した懸垂文の下位に、3条の横沈線をめぐらせて縹縹文様帯区画とし、上位から新突形点文、沈線山形文をめぐらす	外面はハケム後無文部ミガキ、内面はナデ	にぶい・黄褐 S	
第326図 -	21591	6	30号竪穴建物	甕	埋土	肩部片	-	-	-	-	三叉状記号文を垂下する	外面ミガキ、内面は下位にハケム、上位がナデ	灰白 S	
第326図 -	21592	6	30号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	三叉状記号文を垂下する	内外面ハケム後、内面はナデ	にぶい・黄褐 S+輝石多	
第326図 -	21601	6	30号竪穴建物	甕	埋土	口頭部片	-	-	-	-	受け口の口内と外面に縄文(LR)、口縁外面には2条沈線波状文、頸部に縹縹波状文をめぐらす	内面は口縁横ナデ後、粗い縹縹ミガキ	浅黄褐 S	
第326図 -	22241	6	30号竪穴建物	甕	埋土	体部~底部	-	-	(10.0)	-	無文	ハケム後、外面ミガキ、内面ナデと思われるが不鮮明	にぶい・黄 S	
第326図 -	21599	6	30号竪穴建物	甕	埋土	口頭部	-	-	-	-	内側口縁の口内に縄文(LR)、頸部以下に縹縹波状文(5mm/14mm)を2帯(上)にめぐらす	内外面ハケム後口縁に粗い縹縹ミガキ、体部内面は丁寧な縹縹ミガキ	浅黄褐 S	
第326図 -	21598	6	30号竪穴建物	甕	埋土	口縁~体部上半片	-	-	-	-	口内に縄文(LR)、頸部に縹縹文(5mm/10mm、15mmスパン)、体部に縹縹羽状文を描く	口縁横ナデ体部はハケム後、内面に粗いミガキ	にぶい・黄褐 S	全体に焼熟 色変

第104表 弥生土器観察表 30・31号竪穴建物

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)					
第326区 -	21600	6	30号穴建物	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口側に縄文(LK)。頸部に 垂状文(6歯/11mm、13~ 16mmスパン)をめぐらせ、 体部に片流れ状の縞縞羽 状文を描く	内外面ハケメ後口縁縞 ナデ。内面は粗いミガ キ	浅黄槽 S	器底還元	
第326区 PL-135	22242	6	30号穴建物	台付甕	埋土	口縁~ 体部1/2割	(13.0)	-	-	-	口側に縄文(LK)。頸部に 垂状文(5歯/7mm、9~11 mmスパン)。体部に縞縞 流状文を6歯重ねる。垂 文は上~下の順	ハケメ後、内外面ミガ キ	にぶい槽 S	内面全体に コゲ付き直	
第326区 -	22243	6	30号穴建物	台付甕	埋土	頸~体部	-	-	-	-	無文	内外面とも丁寧なミガ キ	灰黄 S	片面に黒斑	
第326区 -	21604	6	30号穴建物	甕か 台付甕	埋土	体部上位 片	-	-	-	-	頸部に垂状文(8歯/14mm、 16mmスパン)。体部に沈 線でコの字重ね文を描く 頸部に縞縞流状文をめぐ らせ、体部には縞縞羽状 文(5歯/12mm)を描く	内面は丁寧な横ミガキ ギ	浅黄槽 S 黒砂土	内面にコゲ 付き直	
第326区 -	21602	6	30号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縞縞流状文をめぐ らせ、体部には縞縞羽状 文(5歯/12mm)を描く	内面は丁寧なナデ	にぶい周 S		
第326区 -	21603	6	30号穴建物	甕	埋土	体部上位 片	-	-	-	-	頸部に垂状文(6歯/16mm、 14mmスパン)。体部に単 位の小さい縞縞羽状文を 描く	内面は丁寧な横ミガキ ギ	灰黄周 S		
第326区 -	21605	6	30号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	密で整った縦位縞縞羽状 文(6歯/15mm)を描く	内面にハケメを残す が、器面荒れて不明瞭	粗 赤・白硬多		
第326区 -	21610	6	30号穴建物	(逆)	埋土	体部	-	-	-	-	無文	外面にハケメ、内外目 ともナデを残す	灰 S	2次の焼成で 器面ひび割 れ、発泡	
第326区 -	21607	6	30号穴建物	甕	埋土	体部下 半~ 底部	-	-	8.2	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ、内面は割離で不明 底面は粗いミガキ	灰黄周 S+輝石多	外面の片面 に黒斑、内面 全体は還元	
第327区 PL-135	22244	6	30号穴建物	鉢	埋土	口縁~体 部2/3	16.9	-	-	-	埋土	ハケメ後、内外面ミガ キ	にぶい周 S+輝石多	全体に黒斑	
第327区 -	22398	6	30号穴建物	高杯か鉢	埋土	口縁~体 部1/3	(16.4)	-	-	-	内外面に赤彩。口縁の4 方に2割~1割の縞状突起 を配し、一部に2孔~1 孔の穿孔	内外面とも横ミガキ	浅黄槽 S		
第327区 -	21579	6	30号穴建物	鉢	埋土	口縁~体 部1/4	(26.8)	-	-	-	無文	口縁下に2孔~1孔の縞 縞孔を穿つ。外面は横 ミガキ、内面荒れて整 形不明	浅黄槽 S		
第327区 PL-135	22245	6	30号穴建物	片口鉢	埋土	口縁~体 部1/3欠	7.8	8.7	4.3	-	無文	外面横ミガキ、内面の 下位はミガキ、中~上 位はナデ	にぶい黄槽 S	片口部欠損 するが、口唇 の歪みから 片口と判定	
第327区 -	21596	6	30号穴建物	壺	埋土	体部下 半~ 底部 1/3	-	-	(8.0)	-	無文	内外面ハケメ後、外面 ミガキ	にぶい槽 S		
第327区 -	21606	6	30号穴建物	甕	埋土	体部下 位~ 底部	-	-	6.9	-	無文	外面ハケメ後横ミガ キ、内面は粗いミガ キ	にぶい周 S	種実の匂い ある庄内14 ヶ所(サンブ ルNo.321~ 333)	
第327区 -	21597	6	30号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	11.8	-	無文	外面ミガキ、内面は割 離で不明。底面ケズリ 後粗いミガキ	にぶい黄槽 S		
第327区 -	21595	6	30号穴建物	壺	埋土	底部片	-	-	(8.0)	-	外面赤彩	外面赤彩後横ミガキ、 内面はハケメ底面ケズ リ	にぶい黄槽 S 黒砂土		
第327区 -	21609	6	30号穴建物	高杯	埋土	結合部	-	-	-	-	内外面赤彩。	脚部内面はナデ	粗灰 S		
第327区 PL-135	22247	6	31号穴建物	壺	埋土	44号竪 穴重層部	17.0	42.1	10.3	-	口唇と頸部に縄文(LK)。 頸部には3本の縞縞線 をめぐらす	外面はハケメ後粗いミ ガキ、口縁内面は横ミ ガキ、体内面は割離著 しく不明	灰黄周 S	体~底部の 広範囲に黒 斑、内面還元	

遺物観察表

第105表 弥生土器観察表 31号壺穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第327区 -	22253	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	口頸部 1/2	17.2	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)。 頸部には段状の横沈線を めぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+赤錆	
第327区 PL.135	22264	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	体部1/4 欠	16.5	37.2	9.0	-	口頸と頸部全体に縄文 (LR)。頸部に3条の横沈 線をめぐらす	口縁横ナデ、外面はハ ケメ後継ミガキ。内面 は口縁部横ミガキ。頸 部以下はナデ	にぶい黄橙 S	
第327区 -	21611	6	31号壺穴建物	壺	埋土	口頸部片 (15.5)	-	-	-	-	口頸と頸部に縄文(オ オハコ文)を施し、頸部 には3条の横沈線をめぐ らす	口縁横ナデ、外面は縦 ハケメ。内面は横ミガ キ	浅黄橙 S	
第327区 PL.136	22200	6	31号壺穴建物	壺	埋土	体部下平 欠	12.4	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と して、3条の横沈線をめ ぐらす	外面ハケメ後継ミガ キ。内面は割離で不明 瞭	浅黄橙 S	
第327区 -	21613	6	31号壺穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	無文	内面ナデ痕を残すが、 全体に器面荒れて不明 瞭	浅黄橙 S+輝石多	
第328区 PL.136	22246	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	体の一部 欠	14.0	33.8	9.1	-	口頸に縄文(LR)。頸部に 縄文を地文として、段状 横沈線をめぐらせて上層 を画し、下位に2条の横 沈線をめぐらす	内外面ハケメ後、外面 に削いミガキ。内面に ナデ	にぶい橙 S+輝石多	底面にイネ 類1段2底面 1ヶ所に黒斑
第328区 -	22257	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	体部下平 ~底部欠	13.2	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)。 頸部に3条の横沈線をめ ぐらせて横位区画とし、 中に沈線波状文をめぐら す	内外ハケメ後削いミガ キ。内面は丁字ナデ	灰白 S+赤粒等細 砂多	
第328区 -	21612	6	31号壺穴建物	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	頸部に縄文(オオハコ 文)を施し、3条横沈線を めぐらせ、上位2条間に 沈線山形文を描く	内外面ハケメ後、内面 に削いミガキ	灰白 S+輝石多	
第328区 -	21615	6	31号壺穴建物	壺	埋土	頸~体部 上位片	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と して、横沈線の横帯区画 内に2条縦沈線による小 形みな波状文をめぐらす	内外面ハケメ、内面ナデ	にぶい黄橙 S+輝石多	
第328区 PL.136	22259	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	体部下平 以下欠	18.0	-	-	-	受け口外面と頸部に縄文 (LR)。口縁外面には2条 沈線波状文、頸部には3 条横沈線をめぐらす	外面には一次整形の斜 ハケメを残すが、器面 整形は荒れて不明	にぶい橙 S	体外面の一 部に埋没以 降と思われ る陪色変
第328区 PL.136	22248	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	体の一部 欠	14.1	36.1	10.9	-	内頸口縁の口頸と頸部に 縄文(LR)。頸部に3条の 横沈線をめぐらせ、上位 2条の間に沈線波状文を めぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S+輝石多	
第328区 PL.136	22251	6	31号壺穴建物	壺	44号壺穴 重複部	口縁1/2、 体部下平 欠	17.2	-	-	-	頸部に3条の横沈線と下 位に沈線波状文をめぐら す	内外面ハケメ後口縁は 横ナデ。頸~体部外面 は削いミガキ。口縁内 面はミガキ、体部内面 はナデ	にぶい黄橙 S	
第328区 PL.136	22262	6	31号壺穴建物	壺	埋土	体部下平 以下欠	12.3	-	-	-	口頸と頸部に縄文(LR)	外面はハケメ、内面は 口縁の横ナデ以外割離 で不明	灰白 赤・無色錆 多	
第328区 -	21616	6	31号壺穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	段状の横沈線で凸帯状の 横帯区画をめぐらせ、な かに縄文(LR)を施す	内面ナデ	にぶい黄橙 S	
第328区 PL.137	22258	6	31号壺穴建物	壺	埋土	口縁と体 の一部欠	(15.2)	(37.5)	8.0	-	頸部~胴部に縄文(LR)。 2条の横沈線区画内に沈 線波状文をめぐらす。文 様帯を2段とし、最下段 に沈線波状文をめぐらす	器面の荒れと割離が著 しく、文様、整形とも 不明瞭	浅黄橙 S+輝石多	体部片面に 黒斑

第106表 弥生土器観察表 31型竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第329区 Pl.-137	22267	6	31型穴建物	竪	44号型穴 重覆部	体の一部 欠	17.4	42.0	9.3	-	口押と頸部に縄文(1区)。 頸部に肩状の横沈線と上 限を画し、下位横沈線と の間に2条沈線波状文を めぐらす。その下位に斜 線充填刷面文を描く。体 部上半の外側には、頸部 から分離した杖型で三叉 状記号文を垂下する。	外面はハケメ、内面は ナデと思われるが、測 量で不明	浅黄橙 S	底面刷面
第329区 -	22256	6	31型穴建物	竪	埋土	口頸部	17.2	-	-	-	内側口縁の外側に2条沈 線の波状文をめぐらす。 頸部には2条横沈線間に 板小孔による刺突列点。 下位に斜線充填刷面文と 最下位には横沈線をめ がらせて区画する。	内外面ハケメ後、外面 はミガキ、内面は頸部 以上をナデ	浅黄橙 S+細砂土	
第329区 -	21614	6	31型穴建物	竪	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(1区)を地文 として、2条の横沈線と 集束斜線充填の刷面文 をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄橙 S	
第329区 Pl.-137	22249	6	31型穴建物	竪	44号型穴 重覆部	口縁1/2、 体部下平 欠	21.2	-	-	-	口押に縄文(1区)。頸部に 2条横沈線の帯状内に、 時計まわり帯状文(5箇 /16cm、20cm×1.5cm)。 その下位に帯幅波状文、柳 細横線文をめぐらす	外面ハケメ後ミガキ、 口縁内面は横ミガキ、 頸部内面はナデ	にぶい黄橙 S	
第329区 Pl.-137	22255	6	31型穴建物	竪	埋土	体部上半	-	-	-	-	頸部に縄文(1区)を地文と して、横沈線をめぐらす。 頸部から体部上半に三叉 状記号文を2条並べて垂 下する。左側1条は波状 軸線で、右側は先端が「J」 字状となる	外面はハケメ、内面は 測量で不明	浅黄橙 S	
第329区 Pl.-137	22252	6	31型穴建物	竪	44号型穴 重覆部	頸部～底 部	-	-	7.1	-	頸部に2条平行沈線(平截 竹管か)による横線文を めぐらす	外面はミガキ、内面は ナデと思われる	浅黄橙 S+赤鐵	
第329区 -	22280	6	31型穴建物	竪	北東床面	頸～体部	-	-	-	-	頸部に1条の横沈線、そ の下位に4条の沈線波状 文をめぐらす	内外面ハケメ後外面は 横ミガキ、内面はナデ	明黄橙 S	
第329区 -	21617	6	31型穴建物	台付裏	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(1区)を地文として、 斜線充填三角文を描く。 頂点部分には小孔を刺突 した円形貼付文を付す	外面無文と内面にミ ガキ	にぶい黄橙 S	
第329区 -	21618	6	31型穴建物	竪	埋土	体部片	-	-	-	-	大振り斜線充填刷面	内外面ハケメ後、外面 無文部にミガキ	明黄 S	
第329区 -	21619	6	31型穴建物	竪	埋土	体部下平 ～底部	-	-	(6.0)	-	無文	内外面ハケメ後外面は 横ミガキ、内面は測 量で不明だがナデと思 われる	にぶい黄橙 S	
第329区 -	22281	6	31型穴建物	竪	44号型穴 重覆部	体部中位 片	-	-	-	-	上位に2条の横沈線5箇 内に沈線山形文。その下 位に大振りの斜線充填 刷面文を描く。刷面文の 上位交点部に小円形貼付 文を付す	内外面ハケメ後、外面 無文部に横ミガキ	にぶい黄橙 S	
第329区 -	22261	6	31型穴建物	竪	埋土	体部～底 部	-	-	10.6	-	体部中位に2条沈線によ る短い波状文を描く	内外面ハケメ後、内面 はナデ	淡黄 S	
第330区 -	22254	6	31型穴建物	竪	44号型穴 重覆部	体部下平 ～底部	-	-	8.7	-	無文	内外面にハケメ後、外 面はミガキ	浅黄橙 S+輝石多	底部黒面
第330区 -	22274	6	31型穴建物	竪	東床面	体部下平 ～底部	-	-	7.0	-	無文	内外面にハケメ後、外 面に横ミガキ	にぶい黄橙 S	底面に確実 圧痕
第330区 -	22263	6	31型穴建物	竪	埋土	体部下平 ～底部	-	-	10.8	-	無文	内外面ハケメ後外面は 横ミガキ、内面はナデ	浅黄橙 S	

遺物観察表

第107表 弥生土器観察表 31号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第330区 -	22268	6	31号竪穴建物	甕	44号型穴 重複部	口縁～体 上半部	(25.2)	-	-	-	口側に突起、頸部に垂 状文(7箇/14m、17～20 mmスパン)をめぐらせ、 体部に櫛目斜行文を描く	内面に横ミガキ	にぶい黄緑 S	体部内面に イネ粒1重
第330区 -	22269	6	31号竪穴建物	甕	44号型穴 重複部	口縁～体 上半 1/2	(16.8)	-	-	-	口側に縄文(1段)、頸部に 時計回り垂状文(6箇/13 m、7～13mmスパン)をめぐ らせ、体部に櫛目斜行文を 描く	口縁横ナデ、外面はハ ケメ後に体部内面にミ ガキ	にぶい黄緑 S	
第330区 -	21620	6	31号竪穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口側に縄文(原体不 明)、頸部に垂状文(7箇 /17m、18mmスパン)、体 部には櫛目斜行文を垂下 すると思われる	口縁横ナデ、内外面ハ ケメ後に体部内面にミ ガキ	灰褐 S	
第330区 Pl.137	22270	6	31号竪穴建物	甕	北東床面	底部次	14.2	-	-	-	口側に縄文(1段)、頸部に 垂状文(4箇/9m、18～20 mmスパン)をめぐらせ、 体部に櫛目斜行文を描く	内外面ハケメ後外面に 横ミガキ、内面は横ミ ガキ	にぶい黄緑 S	
第330区 -	22282	6	31号竪穴建物	甕	44号型穴 重複部	口縁～体 部片	-	-	-	-	口側に縄文(1段)、頸部に 垂状文(8箇/20m、11～ 18mmスパン)、体部に櫛 目斜格子文	外面ナデ、内面横ミガ キ	にぶい黄緑 S+	輝石多 黒炭
第330区 -	21621	6	31号竪穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に垂状文(4箇/14m、 10mmスパン)、体部に櫛 目斜行文を描く	口縁横ナデ、体部内外 面にハケメ	にぶい黄緑 S	
第330区 -	21625	6	31号竪穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	垂状文(4箇/14m、8～10 mmスパン)、体部に櫛目 斜行文を描く	内外面ハケメ後、口縁 内面は横ナデ	にぶい黄 S	
第330区 -	21622	6	31号竪穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口外外面に板小 口による突起、頸部に櫛 目斜行文(5箇/18m)をめぐ らせ	口縁横ナデ、体部内面 にハケメを残す	黄 S	
第330区 -	21623	6	31号竪穴建物	甕	埋土	頸～体部 片	-	-	-	-	頸部に垂状文(7箇/14m、 12～15mmスパン)、体部 に櫛目斜行文を描く	内外面ハケメ後、内面 に横ミガキ	黄赤 S+	輝石多
第330区 -	21626	6	31号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	片断むか交差角の前、縦 位櫛目斜行文(6箇/11m)	縦かハケメ後、内面 に粗いミガキ	明褐色 S	
第330区 -	21624	6	31号竪穴建物	甕	埋土	頸～体部 片	-	-	-	-	頸部に垂状文(5箇/15m、 18mmスパン)、体部に櫛 目斜行文を3部(以上)め ぐらせ、間隔を空けて櫛 目斜行文を垂下する。	外面はナデ、内面は丁 帯なミガキ	褐色 S+	長石白 多
第330区 -	21629	6	31号竪穴建物	甕	東床面	体部下 半片	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、内面 上位は横ミガキ	にぶい黄緑 S+	輝石多
第330区 -	21630	6	31号竪穴建物	甕か 台付甕	埋土	体部下 半	-	-	-	-	洗滌によるコの字重ね 文を描く	外面はハケメ後無文部 にミガキ、内面横ミガ キ	にぶい黄緑 S	
第330区 -	21627	6	31号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	櫛目斜行文(4箇/15m)を 描く	内外面ともハケメ	灰褐 S+	輝石多
第330区 -	21628	6	31号竪穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	櫛目斜行文(5箇/10m)を 描く	外面ハケメ後無文部縦 ミガキ、内面は横ミガ キ	にぶい黄 S	
第331区 Pl.137	22273	6	31号竪穴建物	甕	東床面	口縁と体 の一部欠	16.1	20.6	6.6	-	口側に不揃いの突起、頸 部に以下体部にコの字重ね 文を描く	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	灰白 S+	輝石多 灰褐色 重
第331区 -	22271	6	31号竪穴建物	甕	埋土	体部下 半～底 部	-	-	7.3	-	無文	外面は縦、内面は上位 が横、下位が縦のミガ キ。底面ケズリ	灰黄褐 S	

第108表 弥生土器観察表 31～33号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第331区 Pl.137	22250	6	31型穴建物	小壺	埋土	口頸部欠	-	-	3.4	-	体部に描出用区画線と思われ横波状線2条をめぐらせて、上下段各々に横波状文(5箇/9mm)を描く	外面はケズリとハケメ残ミガキ、内面はナデ	灰白 S	頸部欠損縁が磨滅しており、この形状のまま継続使用した可能性あり
第331区 Pl.137	22272	6	31型穴建物	小型台付 甕	埋土	口縁～体 部上半欠	-	-	6.1	-	横波状文(4箇/12mm)を3部重ねる	外面無文部は縦ミガキ、内面ナデ、脚内面ナデ	灰白 S	焼成度は不明
第331区 Pl.137	22283	6	31型穴建物	蓋	埋土	天井部片	(20.2)	6.3	4.2	-	無文	外面は彫り放射状ミガキ、内面荒れて整形不明	灰白 S	焼成度は不明
第331区 -	21632	6	32型穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口側に縄文(L)。	口縁横ナデ、頸部外面はナデ、内面はミガキ	灰白 S	器底還元
第331区 -	21631	6	32型穴建物	短頸壺	砂内	口頸部片	(16.0)	-	-	-	内外面に赤彩。口縁外面に瘤状突起を付し、横位に穿孔する	内外面ミガキ	灰白 S	石莖、白岩片、長石の跡多
第331区 -	21636	6	32型穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(L)。口縁外面に2条沈線状文をめぐらす。頸部に横状文(3箇/11mm以上)	器面荒れて整形不明	灰白 S	焼成度は不明
第331区 -	21635	6	32型穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(L)。口縁外面に2条沈線状文をめぐらす。頸部に横状文(6箇/13mm、15～18mmスパン)	内面に丁寧な横ミガキ	灰黄褐 S	
第331区 -	21634	6	32型穴建物	甕	砂内、中 央床面	口頸部 1/3	(18.0)	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(L)。口縁外面に2条沈線状文をめぐらす。頸部には横状文(6箇/18mm、18～23mmスパン)、体部に横波状文を描く	口縁横ナデ、体部内面には横ハケメを残す	灰 S	
第331区 -	21633	6	32型穴建物	壺	中央床面	体部下位 ～底部 1/4	-	-	10.0	-	無文	外面は横ミガキ、内面はナデ	灰白 S	外面片面に黒炭
第331区 -	21637	6	32型穴建物	台付甕	南西壁際	脚部	-	-	-	-	無文	外面ミガキ、他の面は荒れて整形不明	灰白 S	体部内面と脚内面は還元
第331区 -	22284	6	32型穴建物	大型甕	南東壁際	口縁～体 部片	(39.8)	-	-	-	口縁に指押跡を加え、頸部に横状文(5箇/14mm)、体部に横波状文を描く	内外面ハケメ、器面荒れてナデや磨き直は不明	灰白 S	焼成度は不明
第331区 -	22275	6	32型穴建物	壺	埋土	口頸部 2/3	(16.4)	-	-	-	口縁と頸部～肩部に横波状文(オオバク)を施し、2条横波線の区画内に横状文(5箇/13mm、9～13mmスパン)をめぐらす。下位には沈線山形文を描く	口縁横ナデ、口頸部内面にミガキ	灰白 S	焼成度は不明
第331区 -	21639	6	32型穴建物	壺	埋土	口頸部 1/4	(19.0)	-	-	-	口頸部に縄文(L)。	器面荒れて不明	灰黄褐 S	
第331区 -	21640	6	32型穴建物	壺	埋土	口頸部片	(13.6)	-	-	-	内側口縁の口頸部に縄文(L)、頸部に3条の横波状線をめぐらす	口縁横ナデ、頸部外面にハケメ、頸部内面はミガキ	灰白 S	焼成度は不明
第331区 -	21641	6	32型穴建物	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	頸部に4条の横波状線をめぐらす	外面は縦ハケメ、内面は刃磨で不明	灰白 S	
第332区 -	21638	6	32型穴建物	短頸壺	埋土	口縁～体 部	(17.8)	-	-	-	外面に赤彩。口縁と体部中央の同位置に瘤状突起を付す	内外面とも横ミガキ	灰白 S	内面還元気味
第332区 Pl.138	22276	6	33型穴建物	甕	埋土	口縁～体 部4/5	(19.1)	-	-	-	口側に縄文(L)。口縁外面に比羅波状文。頸部以下体部にコの字重ね文を描き、交点部と中央輪縁上部に凹形胎付文	外面ハケメ、内面横ミガキ	灰白 S	

遺物観察表

第109表 弥生土器観察表 33-34号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第332区	21644	6	33号穴建物	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文として、 2条の横沈線をめぐるす	外面は無文部ミガキ、 内面はハケメ後ナデ	にぶい黄褐色 S	外面に一部 黒斑、内面は 還元
第332区	21642	6	33号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	6条(以上)の沈線による 重連弧文をめぐるす	外面はナデか、内面は 割磨で不明	にぶい黄褐色 S	
第332区	21643	6	33号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線をめぐる せ、胴部に縄文(オ オバコ文)を施す	外面無文部にミガキ、 内面はナデ	灰黄褐色 S	
第332区	21645	6	33号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線と沈線流状文を交 互にめぐらす	内面ナデ	にぶい黄褐色 S(細砂土)	
第332区	21647	6	33号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の1層と外面に縄 文(1R)、口縁外面に2条 沈線流状文	器面荒れて整形不明	浅黄褐色 S	
第332区	21646	6	33号穴建物	甕	埋土	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	口縁に縄文(1R)、口縁外 面に2条沈線流状文、体 部にコの字重ね文を描 く。	内外面ハケメ後、外面 はナデ、内面は横ミガ キ	灰黄褐色 S+チャート 礫	
第332区	21648	6	33号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	横帯斜格字文(5歯/2歯) を描く。	内外面ハケメ後、内面 にミガキ	灰黄褐色 S	
第332区	21651	6	33号穴建物	鉢	埋土	体部片	-	-	-	-	内外面に赤彩	ミガキか	にぶい赤褐色 S	外面にイネ 類直土1
第332区	21652	6	33号穴建物	有孔鉢	埋土	体部下位 ～底部	-	-	5.2	1.3	無文	内外面ミガキ	淡黄 S	底面荒れ、黒 斑
第332区	21653	6	33号穴建物	高杯	埋土	口縁～体 部	(17.0)	-	-	-	内外面に赤彩	器面荒れて整形不明	粉 S+長石粗砂 多	
第332区	21650	6	33号穴建物	付付甕	埋土	胴部	-	-	6.9	-	無文	内外面ミガキ、底部内 面はナデ	灰黄褐色 S	全体に被熱 赤変
第332区	21649	6	33号穴建物	付付甕	埋土	胴部	-	-	7.0	-	無文	ハケメ後、外面は縦ミ ガキ、内面はナデ	灰 S	脚内面にイ ネ類直土1
第332区	21657	6	34号穴建物	壺	埋土	胴部	-	-	-	-	3条の横沈線をめぐる せ、その間に沈線流状文を描 く。	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第332区	21654	6	34号穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	無文	口縁横ナデ後、内外面 横ミガキ	にぶい褐色 S	
第332区	22442	6	34号穴建物	壺	埋土	口頸部片	(12.5)	-	-	-	内側口縁の1層と外面に 縄文(1R)。頸部には縄文 (1R)を地文として2条(以 上)の横沈線をめぐるす	口縁横ナデ、器面の 大部分が割磨で整形不明	明赤褐色 S+白砂多	
第332区	21656	6	34号穴建物	壺	埋土	頸～体部 上半片	-	-	-	-	頸部に縄文(1R)を地文と して、3・4条の沈線による 重連弧文をめぐるす	外面は縦ミガキ、内 面は割磨で不明	にぶい黄褐色 S	
第332区	21655	6	34号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に縦、横沈線と成状 文をめぐるす	口縁横ナデ、器面荒 れて整形不明	にぶい褐色 S	
第332区	21658	6	34号穴建物	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	2条の横沈線間に2条沈線 の成状文をめぐるす。横 位文様帯を上下段、そ の中間に板状貝小口の刺 突印点文をめぐるす	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第332区	22278	6	34号穴建物	壺	埋土	頸～体部 上半片	-	-	-	-	頸部に縄文(1R)を施し、 3条の横沈線をめぐるす	外面に縦ミガキ、内面 は割磨で不明	にぶい黄褐色 S+粗砂～細 砂多	
第332区 Pl. 138	22277	6	34号穴建物	小甕	埋土	口頸部欠	-	-	5.0	-	無文	外面は丁寧なミガキ、 内面ナデ底面はケズリ	にぶい黄褐色 S+輝石多	
第332区	21659	6	34号穴建物	壺	埋土	胴片	-	-	-	-	無文	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 S	
第332区	21661	6	34号穴建物	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	三叉状記号文と思われる 沈線1条を重下する	外面はハケメ後ミガ キ、内面は割磨で不明	灰黄褐色 S	
第332区	21662	6	34号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	三叉状記号文を重下する	外面はハケメ後ミガ キ、内面は割磨で不明	にぶい褐色 S	
第332区	21660	6	34号穴建物	壺	埋土	底部2/4	-	-	8.4	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ、内面は粗いミガ キ	灰褐色 S	底面磨減、割 磨
第332区	21663	6	34号穴建物	(鉢)	埋土	口縁～体 部	(14.8)	-	-	-	内外面赤彩	内外面とも赤彩後横 ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第332区	21664	6	34号穴建物	高杯	埋土	胴部1/3	-	-	(9.4)	-	外面赤彩	外面赤彩後横ミガキ、 脚内面はナデ	淡黄 S+輝石多	

第110表 弥生土器観察表 34・36号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第332区 -	22183	6	34型穴建物	甕	埋土	底部1/2	-	-	(9.6)	-	無文	外面はハケメ後縦ミガキ、底面ミガキ、内面は底面ナデ、体部からミガキ	黄緑 S	
第333区 Pl.138	22286	6	36型穴建物	壺	埋土	口縁2/3、 体部下平 1/2欠	(13.0)	31.7	9.0	-	口唇と口縁下～頸部に縄文(LR)を施す。頸部上位に段状の1条横波紋をめぐらす	外面はハケメ後縦ミガキ、内面は剥離で不明	黄緑 S	底部の1か所と対する体部外面に黒斑
第333区 -	22285	6	36型穴建物	壺	埋土	体部～底部	-	-	9.1	-	無文	外面ハケメ後粗いミガキ、内面は剥離で不明	にぶい黄 S(粗砂土)	体部下位の接合部がないが、土層同一個体と推測
第333区 -	22288	6	36型穴建物	壺	埋土	体部下平 ～底部	-	-	8.7	-	横波紋をめぐらせて上層の文様区画とし、波線による重三角文と、間隙を埋める重山形文を描く。三角文と山形文の間の帯状部分に縄文(LR)を施す。なお、上層の横波紋には山形文頂点部に横波紋を想んだ円形貼付文を配す	外面ナデと思われるが、器面荒れて不明瞭	黄緑 S	底部の1か所に黒斑
第333区 -	21665	6	36型穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に3条の横波紋、間に縞線状文(4～5mm)をめぐらす	器面荒れて整形不明	黄緑 S	
第333区 -	21666	6	36型穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	2条の横波紋による横帯区画に、2条波線状文をめぐらす。この下位に横波紋と板状具小にによる刺突列点文を加える	外面はハケメ、内面はナデと上位は横ミガキ	にぶい黄緑 S(粗砂土)	
第333区 -	22287	6	36型穴建物	壺	埋土	体部下平	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、外面に粗いミガキ	黄緑 S	体部下平のみ全現、上下破損縁が磨滅が底に埋める
第333区 Pl.138	22292	6	36型穴建物	甕	埋土	口縁～体部1/3	(22.2)	-	-	-	口唇に縄文(LR)を施す頸部に縞状文(黒/黄/8mm、9～22mmスパン)をめぐらせ、体部に縞幅羽状文を描く	外面はハケメ後無文ミガキ、内面は横ミガキ	黄緑 S	外面の体部中位に被熱赤変
第333区 -	22289	6	36型穴建物	甕	埋土	口縁～体部上半 1/4	(15.0)	-	-	-	頸部に縞状文(黄数不明/20mm前後)、体部に縞幅波状文をめぐらす	器面荒れて不明瞭	にぶい黄緑 S+赤粘細砂 多	内面還元
第333区 -	21670	6	36型穴建物	甕	埋土	口頸部片	(20.5)	-	-	-	口唇に短め、頸部以下にゴの字重ね文を描く	内面ハケメ後、横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第333区 -	21668	6	36型穴建物	甕	埋土	口頸部片	(21.5)	-	-	-	受け口の口唇と外面に縄文(LR)、口縁外面に2条波線状文をめぐらす。頸部に縞状文(黒/黄/17mm、18～21mmスパン)、体部には縞幅羽状文	外面ハケメ、内面は丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S+岩片細砂 ～粗砂が多	
第333区 -	21669	6	36型穴建物	甕が 台付甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口唇と外面に縄文(LR)、口縁外面に縞、1条波線による山形文をめぐらせ、空部を斜線充填。頸部には2条の横波紋、下位に斜線を充填	頸部外面横ナデ、内面全体に横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第333区 -	21671	6	36型穴建物	甕	埋土	頸～体部 上位片	-	-	-	-	口縁に縞幅波状文、頸部に縞幅縞状文(黒/12mm)をめぐらせ、体部に乱れた縞幅羽状文	外面にハケメ、内面は粗い横ミガキ	明赤褐 S+赤粘多	

遺物観察表

第111表 弥生土器観察表 36～38号竪穴建物

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第333号 -	22291	6	36号穴建物	裏か 台付裏	埋土	口縁～体 部中位 1/4	(14.0)	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄 文(L1)。口縁外面に2条 沈線状文をめぐらす。 頸部に縄状文(6歯/14m、 15～19mmスパン)、体部 に縞線状文4帯を重ねる	内面全体に横ミガキ	灰黄 S	にぶい黄褐色
第333号 -	21667	6	36号穴建物	裏	埋土	口頸部片	(17.2)	-	-	-	受け口の口縁に板子口に よる形跡、口縁外面に縄 文(オオハコ文)を施し、 2条沈線による波状文を めぐらす。頸部には 縄状文(12～15mmスパン)	頸部外面は横ミガキ、内 面は全体に横ミガキ	灰黄 S	にぶい黄褐色 5+舞石多
第333号 -	21672	6	36号穴建物	裏	埋土	頸～体部 上位片	-	-	-	-	頸部に縄状文(9歯/17m、 16～19mmスパン)、体部 に縞線状文を描く	外面ハケメ、内面は粗 いミガキ	灰黄 S	粗状 全体に還元
第333号 -	21673	6	36号穴建物	有孔鉢	埋土	底部	-	-	5.9	1.5	無文	外面ケズリ後ミガキ、 内面ミガキ、底面ミガ キ	灰黄 S	にぶい黄褐色 5細砂主
第333号 -	21675	6	36号穴建物	高杯	埋土	結合部	-	-	-	-	内外面赤彩	胴内面はナデ、胴結合 はほぞ穴状	灰黄 S	にぶい黄褐色
第333号 PL.138	22293	6	36号穴建物	高杯	埋土	口縁～杯 部3/4	18.7	-	-	-	内外面に赤彩。口縁箇 所と特定される部分に 縞状突起を配す	内外面ミガキ、内面に 一次整形のハケメを残す	灰黄 S	にぶい黄褐色 全体に還元 気味
第333号 -	21674	6	36号穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	4.2	-	無文	外面ナデ、内面荒れて 整形不明	灰黄 S	器壁還元
第334号 -	21676	6	37号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/2	12.0	-	-	-	埋土	内外面ハケメ後、口縁 内面横ナデ	灰白 S	粗状 全体に還元
第334号 -	21679	6	37号穴建物	裏	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(6歯/13 m)、体部に縞線斜行文 か縞線の濃い縞線状文 を描く	器面荒れて整形不明	灰黄 S	
第334号 -	21677	6	37号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(L1)を地文と して、3条の横沈線をめ ぐらす	ハケメ後外面はナデ、 内面は粗い横ミガキ	灰黄 S	
第334号 -	21680	6	37号穴建物	裏	埋土	体部片	-	-	-	-	横穴縞線羽状文(5歯/13 m)を描く	内外面ハケメ	灰黄 S	内面にこげ 付き直
第334号 -	21678	6	37号穴建物	(壺)	埋土	体部下位 ～底部	-	-	8.0	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白 S	上位内外面 とも内周状 に還元
第334号 -	21681	6	37号穴建物	壺	埋土	体部下半 ～底部	-	-	6.9	-	無文	内外面ハケメ後内面 とも横ミガキ。底面ケ ズリ、ナデ	灰黄 S	にぶい黄褐色
第334号 -	22294	6	38号穴建物	壺	埋土	体部上半 片1/3	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ、内面は 割離で不明瞭	灰黄 S	にぶい黄褐色
第334号 -	21682	6	38号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口縁に縄文(L1)。頸部 に縞線状文をめぐらす	口縁ナデ、頸部外面 は縦ミガキ、内面横ミ ガキ	灰黄 S	全体に還元
第334号 -	21684	6	38号穴建物	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	頸部付近に縄文(L1)を地 文とした断南文をめぐら す	外面はハケメ後ミガ キ、内面ナデ	灰黄 S	にぶい黄褐色 全体に還元 気味
第334号 -	21683	6	38号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部全体に縄文(L1)を施 して地文とし、2条の横 沈線と中に沈線連弧文を めぐらす	外面無文部にミガキ、 内面ナデ	灰黄 S	にぶい黄褐色
第334号 -	21687	6	38号穴建物	裏	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口縁に形跡、口縁外面に 縞線状文、頸部に縞線 状文(5歯/11m、13～15m スパン)、体部に縞線羽 状文を描く	内外面ハケメ後、内面 に丁寧な横ミガキ	灰黄 S	にぶい黄褐色
第334号 PL.138	22295	6	38号穴建物	裏	埋土	口縁～体 部上半	(17.0)	-	-	-	口縁に縄文(L1)。頸部 に縞線状文(4歯/10m、9～14 mmスパン)、体部に縞線 羽状文を施す	内外面ハケメ、口縁横 ナデ	灰黄 S	全体に還元 気味

第112表 弥生土器観察表 38・40号壺穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第334号 -	22178	6	38号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁に縄文(1区)、口縁外面に2条沈線波状文をめぐらす。胎部に縞縞引状文(5歯/11mm)か斜格子文を描く	ハケム後、外面頸部はナデ、内面は横ミガキ	浅黄S	
第334号 -	22180	6	38号穴建物	甕	埋土	胴～体部 上半片	-	-	-	-	頸部に縞状文(6歯/13mm、10～15mmスパン)、体部に縞縞引状文を描く	内外面ハケム後、内面は横ミガキ	にぶい黄褐色S粗砂主	
第334号 -	22182	6	38号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縞縞引状文を3帯以上重ね、縞縞直線文(4歯/12mm)を垂下する	内面に丁寧なミガキ	灰黄褐色S+白岩片粗砂多	
第334号 -	22296	6	38号穴建物	甕	埋土	体部下半 ～底部 1/2	-	-	(6.3)	-	体部中に縄文(1区)を2帯以上を重ねて横位飾文	内外無文部と内面全体に丁寧にミガキ	灰黄褐色S粗砂主	
第334号 -	21685	6	38号穴建物	鉢	埋土	底部	-	-	6.4	-	底面も含め、内外面に赤彩	ハケム後、全体にミガキ	浅黄褐色S	外面一部に黒炭
第334号 -	21686	6	38号穴建物	甕	埋土	底部2/3	-	-	(11.7)	-	無文	外面ハケム、内面面ナデとハケム	にぶい黄褐色S+輝石多	
第334号 -	21089	6	38号穴建物	(甕)	埋土	体部下位 ～底部	-	-	8.0	-	無文	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色S	外面灰付着、内面還元
第334号 Pl.-138	21091	6	38号穴建物	高杯	埋土	脚部	-	-	8.6	-	内外面赤彩、脚部部に2孔一対で穿孔	内外面ミガキ、脚内面はハケム	にぶい褐色S	
第334号 -	22179	6	38号穴建物	白付甕	埋土	口縁～体部 上半片	-	-	-	-	口縁に縄文(1区)、頸部に縞状文(3歯/14mm、9～10mmスパン)をめぐらせ、体部に縞縞引状文を重ねる	口縁横ナデ、内面全体に横ミガキ	黒褐色S	
第334号 -	22181	6	38号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文	内外面ハケム後、内面に削いミガキ	暗灰黄褐色S	
第334号 -	21090	6	38号穴建物	蓋	埋土	胴み部 1/2	-	-	(5.6)	-	無文	内外面ナデ	にぶい黄褐色S	
第334号 -	21093	6	38号穴建物	甕	埋土	底部1/2	-	-	9.5	-	無文	外面ハケム、内面ナデ、底面はケズリ後ミガキ	にぶい黄褐色S	
第335号 -	22297	6	40号穴建物	甕	埋土	口頸部 1/3	(11.1)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(1区)、頸部に2条の横沈線を描きめぐらす。頸部を区画とする	内外面ハケム後外面無文部はミガキ、内面はナデと思われる	浅黄褐色S+輝石多	
第335号 -	21697	6	40号穴建物	甕	埋土	口頸部	-	-	-	-	横沈線で横帯区画をめぐらせ、なかに沈線波状文を描く	器面荒れて不明瞭	にぶい黄褐色S粗砂主	
第335号 -	21696	6	40号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1区)を地文として、3条の横沈線を描きめぐらす	内面ナデか	浅黄褐色S	
第335号 -	21698	6	40号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1区)を地文として、3条の横沈線を描きめぐらせ、下位に沈線波状文を描く	内面ナデ	褐色S+白岩片粗砂多	
第335号 -	21699	6	40号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1区)を地文として、横沈線と沈線波状文を交互にめぐらす	内面削いミガキ	にぶい褐色S	
第335号 -	21702	6	40号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(1区)、口縁外面に2条の沈線波状文をめぐらす。頸部に縞状文	頸部外面は横ナデ、内面は全体に横ミガキ	褐色S+輝石少なく粗砂主	
第335号 -	21703	6	40号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に横縄文(オオハコ文)、口縁外面に2条の沈線波状文をめぐらす	頸部外面は横ナデ、内面全体に横ミガキ	暗灰褐色S	
第335号 -	21700	6	40号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線で下限を画した刻線文をめぐらせ、上半に横線、下半に管状筒先端による刻突を充填。横沈線下の内部には縞縞引状文と刻突列を垂下する	内面ナデか	褐色S	

遺物観察表

第113表 弥生土器観察表 40～42号竪穴建物

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包首名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第335号 Pl.138	22298	6	40号穴建物	甕	埋土	口縁～体 部上半 1/3	(20.0)	-	-	-	口内に彫み、頸部に縞状 文、体部に縞帯羽状文(5 溝/3mm)	内外面ハケメ後、口縁 縞ナデ、内面に斜い縞 ミガキ	にぶい黄 褐色 S	施文後の口 縁部修土 磨り付け痕
第335号 -	21704	6	40号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	沈殿区画で縞帯波状文を 充填した縞文を配し、 下位には2条単位と思わ れる沈殿で重波状文をめぐ らす	内面ハケメ	にぶい縞 S	
第335号 -	21701	6	40号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	9.0	-	無文	外面はハケメ、内面が 調整で不明、底面はケ ズリ後彫いミガキ	にぶい縞 S+黄 褐色	
第335号 -	21705	6	40号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	7.3	-	無文	内外面ともハケメ後、 丁寧なミガキ	褐色 S	外面の2/3に 黒色
第335号 -	22299	6	40号穴建物	台付甕	埋土	体部	-	-	-	-	沈殿による縞線や斜線充 填の三角文を描き、頂点 部に円形貼付文を付す	内面ハケメ後無文部ミ ガキ、内面ハケメ後丁 重な縞ミガキ	黄褐色 S	
第335号 -	21706	6	40号穴建物	台付甕	埋土	結合部	-	-	-	-	ハケメ後外面ミガ キ、胴内面はナデ	にぶい縞 S	脚部破断赤 変	
第335号 -	21707	6	40号穴建物	高杯	埋土	杯部1/4	(15.4)	-	-	-	内外面赤彩、口縁外面に 8か所と思われる瘤状突 起を付す	内面外ミガキ	にぶい縞 S	
第335号 -	21709	6	40号穴建物	高杯	埋土下層	結合部	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面とも丁寧なミガ キ、脚部内面はナデ	にぶい縞 S	片面黒色
第335号 -	21708	6	40号穴建物	高杯か 台付甕か 蓋	埋土	脚部か傾 み部	-	-	4.1	-	無文	外面はミガキ、内面ナ デ結合はほぞ穴充填による	浅黄褐色 S(脚部土)	内面整形が 蓋で凹凸有 り
第335号 -	21710	6	41号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部～胴にかけて三叉状記 号文と思われる1条沈線 を重下する	口縁縞ナデ、内面ナデ	にぶい縞 S+赤 粒多	
第335号 -	22184	6	41号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部に縞文(1条)を地文と して、2条の横沈線をめぐ らす	外面ハケメ、内面ミガ キ	縞 S	
第335号 -	21712	6	41号穴建物	甕	埋土	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	口内に縞文(1条)、口縁外 面に縞帯波状文(2溝/5 mm)、頸部に縞状文(4溝 /9mm、12～15mmスパン) をめぐらす。体部にはコ の字垂文を描く	口縁縞ナデ、外面ハケ メ、内面は丁寧な縞ミ ガキ	褐色 S	
第335号 -	21713	6	41号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口内と外面に縞 文(1条)、口縁外面に2条 沈線波状文をめぐらす。 頸部に縞状文	口縁外面縞ナデ、内面 全体に縞ミガキ	にぶい黄 褐色 S	器壁に酸化 鉄物質に変 化したイネ 駒と思われ る痕跡
第335号 -	21714	6	41号穴建物	甕	埋土	頸～体部 片	-	-	-	-	頸部に縞状文(8溝/11 mm)、体部に器縁を空け て縞帯波状文を3帯(以 上)めぐらす	内面は丁寧な縞ミガキ	褐色 S	還元
第335号 -	21715	6	41号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部付近に縞状文(5溝 /15mm、15～20mmスパン)、 体部に縞帯羽状文を描く	ハケメ後、内面は丁寧 な縞ミガキ	にぶい黄 褐色 S	
第335号 -	21716	6	41号穴建物	甕	埋土	体部下 半～ 底部	-	-	6.1	-	無文	外面は縞、内面は丁寧 な縞ミガキ	にぶい縞 S+輝石 多	
第336号 Pl.138	22300	6	42号穴建物	壺	北側床面	胴下半～ 底部の大 部分欠	14.0	35.0	(9.2)	-	口内と体部最大幅位に縞 文(1条)、頸部に1条の横 沈線で上限を画し、その 下位に器幅による縞状文 を8cmほど描き、これに 続けて大ぶりの縞帯波状 文(4溝)をめぐらす。蛇 体表現の可能性あり	ハケメ後、体部外面に ミガキ、内面の中～上 位にナデ	にぶい黄 褐色 S	
第336号 -	22302	6	42号穴建物	壺	北側床面 正位	口頸部	(12.0)	-	-	-	頸部に縞状文(5溝/13mm、 8～10mmスパン)、胴部に 三叉状記号文と思われる 1条沈線を重下する	内外面ハケメ、口縁縞 ナデ、胴部内面はナデ	にぶい黄 褐色 S	

第114表 弥生土器観察表 42号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第336区 Pl. 138	22301	6	42号穴建物	竪	埋土	口頸部	18.7	-	-	-	口唇と頸部に縄文(LR)。頸部に3条の横状文、間に2条沈線波状文をめぐらす	口辺の外面は縦。内面は横のミガキ	浅黄褐色粒等の粗糲多	口縁部のみ還元。逆転した埋没状況と思われる
第336区 -	22305	6	42号穴建物	竪	埋土	体部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、上位に4条(以上)の横状文、中位に1条横状文で上下を直し、上位の横状文との間に2条沈線山形文をめぐらす。下位には8~9条の沈線による重山形文を描く	内外面とも横ハケム後、内面上位にナデ	灰白S	
第336区 -	22303	6	42号穴建物	竪	埋土	口頸部 2/3	16.6	-	-	-	口唇と頸部に縄文(LR)。頸部に2条の横状文をめぐらす	外面ハケム、口縁ナデ。内面全体に横ミガキ	浅黄S細砂土	
第336区 -	22304	6	42号穴建物	竪	埋土	頸部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、横状文で土肌を直し、下位に6~7条の沈線による垂箔弧文を描く	器面荒れて整形不明	浅黄褐色S細砂土	
第336区 -	21717	6	42号穴建物	竪	埋土	口縁片	-	-	-	-	口唇に縄文(原形不明)の痕跡	内外面ハケム	浅黄褐色S	
第336区 -	21718	6	42号穴建物	竪	埋土	口縁片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)	内外面ともミガキ	粉S	
第336区 -	21723	6	42号穴建物	横	埋土	口縁~体部 上位片	(12.5)	-	-	-	口唇と口縁外面に縄文(LR)。頸部に重状文(4南/10mm、10~23mmスパン)、体部に垂箔羽状文	内外ハケム、内面は丁寧なナデ	浅黄褐色S	
第336区 -	21724	6	42号穴建物	横	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口唇に垂箔羽状文(7南/15mm、12~15mmスパン)	器面荒れて整形不明	浅黄褐色S+輝石多	
第336区 -	21719	6	42号穴建物	竪	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文として、3条の横状文、沈線間に1条沈線波状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白S	
第336区 -	21720	6	42号穴建物	竪	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、竹管によると思われる2条沈線で横線と波状文をめぐらす	内面ナデ	にぶ・粉S	
第336区 -	21721	6	42号穴建物	竪	埋土	体部片	-	-	-	-	6条の横状文をめぐらせて、上位には板小口の突起明点。下位には縄文(LR)を描す	沈線間にミガキ、内面は丁寧なナデ	灰黄褐色S	
第336区 -	21722	6	42号穴建物	竪	埋土	体部片	-	-	-	-	縦長の瘤状突起を交点とし、沈線区画による三角文を描き、帯状部に縄文(LR)を充填する	内外面ハケム	にぶ・黄褐色S	
第336区 -	21725	6	42号穴建物	横	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口唇と外面に重状文(オオハコ文)、口縁外面に2条沈線波状文をめぐらす。頸部に重状文(16~20mmスパン)	内面に横ミガキ	明褐色S細砂土	
第336区 -	21726	6	42号穴建物	横	埋土	口縁~体部 上位片	-	-	-	-	頸部に重状文(5南/9mm、10~13mmスパン)、体部に左下がりの垂箔斜行文を描く	内外面ハケム後ミガキ、口縁外面は板小口による横ナデ	灰褐色S+輝	全体に還元
第336区 -	21727	6	42号穴建物	横	埋土	頸~体部 上半片	-	-	-	-	頸部に重状文(7南/14mm、16mmスパン)、体部に垂箔羽状文か斜格子文	内外ハケム、内面は丁寧なミガキ	灰黄褐色S	全体に還元
第336区 -	21729	6	42号穴建物	横	埋土	体部片	-	-	-	-	縦位の垂箔羽状文(4南/10mm)を描く	内外面ハケム後、内面に丁寧なミガキ	灰黄褐色S+赤粘岩質多	
第336区 -	21728	6	42号穴建物	横	埋土	体部片	-	-	-	-	垂箔波状文(6南/13mm)を5帯(以上)間隔を空けてめぐらす	外面ハケム、内面は丁寧なミガキ	灰白S	

遺物観察表

第115表 弥生土器観察表 42~44号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第336区 -	21733	6	42型穴建物	鉢	埋土	底部	-	-	5.0	-	内外面赤彩	底面を含め、内外面ミガキ	にぶい黄褐色	
第336区 Pl.138	22306	6	42型穴建物	小型甕	埋土	口縁~体部	9.1	-	-	-	口縁と体部全体に縄文(オオハコ文)を施して地文とし、頸部に縞状文(3溝/10mm)をめぐらす。体部には分割して櫛波状文、櫛羽状文、櫛齒斜行文を抽出する	内面全体に横ミガキ	にぶい黄褐色	口縁外面は削ける。雫文は稀だが、副明品か
第336区 -	21732	6	42型穴建物	鉢	埋土	口縁~体部1/5	(18.0)	-	-	-	無文	内外面とも丁寧なミガキ	灰黄褐色	内面下位に粗面
第336区 -	21736	6	42型穴建物	高杯	埋土	口縁片	(16.0)	-	-	-	内外面に赤彩	内外面ミガキ	褐色	
第336区 -	21730	6	42型穴建物	甕	埋土	体部下位~底部	-	-	7.8	-	無文	外面は縦、内面は斜位のミガキ、底面はケズリ	灰褐色 S+輝石多	
第336区 -	21731	6	42型穴建物	台付甕	埋土	脚部1/2	-	-	(6.2)	-	無文	外面と体部と底面はミガキ、脚内面はナデ	にぶい褐色	器壁に稀な圧痕2。蓋の可能性もあるが、脚端が被熱変色し体部内面にコゲ付きがみられることから蓋と推定
第336区 -	21734	6	42型穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	4.0	-	無文	外面はナデ、内面ミガキ	褐色	
第336区 -	21735	6	42型穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	-	-	無文	外面はナデ、内面はミガキ	にぶい褐色	
第337区 -	21739	6	43型穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(丸)。口縁外面に2条洗線波状文をめぐらす。頸部に櫛波状文、その下に縞状文(6溝/15mm以上)	器面荒れて整形不明	明黄褐色 白・無色輝石多	
第337区 -	21740	6	43型穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁と外面に縄文(丸)。口縁外面に2条洗線波状文、頸部に縞状文(3溝/7mm以上、15~17mmスパン)をめぐらす	頸部外面は横ナデ、内面全体に横ミガキ	灰黄褐色	還元気味
第337区 -	22307	6	43型穴建物	台付甕	埋土	脚部	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後ミガキ、脚内面はナデ結合はぼろ穴充填	にぶい黄褐色	
第337区 -	21737	6	43型穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	横位に縄文(丸)を施す	内外面ハケメ後、内面はナデ	還元 S, 輝石多 白 岩片が多	全体に還元
第337区 -	21741	6	43型穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	櫛波状文(7溝/17mm)。頸部には2条の横洗線をめぐらす	内外面ハケメ後、内面全体に横ミガキ	灰黄褐色	内面還元
第337区 -	21738	6	43型穴建物	鉢	埋土	底部	-	-	7.0	-	内面赤彩	底面を含め、ミガキ	にぶい黄褐色	
第337区 -	22308	6	43型穴建物	甕	埋土	体部	-	-	-	-	櫛波斜格子文(10溝/20mm)	内外面ハケメ後、内面に横ミガキ	にぶい黄褐色 S粗砂主	
第337区 -	21742	6	44型穴建物	壺	PI	口頸部1/3	(15.0)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(丸)。頸部には2条の横洗線をめぐらせて、縄文の横帯区画とする	外面はハケメ、内面荒れて整形不明	にぶい褐色	
第337区 -	21743	6	44型穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	段状横帯の中に縄文(丸)	外面ハケメ	褐色	
第337区 -	21744	6	44型穴建物	壺	PI	底部	-	-	8.4	-	無文	外面~底面にミガキ内面は剥離で不明。底面は粗いミガキ、内面荒れて整形不明	浅黄褐色 S	

第116表 弥生土器観察表 44～46号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第337区 -	21745	6	44号穴建物	甕	P6.31型穴	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文を描く	外面ハケメ、内面横ミガキ	にぶい黄楢 S+輝石多	
第337区 -	21746	6	45号穴建物	(鉢)	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内面赤彩	ハケメ後、内外面横ミガキ	灰黄 S	
第337区 -	21747	6	45号穴建物	蓋	埋土	縁み部	-	-	5.4	-	無文	ハケメ後ミガキ、内面はナデ。結合にはほぞ穴充填	灰 S	
第337区 -	22313	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部	(12.6)	-	-	-	口内に縄文(LR)。頸部に4条の段状横沈線で飾した2段の縄文帯(LR)をめぐらす	口縁横ナデ後ハケメ、体部外面はハケメ後粗いミガキ。内面はナデと思われる	にぶい黄楢 S	
第337区 -	22310	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/2	(16.2)	-	-	-	開口受け口の口内に縄文(LR)。頸部に縄文(LR)を地文として、4条の横沈線をめぐらす	口縁横ナデ、頸内外面はハケメ	にぶい黄楢 S	
第337区 -	22312	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部	17.5	-	-	-	口内に縄文(LR)。頸部に3条の横沈線区画で、なかに沈線状文をめぐらす。地文縄文の可能性もあるが、器面荒れて不明瞭	器面荒れて整形不明	浅黄楢 S、輝石多	
第337区 -	21750	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部片	(18.0)	-	-	-	口内に縄文(LRと思われる)	外面ハケメ後ミガキ、内面は横ハケメ後ナデか	にぶい黄楢 S+輝石多	
第337区 -	21749	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部片	(22.0)	-	-	-	内側口縁の口内に縄文(LR)。外面には斜線充填断面文をめぐらす	外面ハケメ、内面はハケメ後ミガキ	灰黄 S	
第337区 -	22311	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/2	(14.0)	-	-	-	無文	口縁横ナデ、内外面ハケメ後、体部内面にナデ	にぶい黄楢 S+輝石多	
第337区 -	21765	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	上位に2条、下位に4条の横沈線、中に2条の沈線状文をめぐらす	外面は横ハケメ後粗い無文部にミガキ、内面全体にナデ	にぶい黄楢 S+輝石多	
第337区 -	22309	6	46号穴建物	壺	床面	頸部～体部 1/4	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を施し、3条の横沈線で上下を画し、下位に沈線山形文をめぐらす	内外面にハケメ後、口辺と体部内面上半はナデ	にぶい黄楢 S	
第337区 -	21748	6	46号穴建物	壺	埋土	口頸部	(16.5)	-	-	-	内側口縁の外面に2条沈線の段状文をめぐらす	外面はハケメ後ミガキ、内面は横ナデとナデ	にぶい黄楢 S	
第337区 -	21751	6	46号穴建物	壺	埋土	口縁片	(9.8)	-	-	-	口内に縄文(LR)	口縁横ナデ、頸部はハケメ内面荒れて整形不明	にぶい黄楢 S+輝石多	
第337区 -	22314	6	46号穴建物	壺	埋土	口縁部片	(11.0)	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	楢 S(胎土)	
第338区 -	21752	6	46号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を施し、4条の横沈線をめぐらす	外面はハケメ、内面はナデ	灰黄 S	
第338区 -	21757	6	46号穴建物	壺	埋土	頸～胴部 片	-	-	-	-	全体に縄文(LR)を施して地文とし、頸部付近に3条の横沈線をめぐらす	内面ナデ	粗灰 S	全体に縄文
第338区 -	21754	6	46号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部外面と口縁内面に縦縄文(オオハコ文)を施す	内面ナデ	にぶい黄楢 S	
第338区 -	21756	6	46号穴建物	壺	埋土	頸～胴部 片	-	-	-	-	全体に縄文(LR)を施して地文とし、頸部上位に段状の横沈線、その下に3条の断続横線をめぐらす。最下位には沈線山形文を施す	内面ナデ	灰黄楢 S+白砂片多	内面縄文
第338区 -	21758	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、横沈線と沈線山形文を交互にめぐらす	内面ナデ	浅黄楢 S(胎土)	内面縄文

遺物観察表

第117表 弥生土器観察表 46号竪穴建物

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第338号 -	21755	6	46号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	5条の横沈線をめぐるせて、沈線波状文と瓶小口の刺突点文を交互に描き、下位には斜線充填の副面文をめくらす	内面ナデ	灰黄褐 S	
第338号 -	21759	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	中位に横沈線、上に2条沈線波状文を垂下、下位に2条沈線波状文をめくらす	内外面ハケメ	灰白 S	
第338号 -	21762	6	46号穴建物	(壺)	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線をめくらせて、下位に斜線と横線を交互に充填する副面文	器面荒れて整形不明	灰黄 S+輝石多	
第338号 -	21760	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	無文	ハケメ後、外面ミガキ	暗灰黄 S	外面にイネ 類印直
第338号 -	21761	6	46号穴建物	(壺)	埋土	体部片	-	-	-	-	無文	ハケメ後、外面ミガキ	暗灰褐 S	外面に輝 石?印直
第338号 -	21764	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	上位に沈線波状文、中位に4条の横沈線、なかに刺突点文を充填する。下位は縄文(1区)を地文とし、沈線波状文か山形文をめくらす	内外面ハケメ後、内面には粗いミガキ	灰 S+輝石多	
第338号 -	21753	6	46号穴建物	壺	埋土	面~胴部 片	-	-	-	-	頸部付帯に平型な横沈線波状文をめくらす	外面はハケメ後縦ミガキ、内面は粘土結核上げ面を残してナデ	灰黄褐 S	
第338号 -	21763	6	46号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(1区)を施して地文とし、沈線波状文をめくらせて、下位には横沈線を加えた内形帯付文を配列する	外面無文部ミガキ、内面ナデ	粗 S	
第338号 -	22322	6	46号穴建物	甗	埋土	口縁~体 部上半 1/4	(17.0)	-	-	-	口縁に縄文(1区)、頸部に縞状文(5溝/12mm、10~12mmスパン)、体部に帯幅波状文を4帯重なる	口縁横ナデ、内面全体に縞ミガキ	にぶい黄褐 S	
第338号 -	22319	6	46号穴建物	甗	埋土	口縁~体 部上半 1/4	(20.0)	-	-	-	頸部に縞状文(6溝/16mm、21~30mmスパン)、体部には帯幅羽状文と思われる歯跡があるが、荒れて不明瞭	器面荒れて不明	灰白 S+輝石多	口縁内面に 確実印直
第338号 -	21770	6	46号穴建物	甗	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に篋切み、頸部に縞状文(5溝/10mm、17~19mmスパン)	口縁横ナデ、体部外面は整った縦ハケメ、内面全体に横ミガキ	にぶい黄褐 S	
第338号 -	21772	6	46号穴建物	甗	埋土	口頸部片	-	-	-	-	内脣口縁の口唇と外面に縞文(1区)、口縁外面には2条沈線波状文をめくらす。頸部に縞状文(4溝/8mm以上)	内面ミガキ	灰黄褐 S+輝石多	
第338号 -	21771	6	46号穴建物	甗	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口唇に縞文(1区)、口縁外面に帯幅波状文、頸部に縞状文(5溝/10mm、12mmスパン)をめくらす	内面全体に横ミガキ	灰黄褐 S+輝石多	
第338号 -	21773	6	46号穴建物	甗	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内脣口縁の口唇と外面に縞文(1区)、口縁外面に2条沈線波状文をめくらす	器面荒れて整形不明	粗 S+細砂~粗 砂多	
第338号 -	21774	6	46号穴建物	甗	埋土	頸部~体 部片	-	-	-	-	頸部に帯幅波状文、体部に3段の横位帯幅羽状文(5溝/7mm)を施す	内面荒れて整形不明	灰黄褐 S	全体に還元
第338号 Pl.138	22320	6	46号穴建物	甗	埋土	口縁~体 部1/3 底部欠	(23.8)	-	-	-	内脣口縁の口唇に縞文(1区)、口縁外面に帯幅波状文をめくらす。頸部に縞状文(5溝/13mm、8~20mmスパン)、体部に整った縦位の帯幅羽状文を描く	ハケメ後、内面にミガキ	にぶい黄褐 S+粗	口縁内面に イネ類印直 1

第118表 弥生土器観察表 46号竪穴建物

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第338号 -	21775	6	46号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(5mm/14mm、 40mmスパン)、体部に縞 縞羽状文を描く	内面はハケメを残し、 ミガキと思われる	にぶい黄褐色 S+輝石多	外面の一部 欠ける
第338号 -	22186	6	46号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縄状文、体部に縞 縞線文が片流れ縞縞羽 状文(5mm/11mm)を施す	内面に横ミガキ	灰黄褐色 S+輝石多	
第338号 -	22315	6	46号穴建物	台付甕	埋土	口縁～体 部片	13.0	-	-	-	口内に縄文(L)。頸部に 下にコの字重ね文を描 き、上縁交点部と内区中 軸上端に管状具端部削突 の円形取付文を配す	口縁横ナデ、体部外面 無文部にミガキ、内面 全体に丁寧な横ミガキ	灰黄褐色 S	
第338号 -	21776	6	46号穴建物	甕か 台付甕	埋土	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文を描き、内 区中央軸線は沈線状文 を重下す	内面ハケメ、内面は丁寧 な横ミガキ	灰黄褐色 S+白岩片多	
第338号 -	22185	6	46号穴建物	甕か 台付甕	埋土	体部下平 片	-	-	-	-	斜線充填した大振りの方 角文を描き、頂部に円形 取付文を付す	内面に丁寧なミガキ	にぶい黄褐色 S	外面は被熱 赤変
第338号 -	21783	6	46号穴建物	高杯	埋土	杯部～脚 部	-	-	-	-	内外面に赤彩	赤彩部にミガキ、脚内 面はハケメ	浅黄褐色 S	
第338号 -	21785	6	46号穴建物	高杯	埋土	杯体部 1/2	-	-	-	-	内外面に赤彩	赤彩後内外面にミガキ	浅黄褐色 S+輝石多	
第338号 -	21784	6	46号穴建物	高杯	埋土	脚部	-	-	-	-	外面に赤彩、上位に横沈 線をめぐらす	外面横ミガキ、内面は ハケメ	灰黄褐色 S+輝石多	
第338号 Pl.138	22316	6	46号穴建物	台付甕	埋土	口縁一部 と脚部欠	12.2	-	-	-	受け口の口内に縄文 (短)。外面に1条沈線波 状文をめぐらす頸部に6 条状文(5mm/11mm、15～ 25mmスパン)。体部に縞 縞波状文を3部重ねる	無文 無文無文部に横ミガキ キ、内面は横ミガキ	にぶい黄 褐色 S+輝石多	外面が被熱 赤変、口縁内 面の黒色付 着物はコゲ の可能性あり
第338号 -	22317	6	46号穴建物	台付甕	埋土	口縁～体 部上半 1/3	11.2	-	-	-	受け口の外面と、これ に対応する体部に瘤状突起 を付す頸部には指孔か と思われる瘤状突起を付 す。突起の彫削付数が配 置は不明	ハケメ後、内外面に横 ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第339号 -	21780	6	46号穴建物	高杯	埋土	口縁～体 部上半片	11.0	-	-	-	内外面に赤彩	内外面にミガキ	にぶい黄褐色 S	
第339号 -	21781	6	46号穴建物	鉢	埋土	口縁～体 部上半片	14.0	-	-	-	内面に赤彩、口縁下内面 に未貫通の孔(径2mm)	内外面にミガキ	褐色 S	還元気味
第339号 -	21777	6	46号穴建物	台付甕	埋土	脚結合部	-	-	-	-	無文	内外面とも丁寧なミガ キ、脚内面はナデ。脚 結合はほぞ穴充填によ る	灰黄褐色 S	脚部は被熱 赤変
第339号 -	21778	6	46号穴建物	台付甕	埋土	脚部1/2	-	-	(7.9)	-	無文	内外面にミガキ、脚内面 はナデ	にぶい黄褐色 S+白岩片多 量	やや被熱赤 変
第339号 -	21779	6	46号穴建物	台付甕	埋土	脚部3/4	-	-	(6.1)	-	無文	外面と底内面はミガ キ、脚内面はナデ	にぶい黄褐色 S+輝石多	底内面に種 実圧痕
第339号 Pl.138	22321	6	46号穴建物	有孔鉢	埋土	口縁～底 部1/2	15.0	9.7	6.5	1.2	無文	内外面にミガキと思われ るが、器面割離で不明 瞭	褐色 S	全体に色変
第339号 -	21782	6	46号穴建物	有孔鉢	埋土	体部下平 ～底部 1/3	-	-	(5.8)	(1.3)	無文	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S+白・無色 輝石多	
第339号 -	21769	6	46号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	10.0	-	外面に赤彩	外面ヘラナデ、赤彩後 ミガキ、底面ミガキ内 面ナデ	灰白 S(細砂)主	
第339号 -	21768	6	46号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	9.2	-	無文	内外面ハケメ後、外面 は粗いミガキ、内面は 粗いナデ、底面ケズリ	にぶい黄褐色 S(細砂)主	外面の片面 黒潤、内面は 還元
第339号 -	22318	6	46号穴建物	台付甕	埋土	脚部1/3	-	-	(11.0)	-	無文	ハケメ後ナデかミガキ と思われるが、荒れて 不明瞭	にぶい黄褐色 S、輝石多 輝石多	やや被熱赤 変被熱赤変
第339号 -	21767	6	46号穴建物	甕	埋土	体部下位 ～底部 1/2	-	-	(7.8)	-	無文	外面横ミガキ、内面は ハケメ後横ミガキ	灰黄褐色 S	外面の片面 に黒潤

遺物観察表

第119表 弥生土器観察表 47・48号竪穴建物、161・164号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第339区 -	21786	6	47型穴建物	竪	埋土	口頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、段状横沈線で土眼を画し、下位に1条(以上)の横沈線をめぐらす	内面ミガキ	灰 S	
第339区 -	21787	6	47型穴建物	竪	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に、円形瘤状突起2個を並列させ、横位に沈線を加える	器面荒れて整形不明	にぶい 黄 S+輝石多	
第339区 -	21788	6	47型穴建物	竪	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、上位3条横沈線、中位に沈線山形文、下位に2条横沈線をはさんで沈線段状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい 黄 S+輝石多	
第339区 -	21793	6	47型穴建物	横	埋土	体部下位 ~底部	-	-	7.0	-	無文	内外面ハケメ後、内面にミガキ	にぶい 黄 S+輝石多	
第339区 -	21794	6	47型穴建物	横	埋土	体部下位 ~底部 1/3	-	-	(7.4)	-	無文	内外面ハケメ後、内面にミガキ	浅黄 黄 S+輝石多	
第339区 -	21792	6	47型穴建物	横	埋土	体部片	-	-	-	-	コの子重ね文を描く	内面ミガキと思われるが、器面荒れて不明瞭	にぶい 黄 S	
第339区 -	21791	6	47型穴建物	横	埋土	体部片	-	-	-	-	縦位の楕圓引状文(5mm/1mm)を描く	内外面ハケメ後、内面にミガキ	灰黄 黄 S+輝石多	
第339区 -	21789	6	47型穴建物	横	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口縁外面に楕圓波状文を2帯重ね、頸部に楕圓横線文(6mm/3mm)、体部に楕圓引状文が斜行文を描く	内面全体に横ミガキ	黄 S+赤鉄多	
第339区 -	21790	6	47型穴建物	横	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に扇状文(8mm/18mm、20mmスパン)、体部に三角文と思われる斜行沈線を充填する	内面に丁寧な横ミガキ	黒 S+黄	
第339区 -	21796	6	47型穴建物	鉢か高杯	埋土	口縁~体部片	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、内面に横ミガキ	黄 S+黄	
第339区 Pl.139	22325		48型穴建物	竪	埋土	体部下半 1/2~底 部欠	12.5	-	-	-	内側口縁のL形に縄文(LR)、器面全体に縄文(LR)を地文として、1条の横沈線をめぐらす。前部に三叉状記号文と「ㇿ」状の沈線文を垂下するが、縦位ハケメと器口の可能性あり	外面にハケメ、内面は割離で不明	浅黄 黄 S+輝石多	
第339区 Pl.139	22266	6	48型穴建物	竪	埋土	口縁~体部 1/2	(15.2)	-	-	-	頸部に2条横沈線で横帯区画をめぐらせ、なかに2条沈線段状文をめぐらす。頸部下位の横沈線から三叉状記号文を垂下する	内外面ハケメ、内面整形は不明瞭	浅黄 黄 S	
第339区 -	22324	6	48型穴建物	竪	埋土	頸部~体部 上半	-	-	-	-	頸部に2条横沈線で横帯区画とし、なかに沈線段状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白 S+輝石多	
第339区 -	22427	6	48型穴建物	竪	埋土	体部~底 部	-	-	6.8	-	横沈線をめぐらせて土眼を画し、下位に交互斜線充填の三角文を描く	外面無文部にミガキ、内面はナデ	灰白 S	内面還元
第340区 Pl.139	22265	6	161土坑	竪	埋土	口縁~体部 1/2	14.0	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)、頸部には段状の横沈線で土眼を画し、下位に1条横沈線をめぐらす	ハケメ後、外面は縦ミガキ、内面はナデ全体に不明瞭	にぶい 黄 S+赤鉄多	48型穴建物
第340区 -	22334	6	48型穴建物	竪	埋土	口縁~体部 上半	14.5	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)は上下に2条横沈線をめぐらす	外面はミガキ、内面は割離で不明	にぶい 黄 S+輝石多	内面還元
第340区 -	21798	6	164土坑	竪	埋土	頸部片	-	-	-	-	縦線文(オオバコ文)を画し、2条(以上)の横沈線をめぐらす	内面ナデ	にぶい 黄 S	48型穴建物
第340区 Pl.139	21799	6	48型穴建物	竪	埋土	前部片	-	-	-	-	三叉状記号文に類似する放射状記号文を3単位(以上)密集して垂下する	外面に横ハケメ	にぶい 黄 S	

第120表 弥生土器観察表 48・49号竪穴建物、161号土坑

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第340区 -	21800	6	48号穴建物	竪	埋土	口縁部片	-	-	-	-	肥厚した折返し口縁の口 列と外面に縄文(LR)	内面にミガキ	灰黄 S+白岩片多	48号竪穴重 複
第340区 Pl. 139	22323	6	161土坑	竪	埋土	体部下半 ~底部	-	-	11.3	-	無文	ハケメ後外面にミガ キ、内面にナデ	にぶい・黄 褐色	48号竪穴重 複
第340区 Pl. 139	22326	6	161土坑	竪	埋土	頸部~体 部	-	-	-	-	頸部の上下を2条横沈 線で画し、内径に径5mmの 管状孔で、上下3段の割 突列をめぐらす	外面はミガキ、内面は ナデ	灰白 S細砂主	48号竪穴重 複
第340区 -	22327	6	48号穴建物	竪	埋土	頸部~体 部上半片	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と して、2条の横沈線で横 帯区画を設け、なかば2 条沈線波状文をめぐら す。また、体部中位にも 縄文(LR)を地文として横 沈線をめぐらす	同の無文部をミガキ、 内面はナデ	灰黄褐 S	
第340区 -	21797	6	161土坑	竪	埋土	口縁部片	-	-	-	-	無文	口縁横ナデ、頸部外面 はハケメ、内面は細い ミガキと頸部ナデ	にぶい・黄 褐色	48号竪穴重 複
第340区 -	21801	6	48号穴建物	竪	埋土	口縁~体 部片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)。体部に 三角構成の交互沈線光 澤	口縁外面横ナデ、内面 全体に丁寧な横ミガキ	灰黄褐 S	
第340区 Pl. 139	22330	6	161土坑	竪	埋土	口縁~底 部1/4	(20.2)	29.8	(8.4)	-	口縁に縄文(LR)。頸部に 縞編波状文(5編/12cm)、 体部に縞編引状文を描く	内面ミガキと思われ るが、器面荒れて整形不 明瞭	灰白 S	48号竪穴重 複
第340区 Pl. 139	22331	6	161土坑	竪	埋土	口縁~体 部1/2	(18.0)	-	-	-	口縁に縄文(LR)。頸部に 縞状文(6編/16cm、17cm スパン)。体部に縞編引 状文を描く	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	にぶい・黄 褐色	48号竪穴重 複
第340区 -	22328	6	161土坑	竪	埋土	口縁上半 部1/4	(16.2)	-	-	-	口縁に折れ目、頸部に縞 状文(4編/13cm、12cmス パン)。体部に縞編引状 文を描く	内面全体に横ミガキ	浅黄 S	48号竪穴重 複
第340区 -	21802	6	48号穴建物	竪	埋土	体部片	-	-	-	-	ゴの字重ね文を描く	外面にハケメ、内面は 丁寧な横ミガキ	にぶい・黄 褐色	
第340区 -	21803	6	48号穴建物	竪	南壁外	口縁~体 部片	-	-	-	-	頸部に縞状文(5編/13cm、 15cmスパン)。体部に乱 れた縦位の縞編引状文 を描く	外面無文部と内面全体 にミガキ	灰黄褐 S	
第340区 Pl. 139	22332	6	48号穴建物	小型 台付甕	P3内	口縁1/4 と脚部欠	10.3	12.0	6.8	-	体部に縞編波状文を3~4 帯重ねてめぐらす。5均 等分で縞編直線文(4編/8 cm)を垂下する	外面無文部は縦、内面 は横のミガキ	にぶい・褐 色	脚の一部が 赤変、口縁と 体部外面が 黒ずむ
第340区 Pl. 139	22329	6	161土坑 (竪)	埋土	体部下半 ~底部		-	-	6.0	-	無文	外面ミガキ、内面丁寧 なナデ。底部中央に焼 成後の穿孔(内面から)	浅黄褐 S	48号竪穴重 複
第340区 -	21795	6	48号穴建物	高林杯	P3内	口縁~体 部片	-	-	-	-	無文	外面ミガキ、内面荒 れて整形不明瞭	褐 S	
第340区 -	21804	6	48号穴建物	高林杯	P3内	口縁部片	(15.0)	-	-	-	内面に赤彩。外面赤彩の 可能性あるが不明瞭	内面ミガキ、外面は荒 れて不明	灰黄褐 S	
第340区 Pl. 139	22333	6	48号穴建物	高林杯	P3内	口縁~体 部2/3・ 脚部下半 欠	(17.1)	-	-	-	内外面に赤彩。口縁に2 連の山形突起を付す。脚 部中位には円孔の可能性 ある割り欠きがある	内外面ミガキ、脚内面 はナデ	にぶい・褐 色	脚部裾を欠 くが、ほぼ水 平に全面、磨 減しており、 この形態で 利用された 可能性高い
第341区 -	22335	6	49号穴建物	竪	埋土	口頸部	13.6	-	-	-	口頸部に頸部に縄文 (LR)。頸部には4条沈線 による彎曲の強い遊弧文 をめぐらす	口縁横ナデ、頸部外面 と内面に横ミガキ	にぶい・黄 褐色 S+輝石多	
第341区 -	21806	6	49号穴建物	竪	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口頸部有縄文(LR)。頸部 に横沈線をめぐらす	内面横ミガキ	褐 S+輝石・白 岩片多	
第341区 -	21805	6	49号穴建物	竪	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁~外面に縄文(LR)を 施し、外面に2条沈線波 状文をめぐらす	器面荒れて整形不明瞭	褐 S+輝石多	

遺物観察表

第121表 弥生土器観察表 49-50号竪穴建物

採得 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							上径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第341図 -	22336	6	49号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、上位に沈線山形文、中位に3条横沈線、下位に沈線波状文をめぐらす。中位の横沈線間の縄文は磨り消す	器面荒れて整形不明瞭	にぶい黄褐色 S粗砂土	
第341図 -	21807	6	49号穴建物	壺	埋土	口頸部片 体部片	(14.4)	-	-	-	肥厚口縁外面に縄文(LR)を施して地文とし、2条沈線波状文をめぐらせて豆状附付文を付す。体部は段状横沈線で上縁を画し、縄文地文(LR)に4条沈線の重連弧文をめぐらせ、上端部に豆状附付文を配す。口縁内面と頸部～体部の無文部に赤彩	外面赤彩部及び内面に 丁寧なミガキ	細灰 長石、石英 の粗砂土	
第341図 Pl.140	22428	6	49号穴建物	甕	埋土	口縁～体部	14.8	-	-	-	頸部に垂状文(5溝/10mm、12～18mmスパン)、体部に帯幅羽状文と斜格子文を交互に並べて描く	外面ハケメ、内面横ミガキ	にぶい黄褐色 S+輝石多	
第341図 -	21809	6	49号穴建物	甕か 台付甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	交互斜線充填の三角文を描く	口縁横ナデ、内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第341図 -	21810	6	49号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	帯幅羽状文(5溝/11mm)を描く	外面ハケメ、内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第341図 -	21811	6	49号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	帯幅羽状文(5溝/11mm)を描く	外面ハケメ、内面ミガキ	粗灰黄 S	
第341図 -	21812	6	49号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	帯幅羽状文(4溝/9mm)を描く	外面ハケメ、内面ミガキ	灰黄 S	
第341図 Pl.140	22400	6	49号穴建物	プランの 東外	壺	口頸部と 体の一部	-	-	9.6	-	頸部に2カ所の止めかみりある帯幅横線文(10溝/22mm)をめぐらす	外面にハケメ後縦の粗いミガキ、内面はナデ	にぶい黄褐色 S	外面の同一部に黒斑
第341図 -	21808	6	49号穴建物	壺	埋土	体部下半 ～底部 1/2	-	-	(10.4)	-	無文	ハケメ後外面ミガキ、内面はナデ底面ミガキ	にぶい黄褐色 S+白濁	内面還元
第341図 -	21814	6	49号穴建物	高杯	埋土	頸部1/3	-	-	(9.3)	-	無文	外面と頸部内面に赤彩	黄褐色 S粗砂土	
第341図 -	21813	6	49号穴建物	有孔鉢	埋土	底部	-	-	5.7	1.1	無文	内外面にミガキ、底面ミガキ	にぶい黄褐色 S	体部内外面に輝石注進
第341図 -	21815	6	49号穴建物	蓋	埋土	縁み部	-	-	3.7	-	無文	内外面ナデ	灰黄褐色 S粗砂土	
第341図 Pl.140	22348	6	50号穴建物	壺	埋土	体部中位 1/2欠	13.1	29.7	9.0	-	口唇と頸部に縄文(LR)を施し、頸部には2条の横沈線をめぐらす	口縁横ナデ頸部～体部外面はハケメ後ミガキ、肩部の縄文は磨り消される。内面全体に横ハケメ後、頸部～肩部にミガキ、体部下半はナデ	淡黄褐色 S	底部から体部外面下位の一面に黒斑
第341図 -	22342	6	50号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/3	(14.0)	-	-	-	頸部に帯幅横線文(9溝/22mm)をめぐらす	口縁横ナデ、頸部外面はハケメ後ミガキ、頸部内面はハケメ後ナデ	淡黄褐色 S	
第341図 -	21817	6	50号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/3	(15.0)	-	-	-	頸部に帯幅横線文(4溝以上)をめぐらす	口縁横ナデ、外面は縦ハケメ、内面は全体に横ナデ	にぶい黄褐色 S	22342と同一個体の可能性あり
第341図 Pl.140	22347	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁～体部 1/2欠	15.0	32.5	9.0	-	口唇と頸部に縄文(LR)、これを地文として頸部に横沈線と沈線波状文を交互に2部めぐらす	口縁横ナデ外面ハケメ後まばらなミガキ、内面は全体に横ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第341図 Pl.140	22345	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁大部分、体部 1/3～底部 を欠	(14.8)	(31.0)	(6.5)	-	口唇と頸部に縄文(LR)、頸部には2条の横沈線で横位区画、なかに沈線山形文をめぐらす	外面ハケメ後ミガキ、体部内面ナデ、口縁内面は横ミガキ	淡黄褐色 S粗砂土	
第342図 Pl.140	22344	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁1/2、 体部1/3 程度欠	(17.0)	37.2	9.4	-	口唇に斜み、頸部に2条沈線波状文をめぐらす	口縁横ナデ口縁から体部外面全体にハケメ後、縦位区画のミガキ、内面は全体にナデ	にぶい黄褐色 S	体部下半の対応する面に黒斑

第122表 弥生土器観察表 50号壺穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第342区 -	22337	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁部 1/3	(15.2)	-	-	-	口側に縄文(LR)。頸部に 縞縞横線文(6條/7.5mm)	口縁横ナデ、頸部外面 と内面に横ミガキ。口 縁内面にミガキ、頸部 内面はナデ	浅黄橙 S+算石多	
第342区 -	21818	6	50号穴建物	壺	埋土	口辺部片	(17.0)	-	-	-	口側に縄文(LR)	器面荒れて整形不明	橙 S+白粘土濁	
第342区 -	21819	6	50号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	幅広く掘縄文(オオハク 文)を施し、縞縞波状文(5 條/10mm)を2帯めぐらす	内面ナデ	灰黄 S	
第342区 Pl.140	21820	6	50号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	体部に輪彫のない矢羽根 状の刻線輪文	外面ハケメ、内面は指 ナデ	灰白 S	
第342区 -	21816	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口側に縄文(LR)。頸部に 縞縞横線文状輪文(5條/ 10mm以上)をめぐらす	内面ナデ、外面はハ ケメ後ナデ、内面はハ ケメ後ナデと口縁横ナ デ	にぶい橙 S	
第342区 -	22338	6	50号穴建物	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	矢羽根状の線彫文を垂下 する	内面ナデ	橙 S	
第342区 -	22341	6	50号穴建物	壺	埋土	体部上半 1/2	-	-	-	-	頸部に2条の横沈線をめ ぐらせて下腹をなし、上 腹に浅縮山形文か流状 文、ないし三角文と推定 される文様をめぐらす。 体部中位には円形線付文 を配した横沈線をめぐら せて上腹とし、縄文(LR) 地文に交互斜線充填の三 角文を描く	外面ハケメ後腹位土 ミガキ、内面はナデと 横ミガキ	にぶい黄橙 S	
第342区 Pl.140	22380	6	50号穴建物	小型壺	埋土	頸部～体 部2/3～ 底部欠	9.4	-	-	-	外面と口縁部内面に赤彩	赤彩部ミガキ、体部内 面は割離で不明	灰黄 S	
第342区 -	22349	6	50号穴建物	壺	埋土	口縁～体 部2/3	-	-	-	-	頸部に4条の横沈線をめ ぐらす	外面にハケメ後腹位土 ミガキ、内面は割 離で整形不明	灰黄 S	肩～頸部の 一部に黒斑、 内面還元
第342区 -	22351	6	50号穴建物	壺	埋土	肩部片	-	-	-	-	2条の横沈線で上下を両 し、なかに2条沈線で幅 広い山形文帯をめぐら す。山形文帯の内区に 横沈線を充填し、外区に 縄文(LR)を施す。体部下 半は、交互斜行沈線を充 填する三角文を描く	器面荒れて不明瞭	にぶい黄橙 S	内面還元
第342区 Pl.140	22352	6	50号穴建物	短頸壺	埋土	口縁と体 部1/4欠	16.3	13.2	6.5	-	受け口の口縁に縞縞波状 文(5條/14mm)。体部中位 の一端所に横位貫通孔を 穿った瘤状突起を付す。 内外面とも赤彩	内外面ともミガキ底面 ケズリ	浅黄橙 S	底面と口縁 ～体部に斜 位の輪土に 黒斑埋没時 の色変化
第342区 -	22346	6	50号穴建物	壺	埋土	体部～底 部2/3	-	-	9.0	-	無文	粗縞2條のハケメ、内 面はハケメ後一部ナデ	にぶい黄橙 S	底縁部属体 部下位の部 に黒斑
第342区 -	21822	6	50号穴建物	壺	埋土	体部下 半～底部 1/3	-	-	(10.8)	-	無文	内外面ハケメ後外面に ミガキ、底面ケズリ。 底内面はハケメ・ナデ 後に粘土追加してナデ 、ミガキの最終整形	にぶい黄橙 S	内面還元
第342区 -	22339	6	50号穴建物	壺	埋土	体部下 半～底部 1/2	-	-	(7.1)	-	無文	内外面ハケメ後外面は ミガキ、内面はナデ	にぶい黄橙 S	内面還元
第343区 -	22355	6	50号穴建物	甕	埋土	口縁～体 部上半 2/3	20.0	-	-	-	口側に縄文(LR)。口縁外 面に縞縞波状文、頸部に 縞縞横線文(5條/15mm前後、 30mmスパン)、体部に縞 縞斜行文か横位縞縞斜行 文	口縁横ナデ、内外面と もハケメ後、内面には まばらな横ミガキ	にぶい黄橙 S	口縁外面と 体部外面が 覆ける

遺物観察表

第123表 弥生土器観察表 50号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第34区 -	22354	6	50号竪穴建物	裏か 台付裏	埋土	口縁一部 ～体部 1/2	(19.4)	-	-	-	受け口の口縁に縄文 (L), 外面には2条波線 波状文をめぐらす。頸部 に縷状文(6mm/12m、9～ 12mmスパン)。体部に縷 波状状文を6帯やや間隔 を空けて重ねる	口頸部は横ナデ。体部 外面はハケメとナデ。 内面は全体に横ミガキ	灰黄褐 S	体部外面は 覆ける
第34区 -	22350	6	50号竪穴建物	裏	埋土	口縁の一 部と体部 約1/4	(11.8)	-	-	-	内側口縁の口縁に縄文 (L)。外面に3帯の縷波 状文、頸部に縷状文(8 ～9mmスパン)をめぐら す。体部は上半に縷波 状文(10mm/11mm)を7帯重 ね。中位に縷帯による波 状文と透弧文(2mm/5m)。 下半に縷帯斜格子文(7mm /2mm)を飾す。文様に応 じて縷帯具を使い分け、 波状文が最も細かい。縷 帯は時計回りで、上から 下の順	体部ハケメ、内面は丁 車な横ミガキ	灰黄褐 S	口縁と体部 は接合箇所 なしのため、 図上で覆元
第34区 -	21824	6	50号竪穴建物	裏	埋土	口縁～体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(3mm/8mm、 部～28mmスパン)。体部 には同一帯幅で縦位縷 帯羽状文を反時計回りに 描く	口縁横ナデ。体部外面 はハケメ。口縁内面は 横ナデ。頸部～体部内 面は横ハケメ後横ミガ キ	灰黄褐 S	外面は覆け る
第34区 -	21825	6	50号竪穴建物	裏	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の口縁に縄文 (L), 頸部に縷状文(2mm 以上)	口縁内外面横ナデ	相灰黄 S	
第34区 -	21823	6	50号竪穴建物	(裏)	埋土	底部	-	-	9.0	-	無文	内外面ハケメ底面はケ ズリ	浅黄褐 S	底部外面の 一部に黒炭 内面還元
第34区 -	22340	6	50号竪穴建物	裏	埋土	体部下 半～底部 1/3	-	-	8.4	-	無文	ハケメ後内外面ミガ キ。底部付近の内面は 横ナデ	にぶい 黄 S	体部下端外 面が覆ける
第34区 Pl.140	22402	6	50号竪穴建物	台付裏	埋土	口縁～体 部1/3と 頸部欠	15.0	-	-	-	内側口縁の口縁と外面に 付加条縄文(丸+2L)を飾 し、これを地文として口 縁外面に縷波線2条の波 状文をめぐらす。頸部は 縷状文(6mm/12m、15～ 17mmスパン)をめぐらす。 頸部下～体部には縷波線 下の字重文を飾き、内 区には波線波状文を垂 下する。なお、この字 重の単位を両す上縁カ 所と、中心部に凹形貼 文を配し、文様構成の三 角モチーフを示す	口頸部は横ナデ。体部 外面は横ハケメ後無文 部をミガキ。内面は全 体に横ミガキ。頸部内 面はハケメとナデ	にぶい・黄 褐 S	体部外面中 位以上が覆 け、内面の中 位以下にコ ギキ直を 残す
第34区 -	21821	6	50号竪穴建物	直	埋土	体部下 半～底部	-	-	8.6	-	無文	内外面ハケメ後、外面 下半は縦ミガキ。内面 上位にナデ	灰黄褐 S	体部下位内 面にイネ粉 圧痕1。内外 面還元
第34区 -	21827	6	50号竪穴建物	有孔鉢	埋土	体部下 半～底部	-	-	6.5	2.0	無文	外面は縦ケズリ。内面 はハケメ後横ナデ。穿 孔は横ケズリによる。 底面ケズリ	にぶい・黄 褐 S	外面一部に 黒炭埋痕な2 次的被熱痕 は認められ ない
第34区 -	21829	6	50号竪穴建物	(高杯)	埋土	(脚部片)	-	-	(6.4)	-	無文下位に2孔を穿つ	内外面ナデと思われ るが、器面荒れて不明瞭	黄 S	
第34区 -	21828	6	50号竪穴建物	蓋	埋土	横み～天 井部上半	-	-	4.5	-	無文	外面にハケメ後斜・縦 ミガキ。内面は斜ハケ メ。横み部内面はナデ	にぶい・黄 褐 S	

第124表 弥生土器観察表 50・51・54号竪穴建物

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第343区 -	22343	6	50号穴建物	壺	埋土	体部下位 ～底部	-	-	6.2	-	無文	器面の剥離著しく整形 不明	灰白 S	
第343区 -	21826	6	50号穴建物	(壺)	埋土	体部下位 ～底部	-	-	7.0	-	無文	内外面ハケメ、底面ク ズリ	にぶい黄褐色 S	外面の体部下 位の内面に 黒面
第343区 Pl. 140	22426	6	50号穴建物	片口鉢	埋土	口縁～体 部1/3欠	11.0	12.4	7.0	-	無文	内外面横ハケメ後、ま ばらなミガキ	浅黄褐色 S細砂主	体部下半の 一部に外面 に黒面、二次 的焼熱は 認められない
第344区 -	22954	6北	51号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	外面赤彩	外面ミガキ、内面ナ デ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22955	6北	51号穴建物	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	内側口縁の口斜と外面に 縄文(LI)	内面にミガキ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22957	6北	51号穴建物	(付付) 埋土	埋土	面～体部	-	-	-	-	頸部に重状文(4面/8mm、 7-10mmスパン)	内面にハケメ後横ミガ キ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22956	6北	51号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縞縞状文(6面 /10mm)、体部に縞縞行 文を描く	内外面にハケメ後、内 面には横ミガキ	浅黄褐色 S	
第344区 -	22660	6北	53号穴建物	壺	埋土	口縁片	(14.0)	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、ナ デと思われる	浅黄褐色 S+白礫多	
第344区 -	22661	6北	53号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に横沈線3条をめぐ らせ、内区に沈線山形文 を描く。頸部には三叉状 記号文と思われる沈線を 垂下する	外面にハケメ、内面は 剥離で不明	浅黄褐色 S	
第344区 -	22958	6北	53号穴建物	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	頸部に重状文(6面/15 mm)、体部に縞縞羽状 文	内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22471	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部1/2	-	-	(10.4)	-	無文	内外面ともハケメ	浅黄褐色 S細砂主	片面黒面
第344区 -	23180	2北	54号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口斜と口縁外面に縄文 (LI)を施し、口縁外面に は2条沈線或は文をめぐ らす	外面はハケメ後ナ デ、内面は横ミガキ	にぶい黄 褐色 S細砂主	
第344区 -	23179	2北	54号穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	受け口の外面に縄文(LI) を地文として、2条沈線 の直状文をめぐらす	口縁横ナデ	にぶい黄褐色 S+赤・白礫	
第344区 -	23181	2北	54号穴建物	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	やや内側口縁の口斜と外 面に縄文(LI)を施す	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	灰白 S	
第344区 -	23178	2北	54号穴建物	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口斜に縄文(LI)、頸部に 横沈線をめぐらす	口縁横ナデ、口縁外面 はハケメ、内面はナ デ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22480	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	沈線で三叉状記号文を描 く	内面はミガキ、内面ナ デ	にぶい黄 褐色 S	
第344区 -	22483	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	1条の沈線を垂下し、下 方で2分方向に、さらに 各々3時に4分かかる 輪文を描く。左上にも 垂下線がみられる	内面は整った横ハケ メ、内面は上位がナ デ、下半が横ハケメ	にぶい黄褐色 S チャート粗 砂多	
第344区 -	22484	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	三叉状文でさらに4分か れた沈線文による記号 文(輪文)を描く	内外面ともハケメ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22487	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	縄文(LI)を地文に、二重 の三叉状記号文を描く	外面はハケメ、内面は ナデ	灰黄 S	
第344区 -	23175	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線区画で縞縞状文を 充填する懸垂文と、その 間に横沈線と沈線状文 の交互文様を描く	内面ナデ	にぶい黄褐色 S	
第344区 -	22477	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(LI)を地文に、沈線 縞文をめぐらす	外面は粗いミガキ、内 面は横ハケメ	にぶい黄褐色 S	

遺物観察表

第125表 弥生土器観察表 54号竪穴建物

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)					
第344区 -	22478	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、2条の横沈線で上帯を画し、下位に3条(以上)の沈線による重連弧文をめぐる。連弧文の頂部には4孔を穿突した内形取付文	内面横ナデ	にぶい黄褐色	S	
第344区 -	22479	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、2条の横沈線で上帯を画し、下位に3条(以上)の沈線による重連弧文をめぐる。連弧文の頂部には4孔を穿突した内形取付文	内面横ナデ	にぶい黄褐色	S	
第344区 -	23174	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	段状の横沈線をめぐる。下位に5条(以上)の沈線による重連弧文をめぐる。	外面はハケメとナデ、内面ナデ	褐色	S	
第344区 -	22481	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縦横文(細かく深い)突起が並ぶを地文に、2条の沈線で山形文をめぐる	内外面とも横ハケメ	にぶい黄褐色	S	
第344区 -	22486	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、交差する沈線山形文を描き、下位に横沈線をめくらせて上下帯とする。下位の前面には沈線押しきりで区画した帯描直線文花柄の懸垂文を描く	内外面ナデ	にぶい黄褐色	S	
第344区 -	23173	2北	54号穴建物	壺	埋土	面～体部 上半片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文として、横沈線と沈線山形文を交互に2帯めぐる。下帯の山形文は無文部の縦文を磨り消すため、縄文花柄の縦線文と同じ	外面無文部はミガキ、内面はハケメ後ナデ	灰黄褐色	S	
第344区 -	23172	2北	54号穴建物	壺	埋土	面～体部 上半片	-	-	-	-	縦横文(オオバコと思われ)を地文に、2条の横沈線で上下帯を画し、なかに2条沈線波状文を2帯めぐる	外面無文部にミガキ、内面はハケメ後ナデ	淡黄褐色	S	
第344区 -	23177	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	2条の横沈線、上位に小振り沈線山形文、下位に大振りの沈線山形文をめぐる	器面荒れて整形不明	淡黄褐色	S	
第344区 -	23176	2北	54号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	4～5条の沈線による縦横線文をめぐる。下位に細く深い斜線花柄の縦線文を描く	外面は縦ハケメ、内面はナデ	灰白	S	
第344区 -	23171	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線めくらせて下帯とし、帯間波状文(8溝/16溝)を5帯充填した沈線区画の懸垂文	内面ハケメ	にぶい黄褐色	S+赤褐色	
第345区 -	22490	2北	54号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	11.8	-	無文	外面はケズリ後ハケメ、内面はナデ、底面はケズリ後粗いミガキ	にぶい黄褐色 S+黒	外面にイネ類圧痕1	
第345区 -	22491	2北	54号穴建物	壺	埋土	底部	-	-	11.2	-	無文	外面はミガキ、底内面はナデ	にぶい黄褐色	S	底面にはイネ類圧痕1のほかイネ類と思われる繊維質の圧痕が多く残る
第345区 -	22495	2北	54号穴建物	(壺)	埋土	体部下位 ～底部	-	-	8.0	-	無文	外面にミガキ、内面はハケメ	灰黄褐色	S	底面に繊維質圧痕を残す

第126表 弥生土器観察表 54号竪穴建物

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第345図 -	22497	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部下位 ~底部	-	-	7.8	-	無文	外面横ミガキ、内面ハ ケメ後横ミガキ	にぶい黄緑 S	底面にイネ 粒直上
第345図 -	22492	2北	54号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	11.0	-	無文	外面ハケメ、内面ナデ	にぶい黄緑 S	内面は還元 黒皮で、剥離 著しい
第345図 -	22489	2北	54号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	8.5	-	無文	内外面ハケメ後、外面 にミガキ	浅黄緑 S	外面の一部 に黒斑
第345図 -	22496	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部下位 ~底部	-	-	(6.6)	-	外面赤彩	外面ミガキ、内面はハ ケメとナデ	にぶい黄緑 S	内面還元底 面にイネ粒 圧痕1
第345図 -	22500	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部下半 ~底部	-	-	5.6	-	外面全体と内面の体中位 まで赤彩	内外面ともミガキ	にぶい黄緑 S	底面は剥離 著しい
第345図 -	22503	2北	54号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	外面無文部と内面口縁部 に赤彩。頸部に縄文(LR) を地文として、3条の横 洗線を入めぬらす	外面は縦、内面は横の ミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	22488	2北	54号穴建物	短頸甕	埋土	口縁~体 部上半片	-	-	-	-	外面と口縁内面に赤彩	内外面とも横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	23185	2北	54号穴建物	甕	埋土	口頸部片	(24.0)	-	-	-	弱い受け口の口唇と外 面に縄文(LR)を施し、口 縁外面には浅れた縞波状 文(3箇/9mm)をめくら す	頸部外面に横ナデ、内 面全体に横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	23187	2北	54号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	弱い内側口縁の口唇と外 面に縄文(LR)を施し、口 縁外面には浅れた縞波状 文(21mmスパン)	内面はナデ、内面全体 に横ミガキ	灰黄緑 S+チャート	全体に還元
第345図 -	23183	2北	54号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	無文	口縁外面に軽い横ハケ メ、頸部外面に細かい 縦ハケメ、口縁内面は 横ナデ、体部内面は横 ハケメ	にぶい黄緑 S+縞	
第345図 -	23182	2北	54号穴建物	甕	埋土	口縁~体 部片	(20.5)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に 縞状文(6箇/13mm、25mm スパン)、体部に縞斜綫 格子文を描く	口縁横ナデ、内外面 横ハケメ後、内面は横ミ ガキ	浅黄緑 S	体部外面に イネ粒+圧 痕1
第345図 -	23184	2北	54号穴建物	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	頸部以下に、縦位の縞 斜綫格子文に類似する文様(8 箇/14mm)を描く	口縁外面横ナデ、内面 全体に横ミガキ	縞 S	平分に黒斑
第345図 -	22476	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部1/2	-	-	-	-	無文	内外面に目の形ハケ メ後、内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	外面掘ける
第345図 -	23189	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縞斜綫格子文(9箇/22mm) を描く	外面ナデ、内面はハケ メ後軽いミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	22485	2北	54号穴建物	甕	埋土	頸~体部 片	-	-	-	-	頸部に縞状文(10箇/24 mm、20~23mmスパン)、 体部に縞斜綫格子文を描く	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	23188	2北	54号穴建物	甕	埋土	頸部~体 部上半片	-	-	-	-	頸部に縞状文(5箇/15mm、 14mmスパン)、体部に縞 斜綫格子文を描く	外面は横ハケメ、口縁 横ナデ、内面は全体に 横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	23190	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縞状文、体部に縞 斜綫格子文(5箇/13mm)を10 部(以上)重ねてめくら す。胎文は、時計回りで 上から下の順	内面は横ハケメ後、下 位はミガキ、上位はナ デ	にぶい黄緑 S	
第345図 -	22501	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部下半 ~底部	-	-	9.8	-	無文	外面は縦、内面は横の ミガキ	にぶい黄緑 S+赤褐色	底面に灰が 付着する
第345図 -	22493	2北	54号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	7.0	-	無文	外面ミガキ、底内面ナ デ、底面は丁寧なナデ	灰黄緑 S	
第345図 -	22494	2北	54号穴建物	甕	埋土	底部	-	-	9.0	-	無文	外面にケズリ後縦ヘラ ナデ、内面はハケメ後 横ミガキ	灰黄緑 S	中や被熱色 変

遺物観察表

第127表 弥生土器観察表 54号竪穴建物

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第345区 -	22498	2北	54号穴建物	甕	埋土	底部1/2	-	-	8.0	-	無文	内外面ミガキ、底面は 粗いミガキ	にぶい黄緑 S	底面に灰付 靨。体部内面 の最下位に コゲ付き直
第345区 -	22789	2北	54号穴建物 (台付甕)	甕	埋土	口縁～体 部片	(12.0)	-	-	-	頸部に垂状文(5歯/13cm、 15cmスパン)、体部に帯 幅或状文をめぐらす	外面ハケメ、内面は横 ミガキ	浅黄緑 S	
第345区 -	22499	2北	54号穴建物	甕	埋土	体部下平 1/4	-	-	6.7	-	帯幅或状文(7歯/13cm)を 3帯(以上)めぐらす	ハケメ後、外面無文部 と内面にミガキ	灰褐 S	
第345区 -	22505	2北	54号穴建物	壺か甕	埋土	底部1/3	-	-	(6.0)	-	無文底面に細かい網代直	内外面ともナデ	橙 白濁多	
第345区 Pl.141	22474	2北	54号穴建物	短頸壺	埋土	口縁～体 1/2	(14.5)	-	-	-	外面全体と口縁内面に赤 彩	体部内面は粗い横ミガ キ	にぶい黄緑 S	頸部上位に 並列する2 孔を穿つ。他 の穿孔箇所 数は不明
第346区 -	22482	2北	54号穴建物	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	斜沈線を充填した三角形 モチーフの文様を描く	外面はハケメ後、無文 部を横ミガキ、内面は ナデと粗い横ミガキ	灰黄褐 S	
第346区 Pl.141	22472	2北	54号穴建物	台付甕	埋土	頸部～脚 部	-	-	-	-	頸部に垂状文(6歯/14cm、 10～12cmスパン)、体部 にコの字重ね文を描く。 交点部に3孔刺突の円形 貼付文	外面無文部は縦、内面 は全体に横のミガキ	にぶい黄緑 S	
第346区 -	22506	2北	54号穴建物	台付甕	埋土	脚結合部	-	-	-	-	無文	外面は横ミガキ、脚内 面はハケメ、体部と脚 の結合は、体部側から の粘土充填によると思 われる	にぶい黄緑 S	
第346区 -	22507	2北	54号穴建物	小型 台付甕	埋土	脚部	-	-	4.6	-	無文	内外面ともナデ	にぶい黄緑 S	
第346区 -	23191	2北	54号穴建物	甕か 台付甕	埋土	頸部～体 部上段片	-	-	-	-	頸部に垂状文(6歯/11cm、 14～16cmスパン)をめぐ らす、体部に交互斜線充 填の三角文を描く。三角 文の頂点部には4孔刺突 の円形貼付文を付す	内面横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第346区 -	22509	2北	54号穴建物	台付甕	埋土	脚結合部	-	-	-	-	無文	外面はミガキ、内面は ナデ結合は粘土充填に よる	にぶい黄緑 S	
第346区 -	22511	2北	54号穴建物	高杯	埋土	脚部	-	-	-	-	内外面に赤彩	脚外周と杯内面にミ ガキ、脚内面はハケメ	にぶい黄緑 S	片面黒直
第346区 -	22508	2北	54号穴建物	高杯	埋土	脚結合部	-	-	-	-	縦の鋭い切みを加えた杯 面三角弁帯をめぐらす	杯内外面～脚外周は ミガキ、脚内面はハケ メ。結合は粘土充填に よる	にぶい黄緑 S+	白岩片多
第346区 -	22502	2北	54号穴建物	高杯	埋土	杯部下平 ～脚結合 部	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面ミガキ、脚内面 はナデ	にぶい黄 S	
第346区 -	22475	2北	54号穴建物	鉢	埋土	口縁～底 部片	(17.1)	6.4	(5.6)	-	前面に赤彩、ただし底面 は磨減で不明瞭	内外面ミガキ	にぶい黄 S+	赤粘粉多
第346区 Pl.141	22473	2北	54号穴建物	鉢	埋土	口縁大部 分欠	(16.8)	8.3	6.0	-	底面除き、内外面に赤彩	横ミガキ	にぶい黄 S	
第346区 -	22510	2北	54号穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	4.3	-	無文	内外面ハケメ後、天井 部はミガキ。握み部の みナデ	にぶい黄緑 S	
第346区 -	22512	2北	54号穴建物	蓋	埋土	握み部	-	-	3.6	-	無文	外面にハケメ、内面と 握み部中央はナデ	灰黄 S	全体に還元
第346区 -	22513	2北	54号穴建物	蓋	埋土	握み部 1/2	-	-	(4.8)	-	無文	上面縁はケズリ、他面 はナデ	灰黄 S	
第346区 -	22504	2北	54号穴建物	壺	埋土	底部片	-	-	(6.0)	0.8	外面に赤彩	内外面ミガキ。底部孔 は焼成後の回転穿孔孔。 底面はハケメ	にぶい黄 S	壺の転用の 可能性あり
第346区 Pl.141	23114	2北	54号穴建物	ミニチュ ア壺	埋土	口縁一部 欠	(3.1)	5.5	2.6	-	無文	全体にナデナ	にぶい黄緑 S	全体に黒直

第128表 弥生土器観察表 54・55・56・57号竪穴建物、1号埋藏

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第346図 Pl.141	2315	2北	54号穴建物	ミニチュ ア壺	埋土	頸縁片	-	-	-	-	無文	直線的な口縁から左上 がりに傾斜する。結縛 形の器形の片方に注口 か片口が付くと思われ る	にぶい・黄緑 S	内面下部に 刺突穿孔1
第346図 -	22522	2北	55号穴建物	壺	埋土	口頸部 1/2部	(17.0)	-	-	-	口肩上面と内壁する口縁 外面、および頸部に縄文 (LR)。口縁には沈凹山形 文。頸部には上帯を段状 とする横沈線3条をめぐ らす	外面は板小口のナデ、 内面はハケメ横横ナデ	浅黄褐色 S(細砂土)	
第346図 -	22515	2北	55号穴建物	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	頸部全体に縄文(R)を施 す	内面ナデ	にぶい・黄緑 S+輝石多	
第346図 -	22516	2北	55号穴建物	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、3条 の横沈線で2段の横位文 様帯をめぐらせ、なかに 沈凹山形文を描く	内面ナデ	にぶい・黄緑 S(細砂土)	
第346図 -	22519	2北	55号穴建物	甗	埋土	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	口肩に縄文(LR)を施し、 頸部に康状文(6mm/6mm、 16mmスパン)、体部に纏 幅羽状文を描く	内外面に横ハケメ後、 内面に横ミガキ	灰黄褐色 S	
第346図 Pl.141	22514	2北	55号穴建物	甗	埋土	口縁～体 部	(31.0)	-	-	-	口肩と受け口の外面に縄 文(LR)。口縁外面の上位 に沈凹波状文、下位に纏 幅波状文を各1帯めぐら す。頸部に康状文(7mm /17mm、25～30mmスパン)、 体部に纏幅羽状文を描く 口縁から頸部。纏幅波 状文(11mm/16mm)を2帯 (以上)めぐらす	外面はハケメ、内面は ハケメと置ナデ。最終 的にミガキと思われる が、荒れて不明瞭	にぶい・黄緑 S	
第346図 -	22517	2北	55号穴建物	甗	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁から頸部。纏幅波 状文(11mm/16mm)を2帯 (以上)めぐらす	内面ミガキ	にぶい・黄緑 S+輝石多	
第346図 -	22518	2北	55号穴建物	鉢	埋土	底部	-	-	4.6	-	内面に赤彩	外面に横ミガキ	灰黄褐色 S	還元色変 色
第346図 -	22520	2北	55号穴建物	台付甗	埋土	体部下半	-	-	-	-	纏幅波状文(4mm/9mm)を 2帯(以上)めぐらす	内外面ハケメ後、内面 は横ミガキ	にぶい・黄緑 S	
第346図 -	22521	2北	55号穴建物	小型高杯 (ニニフ)	埋土	脚部	-	-	4.8	-	杯部内面と脚部中位まで の外面に赤彩	内外面ハケメ後、杯部 の内外面はミガキ	にぶい・黄緑 S	
第346図 -	22525	2北	56号穴建物	台付甗	埋土	脚部	-	-	-	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ、底内面はミガキ、 脚内面は置ナデ	にぶい・黄緑 S	脚部下半は 焼熱赤変
第346図 Pl.141	22536	2北	56号穴建物	有孔鉢 (再利用)	埋土	(宍形)	22.0	12.3	8.5	1.2	無文	内外面ハケメ後、外面 は粗いミガキ。底面外 方から打割穿孔し、孔 縁をやや整形。内面は 割離状態のまま。口縁 部は本来の遺体部中位 接合部で打割整形して ある	にぶい・黄緑 S	外面の上から 底部まで、 内面は上位 と底面付近 に、白色付着 物を残す
第346図 -	22033	6	57号穴建物	壺	埋土	口縁片	-	-	-	-	口肩に縄文(LR)	外面にハケメ、口縁内 外面にナデ置ナデ	にぶい・黄緑 S	内面に刺正 壺1
第346図 -	22032	6	57号穴建物	蓋	埋土	口縁片	(9.4)	-	-	-	上面に赤彩。縁部に小円 孔を穿つ。破片のため孔 縁は不明	内外面ミガキか	にぶい・黄緑 S	
第347図 Pl.134	22425	6	1埋藏	壺	15号型穴 内	頸部	-	-	-	-	横沈線3条をめぐらせ下 位には割離文を描く。い ずれにも管状具先端によ る三日月形の刺突を充填 する	外面無文部ミガキ、内 面はナデ	にぶい・黄緑 S	
第347図 -	22424	6	1埋藏	壺	15号型穴 内	体部	内径 31.0	-	-	-	無文	外面はミガキ、内面は ハケメとナデ	にぶい・黄緑 S	下端欠損部 が焼熱変色 しており、反 転して内 土器として 利用された 可能性

遺物観察表

第129表 弥生土器観察表 4号埋藏、10号掘立、10・12号井戸、78号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第347段 -	23193	6	4埋藏	甕	21号鑿穴 内	口縁~底 部欠	(16.3)	19.8	7.4	-	内側突脚1條の口唇と外 面に縄文(LK)。頸部に 環状文(5溝/11mm、11mmス パン)。体部に柳指羽状 文を描く	外面は頸部横ナデ、体 部ハケメ。無文部にミ ガキ。内面は全体に横 ミガキ	灰白~黒 S	二次的焼熱 の痕跡は明 瞭でないが、 地中埋設さ れた体部下 半はかなり 脆い
第347段 -	23194	6	4埋藏	壺	21号鑿穴 内	体部下 半~底 部1/3	-	-	(12.3)	-	無文	外面は斜位のミガキ。 内面は剥離のため整形 不明	灰白~黒 S	外面に不整 円形の黒痕
第347段 -	21191	2	10掘立柱建物	壺	2P埋土	割破片	-	-	-	-	沈積により充填した副溝 文の横沈線(下部区画)	内面はハケメのちナデ	灰白 S	
第347段 -	21190	2	10掘立柱建物	甕	3P埋土	頸部~体 部片	-	-	-	-	頸部は環状文。体部に横 線と斜線(左下り)の組み 合わせ(縦9mm/7溝)	内面は横ハケメ	灰白 黒點物やや 窪凹	
第347段 -	21192	2	10掘立柱建物	壺	2P埋土	底部片	-	-	-	-	底部に横線と斜線	外面はハケメ後、ミガ キ内面ナデ	灰黒	横きと被熱 痕・灰付着が 見られない ことから壺 と推定
第348段 Pl.142	21163	2	10井戸	壺	中層	体部中位 以下	-	-	7.9	-	無文	体下半の後縁で積輪。 体部に横ミガキと縦ミ ガキ。体部内面に指ナ デ仕上げ。内面に11~ 12本/10mmのハケメが 細かく整っている	灰白~黄緑 S輝石なし	体部と底 部に柳指 黒痕、割 下位に大 きく3ヶ所
第348段 -	21165	2	10井戸	壺	埋土	割破片	-	-	-	-	縦位の柳指波状文(懸垂 文の一部か)、体部に2条 の横位沈線の間に2条の 平行波状文。そして2 本の平行波状文(7mm間 隔)を同一工具で描く	内面はナデ	灰白 S+チャート	
第348段 -	21164	2	10井戸	壺	埋土	口縁部片 約1/4	-	-	-	-	頸部に環状文	口唇内外面ともに横ナ デ	灰白~橙 S細砂主	
第348段 -	21166	2	10井戸	小型甕	埋土	口縁部一 部欠	(12.2)	-	-	-	口縁部上位に環状文(7 mm)、下位に柳指波状 文で施文順は下位から上 位へ	口唇、口縁内部は横ナ デ	灰白~橙 S	
第348段 -	21167	2	10井戸	甕	埋土	底部片	-	-	(6.0)	-	無文	外面は縦位。内面は横 位のミガキ	灰黄緑 S	内面にコゲ が付着
第348段 Pl.142	21180	2	12井戸	壺	底面	下半	-	-	9.1	-	無文	外体部はハケメのち縦 ミガキ。底部にはナデ	灰白 S	底部黒痕
第348段 -	21171	2	12井戸	壺	埋土	口縁片	(13.0)	-	-	-	口唇に縄文(LK)	外面はナデ後縦位ミガ キ。内面は横ハケメ後 縦位ミガキ	灰黄緑 S	
第348段 -	21172	2	12井戸	壺	埋土	割破片	-	-	-	-	横沈線と副溝文の沈積 をめぐる	器面荒れて整形不明	灰白 S+チャート	
第348段 -	21175	2	12井戸	壺	埋土	前部片	-	-	-	-	縄文の地文(L線既戻り し?)のち沈線。円形貼 付文(新装)	外面は斜ハケメ。内面 荒れて整形不明	灰白~橙 S	
第348段 -	21153	2	78土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	柳指波状文。下位に2帯 以上の柳指横線文(4溝 /10mm)、柳指縦線文(5溝 /11mm)	外面はミガキ	淡黄 S細砂主	
第348段 -	21179	2	12井戸	台付甕	埋土	結合部	-	-	-	-	無文	内外面ともミガキ。脚 内面は横ナデ	灰黄緑 S	脚部は被熱 赤変
第348段 -	21139	2	78土坑	壺	埋土	割破片	-	-	-	-	無文	脚外面は斜~横ハケ メ。内面は横ハケメ	灰白~黄緑 S	

第130表 弥生土器観察表 12・13・14号井戸、78号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第348区 -	21173	2	12井戸	壺	埋土	胴部中位片	-	-	-	-	縄文(1R-1条が懸帯3条以上に見える)を地文に、太い沈線による横線をめぐらせ、この2条の沈線区画内に縦い2条沈線による波状文を描く。下位には縄文(1R)を充填した沈線区画で大振り山形文をめぐらせ、横沈線との間を沈線による重山形文で埋める	内面に横ハケメ、ナデ	灰白 S	
第348区 PL.142	21181	2	12井戸	壺	埋土中層	口縁-胴部1/2	-	-	-	-	胴部に垂状文(4mm/8mm)、体部に縞縞羽状文(右→左)	内面に横ナデ	にぶい黄褐色 S	焼成時のヒビ割れ著しい。巻き上り面に従ってヒビあり、内面では右土あがり。黒面ではなく黒付着
第348区 -	21154	2	78土坑	高杯	埋土	口縁片	(15.6)	-	-	-	内外赤彩	赤彩後ミガキ	にぶい褐色 S	
第348区 -	21176	2	12井戸	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縦位縞縞羽状文(幅3mm/7mm)を時計まわりで右下から左下の順から、横行後に一部にミガキ	内面に斜ハケミガキ	にぶい褐色 S	
第348区 -	21177	2	12井戸	甕	埋土	胴部片	-	-	-	-	縦位の縞縞羽状文(幅15mm/5-6mm)縞はまばら	内面は斜ハケメ	にぶい褐色 S+チャート	
第348区 PL.142	21182	2	12井戸	鉢	埋土中層	1/3	17.6	8.2	6.0	-	口縁に2孔1対の穿孔	外面は丁寧な横ナデ、外面下位にケズリ、底面ケズリ。内面は横ナデ焼成前赤彩、ミガキ	黄褐色 S	
第348区 -	21174	2	12井戸	壺	埋土	底部1/2	-	-	9.0	-	無文	外面は縦位ミガキ、内面はナデ底面にケズリ、ナデ	灰白 S	底面に圧痕が数カ所あるが、形状から縄文ではないと思われる
第348区 -	21178	2	12井戸	甕	底面	底部1/2	-	-	(7.9)	-	無文	外面にハケメがみられ、ミガキ以前の整形時のものだろう	にぶい黄褐色 S+黒燻	
第348区 PL.142	21183	2	13井戸	小型壺	底面横転	完形	6.4	13.4	4.7	-	口内に縄文(1R)、胴部に縄文地文(1R)、2条の沈線をめぐらす	内外面にハケメ整形、底部にナデと周辺をケズリ	灰黄褐色 S	胴の片面に黒燻
第348区 -	21185	2	13井戸	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	縞縞直線文を充填した懸垂文、無文部は赤彩	内面はナデ	灰褐色 S	
第348区 -	21186	2	13井戸	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	赤みの著しい平心丹文、沈線は幅1mm強のしなやかな棒状具	内面は厚減	褐色 S+チャート 燻	
第348区 -	21187	2	13井戸	甕	埋土上層	胴部-体部片	-	-	-	-	胴部は縦位ナデ(ハケメ状工具)、体部は斜位ハケメ、縦位の縞縞羽状文	外面は丁寧なナデ	灰褐色 S+白砂	
第348区 -	21188	2	13井戸	台付甕	埋土	胴部-体部片	-	-	-	-	胴部は垂状文、体部は沈線斜線充填の大振り縞縞文	内面はハケメのちミガキ	灰褐色 S	
第348区 -	21184	2	13井戸	壺	埋土上層	底部	-	-	10.6	-	無文	外面は縦ミガキ、内面はハケメ、底面はケズリ。底内面に補強粘土付加	にぶい黄褐色 S	内面下位に圧痕、底面に縦圧痕
第348区 -	21189	2	14井戸	壺	底面	体部1/4	-	-	-	-	無文	外面は斜ハケメのちミガキ、下位はナデ、内面は横ハケメを反時計回りに施す	浅黄褐色 S	

遺物観察表

第131表 弥生土器観察表 69号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第349区 -	21087	2	69土坑	壺	埋土層	胴部1/3 ~底部	-	-	11.6	-	無文	胴下半外面は斜~縦ミガキ、底外面は削りのちナデ。胴内面は斜ハケメのち粗いミガキ。底内面は凸凹あり指ナデ	灰白 S	
第349区 -	21072	2	69土坑	甕	埋土層	体部下位 ~底部	-	-	10.8	-	無文	外面縦ミガキ、内面は平ナデか	にぶい黄緑 S+礫	内面にこげ付き底、底面に灰付着
第349区 -	21088	2	69土坑	壺	埋土上~ 中層	体部~体 部1/3	-	-	11.4	-	無文	内外面とも横ハケメ、外面は荒れて整形不明瞭。底部割断	にぶい黄緑 S	外面に不明の孔、片面黒斑
第349区 -	21074	2	69土坑	壺	埋土下層	体部下平 ~底部片	-	-	(9.8)	-	無文	内外面ともナデ	にぶい黄緑 S	
第349区 -	21095	2	69土坑	壺	埋土	底部	-	-	10.5	-	無文	底面はケズリ。胴外面はミガキ、内面荒れて整形不明	にぶい黄緑 S	底面端に圧痕1、外面辺側に黒斑
第349区 -	21113	2	69土坑	壺	埋土層	体部~底 1/4	-	-	8.0	-	無文	胴下半外面は横~斜ハケメのち斜ミガキ。胴内面に横ハケメ。底部に粗いミガキ	灰黄褐 S+白・ チャート礫	
第349区 -	21073	2	69土坑	壺	下層灰層	体部下位 ~底部	-	-	9.3	-	無文	外面ハケメ、底面ミガキ。内面は割断で不明	黄灰 S	
第349区 -	21097	2	69土坑	壺	埋土中層	底部	-	-	5.5	-	胴部外面赤彩	底面ケズリ。外面はナデ後ミガキ、内面は丁寧なナデ	灰白 S	底内面に圧痕1、内外面にまだらの黒斑
第349区 -	21096	2	69土坑	壺	埋土層	底部	-	-	6.0	-	外面に赤彩	外面縦ミガキ、内面ナデ。底面は粗いミガキ	灰黄褐 S	
第349区 -	21128	2	69土坑	鉢	埋土	底部1/4	-	-	(7.0)	-	底面除く外面に赤彩	外面と底面ミガキ、内面はナデ	にぶい黄緑 S	
第349区 -	21117	2	69土坑	甕	埋土下層	体部下位 ~底部	-	-	8.8	-	無文	底部が突出。外面は横ハケメ後体部に縦ミガキ。内面は底面ナデ。体部は斜ハケメ	浅黄橙 輝石・黒色 鉱物なし。	内面黒斑
第349区 Pl.-142	21062	2	69土坑	甕	埋土下層、 上層、下層 灰下	胴部~底 部	-	-	8.8	-	無文	外面に縦かハケメのち縦ミガキ。内面に横ミガキ	にぶい黄 S	下半は全体的に被熱痕、中位にヌス付着
第349区 -	21112	2	69土坑	甕	下層灰下	体部~底 部	-	-	9.5	-	無文	体部外面に縦ミガキ。体部内面に横ミガキ。底部荒れ	にぶい黄 S+礫	二次的被熱痕
第349区 -	21098	2	69土坑	甕	下層灰下	体部下平 ~頸部 1/3	-	-	(9.0)	-	無文	器面荒れて不明瞭だが、外面縦ミガキ、内面縦ミガキと思われる	褐 S	外面保ける
第349区 -	21115	2	69土坑	甕	埋土層	底部	-	-	8.3	-	無文	外面縦ハケメ、内面ナデ。底面はミガキ	にぶい黄 S+礫	
第349区 -	21118	2	69土坑	甕	下層灰下	底部	-	-	5.5	-	無文	外面は粗い縦ミガキ。内面は縦ミガキ。底面は器面割断で不明	にぶい黄緑 S細砂のみ	片側黒斑
第349区 -	21114	2	69土坑	壺か甕	底面	底部	-	-	8.5	-	無文	底外面に横ミガキ、底内面に指ナデ	白灰 S	底周縁に圧痕複数
第349区 -	21116	2	69土坑	甕	灰層下	底部1/3	-	-	(10.8)	-	無文	底面は粗いミガキ。内外面とも荒れて整形不明	にぶい黄緑 S+礫	底部黒斑
第349区 -	21119	2	69土坑	小甕	下層灰下	底部	-	-	4.7	-	無文	内外面、底面共にミガキ	灰黄 S細砂主	
第350区 Pl.-142	21060	2	69土坑	壺	埋土中層	完形	14.4	35.8	8.6	-	口側に縄文地文(丸形)、頸部に2条の沈線、横線文をめぐらす	にぶい黄 S	胴の一面、その対面の体部下位に黒斑	

第132表 弥生土器観察表 69号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第350号 -	21075	2	69土坑	壺	埋土中層	口縁部～ 頸部1/3	(16.7)	-	-	-	頸部に3条の平行沈線文、 上位に1条の沈線波状文、 下位に2条の山形が波状 文。地文に縄文(LR)が4段 多条	器面荒れて整形不明	灰白・黄緑 S(砂土)	器面摩滅
第350号 -	21077	2	69土坑	壺	下層灰下	口縁片	(19.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)	外面ハケメ、口縁内 外面は横ナデ	灰白・粗 S	
第350号 -	21127	2	69土坑	壺	下層灰下	口縁片	(14.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)	内面横ミガキ	浅黄緑 S	内面黒斑
第350号 -	21078	2	69土坑	壺	埋土	口縁～頸 部片	(19.8)	-	-	-	口唇と口縁に縄文(LR)、 口縁に1条沈線山形文を 時計回りにめぐらす	頸部外面は横ハケメ、 口縁内外面は横ナデ	灰白・粗 S	
第350号 -	21066	2	69土坑	壺	埋土上層 70土坑埋 土	口頸部 1/2割	(16.4)	-	-	-	口唇～受け口外面に縄文 (LR)、口縁外面に2条沈 線による波状文をめぐらす	内外面にハケメ後、外 面はミガキ、内面横ナ デと思われる	灰白・粗 S+赤粒多	
第350号 -	21079	2	69土坑	壺	埋土下層	口縁片	(15.6)	-	-	-	地文に縄文(LR)か、2条 沈線による波状文を時計 回りにめぐらす	内面横ナデと思われる が、不鮮明	灰白・粗 S	口唇内面に 圧痕1
第350号 -	21129	2	69土坑	小型壺	下層灰下	頸部小片	-	-	-	-	内外面に赤彩	内面ミガキ	灰黄緑 S	還元気味の 焼成
第350号 -	21067	2	69土坑	壺	埋土中層	口頸部	-	-	-	-	3条の横沈線をめぐらす。 地文に縄文を施した可能 性が高いが、不明確	内面はナデ、外面は荒 れて不明	灰白 S+赤粒・濃 多	
第350号 -	21068	2	69土坑	壺	下層灰下	頸部～同 部片	-	-	-	-	縄文を地文に。横沈 線と沈線波状文を交互に めぐらす	外面はハケメ	灰白 S	
第350号 Pl. 143	21061	2	69土坑	壺	埋土下層 灰下	頸部～体 部下位 2/3	-	-	-	-	頸部に3条の沈線による 横線文のあと2条の沈線 波状文(反時計まわり)、 上からみて4等分線の橋 接2単位の上に沿って2条 の沈線波状文が垂下する	外面全体に横ハケメの ちまばらな縦ミガキ、 内面にナデ	灰白 S(砂土)	
第350号 -	21080	2	69土坑	壺	下層灰下	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文	外面はハケメ、内面は ナデか	灰白 S	
第350号 -	21085	2	69土坑	壺	埋土上層	胴部～体 部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に1条の 沈線山形文	外面はハケメのち縦ミ ガキ	灰白・粗 S	
第350号 -	21069	2	69土坑	壺	埋土下層	頸部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に。横沈 線をめぐらす	内外面ハケメ、荒れて 不鮮明	灰白 S	
第350号 -	21070	2	69土坑	壺	下層灰下	頸部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に。3条 の横沈線、下位に断線文 をめぐらす。断線文は山 形の下方無文部を書き 消したため、内区に地文 の縄文が残る	外面ミガキ、内面ナデ	灰白・粗 S+濃	
第350号 -	21081	2	69土坑	壺	下層灰下	頸部片	-	-	-	-	段状で横沈線5面、縄文 (LR)地文に2条の沈線に よる波状文、横沈線区画、 帯幅垂文	内面はナデ	灰白 S	
第350号 -	21082	2	69土坑	壺	下層灰下	頸部片	-	-	-	-	上端に横沈線をめぐら せ、縄文(LR)の地文に5 条の沈線帯弧文	外面荒れて整形不明	浅黄緑 S	
第350号 -	21090	2	69土坑	壺	下層灰下	胴部片	-	-	-	-	無文部赤彩、帯幅波状文 による懸垂文	器面荒れて整形不明	灰黄 S	
第350号 -	21084	2	69土坑	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	3帯の縄文(LR)の地文	外面はハケメ、内面は ハケメ	灰白 S	
第350号 -	21106	2	69土坑	壺	埋土	胴上部片	-	-	-	-	細かい縄文(LR)を地文 に東西内角と三角形モ チーフの文様を並べる	外面はハケメ、内面は 荒れて整形不明	灰白 S	
第350号 -	21089	2	69土坑	壺	下層灰下	胴部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に横沈線 と断線文を描く	外面は縦ミガキ	灰白・粗 S	

遺物観察表

第133表 弥生土器観察表 69号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第351区 -	21108	2	69土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線による弧脚区画文(幅広い懸垂文か)内に帯描波状文を垂下充填し、横沈線の下に鋭い沈線で三角形モチーフの斜線充填文を描く	外面はハケメ、内面は荒れて整形不明	にぶい黄褐色	
第351区 -	21093	2	69土坑	壺	下層灰下	体部片	-	-	-	-	横沈線で画した上位に沈線山形文、下位に大振り三角文を並ね、内区に交互方向の斜線充填	内面はハケメ	にぶい黄褐色	
第351区 -	21094	2	69土坑	壺	下層灰下	体部片	-	-	-	-	横線文で画した上位に山形文、下位に大振り三角文を並ね、内区に交互方向の斜線充填	内面はハケメ	にぶい黄褐色 S白岩片多	種実直痕
第351区 -	21091	2	69土坑	壺	下層灰下	体部片	-	-	-	-	横沈線で上下を区画、沈線による三角文を並ね、内区を交互方向の斜線充填	内面はハケメ	オリーブ黒 S白岩片多	
第351区 -	21092	2	69土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線区画の上下に沈線三角文を並ね、内区を交互方向の斜線充填	内面はハケメ	にぶい黄 S白岩片多	
第351区 -	21107	2	69土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	無文のうち横沈線区画帯をめぐらせ、上位に刺突列点文、下位に副南文を施す	外面はミガキ	にぶい黄褐色 S	Z110と同一 個体の可能性 高い
第351区 -	21071	2	69土坑	壺	埋土上～ 中層	胴部片	-	-	-	-	無文	外面は板小皿による粗いハケメ、内面は膠状具によるハケメ	灰黄 S白岩片多	
第351区 -	21109	2	69土坑	壺	下層灰下	胴部片	-	-	-	-	縄文(1区)の地文に1条の沈線による横線と山形文を交互に施す	内面は荒れて整形不明	にぶい褐色 S	
第351区 -	21110	2	69土坑	壺	下層灰下	体部片	-	-	-	-	横沈線区画帯をめぐらせ、上位に刺突列点文、下位に斜線充填の土向き副南文を施す	内面は荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第351区 -	21076	2	69土坑	無頸壺	下層灰下	口縁～体部1/3	(11.0)	-	-	-	無文	口内面はナデとミガキ、外面は整形後横ミガキ、口縁内面は粗ナデ、内面は横ハケメのちナデ整形	浅黄褐色 10YR8/3 S	胴下位に種 直痕
第351区 -	21101	2	69土坑	甕	埋土上層	口縁～体部上位1/4	(22.0)	-	-	-	口内に縄文(1区)、口縁に1条描きの沈線波状文がらせん状に3条めぐる。胴部に横状文(6南/19mm)、肩部に帯描斜行文	内面にハケメのちナデか	にぶい黄褐色 S	
第351区 -	21100	2	69土坑	甕	埋土上層	口縁～胴部片	-	-	-	-	口内に縄文(1区)、口縁は帯描波状文、胴部に横状文(9南/17mm)を時計まわりにめぐらせ、肩部に帯描斜行文	外面は横ハケメ、内面は横ミガキ	浅黄褐色 10YR8/4 S+塵	
第351区 -	21086	2	69土坑	壺	埋土上層、 下層灰下、 70号埋土	胴部～底部1/4	-	-	(8.0)	-	無文	筒外形に縦ミガキ、胴部下半に斜ハケメのちミガキ、胴部内面に横ハケメ	灰白 S80砂主	胴の一部と 底部の一部 に黒直
第351区 -	21102	2	69土坑	甕	下層灰下	口縁片	-	-	-	-	口内～口縁に縄文(1区)を地文とし2条沈線波状文、胴部に横状文(6南以上/13mm以上)をめぐらす	口縁内面は横ナデ	灰黄 S80砂主	

第134表 弥生土器観察表 69・70号土坑

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第351図 -	21103	2	69土坑	甕	埋土下層	口縁～頸部小片	(15.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)。口縁に波形の大きい縞縞波状文。頸部に2連止め縞状文(25mm前後スパン)。胴部に3帯以上の縞縞波状文を重ねる。施文具はいずれも4歯/10mmの同一	内外面ナデ、胴内面は粗いミガキ	明褐色S輝石少	外面に二次的焼熟。頸部内面に注目
第351図 -	21105	2	69土坑	甕	埋土	頸部～胴部片	-	-	-	-	胴部上位に縞状文(8歯/15mm)20～16mmスパン、縞縞波状文を重ねる	器面荒れて整形不明	にぶい・橙S	
第351図 -	21111	2	69土坑	甕	下層灰下	口縁～体部1/3	-	-	-	-	口唇部に切み。頸部の上に2歯。下に4歯の縞縞施文具による縞状文を時計まわりにめぐらす	内面は横ミガキ	粗灰S	
第351図 -	21104	2	69土坑	甕	下層灰下	頸部～体部片	-	-	-	-	頸部に縞状文を5～8mmスパンに時計まわりにめぐらす。下位に縞縞波状文(4歯/11mm)	外面はハケメ、内面は横ミガキ	灰黄褐色S	
第351図 -	21083	2	69土坑	甕	下層灰下	頸部片	-	-	-	-	縞縞波状文。下位に2帯以上の縞縞横線文(4歯/10mm)	内面は横ミガキ	黒S	
第351図 -	21131	2	69土坑	台付甕	下層灰下	体部片	-	-	-	-	縦沈線によるコの字重ね文を、中央に小円孔4ヶをスタンプした円形貼付文を付す	内面ミガキと思われるが、不整形	にぶい・橙S+細砂多	
第351図 -	21099	2	69土坑	甕	埋土下層	口縁部～体部1/3	(26.9)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁部に縞縞波状文(7歯/23mm、40mmスパン)、頸部に縞状文、体部に縞縞格子文	外面の体部下位に細い斜ハケメ、内面はハケメ整形のちミガキ	にぶい・黄褐色S赤粒	口縁～体下部外面に煤付着
第351図 -	21120	2	69土坑	台付甕	下層灰下	口縁部～胴部1/3	(17.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁部に不揃いの3条沈線による波状文、頸部に縞状文、胴部にコの字重ね文を描き交点をボタン状貼付文	頸部横ナデ、胴部内面横ナデ	にぶい・黄褐色S	
第351図 -	21121	2	69土坑	台付甕	下層灰下	胴部片	-	-	-	-	コの字重ね文	内面は横ミガキ	にぶい・黄褐色S白岩片	
第351図 PL.142	21063	2	69土坑	高杯	埋土上層	体部～脚部1/3	-	-	-	-	無文	外面に縦ナデ、内面は横ナデ、脚部にナデ	粗灰S	片面に黒炭
第351図 -	21124	2	69土坑	鉢	埋土下層	口縁片	(15.4)	-	-	-	口唇に縄文(LRか)	内外面横ミガキ	にぶい・橙S	口唇と器壁遺文
第351図 -	21125	2	69土坑	蓋	埋土上層	縁み部	4.3	-	-	-	無文	天井部内面はミガキ、縁み部内外面はナデ	灰白S	天井部内面に黒炭
第351図 -	21122	2	69土坑	有孔鉢	下層灰下	底部1/2	-	-	(7.0)	(1.4)	無文	内面ナデ。外面は荒れて不整形	にぶい・黄褐色S	片側に黒炭
第351図 PL.142	21065	2	69土坑	ミニチュア高杯	埋土上層	ほぼ完形	5.0	3.7	3.0	-	無文	内面に横基調のミガキ	粗灰S赤粒	
第351図 PL.142	21064	2	69土坑	高杯	埋土上層	脚部	-	-	5.0	-	内外面に赤彩	脚部内面にナデ	灰白S	
第351図 -	21123	2	69土坑	(遺)	下層灰下	口縁片	(11.0)	-	-	-	無文	内外面横ナデ	灰黄褐色S	一部黒炭
第351図 -	21126	2	69土坑	(器台)	埋土上層	脚部上平1/3	-	-	-	(1.6)	無文	外面縦ミガキ。内面横ハケメ	にぶい・黄褐色S	片側色変
第352図 -	20959	2	70土坑	壺	埋土中～下層	口縁～頸部1/4	(18.2)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)を巻く。頸部に縄文(LR)を地文に上下2条の縞縞横帯を2帯めぐらす。下位には沈線による山形文を描く	ハケメ後、ナデと思われる	粗S	
第352図 -	20949	2	70土坑	壺	埋土上層	口縁部～頸部	15.0	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、口縁部にか所々に2孔の穿孔。頸部に縄文(LR)地文に3条(以上)の縞沈線をめぐらす	口縁の内外面は横ナデ。内面は横ハケメ	灰白S	

遺物観察表

第135表 弥生土器観察表 70号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第352区 -	20931	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁～ 体部1/3	12.2	-	-	-	口唇部に縄文(LR?)、頸部に縄文(L)の地文に2条の横沈線をめぐるす	外面は荒れて不明、内面はナデ、体内面は斜ハケメ	灰白S	体外面にもみぬ、全体に還元
第352区 Pl.143	20937	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁～肩部	14.0	-	-	-	口唇部に縄文(LRR)、頸部に3条の反つ沈線が反時計まわりで歪む	外面はハケメのち縦ミガキ、内面は横ナデ	灰白S S顕密	口縁内面に種?圧痕1
第352区 -	20953	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	口縁片	(11.7)	-	-	-	無文	口縁は内外ともに横ナデ	灰白S	
第352区 -	20954	2	70号土坑	壺	埋土上層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に横沈線	外面は斜ハケメ整形	にぶい黄褐色	
第352区 -	20960	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁片	(12.7)	-	-	0.28	無文	口縁に1孔を穿つ	浅黄褐色	口縁一部に二次的焼熟
第352区 -	20962	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁片	(12.7)	-	-	-	無文	内面は横ハケメ	にぶい黄褐色	
第352区 Pl.143	20932	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁～体部2/3	12.0	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁はわずかに屈曲、頸部に4条の沈線による横線文(1条は細かく半円断面 径2.5mmほど)、管・丸棒状の飾文具)	口縁外面は斜ハケメのちミガキ、体部外面は1/2厚な縦ミガキ、口縁内面は横ミガキ、体部内面は割磨著しい	浅黄褐色	肩の一部とその反対面の口縁に黒斑
第352区 Pl.143	20935	2	70号土坑	壺	埋土上層	口縁～ 上半1/2 一部欠	15.3	-	-	-	口唇に縄文(LR)、頸部に3条の沈線による横線文	口縁から肩部の外面にかけて足の長い縦ミガキ、内面は横ハケメ	灰白S	
第352区 -	20962	2	70号土坑	壺	埋土中層69号土坑埋土	口縁1/4	-	-	-	-	無文	外面は横ナデ、頸部内面は縦ハケメ、内面口縁は横ナデのち横ハケメ	浅黄褐色	
第352区 Pl.143	20928	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	口縁～ 底部1/2	23.2	44.0	11.6	-	口唇と頸部の外面及び頸部に縄文(LR)、口縁外面には沈線山形文、頸部には3条の横沈線と下位に沈線山形文をめぐるす	内外面ハケメ後、外面は削いミガキ、内面はナデか	灰白S+輝石多	
第352区 Pl.144	20929	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	口縁～胴体	18.2	-	-	-	口唇と口縁に縄文地文(LR)、2条沈線による波状文(断面ふらふ)をめぐるす。頸部に横沈線と波状文の組合せを3段重ねる	内口縁は横ナデ、体内部下位は斜ハケメとナデ	浅黄褐色	
第352区 Pl.144	20926	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁端部1/3欠	16.6	28.8	7.4	-	頸部に1条の沈線による横線文をめぐるす	口縁外面に横ナデで凸凹あり	にぶい黄褐色 S+輝石多	底部に種圧痕(6.1×4.7mm)ジュズダマか?
第353区 Pl.144	20927	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁～胴部上半	16.4	-	-	-	口縁と頸部に縄文地文とし、口縁と頸部上位に3条の沈線波状文、頸部は3条の横沈線と横帯区画とし、下部内に3条の沈線波状文をめぐるす。肩に4条の沈線で重三角文を描き、横帯波状文を充填する	口縁外面にハケメ、口縁内面に横のミガキ	灰白S+チャート・礫	
第353区 Pl.144	20933	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁1/4～ 頸部2/3	(17.6)	-	-	-	口唇と口縁に縄文(LR)、口縁に2面一対の棒状具による波状文、頸部は縄文地文に、3条の沈線による横線文と下位に1条の沈線波状文	器内外とも著しく荒れて割磨。そのため、化粧かけ前のケズリ整形がみえる	浅黄褐色 S+チャート・礫	破片埋没後の色変、黒斑不明瞭

第136表 弥生土器観察表 70号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第353区 Pl. 144	20936	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	口縁～頸 部 2/3	19.2	-	-	-	口唇に縄文(L1)、口縁に 1条の沈線波状文、頸部 に縄文地文(L1)、4条の 沈線による横線文をめぐ らし、上から2条・2条・ 1条の沈線波状文で、沈 線による副歯文をめぐら す	口縁部外面下位に横ハ ケメのちナデ、口縁内 部には細かいハケメ	浅黄褐色 S+チャート 産	
第353区 -	20963	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(L1)、口縁は 地文縄文(L1)の上から2 条沈線波状文をめぐらす	頸外面はハケメのちミ ガキ	にぶい黄褐色 S(細砂)主	
第353区 -	21002	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	縄文(L1)前々段多葉か)の 地文に沈線山形文	外面は縦ミガキ、内面 は横ナデ	灰白 S	
第353区 -	21005	2	70号土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(L1)、口縁に 副歯文(斜線光沢)	内面は横ナデ	灰白 S	
第353区 -	20950	2	70号土坑	壺	埋土上～ 中層	口縁1/3	-	-	-	-	口唇部に縄文(L1)、口縁 に縄文を地文として沈線 山形文をめぐらす	外面は横ハケメ、内面 は横ナデ	にぶい黄褐色 S+赤褐色	
第353区 -	20951	2	70号土坑	壺	埋土上層	口縁1/3	(16.0)	-	-	-	口唇に縄文、節不明で左 側の葉が残る(L1)か)	内外面は器面荒れる	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	21058	2	70号土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	縄文(直)の地文に縦長の 刺突列点文	外面は縦ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	20964	2	70号土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(L1)	外面は縦ハケメ、口縁 ナデ	灰白 S	
第353区 -	20961	2	70号土坑	壺	埋土下層	口縁片	(17.0)	-	-	-	無文	内外面ともに横ナデ	灰白 S(細砂)	
第353区 -	20957	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁～頸 部 1/3 端部欠	-	-	-	-	頸部に縄文(L1)を地文と して、1条の横線文と1条 の沈線波状文をめぐらす	外面は斜ハケメ、内面 はナデ	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	20965	2	70号土坑	壺	埋土中層	口縁部～ 頸部	-	-	-	-	頸部に1条横沈線の下に、 4条以上の太沈線による 山形文	口縁外面はナデ、内面 は横ハケメ	浅黄褐色 S	
第353区 -	21059	2	70号土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(L1)の地文に刺突列 点文をめぐらす	内面はナデと思われる が不明	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	21027	2	70号土坑	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	縄文(L1)の地文に、上位 に沈線による横線4条、 下位に沈線波状文、最下 位に横線文をめぐらす	内面ナデ	浅黄褐色 S	
第353区 -	20955	2	70号土坑	壺	埋土中層	頸部～肩 部	-	-	-	-	頸部に3条の横沈線区画 帯中に1条の沈線波状文、 縄文地文(L1)	外面の胴部は縦ミガ キ、内面の胴部は丁寧 なナデ、肩部は斜ナデ	にぶい黄褐色 S+赤	
第353区 -	20958	2	70号土坑	壺	埋土	頸部～肩 部	-	-	-	-	頸部に細い沈線1条による 波状文と横線文をめぐ らす	外面は縦ミガキ、内面 は帯指状具によるナデ	にぶい黄褐色 S	内部に植 物?圧痕
第353区 -	20972	2	70号土坑	壺	埋土中層	頸部片	-	-	-	-	縄文(L1)の地文に2条の 横沈線をめぐらす	外面は縦ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	20973	2	70号土坑	壺	埋土	頸部～肩 部片	-	-	-	-	縦縄文(オオバコ?)を衝 文し、横沈線で区画した のち下部をミガキ滑す	外面は縦ミガキ、内面 は横ハケメ、斜ナデ、 横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第353区 -	20974	2	70号土坑	壺	埋土	頸部～肩 部片	-	-	-	-	縄文(L1)を地文を衝し、 上下を横沈線で区画	外面は無文部にミガ キ、内面は副歯で整形 不明	灰 S	
第353区 -	20966	2	70号土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(L1)を地文として3 条以上の横沈線をめぐら す	内面はナデと思われる が不明	浅黄 S(細砂)主	
第353区 -	21029	2	70号土坑	壺	埋土中層	頸部～肩 部片	-	-	-	-	縄文(L1)の地文に横沈線 と2条の沈線山形文をめぐ らす	内面ナデ	灰 S	
第353区 -	20975	2	70号土坑	壺	埋土下層	頸部～肩 部片	-	-	-	-	2条(以上)の横沈線、2条 平行沈線による山形文を めぐらす	ハケメ後、内面にナデ	灰 S	

遺物観察表

第137表 弥生土器観察表 70号土坑

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包莖名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第353R -	20671	2	70土坑	壺	埋土	頸部~胴部	-	-	-	-	4条の横沈線区両帯をめぐらせ、中央に縦小山による刺突列点文、下位に沈線による山形文	外面は縦ハケメ整形のち縦ミガキ、内面はヘラナデ	明褐色 S	
第353R -	20669	2	70土坑	壺	埋土中層	頸部~胴部片	-	-	-	-	5条以上の沈線による横線文、下位に沈線波状文	胴部にハケメ	にぶい黄褐色 S	
第353R -	21028	2	70土坑	壺	埋土中層	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に、沈線による横線文と山形文を交互に彫文	内面ナデ	浅黄褐色 S	
第353R -	20983	2	70土坑	壺	埋土下層	体部片	-	-	-	-	縦縄文(オオバコ文)を地文に、太沈線による三角文を彫ぬる	器面荒れて整形不明	浅黄褐色 S	
第353R -	20677	2	70土坑	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	横線波状文(2条/7cm)を垂下する	内面ナデ	にぶい黄褐色 S+石英多	
第353R -	20967	2	70土坑	壺	埋土上層	胴部~体部1/4	-	-	-	-	縄文(1R)を地文で、横沈線と縦縄文をめぐらす	胴部外面はハケメ整形のちミガキ、内面はヘラナデ	にぶい黄褐色 S	
第353R -	20670	2	70土坑	壺	埋土上層	胴部	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に太い沈線で縦縄文をめぐらし、横線直線のみの懸垂文を彫す	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S+角閃石多	
第353R -	20976	2	70土坑	壺	埋土	頸部~胴部片	-	-	-	-	1条沈線による縦縄文あるいは山形文	内面は測線で整形不明	にぶい黄褐色 S	
第353R -	20999	2	70土坑	甕	埋土中層	胴体部	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に2条の沈線山形文をめぐらせ、胴上位に2条横沈線で区画し、小円形スタンプを加えた円形貼付文を交点として垂三角文を彫ぬる	内面はナデ	浅黄褐色 S+チャート・礫	
第353R -	20980	2	70土坑	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	2条平行の沈線による透気文を彫ぬる	ハケメ後、内面横ミガキ	褐色 S	
第353R -	20981	2	70土坑	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	横沈線区両内に沈線山形文、多条沈線による充填三角文	外面はハケメ、内面は測線で整形不明	褐色 S	
第353R -	20982	2	70土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文とし、沈線山形文(斜線充填か?)と横沈線をめぐらす	内面は横ハケメ	灰黄褐色 S	
第353R -	21007	2	70土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	多条の横沈線部に十字制みの円形貼付文を付し、下位に沈線波状文をめぐらす	内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第354R -	20968	2	70土坑	壺	埋土上層	胴部~体部片	-	-	-	-	縦縄文(オオバコ?)を地文に、横沈線(5条/13cm)を時計まわりにめぐらす	外面はミガキ、内面はナデ	浅黄 S(細砂土)	
第354R -	20978	2	70土坑	壺	埋土中層	胴部片	-	-	-	-	1条沈線による山形文、2条平行沈線による波状文	外面は縦ハケメ整形のち縦ミガキ、内面は横ハケメとナデ	にぶい褐色 S	
第354R -	21057	2	70土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に横沈線をめぐらせ、下位に2条沈線の円形モチーフの文様を描く	内面ナデ	にぶい黄褐色 S	
第354R -	20979	2	70土坑	壺	埋土中層	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、胴下平無文部との境界に1条横沈線で区画し、2条(以上)沈線による大振りの三角文か山形文を描く。交点に円形貼付文(円スタンプ)	外面は縦ミガキ、内面は横ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第354R -	21055	2	70土坑	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	縄文(原形不明)の地文に、細い沈線による差んだ同心円文を描く	器面荒れて整形不明	浅黄 S	
第354R -	21056	2	70土坑	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	細沈線による内心円分か渦文を描く	外面はミガキ、内面は横ハケメ	にぶい褐色 S+チャート・石英礫	

第138表 弥生土器観察表 70号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第354区 -	20986	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	底部～体 部2/3	-	-	7.9	-	無文	外面はハケメ整形のち 腐ミガキ。内面はハケ メ。底部はナデ	浅黄 S	底部内面に 紐子付きの ようにみえ る欠け口摩 耗(この状 態で使用し た可能性あ り)。底部付 近被熱色変
第354区 -	20987	2	70号土坑	壺	埋土上～ 中層	胴部～体 部のみ	-	-	-	-	無文	外面は横ミガキのち腐 ミガキ。内面は横ハケ メ	浅黄橙 S	
第354区 -	20989	2	70号土坑	壺	埋土中層	体部1/3	-	-	-	-	無文	外面は体部上位に横ハ ケメのち粗ミガキ。体 部下位に斜ハケメのち ナデ。内面は横ハケメ	灰白 S	
第354区 -	20956	2	70号土坑	壺	底面	体部片 1/3	-	-	-	-	無文	内外面ともに荒れ。割 離が著しい	灰白 S	
第354区 PL.144	20934	2	70号土坑	壺	埋土上～ 中層	胴部～体 部1/2	-	-	10.6	-	無文	外面と底部にケズリ	灰白 S+粗砂～細 礫	
第354区 -	20985	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	底部～体 部1/2	-	-	8.0	-	無文	外面はケズリのち粗い ミガキ。底部は砂目底	にぶい黄橙 S	
第354区 PL.144	20930	2	70号土坑	壺	埋土上層	体部～底 部1/4	-	-	(8.4)	-	無文	内面ナデ。底部内面に 整型圧	灰白 S粗砂	
第354区 -	20984	2	70号土坑	壺	埋土中～ 下層	底部～体 部1/4	-	-	9.6	-	無文	外面は横ハケメ	灰黄 S	
第354区 PL.144	20938	2	70号土坑	小型壺	埋土中層	口縁～胴 部 一部 欠	9.2	-	-	-	胴部に沈線めぐるせ、 土塊をナデで良状とす る。外面全体に赤彩	内面はナデ	灰白 S	全体が灰系 褐色でして灰 色だが、本末 は明るい赤 褐色に赤彩 塗布。ヘンガ 少量は胴下 位に一部残 る
第354区 PL.144	20948	2	70号土坑	小型壺	底面	口縁～頸 部	9.8	-	-	-	内外面に赤彩。口縁に4カ 所突起あり	外面に横ナデ。内面に 横ナデ	浅黄 S	
第354区 -	20988	2	70号土坑	壺	埋土上～ 中層	体部～底 部	-	-	7.4	-	無文	外面底部周辺は横ハケ メ。底部にケズリのち ナデ。内面は横ハケメ	灰白 S粗砂主	
第354区 -	21054	2	70号土坑	小型壺	埋土上層	胴部片	-	-	-	-	段状の沈線めぐるせ。 直下に瘤状突起を付す。 外面赤彩	内面はハケメ。ナデ	にぶい黄橙 S細砂主	
第354区 -	21047	2	70号土坑	壺	埋土	底部片	-	-	(10.0)	-	無文	内面にハケメ	にぶい黄橙 S+塵多	
第354区 -	21042	2	70号土坑	壺	埋土下層	胴下位～ 底部	-	-	9.0	-	無文	外面はナデ。部分的に 粗いミガキ	浅黄橙 S+赤塵多	外面半部が 黒底
第354区 -	21043	2	70号土坑	壺	埋土中層	底部	-	-	7.6	-	無文	外面は粗いミガキ。内 面はハケメ後ナデ	浅黄橙 S粗砂主	底面磨滅。 一部黒底
第355区 -	20990	2	70号土坑	甕	埋土中～ 下層	口縁部～ 体部1/4	27.6	-	-	-	口縁部にヘラ削み。胴部 に康状文(6角/17m)。体 部に縹緞羽状文	ハケメ後口縁横ナデ。 内面はミガキ	浅黄橙 S+塵	
第355区 -	20991	2	70号土坑	甕	埋土下層	口縁～胴 部	(22.2)	-	-	-	口縁部に縄文(1R)。口縁 は縄文地文に縹緞波状 文。胴部に康状文(7角 /17m、25～30msノズル) を時計まわりにめくら せ。下位に縹緞羽状文を 描く	外面はミガキ。内面は 胎オサエトハケメ	灰 S+塵多	
第355区 -	20996	2	70号土坑	甕	埋土下層	口縁片	-	-	-	-	口縁部に縄文(1R)。胴部 に康状文(7角/16m)。縹 の縹緞羽状文	外面は横ナデ。内面は 横ハケメ	橙 S+塵多	

遺物観察表

第139表 弥生土器観察表 70号土坑

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第355図 -	21003	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～頸部1/5	(14.8)	-	-	-	口唇に縄文(LR)。頸部に 縷状文(11歯/18mm、12～ 16mmスパン)。体部に縷 幅羽状文	口縁横ナデ、内面横ミ ガキ	にぶい黄緑 S	体部外面に 僅付着。頸部 内面に縷実 任直1
第355図 -	20993	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～胴 部片	(27.5)	-	-	-	口唇に縄文(LR)。内側口 縁の外面に2帯の縷幅波 状文。頸部にスパンの短 い縷状文(6歯/14mm)。体 部に縷幅斜行文をめぐら す	内面に横ハケメ。後ミ ガキ	灰白 S	
第355図 -	21001	2	70土坑	甕	埋土下層	口縁～体 部1/4	(20.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)。頸部に 縷状文(5歯/15mm、30～ 35mmスパン)。体部に乱 れた縷幅羽状文	内外面ハケメ後。内面 は丁寧なミガキ	灰黄 S	
第355図 -	21012	2	70土坑	壺	埋土中～ 下層	口縁～頸 部	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口縁 に縄文(LR)地文(山形 文。頸部に縷状文(6歯 /18mm、20mmスパン)を めぐらす	外面はハケメ。内面は 荒れて整形不明	橙 S+黄多	
第355図 -	21026	2	70土坑	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に2条の 沈積波状文。頸部に縷状 文(5歯以上/10mm以上)を 時計まわりにめぐらす	外面は横ハケメ。内面 はナデとミガキ	灰黄褐 S+黄多	
第355図 -	20995	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～頸 部片	(24.0)	-	-	-	口唇部と口縁外面に縄文 (LR)。受け口は口縁外面 に縷幅波状文(6歯/16mm)	頸部外面に横位ミガ キ。内面は横ナデ	にぶい橙 S+赤粒濃	
第355図 -	20992	2	70土坑	甕	埋土	口縁～胴 部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口縁 に縷幅波状文(器体不明 瞭)。頸部に縷状文(測 して不明瞭)。下位に縷 幅斜走文(4歯/10mm)	器面荒れて整形不明	灰黄 S+黄多	
第355図 -	21014	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～胴 部	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。頸部 に縷状文(6歯/14mm、25～ 30mmスパン)を時計まわ りにめぐらせ。胴部に縷 幅斜走文か	内面はミガキ	灰黄褐 S	
第355図 -	21011	2	70土坑	甕	埋土中～ 下層	口縁～体 部1/2	14.8	-	-	-	口唇に縄文(LR)。受け口 外面に縷幅波状文。頸部 に縷状文(7歯/17mm、18 ～21mm)。体部には縷幅 羽状文	内外面は荒れて不明だ が。内面は横ミガキと 思われる	明黄褐 S+黄多	
第355図 -	21013	2	70土坑	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)。口縁に 縷幅波状文(6歯/20mm)	器面荒れて整形不明	橙 S	
第355図 -	21016	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(4歯/12 mm)。体部に縷幅羽状文	内面ミガキ	にぶい黄緑 S	
第355図 -	21006	2	70土坑	甕	埋土上層	口縁～体 部片	(16.2)	-	-	-	受け口外面に1帯。頸部 ～体部に3帯の縷幅波状 文(5歯/13mm)をめぐらす	ハケメ後。内面横ミガ キ	灰黄褐 S	
第355図 -	21017	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～体 部1/3	(15.0)	-	-	-	口唇に縄文(LR)。受け口 外面に1帯の縷幅波状文。 頸部に縷状文(8歯/15mm、 18～20mmスパン)。体部 に2帯(以上)の縷幅波状 文をめぐらす	器面荒れるが。内面は 横ミガキと思われる	橙 S+黄多	
第355図 -	21041	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～頸 部片	(15.0)	-	-	-	頸部に縷状文(5歯/12mm、 15mm前後スパン)。他の 部位では器面荒れて不明	口縁横ナデで。胴部は 横位ミガキ	橙 S(細砂土)	全体に被熱 赤変
第355図 -	21004	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁～頸 部片	(13.6)	-	-	-	無文	外面は横ハケメ後横位 ミガキ。内面はハケメ 後口縁横ナデ	灰白 S	
第355図 -	20994	2	70土坑	甕	埋土中層	口縁部～ 頸部1/4	25.6	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口縁 部に縄文(LR)。頸部に縷 状文(9歯/18mm、22～28 mmスパン)	器面荒れて整形不明	にぶい橙 S+黄多	

第140表 弥生土器観察表 70号土坑

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第3559R -	21021	2	70号土坑	小型甕	埋土中～ 下層	口縁～胴 部片	-	-	-	-	口胴部に縄文(1段)、胴部 は整形のちみ5条以上によ る横波線をめぐらす	外面は斜ハケメ、内面 はミガキ	灰黄褐色 S	
第3559R -	21008	2	70号土坑	小型甕	埋土中層	口縁部～ 胴部片	-	-	-	-	口胴に縄文(1段)、胴部に 縄状文(4箇/10mm)を時計 まわりにめぐらせ、体部に に縞線羽状文か斜行文を 描く	ハケメ後、内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第3559R PL-144	20942	2	70号土坑	小型甕	埋土上層	口縁～体 部1/3	(11.2)	-	-	-	口胴に縄文(1段)、胴部に 縞線羽状文(7箇/13mm)、 体部に幅幅の小さい縞線 波状文(2～3段)	体部外面に縞ミガキ、 口縁内面・体部上位内 面にミガキ	にぶい黄褐色 S+緑多	
第3559R -	21018	2	70号土坑	(小型甕)	埋土	口縁～底 1/4	-	-	-	-	胴部に縞状文(5箇/11 mm)、体部に横位縞線羽 状文を描く	内面はケズリのちみガ キ	にぶい黄褐色 S	
第3559R -	20997	2	70号土坑	甕	埋土中層	口縁部～ 胴部片	-	-	-	-	胴部に縞状文(8箇/4mm 12～15mmスパン)、体部 に縞線羽状文	内面は横ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第3559R -	20998	2	70号土坑	甕	埋土	口縁部～ 胴部片	-	-	-	-	胴部に縞状文(4箇/13mm 8～11mmスパン)、体部に 1部の縞線波状文をめぐ らす	外面はハケメのち整形 、内面は横ハケメの ちミガキ	灰黄褐色 S	
第3559R -	21030	2	70号土坑	甕	埋土	口縁部～ 体部片	-	-	-	-	胴部に縞線波状文(6箇 /13mm)、体部に縞線羽状 文	内面は斜ミガキ	にぶい黄褐色 S+緑	
第3560R -	21000	2	70号土坑	甕	埋土中層	体部1/4	-	-	-	-	体部に縞線羽状文(5箇 /15mm)	ハケメ後、外面無文部 にミガキ、内面はミガ キ	にぶい黄 S	
第3560R -	21015	2	70号土坑	甕	埋土中層	体部	-	-	-	-	体全体に縞線羽状文(5箇 /8mm)、縞状具は細く幅 狭	内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第3560R PL-144	20943	2	70号土坑	台付甕	埋土下層	口縁部 1/2・台 付脚部欠	14.0	-	-	-	口胴に縄文(1段)、口縁と 体部に、沈線による斜線 交互充填の三角文、胴部 は縞状文(5箇/9mm)	外面に縞ミガキ、内面 に横ミガキ	にぶい黄褐色 S+緑	
第3560R -	21020	2	70号土坑	(小型 台付甕)	埋土中～ 下層	口縁～体 部片	(11.2)	-	-	-	口胴と体部外面に縄文 (1段)として、体部にコ の字垂ね文を描く	内面縞ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第3560R PL-144	20945	2	70号土坑	小型 台付甕	埋土中～ 下層	口縁～体 部1/3	(9.7)	-	-	-	口胴と口縁に縄文(1段)、 胴部に縞状文(6箇/13 mm)、体部に斜線交互充 填による三角文で円形彫 付文(横波線)	内面ミガキ	灰白 S+チャート 硬	熟煎痕なし
第3560R -	21022	2	70号土坑	小型 台付甕	埋土	体部片	-	-	-	-	胴部に縞状文(6箇/16 mm、15mmスパン)、下位に この字垂ね文	外面はハケメ、内面ミ ガキ	にぶい黄褐色 S	
第3560R -	21019	2	70号土坑	(台付甕)	埋土中層	口縁部～ 体部1/4	-	-	-	-	胴部に縞状文(8箇/17 mm、13～28mmスパン)を時 計まわりにめぐらせ、下 位にこの字垂ね文、交点 部に小孔を突き出した円形 彫付文を付す	外面は横ハケメのちミ ガキ、内面は斜ミガ キ	にぶい黄褐色 S	
第3560R -	21033	2	70号土坑	高杯	埋土上層	口縁部 1/5	(21.6)	-	-	-	赤彩の可能性あるが、不 明瞭、2ヶ所1対の山形突 起を口縁に付す	器面荒れて整形不明	灰白 S	
第3560R -	21032	2	70号土坑	高杯	埋土中層	口縁部片	-	-	-	-	内外面赤彩	縞ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第3560R PL-144	20944	2	70号土坑	ミニチュ ア台付甕	埋土	口縁部 3/4欠	5.2	7.4	4.2	-	胴部に縞状文(6箇/9mm)、 口縁に縞線波状文(1段)	内面はハケメのちナデ 、外面に縞ミガキとハケ メ、内面に輪縞痕と指 ナデ、底部外面に斜い ミガキ	浅黄褐色 S	体部外面に 種子圧痕
第3560R PL-144	20939	2	70号土坑	ミニチュ ア型	埋土上層	口縁部 1/2欠	4.7	6.2	4.8	-	無文		にぶい黄 S	

遺物観察表

第141表 弥生土器観察表 70号土坑

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第356区 -	21023	2	70土坑	台付甕	埋土下層	脚部1/3	-	-	(7.0)	-	無文	底面内面はミガキ、脚外内面は縦位ミガキ、内面は横ハケメ	灰白S	
第356区 -	21024	2	70土坑	台付甕	底面	脚接合部	-	-	-	-	無文	外面は縦ミガキ、内面横ミガキ、脚内面はナデ	浅黄S	焼熱色変、体部外面に煤付着
第356区 -	21025	2	70土坑	(高杯)	埋土中層	脚接合部	-	-	-	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白S+赤粒	外面一部黒炭
第356区 -	21031	2	70土坑	高杯	埋土上層	脚部上平	-	-	-	-	内外面赤彩	脚内面はナデ	にぶい黄粒S+赤粒	
第356区 -	21034	2	70土坑	高杯	埋土中層	脚部2/3	-	-	(10.6)	-	外面赤彩、杯部内面は器面測線で赤彩の有無は不明	器内ミガキ、内面横ナデ	にぶい粒S	
第356区 -	21035	2	70土坑	鉢	埋土中層	口縁片	(17.0)	-	-	-	口縁に、扁平な三角形構図のなかを沈線による交互斜線文を充填する。交点部には中心刺突を加えた門形貼付文。内外面とも施文部以外を赤彩	赤彩横位ミガキ	にぶい黒S細砂土	外面一部黒炭
第356区 Pl.144	20946	2	70土坑	鉢	埋土中～下層	口縁～底部1/3	(12.2)	5.4	(6.0)	-	内外面に赤彩、口縁に穿孔あり	外面はハケメ、内面は赤彩後のミガキ	灰白S	口辺片側に黒炭
第356区 Pl.144	20947	2	70土坑	小型鉢	埋土	2/3	11.0	5.0	5.8	-	内面に横ナデ、底部にミガキ	内面に横ナデ、底部にミガキ	にぶい粒S+赤粒	
第356区 -	21036	2	70土坑	鉢	埋土	口縁片	(12.6)	-	-	-	口縁に2孔一対で穿つ。内外面赤彩	赤彩横位ミガキ	にぶい黒S細砂土	
第356区 -	21037	2	70土坑	蓋	埋土中層	横み部～天井片	4.4	-	-	-	無文	内外面ミガキ、横み部は横ナデ	浅黄粒S	天井部内面に黒炭
第356区 -	21038	2	70土坑	蓋	埋土	横み部	3.8	-	-	-	無文	外面へう先ナデ、内面粗いミガキ	にぶい黄粒S	
第356区 -	21039	2	70土坑	甕	埋土中層	体部下位～底部	-	-	9.0	-	無文	ハケメ後、内面は粗いミガキ	にぶい黄粒S	体部に焼熱赤変着り
第356区 -	21040	2	70土坑	甕	埋土中層	体部下位～底部	-	-	9.0	-	無文	外面はミガキ、内面は測線で不明	にぶい黄粒S	底面から体部片面に黒炭
第356区 -	21039	2	70土坑	蓋	埋土下層	横み部	(4.5)	-	-	-	無文	天井部内外面ミガキ、横み部内面はナデ	灰白S	天井部内面に黒炭
第356区 -	21040	2	70土坑	蓋	埋土中層	横み部	(4.8)	-	-	-	無文	内外面ナデ	にぶい黄粒S	
第356区 -	20941	2	70土坑	甕	埋土上～中層	体部～底部	-	-	9.2	-	無文	外面にミガキ、底部外面にナデ上げ、内面に横ナデ	にぶい粒S+赤	
第356区 -	21050	2	70土坑	甕	埋土	体部下位～底部	-	-	(13.2)	-	無文	内外面ハケメ後、内面は粗いミガキか	浅黄粒S	片面に黒炭
第356区 -	20940	2	70土坑	甕	埋土下層	体部～底部	-	-	8.7	-	無文	体部外面に斜ハケメと縦ミガキ、体部内面横ハケメ	にぶい黄粒S	外面上位に煤付着
第356区 -	21044	2	70土坑	甕	埋土	底部	-	-	8.0	-	無文	外面はハケメ、内面は測線、底面は荒れと測線	にぶい黄粒S	内面に碎破1、底面に粗破ほか2
第356区 -	21045	2	70土坑	(甕)	埋土上層	底部	-	-	7.2	-	無文	外面は縦ハケメ、内面はミガキで荒れ著しい、底面はケズリ	褐灰S	
第356区 -	21052	2	70土坑	(小型甕)	埋土	底部	-	-	5.4	-	無文	内外面へうナデ	灰白S	
第356区 -	21046	2	70土坑	甕	埋土中層	底部	-	-	5.8	-	無文	器面荒れて整形不明	浅黄粒S多	
第356区 -	21048	2	70土坑	小型甕	埋土下層	底部	-	-	4.5	-	無文	外面整形不明、内面はケズリ、底面ケズリ	黒濁S多	
第356区 -	21049	2	70土坑	小型甕	埋土	底部片1/5	-	-	(7.0)	-	無文	外面縦位ミガキ、内面整形はナデか	灰黄粒S	
第356区 -	21051	2	70土坑	甕	埋土下層	底部片1/4	-	-	(8.0)	-	無文	外面は縦位、内面は横位ミガキ	灰白S	底面を除く内面にコゲ痕

第142表 弥生土器観察表 73・89・146・361号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第357Ⅸ PL.144	21132	2	73土坑	壺	埋土下層 上位	口縁～頸 部2/3欠	-	-	7.4	-	頸部～胴部にかけて、5 段の横線区画の中を沈 線三角文で充填する。胴 部は3条沈線で重山形文 を描き、頂部交点に縦文 沈線を加えたボタン状附 付文を付す	胴部下位外面に指ナ デ?、内面はケズリの ヘラ充填。胴部内面に 斜ナデ	にぶい・粗 S	
第357Ⅸ PL.144	21133	2	73土坑	壺	埋土下層	口縁～胴 部	11.3	-	-	-	口側に縄文(L)と、胴部に 2条の沈線による横帯で 縄文地文とし、その中に 1条の沈線波状文	口縁外面は粗い弱ハケ メ、胴部の横線文の下 に細かい弱ハケメのち 丁寧なミガキ、口縁内 面に横ナデ、胴部内面 は丁寧なヘラナデ	灰黄 S	
第357Ⅸ -	21134	2	73土坑	壺	底面付近	肩～底部 2/3	-	-	8.0	-	無文	体部外面は肩下半縦ミ ガキ、内面は割磨きし い	灰黄 S	底面に精緻 3点
第357Ⅸ -	21141	2	89土坑	壺	埋土、95 溝表採	口縁～頸 部1/3	(10.8)	-	-	3.4	口縁に1貫通孔を穿つ	口縁内外面に横ナデ、 胴部外面に粗いソウキ メ、胴部内面に横ナデ のちミガキ	にぶい・粗 S+赤礫	
第357Ⅸ -	21140	2	89土坑	壺	埋土、95溝 表採	口縁部片	-	-	-	-	無文	内外面とも横ミガキ	粗 S+赤礫	
第357Ⅸ -	21142	2	89土坑	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	無文	外面はハケメのち丁寧 な横位ミガキ、内面は ナデ	粗 S+赤礫	
第357Ⅸ -	21848	6	146土坑	壺	埋土中～ 下層	頸～胴部	-	-	-	-	頸部に縄文らしき地文に 横沈線をめぐらす	外面はハケメ後縦ミガ キ、内面は割磨き不明	にぶい・黄粗 S	
第357Ⅸ -	21849	6	146土坑	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	胴部に横沈線と沈線状 文を交互施文し、胴部に 垂沙弧文をめぐらす	内外面ハケメ	灰黄褐 S細砂主	
第357Ⅸ -	21852	6	146土坑	甗	埋土上層	口縁～体 部	-	-	-	-	口側に縄文(L)、口縁外 面に2条沈線の波状文。 胴部に横状文(5溝/14mm、 20～24mmスパン)、体部 に見れた縦位縞羽状文 を描く	外面はハケメ、内面は ハケメ後横ミガキ	灰黄褐 S細砂主	
第357Ⅸ -	21857	6	146土坑	蓋	埋土下層	天井部 1/4	(30.6)	-	-	-	外面に赤彩	外面赤彩後にミガキ、 内面はハケメ	浅黄橙 S	
第357Ⅸ -	21854	6	146土坑	甗	埋土上層	体部	-	-	-	-	傾斜の強い、縞羽状文(5 溝/15mm)をまばらに描く	内面横ミガキ	粗 S+礫	
第357Ⅸ -	21856	6	146土坑	高杯	埋土中層	脚部	-	-	-	-	内外面赤彩。脚部中に 小孔を5カ所に穿つ	赤彩部ミガキ、脚内面 ナデ	にぶい・粗 S+礫	
第357Ⅸ -	21853	6	146土坑	甗	埋土上層	体部	-	-	-	-	縞羽状文(6溝/15mm)を 8部(以上)重ねてめぐら す。中央付近に管状具丸 端刺突を加えた円形附付 文を付す	外面はハケメ後下半無 文を磨き、内面は横 ミガキ	灰黄褐 S細砂主	
第357Ⅸ -	21850	6	146土坑	壺	埋土上層	底部	-	-	9.4	-	無文	外面は横ナデとミガ キ、内面は底面ナデ、 体部はハケメ	粗 S+細礫多	
第357Ⅸ -	21851	6	146土坑	壺	埋土上層	底部	-	-	10.0	-	無文	内外面ハケメ後、外面 に横ナデとミガキ、底 面ミガキ	にぶい・黄粗 S細砂主	底面周縁は 磨礫
第357Ⅸ -	21855	6	146土坑 (甗)	埋土上層	体部下位 ～底部	-	-	-	6.4	-	無文	内外面ハケメ、底面は ナデ	にぶい・黄粗 S+礫	
第357Ⅸ PL.145	22547	2北	361土坑	壺	底面	完形	10.0	15.6	5.0	-	口縁4カ所に、蓋縁に孔 2孔一対で焼成前に穿つ	内面下位は横ナデ、中 位はハケメ、口縁～頸 部はミガキ、底面は粗 いミガキ	浅黄橙 S	
第357Ⅸ -	22546	2北	361土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文として、 2条の横沈線をめぐらし、 下位に横状文(12mmス パン)	外面はナデ、内面は割 磨き不明	浅黄 S	

遺物観察表

第143表 弥生土器観察表 361-362号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第357段 -	22545	2北	361土坑	甕	埋土	頸部~体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(4筋/5mm、 14mmスパン)、体部に縷 幅斜行交	内外面ハケメ、内面ミガ キ	灰黄褐色 S	
第357段 -	22544	2北	361土坑	(甕)	埋土	底部1/2	-	-	8.0	-	無文	外面横ミガキ、内面は ハケメとナデ	にぶい黄褐色 S	底面にイネ 穂土直1
第358段 -	22563	2北	362土坑	甕	埋土上~ 中層	口縁~肩 部	(16.9)	-	-	-	口縁と頸部~肩土部に縷 文(L)地文、頸部に2条 縷状線をめぐらす	外面に粗いハケメ後、 内面に粗い縦ミガキ、内面 は肩部にナデ、頸部に ミガキ	灰黄 S	
第358段 -	22565	2北	362土坑	甕	底面	口縁片	(15.4)	-	-	-	口縁に縷文(LR)	外面に縦ハケメ、内面 は粗い横ミガキ	浅黄褐色 S+輝石多	
第358段 -	22556	2北	362土坑	甕	埋土上層	口頸部	(17.5)	-	-	-	口縁と受け口外面及び頸 部に縷文(LR)を地文とし、 口縁に縷幅波状文(2 筋/5mm)、頸部には段状 の縷状線をめぐらす	内外面ハケメ後、口縁 部横ナデ、頸部内面は ミガキ	にぶい黄褐色 S+塵	
第358段 Pl.145	22569	2北	362土坑	甕	埋土上層	口頸部欠	-	-	6.0	-	外面に赤彩	外面はミガキ、内面は ナデ	にぶい黄褐色 S面砂主	底面の磨減 著しい
第358段 -	22558	2北	362土坑	甕	埋土上層	頸部	-	-	-	-	頸部に幅広い縷文(LR)を 施して地文とし、3条の 縷状線で横区画した中 に縷幅波状文をめぐらす	外面は縦、内面は横の ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第358段 -	22559	2北	362土坑	甕	埋土	頸部1/2	-	-	-	-	頸部に縷文(LR)を地文と して、4条の沈線による 縷状文を4方所で止め ながらめぐらす	内面ナデ	浅黄褐色 S	
第358段 -	22557	2北	362土坑	甕	埋土	頸部	-	-	-	-	体部との境に縷幅縷文 をめぐらせ、頸部に大き な波形の縷幅波状文、体 部には縷状波状文、施文 具は4mm/9mmの縷状具で、 先端が一定せず、施文直 線にばらつきがある	内外面とも細かいハケ メ後、ナデ	浅黄褐色 S	
第358段 -	22560	2北	362土坑	甕	底面	頸部片	-	-	-	-	上位に縷状文(4筋/10mm、 9mmスパン)をめぐらせ、 中位以下に縷文(LR)を施 す。中位には1条の縷状 線をめぐらせ、部分的に 粗い縷先で縷列み列を加 える		灰白 S面砂主	
第358段 Pl.145	22567	2北	362土坑	甕	底面	口縁欠	-	-	8.4	-	頸部に段状縷状線で文様 帯を画し、縷文(LR)を地 文として、4条縷状(2条 同時×2帯)の山形文をめぐ らす	内外面ともハケメ後、 外面は肩部以下を丁寧 なミガキ、内面は口縁 部がミガキ、体部上半 にナデ	浅黄褐色 S	口縁は人為 的に打割し た可能性が 高い、底面は 縷幅波文
第358段 Pl.145	22568	2北	362土坑	甕	底面	口縁と体 の一部欠	(14.3)	38.7	9.0	-	口縁と頸部に縷縷文(オ ボコ文)、頸部に縷 波状文をめぐらす。肩部 一面に「新」とも解さ れる先端5分岐の記号文 を垂下する	内外面ともハケメ、特 に口縁内外面は板小口 で整った細かいハケメ (ナデ)。外面の体部下 半はミガキ、内面の体 部上半はナデ、底面は 粗いミガキ	にぶい黄 褐色 S	口縁は人為 的な打割の 可能性あり
第358段 -	22572	2北	362土坑	甕	埋土上~ 中層	体部	-	-	-	-	体部下半に1条縷状線を めぐらせて肩部と頸部の 支線界線とする。肩部 には、2単位縦列の三叉状 記号文を垂下する。同一 個体と推測される22573 とあわせて、5単位が垂 下されたと考えられる。 頸部には2条一単位の縷 幅波状文を2帯(以上)め ぐらす	内外面ともナデ	にぶい黄褐色 S	

第144表 弥生土器観察表 362・363号土坑

探検 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第358図 -	22573	2北	362土坑	壺	埋土上～ 中層	体部	-	-	-	-	22572と同じ	内外面ともナデ	にぶい黄緑 S	
第358図 Pl. 145	22562	2北	362土坑	壺	埋土上～ 中層	頸部以上 と体部	-	-	11.0	-	無文	内外面ハケメ後外面は ミガキ。内面の頸部～ 体部上半はナデ	浅黄緑 S	底面にイネ 稈土直方所 ほど
第358図 -	22552	2北	362土坑	壺	埋土上層	体部上半	-	-	-	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ。内面はハケメ	黄灰 S	
第358図 -	22564	2北	362土坑	壺	埋土上～ 中層	頸部～同 部	-	-	-	-	頸部に段状縦線をめぐ らせ、その下に縄文 (LR)を施す	内外面ハケメ後外面は 無文部縦ミガキ。内面 はナデ	灰黄 S	外面同一の 一部に黒斑
第359図 -	22571	2北	362土坑	壺	埋土上層	胴部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、 2条の波状文をめぐ らせ、波状文下縁に沿っ て管状目先端による刺突 列を加える。	内外面ともナデ	灰黄 S	外面の一部 被熱発色
第359図 -	22561	2北	362土坑	壺	埋土上～ 中層	胴部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文として、 2条の波状文をめぐ らせ、波状文下縁に沿っ て管状目先端による刺突 列を加える。縄文下端 にはS字状の結節回転面 を残す	内外面ともナデ	灰黄 S	
第359図 -	22551	2北	362土坑	甕	埋土上層	頸部～体 部上半	-	-	-	-	頸部に縦文(6mm/3mm、 13～20mmスパン)。体部 に帯刷引状文	内外面ともハケメ	にぶい黄緑 S	
第359図 -	22549	2北	362土坑	甕	埋土上層	口縁～体 部	(21.0)	-	-	-	口側に縄文(LR)。頸部に 帯状文(6mm/4mm、17mm スパン)。体部に整った 縦位帯刷引状文を描く	内外面ともハケメ後、 内面に横ミガキ	にぶい黄緑 S	外面の部分 的に黒斑
第359図 -	22550	2北	362土坑	甕	埋土上層	体部下半	-	-	-	-	帯刷引状文(6mm/13mm)を 描く	内外面とも横ハケメ 後、外面はナデ。内面 は横ミガキ	灰黄 S	
第359図 -	22570	2北	362土坑	壺	埋土上層	体部下半 ～底部	-	-	11.0	-	無文	外面は斜～縦ミガキ、 内面は横ハケメ	灰黄褐色 S	
第359図 -	22555	2北	362土坑 (付付費)	埋土上層	脚部	-	-	-	7.8	-	無文	体部内面と外面ミガ キ。頸内面はハケメ	浅黄緑 S+白燻	
第359図 -	22554	2北	362土坑	鉢	埋土上層	底部	-	-	4.6	-	内外面赤彩	ミガキと思われるが荒 れて不明瞭	にぶい黄緑 S面砂土	
第359図 -	22548	2北	362土坑	甕	埋土中層	底部	-	-	8.8	-	無文	外面はハケメ。内面は 横ミガキ。底面ミガキ	にぶい黄緑 S	
第359図 -	22566	2北	362土坑	甕	埋土上層	体部下半 ～底部	-	-	7.8	-	無文	外面は縦ミガキ。内面 は横のナデと粗いミガ キ	にぶい黄緑 S	
第359図 -	22553	2北	362土坑	壺	埋土上層	体部下位 ～底部	-	-	9.3	-	無文	外面はミガキ。内面は ハケメ後ナデ	浅黄緑 S	
第359図 -	22574	2北	362土坑	壺	埋土上～ 中層	体部～底 部	-	-	10.0	-	無文	外面は横ナデとミガ キ。内面は横ナデ	灰白 S	外面の片面 に黒斑
第359図 -	22581	2北	363土坑	壺	埋土	口頸部	(21.2)	-	-	-	口側と頸部に縄文(LR)を 施す	内外面ハケメ後、口縁 横ナデ	にぶい黄 S	
第359図 Pl. 145	22575	2北	363土坑	短頸壺	底面	完形	13.0	16.2	6.5	-	無文	内外面ハケメ。口縁外 面は軟小口による整っ た面ハケメ(ナ デ)。頸部～体部外面、 および口縁～体部上半 の内面は横ミガキ	浅黄緑 S	底面に地状 態と思われる イネ稈土直 方。外面の底 部付近で黒 斑一箇所
第359図 -	22583	2北	363土坑	壺	底面	体部上半	-	-	-	-	頸部に横波線と波線山形 文をめぐらす	内外面ハケメ後、外面 は縦ミガキ	灰黄 S	胴部内面の 片側のみ黒 色の付着物。 被熱痕みら れずこびり きとは考え にくく、堆積 物のもと思 われる

遺物観察表

第145表 弥生土器観察表 363・365号土坑

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第359図 -	22579	2北	363土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈3条で横位文様帯を区画し、上位から沈線波状文、剣突列点文、沈線波状文、横波状文の順でめぐらす。下位の波状文頂部には管状具先端剣突を加えた円形彫付文を付す	内外面ハケメ、内面彫れて整形不明	にぶい黄褐色 5細砂主	
第359図 -	22580	2北	363土坑	壺	埋土	体部	-	-	-	-	1条の沈線波状文を垂下し、右側に剣突充填の三角文を描く。三角文は副面文と共通する描出だが、頸部頸帯を横位にめぐらす通例と異なり、単独描出の輪帯構成と思われる	内外面とも横ハケメ	浅黄 5	
第359図 -	22577	2北	363土坑	台付甕	埋土	体部片	-	-	-	-	コの字垂ね文を描き、中心輪縁上部に管状具剣突を加えた円形彫付文を付す	外面ハケメ、内面は丁寧な横ミガキ	にぶい黄褐色 5	
第359図 -	22578	2北	363土坑	甕	埋土上層	体部下位 ～底部	-	-	6.7	-	無文	外面はハケメ、内面ナデ	灰黄褐色 5	底面に確実 注道1
第359図 -	22582	2北	363土坑	壺	埋土上層	肩部～底 部	-	-	11.2	-	無文	外面はミガキ、内面は割磨で不明	にぶい黄 5	
第359図 Pl.145	22576	2北	363土坑	小型 台付甕	底面	口縁大部 分と脚欠	(10.4)	-	-	-	頸部に横状文(4歯/30mm、5-10mmスパン)、体部に縦帯状文を描く	内外面ハケメ後、内面に粗いミガキ	浅黄褐色 5	脚部～体下 半外面に灰 付着、体部外 面は僅ける
第360図 Pl.145	22584	2北	365土坑	壺	底面	口縁一部 欠	18.0	27.3	6.5	-	口部に2ないし3箇所と思われる突起を付す。頸部は縄文(1R)を地文として、2条横沈線と中に沈線波状文をめぐらす。頸部下には3条沈線による垂道弧文、体部下平に2条沈線波状文をめぐらせて肩部と頸部の界線とし、胴部波状文の下位に横沈線をめぐらせ、7-8状沈線で同心平円文を描く。外面の頸部下～胴部、口頸部内面に赤彩	頸部外面に横ハケメ、胴部内外面に横ハケメ後ミガキ	にぶい黄褐色 5	底面にイネ 類土直1。底 面の磨減は 少ない
第360図 Pl.145	22585	2北	365土坑	壺	底面	口縁3/4 欠	(12.4)	25.0	6.4	-	口内、頸部、胴部に縄文(1R)を地文とする。頸部には3条の横沈線を描く。胴部には3条の横沈線を描く。上段に沈線波状文、下段に沈線山形文を描く。胴部には3条の横沈線を描く。上段では下向き、下段では上向きに施文する	内外面ハケメ後、ナデ	灰黄 5	胴部に藍目 かと思われる 斜線状遺 元痕跡が3条 みられる。底 面磨減著
第360図 -	22588	2北	365土坑	甕	埋土上層	口縁～体 部上半	-	-	-	-	頸部に横状文(5歯/11mm、12-14mmスパン)、体部に縦帯状文	内外面ハケメ後、口縁横ナデ	灰黄褐色 5	外面灰付着
第360図 -	22587	2北	365土坑	壺	埋土	体部下平 ～底部	-	-	(7.0)	-	無文	内外面ハケメ後、外面にミガキ	灰黄 5	体部外面に 確実?注道1 (シブチカ探 取)全体に遺 元気味
第360図 -	22586	2北	365土坑	壺	埋土上層	体部～底 部	-	-	(6.4)	-	外面に赤彩	外面ミガキ、内面は横ハケメ	にぶい黄褐色 5	内面遺元

第146表 弥生土器観察表 365・391・446・497・505号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第360区 -	22589	2北	365土坑	壺	埋土	底部	-	-	8.0	-	無文	外面はハケメ後ミガキ、底縁はケズリ。内面ナデ	灰黄 S	底面にイネ 糠1直1
第360区 -	22590	2北	365土坑	壺	埋土	底部	-	-	10.3	-	無文	外面指オサエ後ナデとミガキ内面ナデ	にぶい黄 S	
第360区 PL.146	22628	2北	391土坑	甕	2.3.5.6	体一部欠	19.8	25.6	7.9	-	口縁に縄文(LR)。受け口の外面と頸部に縞線波状文(5溝/11mm)。体部に縞線波状文(6溝/12mm)を施す。胎文は時計回り、上から下の順	外面に横ハケメ、無文部に縦ミガキ、内面は丁寧なミガキ	にぶい黄 S	体下半は被 熱赤変、体部 中位以上は 復付着。体部 内面の最下 位にコケ痕、 底面は周縁 磨滅
第360区 PL.146	22682	2北	446土坑	壺	底面	口縁一部 欠	10.2	19.2	6.8	-	口縁と頸部に縄文(LR)を施す	外面無文部と口縁内面はミガキ、体部内面はナデか	灰黄 S+糠多	体部外面の 一か所に黒 痕。底面周縁 磨滅
第360区 PL.146	22683	2北	446土坑	壺	底面	口縁部欠	-	-	6.8	-	頸部に縄文(LR)を地文として、3条の横沈線をめぐるす	外面はミガキ、内面はナデ	灰黄 S	体部下半に 内面からと 思われる穿 孔1か所
第360区 -	22684	2北	446土坑	壺	埋土中層	頸部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、3条の横沈線をめぐるす	内外面ハケメ	にぶい黄 S	外面にイネ 糠1直1
第360区 -	22679	2北	446土坑	甕	埋土上層	口縁~体 部	(14.0)	-	-	-	口縁と受け口外面に縄文(LR)を地文とし、1条沈線波状文をめぐらす。頸部に横状文(5溝/10mm、12mmスパン)、体部に縞線波状文	内外面ハケメ後、口縁及び頸部内面に横ナデ	にぶい黄 S	体部外面の 一部が保つ て
第360区 -	22681	2北	446土坑	壺	底面	頸部	-	-	-	-	2条の横沈線をめぐるす。なかに沈線波状文を描く	内外面ハケメ、体部内面はナデ	にぶい黄 S+糠多	
第360区 -	22678	2北	446土坑	甕	埋土	口縁~体 部上半片	-	-	-	-	口縁と受け口外面に縄文(LR)を地文とし、1条には沈線山形文をめぐるす。体部に縞線波状文(6溝/15mm)を描く	外面にハケメ、内面はミガキ	灰黄褐 S細砂主	
第360区 -	22680	2北	446土坑	(台付甕)	埋土上層	脚部片	-	-	(7.0)	-	無文	内外面ミガキ	にぶい黄 S	被熱赤変
第360区 -	22685	2北	446土坑	鉢	埋土中層	体部下位 ~底部	-	-	7.4	-	内面赤彩	内外面とも横ミガキ	にぶい黄 S	
第360区 PL.147	22695	2北	497土坑	壺	埋土下層	口頸部と 体部下位 欠	-	-	(5.4)	-	無文	頸部に焼成前に円孔(径6mm)を穿つ。内外面ハケメ後、外面はミガキ	灰黄 S	底面磨滅
第360区 -	22697	2北	497土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	縞線波状文(6溝/16mm)を描く	外面は縦、内面は横のハケメ	にぶい黄 S	
第360区 -	22696	2北	497土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縞線波でコ字を重ね文を描く	内外面ハケメ後、内面は粗いミガキ	にぶい黄 S	
第361区 PL.146	22705	2北	505土坑	壺	底面西側	口縁と体 の一部欠	16.4	39.1	9.5	-	口縁と頸部に縄文(LR)。頸部には上限を段状の横沈線で画し、その下に4条の深い横沈線をめぐるす	外面は丁寧なミガキ、内面はハケメ後、体部はナデ。口頸部は横ミガキ底面ミガキ	灰黄 S	底面~体下 端に黒痕
第361区 -	22710	2北	505土坑	壺	埋土上位	口縁部	-	-	-	-	口縁と口縁外面に縄文(LR赤変)を地文として、口縁外面に沈線波状文をめぐらす	内外面横ハケメ後、内面は粗いミガキ	浅黄 S	
第361区 -	22704	2北	505土坑	壺	埋土下位	口縁片	15.9	-	-	-	口縁に篋形	外面は横ナデ、内面は横ミガキ	灰黄 S細砂主	
第361区 -	22712	2北	505土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縞線波状文(6溝/20mm)を複数めぐらす	内面ナデ	にぶい黄 S	

遺物観察表

第147表 弥生土器観察表 438・505号土坑

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第361図 Pl.146	22701	2北	505土坑	壺	底面中央	口縁と体 の一部欠	14.8	39.6	9.0	-	口唇と頸部に縄文(LR)。 頸部は上段に尚土横沈 線。下段を横沈線とし、 なかに2条沈線波状文を めぐらす	内外面ともハケム後、 内面の体中位以上はナ デ。口縁は横ナデ	灰白 S	体部下半の 一面に大き な黒斑。対面 の前面に小 黒斑
第361図 -	22709	2北	505土坑	壺	埋土中位	頸部一 体部	-	-	-	-	頸部に2条の横沈線で横 帯文様帯をめぐらせ、な かに縄文(LR)を地文とし 2条沈線波状文を飾す	外面ハケム、内面はハ ケムとナデ	灰黄 S	
第361図 -	22707	2北	505土坑	壺	埋土上位	口縁一 体部	15.0	-	-	-	口唇に縄文(LR)。頸部に 6条の横沈線をめぐらす	外面は丁寧なミガキ、 内面はハケムとナデ、 口縁内面は横ミガキ	浅黄槽 S	
第361図 -	22703	2北	505土坑	壺	埋土上位	底部	-	-	8.8	-	無文	内外面ともハケム	にぶい黄槽 S	底面縁縁磨 滅
第361図 -	22711	2北	505土坑	甕	埋土	口頸部	-	-	-	-	口唇に縄文(O)。頸部に 垂状文(9~13cmスパン)	口縁外面は横ナデ。内 面は横ミガキ	にぶい黄槽 S	
第361図 -	22702	2北	505土坑	壺	埋土下位	口縁一 口部	11.7	-	-	-	無文	外面は丁寧部にナデ。 口部は縦ミガキ、内面 は体部ハケム、全体に 横ナデ	灰黄 S	胎土
第361図 -	22706	2北	505土坑	壺	底面西側	体部下 半~ 底部	-	-	9.0	-	無文	外面ヘラナデ後横ミガ キ、内面はヘラナデ。 底面ケズリ	灰黄 S	
第361図 -	22713	2北	505土坑	鉢	埋土	底部 1/2	-	-	(5.0)	-	底面除き、内外面赤彩	ミガキ	にぶい黄槽 S	
第361図 -	22708	2北	505土坑	壺	埋土上位	体部一 底部	-	-	9.1	-	無文	内外面ハケム後、外面 は縦ミガキ	にぶい黄槽 S	底面にイネ 藁ないし藁 の圧痕
第362図 Pl.146	22663	2北	438土坑	壺	底面南端	口縁3/4 欠	(11.2)	30.7	8.5	-	口唇と頸部に縄文(LR)	内外面ハケム外面はミ ガキ、内面はナデか。	にぶい黄槽 S+輝石多	外面体部下 半に種突? 圧痕1
第362図 Pl.147	22665	2北	438土坑	壺	底面南端	口頸部欠	-	-	6.1	-	無文	外面はミガキ内面はナ デか。	灰白 S	胎土
第362図 -	22647	2北	438土坑	壺	埋土	口頸部	-	-	-	-	口唇と口縁外面に縄文 (LR)。口縁外面に2条平 行沈線による流状文を めぐらす	内外面とも横ハケム、 口縁は横ナデ	浅黄槽 S	胎土
第362図 -	22658	2北	438土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	縦縄文(オオハコ文)を地 文に、横沈線をめぐらせ、 下位に3条の沈線波状文 を飾く	内面ナデ	灰黄槽 S	
第362図 -	22664	2北	438土坑	壺	下層東法 面	体部片	-	-	-	-	無文	外面はミガキ、内面は ハケム後ナデと思われる が距離で不明瞭	灰黄 S	
第362図 -	22667	2北	438土坑	壺	埋土中層	体部一 底部	-	-	6.0	-	外面に赤彩	外面ミガキ、内面はハ ケムとナデ底面は粗い ミガキ	にぶい黄槽 S	
第362図 -	22656	2北	438土坑	甕	埋土	口頸部片	-	-	-	-	口唇に横刻み、頸部に縦 状文(6cm/17cm)	内面は横ミガキ	にぶい黄槽 S	胎土
第362図 -	22657	2北	438土坑	甕	埋土	口縁一 体部上 半	-	-	-	-	口唇に刻み、頸部に縦状 文(4cm/11cm、12~15cm スパン)。体部には磨削 斜格子文を描く	内外面荒れて不明	灰黄 輝石、石英 の粗砂土	
第362図 -	22646	2北	438土坑	壺	埋土	頸部一 体部	-	-	-	-	無文	外面はハケム後、縦ミ ガキ内面はナデ	にぶい黄槽 S	片面黒斑
第362図 -	22668	2北	438土坑	高杯	埋土上層	杯部一 脚上 半部	-	-	-	-	内外面に縦基調のミガ キ脚内面はナデ	内外面はナデ	にぶい黄槽 S	
第362図 -	22669	2北	438土坑	高杯	埋土	杯下半~ 結合部	-	-	-	-	外面に赤彩	外面ミガキ、内面はナ デ	にぶい槽 S	

第148表 弥生土器観察表 438・509・526号土坑、36号井戸

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第362区 Pl. 146	22652	2北	438土坑	甕	埋土中層	口縁～体 部1/2	(19.2)	-	-	-	口縁に縄文(1区)。頸部に 縷状文(4箇/10cm、12～ 17mmスパン)。体部に縷 幅羽状文	外面ハケメ、内面は縷 ミガキ	に深い黄緑 S	
第362区 -	22645	2北	438土坑	壺	埋土	頸部～肩 部	-	-	-	-	2部の縷状文(4箇/9cm、6 ～23mmスパン)をめぐら せ、中間に1条の沈線波 状文を描く	内外面ハケメ	浅黄緑 S	
第362区 -	22661	2北	438土坑	白付甕	埋土	脚部	-	-	(6.8)	-	無文	外面は縷、内面は縷の ミガキ	灰黄緑 S	
第362区 -	22648	2北	438土坑	蓋	埋土	胴み部	-	-	4.9	-	無文	内外面ミガキ	黄緑 S	全体に還元
第362区 Pl. 147	22662	2北	438土坑	蓋	埋土中層	天井部 1/2割欠	11.0	5.7	2.7	-	無文	内外面ハケメ後、外面 は縷、内面は縷ミガキ	灰白 S	口縁に黒炭
第362区 -	22653	2北	438土坑	白付甕	埋土中層	口縁～体 部	(20.0)	-	-	-	口縁に縄文(1区)。体部に この字重ね文を描き、交 点部分に凹孔・刺突の円形 取付文を配す	外面は粗いハケメ、内 面は丁寧な縷ミガキ	暗灰黄 S	口縁～体部 上半の外面 が傷ける
第362区 -	22655	2北	438土坑	小型甕	埋土下層	口縁～体 上半部	12.3	-	-	-	口縁に部分彫り型み、口 縁外面に2条沈線の波状 文、頸部に縷幅波状文(3 箇/7mm)をめぐらす。体 部にこの字重ね文を描く	内外面全体に縷ミガキ	に深い縷 S+白岩片の 割砂多	
第362区 Pl. 147	22654	2北	438土坑	小型甕	埋土中～ 下層	口縁～体 部3/4	10.8	-	-	-	口縁に縄文(1区)。頸部に 縷状文(4箇/10cm、17～ 22mmスパン)。体部に交 差角の鋭い縷幅羽状文	内外面ハケメ後、内面 に縷ミガキ	に深い縷 S+白岩片の 割砂多	体部下半は 焼熱赤変
第362区 Pl. 146	22651	2北	438土坑	甕	埋土中層	口縁～体 部1/2	21.7	-	-	-	口縁に笠形み、受け口外 面に2条沈線波状文、頭 部に縷状文(5箇/15cm、9 ～17mmスパン)。体部最 上位に縷幅波状文をめぐ らせ、その下位から縷幅 羽状文	外面はハケメ、内面は 縷ミガキ	に深い縷 S	
第362区 -	22666	2北	438土坑	壺	中層東法 面	体部下半 ～底部	-	-	9.0	-	無文	内外面ハケメ後、外面 は粗いミガキ、底内面は ナデ	に深い縷 S+白礫・土 器碎片	外面にイネ 粒と直上底 面磨滅
第362区 -	22649	2北	438土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	縷幅羽状文(5箇/10cm)を 描く	外面ハケメ、内面は丁 重な縷ミガキ	に深い縷 S+白礫・土 器碎片	
第362区 -	22659	2北	438土坑	甕	埋土下層	体部下～ 底部	-	-	5.8	-	無文	外面は縷ミガキ、内面 はハケメ後縷ミガキ底 面はケズリ後粗いミガ キ	灰黄緑 S	
第362区 -	22660	2北	438土坑	甕	埋土上層	底部	-	-	8.4	-	無文	外面ハケメ後、縷ミガ キ内面ナデ	に深い縷 S	
第362区 -	22650	2北	438土坑	甕	埋土	底部	-	-	8.7	-	無文	器面荒れて不明	浅黄緑 S	
第363区 -	22720	2北	509土坑	壺	埋土上層	体上半部	-	-	-	-	外面に赤彩	外面ミガキ、内面はハ ケメ	浅黄緑 S+白礫	
第363区 -	22719	2北	509土坑	有孔鉢	埋土上層	口縁～底 部1/4	(19.8)	10.4	6.3	1.6	無文	外面はミガキと思われる が不明瞭、内面ハケ メ後ミガキ	に深い縷 S	二次的焼熱 痕は見られ ない
第363区 -	22721	2北	509土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	縷幅波状文(6箇/15cm)を 5部(以上)重ねる	内面縷ミガキ	に深い縷 S+白礫	
第363区 Pl. 147	22729	2北	526土坑	壺	埋土上層	体下半次	17.0	-	-	-	口縁と頸部に縄文(1区) を縷文頸部上限を段状の 横波線で画し、下位に2 条の横波線となかに沈線 波状文をめぐらす	内外面にハケメ後、外 面はミガキ。杯部結合 はほぼ穴充填による	に深い縷 S	
第363区 Pl. 147	22964	6北	36井戸	壺	埋土	口縁と体 部中間の 一部欠	-	(27.0)	7.5	-	頸部に縄文(1区)を地文と して、2条の横波線をめ ぐる内面に沈線波状文 を描く	外面は縷ハケメ後、縷 ミガキ。内面は縷ハケ メ後、中位以上にナデ 底面ケズリ	灰黄 S	口縁部欠損 後磨滅、その まま使用し た可能性有 り

遺物観察表

第149表 弥生土器観察表 36～38号井戸

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第363号 -	22966	6北	36井戸	壺	埋土	口頸部片	(11.5)	-	-	-	内外面赤彩	外面は縦、内面は横ミ ガキ	にぶい黄橙 S	口縁一部黒 埋
第363号 Pl.147	22963	6北	36井戸	壺	埋土	口縁と体 の一部欠	-	28.3	9.0	-	無文	口縁をはじめ全体に赤 み大きい。口縁は幅広い 板状具による横ナ デ。体部はケズリ後、 内外面にハケメ。外面 は一部ナデ	浅黄橙 S	体部の上位 と下半に黒 埋
第363号 -	22965	6北	36井戸	壺	埋土	体部下半	-	-	(8.8)	-	無文	内外面ハケメ後、外面 はミガキ、内面はナデ	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22968	6北	37井戸	(壺)	埋土	体部片	-	-	-	-	頸丸方形ないし同心円状 の沈線文(フラスコ文か) を描く。地文に縄文(原 体不明瞭)がわずかにみ られる	原 面ハケメ、内面ナデ	橙 S	
第363号 -	22967	6北	37井戸	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	帯状引状文(4角/9mm)を 垂ねる	内面ハケメ	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22977	6北	38井戸	壺	埋土中層	口頸部片	(14.1)	-	-	-	口縁に縄文(L)を、頸部に 1条の横沈線を描く。口 頸部に2条の横沈線を描 く。内区に管状具先 端による刺突列点を施 す。下位には沈線状文 を描く。沈線は細く 浅い	内外面ハケメ、内面は ナデ	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22988	6北	38井戸	壺	埋土中層	口頸部	(17.5)	-	-	-	口頸部に頸部に縄文(L)を 地文とし、内側口縁外 面に沈線山形文、頸部に 6条の横沈線を描く。そ の下位に斜線充填三角 文を描く	内外面ハケメ、内面は ナデと思われるが判別 して不明瞭	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22978	6北	38井戸	壺	埋土下層	口頸部	16.1	-	-	-	口頸部に頸部に縄文(L)を 地文とし、内側口縁外 面に沈線山形文、頸部に 6条の横沈線を描く。そ の下位に斜線充填三角 文を描く	器面荒れて整形不明	灰白 S細砂土	
第363号 -	22971	6北	38井戸	壺	埋土中層	口頸部片	-	-	-	-	幅の広い内側口縁で、口 縁外面に横沈線、下位に 2条沈線状文を描く。頸 部には、横沈線と縦文 帯を画し、内区に沈 線山形文を描く	内外面ハケメ後、内面 は粗いミガキ	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22969	6北	38井戸	壺	埋土上層	口縁片	(17.0)	-	-	-	頸部に壺状文を描く	内外面とも浅いハケメ とナデ	浅黄橙 S	
第363号 -	22970	6北	38井戸	壺	埋土上～ 中層	口頸部片	(15.4)	-	-	-	無文	外面はハケメ後、口縁 横ナデ内面荒れて整形 不明	橙 S	
第363号 -	22973	6北	38井戸	壺	埋土上層	口頸部片	(16.0)	-	-	-	内側口縁の外面に沈線状 文、頸部に横沈線と沈 線状文を描く	内外面ナデ、頸部外面 には縦ミガキをわずか に残す	にぶい黄橙 S	
第363号 -	22972	6北	38井戸	壺	埋土中層	口頸部片	(15.2)	-	-	-	口頸部に縄文(L)	内外面ともハケメ後ミ ガキ	にぶい黄橙 S	大部分が黒 埋
第364号 Pl.148	22985	6北	38井戸	壺	埋土中層	口縁と体 部の一部 欠	13.4	35.0	7.7	-	頸部に3条の横沈線を描 く。上段文様帯には 2列の刺突列点文、下段 には細沈線状文を描 く。胴部には縦沈線と 三叉状記号文を描く	内外面ハケメ後、外面 はミガキ、内面は刺 突不明瞭	灰白 S	
第364号 Pl.147	22984	6北	38井戸	壺	埋土上層	口縁と底 部欠	-	-	-	-	頸部に3条の横沈線を描 く。上段文様帯に沈 線状文を描く。胴部一 個上半に、大腕りの三 叉状記号文を描く	内外面ともハケメ、外 面は縦の粗いミガキ	灰白 S	
第364号 Pl.148	22979	6北	38井戸	壺	埋土	口頸部	(22.5)	-	-	-	口縁に縄文(L)を充填し た刺突文、頸部に4角(16 mm)の太い帯状具で刺 突列を描く。時計回り の施文で、壺状文に類似 、胴部に縄文(L)刺突文	内外面に縦のハケメ を施す。ミガキは見 られない	灰白 S	北島式との 折衷

第150表 弥生土器観察表 38号井戸

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第364回 -	22986	6北	38井戸	壺	埋土中層	頸部	-	-	-	-	段状の横沈線で上段を画し、その下位に縄文(LR)を地文として、4条沈線の造弧文、さらに下位に片面のみ沈線山形文を描く	無文部と内面はハケメナデ	灰白 5	
第364回 Pl.147	22989	6北	38井戸	壺	埋土下層	口縁と体部の一部欠	14.6	28.8	7.0	-	頸部に3条の横沈線をめぐらせ、上下段の内区に沈線波状文を描く。頸部～体部中位には、前後左右の4方所に3帯一組の柳葉波状文(4mm/11mm)を垂下する	口縁横ナデ外面には細かいハケメ後、体部の無文部にミガキ。内面宛れて整形不明。底面は薄黄	灰白 5	口縁～体部 数カ所に黒 斑
第364回 -	22990	6北	38井戸	壺	埋土下層	胴～底部	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文にして、3条の横沈線をめぐらす	外面はハケメ、内面はナデ	浅黄橙 5	
第364回 Pl.147	22983	6北	38井戸	壺	井戸底	口縁一部欠	(13.9)	25.2	7.0	-	頸部に上下を横沈線で画し、内区に2条平行沈線による波状文を2帯めぐらす。頸部の地文には縄文(オオハコ文)を垂す	外面はハケメ後、粗いミガキ。内面はハケメ後1層に横ミガキ、底面はハケメ	灰白 5	体部に外側 からの力に よる6×3cm の破損孔あり
第364回 Pl.148	22982	6北	38井戸	小型壺	井戸底	完形	8.8	14.2	4.7	-	無文	ハケメ後体部外面にミガキ、内面はナデ	浅黄 橙 5	
第364回 -	23003	6北	38井戸	小型壺	埋土上～ 中層	(口頸部)	8.7	-	-	-	内外面に赤彩	器面宛れて不明瞭	橙 5	
第364回 -	22987	6北	38井戸	壺	埋土上～ 中層	口頸部	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、6条沈線による造弧文をめぐらす	内外面にハケメ後、外面は横ミガキ	浅黄橙 5	
第364回 -	22974	6北	38井戸	壺	埋土中層	頸部片	-	-	-	-	段状の横沈線を上昇とし、崖状文(6mm/13mm、上部スパン12～14mm、下部スパン16～19mm)を2帯めぐらす。崖状文間には無縄文	内面横ミガキ、内面粗いミガキ	にぶい橙 5	
第364回 -	22975	6北	38井戸	壺	埋土上層	頸部片	-	-	-	-	横沈線をめぐらせ、下位に縄文(LR)を地文として沈線山形文をめぐらす	器面側で不明瞭	浅黄橙 5	
第364回 -	22976	6北	38井戸	壺	埋土中層	頸部片	-	-	-	-	頸部下に縄文(LR)を垂す	外面無文部に横ミガキ、内面は斜ハケメ	灰白 5	
第364回 -	22980	6北	38井戸	壺	埋土中層	体部片	-	-	-	-	下界に横沈線をめぐらせ、斜線充填三角文を描く。内面は横ハケメ	内面にハケメ後横ミガキ、内面は横ハケメ	にぶい橙 5	
第364回 -	23000	6北	38井戸	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、細い沈線4条(以上)で造弧文ないし同心円状の文様を描く	ナデと思われるが、器面宛れて不明瞭	浅黄橙 5	
第364回 Pl.148	22981	6北	38井戸	壺	埋土下層	体～底部 1/2	2.98	-	8.2	-	胴の一部にのみ縦位の赤彩痕あり	内外面ハケメ後、外面は粗いミガキ	浅黄橙 5	体中位最大 径部分に外 側からの(打 割)穿孔
第365回 Pl.148	22992	6北	38井戸	甕	埋土上～ 中層	口縁～体部	20.6	-	-	-	口唇と口縁外面に縄文(LR)。頸部に崖状文(5mm/13mm、12～15mmスパン)、体部に柳葉波状文を描く	内面全体に横ミガキ	にぶい黄橙 5	
第365回 -	22634	6北	38井戸	高杯	埋土	口縁片	(12.0)	-	-	-	内外面赤彩。口縁に瘤状突起を付す	内外面ミガキ	浅黄橙 5	
第365回 -	23002	6北	38井戸	台付甕	埋土中層	脚部	-	-	(7.5)	-	無文	内外面ハケメ後、外面は縦、体部内面は横ミガキ	浅黄 5	被熱赤変
第365回 Pl.148	23001	6北	38井戸	鉢	埋土中層	口縁～底 部片	(10.4)	5.6	4.0	-	無文	外面は縦、内面は横のミガキ。口縁横ナデ	にぶい黄橙 5	
第365回 Pl.148	23004	6北	38井戸	蓋	埋土	柄み～天 井部片	(12.8)	4.7	1.9	-	無文	内外面とも指オサエのみ	灰白 5	

遺物観察表

第151表 弥生土器観察表 38・40号井戸

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第365号 Pl.148	2294	6北	38井戸	甕	埋土中層	口縁1/4 ～体部 1/3	31.0	-	-	-	受け口の口縁から外面に 縄文(1R)。頸部に縄状文 (7歯/17mm, 30～40mス パン)。体部に片流れの 縹緋文を描く	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第365号 Pl.148	2293	6北	38井戸	甕	埋土上～ 中層	口縁～体 部1/3欠	19.4	24.0	(7.4)	-	口内に縄文(1R)。頸部に 縄状文(6歯/11mm, 9～16 mmスパン)。体部に縹緋 斜行文と器胸を帯けた9歯 縹緋直線を垂下する	体部下半を縦ミガキ。 内面全体に横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第365号 -	2295	6北	38井戸	甕	埋土中層	頸～体部 片	-	-	-	-	頸部に縄状文、体部に輪 の乱れた縹緋引状文(5歯 /15mm)を描く	内外面に斜ハケメ後、 内面に粗いミガキ	にぶい黄緑 S	口縁外面～ 体部上段に 覆付着、体部 片面に黒斑
第365号 -	2299	6北	38井戸	甕	埋土	頸～体部 片	-	-	-	-	頸部に縄状文(8歯/16mm, 12mmスパン)。体部上半 に縹緋波状文を3帯、下 半に小さい単位の縹緋引 状文を描く	内面ミガキ	粗灰 S	
第365号 -	2298	6北	38井戸	甕	埋土中層		-	-	8.4	-	無文	内外面ハケメ後、外面 は縦、内面は横ミガキ。 底面には縹緋状の土着 あり	にぶい黄緑 S+砂粒は少	
第365号 -	2291	6北	38井戸	壺	埋土中層	体部	-	-	-	-	無文	内外面に斜ハケメ、外 面は粗い縦ミガキ	にぶい黄緑 S	片面黒斑
第365号 -	2296	6北	38井戸	壺	埋土中層	体部下半 ～底	-	-	9.4	-	無文	外面にハケメ、内面荒 れて整形不明	浅黄緑 S(細砂土)	
第365号 -	2297	6北	38井戸	壺	埋土中層	体部下半 ～底部	-	-	10.2	-	無文	内外面ハケメ後、外面 は縦、内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第365号 Pl.148	2301	7	40井戸	壺	埋土上層	口縁欠	-	-	6.0	-	頸部を上下沈線区画、中 に2段の半月形刺突列点 をめぐらす。頸部下には 縹緋左傾の縹緋文	内面ナデ、外面ミガキ	浅黄緑 S(細砂土)	器腹内に粉 圧痕
第365号 -	2306	7	40井戸	壺	埋土	口縁	(13.5)	-	-	-	口内に縄文(1R)。頸部に 横沈線をめぐらせる	内外面ともハケメ、後 外面は粗いミガキ、口 縁外面は横ナデ	にぶい黄緑 S	
第365号 -	2308	7	40井戸	壺	埋土	口縁1/2	15.5	-	-	-	口内に縄文(1R)を施し、 頸部に横沈線をめぐらす	外面は縦、内面は横の ハケメ	灰白 S	
第365号 -	2307	7	40井戸	壺	埋土中層	口縁1/3	(15.7)	-	-	-	口内に縄文(1R)を施す	外面は縦、内面は横の ミガキ	灰白 S	
第365号 -	2309	7	40井戸	壺	埋土	口頸部片	(14.6)	-	-	-	口縁外面に2条沈線の波 状文、頸部に2条沈線の 縹緋文をめぐらす	外面は縦ハケメ、内面 は横ナデ	にぶい黄緑 S	
第365号 Pl.148	2300	7	40井戸	壺	埋土中層	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に上下2帯の縹緋文 (3歯/8mm、10mm前後ス パン)をめぐらす	ハケメ後、外面はミガ キ、内面はナデ	灰白 S(細砂土)	全体に二 次の被熱痕
第366号 Pl.149	2305	7	40井戸	壺	埋土中層	口縁と体 の一部欠	13.2	36.2	9.0	-	口内に縹緋文(1R)他 文、頸部に3条の横沈 線をめぐらす	内外面ともハケメ後、 外面は粗いミガキ	灰白 S(細砂土)	胴部の2面 に黒斑
第366号 Pl.148	2305	7	40井戸	壺	埋土中層	口縁と体 の一部欠	14.2	23.1	7.5	-	口内に縹緋文(1R)。 頸部にスパンの不揃いな 縹緋文(3歯/7mm)を2帯め ぐらす。口縁内面と体部 外面に赤斑	外面はハケメ後ミガ キ、内面はハケメ後ナ デか	にぶい黄 S	強い二次 的の被熱 により、 発色、色変 、歪みを生じ る
第366号 Pl.148	2304	7	40井戸	小型甕	埋土中層	底大部分 欠	-	-	-	-	頸部に縹緋文(3歯/10mm, 10～18mmスパン)。体部 に3帯の縹緋波状文を重 ねてめぐらす。縹緋文は、 時計回り、上から下の順	内面はハケメ後面はミ ガキか。全体に荒れて 不明瞭	浅黄緑 S(細砂土)	体部下半は 被熱赤変
第366号 -	2309	7	40井戸	付台甕	埋土	胴片	-	-	(9.2)	-	無文	内外面荒れて不明	にぶい黄 S+チャー ト・赤斑	被熱赤変
第366号 Pl.149	2301	7	40井戸	蓋	埋土	胴口と口 縁の一部 欠	10.2	6.9	5.0	-	無文	ハケメ、ナデ	にぶい黄緑 S	楕円形に歪 み

第152表 弥生土器観察表 19・40・50号井戸、215・216・218号土坑

探検 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第366図 -	23058	7	40井戸	甕	埋土上層	底部	-	-	9.0	-	無文	外面ミガキ、内面はナデ	灰黄 S	片面黒面
第366図 Pl.149	23057	7	40井戸	甕	埋土中層	体下半～ 底部	-	-	10.0	-	無文	外面はハケメ後斜ミガ キ内面は器面剥離で不 明	灰白 S	
第366図 Pl.149	23055	7	40井戸	甕	埋土中層	口縁～体 部1/3欠	-	-	6.8	-	頸部に上下2段の横状文 (5mm), 体部片面に 放射状襷裾線文、対面 に横波状文を重ねる	ハケメ後、外面はヘラ ナデ	灰白 S	二次的焼熱 で発色、歪 み、色変を生 じる
第366図 Pl.149	23056	7	40井戸	甕	埋土中層	体下半～ 底部	-	-	11.2	-	無文	外面は下位が縦、上位 が横のミガキ内面は横 ハケメ	灰白 S	
第366図 -	23136	1南	19井戸	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	襷裾文に近似する集合波 線で門形状の文様(フラス スコ文の可能性あり)を 描き、内区に縄文(LR)を 充填する	内面ナデ	にぶい黄緑 S	
第366図 -	23137	1南	19井戸	甕	埋土	胴部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、少な くとも3条のやや太い横 波線をめぐらす	内面ナデか、	にぶい黄緑 S+赤	外面に覆付 着
第366図 -	23138	1南	19井戸	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(R)を地文として、2 条単位と思われる波線で 三角文、下位に連弧文を めぐらす	内面ナデ	にぶい、 S+赤	
第366図 -	23139	1南	19井戸	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	短波状線を充填した2条 横波線で上下文様帯を画 し、上位にはかナムムグラ による縄文、下位には 波線による連弧文か波状 文を重ねる	内面ナデ	粗 石英、長石、 片岩の細礫 ～粗砂多	
第366図 -	23140	1南	19井戸	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	横波線間に縦の短波線を 充填し、下位に波線連弧 文か波状文を重ね、交互 に短波線を充填する	内面ナデ	粗 石英、長石、 片岩の細礫 ～粗砂多	
第366図 -	23141	1南	19井戸	甕	埋土、229 土坑	体部片	-	-	-	-	波線による連弧文か波状 文を重ね、その間に交互 に縦の短波線を充填する	内面ナデ	粗 石英、長石、 片岩の細礫 ～粗砂多	
第366図 -	22087	2北	50井戸	甕	埋土	胴部片	-	-	-	-	襷裾による1字文	内面ナデ	にぶい、 S+チャー ト+赤	
第367図 -	22444	1南	215土坑	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、2線の 襷裾状で弧線状の文様を めぐらせ、下位に縦長の 斜交列点文をめぐらす、 縄文地文部に赤彩痕あり	内面ナデ	にぶい、黄緑 S+赤	北島・御新田 式系
第367図 -	22443	1南	215土坑	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	2南/7mmの襷裾状で口文 を描く	ナデ	にぶい、黄緑 S	非梁林式系
第367図 -	22447	1南	216土坑	甕	礫床面	体部片	-	-	-	-	7南/17m (以上)の縦い 襷裾状により弧線状の 文様(断面V字形)を描く	内面ナデ	にぶい、黄緑 片岩の細礫 ～粗砂多	非梁林式系
第367図 -	22449	1南	216土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	まばらな横波線をめぐら せ、下位に棒状貝先端に よる斜交列点文をめぐら す	外面ハケメ後無文部を 横ミガキ、内面は横波 ナデ	にぶい、黄緑 S粗砂土	
第367図 -	22448	1南	216土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	2南/7mmの襷裾状により 楕円形文様を並列する。 右下には同一型文具によ る短線がみられるが、文 様構成は不明	内面ハケメ	にぶい、黄緑 S	非梁林式系
第367図 -	22451	1南	218土坑	(甕)	埋土	底部2/3	-	-	6.0	-	無文	内外面ともナデ、底面 に木炭痕を残す	灰黄周 S+片岩、輝 石少	
第367図 -	22450	1南	218土坑	甕	埋土	底部1/4	-	-	10.0	-	無文	外面縦ミガキ、底内面 はナデ底面ケズリ	にぶい、黄緑 S+門礫多	

遺物観察表

第153表 弥生土器観察表 74・77・80・87・91・105・108・127・134・245号土坑

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第367Ⅸ -	22456	1南	245土坑	短頸甕	甕底面割 え	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸～肩部を無文帯とし、 段状横線跡で画した体部 中に、幅広く縄文(1R) を画して地文とし、9条 の沈線による重連弧文を めぐるす	外面は無文帯は縦ミガ キ、内面は若干のハケ メを残して横ミガキと ナデ	灰白・黄緑 S	
第367Ⅸ Pl.149	22454	1南	245土坑	短頸甕	甕底面割 え	口縁大部 分と体～ 底部1/2 欠	(24.2)	38.7	11.9	-	受け口外面に縄文(1R)を 地文として2条沈線波状 文をめぐらす。頸～肩部 を無文帯とし、段状横 線跡で画した体部中に、 幅広く縄文(1R)を地文と し、7条の沈線による重 連弧文をめぐらす	外面は無文帯は縦ミガ キ、内面は若干のハケ メを残して横ミガキと ナデ	灰白・黄緑 S	
第367Ⅸ -	21135	2	74土坑	壺	埋土下層	口縁1/3	(14.5)	-	-	-	無文	内外面荒れ、整形不明	粗 S	
第367Ⅸ -	21149	2	74土坑	甕	埋土下層	底部1/4	-	-	(11.0)	-	無文	外面ケズリ、内面はハ ケメのち指ナデ	灰黄緑 S	底面に轉圧 痕?1
第367Ⅸ -	21150	2	77土坑	甕	埋土	口縁片	(23.8)	-	-	-	口内に丸棒による切込み、 口縁に櫛目状波状文(5歯 /16mm)、頸部に櫛目による 横線文(5歯/16mm)、体 部に櫛目斜行文	内外面荒れ、整形不明	灰白 S	
第367Ⅸ -	21137	2	77土坑	甕	埋土	口縁1/3	18.9	-	-	-	口縁に縄文か、頸部に櫛 目状文	内外面荒れ、整形不明	灰白 S+粗砂が上	
第367Ⅸ -	21138	2	77土坑	小型甕	埋土	口縁～肩 部1/3	(14.6)	-	-	-	頸部に横状文(歯数不明 /16mm)	器面割離のため文様・ 整形不明	灰白・黄緑 S+チャー ト・赤漆	内外面に黒 痕
第367Ⅸ -	21151	2	77土坑	甕	埋土	頸部～肩 部片	-	-	-	-	頸部に横状文(6歯/16mm 11～13mmスパン)を時計 まわりにめぐらし、下位 に縦櫛目斜行文	器面荒れて整形不明	灰白・粗 S	
第367Ⅸ -	21152	2	77土坑	(高杯) 埋土	口縁片	(11.8)	-	-	-	-	内外面赤彩	赤彩後ミガキ	浅黄緑 S 粗砂主	
第367Ⅸ -	21155	2	80土坑	壺	埋土	頸部～肩 部片	-	-	-	-	2条(以上)の横沈線のち 無文	外面は縦ハケメ、縦ミ ガキ、内面はナデ	灰白 S	内面に轉圧 痕
第367Ⅸ -	21156	2	87土坑	壺	埋土下層	底部	-	-	8.0	-	無文	外面縦位ミガキ、内面 ナデ底面ケズリ	浅黄緑 S	
第367Ⅸ Pl.149	21136	2	91土坑	壺	埋土下層	口縁～ 肩部1/2 1/4	-	-	-	-	口縁に縄文(1R)、頸部に 横状文(7歯/16mm)で縄文 地文、頸部下位に2条の 沈線波状文	口縁外面に横ナデ、口 縁内面にナデ	灰白 S+粗砂	
第367Ⅸ -	21158	2	105土坑	壺	埋土	体部片	21.58	-	-	-	櫛目横線文	ハケメ後、ナデか	灰白・黄緑 S 角型石少 さ	後世遺構に 透れ込み
第367Ⅸ -	21157	2	105土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	櫛目による櫛目状波状文 に横線状文をめぐらす	器面荒れて整形不明	灰白・粗 S	後世遺構に 透れ込み
第367Ⅸ -	21159	2	108土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縦の櫛目斜行文	ハケメ後、内面ミガキ	灰白・粗 S	後世遺構に 透れ込み
第367Ⅸ -	21160	2	108土坑	(甕) 埋土	底部片 1/4	-	-	(7.0)	-	-	無文	底面ケズリ、内外面は 器面荒れて整形不明	灰白・黄緑 S 赤彩多	後世遺構に 透れ込み
第368Ⅸ -	21831	6	127土坑	壺	上層	肩部片	-	-	-	-	三文状記号文と思われる 縦沈線を垂下する	器面荒れて不明瞭	浅黄緑 S粗砂主	
第368Ⅸ -	21830	6	127土坑	壺	上層	口縁部片	-	-	-	-	内層口縁の口内に縄文 (1R)、外面に2条沈線波 状文をめぐらす	外面ハケメ、内面横ナ デ	浅黄緑 S	
第368Ⅸ -	21834	6	127土坑	甕	上層	体部片	-	-	-	-	櫛目斜行文か斜行文を描 く	内面ミガキ	灰黄緑 S	外面にイネ 転圧痕1
第368Ⅸ -	21832	6	127土坑	壺	上層	肩部片	-	-	-	-	三文状記号文を描く	外面にハケメ後ミガ キ、内面荒れて整形不 明	灰白・黄緑 S	
第368Ⅸ -	21833	6	127土坑	鉢	上層	底部	-	-	5.0	-	内面に赤彩	内外面ミガキ、底面は ナデと粗いミガキ	灰白・黄緑 S	底面一部に 黒痕
第368Ⅸ -	21835	6	134土坑	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(1R)。受け口 外面に2条沈線の波状文 をめぐらす	内面ミガキ	灰白・黄緑 S	

第154表 弥生土器観察表 134・142・145・156・158・159・160・195・241号土坑

探検 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第368号 -	21836	6	134土坑	甕	埋土	胴～体部 片	-	-	-	-	頸部に縹状文(6mm/15mm)、体部に縹指状文を施す	器面荒れて不明	相 S+塵	
第368号 -	21840	6	142土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縹指状文(4mm/8mm)を施す	内外面ハケメ後、内面はミガキ	にぶい黄褐色	
第368号 Pl.149	21841	6	142土坑	鉢	埋土	口縁～底 部1/4	(14.3)	7.3	6.0	-	無文	器面剥離で、整形不明	淡黄 S	
第368号 -	21844	6	145土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口唇と外面に縹織文(オオハコ文)を施し、2条に縹波状文をめぐらせ、管状具先端初突を加えた円形貼付文を付す	内面横ナデ	相 S	
第368号 -	21843	6	145土坑	壺	埋土	破片	-	-	-	-	沈線山形文を施す	外面ハケメ、内面ナデ	浅黄褐色 S+野石多	
第368号 -	21846	6	145土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縹指状文(8mm/15mm)を施す	内外面ともハケメ	灰黄褐色 S+粗砂主	
第368号 -	21847	6	145土坑	甕	埋土	体部下位 ～底部片	-	-	(7.0)	-	無文	外面ヘラナデとミガキ、内面はミガキ	灰黄褐色 S+粗砂主	全体に還元
第368号 -	21845	6	145土坑	壺	埋土	底部1/3	-	-	(6.0)	-	外面赤彩	外面と底面ミガキ、内面はナデ	灰黄褐色 S+塵	内面還元
第368号 -	21858	6	156土坑	壺	埋土	破部片	-	-	-	-	沈線状文で面し、半月形刺突向で区画した懸垂文。内区は縹直線文を垂下	内面ナデか	相 S+白岩片多	天地逆の可 能性あり
第368号 -	21859	6	156土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線による方形区画内を沈線で横位分割し、交互に沈線状文を施す。方形区画間に縹直線文を垂下する	内外面ハケメ、後面内面はナデ	にぶい黄褐色 S+粗砂主	
第368号 -	21800	6	158土坑	壺	埋土上層	口縁片	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	21861	6	158土坑	甕	埋土下層	口縁片	-	-	-	-	口唇と口縁外面に縹文(1段)、口縁外面に2条に縹による波状文	内面横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	21862	6	158土坑	甕	埋土上層	胴部片	-	-	-	-	頸部に縹波状文、体部に縹指状文。施文具は6mm/22mm	外面ハケメ、内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	21863	6	158土坑	甕	埋土下層	体部片	-	-	-	-	無文	外面斜ハケメ、内面横ミガキ	相灰 S	
第368号 -	21864	6	159土坑	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口唇に縹文(1段)、頸部に縹波状文	ハケメ後ナデ	灰黄褐色 S+粗砂主	
第368号 -	21866	6	159土坑	甕	埋土	口縁～体 上位片	-	-	-	-	口唇と体部に横位縹文(1段)	内外面ナデ	灰黄褐色 S	
第368号 -	21867	6	159土坑	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	沈線によるコの字重ね文	ハケメ後ナデ、内面はミガキ	灰黄褐色 S	
第368号 -	21865	6	159土坑	甕	底面	底部片	-	-	(5.0)	-	無文	外～底面ハケメ後ミガキ、内面ミガキ	にぶい黄褐色 S	内面還元
第368号 -	21868	6	159土坑	甕	埋土	底部片	-	-	(6.5)	-	無文	底縁をケズリ。外面は縹、内面は横位ミガキ	灰黄褐色 S	
第368号 -	21869	6	160土坑	壺	埋土	口頸部	14.8	-	-	-	頸部に縹沈線	ハケメ後、斜～横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	21870	6	160土坑	壺	埋土	底部片	-	-	(14.0)	-	無文	外面ハケメ後横ミガキ、内面ナデ	灰黄褐色 S+粗砂主	
第368号 -	22445	1南	195土坑	甕	埋土上層	口縁片	-	-	-	-	口唇と口縁外面に縹文(1段)を施し、これを地文に4条の沈線による重連弧文をめぐらす	内面横ミガキ	相 S	
第368号 -	22446	1南	195土坑	甕	埋土上層	体部上位 片	-	-	-	-	頸部付近に縹状文(9mm/20mm、25mmスパン)、体部に縹指状文でないし斜格子文を施す	内外面とも横ハケメ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	22452	1南	241土坑	壺	埋土	頸部～胴 部	-	-	-	-	縹文(1段)を地文に、3条の縹沈線をめぐらす	外面無文は横ミガキ、内面はナデ	にぶい黄褐色 S	
第368号 -	22453	1南	241土坑	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、外面はミガキ	にぶい黄褐色 S	

遺物観察表

第155表 弥生土器観察表 229・249・269・278・284・316・366・367・374号土坑

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第368号 -	22458	1南	249土坑	(横)	埋土	体部片	-	-	-	-	縄文(L)と思われる)を地 文に、以上沈線による大 振り波状文、下位に横 沈線をめぐるす	灰黄褐色 S+細礫と粗 砂多		
第368号 -	22457	1南	249土坑	(直)	埋土上層	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文とした磨 消し手法で、細い条沈 線が弧線状の文様(門文 か)を描き、下位を横沈 線で画す	にぶい黄褐色 S+細礫と粗 砂多		
第368号 -	23145	1南	249土坑	直か横	埋土上層	体部片	-	-	-	-	細く鋭い条線を斜位に施 す	にぶい黄褐色 S	内面以外は 還元	
第368号 Pl.149	22359	1南	249土坑	台付蓋	埋土上層	口縁一部 と頸部欠	12.5	-	-	-	L側に縄文(LR)。体部に 2条沈線の波状文を4帯 めぐらす	にぶい黄褐色 S	体部外面は 復ける	
第368号 -	22300	1南	249土坑	高杯	埋土上層	口縁-脚 上位1/3	(14.2)	-	-	-	内外赤彩	にぶい黄褐色 S	外面剥離、L 脚内面1.5~ 2.0cm幅で帯 状に剥離	
第369号 -	22460	1南	269土坑	(短頸直)	埋土上層	口縁部片	-	-	-	-	L側と受け口外面を縄文 (LR)地文とし、3条沈線 による波状文をめぐるす	にぶい黄褐色 S		
第369号 -	22459	1南	269土坑	直	埋土上層	底部3/4	-	-	13.0	-	無文	外面はハケメ、底の内 外面ともミガキ	にぶい黄褐色 S	
第369号 -	23143	1南	229土坑	(横)	埋土	底部1/3	-	-	(6.4)	-	底面に木葉痕を残す	外面縦提ナデ、内面ナ デ	にぶい橙 白色細砂が 多	底面に灰付 霜
第369号 -	22461	1南	278土坑	横	埋土	口縁部片	-	-	-	-	受け口のL側部と外面に 縄文(LR)	外面に横ハケメ、内面 は横ミガキ	にぶい橙 S+赤礫	
第369号 -	22462	1南	284土坑	横	埋土上層	口縁部片	-	-	-	-	L側部と外面に縄文(LR) を施して地文とし、4条 の沈線で重連弧文をめ ぐるす	内面横ミガキ	橙 S	
第369号 Pl.149	22464	1北西	316土坑	(蓋)	埋土	頸部1/3 欠	9.7	6.6	5.2	-	無文	内外面ミガキ天井部 縁の左右対称位置に、 斜孔を穿つ	淡黄 S	コップ型の 鉢としても 機能するが、 孔を斜挿用 と想定する ならば、異形 ではあるが 蓋としてお きたい
第369号 -	23146	1北西	316土坑	(横)	埋土	体部下平 片	-	-	-	-	体部中に横位縄文(LR) を施す	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S	
第369号 -	22591	2北	366土坑	直	埋土	口縁片	-	-	-	-	L側と頸部に縄文(LR)を 施すスリット状の2条沈 線と中央の1条沈線波状 文を垂下し、L側部に 瘤状唇付スリット部は 3条沈線による連弧文で 埋める。頸部には段状部 下端に割みを加える。	内面ナデ	灰黄褐色 石炭、白岩 片、長石角 礫多	非業林式系 全体に還元
第369号 Pl.149	22592	2北	367土坑	直	底面	口縁-肩 部	12.8	-	-	-	L側に縄文(LR)。頸部は 2条横沈線区画内に縄文 (LR)地文とし、2条沈線 波状文をめぐるす。肩に 4条の沈線波状文を垂下 する	外面ハケメ横ミガキ 内面は、L側部にミガ キ、肩部は剥離で不明	灰黄褐色 S	
第369号 -	22593	2北	367土坑	直	埋土	L側部片	(16.2)	-	-	-	L側と受け口外面に縦 文、L側に2条沈線による 山形文をめぐるす	外面はハケメ後、L側 横ナデ。内面荒れて整 形不明	灰白 S	
第369号 -	22594	2北	374土坑	横	埋土	口縁部片	-	-	-	-	L側と受け口外面に縄文 (LR)を地文として施し、 口縁外面に2条の太沈線 による波状文をめぐるす	内外面とも横ハケメ	灰黄褐色 S	後世土坑へ の流れ込み か

第156表 弥生土器観察表 379・386・387・388号土坑

探洞 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第369回 -	22595	2北	379土坑	壺	底面	口頸部 1/2	14.1	-	-	-	口胴と頸部に縄文(1R)。 頸部に2条の横線紋をめぐらす	頸部外面はハケメ、口 縁横ナデ、口縁内面は 横ミガキ、頸部内面は ナデ	にぶい黄緑 S	
第369回 -	22596	2北	379土坑	(壺)	底面	底部1/2	-	-	(7.0)	-	無文	外面は縦ハケメ後縦ミ ガキ、内面は横ミガキ	にぶい黄 S	
第369回 -	22601	2北	386土坑	壺	埋土下層	口縁部片	-	-	-	-	口胴と受け口外面に縄文 (1R)を地文として、斜線 充填三角文をめぐらす	内外面ハケメ後、口縁 内面はナデ	浅黄緑 S	
第369回 -	22600	2北	386土坑	甕	埋土上層	頸部～体 部上半	-	-	-	-	頸部に縄状文(7mm/12mm、 10～12mmスパン)、体部 に帯幅波状文を4帯(以 上)上下に重なる	内面ナデ	にぶい黄緑 S	
第369回 -	22597	2北	386土坑	甕	埋土下層	体部	-	-	-	-	帯幅羽状文(5mm/9mm)を 描く	内外面とも横ハケメ	灰黄緑 S	
第369回 -	22599	2北	386土坑	壺	埋土上層	体部下位 ～底部 1/2	-	-	6.2	-	外面に赤彩	外面は荒れて不明内面 はミガキ	灰黄緑 S	底面は磨滅 内面還元
第369回 -	22598	2北	386土坑	甕	埋土下層	頸部～体 部	-	-	-	-	頸部に縄状文(10mm/18 mm、18～25mmスパン)、 体部に帯幅羽状文	内外面にハケメ後、内 面はナデかミガキと思 われるが荒れて不明	にぶい黄緑 S	
第370回 -	22616	2北	387土坑	壺	埋土	口縁～肩 部片	(17.6)	-	-	-	口胴と頸部全体に縄文 (1R)を地文とし、頸部に 3条横線紋をめぐらせ、 横線下に沈輪山形文を描 く	内外面ともハケメ、口 縁は板状貝小孔による 横ナデ、体部外面無文 に縦ミガキ	にぶい黄緑 S	
第370回 Pl.149	22615	2北	387土坑	小型壺	埋土	口頸部欠	-	-	6.7	-	外面に赤彩	外面縦ミガキ、内面は ナデ、底面は粗いケズ リ	にぶい黄緑 S	底面周縁磨 滅、底面に稀 短柱状土
第370回 -	22619	2北	387土坑	短頸壺	埋土	口縁～体 部上半片	(13.6)	-	-	-	内外面に赤彩	内外面ミガキ	浅黄緑 S	
第370回 -	22617	2北	387土坑	小型甕	埋土	口縁～体 部	(13.5)	-	-	-	口胴に縄文(1R)。受け口 外面に帯幅波状文(5mm/ 10mm)をめぐらす。体部 にはコの字重なる文を描く	内面はハケメ後、丁寧 な横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第370回 -	22620	2北	388土坑	壺	埋土下層	口頸部片	(15.0)	-	-	-	口胴に縄文(1R)	内外面にハケメ後、口 縁横ナデ、外面にまば らな縦ミガキ	にぶい黄緑 S	
第370回 -	23192	2北	388土坑	甕	埋土下層	口縁から 体部上半 片	-	-	-	-	内側口縁の口胴と外面に 縄文(1R)。頸部に縄状文 (5mm/13mm、17～20mmス パン)、体部に帯幅斜格 子文を描く	外面に横ハケメ、内面 は横ハケメ後丁寧な縦 ミガキ	浅黄緑 S	体部外面が 傷ける
第370回 -	22624	2北	388土坑	甕	埋土	口頸部	-	-	-	-	口胴と受け口外面に縄文 (1R)を描す。頸部には帯 幅波状文(5mm/11mm)を2 帯(以上)めぐらす	内面ナデ	にぶい黄緑 S	
第370回 -	22625	2北	388土坑	小型甕	埋土下層	口縁～体 部上半	-	-	-	-	頸部に縄状文(5mm/13mm、 13mmスパン)、体部に帯 幅波状文を重ねる	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第370回 -	22621	2北	388土坑	壺	埋土中層	肩部片	-	-	-	-	頸部以下に縄文(1R)を施 し、下端を横線紋で飾す。 その下に縄状文(6mm/ 14mm、17mmスパン)をめぐ らす	外面ハケメ、内面ナデ	浅黄緑 S+解石多	
第370回 -	22623	2北	388土坑	壺	埋土下層	底部	-	-	12.2	-	無文	外面ハケメ、内面ナデ、 底面は粗いミガキ	にぶい黄緑 S	
第370回 -	22622	2北	388土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	帯幅羽状文(6mm/13mm)を 描き、下に帯幅横線紋 をめぐらす	外面はハケメ、内面は ハケメ後粗いミガキ	浅黄緑 S	
第370回 -	22627	2北	388土坑	高杯	埋土中層	杯部下半	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面ミガキ	にぶい黄緑 S	

遺物観察表

第157表 弥生土器観察表 418・439・442・474・498・508号土坑

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴	
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)					
第370区 -	22635	2北	418土坑	壺	埋土	口頸部片	(14.4)	-	-	-	口肩と頸部に縄文(LR)。 頸部には縄文帯下に横波 線をめぐらせて、下腹を 画す	外面にハケメ後、口縁 横ナデ。胴部以下は縦 ミガキ	外 面	に ぶ い 糟 S	
第370区 -	22636	2北	418土坑	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口肩に縄文(LR)	内外面ハケメ後、口縁 横ナデ。胴部以下は縦 ミガキ	外 面	に ぶ い 黄 糟 S+赤砂	
第370区 -	22672	2北	439土坑	壺	埋土	口頸部片	-	-	-	-	受け口の外面に柳形波状 文(4南/10m、先端のま ばらな柳状具)をめぐら す	外面にハケメ、内面は 不明瞭だが横ミガキと 思われる	外 面	浅 黄 糟 S+赤砂多	
第370区 -	22671	2北	439土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	上から波状文、横線、斜 線充填柳文の順で柳形 文(2南/3m、先端の潰 れたササラ状柳状具と思 われる)を画す	内面ナデ	外 面	浅 黄 糟 S	
第370区 -	22670	2北	439土坑	壺	埋土中層	底部	-	-	8.5	-	無文	外面はハケメ、内面は ナデ。底面ケズリか	外 面	灰 黄 S	器壁内にイ ネ粉土痕1、 内面還元、外 面の一部黒 煙
第370区 -	22673	2北	442土坑	壺	底面	胴部	-	-	-	-	胴部に縄文(LR)を画す	外面は縦ミガキ、内面 は縦の指ナデ	外 面	に ぶ い 黄 糟 S	
第370区 -	22674	2北	442土坑	壺	底面	頸部片	-	-	-	-	横波線を境に、上位に重 状文、下位に柳形波状文 (2南/6m)をめぐらす	内外面ナデ	外 面	に ぶ い 黄 糟 S	
第370区 -	22675	2北	442土坑	壺	底面	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、2条 の横波線をめぐらせた間 に沈線山形文を描く	内面ナデ	外 面	糟 S	
第370区 -	22677	2北	442土坑	壺	底面	口縁+体 部上半	-	-	-	-	口縁外面に縄文(LR)を地 文として、沈線山形文を 描く。胴部に重状文(9南 /16m、19~25mmスパン)、 体部に柳形波状文を描く	外 面	に ぶ い 黄 糟 S		
第370区 -	22676	2北	442土坑	有孔鉢	底面	底部	-	-	6.0	1.3	無文	内外面ミガキ	外 面	糟 S	内外面に少 量の白色付 着物
第371区 PL-150	22688	2北	474土坑	小型壺	底面	口頸部一 部欠	(11.4)	21.0	7.0	-	頸部に縄文(LR)を地文と して、2条横波線区画横 帯のなかに沈線波状文を めぐらす	外面ハケメ後、体部に ミガキ。内面はハケメ 後、口縁+体部上半に ナデ。底面はケズリ	外 面	浅 黄 S	体部内面に イネ粉土痕 1
第371区 -	22690	2北	474土坑	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	仰突列点文を横位にめ ぐらせて上下界とし、上位 に7条(以上)沈線で遊風 支。下位には縄文(LR)を 充填する	内外面ナデとまばらなミ ガキ	外 面	灰 黄 濁 S	
第371区 -	22689	2北	474土坑	鉢	埋土	底部	-	-	5.0	-	無文	内外面、底面にミガ キ	外 面	灰 黄 濁 細砂少	
第371区 -	22691	2北	478土坑	(横)	底面	体部片	-	-	-	-	柳形波状文(6南/13m)を 複数帯を画す	内面はハケメ後ミガキ	外 面	に ぶ い 糟 S	
第371区 PL-150	22700	2北	498土坑	小型壺	底面	口縁大部 分欠	(12.3)	20.9	7.2	-	頸部の上唇を1条横波線 で画し、下位に縄文(LR) を画す	内外面ハケメ後、外 面はミガキ、内面は体部 中位以上にナデ	外 面	浅 黄 糟 S細砂主	
第371区 -	22698	2北	498土坑	壺	底面	口頸部	13.4	-	-	-	口肩と頸部に縄文(LR)。 頸部には段状の横波線 をめぐらす	内外面ハケメ後、口縁 横ナデ	外 面	に ぶ い 糟 S	
第371区 -	22699	2北	498土坑	壺	底面	口縁+体 部	(12.0)	-	-	-	口肩に斜み、頸部に重状 文(6南/11m、10~11m スパン)、体部に柳形波 状文	外面整形は不明瞭。内 面は横ミガキ	外 面	明 赤 濁 S	体部内面に イネ粉土痕 1
第371区 -	22714	2北	508土坑	壺	埋土	頸部+体 部	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文と して、2条の横波線と下 位に沈線波状文をめぐら す	外面は縦ハケメ後、縦 ミガキ内面はナデ	外 面	に ぶ い 黄 糟 S+赤砂多	

第158表 弥生土器観察表 508・513・516・524号土坑

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第371区 -	22716	2北	508土坑	壺	埋土	頸部	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を施し、これを地文に2本の横波状線と下位に浅線波状文をめぐらす	外面縦ミガキ、内面はナデ	にぶい・黄褐色 S肌砂土	
第371区 -	22717	2北	508土坑	壺	埋土	頸部～体部	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、外面の上半部主体にミガキ	にぶい・黄褐色 S+黄多	
第371区 -	22718	2北	508土坑	甕	埋土	口縁～体部 上半	-	-	-	-	口内に縄文(LR)。頸部に横状文(5箇/12cm、10～16mmスパン)、体部に柳葉羽状文	口縁横ナデ、体部内面に丁寧なナデ	にぶい・黄褐色 S	
第371区 -	22715	2北	508土坑	壺	埋土	体部下半	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、外面はミガキ	灰黄褐色 S	
第371区 -	22722	2北	516土坑	甕	埋土中層	頸～体部	-	-	-	-	頸部に横状文(6～7箇/15cm、20mmスパン)、体部に柳葉羽状文	内面は粗いミガキ	にぶい・黄褐色 S+白砂多	
第371区 -	22723	2北	516土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	細い浅線でコの字華文を描く	外面はハケメ、内面は粗いミガキ	灰黄褐色 S	外面に覆付着
第371区 PL-150	22725	2北	516土坑	高杯	埋土	脚部	-	-	9.8	-	脚内面防き赤彩	外面ミガキ、脚内面は横ナデ	灰黄褐色 S	脚端と杯部欠損面が磨滅しており、転用された可能性あり
第371区 -	22724	2北	516土坑	高杯	埋土中層	脚部	-	-	-	-	外面赤彩	外面ミガキ、内面はハケメ後ナデ	にぶい・黄褐色 S	
第371区 -	22727	2北	524土坑	壺	埋土上層	頸部～底部	-	-	9.4	-	無文	外面はハケメ後、瓶主体のミガキ、内面は善磨のため不明	灰白 S肌砂土	
第372区 -	22540	2北	513土坑	壺	埋土	口頸部	14.3	-	-	-	無文	口内は篋状具を当てた面取り、外面ハケメ後、縦の横ナデ、内面はナデ	にぶい・黄褐色 S	
第372区 -	22530	2北	513土坑	壺	埋土	口頸部 1/2割	(17.0)	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)。頸部に横波状文をめぐらす 口内と内側(LR)の外面に縄文(LR)を地文とし、口縁外面に2条浅線波状文をめぐらす	内外面ハケメ、口縁横ナデ	灰黄褐色 S肌砂土	
第372区 -	22524	2北	513土坑	壺	埋土	口頸部片	(18.4)	-	-	-	口内に縄文頸部に段状の浅い横波状文をめぐらせ、下位に縄文(LR、東弁)を施す。同には三叉記号文を描く	内外面とも割離で不明	灰白 S肌砂土	
第372区 PL-150	22526	2北	513土坑	壺	底面	口縁～体部	13.0	-	-	-	無文	外面ハケメ、ナデ内面はハケメ	灰黄褐色 S	
第372区 -	22527	2北	513土坑	壺	埋土	体部下 半～底 部 1/2	-	-	(9.8)	-	無文	内外面ともハケメ後、外面は縦ミガキ	にぶい・黄褐色 S	底外面の片側に黒炭
第372区 -	22523	2北	513土坑	壺	埋土	体部～底 部 1/3	-	-	(9.0)	-	無文	内外面ともハケメ	にぶい・黄褐色 S	内面全体に黒炭、外面の片側に黒炭
第372区 -	22529	2北	513土坑	甕	埋土	体部下 半 欠	26.6	-	-	-	口内に縄文(LR)。内側口縁の外側に柳葉羽状文、頸部に横状文(20～22mmスパン)、体部に柳葉羽状文を施す。篋状具は6箇/20mmでまばら。波状文と横状文は時計回り、柳葉羽状文は時計回りに施文	内外面とも横ハケメ後、内面は横ミガキ	にぶい・黄褐色 S肌砂土	
第372区 PL-150	22532	2北	513土坑	甕	埋土	口縁～体 部 片	(20.6)	-	-	-	口内に縄文(LR、赤系)。受け口外側に柳葉羽状文、頸部に横状文(7箇/13cm、17～22mmスパン)、体部に柳葉羽状文を密に施文	外面は横ハケメ、内面は丁寧な横ミガキ	灰黄褐色 S肌砂土	

遺物観察表

第159表 弥生土器観察表 513号土坑、97・98・100・129・142号溝

探出 Pt. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第372図	22528	2北	513土坑	高杯	埋土	脚部	-	-	11.2	-	杯部内外面と脚外面に赤彩	外面に横ミガキ、脚内面はハケメ後、板小口による横ナデ	にぶい・黄緑S	
第372図	22542	2北	513土坑	甕	埋土	体部	-	-	-	-	縹縹格子文(8箇/20cm)を描く	内外面とも横ハケメ後、内面はミガキと思われるが流れて不明	浅黄緑S脚部主	
第373図	20009	2	97溝	小型甕	西半埋土	口縁部片	(7.0)	-	-	-	頸部に2条の横沈線を描く	器面流れて整形は不明	粗S	
第373図	20008	2	97溝	甕	北西埋土	頸部片	-	-	-	-	縹縹格子文(5箇/13cm)と縹縹横線文を交互にめぐらす	内面整形は丁寧な横ナデ	灰黄褐S白砂多	
第373図	20910	2	97溝	甕	西半埋土	体部片	-	-	-	-	列点文区画の懸垂文に、縦縹縹波状文(7箇/12cm)を充填	器面流れて整形不明	にぶい・黄緑S	
第373図	21161	2	97溝	甕	西分岐部埋土表土	口縁部片	-	-	-	-	口縁に板小口による刻み、口縁に縹縹波状文(6箇/18cm)、頸部に縹縹状文	器面流れて整形不明	浅黄S	
第373図	20007	2	97溝	甕	南東埋土	口縁～頸部片	(13.9)	-	-	-	外面全体に波形の乱雑な縹縹波状文(9箇/17cm)を重ねる	器面流れたため整形不明	粗S+黄多	
第373図	20913	2	97溝	蓋	南東埋土	天井部片	(11)	-	-	-	無文直径8mmの円孔を斜に穿つ	器面流れて整形不明	灰白S	
第373図	20914	2	97溝	鉢	南東埋土	底部片	-	-	(5.0)	-	底面除き内外面赤彩	赤彩後横ミガキ	灰白S	
第373図	20915	2	97溝	高杯	南東埋土	結合部	-	-	-	-	頸部内面除き赤彩	外面縦ミガキ、内面は不明	灰白S	
第373図	20911	2	97溝	甕	南東埋土	体部片	-	-	-	-	横ハケメ整形のち縹縹羽状文(5箇/14cm)	外面は横ハケメ、内面は横ミガキ	灰白S	
第373図	20912	2	97溝	付付甕	南東埋土	脚部片	-	-	(9.8)	-	無文	内面横ハケメ	灰白S脚部主	被熱赤変
第373図	20916	2	98溝	甕	北西半埋土	口縁部片	(19.7)	-	-	-	口縁部に縹文(LR)を施文	外面に縦ハケメ、内面流れて整形不明	灰白S	
第373図	20921	2	98溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縹文、縹文地文(LR)に2条の沈線による波状文、頸部に縹縹状文(6箇/15cm、スパン14cm)を時計回りにめぐらす	内面は横ナデ後ミガキ	にぶい・黄緑S脚石多	
第373図	20920	2	98溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁部に縹文、口縁部に縹文地文に3条の沈線による縹縹文	外面横ナデ	灰黄褐S白砂多	
第373図	20922	2	98溝	蓋	西端埋土	縁部片	5.3	-	-	-	無文	器面に酸化鉄付着で不明	明黄褐S+黄	
第373図	20917	2	98溝	甕	西端埋土	頸部片	-	-	-	-	縹文地文に3条の沈線による縹縹文	内面は割離	にぶい・黄緑S	
第373図	20918	2	98溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縹文地文(LR)として、縹縹平行文(6箇/16cm)	内面はハケメ後、ナデ	にぶい・黄緑S	
第373図	20919	2	98溝	付付甕	埋土	体部片	-	-	-	-	円形厚付文から2条単位の沈線で斜行文を描く	器面流れて整形不明	黄灰S	
第373図	20923	2	100溝	甕	埋土	頸部片	-	-	-	-	2条の平行沈線による縹縹文	器面流れて整形不明	灰白S 粗黄多	
第373図	21891	6	129溝	壺か甕	埋土	底部片	-	-	(8.0)	-	無文	整形時のケズリ、内面ハケメを残す	浅黄緑S+黄多	
第373図	22357	6	142溝	甕	埋土	体部	-	-	-	-	無文	外面はハケメ後ミガキ、内面は指圧痕ヌナデ	浅黄緑S脚石多	27号壺穴からの流れ込み
第373図	21947	6	142溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	頸部に縹縹状文(6箇/13cm、33mmスパン)、体部に縹縹羽状文	内外面ともハケメ	にぶい・黄緑S	27号壺穴からの流れ込み
第373図	21948	6	142溝	蓋	埋土	縁部片	(5.8)	-	-	-	無文	外面ハケメ後ナデ	にぶい・黄緑S脚部主	27号壺穴からの流れ込み
第373図	21946	6	142溝	甕	埋土	底部	-	-	9.4	-	無文	外面～底面にミガキ、内面は割離で不明	にぶい・黄緑S	27号壺穴からの流れ込み

第160表 弥生土器観察表 147・298・313・316号溝

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第374回 -	22368	6	147溝	甕	埋土下層	口縁・体 部	(18.0)	-	-	-	口縁無文・体部に6単位と 思われる浅線・四角文を 描く。四角文中央上位に 柳突門形貼付文を付す	外面ハケメ、内面横ミ ガキ	に赤い・黄緑 S・黒砂土	
第374回 -	21966	6	147溝	甕	埋土	口縁・体 部片	-	-	-	-	頸部に縞波状文(5溝/9 mm)、体部に縞波羽状文 を施す	内面に丁寧なミガキ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	21967	6	147溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に注目みられるが不 明瞭。頸部に縞状文(3溝/ 12mm、15mmスパン)	内面ミガキ	に赤い・黒 S	
第374回 -	21968	6	147溝	甕	埋土	体部片	-	-	-	-	縞波羽状文(5溝/12mm)	内面ミガキ	に赤い・黄緑 S	外面に覆付 着
第374回 -	21965	6	147溝	甕	埋土	底部	-	-	10.5	-	無文	外面ヘラナデ、内面ハ ケメ残しミガキ	浅黄緑 S	
第374回 -	21962	6	147溝	壺	埋土	頸部片	-	-	-	-	3条(以上)の横浅線を上 下にくぐらせ、中央に1 条浅線による波状文	内面ハケメ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	21963	6	147溝	壺	埋土	体部片	-	-	-	-	太浅線による重三角文を 描く	内外面ハケメ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	21961	6	147溝	(甕)	埋土	体部片	-	-	-	-	浅線によるコの字重ね文	内面ミガキ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	21969	6	147溝	高杯	埋土	口縁片	21969	-	-	-	内面赤彩	内外面とも横ナデ後ミ ガキ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	21964	6	147溝	(鉢)	埋土	底部	-	-	7.1	-	内外面赤彩	ハケメをわずかに残し、 内外面ミガキ	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	22862	2北	298溝	甕	埋土	口縁・体 部	-	-	-	-	頸部に縞状文(5溝/14mm、 14~10mmスパン)、体部 に縞波羽状文	内面はハケメ後、粗い ミガキ	灰白 S	外面下位に 楕円球形正 直(植物種子 か)
第374回 -	22863	2北	298溝	甕	埋土	口縁・体 部上半	-	-	-	-	口縁と内側口縁外面に縞 文(1R)を施す・頸部に縞 状文(5溝/10mm、9~10mmス パン)、体部に縞波羽状 文か斜行文を描く	内面ハケメ後、口縁ミ ガキ	に赤い・黄緑 S+門礫	
第374回 -	22864	2北	298溝	甕	埋土	口縁片	-	-	-	-	口縁に刻み、頸部に縞状 文(6溝/16mm)をめぐら す。体部文様は縞波羽状 文とおもわれる	器面荒れて整形不明	に赤い・黄緑 S	外面に種 実?・豆類1
第374回 -	22829	2北	298溝	甕	埋土	体部	-	-	-	-	縞波状文(5溝/12mm)を 5帯(以上)めぐらせ、縞 波直線文を垂下する	内面ミガキ	灰黄褐色 S	
第374回 PL-150	23120	2北	298溝	注口鉢	埋土	口縁片	-	-	-	0.6	外面に赤彩	棒状具に粘土を巻き、 注口を付ける。内面ハ ケメ	灰黄褐色 S	
第374回 PL-150	22856	2北	298溝	蓋	埋土	裾部3/4 欠	(11.5)	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、ナデ と粗いミガキ	灰白 S	
第374回 -	22865	2北	298溝	壺	埋土	底部	-	-	9.4	-	無文	外面はハケメ、内面は ナデ	淡黄 S	
第374回 -	22866	2北	298溝	高杯	埋土	脚部	22866	-	-	(9.0)	外面赤彩	脚内面はケズリ	浅黄緑 S+赤砂	
第374回 -	22781	2北	313溝	壺	埋土	口縁部片	-	-	-	-	内側口縁の外面に縞波 状文(4溝/9mm)をめぐら せ、門孔柳突の門形貼付 文を付す	外面ハケメ、内面ナデ	紺 S	
第374回 -	22787	2北	316溝	壺	埋土	頸部一同 部片	-	-	-	-	浅線による波状文と横線 文をめぐらす	器面荒れて不明瞭だ が、ナデと思われる	に赤い・黄緑 S	
第374回 -	22783	2北	313溝	壺	埋土	胴部片	-	-	-	-	頸部に縞状文(5溝/12mm、 35mmスパン)、胴部に縞 文(1R)を地文として小振 りな浅線山形文をめぐら す	器面荒れて不明	紺 S	
第374回 -	22782	2北	313溝	甕	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口縁と受け口外面に縞文 (1R)地文とし、口縁外面 に縞波状文(3溝/10mm) をめぐらす	内面横ミガキ	灰黄褐色 S	

遺物観察表

第161表 弥生土器観察表 313・316・317号溝、3号櫛列、1731・2069・2122・2127号ピット、1号集中群

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第374号 -	22785	2北	316溝	甗	埋土	口縁部片	-	-	-	-	口料と口縁外面に縄文 (1.8条)東1地文とし、口縁 外面に2条沈線の波状文 をめぐらす。頸部には縞 状文(4条/9mm以上)	内面横ナデ	にぶい黄楢 S	
第374号 -	22786	2北	316溝	甗	埋土	胴部片	-	-	-	-	4条(以上)の沈線山形文 をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄楢 S	
第374号 -	22784	2北	313溝	甗	埋土	底部1/2	-	-	(9.4)	-	無文	内外面ともミガキ、底 面ケズリ	にぶい黄楢 S	外面の片面 に黒皮
第374号 -	22779	2北	317溝	甗	埋土	口頸部	12.7	-	-	-	口料と頸部全体に縄文 (1.8)を地文として、頸部 に2条の横沈線をめぐら す	口縁横ナデ、体部外面 はミガキ	灰黄 S	
第375号 -	22168	6	3櫛列	甗	ビット埋 土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1.8)を地文として、 2条の横位押し引き沈線 をめぐらす。胎文は上か ら見て時計回り。胴部に 斜交列点で区画した縞縞 波状文を垂下する	内面無文部にミガキ、 内面ナデ	灰黄褐 S	
第375号 -	23123	6	3櫛列	甗	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1.8)地文に、2条平 行沈線(平截竹管か)を横 位に2帯(以上)めぐらす	内面はナデ	にぶい S	
第376号 -	23124	2北	1731ピット	甗	埋土	体部片	-	-	-	-	縞縞縞引状文を描く	外面ハケメ、内面は縞 S	にぶい黄楢 S	
第376号 -	23128	2北	2122ピット	甗	埋土	体部片	-	-	-	-	横沈線2条をめぐらせ、 中に沈線山形文、下位に 斜交列点文をめぐらす	外面は横ハケメ、内面 荒れて整形不明	浅黄楢 S	
第376号 -	23125	2北	2122ピット	甗	埋土	底部	-	-	10.5	-	無文	外面は斜位、内面はハ ケメ後横ミガキ、底面 ミガキ	にぶい黄楢 S+白灰、ガ ラス	
第376号 -	23126	2北	2127ピット	甗	埋土	口縁片	-	-	-	-	口料と受け口外面に縄文 (1.8)、口縁に2条一組の 沈線(縞状具と同型)で山 形文をめぐらす	内外面ハケメ後、内面 に横ミガキ	にぶい黄楢 S	
第376号 -	23127	2北	2127ピット	甗	埋土	体部片	-	-	-	-	縞縞引状文(6条/12m)と 思われる	内外面にハケメ後粗ミ ガキ	にぶい S	
第376号 -	23130	2北	2069ピット	甗	埋土	口縁部片	(14.0)	-	-	-	口料に縄文(1.8)	内外面にハケメ後、粗 いミガキ	にぶい黄楢 S縞砂土	
第376号 -	23134	2北	2069ピット	甗	埋土	頸部片	-	-	-	-	1条の横沈線と山形文、2 条も横沈線と山形文をめ ぐらす	外面は縦ハケメ、胴無 文部はミガキ、内面は ナデ	浅黄楢 S	
第376号 -	23132	2北	2069ピット	甗	埋土	頸部片	-	-	-	-	縄文(1.8)を地文とし、3 条の横沈線をめぐらす	器面荒れて整形不明	浅黄楢 S	
第376号 -	23133	2北	2069ピット	甗	埋土	体部片	-	-	-	-	2条の横沈線で体部文様 帯を上下に画し、下位に 斜行沈線充填の三角文を めぐらす。文様頂部に板 小口で縦切みを加えた楕 円形取付文を配す	外面にハケメ、内面荒 れて整形不明	にぶい黄楢 S	
第376号 -	23131	2北	2069ピット	甗	埋土	頸部片	-	-	-	-	全体に縄文(1.8)を地文と し、2条一組の沈線で波 状文、縞縞をめぐらせ、 下位に菱形か三角形モ チーフの文様を描く	内面にナデ	にぶい黄楢 S	
第376号 -	23129	2北	2069ピット	付付甗	埋土	胴部	-	-	(7.2)	-	無文	内外面ハケメ後、胴外 面と体部内面にミガキ	粗 S+縞	
第377号 -	22385	6	1号集中群	甗		口縁～体 部片	(18.0)	-	-	-	口料に縄文(原形不明 縞)。頸部に2帯の縞縞縞 縞文(5条/12m)、体部は 上から順に3帯と1部の波 形の凡れた縞縞波状文を めぐらせ、下手に縞縞引 状文を描く	内面荒れて整形不明、 ミガキと思われる	粗灰 S	

第162表 弥生土器観察表 1・2・3・5・7・8号集中群

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第377回 -	22141	6	1 集中群	甕	甕	胴～体部 片	-	-	-	-	胴部に縷状文、体部全体 に縷状線文(5箇/11mm) を垂に重下する	内面ハケメとナデ	浅黄褐色 5+赤・ チャート機 彩	
第377回 -	22142	6	1 集中群	高杯	口縁片	-	-	-	-	-	外面赤彩	口縁部に波状突起	褐色	
第377回 -	22140	6	1 集中群	甕	甕	体部下平 ～底部	-	-	6.0	-	無文	外面ミガキ、内面はハ ケメ、内面上位にヘラ 先のケズリ痕	にぶい黄褐色	
第377回 -	22386	6	1 集中群	甕	甕	体部下平 ～底部	-	-	8.0	-	無文	外面は縷ミガキ、内面 はナデ	にぶい黄褐色	体部片側に 黒斑
第377回 -	22387	6	1 集中群	高杯	脚部	-	-	8.7	-	-	無文	火塗部内面はナデ、他 は器面荒れて不明瞭	にぶい黄褐色	
第377回 -	22143	6	1 集中群	鉢	鉢	底部	-	-	7.2	-	底面除き内外面赤彩	内外面縷ミガキ	にぶい黄褐色	
第377回 -	22144	6	2 集中群	甕	甕	口縁部	(15.0)	-	-	-	口縁に縷文(1段)。胴部に 縷文を地文として、3条 の横沈線をめぐるせ、下 位に沈線山形文を描く	内面ナデ	浅黄褐色	
第377回 -	22388	6	3 集中群	小型甕	甕	体部	-	-	-	-	胴部に3条の横沈線をめ ぐるす	外面は縷ミガキ、内面 はナデか	にぶい黄褐色	
第377回 -	22145	6	3 集中群	甕	甕	体部片	-	-	-	-	コノ字重ね文	外面ハケメ、内面ミガ キ	にぶい黄褐色	
第377回 -	22147	6	3 集中群	有孔鉢	鉢	底部1/2	-	-	6.4	1.0	無文	器面荒れて不明	褐色	
第377回 -	22146	6	3 集中群	片口鉢	鉢	口縁～体 部上半 片口端部 欠	(16.0)	-	-	-	無文	内面ハケメ、口縁内外 面と外面はナデ	にぶい黄褐色	
第377回 -	22148	6	3 集中群	高杯	高杯	結合部	-	-	-	-	脚内面を除き赤彩	内外面ミガキ、脚内面 荒れて整形不明	浅黄褐色	
第377回 凡150	22149	6	3 集中群	蓋	天井部片	-	-	-	-	-	口縁のやや上に穿孔1	内外面ともナデ、口 縁	にぶい黄褐色	
第377回 -	22150	6	5 集中群	甕	甕	口縁～胴 部	(13.0)	-	-	-	胴部に2条の横沈線をめ ぐるす	外面縷ヘラナデ、口縁 横ナデ	にぶい黄褐色 5+赤	
第377回 -	22389	6	5 集中群	小型甕	甕	胴部～体 部	-	-	-	-	無文	外面ミガキ、内面はハ ケメとナデ	灰白 5細砂土	外面の片側に 黒斑
第377回 -	22151	6	5 集中群	小型甕	甕	口縁部片	-	-	-	-	胴部に縷状文(5箇/11mm) をめぐるせ、体部に縷 状文を描く	内面は板状具小孔によ るナデ	にぶい黄褐色	
第377回 -	22152	6	5 集中群	鉢	鉢	底部	-	-	4.8	-	内外面赤彩	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 5細砂土	
第377回 -	22157	6	7 集中群	甕	甕	胴部片	-	-	-	-	縷文(1段)をめぐるせ、 器面沈線で区画する	外面は縷ミガキ、内面 はハケメとナデ	灰白 5黒粒少	外面に黒上 面1カ所
第377回 -	22155	6	7 集中群	甕	甕	口縁～体 部上半	(15.0)	-	-	-	口縁に縷文(1段)。胴部に 縷状文(5箇/11mm、8～10 mmスパン)、体部に縷 引状文を描く。縷文は縷 引状文→縷状文の順で、 通例と逆	口縁外面は横ナデ、内 面は全体に丁寧な縷ミ ガキ	灰黄褐色	
第377回 -	22390	6	7 集中群 (台付甕)	甕	甕	口縁～体 部片	(10.9)	-	-	-	口縁に縷文、体部に3～ 4帯の縷状文(5箇/8 mm)を重ねる	外面無文部と内面全体 にミガキ	にぶい黄褐色	外面に黒斑 跡内は黒元
第377回 -	22161	6	8 集中群	甕	甕	口縁片	-	-	-	-	口縁と口縁外面に縷文 (1段)、外面に2条沈線に よる山形文をめぐるす	内面縷ミガキ	灰黄褐色	
第377回 -	22159	6	8 集中群	小型甕	甕	口縁片	-	-	-	-	無文	内面ミガキ、外面ハケ メ後ミガキ	灰黄褐色	
第377回 -	22154	6	7 集中群	甕	甕	体部片	-	-	-	-	無文	内外面に細かいハケ メ、横ナデ	にぶい黄褐色	外面片側に 黒斑
第377回 -	22156	6	7 集中群	甕	甕	体部片	-	-	-	-	縷引状文(4箇/10mm)を 6帯(以上)重ねてめぐる す	外面はハケメ、内面は 丁寧なミガキ	にぶい黄褐色	
第377回 -	22162	6	8 集中群	甕	甕	体部片	-	-	-	-	縷引状文(5箇/12mm)を 描く	内外面ハケメ後、内面 にミガキ	灰黄褐色 輝石等の黒 色鉱物なし	

遺物観察表

第163表 弥生土器観察表 7・8号集中群、1号集石

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第377段 -	22158	6	7集中群	鉢	口縁片	-	-	-	-	無文	外面は縦、内面に横のハケメ	にぶい黄褐色 S粗少	全体に還元	
第377段 Pl.150	22391	6	7集中群	蓋	口縁～天 井2/3欠	(12.5)	7.5	3.5	-	内外面とも赤彩	内外面ミガキ、揃み部 内面はナデ	にぶい黄褐色 S	外面片面に 黒斑	
第377段 -	22163	6	8集中群	台付甕	体部片	-	-	-	-	無文	ハケメを残し、内外面 とも丁寧なミガキ	にぶい黄褐色 S		
第377段 -	22153	6	7集中群	壺	底部1/2	-	-	9.0	-	無文	内外面にハケメ	灰黄褐色 S+赤褐色	内面黒変	
第378段 -	22074	6	1集石	壺	口頸部片	(14.6)	-	-	-	口頸部に割み筋。頸部に 段状の文様帯を設ける。 文様は荒れて不明	外面はハケメ後口縁部 段状の文様帯を設ける。 文様は荒れて不明	浅黄褐色 S		
第378段 -	22076	6	1集石	壺	口縁部辺	(13.2)	-	-	-	口頸部に縄文(LR)	外面の縦ハケメ、口縁 及び内面に横ナデ	灰白 S+赤粒多		
第378段 -	22080	6	1集石	壺	口頸部片	-	-	-	-	口頸に縄文、受け口以 口縁外面に1条沈線の山 形文をめぐらす	外面縦ハケメ、後口縁 部に横ナデ	灰黄褐色 S		
第378段 -	22077	6	1集石	壺	口縁部片	-	-	-	-	口頸に縄文(LR)。受け 口状口縁外面に2条沈線 による波状文をめぐらす	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 S粗片多		
第378段 -	22075	6	1集石	壺	口縁部片	-	-	-	-	口頸押土か、頸部に縄文 (LR)	外面に縦ハケメ、後口 縁横ナデ内面は横ハケ メ、後横ナデ	にぶい黄 S		
第378段 -	22078	6	1集石	(壺)	口縁部片	(20.6)	-	-	-	無文	内外面とも横ナデと思 われるが、不明	粗 S+白片多		
第378段 -	22087	6	1集石	壺	肩部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、4条 の横沈線と波状段状文を めぐらす	内面ナデ	にぶい黄褐色 S		
第378段 -	22372	6	1集石	小型壺	頸部～体 部上半	-	-	-	-	頸部に段状沈線をめぐら せ、外面赤彩	内面ナデ	淡褐色 S		
第378段 -	22374	6	1集石	壺	頸部～体 部上半	-	-	-	-	頸部に、上下を横沈線で 区画した縄文帯(LR)を2 帯めぐらす	外面ハケメ、後にミガ キか。内面荒れて整形 不明	粗 S		
第378段 -	22082	6	1集石	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に3条の 横沈線をめぐらす。	内外面に縦ハケメ、内 面はナデ	浅黄褐色 S		
第378段 -	22083	6	1集石	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を横白に施文、 2条の横沈線をめぐらせ て帯状区画する	外面はミガキか。内面 割離て不明	にぶい黄 S+塵		
第378段 -	22088	6	1集石	壺	頸部片	-	-	-	-	3条(以上)の横沈線をめ ぐらせ、下位に3条沈線 による波状文を描く。弧 線頂部に研究用形彫付文	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 S		
第378段 Pl.150	22409	6	1集石	壺	肩部片	-	-	-	-	細く鋭い2条一組の施文 具(4mmスパン)で、8条(以 上)の横線文を重ね、回 施文具で断続的な知緯丁 字文を施す	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 S+植物質と 思われる炭 化物を多く		
第378段 -	22081	6	1集石	壺	頸部片	-	-	-	-	上限に1条沈線。その下 に柳掛線文(5南か)を めぐらす	器面荒れて不明	にぶい黄 S粗粒主		
第378段 -	22084	6	1集石	壺	頸～肩部 片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、横沈 線と沈線山形文をめぐら す	器面荒れて不明	にぶい黄 S+塵多		
第378段 -	22085	6	1集石	壺	肩部片	-	-	-	-	2条横沈線をめぐらせ、 下位に細い沈線で斜線左 傾面文を描く	外面はハケメ、内面ナ デ	浅黄褐色 S+チャート 細塵		
第378段 -	22375	6	1集石	壺	頸～体部	-	-	-	-	頸部に段状沈線をめぐら せ、下位に縄文(LR)を地 文とした沈線山形文を描 く	外面はミガキ体部内面 は横ハケメ、頸部内面 は縦指ナデ	灰黄褐色 S+赤粒多		
第378段 -	22086	6	1集石	壺	肩部片	-	-	-	-	縄文(付加条1種)	無文部に縦ミガキ、内 面は割離て不明	粗灰 S		
第378段 -	22093	6	1集石	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、横沈 線帯で上下を区画し、上 位に縄文帯、下位に2条 沈線段状文をめぐらす	器面荒れて不明	灰黄褐色 S		

第164表 弥生土器観察表 1号集石

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第378号 -	22091	6	1集石	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、斜線 充填縦文、横沈線、2 条沈線波状文、2条横沈 線、沈線波状文の順で施 文	内面ハケメ後ナデ	にぶい黄褐色	S	
第378号 -	22090	6	1集石	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、斜線 充填縦文、横沈線、2 条沈線波状文、2条横沈 線の順で施文	内面ハケメ後ナデ	にぶい黄褐色	S	
第378号 -	22370	6	1集石	壺	頸部～体 部上半	-	-	-	-	無文	内外面とも器面荒れて 整形不明	にぶい黄褐色	S	
第378号 -	22094	6	1集石	壺	体部片	-	-	-	-	横沈線で区画した下位 に、縄文(1R)を地文に、 2条(以上)の沈線による 透弧文を描く	内面ミガキ	黄灰 S		
第378号 -	22089	6	1集石	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、2条 一組の沈線で透弧文を描 く。乳輪頂点部に2個一 対の瘤状突起を付す	内面ナデ	にぶい黄 S		
第378号 -	22373	6	1集石	壺	体部	-	-	-	-	3条の横沈線をめぐらせ て文様帯を区画。上位に 2条沈線波状文、中位に 管状隆部の列突列点文を 施す。下位に沈線透弧文 をめぐらす	内外面横ハケメ、後内 面にナデ	黒 S		
第378号 -	22100	6	1集石	甕	口頸部片	(15.2)	-	-	-	口頸部に刻み、頸部に瘤 状文(4溝/8mm、8-10mm スパン)、体部に横描波 状文を描く	器面荒れて不明	灰黄褐色 S		
第378号 -	22108	6	1集石	甕	口縁片	-	-	-	-	頸部以下の体部に4帯以 上の横描波状文(5溝/14 mm)を重ねる	器面荒れて不明瞭	黄灰 S		
第378号 -	22381	6	1集石	壺	体部中位 ～底	-	-	9.0	-	3条の横沈線をめぐらせ て文様帯を区画。上位に 2条沈線波状文、注意に 管状隆部の列突列点文を 施す。下位に沈線透弧文 をめぐらす	器面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S		
第378号 PL.150	22378	6	1集石	甕	口縁～体 部3/4	15.1	-	-	-	口唇に縄文(1R)。頸部に 瘤状文(6溝/14mm、12～ 19mmスパン)、体部に6帯 の横描波状文を重ねる。 施文は時計回り、上から 下の順	内面は一部ハケメを浅 し、横ミガキ	浅黄褐色 S		
第378号 -	22105	6	1集石	甕	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	口唇に縄文(1R)。頸部に 横描波状文(3溝/9mm)、 体部に横描波状文	口縁縁ナデ、体部内面 はハケメとナデ	にぶい黄褐色 S		
第378号 -	22102	6	1集石	(台付甕)	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	体部に大振り三角形毛 チーフと思われる斜線充 填文を施す	内面に丁寧な横ミガキ	灰黄褐色 S		
第378号 -	22101	6	1集石	甕	口縁～体 部上半片	-	-	-	-	口唇に縄文(1R)。体部に 横描波状文(6溝/11mm)を 施す	器面荒れて不明瞭	にぶい黄褐色 S		
第379号 -	22107	6	1集石	甕	口縁片	(20.0)	-	-	-	受け口の口唇と口縁外面 に縄文(1R)を地文とし、 外面に太沈線の山形文を めぐらす。内面と頸部外 面に赤彩	頸部に焼成前の2孔を 穿つ	にぶい黄褐色 S		
第379号 -	22103	6	1集石	甕	口縁片	(20.0)	-	-	-	無文	内外面横ナデ、体部内 面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S		
第379号 -	22109	6	1集石	甕	口縁片	-	-	-	-	口唇～口縁外面に縄文 (1R)、頸部に横描波状文 をめぐらす	内面は粗いミガキ	にぶい黄褐色 S		

遺物観察表

第165表 弥生土器観察表 1号集石

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第379号 -	22104	6	1集石	甕	口縁片	-	-	-	-	口内~口縁外面に縄文(1区)を地文とし、口縁部に2条沈線波状文、頸部に縷状文をめぐらす	横ナデ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22112	6	1集石	甕	口縁片	-	-	-	-	口内に縄文(1区)、口縁外面に2部の縷線波状文(4面/11mm)、頸部に縷状文(16~18mmスパン)	口縁内面は横ナデ		灰黄褐色	
第379号 -	22379	6	1集石	甕	口縁~体 上半片	-	-	-	-	口内に縄文か、口縁外面に縷線波状文、頸部に波長の乱れた縷線波状文、体部に縷線羽状文を描く。施文具は4面/12mmの縷状具	内面にハケメ後横ミガキ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22376	6	1集石	甕	口~体部 片	(22.0)	-	-	-	口縁外面に縷線波状文、頸部に縷状文(7面/16mm、30~38mmスパン)、体部に縷線羽状文を描く	内面に横ミガキ		にぶい褐色	
第379号 -	22106	6	1集石	甕	口縁~体 上半片	-	-	-	-	口内に縄文(1区)、口縁に3部の縷線波状文、頸部縷状文(7面/11mm、27mmスパン)、体部に縷線羽状文を描く	口縁内面にハケメ後横ミガキ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22111	6	1集石	甕	頸~体部 片	-	-	-	-	頸部に縷状文(5面/12mm、18~22mmスパン)、体部に縷線羽状文を描く	内面は丁寧な横ミガキ		灰黄褐色	
第379号 Pl.150	22377	6	1集石	甕	口縁と体 部1/2文	20.0	31.6	7.0	-	口内に縄文(1区)、口縁外面に3部の縷線波状文、頸部に縷状文(4面/10mm、18mmスパン)、体部に縷線羽状文	体部外面下位はハケメ後ミガキ、内面は横ミガキ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22118	6	1集石	甕	体部片	-	-	-	-	縷線羽状文(4面/10mm)を描く	内面ナデ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22113	6	1集石	甕	頸~体部 片	-	-	-	-	やや太い沈線でコの字重ね文を描き、上縁交点部に衝突形彫付文	内面はミガキ		にぶい褐色	被熱赤変
第379号 -	22114	6	1集石	甕	頸~体部 片	-	-	-	-	頸部に縷状文、縄文(1区)を地文にまばらな縷状具で目格子文を描く	内面は新しいミガキ		褐色	
第379号 -	22119	6	1集石	甕	体部片	-	-	-	-	コの字重ね文	内面新しいミガキ		灰黄褐色	
第379号 -	22110	6	1集石	甕	頸~体部 片	-	-	-	-	頸部に縷状文(5面/12mm、8~10mmスパン)、体部に縷線羽状文を描く	内面にハケメ後ミガキ		灰黄褐色	
第379号 -	22115	6	1集石	甕	体部片	-	-	-	-	頸部に縷状文、体部に縷線羽状文(3面/10mm)	内面は新しいミガキ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22116	6	1集石	甕	体部片	-	-	-	-	5帯(以上)の縷線波状文(4面/9mm)をめぐらす縷線羽状文(6面/11mm)を描く	内外面ともハケメ後、内面に横ミガキ		にぶい黄褐色	
第379号 -	22117	6	1集石	甕	体部片	-	-	-	-	縷線羽状文(6面/11mm)を描く	内面ナデ		褐色	
第379号 -	22121	6	1集石	台付甕	脚部	-	-	(6.3)	-	無文	外面ナデ、体部内面はミガキ		褐色	被熱赤変、脚部の欠損後再利用と思われる
第379号 -	22122	6	1集石	台付甕	脚部	-	-	(8.0)	-	無文	外面縦ミガキ、体部内面は横ミガキ、脚内面はハケメ体部との結合は粘土塊充填による		にぶい黄褐色	被熱赤変
第379号 -	22123	6	1集石	台付甕	脚部	-	-	7.4	-	無文	器面荒れて不明瞭		にぶい褐色	被熱赤変
第379号 -	22124	6	1集石	台付甕	脚部	-	-	7.5	-	無文	内外面ハケメ、体部外面と脚部内面はミガキ、体部内面荒れて整形不明		にぶい黄褐色	

第166表 弥生土器観察表 1号集石、1号遺物集中

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第379区 -	22132	6	1集石	高杯	腰部～脚部片	-	-	(10.0)	-	脚部内面除き赤彩	内外面ミガキ、脚内面はハケメとナデ	にぶい黄褐色S細砂土	脚部赤彩はほとんど剥落	
第379区 -	22127	6	1集石	鉢	口縁～体部片	(16.6)	-	-	-	口側に縄文(1本)	内外面横ミガキ、内面にハケメを施す	灰黄褐色 輝石少、白粉土		
第379区 -	22125	6	1集石	台付甕	脚部	-	-	6.3	-	無文	内外面に粗いミガキ	黒褐色		
第379区 -	22133	6	1集石	高杯	脚部片	-	-	(8.4)	-	脚部内面除き赤彩	内外面ミガキ、脚内面はナデ	にぶい黄褐色		
第379区 -	22134	6	1集石	高杯	脚部片	-	-	-	-	脚部内面除き赤彩	内外面ミガキ、脚内面はナデ、粘土塊充填と思われる杯結合部は欠損	にぶい黄褐色S		
第379区 -	22135	6	1集石	蓋	握み部	-	-	(5.8)	-	無文	外面粗い「逆ナデ」、内面ナデ	浅黄褐色S		
第379区 -	22139	6	1集石	ミニチュア甕	底部	-	-	3.9	-	無文	内外面ともナデ	灰白S		
第379区 -	22136	6	1集石	蓋	握み部	-	-	5.5	-	無文	外面荒れて不明、天井部内面ミガキ	浅黄褐色S		
第379区 -	22137	6	1集石	蓋	握み部	-	-	4.2	-	無文	内外面ナデか	にぶい褐色S		
第379区 -	22138	6	1集石	(蓋)	天井部片	(10.0)	-	-	-	無文	内面一部に粗いミガキ、外面ナデか	褐色S		
第379区 -	22129	6	1集石	有孔鉢	底部片	-	-	5.4	1.5	無文	内外面ナデ	明褐色S	被熱復なし	
第379区 -	22130	6	1集石	有孔鉢	底部片	-	-	(6.2)	(1.4)	無文	内外面ミガキ、底面ケズリ	浅黄褐色S		
第379区 -	22131	6	1集石	有孔鉢	底部片	-	-	(6.6)	-	無文	外面ミガキ、内面と底面は荒れて不明	にぶい黄褐色S		
第379区 -	22369	6	1集石	甕	体部下半～底	-	-	9.2	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白S		
第379区 -	22380	6	1集石	甕	体部下半～底	-	-	6.1	-	無文	外面は縦ミガキ、底面は粗いミガキ、内面荒れて整形不明	灰黄褐色S	体部下半は被熱色変	
第379区 -	22096	6	1集石	(甕)	底部	-	-	8.0	-	無文	器面荒れて不明	褐色S+砂多	内外面とも一部黒色	
第379区 -	22097	6	1集石	甕	底部	-	-	5.8	-	外面赤彩	内外面剥離で不明	にぶい褐色S		
第379区 -	22089	6	1集石	甕	底部片	-	-	(9.8)	-	無文	内外面ハケメ、後面にミガキ	にぶい黄褐色S		
第379区 -	22098	6	1集石	甕	底部	-	-	8.6	-	無文	外面は縦、内面は横のミガキ	褐色S		
第379区 -	22371	6	1集石	甕	体部下半～底	-	-	5.2	-	無文	器面荒れて不明	にぶい褐色S+塵	全体に被熱	
第379区 -	22128	6	1集石	鉢	底部片	-	-	(5.0)	-	内外面赤彩	内外面ミガキ半底面ケズリ	にぶい褐色S		
第379区 -	22120	6	1集石	(甕)	底部	-	-	7.8	-	無文	外面指オサエ後ミガキ、底面ミガキ、内面荒れて整形不明	灰黄褐色S細砂土		
第380区 -	22509	2北	1遺物集中	甕	口縁～肩	(16.0)	-	-	-	口肩と頸部に縄文(1本)を施し、頸部には4本の横沈線をめぐらせ、肩位には注線山形文を描く	外面はハケメ、内面は剥離で不明	にぶい黄褐色S		
第380区 -	22539	2北	1遺物集中	甕	口頸部	13.5	-	-	-	口肩と頸部に縄文(1本)、肩部に向状の横沈線をめぐらせて縄文帯を画し、なかに沈線状文をめぐらす。なお、口縁内面の一部に長さ6cmほどの縄文帯を施す	内外面ハケメ後、横ナデ	浅黄褐色S		
第380区 -	22538	2北	1遺物集中	甕	口頸部	1/3	(14.2)	-	-	口肩と頸部に縄文(1本)を施して地文とし、頸部に縦状文(7mm/15mm、15～17mmスパン)、その下位に横線状文をめぐらす	内外面ナデ	にぶい黄褐色S		

遺物観察表

第167表 弥生土器観察表 1号遺物集中、291号溝東岸

採得 Pl.No.	登録 番号	区	遺物No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第380号 -	22905	2北	1 遺物集中	甕	口縁部	-	-	-	-	口縁に篋状目による刻み	横ナデ	褐色 S		
第380号 -	22908	2北	1 遺物集中	(造)	体部片	-	-	-	-	櫛歯状文(4箇/10cm)と 櫛歯横線文を交互に施文 したと思われる。施文は 下からの順	内面ナデ	灰白 S	に深い赤褐色 顔料少	
第380号 -	22535	2北	1 遺物集中	造	口縁～体 部上半	13.9	-	-	-	口縁に縄文(LR)、頸部に 上下3部の縄文(LR)	外面は整った羅かひつ ケメ、内面はナデ	に深い黄褐色 S		
第380号 -	22533	2北	1 遺物集中	甕	口縁～体 部	(17.6)	-	-	-	口縁に刻み、頸部に櫛歯 状文(5箇/12cm、13～17mm スパン)、体部に上下2段 の櫛歯斜行文をめぐらす	口縁横ナデ、内外面ハ ケメ、体部外面は縦。 内面は横のミガキ	灰黄褐色 S		
第380号 -	22906	2北	1 遺物集中	甕	口縁～体 部片	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ、口縁横 ナデ	に深い黄褐色 S+黒粒少		
第380号 PL.141	22543	2北	1 遺物集中	甕	口縁～体 部上半 1/2欠	(18.3)	22.7	7.3	-	口縁に櫛状目による刻 み、頸部に櫛状文(4箇/9 mm、6～14mmスパン)、体 部に櫛歯斜行文	内外面ともハケメ後、 内面下部に横ミガキ。 底面ケズリ	灰黄褐色 S	体部下半外 面は焼熱赤 変	
第380号 PL.141	22531	2北	1 遺物集中	甕	体部下半 欠	30.0	-	-	-	口縁と口縁外面に縄文 (LR)を施文とし、2条沈 線状文を2帯めぐらす。 頸部に櫛状文(7箇/16mm、 21～28mmスパン)、体部 に櫛歯斜行文を描く	器面荒れて、整形不明	浅黄褐色 S	黒粒主	
第380号 -	22534	2北	1 遺物集中	甕	体部片	-	-	-	-	頸部に櫛歯状文をめぐ らす。体部には短線を重ね た櫛歯斜行文(6箇/10 mm)を描く	内外面は全体にナデとミ ガキ	に深い褐色 S	外面の中心 が隆げる	
第380号 PL.141	22537	2北	1 遺物集中	有孔鉢	口縁1/3 欠	16.7	10.0	7.5	1.1	口縁と口縁外面に縄文 (LR)	外面は横ナデ、下半は 縦横ナデ、内面は底部 付近ハケメ、全体に横 ナデ	に深い黄褐色 S		
第380号 -	22907	2北	1 遺物集中	有孔鉢	体下半～ 底部	-	-	(7.0)	-	無文	内外面ハケメ後ミガキ	に深い褐色 S		
第380号 -	22541	2北	1 遺物集中	造	体部下 ～底部	-	-	9.4	-	無文	外面は縦横ナデ、内面 はナデ	に深い黄褐色 S	底面にイネ 粒直直	
第381号 -	22935	2北	291溝東岸	造	口頸部	13.5	-	-	-	口縁と頸部に縄文(オ オボコ文)。頸部には段 状の太い横沈線を1条め ぐらす	口縁横ナデ、他はナデ	浅黄褐色 S		
第381号 -	22917	2北	291溝東岸	造	口縁片	(12.2)	-	-	-	口縁に縄文(原形不明)	器面荒れて整形不明	に深い黄褐色 S	黒粒主	
第381号 -	22921	2北	291溝東岸	造	口縁片	-	-	-	-	無文	外面は斜ハケメ後、口 縁と頸部に横ナデ、内 面は横ナデ	灰白 S	頸部破損面 は密着、口縁 上端は故意 の打ち欠きの 可能性あり	
第381号 -	22941	2北	291溝東岸	造	体部片	-	-	-	-	3条の横沈線をめぐら せて横位文様帯を構成し、 上位に沈線山形文、中位 に斜線充填の山形文、下 位に刺突列点文をめぐら す	内面はナデか	に深い黄褐色 S		
第381号 -	22915	2北	291溝東岸	造	体部	-	-	-	-	2列の刺突列点文をめぐ らす。下位に刺突充填の 上向き縦線文(山形文)を 描く	内外面荒れて不明瞭。 内面にハケメ残す	に深い黄褐色 S		
第381号 -	22922	2北	291溝東岸	(器台)	口縁片	(17.6)	-	-	-	無文	外面はケズリのみ横ナ デ、内面は横ナデ	に深い黄褐色 S	黒粒少 北陸系か	
第381号 -	22943	2北	291溝東岸	造	口縁片	-	-	-	-	口縁に粘土帯を付加して 複合口縁とし、45mm間隔 で櫛目状突起を付す	器面荒れて不明	浅黄褐色 S	黒粒主 宮ノ台式系 か	

第168表 弥生土器観察表 291号溝東岸

採回 Pt.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包溝名 前土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第381回 -	22932	2北	291溝東岸	壺	口頸部		(9.3)	-	-	-	外面と口頸部内面に赤彩 3条の横波線をめぐらせ て横位文様帯を構成し、 中位に浅腹山形文、下位 に斜線充填の山形文をめぐ らす	外面は縦、内面は横の ミガキ	灰白 S	
第381回 -	22938	2北	291溝東岸	壺	体部片		-	-	-	-	内面はナデか	にぶい黄褐色 S		
第381回 -	22930	2北	291溝東岸	甕	口頸部		-	-	-	-	口脣に縄文(LR)。頸部に 2帯の縹緞波状文(4溝/9 cm)、体部に縹緞羽状文 を描く	内面横ミガキ	にぶい黄褐色 S	
第381回 -	22937	2北	291溝東岸	甕	口頸部片	(24.0)	-	-	-	-	口脣部に縄文(LR)。受け 口外面に縹緞波状文(3溝 /12cm)、頸部に縹緞状文 (6溝/16cm)をめぐらせ、体 部に縹緞羽状文	器面荒れて整形不明	にぶい黄 S 粗砂土	
第381回 -	22929	2北	291溝東岸	(注口壺)	注口部		-	-	-	0.6	無文	ナデ	灰黄 S	
第381回 -	22934	2北	291溝東岸	壺	体部片		-	-	-	-	外面に赤彩	内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色 S 粗砂土	
第381回 -	22916	2北	291溝東岸	台付甕	胴～体部		-	-	-	-	頸部に縹緞状文(6溝/11cm、 15mmスパン)、体部に同 一縹緞状文でコの字重ね文 を描く	外面はケズリ、内面は 横ミガキ	粗灰 S 粗砂土	外面わずかに にぼける
第381回 -	22924	2北	291溝東岸	甕	口頸部片		-	-	-	-	口脣に板小口の刻み、頸 部に縹緞状文(6溝/8cm、20 ～15mmスパン)、体部に 縹緞波状文を3帯(以上) めぐる	口縁横ナデ、内面はハ ケメ後、丁寧な横ミガ キ	灰黄褐色 S 輝石多	
第381回 -	22944	2北	291溝東岸	甕	口縁片		-	-	-	-	口脣に深い刻み	内面に横ナデか	にぶい黄褐色 S 粗砂土	宮ノ台式系 か
第381回 -	22939	2北	291溝東岸	甕	胴～体部 上半		-	-	-	-	頸部に縹緞状文、体部に縹 緞羽状文が斜行文(4溝 /10cm)を描く	外面ハケメ、内面はミ ガキ	灰黄褐色 S	
第381回 -	22933	2北	291溝東岸	甕	口縁～体 部上半		-	-	-	-	口脣部に篋状による刻 み、頸部に縹緞状文(6溝 /11cm、11mmスパン)、体 部に丸線な縹緞羽状文	口縁横ナデ、内面ミガ キ	にぶい黄 S	
第381回 -	22942	2北	291溝東岸	甕	体部片		-	-	-	-	縹緞波状文(4溝/13cm)を 3帯(以上)めぐる。縹 緞波状文を重下する	内外面ともハケメ後、 外面は無文部ミガキ、 内面は全体にミガキ	にぶい黄褐色 S	
第381回 -	22919	2北	291溝東岸	蓋	揃み部		-	-	2.2	-	無文	ナデと思われるが、荒 れて不整形	にぶい黄褐色 S	
第381回 -	22945	2北	291溝東岸	高杯	口縁～杯 体部1/2	(16.8)	-	-	-	-	内外面赤彩	器面荒れて整形不明	灰黄 S	
第381回 -	22925	2北	291溝東岸	(小型 台付甕)	脚部		-	-	5.2	-	無文	外面と底内面は粗ミ ガキ、脚内面はナデ	灰黄褐色 S	
第381回 -	22927	2北	291溝東岸	蓋	揃み部		-	-	6.2	-	無文	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 S	
第381回 -	22946	2北	291溝東岸	甕	体～底部		-	-	9.8	-	体外面に縹緞羽状文(5～ 6溝/14cm前後)を描く	器面荒れて整形不明	粗 S	
第381回 -	22918	2北	291溝東岸	片口鉢	口縁片	(12.0)	-	-	-	-	口縁下に浅腹山形文をめぐ らす	外面に粗い斜ハケメ、 内面荒れて整形不明	にぶい黄 S +赤褐色	二次的焼成 で赤変
第381回 -	22936	2北	291溝東岸	甕	体～底部		-	-	7.4	-	縹緞羽状文(6溝/16cm)を 描く	外面ハケメ後、縦ミガ キ内面横ミガキ	灰黄褐色 S +赤褐色	外力により、 底部中央 破損
第381回 -	22931	2北	291溝東岸	鉢	口縁～底 部1/3次	15.6	8.2	6.0	-	-	無文	内外面ハケメ後、丁寧 な縦横のミガキ	にぶい黄褐色 S	内面にイネ 糊土直、円 形焼灰直痕 1
第381回 -	22940	2北	291溝東岸	甕	体部下半 ～底		-	-	(8.0)	-	無文	内外面ともミガキ	灰黄褐色 S	全体に還元

遺物観察表

第169表 弥生土器観察表 291号溝東岸・268号溝周辺

探出 Pt. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第381図 -	22914	2北	291溝東岸	有孔鉢		底部	-	-	5.8	1.3	無文	外面は荒れ、内面はナデ	にぶい黄褐色	内面は還元黒色、孔面にわずかに白色付着物
第381図 -	22928	2北	291溝東岸	ミニチュア鉢		口縁~底1/2	5.5	3.5	4.1	-	無文	外面は粗いミガキ、内面ナデ	にぶい黄褐色	
第381図 -	22923	2北	291溝東岸 (壊)			底部片	-	-	6.0	-	無文底面に木葉面	外面は粗いケズリ、内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色+雲母塵~粗砂	底外面縁辺が磨減
第382図 -	22902	2北	268溝周辺	壺		口縁部	-	-	-	-	口内に縄文(R)押捺	内外面ともナデ	浅黄褐色	
第382図 -	22885	2北	268溝周辺	壺		口頸部	-	-	-	-	内増築域口縁の外面に沈線山形文、頸部には縄文(L)を横位に施す	外面は粗いハケメ、内面ナデ	にぶい黄褐色	
第382図 -	22901	2北	268溝周辺	壺		口縁部	-	-	-	-	薄い近直し口縁に指頭押圧を加え、頸部まで縄文(L)を施す	内面横ミガキ	にぶい黄褐色 5輝石少	
第382図 -	22603	2北	268溝周辺	壺		頸部	-	-	-	-	頸部に縄文(L)を横位に施し、2条の横沈線で上下を面す	内外面ハケメ、口縁は横ナデ	淡黄褐色	
第382図 -	22632	2北	268溝周辺	壺		胴部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文として、2条の横沈線をめぐらせ、間に1条沈線の山形文	内面ナデ	にぶい黄褐色	
第382図 -	22872	2北	268溝周辺	壺		体部上半	-	-	-	-	無文	内外面ハケメ後、外面にミガキ	にぶい黄褐色	
第382図 -	22879	2北	268溝周辺	壺		頸~胴部	-	-	-	-	頸部に横沈線間の沈線波状文をめぐらす	外面ハケメ後ミガキ、内面はハケメ	浅黄褐色	
第382図 -	22891	2北	268溝周辺	壺		体部片	-	-	-	-	全体に縄文(L)を施す	内面はハケメとナデ	にぶい黄褐色	
第382図 -	22611	2北	268溝周辺 (壊)	壺		体部	-	-	-	-	体部上段~中段に縄文(L)を施す	外面はハケメ、内面荒れて整形不明	淡黄褐色 5輝石主	
第382図 -	22884	2北	268溝周辺	壺		口縁~体部	-	-	-	-	口内に板状貝小口による削み、頸部に縞状文(7南/22mm、25mmスパン)、体部に縞帯羽状文	外面はナデ、内面は横ミガキ	粗灰褐色	
第382図 -	22886	2北	268溝周辺	壺		口縁~体部	-	-	-	-	口内に削み、頸部に縞状文(4南/11mm、13mmスパン)、体部に縞帯羽状文	器面荒れて不明	にぶい黄褐色 5粗砂主	
第382図 -	22900	2北	268溝周辺	壺		口頸部	-	-	-	-	口内に板状貝による削み、頸部には横位の縞帯羽状文	内面横ミガキ	にぶい黄褐色	
第382図 -	22892	2北	268溝周辺	壺		口頸部	-	-	-	-	口内に縄文(L)。頸部に縞状文(6南/16mm、22mmスパン)、頸部下~体部に縞帯縞線文	口縁横ナデ、内外面ともハケメ後、内面に横ミガキ	粗灰褐色	
第382図 -	22899	2北	268溝周辺	壺		口頸部	-	-	-	-	口内に縄文(L)。頸部に縞状文(5南/12mm、12~16mmスパン)、体部に縞帯羽状文	口縁横ナデ、内面は横ミガキ	淡黄褐色	
第382図 -	22904	2北	268溝周辺	壺		口頸部片	-	-	-	-	口内に花穂と思われる縄文原体を押し、頸部に縞帯波状文(4南/10mm)、体部に縞帯羽状文	内外面荒れて不明	浅黄褐色 5輝石少	
第382図 -	22880	2北	268溝周辺	壺		体部~底部	-	-	8.1	-	無文	内外面荒れて不明	にぶい黄褐色	
第382図 -	22883	2北	268溝周辺	壺		口縁~底部1/3	(30.8)	37.4	9.6	-	口内に縞縄文、受け口外面に縞帯波状文、頸部に3帯の縞帯波状文をめぐらす。体部に横位の縞帯羽状文を強く	内外面に横ハケメ後、内面に横ミガキ	淡黄褐色	

第170表 弥生土器観察表 268号溝周辺

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量			文様の特徴	整形の特徴	包漬名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)				
第382段 -	22609	2北	268溝周辺	甕		口縁～体 部	(22.0)	-	-	口側に縄文(1区)。頸部に 縄状文(6南/14m、14～ 23mmスパン)。体部に乱 れた横位縞縞羽状文を揃 く	外面はハケメ、内面荒 れて整形不明	にぶい黄橙 S	
第382段 Pl. 132	22903	2北	268溝周辺	甕		体部下平 以下欠	16.6	-	-	口側と受け口外面に縄文 (1区)。これを地文に口縁 外面に2条沈線の波状文 をめぐらす。頸部に縄状 文(6南/12m、20～23mm スパン)。体部に縞縞羽 状文を揃す	内外面とも縞ハケメ 後、外面は縦ミガキ。 内面は横ミガキ	にぶい黄橙 S	口縁～同部 の外面一部 に黒斑
第383段 -	22612	2北	268溝周辺	甕		口縁～体 部上半	-	-	-	口側に縄文(1区)と思われ る。頸部に縞状文(4南 /11m、15～18mmスパン)。 体部に縞縞羽状文	外面は荒れて不明。内 面は縞ハケメ後、ミガ キ	にぶい橙 S+門部粗砂 多	
第383段 -	22613	2北	268溝周辺	甕		口縁部片	-	-	-	口側に笠形跡、頸部に縞 状文(4南/10m、12～14 mmスパン)	口縁横ナデ	にぶい黄橙 S	
第383段 -	22614	2北	268溝周辺	甕		口頸部片	-	-	-	頸部に縞状文(5南/12m、 12～22mmスパン)。体部 に縞縞羽状文と思われる が不明	口縁横ナデ、内面はハ ケメ	にぶい橙 S	
第383段 -	22604	2北	268溝周辺	壺		口縁部片	-	-	-	口側と受け口外面に縄文 (1区)を地文として、口縁 に4条の沈線による重連 弧文(2条単位×2帯)をめぐ らす	ハケメ後、内面横ナデ	浅黄橙 S	
第383段 -	22873	2北	268溝周辺	甕		頸～体部	-	-	-	頸部に縞状文(7南/14m、 20mmスパン)。体部に縞 斜格子文を揃く。器文 順は、左下方斜線をむと どおり無文した後、右下 方斜線を揃く	外面は不明瞭、内面縞 ミガキ	浅黄橙 S	
第383段 -	22875	2北	268溝周辺	甕		頸～体部	-	-	-	頸部に縞状文(7南/17m、 25mmスパン)。体部に縞 縞羽状文を揃く	外面は斜ハケメ、内面 荒れて整形不明	浅黄橙 S	
第383段 -	22876	2北	268溝周辺	甕		体部	-	-	-	縞縞状文(5南/12m)を 5帯(以上)めぐらす	内面ミガキ	浅黄橙 S	
第383段 -	22874	2北	268溝周辺	甕		頸～体部	-	-	-	頸部に縞状文(7南/18m、 17～20mmスパン)。体部 に縞縞状文をめぐらす	口縁横ナデ、内面縞ミ ガキ	灰黄褐 S	頸部外面に イネ粒1直 1、周縁は剥 離
第383段 -	22629	2北	268溝周辺	甕		頸部～体 部	-	-	-	頸部に縞状文(5南/12m、 13mmスパン)。体部に縞 縞羽状文	頸部外面下半の無文部 と内面全体にミガキ	灰黄褐 S	
第383段 -	22887	2北	268溝周辺	甕		頸～体部	-	-	-	頸部に縞状文(7南/15m、 11～14mmスパン)。体部 に縞縞状文を3帯以上 めぐらす	内面縞ミガキ	にぶい黄橙 S	
第383段 -	22631	2北	268溝周辺	甕		頸部～体 部	-	-	-	コノ字重ね文を揃き、中 央の中心輪縁上部に円形 彫付文	外面は縞ハケメ、内面 は縞ミガキ	灰黄褐 S	
第383段 -	22605	2北	268溝周辺	甕		体部上半 片	-	-	-	頸部に縞状文(4南/9mm以 上、10mmスパン)。体部 にコノ字重ね文を揃く	内面に縞ミガキ	灰黄褐 S里粒少	
第383段 -	22633	2北	268溝周辺	甕		頸部～体 部	-	-	-	頸部に縞状文(5南/14m、 16mmスパン)。体部に縞 斜格子文を揃く	外面ハケメ、口縁横ナ デ、内面は丁寧な縞ミ ガキ	灰黄褐 S	体部外面に 煤付着
第383段 -	22607	2北	268溝周辺	無形壺		口縁部	(9.6)	-	-	外面に赤彩	口縁に蓋部挿孔を2孔 一対で焼成前に穿つ。 内面ハケメ後、口縁付 近横ナデ	にぶい橙 S	

遺物観察表

第171表 弥生土器観察表 268号溝周辺、19・20井戸、89・317・447土坑

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第383回 -	22803	2北	268溝周辺	台付甕	脚部	-	-	-	-	無文	外面はハケメ、底部内 面はヘラナデ、脚内面 はナデ	灰黄 S		
第383回 -	22626	2北	268溝周辺	台付甕	脚上部	-	-	-	-	無文	外面ハケメ、体部内面 はミガキ、脚内面はハ ケメ	にぶい黄橙 S		
第383回 -	22877	2北	268溝周辺	甕	体部	-	-	-	-	標高直線文(6画/12m)を 密にそろえて垂下する	内面ミガキ	黄灰 S(胎)主		
第383回 -	22888	2北	268溝周辺	高杯カ鉢	口縁から 体部片	(14.4)	-	-	-	内外面赤彩。口縁の4カ 所に2個一對の瘤状突起 を付す	内外面横ミガキ	にぶい橙 S		
第383回 -	22608	2北	268溝周辺	鉢	口縁～体 部1/3	(13.4)	-	-	-	無文	内外面ともミガキ	灰黄褐 S	全体に還元	
第383回 -	22881	2北	268溝周辺	(高杯)	口縁～体 部片	(18.2)	-	-	-	口縁に瘤状突起を付す内 外面とも赤彩	内外面横ミガキ	にぶい黄橙 S	片面黒焼	
第383回 -	22610	2北	268溝周辺	甕	体部下平 ～底部	-	-	9.5	-	無文	外面はミガキ、内面は 平滑な板状貝小玉によ ると思われるナデ	にぶい黄橙 S	底部の積み 上げ接合明 瞭	
第383回 -	22600	2北	268溝周辺	(有孔鉢)	体部下平 ～底部	-	-	(8.0)	-	外面に赤彩の可能性あり	外面ミガキ、内面はハ ケメ後ミガキ	灰黄褐 S(胎)主	体部内面に 白色付着物 あり	
第383回 -	22882	2北	268溝周辺	有孔鉢	体下平～ 底部	-	-	6.5	1.0	無文	内面ミガキ	にぶい黄橙 S	外面上位は 帯状に剥離、 内面には白色 膠状の付 着物	
第383回 -	22878	2北	268溝周辺	甕	体下平～ 底部	-	-	10.8	-	無文	外面ヘラナデ、粗いミ ガキ、内面はハケメ	浅黄橙 S(胎)多		
第383回 -	22602	2北	268溝周辺	甕	体部下平 ～底部	-	-	5.9	-	無文	内外面ともハケメ後、 外面はナデ	にぶい黄橙 S+白礫多		
第383回 -	22606	2北	268溝周辺	有孔鉢	体部下位 ～底部 1/2	-	-	6.8	(1.2)	無文	内外面ミガキ、孔面 ナデ	にぶい黄橙 S		
第384回 -	30036	1	19井戸	S字甕	埋土	口縁片	(18.0)	-	-	無文	頸部から同部方向に細 かいハケメを施す。ハ ケメは鋭く細いが浅 い。内面はナデ。同部 内面は指ナデ上げ	にぶい黄橙 S(胎)主	器面は焼熱 赤変、器内は 還元	
第384回 -	30037	1	19井戸	S字甕	埋土	口縁片	(18.0)	-	-	無文	頸部から同部左下方 に細かいハケメを施 す。ハケメは鋭く細 いが浅い。内面はナ デ、同部内面は指ナ デ上げ	にぶい黄橙 S(胎)少		
第384回 -	30075	1南	20井戸	甕	埋土	Z	口縁片	-	-	口縁下に標高直線文、そ の下部に横波線をめぐら す	横ナデ	灰白 S		
第384回 PL.150	30011	2	89土坑	器付	埋土	ほぼ完形	6.4	8.6	12.0	-	外面はハケメ、器受部 はケズリ。器内外面 は横ナデ。成形後に脚 上～中位に粘土を付加 してケズリを加える	浅黄橙 S	古墳前期	
第384回 PL.150	30010	2	89土坑	器付	埋土	口縁3/4 欠	(8.4)	6.8	9.7	-	器受部はハケメ、口縁 横ナデ。脚部外面はケ ズリ焼成ミガキ。器内 面は横ハケメ。脚に3 カ所の凹孔を穿つ	にぶい橙 S(胎)主	全体に焼熱 赤変、古墳前 期	
第384回 -	30040	2北	447土坑	高杯	埋土	脚部	-	-	-	無文	外面は縦ミガキ、内面 は上位に絞り目を残し 、中位以下はケズリ 口縁横ナデ、底内面ナ デ、底外面は中央は一 方向、黄緑は電状のケ ズリ	橙 白色細顆砂		
第384回 -	30071	1北西	317土坑	鉢	埋土	口縁～底 2/3	11.6	3.6	10.5	-	無文	無文	にぶい橙 S	

第172表 弥生土器観察表 317土坑、99号溝、1195ピット、遺構外

探出 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包洞名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第384図 -	30073	1北西	317土坑	杯	埋土	口縁~底 1/5	(10.7)	-	(9.7)	-	無文	口縁ナデ、底内面ナ デ、底外面は中央は一 方向、周縁は帯状のケ ズリ	にぶい糟 S	
第384図 -	30072	1北西	317土坑	杯	埋土	口縁~底 1/2	(11.1)	-	(10.0)	-	無文	口縁ナデ、底外面は 全体に帯状ケズリ	糟 赤粒、白岩 片の粗粒砂 少	
第384図 -	30009	2	99溝	杯	埋土	口縁片	(9.8)	-	-	-	無文	口縁~内面横ナデ、底 面は手持ちケズリ	糟 キメ細かく、 細砂少	
第384図 Pl.150	30074	1北西	1195ピット	杯	埋土	口~底 1/2	12.9	4.6	11.8	-	無文	口縁は2段の横ナデ、 底内面はナデ、底外面 は周縁帯状のケズリ	にぶい糟 S+赤粒塵	
第385図 -	23144	1	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	-	4条(以上)の沈線と、縄 文(L)充填の沈線文帯で 同心円状の渦状の文様を描 く	内面ナデ	にぶい黄糟 S	
第385図 -	23149	1北西	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、複数 の沈線で方形区画文を構 成すると思われる	外面ハケメ、内面は不 明	にぶい黄糟 S+赤塵	
第385図 -	23147	1南	遺構外 (壊)	頸部片	-	-	-	-	-	-	無文	外面ナデ、内面は瓶広 の取小じによるナデ	粗灰~黒 S+片岩	
第385図 -	23142	1南	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	-	縄文(R)を地文に、3条沈 線の斜線と1条横沈線で 区画文を構成し、区内に 沈線による波状文か弧線 を描く	内面ナデ	にぶい糟 S+塵多	
第385図 -	23148	1南	遺構外 (壊)	体部片	-	-	-	-	-	-	無文	指頭押し面を残してナ デ	粗灰~黒 S+片岩	
第385図 -	22465	1北西	遺構外	甕	底部1/4	-	-	-	(11.0)	-	無文	内外面ハケメ後、ミガ キ	底面にイネ 類(胚)4~5 点	
第385図 -	22463	1南	遺構外	甕	底部	-	-	-	7.3	-	無文	内外面ミガキ	にぶい黄糟 S	
第385図 -	22466	1南	遺構外	甕	体部~底 部1/4	-	-	-	(9.8)	-	帯縁羽状文(5mm/15mm)を 施す	内外面とも横ハケメ 後、外面は縦ミガキ、 内面はナデ	にぶい糟 S	
第386図 -	21234	2	遺構外	壺	口縁部	15.8	-	-	-	-	口縁部に縄文(LR)、頸部 に2条の沈線による横線 文で縄文地文(LR)	口縁外面は横ナデ、頸 部外面は縦ハケメの内 面は横ミガキ、口縁~頸部 内面は横ミガキ	にぶい糟 S(粗砂)主	
第386図 -	21315	2	遺構外	壺	口縁片	16.0	-	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)を 施文	口縁ナデ、内面は丁 字な横位ミガキ	灰白 S	内面黒灰
第386図 -	21193	2	遺構外	壺	口縁片	(15.2)	-	-	-	-	口縁にオオハコ文	外面ハケメ後ナデ、内 面ハケメ後横位ミガキ	灰白 S	口縁内面に 粗粒塵1
第386図 -	21194	2	遺構外	壺	口縁片	(14.2)	-	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)、 頸部に2条の平行する横 沈線をめぐらす	口縁外面は横ナデ、内 面は横位ミガキ	にぶい黄糟 S	
第387図 -	20884	2	遺構外	壺	口縁片	(20.6)	-	-	-	-	口縁と頸部に縄文(LR)施 文	口縁外面横ナデ、頸部 外面は縦ハケメの内面 は横位ミガキ	にぶい糟 S	
第387図 -	21232	2	遺構外	壺	口縁部片	(17.8)	-	-	-	-	口縁に縄文を施すが、磨 滅で不判明	外面に横ハケメ、内面 整形はミガキナ	浅黄糟 S	
第387図 -	21231	2	遺構外	高杯	口縁部片	17.5	-	-	-	-	口縁上面に縄文(直L)か	口縁内外面は横ナデ、 杯部外面ハケメのちナ デ	糟 S	
第387図 -	20872	2	遺構外	壺	口縁1/4	(23.0)	-	-	-	-	縄ある受口で、口縁上面 と口縁外面に縄文(LR)を 施し、口縁外面には縦い 丸棒状集文員の甲線描き 沈線による波状文を4条 めぐらす	内面に横ハケメ	浅黄糟 S(粗砂)主	
第387図 -	21228	2	遺構外	壺	口縁~頸 部片	-	-	-	-	-	頸部に縄文(R)の地文に 帯縁波状文	口縁外面に横ナデ、内 面はミガキ	にぶい黄糟 S	

遺物観察表

第173表 弥生土器観察表 遺構外

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第387回 -	21233	2	遺構外	壺		口縁部 1/2	(14.8)	-	-	-	頸部に沈線による横線 文、沈線波状文 口側に縄文(LR)。口縁に 縄文(LR)の地文とし、沈 線山形文が反時計まわり にめぐらす	口縁外面は横ハケメ、 口縁内面はミガキ	浅黄褐色 S	
第387回 -	21237	2	遺構外	壺		口縁部片	-	-	-	-	横ある受口で、口内上面 と口縁外面に縄文(LR)を 施す。口縁外面には細い 丸棒状施文具の半線描き 沈線による波状文を4条 めぐらす	外面はへう削りのち細 かい横ハケメ、内面は 丁寧なミガキ	にぶい黄褐色 S輝石多	
第387回 -	20873	2	遺構外	壺		口縁部片	(23.0)	-	-	-	横ある受口で、口内上面 と口縁外面に縄文(LR)を 施す。口縁外面には細い 丸棒状施文具の半線描き 沈線による波状文を4条 めぐらす	外面頸部は横ナデと縦 位ミガキ、内面は横ハ ケメと頸部に横位ミガ キ	浅黄褐色 S細砂主	
第387回 -	21230	2	遺構外	壺		口縁部片	(18.8)	-	-	-	口内面取り、口縁に2条 同時施文の沈線波状文で 縄文地文の有無は確認で きかない	内外面荒れ、整形不明	浅黄褐色 S+チャート・赤褐色	
第387回 -	21282	2	遺構外	壺		口縁部片	(14.6)	-	-	-	内外面赤彩、口縁外面は 滑らかなため施文有無は 不明	赤彩後ミガキ	にぶい黄褐色 S+赤彩	
第387回 -	21298	2	遺構外	(壺)		口縁部片	(15.0)	-	-	-	内面に赤彩	内外面ナデ	灰白 S細砂主	口内形状と 器蓋の薄さ から、蓋台の 可能性もある
第387回 -	21147	2	遺構外	壺		口縁部片	-	-	-	-	口縁に細い沈線波状文	外面はナデ、内面ミガ キ	褐色 S 細砂、角 閃石なし	
第387回 -	20898	2	遺構外	壺		口縁部片	-	-	-	-	口内に縄文(LR)。縄文の 地文(LR)に2条の沈線山 形文	内面は横ミガキ	浅黄褐色 S	外面片割に 黒斑
第387回 -	21195	2	遺構外	壺		口縁部片	-	-	-	-	口内面に縄文(LR)10條、 口縁に2条平行(幅2.5 mm、10mm間隔)で沈線山 形文を時計まわりにめぐ らす	外面は横ナデ、内面は 横ナデ	灰白 S	
第387回 -	21170	2	遺構外	鉢		口縁部片	-	-	-	-	口内に縄文(LR 前段多 条)、口縁に縄文(LR?) 施文。上段に2条平行 沈線、下段に1本の沈線 による波状文(幅5mm前 後、断面はコマゴコ形 後)	内面は斜ハケメのちミ ガキ	褐色 S	
第387回 -	20885	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縄文の地文(LR)にして、 2条の横線文間に山形文 をめぐらす	内面はナデ	明赤褐色 S輝石多	
第387回 -	21207	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	2条の横沈線区画内に沈 線山形文をめぐらす。縦 縄文(オオバコ)の地文を 消している	内面はナデ磨滅	にぶい黄褐色 S+チャート	
第387回 -	21243	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縦縄文を地文として沈線 山形文のち沈線波状文 か	内面はナデ	浅黄褐色 S	
第387回 -	21313	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、 沈線による4条横線文(幅 3.5mm)	内面はナデのち横ハケ メ	にぶい黄褐色 S	
第387回 -	21240	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)、2条の沈線に よる横線文の中をへう状 貝先端による刺突文、縄 文(LR)を強く	内面はナデ	にぶい黄褐色 S+チャート	
第387回 -	21202	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に2条の 平行横線文(幅3.5mm) があるが、最上位に3条目 があってもおぼろげくない	内外面荒れ整形不明	灰白 S+チャート	
第387回 -	21212	2	遺構外	壺		頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を施す	内面に粗いミガキ	灰黄褐色 S+チャート	

第174表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第387区 -	21214	2	遺構外	壺	割部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文の上に2 条の沈線(山形文(幅5m 7条))	内面はナデ	浅黄橙 S輝石多		
第387区 -	21241	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)に1条の沈線に よる横線文と2条(同時沈 線波状文(幅2.5m断面平 円))を描き、下位に赤彩	内面はナデ	にぶい黄橙 S+チャート		
第387区 -	21145	2	遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	横沈線と2条の沈線波状 文をめぐらす	内面荒れて整形不明	灰白 S		
第387区 -	21144	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に2条(以 上)横線沈線文、下位に 沈線山形文をめぐらす	内面荒れて整形不明	にぶい橙 S		
第387区 -	21196	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文として1 条の横沈線(幅4m)を描 く	内面ナデ	にぶい黄橙 S+赤礫		
第387区 -	21210	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文として1 条の沈線を描く	内面は横ナデ	橙 S+赤礫		
第387区 -	21310	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1R)かを地文に複 線は間置かない。のち沈 線波状文(3条一組の重状 文で6条以上)	内面はケズリ	にぶい黄橙 S+チャート		
第387区 -	21201	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	1条の横位沈線文、2条の 沈線波状文(幅2.8m)を めぐらす	外面はハケム整形、内 面はナデ	にぶい黄橙 S+赤礫		
第387区 -	21206	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	無文、2条の平行沈線波 状文(幅3m)、下位に複 縄文(カナムグラカ?)	内面はハケム	灰黄 S		
第387区 -	21229	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	頸部に横線文	外面は縦ミガキ、内面 は丁寧なナデ、押注痕 を残すナデ	にぶい黄橙 S		
第387区 -	21109	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	頸部に2条の平行沈線文 の間に複縄文を地文とし て、沈線山形文を反時計 まわりに施す	内面はハケム	灰白 S		
第387区 -	21235	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	外面に1条の横沈線(幅4 m)、2条の沈線波状文(間 隔13m)	器面荒れて整形不明	浅黄橙 S細砂主	内面に細正 痕	
第387区 -	21290	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	幅幅直線文(7画/16m)を 2帯めぐらす。帯状具素 材は断面が円ないし平円 形の縷状具。上位内外 面に赤彩	内面ナデ	橙 S輝石なし	葉林式とは 文様が異質 北陸系か	
第387区 -	20886	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	2条平行沈線による山形 文、横状文(6画/12m、ス パン10m~13m)	内面剥離で整形不明	浅黄橙 S		
第387区 -	21227	2	遺構外	壺	頸部1/2	-	-	-	-	頸部に2条の沈線による 横線文、中に1条抽出の 沈線波状文を2条めぐら す	頸部外面に縦ハケム、 頸部内面に横ハケム	にぶい黄橙 S		
第387区 -	21289	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	2条東沈線(間隔4m)沈 線による横位縷羽状文。 一部に縄文(1R)施文→沈 線	内面はナデと思われる が不明	にぶい黄橙 S		
第387区 -	21209	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	1条の横位沈線文をめぐ らす	外面はハケム、内面荒 れて整形不明	灰黄 S+赤礫		
第387区 -	21205	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	2条沈線による横線文。 下位に沈線山形文を時計 まわりにめぐらす	内面は横ヘラナデ	浅黄橙 S+チャート	断面に組み 上り痕の凹 みあり	
第387区 -	21238	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	2条以上の平行沈線によ る横線文、下位に縷羽 状文を(幅3m/4m)を描 く	内面はナデ、内面荒 れて整形不明	灰白 S		

遺物観察表

第175表 弥生土器観察表 遺構外

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第388区 -	21242	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(1区)の地文に縹緋波状文(幅14mm以上/5周以上)、1条の沈線による横線文、下位に縄文(1区)を描く	内面はナデ	灰白 S+チャート		
第388区 -	21263	2	遺構外	甕	頸部片	-	-	-	-	縹緋文(オオバコ)の地文に縹緋波状文(幅5mm/5周)を時計まわりに描き、下位に縹緋による横線文を描く	内面ナデ	灰白 S+チャート		
第388区 -	21264	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋文(幅8mm/4周)の上、下に縹緋波状文をめぐらす。縹緋具は細い植物基状目を重ねる	内面ナデ	浅黄褐色 S		
第388区 -	21198	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋文(幅10mm/4周 11mmスパン)と1条の横沈線を描くめぐらせ、下位に縹緋文(オオバコ)を描く	内面はナデ	灰白 S		
第388区 -	21197	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋文(幅12mm/7周 12mmスパン)を時計まわりにめぐらす	外面はナデ、内面は縹緋ハケメのチナデ	灰白 S		
第388区 -	21203	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋波状文(幅13mm/7周)を時計まわりに描く	内面はハケメ後、ミガキ	黄灰 S+砂主		
第388区 -	21200	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	1条の沈線による横線文の下位に、2段の縹緋文(幅14mm/6周)を時計回りにめぐらす	内面ナデ	灰白 S		
第388区 -	21215	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	管状具(径2.5mm)の押しきによる層位の削突で区画した縹緋直線文を充填した縹緋文(幅10mm/5周)	内面はナデ	縹 S		
第388区 -	21219	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	沈線と削突列点(管状具押印)と沈線区画による縹緋文、縹緋直線文を充填ともみえるが不可解	内面は割離	縹 S+赤礫		
第388区 -	21218	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	1条の沈線による直線と波状の組み合わせの縹緋文	内面ナデ	灰白 S		
第388区 -	20899	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋ハケメ整形のち沈線縹緋文内に波状文を重下する	内面はナデ	灰黄褐色 S		
第388区 -	21208	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縹緋文を描く	内面荒れて整形不明	灰白 S+チャート		
第388区 -	21220	2	遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	縹緋文(オオバコ)の地文	内側は摩滅	灰白 S		
第388区 -	21222	2	遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	間隔をあけて縹緋波状文(幅8mm/4周)、2条の沈線の間に削突(植物基状具による)列点文を反時計まわりにめぐらす	ハケメ後、外面無文部にミガキ、内面はナデとミガキ	黄灰 S		
第388区 -	21223	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	沈線による縦区画と層位の縹緋波状文を充填した縹緋文	外面は縦ミガキ、内面はナデ	灰黄 S+チャート		
第388区 -	21245	2	遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	層位縹緋直線文を充填した縹緋文のち1条の平行沈線文、沈線直線文を描く	内面はナデ	縹 S+輝石多		
第388区 -	21268	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	頸部に縹緋横線文(幅11mm/5周)、肩に縹緋直線文と波状文を交互に重下する	内面ナデ	浅黄褐色 S		
第388区 -	21270	2	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	頸部に縹緋横線文(幅12mm/5周)、肩に縹緋直線文と波状文を交互に重下する	内面割離で整形不明	灰白 S+チャート		

第176表 弥生土器観察表 遺構外

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第388回 -	21271	2	遺構外	壺	頭部片	-	-	-	-	縹紫垂文、縦直線と波 状の組合せによる(幅12 mm/5溝)	内面は摩滅	浅黄槽 S		
第388回 -	21211	2	遺構外	壺	頭部片	-	-	-	-	縄文(1R)の地文に沈線横 線をめぐらせ、三又記号 文と思われる1条の沈線 を垂下する	内面は摩滅	灰白 S		
第388回 -	21304	2	遺構外	壺	頭部片	-	-	-	-	1条沈線による記号文か	内面はヘラナデ	灰黄 S+赤槽		
第388回 -	21305	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	三又記号文	外面はハケメのちねい ミガキ、内面はナデ	にぶい黄 S		
第388回 -	21306	2	遺構外	壺	頭部片	-	-	-	-	三又記号文と思われるが 分岐数が多い	内面は斜位ハケメ	にぶい黄槽 S		
第388回 -	21307	2	遺構外	不明	破片	-	-	-	-	2条平行沈線による記号 文か	外面はミガキ、内面は 丁寧な縦ナデ	にぶい黄槽 S		
第388回 -	21308	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縦沈線	内面は横ハケメ	灰白 S		
第388回 -	21143	2	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	細い横沈線と一系の沈線 山形文の交互に施文	外面はハケメ	槽 S		
第388回 -	21216	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に沈線に よる横線文をめぐらせ、 上2段に山形文をめぐら す	ハケメ後、内面ナデ	にぶい槽 S		
第388回 -	21204	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	沈線山形文、横沈線、2 条沈線間に列突文(2南東 具による)を時計まわり に描き、沈線山形文を描 く	内面に粗いミガキ	にぶい黄 S		
第388回 -	21224	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)前後多葉か)平 椎竹管と思われる工具で 2条平行沈線を上位にめ ぐらせ、下位は同工具で4 条を垂直文状にめぐらせ 整形後横位沈線区画(2条 以上)、2条沈線の波状文 を垂下(幅2.5mm/1歯、16 mm間隔)	内面はハケメ	にぶい槽 S+チャート		
第388回 -	21217	2	遺構外	(横)	胴部片	-	-	-	-	3条の縦沈線による横線 をめぐらせ、1条の沈線 による波状文でその上位 を斜線文で充填する	内面割離で整形不明	にぶい黄槽 S輝石多		
第388回 -	21213	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	2条の横位沈線(幅3mm)、 下位に垂山形文(三角文 か?)、交点に内形彫付 文、横線に合わせて縦沈 線を刻む	内面はナデ	灰白 S+チャート		
第388回 -	21309	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	1条横沈線で区画、上に 沿って列突列点、下に1 条突出の垂基文を描く	内面は板小皿によるナ デ	浅黄槽 S		
第388回 -	20880	2	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縄文の地文(1R)に1条の 横沈線、多条沈線による 垂基文か三角文	内面割離で整形不明	黄灰 S		
第388回 -	21284	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(1R)前後多葉)の地文 に3条の沈線による垂基 文、下位に無文部赤彩	内面はハケメ	浅黄槽 S		
第388回 -	21252	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(原形不明)の地文に 1条の沈線による波状文	内面ナデ、外面無文部 にミガキ	灰白 S輝石多		
第388回 -	22869	2南	遺構外	壺	頭部	-	-	-	-	縄文(1R)を地文に、縦沈 線による垂山形文を描く	内面ナデ	にぶい黄槽 S	中朝中葉か 北島・御新田 式系	
第388回 -	20900	2	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	下位に横沈線をめぐら せ、上に垂三角文(?)を 描く	器面荒れて整形不明	灰白 S+チャート	中朝中葉か	

遺物観察表

第177表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第388IV -	2268	2南	遺構外	壺	体部	-	-	-	-	縄文(LR)を充填した沈線 で弧文、凹文(フラスコ か)を描く。	無文部ミガキ、内面ナ デ	にぶい・黄緑 S輝石少	北島・御新田 式系	
第388IV -	21296	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	三角文を描き、集合沈線 で凹文。三角文内側に 白って刺突列点を描く	器面荒れて整形不明	浅黄緑 S輝石少	中明・中葉か 北島・御新田 式系	
第388IV -	21239	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縞線横線文(幅9mm/5mm) を2条平行する間に1条の 沈線による横線文があり 、下位に縞線波状文(幅 5mm/2mm)を描く	内面はナデ	にぶい・黄緑 S+チャート	非業林式系	
第388IV -	21295	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に刺突列 点文のち集合沈線による 横線文	内面荒れて整形不明	浅黄2.S/7/ S輝石少	北島・御新田 式系	
第388IV -	21297	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	集合沈線による波状文の ち2段の刺突列点文	内面はナデ	浅黄 S+チャート	北島・御新田 式系	
第388IV -	21221	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	縄文地文(弧)を横位帯、 上位に4条以上の多条沈 線による縞線文(幅2.5- 3mm、縞線より浅い)、下 位に縦短線の刺突列	内面は摩滅	灰褐 S+角礫	北島・御新田 式系	
第388IV -	21316	2	遺構外	壺	体部下位 ~底部	-	-	8.2	-	無文	外面は縦ミガキ、内面 はハケメ、底部は粗い ミガキ、底内面に砂の 多い粘土を付加	粗 S+チャート	表裏面に粗 圧面記	
第388IV -	20901	2	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	横沈線と沈線山形文を交 互にめぐらす。下位山形 文は2箇1組の縞線器具	外面は整形のち斜ハケ メ	灰黄 S		
第388IV -	21311	2	遺構外	壺	胴部片	-	-	-	-	同心円、渦文を細く縦い 沈線を描く	器面荒れて整形不明	灰白 S+チャート	沈線渦文系 の影響	
第388IV -	21285	2	遺構外	小型甕	胴部片	-	-	-	-	胴部大幅部に段状沈線を 1条めぐらせ、2ヶ一對の 縦状突起を付す。内外面 赤彩	内面に横ハケメ	灰白 S細砂主		
第388IV -	21226	2	遺構外	壺	胴下位~ 底部	-	-	10.7	-	無文	外面に縦位ミガキ、内 面ハケメ	灰白 S	底面著しく 磨滅	
第388IV -	21279	2	遺構外	壺	底部片 1/4	-	-	(6.0)	-	外面赤彩	内面は細かな横ハケメ	灰白 S細砂主		
第388IV -	20882	2	遺構外	壺	底部片	-	-	(10.0)	-	無文	外面ナデ、内面ハケメ	浅黄緑 S		
第389IV -	21248	2	遺構外	甕	口縁~胴 部1/4	(16.6)	-	-	-	頸部に縞状文(幅11mm/6 mm)、下位に縦位縞線引 状文(縞と同じ)を時計ま わりにめぐらす	内面はナデのち横ミガ キ、体部内面は横ハケ メのち横ミガキ	にぶい・粗 S+赤礫		
第389IV -	21250	2	遺構外	(付台)甕	口縁~胴 部	-	-	-	-	口胴部に縞文押し、頸部 から縞状文(15.5mm/6mm、 1箇幅2mm)を時計まわり に14mmスパン、下位に横 線・斜走文の組み合わせ を描く	内面はナデと粗い横ミ ガキ	にぶい・黄緑 S+赤礫		
第389IV -	21257	2	遺構外	甕	口縁~胴 部上位片	-	-	-	-	頸部に縞状文(幅13mm/5 mm)のち縦位縞線引状文 口胴并縞文(LR)か、頸部 に縞状文(4箇/8mm)、体 部に縞線波状文を2帯め ぐらす	口縁内面はミガキ、体 部内面は横ミガキ	黒褐 S		
第389IV -	20878	2	遺構外	小型甕	口縁部片	(10.8)	-	-	-	コの子重ね文に円形貼付 文	外面は斜ハケメ、内面 は横位ミガキ	灰黄緑 S		
第389IV -	20905	2	遺構外	付台甕	口縁部片	-	-	-	-	口縁部は内外ともに 横ナデ	口縁部は内外ともに 横ナデ	にぶい・黄緑 S輝石多		
第389IV -	21260	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	頸部に縞状文を時計まわ りにめぐらす	内面はナデか	にぶい・粗 S+赤礫	口縁に横付 刺突部にイ 基面直	
第389IV -	21261	2	遺構外	甕 (短頸甕)	口縁~胴 部上位片	-	-	-	-	頸部に縞状文(幅15mm/5 ~6mm 頸部12~10mm)	器面荒れて整形不明	浅黄緑 S+チャート		
第389IV -	21254	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口胴部に板状貝片Lに上る 刺突	内面は横ナデ、内面は 丁取は横ナデ	にぶい・粗 S+チャート		

第178表 弥生土器観察表 遺構外

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第389回 -	21301	2	遺構外	甕	口縁片	-	-	-	-	口唇部に板小口による刻 み列。縄文(LR)を斜位施 文	内面に粗いミガキと思 われるが不鮮明	灰黄 S+チャート		
第389回 -	21236	2	遺構外	甕	口縁部片	(17.0)	-	-	-	口唇部に縄文(LR)磨り反 し、縄文(LR)磨り反し と地文に3条の沈線波状 文(幅3.5mm)	内面は横ナデと横ヘラ ナデ	黒褐 S	内面に粉粒 痕	
第389回 -	21253	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)回転。 口縁部は縄文(LR)の地文 に磨擦波状文(幅14mm/5 溝)を時計まわりにめぐ らす。波状文の間に刻突 が1条ある	内面はナデ	にぶい・橙 S+赤褐		
第389回 -	21255	2	遺構外	甕	口縁～頸 部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口 縁に縄文(LR)地文で3条 の沈線山形文(幅2～3.5 mm)、頸部から体部にか けて康状文(幅12.5mm/5 溝、1溝2.5～2.0mm)をめ ぐらす。下位に縦磨擦引 状文	外面は頸部は横ナデ。 体部は横ハケメ、内面 は丁寧な横ミガキ	灰黄褐 S+チャート		
第389回 -	21258	2	遺構外	甕	口縁～頸 部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)。口縁 に縄文(LR)を地文として 2条平行(11mm間隔、幅4 mm/1条)の沈線波状文を 時計まわりにめぐらす。 頸部に康状文(幅18mm/6 溝)	内面は丁寧なミガキ	にぶい・黄橙 S+チャート		
第389回 -	20888	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇～口縁に縄文(LR)。 縄文地文に2条沈線によ る山形文、下位に康状文 (スパン21mm)を時計回り にめぐらす	ハケメ後、内外面横ナ デ	にぶい・黄褐 S		
第389回 -	20903	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、上下 2部の縄文(LR)を施す	内面は横ミガキ	灰黄褐 S		
第389回 -	21146	2	遺構外	壺	口縁部片	-	-	-	-	2条の沈線の山形文、頸 部に康状文をめぐらす	外面は縦ハケメ	S+濃多		
第389回 -	20874	2	遺構外	不明	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、2条 の沈線波状文をめぐらす	内面は横ハケメ、ナデ	にぶい・黄橙 S+濃多		
第389回 -	21256	2	遺構外	甕	口縁～頸 部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、口縁 に磨擦山形文(幅22.5mm /9溝)を時計まわりにめ ぐらす。頸部に康状文	内面は横ミガキ	にぶい・橙 S+チャート		
第389回 -	20877	2	遺構外	小型甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇に縄文(LR)、口縁外 面に磨擦波状文、頸部に 康状文(5mm/12mm)を時計 回りにめぐらせ、頸部下 に磨擦引状文	内面はミガキ	灰黄褐 S		
第389回 -	20875	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇部に縄文(LR)、口 縁に磨擦波状文(5mm/11 mm)、頸部に康状文を時計 回りにめぐらす	内面ミガキ	にぶい・黄橙 S		
第389回 -	21318	2	遺構外	甕	口縁～頸 部片	-	-	-	-	口唇は縄文(LR)。頸部に 康状文(幅18mm/6溝)をス パン10(15～16mm)にめぐ らす	器面荒れて整形不明	にぶい・黄褐 S+赤褐		
第389回 -	21262	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口唇部は、交互の斜行沈 線で(縦、断面)で充填 した沈線山形文(幅3.5 mm)、頸部に康状文	内面ナデ	にぶい・赤褐 S+チャート		
第389回 -	20904	2	遺構外	小型甕	口縁部～ 体部片	-	-	-	-	口唇から口縁に縄文 (LR)、頸部に康状文(7mm /10mm)、口に磨擦波状文	内面はナデ	灰黄褐 S	外面に縦付 筋	

遺物観察表

第179表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 衝土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第389Ⅸ -	21288	2	遺構外	甕	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(幅18mm/8 溝、20mmスパン)を時計ま わりにめぐらし、肩に2 条平行沈線(8mm間隔)の 波状文	内面はナデ、ミガキ	にぶい・橙 S		
第389Ⅸ -	20889	2	遺構外	甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄状文を時計回り にめぐらし、体部に縞 帯状文(5mm/12mm)	外体部は整形のち横ハ ケメ、内体部はミガキ	にぶい・黄褐 S		
第389Ⅸ -	21266	2	遺構外	甕	頸部～胴 部上位片	-	-	-	-	頸部に縄状文(17mmスバ ン)、体部に縞帯縞引 状文(幅3mm/4溝)を時計 まわりに上から下へ並文	内面は縞位ナデ	にぶい・黄褐 S+チャート		
第389Ⅸ -	20896	2	遺構外	甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	スパンの広い縄状文に縞 帯引状文(6mm/16mm)	内面ミガキ	にぶい・橙 S+輝石多		
第389Ⅸ -	21267	2	遺構外	甕	頸部～胴 部片	-	-	-	-	縄状文(幅2mm/1条、20mm スパン)で時計まわりに めぐらし、斜行文を5条 以上描く	内面はハケメのちナデ	灰白 S		
第389Ⅸ -	21148	2	遺構外	小型甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(6mm/11mm 9～13mmスパン)、体部に 縞帯縞引状文	ハケメ後、内面ミガキ	灰黄 S		
第389Ⅸ -	21169	2	遺構外	甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(幅1.8～ 2.0mm/1条)を時計まわり にめぐらし、体部に縞 帯引状文	外面、内面ともにナデ	にぶい・黄 S+赤褐		
第389Ⅸ -	21162	2	遺構外	甕	体部片	-	-	-	-	縦位縞帯引状文で縞帯 位不明	内面はミガキ	にぶい・橙 S+チャート		
第389Ⅸ -	21265	2	遺構外	甕	頸部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(10mmスバ ン)をめぐらし、体部に 縞帯波状文(幅14mm/6溝) を2段以上描く	外面は斜ハケメ、内面 はナデのち粗いミガキ	にぶい・黄褐 S+チャート		
第389Ⅸ -	20876	2	遺構外	甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(5mm/9溝)、 体部には複数段の縞帯 波状文をめぐらし、脚周 を空けて縞帯直線文を垂下 する	内面照れて整形不明	にぶい・黄褐 S		
第389Ⅸ -	21251	2	遺構外	甕	頸部～体 部	-	-	-	-	頸部に縄状文(幅11mm/5 溝、14mm幅2mm、14mmスバ ン)、下位に沈線(幅1.5 ～1.7mm)でコの字重ね文 を描く。沈線は縞帯質の 断面カマボコ形棒状具を 用いる	外面は横ハケメ、内面 は横ハケメのち横ミガ キ	灰黄褐 S+チャート		
第389Ⅸ -	21273	2	遺構外	甕	胴部片	-	-	-	-	縦位と思われる縞帯引 状文を描く	内面はナデかミガキ	灰白 S+赤褐		
第389Ⅸ -	22867	2南	遺構外	甕	体部	-	-	-	-	縦位縞帯引状文(6mm/14 mm)	内外面ともハケメ、内 面にミガキ	にぶい・黄褐 S		
第389Ⅸ -	21269	2	遺構外	甕	胴部片	-	-	-	-	体部に縞帯波状文(幅12 mm/5溝)を上から下へ縞 位に重ね、縞帯直線文を 垂下する	内面ナデ	にぶい・黄褐 S		
第389Ⅸ -	21312	2	遺構外	付台甕	頸部片～ 同部片	-	-	-	-	頸部に縄状文(6mm以上) をめぐらし、体部にコの 字重ね文(沈線幅2mm)を 描く	外面はハケメ、内面は 横ミガキ	灰黄 S+輝石多		
第389Ⅸ -	21244	2	遺構外	甕	頸部～胴 部片	-	-	-	-	縄文形の地文に、コの字 重ね文を描き、交点部に 円形印付文(刺突)	内面は横ミガキ	にぶい・黄褐 S+輝石多		
第389Ⅸ -	20902	2	遺構外	(甕)	体部片	-	-	-	-	斜線充填三角文と思われ る	内面は粗いナデ	にぶい・黄褐 S+チャート		
第389Ⅸ -	20879	2	遺構外	付台甕	体部片	-	-	-	-	縞帯直線でコの字重ね文を 描く	内面は縦ミガキ	灰黄褐 S		
第389Ⅸ -	22726	2北	遺構外	甕	体部	-	-	-	-	体部に縦位縞帯引状文(4 mm/13mm)	内面は横ミガキ	にぶい・黄褐 S		

第180表 弥生土器観察表 遺構外

持回 PL.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	色調名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第389段	-	21274	2	遺構外	甕	胴部片	-	-	-	-	体部下半に帯流斜格子文 (幅16mm/高4mm)か	外面は縦ミガキ、内面 は丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第389段	-	21275	2	遺構外	小型台付 甕	体部口/3	-	-	-	-	胴部に縦状文、体部上位 に帯流斜格子文、体部中～ 下位に帯流垂下文を充填す る。胎文具は12mm/7mm の帯状具	内面に丁寧な横ミガキ	にぶい黄 S	
第389段	-	21272	2	遺構外	台付甕	胴部片	-	-	-	-	斜行沈線(幅2.5mm、断面 平円)を充填する山形文か 三角文と思われる	内面はミガキ	灰黄褐 S	
第389段	-	21314	2	遺構外	甕	破片、胴 部	-	-	-	-	斜縄文(L)を施す	内面はナデ	にぶい黄緑 S+糖	
第389段	-	21303	2	遺構外	(甕)	胴部片	-	-	-	-	縄文(附加条)種(L×20)を 施す	内面はナデか	灰白 S+チャート	
第390段	-	20906	2	遺構外	高杯	口縁～体 部片	(26.5)	-	-	-	内外面赤彩	赤彩後横ミガキ	にぶい黄 S+砂主	
第390段	-	21286	2	遺構外	高杯か鉢	口縁片	-	-	-	-	内外面とも赤彩	外面は荒れて整形不 明、内面ミガキ	にぶい黄 S	
第390段	-	21287	2	遺構外	高杯か鉢	杯部片	(19.8)	-	-	-	内外面ともに赤彩	赤彩後ミガキ	灰白 S	
第390段	-	21259	2	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	無文	口縁部は横ナデ、外面 は斜ハケメ、内面は横 ハケメのち斜ハケ	黒陶 S	
第390段	-	22870	2南	遺構外	高杯	口縁～体 部片	(23.0)	-	-	-	内外面赤彩。口体部境界 に段状の横沈線をめくら せ、体部に文様の沈線状 状文を施す。沈線内は無 彩	内外面横ミガキ	糖 S	
第390段	-	21283	2	遺構外	短頸壺	口縁～頸 部片	(13.8)	-	-	-	内外面とも赤彩	外面ミガキと思われる が不鮮明、内面は荒 れて整形不明	灰白 S+砂主	
第390段	-	21291	2	遺構外	鉢	口縁片	-	-	-	-	口縁部に切ったような平 坦面	外面は左より斜めにハ ケメ、内面は横から斜 めにハケメ	にぶい黄緑 S+チャート	
第390段	-	21292	2	遺構外	鉢	口縁片	-	-	-	-	口縁部に縄文(同一原 体)、口縁外面に縄文(L 幅か)	内面はミガキ	にぶい黄緑 S+チャート	
第390段	-	21299	2	遺構外	不明	破片	-	-	-	-	外面赤彩。上端では内屈 曲して鋭く	内面は板状具による粗 いナデ	灰白 S	平板の形状 から異形土 製品の可能 性
第390段	-	20895	2	遺構外	(高杯)	口縁片	-	-	-	-	内外面とも赤彩	内外面横ミガキ、口縁 下部曲部に穿孔1	灰白 S	鉢の可能性 もあり
第390段	-	20894	2	遺構外	(台付甕)	胴部上位 片	-	-	-	-	無文	外面ミガキ、内面ナデ と思われるが不鮮明	にぶい黄 S	体部外面が やや赤く色 変
第390段	-	20925	2	遺構外	台付甕	脚上部	-	-	7.8	-	無文	外面は縦位、内面は横 位のミガキ	灰白 S+砂主	片面黒面被 熱色は不明 瞭
第390段	-	20883	2	遺構外	蓋	縁部	3.5	-	-	-	無文	外面ハケメ、内面ナデ	灰白 S	
第390段	-	20897	2	遺構外	蓋	縁部	4.7	-	-	-	無文	外面ハケメ後横ミガ キ、天井部内面ミガキ	黄緑 S	
第390段	-	20892	2	遺構外	高杯	結合部	-	-	-	-	脚部内面赤彩	脚部内面ナデ	にぶい黄 S	
第390段	-	21246	2	遺構外	壺	脚部	-	-	(10.8)	-	無文	底面内面にナデ、脚内 面天井部にハケメ	灰黄緑 S	脚内外面が 二次的焼熱 により色変
第390段	-	21280	2	遺構外	台付甕	脚部	-	-	-	-	無文	外面は縦位、内面は横 位のミガキ、脚部内面 はハケメ結合は粘土塊 充填による	灰白 S	
第390段	-	21281	2	遺構外	台付甕	体部下位 ～脚部 1/4	-	-	(6.2)	-	無文	内外面ハケメ後ミガ キ、脚の内外面も縦位 ミガキ	にぶい黄緑 S+砂主	脚部被熱色 変、内面黒

遺物観察表

第181表 弥生土器観察表 遺構外

採回 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第390R -	21247	2	遺構外	蓋	天井部	1/3	-	-	-	-	横み部に横位穿孔(径5mm)	外面縦位ミガキ。内面は黒いハケメのち縦位ミガキ。	にぶい黄褐色	過半が黒炭
第390R -	20891	2	遺構外	蓋	横み部	-	-	-	-	-	無文	内外面ともナデ	灰黄褐色	
第390R -	20881	2	遺構外	壺	割下半～底部	-	-	4.8	-	-	無文	器面荒れて整形不明	灰白	
第390R -	22871	2南	遺構外	鉢	底部	-	-	5.4	-	-	全面に赤彩	赤彩後ミガキ	にぶい褐色	
第390R -	20893	2	遺構外	壺	底部	-	-	(7.6)	-	-	外面に赤彩	器面荒れて整形不明	黄褐色 S埋砂なし	
第390R -	20890	2	遺構外	壺	底部	-	-	10.8	-	-	無文	外面ナデ。内面荒れて整形不明	浅黄褐色	
第390R -	20871	2	遺構外	壺	底部1/2	-	-	7.4	-	-	無文	外面に斜ハケメ。内面はナデ	浅黄褐色 S+糖	
第390R -	21278	2	遺構外	鉢	底部片 1/4	-	-	(7.8)	-	-	内面赤彩	外面縦位ミガキ	にぶい黄褐色	
第390R -	21203	2	遺構外	有孔鉢	底部1/3	-	-	(6.0)	0.8	-	無文	内外面ともハケメ	にぶい褐色	
第390R -	21294	2	遺構外	有孔鉢	底部1/3	-	-	(6.2)	(0.9)	-	無文	外面ハケメ。内面はハケメ後体部に斜位ミガキ	にぶい黄褐色	
第390R -	21317	2	遺構外	甗	底部	-	-	9.6	-	-	無文	外面はハケメ。内面はナデ。底部はミガキ	にぶい黄褐色	底部に灰付蓋。断面2
第390R -	21225	2	遺構外	壺	底部1/4	-	-	(6.8)	-	-	底部の一部に縄文(1R)	外面ハケメ。内面ナデ	灰白	片側に黒炭
第390R -	21276	2	遺構外	甗	底部	-	-	5.9	-	-	無文	外面底縁はケズリ。体部に縦位ミガキ。内面は底面ナデ。体部ミガキ	暗灰黄	
第390R -	21277	2	遺構外	鉢	体部下位～底	-	-	6.6	-	-	底面除き内外面赤彩	外面にケズリ痕残す。内面と底面にミガキ	灰白 S埋砂主	片側黒炭面に片道1
第391R -	22889	2北	中央付近遺構外	壺	口縁片	(26.0)	-	-	-	-	口側に縄文(1R)。受け口外面に帯描縦線文(6歯/16mm)をめぐらし。15mm前後のスパンで帯い丸棒状具で縦線を刻む	外面はハケメ。内面荒れて整形不明	にぶい黄褐色	北壁小瓶式か以降の影響
第391R -	23076	2北	中央付近遺構外	(甗)	口縁部	-	-	-	-	-	受け口の外面に帯描縦線文(7歯/16mm)をめぐらせ。棒状具による縦位線で刻む	内面ナデ	浅黄	Z2889と同一と思われる
第391R -	23078	2北	中央付近遺構外	壺か甗	口縁部	-	-	-	-	-	受け口外面に帯描縦線文(5～6歯/15mm)をめぐらせ。棒状具比線で縦位に刻む	ナデ	灰白	Z2889と同一と思われる
第391R -	23077	2北	中央付近遺構外	甗	口縁部	-	-	-	-	-	口縁内部に帯描短斜線文(5歯/8mm)をめぐらす	外面にハケメ	にぶい黄褐色 無色・白質 片の細粒～粗粒多く、 輝石等有色 鉱物は少	小瓶式系
第392R -	22769	2北	遺構外	壺	口頸部片	(20.0)	-	-	-	-	口唇と頸部に縄文(1R)	外面はハケメ後。口縁に横ナデ。内面荒れて整形不明	浅黄褐色	
第392R -	22761	2北	遺構外	壺	口縁1/4	(16.2)	-	-	-	-	口唇に縄文(1R)か。頸部に横位線をめぐらす	口縁横ナデ。器面荒れて不明	黄灰	
第392R -	22926	2北	遺構外	壺	口縁	9.8	-	-	-	-	無文	外面は縦ミガキ。内面はナデか	灰白	
第392R -	22767	2北	遺構外	壺	口頸部	11.0	-	-	-	-	口唇に縄文(1R)。頸部に段状沈線で頸部を周し。下位に縦状文をめぐらす	口縁横ナデ	浅黄褐色 S埋砂主	
第392R -	22640	2北	遺構外	壺	口縁部片	(10.8)	-	-	-	-	口唇に縄文(1R)	外面にハケメ。口縁横ナデ。内面はナデか	浅黄	

第182表 弥生土器観察表 遺構外

採回 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第392回 -	22638	2北	遺構外	壺	口頸部片	-	-	-	-	口頸部と口縁外面に縄文(1区)を地文として、2条一帯の沈線で波状文をめぐらす	内外面ハケメ後、外面はミガキと思われるが、内面荒れて整形不明	黄灰 S+濃		
第392回 -	22639	2北	遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縄文(1区)を施す。内側口縁の外面に螺旋山形文(7溝/18mm)をめぐらす	外面はハケメ、内面は横ミガキ	にぶい黄褐色 S		
第392回 -	22706	2北	遺構外	壺	口頸部	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面ミガキ	にぶい黄褐色 S		
第392回 -	22643	2北	遺構外	壺	頸部	-	-	-	-	横沈線をめぐらし、下位に康状文に似た押し引き沈線をめぐらす	内外面ナデ	灰黄褐色 S		
第392回 -	22762	2北	遺構外	壺	口頸部	-	-	-	-	口縁外面と頸部に縄文(1区)を地文として、沈線波状文をめぐらす	内外面ハケメ後ナデ	浅黄褐色 S		
第392回 -	22895	2北	遺構外	壺	口頸部	-	-	-	-	頸部上位に康状文(5溝/13mm、13mmスパウ)、その下に縄文(1区)を地文として沈線波状文と横線文をめぐらす	外面はハケメ、内面はナデ	にぶい褐色 S		
第392回 -	22765	2北	遺構外	壺	頸部	-	-	-	-	横沈線と沈線波状文を交互にめぐらす。沈線表現は粗澁	外面ハケメ、内面ナデ	灰白 S(粗砂主)		
第392回 -	22912	2北	遺構外	壺	頸～胴部	-	-	-	-	縦縄文(オオバコと思われる)を地文に、頸部に2条の横沈線をめぐらし、胴には刺突を加えた円形貼付文を起点に、上向きに三叉状記号文を描く	内面ナデ	浅黄褐色 S		
第392回 -	22094	2北	遺構外	壺	胴部	-	-	-	-	2条の横沈線の間に螺旋波状文(4溝/15mm)をめぐらす	外面はハケメ後ミガキ、内面はナデ	にぶい黄褐色 S		
第392回 -	22086	2北	遺構外	壺	体部	-	-	-	-	沈線で大振りな三叉状記号文を描く	外面ハケメ、内面ナデ	灰黄褐色 S		
第392回 -	22763	2北	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	細い縦沈線で蛇行文とと思われる蛇行沈線を垂下する	内外面ハケメ後、ナデか	浅黄褐色 S		
第392回 -	22642	2北	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	刺突列点で区画した螺旋直線文(7溝/13mm)充填の懸垂文下位に、刺突列点文と横沈線をめぐらせ、沈線間に鋭い刺突を充填する	内外面ナデ	にぶい黄褐色 S		
第392回 -	22764	2北	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	上位に沈線山形文、下位に2条横沈線間に刺突列文をめぐらす。施文方向は反時計回り	外面ハケメ、内面はハケメ後ナデ	にぶい黄褐色 S		
第392回 -	22910	2北	遺構外	壺	胴～体部	-	-	-	-	縄文(1区)を地文に、横沈線をめぐらせて上下帯とし、沈線で上位に波状文と直線文を交互に垂下、下位に垂山形文を描く	内外面ハケメとナデ	褐色 S		
第392回 -	22758	2北	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	3条沈線で垂山形文をめぐらせ、波形下端に円孔刺突の内形貼付文を配す。胴縁大径部に3条の横沈線をめぐらせ、上段に半月形刺突列点、下段に沈線山形文	内外面にハケメ	浅黄褐色 S(粗砂主)		
第392回 -	22775	2北	遺構外	壺	体部上半片	-	-	-	-	胴部上位に縄文(1区)を地文	外面は横ミガキ、内面ナデと思われるが測線で不明瞭	灰黄 S		

遺物観察表

第183表 弥生土器観察表 遺構外

探洞 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包圍名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	孔径 (cm)				
第392IV -	22731	2北	遺構外	甕	口縁部	-	-	-	-	体部に櫛歯状文(4歯/7mm)を横位に重ねる。 口内に板小口の刻み。頸部に垂状文(7歯/12mm、10~13mmスパン)。体部に櫛歯状文を2帯(以上)めぐらす	内面はナデとミガキ	包圍名 胎土の特徴	にぶい・黄褐色 S(細砂土)	
第392IV -	22894	2北	遺構外	甕	口頸部	(11.5)	-	-	-		口縁横ナデ。内面はハケメ後横ミガキ	灰黄褐色 S		
第392IV -	22637	2北	遺構外	甕	肩部~体部 上半片	-	-	-	-	頸部に垂状文(6歯/14mm、8~11mmスパン)。体部に小刻みの波形の櫛歯状文を2帯(以上)重ねる	内外面ハケメ後、口縁は横ナデ。体部内面はミガキ	粗灰黄 S		
第392IV -	22913	2北	遺構外	高杯	杯部2/3 欠	(12.5)	10.3	9.0	-		頸部内面除き赤彩	頸部は横位主体で不定方向のミガキ	にぶい・黄褐色 S	
第392IV -	22898	2北	遺構外	短頸甕	口頸部	(12.5)	-	-	0.4	無文	頸部に1.5cm間隔で2孔。内外面とも横ミガキ	灰黄褐色 S		
第392IV -	22911	2北	遺構外	鉢	口縁~体部 上半	(4.8)	-	-	-	無文	外面に赤彩	外内ミガキ。内面ナデ口縁に2孔を穿つ	にぶい・黄褐色 S(細砂土)	
第392IV -	22778	2北	遺構外	台付甕	体部下半 ~脚部	-	-	7.1	-	無文	外周と頸部内面にハケメ。体部内面は横ミガキ	にぶい・黄褐色 S	脚部外面は 焼熱赤変	
第392IV -	22776	2北	遺構外	台付甕	脚部	-	-	-	-	無文	外面と体部内面はミガキ。脚内面はナデ。体部結合はほぼ穴充填による	灰黄褐色 S		
第392IV -	22759	2北	遺構外	高杯	杯部下位 ~脚部 1/3	-	-	(10.8)	-	内外面赤彩	頸部内面除き内外面ミガキ。脚内面は足ナデと横ナデ	にぶい・黄褐色 S	脚内面にイネ 糊土痕1	
第392IV -	22644	2北	遺構外	(高杯)	脚部片	-	-	(9.6)	-	無文	内外面ミガキ。脚内面は横ナデとナデ	にぶい・黄褐色 S+赤彩多	台付甕の可能性があるが、二次的焼熱面は認められない	
第392IV -	22760	2北	遺構外	高杯	脚部	-	-	(8.5)	-	内外面赤彩	脚部外面はミガキ。内面はナデ	にぶい・黄褐色 S	脚部内面に 赤彩時の顔料付着	
第392IV -	22777	2北	遺構外	(台付甕)	(脚部)	-	-	5.3	-	無文	内面はハケメとナデ。外面は荒れて不明	にぶい・黄褐色 S	ミニチュア 品か蓋類の可能性あり	
第393IV -	22730	2北	遺構外	壺	底部1/3	-	-	(12.0)	-	無文	外面ミガキ。内面ナデ	浅黄 S		
第393IV -	22770	2北	遺構外	壺	底部	-	-	5.2	-	無文	内外面ミガキ。底面ケズリ。底内面には和砂の多い粘土を付加して補強する	にぶい・黄褐色 S		
第393IV -	22773	2北	遺構外	壺	底部	-	-	9.6	-	無文	内外面ハケメ	にぶい・黄褐色 S		
第393IV -	22768	2北	遺構外	甕	体部下半 ~底部	-	-	8.2	-	無文	器面荒れて整形不鮮明	黄灰 S+雜	底面にイネ 糊土痕4~5 点	
第393IV -	22896	2北	遺構外	壺	底部	-	-	7.6	0.8	無文	外面ハケメ。中央孔は上下面からの焼成後肉転穿孔と思われる	にぶい・黄褐色 S		
第393IV -	22950	2北	遺構外	有孔鉢	底部	-	-	6.0	1.5	無文	内外面とも粗いミガキ	灰白 S(細砂土)		
第393IV -	22692	2北	遺構外	甕	底部	-	-	8.5	-	無文	外面はハケメ後ミガキ。内面はミガキ底面はケズリ	にぶい・黄褐色 S		
第393IV -	22772	2北	遺構外	甕	体部下半 ~底部	-	-	5.4	-	無文	内面縦。内面は横のミガキ。底面はケズリ	にぶい・黄褐色 S		
第393IV -	22774	2北	遺構外	壺	体部下半 ~底部	-	-	6.1	-	外面に赤彩	外面ミガキ。内面ナデ	粗灰 S		

第184表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第393区 -	22771	2北	遺構外	(直)	底部	-	-	7.1	-	無文	外面はハケメ、底部付近は指ナデ、内面はハケメとナデ	灰黄 S		
第393区 -	22890	2北	遺構外	甕	底部	-	-	6.6	-	無文	内外面ハケメ後、内面上位はミガキか	にぶい黄 S		
第393区 -	22897	2北	遺構外	甕	底部	-	-	7.2	-	無文	外面ハケメ、内面はナデ底面ケズリ	灰黄陶 S		
第394区 -	22383	6	南半 遺構外	壺	口縁部片 (17.0)	-	-	-	-	頸部に縄文(LR)を地文とし、2条の横沈線をめぐらす	外面ハケメ、内面は割離で不明瞭	にぶい黄 S		
第394区 -	22029	6	南半 遺構外	壺	口縁部片 (14.0)	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)	外面ハケメ、内面はミガキ	浅黄 S		
第394区 -	21972	6	南半 遺構外	壺	口縁片 (15.7)	-	-	-	-	頸部に横沈線をめぐらす	外面にハケメ、内面荒れて整形不明	浅黄 S		
第394区 -	22027	6	北半 遺構外	壺	口縁部片	-	-	-	-	口縁と口縁外面に縄文(オオバコ文)。口縁に2条沈線波状文をめぐらす	内面ミガキ	浅黄 S		
第394区 -	21982	6	南半 遺構外	壺	口縁片	-	-	-	-	口縁と口縁内面に縄文(LR)、内面縄文下部には管状具先端による刺突列点をめぐらす	内面縦ミガキ	浅黄 S		
第394区 -	22030	6	南半 遺構外	壺	口縁片 (12.0)	-	-	-	0.4	無文	口縁下に穿孔1	浅黄 S		
第394区 -	22034	6	南半 遺構外	壺	口縁片	-	-	-	-	口縁と口縁外面に縄文(LR)、口縁外面に太沈線で波状文をめぐらす	内外面無文部にミガキ	にぶい S		
第394区 -	21984	6	南半 遺構外	壺	口縁片	-	-	-	-	口縁-口縁外面に縄文(LR)、その上に2条沈線波状文をめぐらす	外面はハケメ後ミガキ、内面丁寧なミガキ	にぶい黄 S		
第394区 -	22028	6	南半 遺構外	鉢	口縁部片	-	-	-	-	折返し口縁の口縁と口縁外面に縄文(LR)	器面荒れて不明	にぶい黄 S	胎土	
第394区 -	22031	6	南半 遺構外	短頸壺	口縁片 (16.1)	-	-	-	-	内外面に赤彩	ミガキか	にぶい黄 S		
第394区 -	22037	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)の地文に、沈線による前後横線6条をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄 S	外面上位に 靑土痕1	
第394区 -	21973	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LRと思われる)を地文に5条(以上)の横沈線をめぐらす	内面ナデ	黄 S		
第394区 -	21975	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を施し、横沈線で帯状区画した中位横帯を磨り消す	内面に粗いミガキ	にぶい S		
第394区 -	22063	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	段状の横沈線で区画した文様帯に、縄文(LR)地文、沈線波状文をめぐらす	器面荒れて不明	灰白 S	胎土	
第394区 -	22047	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、横沈線と沈線山形文を交互にめぐらす	外面ハケメ、内面はミガキ	灰黄 S		
第394区 -	22002	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、横沈線で区画、下位に沈線山形文を施す。区画外の縄文は磨き消す	外面はハケメ後粗いミガキ、内面はミガキとナデ	にぶい S		
第394区 -	22068	6	北半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文に、4条(以上)の横沈線をめぐらす	ナデ	にぶい黄 S		
第394区 -	22169	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(オオバコ文)を地文に、2条(以上)の横沈線をめぐらす	内外面ナデ	灰白 S		
第394区 -	21979	6	南半 遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	細かい縦ハケメを地文とし、5条(以上)の縦い弧状沈線をめぐらす	内面ナデ	にぶい S		
第394区 -	22058	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、横沈線で画した文様帯に1条沈線波状文をめぐらす	内面ナデ	にぶい黄 S		

遺物観察表

第185表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第394区 -	22038	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縦縄文を地文に、2条の 横線文と管状具先端部によ る列状点文をめぐらす 横位無文の縄文(LI)を重 ねる	外面ハケメ、内面ナデ か	にぶい・糟 S		
第394区 -	22000	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-		内面ナデ	粗灰 S		
第394区 -	22056	6	北半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	横沈線と2条沈線波状文 を交互にめぐらす	外面はハケメ、内面は ナデ	にぶい・黄糟 S		
第394区 -	21985	6	南半 遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	縄文(LI)を地文に、2条 単位の沈線(平載竹管か) で2条の波状文をめぐら す	外面はハケメ後ミガ キ、内面はナデ	にぶい・黄糟 S		
第395区 -	22019	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LI)を地文に、細い 2条の横沈線をめぐらし、 下位に斜線充填副面文を 描く	内面ナデ	にぶい・黄糟 S		
第395区 -	22015	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	2条の横沈線をめぐらし、 沈線間に短斜線、下位に 斜線充填副面文を描く	外面無文部ミガキ、内 面はナデ	灰黄 S		
第395区 -	22067	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LI)を地文とし、歪 んだ副面文を描く	器面荒れて不明	浅黄糟 S		
第395区 -	22018	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	上位から帯幅縦線文(6mm /12mm)、重状文(15mmス パン)、2条一組の沈線波 状文、帯幅横線文をめぐ らす	内面ナデ	にぶい・糟 S 黒粒少		
第395区 -	21978	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	横沈線区画内に2帯(以 上)の重状文(6mm/12mm) を時計回りにめぐらす	外面はハケメ後ミガ キ、内面はナデか	糟 S		
第395区 -	21974	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	帯幅横線文(6mm/14mm)を 2帯重ねてめぐらす。他 文は時計回りで、他文具 は断面が瓜状の縞線四様 を束ねたもの	内面は丁寧なナデ	にぶい・黄糟 S 黒粒少		
第395区 -	22049	6	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縦縄文を地文に、横沈線 で上下文様帯を画し、上 位に斜線充填副面文、下 位に沈線山形文をめぐら す	器面荒れて整形不明	灰黄褐 S 黒粒主		
第395区 -	21981	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	横沈線をめぐらし、上位 に斜線充填副面文、下位 に2条平行沈線による波 状文をめぐらす	内外面ハケメ	にぶい・黄糟 S		
第395区 -	22001	6	南半 遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縦沈線4画、帯幅縦線文 を充填する懸垂文	内外面ともハケメ	にぶい・黄糟 S		
第395区 -	21987	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	下位を横沈線で画し、上 に管状具先端の列点で区 画した帯幅波状文充填の 懸垂文を描く	内面ナデ	にぶい・糟 S		
第395区 -	22382	6	南半 遺構外	壺	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部付近に縄文(LI)を 施す	内外面ハケメ、後面 にナデ	浅黄糟 S		
第395区 -	22025	6	北半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	頸部～体上位に縦位の帯 幅波状文(7mm/20mm)を垂 下、下位には横位に波状 文をめぐらす。無文部内 には赤彩	内面ナデ	灰黄 S	白濁式底に 類似	
第395区 -	22062	6	南半 遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	縄文(LI)を地文とし、横 沈線で区画された文様帯 内に2条沈線の波状文、 下位には逆弧文をめぐら す	内面は測麗で不明	にぶい・黄糟 S		
第395区 -	21999	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	5条(以上)の横沈線をめ ぐらせ、下位に縄文(LI) を地文に沈線波状文を描 く	ナデ	浅黄糟 S		

第186表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第395区 -	22059	6	南半 遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	2条平行沈線の下部に、1条沈線の山形文をめぐらす	外面ハケメ	にぶい黄褐色		
第395区 -	22048	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	横沈線で区画した文様帯に縄文(L)を地文とし、2条平行の沈線沈状文をめぐらす。下位は沈線による垂弧文と思われる	外面ナデ、内面は横ハケメ	浅黄褐色		
第395区 -	22020	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、2条一組の沈線による波状文と、1条沈線の横線文を交互にめぐらす	内面は丁寧なミガキ	暗灰黄褐色		
第395区 -	22065	6	北半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	細かい縄文(L)を地文に、縦沈線の横線3条をめぐらせ、下位に沈線山形文を描く	外面ハケメ、内面はハケメとナデ	にぶい黄褐色	S+門跡多	
第395区 -	21986	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、沈線による重垂弧文をめぐらす。弧線頂点には管状器具先端刺突を加えた円形彫付文を配す	外面はハケメ、内面は割磨で不明	にぶい褐色		
第395区 -	22024	6	北半 遺構外	台付甕	体部片	-	-	-	-	頸部に垂状文、体部に縄文(L)を地文として、沈線充填の三角文を描く	内外面とも粗いミガキ	にぶい黄褐色		
第395区 -	22070	6	北半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	複数条の沈線で斜線(垂弧文か)を描く	外面はハケメ、内面は平滑な板状小口によるナデ	暗灰黄褐色		
第395区 -	22035	6	南半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	細い沈線で三丈状記号文々を描く	内外面ともハケメ	黄褐色	S黒粒なし	
第395区 -	22066	6	南半 遺構外	壺	肩部片	-	-	-	-	横沈線をめぐらせ、横線を加えた円形彫付文をつける	内面はナデか	浅黄褐色		
第395区 -	22069	6	北半 遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(L)を地文に、下部を斜列点文で画し、上向き垂弧文をめぐらす	外面は細かい横ハケメ、内面は粗い横ハケメとナデ	黄褐色	北島式系の影響	
第395区 -	22004	6	南半 遺構外	甕	口縁～体部片	-	-	-	-	頸部に帯状横線文(6mm/13mm)、体部に帯状羽状文を描く	内外面とも、横ハケメ	灰黄褐色		
第395区 -	22042	6	南半 遺構外	甕	口縁～体部上片	-	-	-	-	頸部に垂状文(5mm/11mm、13mmスパン)、体部に帯状羽状文を描く	口縁外面横ナデ、外面はハケメ、内面は全体に横ミガキ	にぶい黄褐色	S黒粒なし	
第395区 -	22046	6	南半 遺構外 (小型台付甕)	甕	口縁～頸部片	-	-	-	-	口縁と体部に帯状波状文(5mm/4mm)をめぐらす	内面ミガキ	にぶい黄褐色		
第395区 -	21989	6	南半 遺構外	甕	口縁片	-	-	-	-	口縁～口縁に縄文(L)を地文とし、2条の沈線波状文をめぐらす	器面割磨で不明瞭	浅黄褐色		
第395区 -	21907	6	北半 遺構外	甕	口縁片	-	-	-	-	口縁に縄文か、口縁に2条沈線による波状文	外面板状貝によるナデ、内面ミガキか	にぶい黄褐色		
第395区 -	21990	6	南半 遺構外	甕	口縁片	-	-	-	-	口縁～口縁に縄文(L)を地文とし、1条の沈線山形文をめぐらす	外面横ナデ	灰黄褐色		
第395区 -	22071	6	北半 遺構外	甕	口縁部片	-	-	-	-	口縁に縦線頸部に垂状文(5mm/10mm)、体部に帯状羽状文を施す	内外面ハケメ、後口縁横ナデで、体部内面は粗いミガキ	灰黄褐色		
第395区 Pl. 150	22384	6	北半 遺構外	小型甕	口縁～体部一部欠	11.0	10.6	4.6	-	口縁に細かい縄文(L)、頸部に垂状文(4mm/7mm、7～13mmスパン)、体部に帯状羽状文	外面は縦、内面は横のミガキ	にぶい黄褐色	頸部外面に斜口直1、体部内面下半にコゲ面を残す	
第395区 -	22064	6	南半 遺構外	小型台付甕	口縁～体部片	(10.8)	-	-	-	口縁に縄文(L)、頸部に垂状文(5mm/11mm、12～17mmスパン)、体部には4部の帯状波状文を重ねる	内面にミガキ	にぶい黄褐色	S+黒	

遺物観察表

第187表 弥生土器観察表 遺構外

探出 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第395図 -	21988	6	南半 遺構外	甕			口縁~体 部片	-	-	-	口側に縄文、口縁に帯 流状文、肩部に縷状文(4 周/10m、20mスパン)、 体部に軸の乱れた縦位帯 流羽状文を描く	内面は丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第395図 -	22060	6	南半 遺構外	甕			口縁片	-	-	-	口側に縄文(1R)、内縁口 縁の外面に帯流状文(5 周/11m)	ハケム後横ナデ	にぶい黄緑 S	
第395図 -	22010	6	南半 遺構外	小型 台付甕			口縁~体 部片	-	-	-	口縁に2条沈線の波状文、 体部に沈線によるコの字 重ね文	内面にハケム後ミガキ	灰黄褐 S	
第395図 -	22026	6	北半 遺構外	甕			頸部~体 部上半	-	-	-	頸部に縷状文(5周/10m、 5~9mスパン)、体部に 帯流斜行文	内面ミガキ	灰黄褐 S	
第395図 -	21983	6	南半 遺構外	甕			頸部~体 部片	-	-	-	頸部に帯流縷文、体部 に帯流羽状文(4~5周)を 描く	内面ミガキ	灰黄褐 S	
第395図 -	21996	6	北半 遺構外	甕			頸部片	-	-	-	頸部に帯流羽状文の後、 体部に帯流波状文(5周 /12m)をめぐるす	内面は横ミガキ	にぶい S	
第395図 -	21997	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文(6周/16mか) を重ねる	内面横ミガキ	にぶい S	
第396図 -	22164	6	北半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	頸部に縷状文(4周/12m 以上)をめぐるす。体部 文様は不明瞭	器面荒れて不明	粗 S 細織土	
第396図 -	22050	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	頸部に縷状文(6周/16m、 12~16mスパン)、体部 に帯流羽状文を描く	外面ハケム、内面はミ ガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	21980	6	南半 遺構外	甕			頸部~体 部片	-	-	-	頸部に帯流波状文(5周 /14m)、体部に帯流斜行 文を描く	内面ハケム後ミガキ	灰黄褐 S	
第396図 -	21971	6	南半 遺構外	(直)			胴部片	-	-	-	帯流波状文(6周/11m)を 3帯(以上)重ねる	内面ハケム後ミガキ	粗灰黄 S	
第396図 -	22054	6	北半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流直線文を垂下し、横 位の帯流波状文(4周/11 m)を3帯以上重ねる	内面ミガキ	灰黄褐 S+白織多	
第396図 -	21970	6	南半 遺構外 (台付甕)	甕			体部片	-	-	-	帯流波状文(4周/13m)を 4帯(以上)重ねる	内面横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22072	6	北半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流斜格子文(7周/16m) を描く	内面ハケム	灰白 S	
第396図 -	21991	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	縦位の帯流羽状文(5周 /11m)を描く	内外面ハケム、後に内 面はミガキ	にぶい S	
第396図 -	21908	6	北半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文を描く	外面ハケム、内面はミ ガキ	黄灰 S	
第396図 -	21909	6	北半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文を描く	器面荒れて不明	灰黄褐 S+白織多	
第396図 -	22061	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文(6周/12m)を 描く	内外面にハケム、内面 は後にナデとミガキ	灰黄 S	
第396図 -	22003	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文(4周/8m)を 描く	外面はハケム、内面は 丁寧な横ミガキ	黄灰 S	
第396図 -	22013	6	南半 遺構外	甕			頸部~体 部上半片	-	-	-	頸部に縷状文(5周/12m 以上)、体部にコの字重 ね文	外面は横~斜ハケム、 内面は横ミガキ	灰黄褐 S	内面は還元
第396図 -	22022	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	沈線によるコの字重ね文	内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22005	6	南半 遺構外	台付甕			体部片	-	-	-	コの字重ね文	外面ハケム、内面横ミ ガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22023	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	帯流羽状文を描く	外面横ミガキ、内面は 横ミガキ	灰黄褐 S	
第396図 -	22014	6	南半 遺構外	甕			体部片	-	-	-	コの字重ね文	外面は横~斜ハケム、 内面は横ミガキ	灰黄褐 S	
第396図 -	21998	6	南半 遺構外	(甕)			体部片	-	-	-	貫通し沈線による縦位帯 流羽状文	内外面とも横ハケム	にぶい S	蓋ノ台式系 か
第396図 -	22397	6	南半 遺構外	甕			体部下半	-	-	9.6	無文	外面はハケム後ミガ キ、内面はミガキと思 われるが不明瞭	にぶい S	外面に強い 被熱赤変

第188表 弥生土器観察表 遺構外

探出 Pt.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第396図 -	22067	6	南半 遺構外	高杯		口縁~杯 部片	(18.6)	-	-	-	内外面赤彩	内面横ミガキ、外面は 施れて不明	灰黄緑 S	
第396図 -	22044	6	南半 遺構外	高杯カ鉢		口縁片	(16.0)	-	-	-	口縁に2個一對の瘤状突 起を付す。内外面赤彩	内外面とも横ミガキ	にぶい橙 S	
第396図 -	22392	6	南半 遺構外	高杯		杯部下半	-	-	-	-	内外面赤彩	内外面ミガキ、結合は ほぞ穴充填による	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22016	6	南半 遺構外	鉢		口縁片	-	-	-	-	口縁に斜線充填による三 角形モチーフの文様を描く 。交点には1孔を加え た円形貼付文を付す	器面荒れて不明	にぶい黄緑 S白濁・ チャート	
第396図 -	22011	6	南半 遺構外	鉢		口縁片	-	-	-	-	口縁から体部外面にかけ て縄文(1区)を地文とし、 2条の横波線で文様帯を 区画。横位文様区画内に 洗線状文をめぐらす	内面は横ミガキ	灰白 S	
第396図 -	22045	6	南半 遺構外	高杯		杯部下半 ~脚上半	-	-	-	-	杯部内面に赤彩	外面と脚部内面にハケ メ、杯部内面はミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22053	6	北半 遺構外	高杯カ鉢		口縁片	-	-	-	-	口縁に瘤状突起を付す。 内外面赤彩	内外面ミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	21993	6	南半 遺構外	鉢		口縁片	-	-	-	-	内外面に赤彩	内外面ミガキ	灰黄 S	
第396図 -	22008	6	南半 遺構外	ミニチュ ア鉢		1/2割	(7.0)	2.9	4.3	-	無文	内外面ともヘラナデと ナデ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	21994	6	南半 遺構外	鉢		口縁片	-	-	-	-	無文	内外面ともハケメ粗 いミガキ	灰 S	
第396図 -	22012	6	南半 遺構外	ミニチュ ア高杯		結合部	-	-	-	-	内面ナデ、赤彩後のミ ガキは不明瞭	内外面ミガキ、脚内面 はナデ	灰黄 S	
第396図 -	22017	6	南半 遺構外	高杯		結合部	-	-	-	-	内外面赤彩	脚部内面はナデ	にぶい 黄 S	
第396図 -	22006	6	北半 遺構外	台付甕		結合部	-	-	-	-	無文	内外面ミガキ、脚内面 はナデ	灰黄 S	
第396図 -	22051	6	南半 遺構外	鉢		体~底部	-	-	5.2	-	内面に赤彩	器面荒れて不明	浅黄緑 S	
第396図 -	22007	6	北半 遺構外	蓋		握み~天 井部	-	-	4.6	-	無文	天井部内面にハケメを 残す。ナデと思われる が、全体に不明瞭	浅黄緑 S	
第396図 -	22041	6	北半 遺構外	蓋		握み部	-	-	3.7	-	無文	内外面ナデ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22036	6	南半 遺構外	蓋		握み部	-	-	(4.4)	-	無文	ナデか	灰黄緑 S+白濁	
第396図 -	21995	6	南半 遺構外	鉢		底部片	-	-	(6.0)	-	底面を除き、内外面赤彩	内外面ミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22073	6	北半 遺構外	鉢		底部片	-	-	(5.0)	-	底面除き、内外面赤彩	内外面ミガキ、底面は ケズリ	灰白 S	
第396図 -	22187	6	北半 遺構外	鉢		底部片	-	-	(5.0)	-	底面除き、内外面赤彩	底面ケズリ、内外面ミ ガキ	灰白 S	
第396図 -	21976	6	南半 遺構外	(壺)		底部	-	-	8.6	1.1	無文	底中央に、焼成後に上 下からの回転穿孔。内 面全体に割磨	浅黄 S	壺の再利用 品で、有孔鉢 の可能性あり
第396図 -	22009	6	南半 遺構外	有孔鉢		体部下位 ~底部	-	-	5.1	0.8	無文	外面はケズリと粗いミ ガキ、内面は横ミガキ	にぶい黄緑 S	
第396図 -	22165	6	北半 遺構外	有孔鉢		底部	-	-	5.7	1.1	無文	内外面ともミガキと思 われるが、器面荒れて 不明瞭	浅黄緑 S	
第396図 -	22043	6	南半 遺構外	鉢		底部片	-	-	(6.8)	-	底面除き、内外面赤彩	内外面ミガキ	にぶい橙 S	
第397図 -	22021	6	南半 遺構外	(壺)		底部	-	-	7.6	-	無文	外面と底面はミガキ。 内面は割磨で不明	灰黄緑 S(砂多)	
第397図 -	22030	6	北半 遺構外	(壺)		底部片	-	-	(8.5)	-	無文	外面粗いミガキ、内面 は割磨	にぶい黄緑 S	底面に圧痕
第397図 -	22052	6	北半 遺構外	甕		底部	-	-	8.0	-	無文	内外面ともハケメ、底 内面はナデ	灰黄緑 S	
第397図 -	22167	6	南半 遺構外	甕		体部下半 ~底部 1/2	-	-	7.8	-	無文	外面は細かいハケメ、 内面は丁寧な横ミガ キ、底面ミガキ	にぶい黄緑 S	

遺物観察表

第189表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl. No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包潤名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第397区 -	21977	6	南半遺構外	甕	底部片	-	-	(5.1)	-	無文	外面は縦、内面は横のミガキ	灰黄褐色	底面に灰付層	
第397区 -	22166	6	南半遺構外	甕	底部片/2	-	-	(10.0)	-	無文	外面ハケメ、内面は横ミガキ	にぶい黄褐色	S	
第397区 -	21992	6	南半遺構外	甕	底部片	-	-	(8.2)	-	無文	外面ハケメ、内面はハケメ後ミガキ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	22005	6北	遺構外	壺	口頸部	(15.5)	-	-	-	内側口縁の口折～口縁外面、および頸部に縄文(LR)。頸部には横沈線をめぐるす	頸部外面は縦ミガキ、内面は横ナデ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23006	6北	遺構外	壺	口頸部片	-	-	-	-	口縁上縁が内傾し、外面に縄文(LR)	内外面にハケメ後、粗いミガキ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	22562	6北	遺構外	甕	口縁片	-	-	-	-	口縁に縄文(LR)。内側口縁外面に櫛歯状文(4歯/14mm)、頸部に籠状文(15～20mmスパン)をめぐるす	頸部内外面にハケメ、口縁は横ナデ	灰黄褐色	S	
第398区 -	23020	6北	遺構外	高杯	口縁片	(18.8)	-	-	-	内外面赤彩。2個一對の壺状突起を付す	内外面に横ミガキ	浅黄褐色	S	
第398区 -	23019	6北	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、3条の横沈線をめぐるす。下位には斜位の縦沈線がわずかに見える	外面はハケメ、内面はナデ	浅黄褐色	S	
第398区 -	23010	6北	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、段状の横沈線で上縁を圍し、下位に2条の横沈線をめぐるす	外面は縦ハケメ、内面は粗いミガキとナデ	にぶい黄褐色	S+白礫	
第398区 -	23008	6北	遺構外	(壺)	頸部片	-	-	-	-	2条一単位の沈線で流状文を複数帯めぐるす	内面ナデ	浅黄褐色	S	
第398区 -	23007	6北	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	縄文(LR)を地文とし、2条一単位の沈線流状文を3帯めぐるす。下位を1条横沈線で面す	内面ナデ	浅黄褐色	S	
第398区 -	23009	6北	遺構外	壺	頸部片	-	-	-	-	頸部に2条の横沈線をめぐるす。下位に沈線充填の刷歯文と思われる沈線文を描く	外面はハケメ後縦ミガキ、内面は丁寧な横ミガキ	灰黄褐色	S	
第398区 -	22953	6北	遺構外	(甕)	肩部片	-	-	-	-	櫛歯状文(4歯/13mm)を2帯。その下位に櫛歯状文を2帯(以上)めぐるす。両者の境界に横沈線で刷歯形彫付文を付す	内面にハケメ後粗いミガキ	灰白	S	
第398区 -	23016	6北	遺構外	高杯	脚部	-	-	-	-	外面赤彩 内面は割塵	脚内面はハケメ、杯部内面は割塵	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23017	6北	遺構外	白付甕	脚部	-	-	-	-	無文	外面は斜ハケメ、脚内面は粗いミガキ	浅黄褐色	S+赤礫	
第398区 -	23014	6北	遺構外	(壺)	底部	-	-	5.7	-	無文	外面はハケメ後ナデ、内面ナデ底面はケズリ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23015	6北	遺構外	有孔甕	底部	-	-	6.2	1.2	無文	内外面ケズリ後、粗いミガキ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23012	6北	遺構外	甕	体部片	-	-	-	-	頸部に籠状文、体部に櫛歯状文(5歯/8mm)を乱雑に重ねる	内面にハケメとナデ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23013	6北	遺構外	甕	頸～体部片	-	-	-	-	頸部に籠状文(6歯/14mm、12～16mmスパン)、体部に櫛歯斜行文を描く	外面にハケメ、内面に横ミガキ	灰黄褐色	S	
第398区 -	23011	6北	遺構外	壺	底部	-	-	7.5	-	無文	内外面ともハケメ、外面は上位にナデ	にぶい黄褐色	S	
第398区 -	23018	6北	遺構外	高杯	脚部	-	-	8.3	-	内外面に赤彩。脚部内面の中位以下にも赤彩がみられる	外面ミガキ、脚内面はハケメ	浅黄褐色	S	
第399区 -	23065	7	遺構外	壺	体部片	-	-	-	-	縄文(LR)地文に、辻廻山形文、下腹に刺突列点文と横沈線をめぐるす	内面ナデ	灰黄褐色	S	

第190表 弥生土器観察表 遺構外

探区 Pl.No.	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法 量				文様の特徴	整形の特徴	包滲名 胎土の特徴	その他の 特徴
							口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	口径 (cm)				
第399区 -	23070	7	遺構外	甕	体部片	-	-	-	-	頸部に縷状文、体部に縦 位縷帯状文(7歯/17mm 以上)を描く	内外面ハケメ、後内面 にミガキ	にぶい黄緑 S		
第399区 -	23073	7	遺構外	甕	頸部～体 部片	-	-	-	-	頸部に縷状文(5歯/12mm、 12mm前後スパン)、体部 に同一縷状具によるコの 字重文	外面は縦ハケメ、内面 は丁寧な横ミガキ	にぶい黄緑 S+緑多		
第399区 -	23062	7	遺構外	(台付甕)	口縁～体 部片	(17.6)	-	-	-	縷帯状文(8～9歯/13 mm)を8帯以上重ねてめく らす	外面は縦ハケメ、内面 全体に横ミガキ	明赤褐 S+白緑多	後期末、樽式	
第399区 -	23043	7	遺構外	甕	体部片	-	-	-	-	縦位の縷帯状文(5歯 /13mm)を描く	ハケメ後ミガキ	相 S		
第399区 -	23103	岩押3	遺構外	(竈)	体部片	-	-	-	-	無文	外面はハケメ後ミガ キ、内面はナデ	灰白 S	外面にイネ 類(土直)	
第399区 -	23044	7	遺構外	甕	体部片	-	-	-	-	縦位の縷帯状文(5歯 /13mm)を描く	ハケメ後ミガキ	相 S		
第399区 -	23074	7	遺構外	(甕)	頸部～体 部片	-	-	-	-	縷帯状文(6歯/10mm)を 4帯以上重ねる	内面ミガキ	にぶい相 S		
第399区 -	23045	7	遺構外	台付甕	脚部片	-	-	-	-	無文	体部の内外面ミガキ脚 部内面はナデか	灰白 S		
第399区 -	23066	7	遺構外	高杯	結合部	-	-	-	-	内外面赤彩	ミガキ	にぶい相 S		
第399区 -	23067	7	遺構外	高杯	結合部	-	-	-	-	外面赤彩。内面も一部赤 彩痕あり	ハケメ後ミガキ	にぶい相 S		
第400区 PL-150	30003	2	96溝	甕	口頸部	-	13.4	-	-	無文	内外面ハケメ後、口縁 横ナデ。体部内面は縷 オサエ	にぶい相 赤彩等の縷 多		
第400区 -	30042	5西	遺構外	直口甕	頸部～体 部上半	-	-	-	-	無文	器面荒れて不明	相 赤彩と白苔 片に透明ガ ラス質の縷 砂		
第400区 PL-150	30004	2	96溝	器台	口縁部欠	-	-	-	8.9	無文	器受部はナデ外面は 縦ミガキ、頸内面はハ ケメ後ナ、器内面は荒 れて不明瞭	相 チャート、 白苔片等の 縷砂～粗砂 多		
第400区 PL-150	30005	2	96溝	器台	脚部	-	-	-	(9.1)	無文	外面はハケメ後ミガ キ、内面はナデ痕を残 すが荒れて不明瞭	明赤褐 赤彩等の縷 多		
第400区 -	22951	2北	遺構外	手づくね	口縁～底 部片	-	(5.4)	3.3	(3.2)	無文	手ひねりとナデ外面に 縷残す	にぶい黄緑 S		
第400区 -	30032	6	1集石	S字甕	脚部片	-	-	-	-	無文	体部は上方、脚部は下 方の斜ハケメ、底部の 内外面には砂目粘土を 付加してなでつけ	にぶい黄緑 白、無色苔 片、赤彩等 の粗砂多く 輝石は見ら れない	器面は焼熱 色変、器内は 還元	
第400区 -	30002	2	遺構外	S字甕	脚部片	-	-	-	-	無文	外面に斜ハケメ。工具 の歯は細かい。脚内面 はなでつけ	にぶい相 S	脚端欠損部 は磨滅、体部 欠損部は放 置に割った 可能性あり	
第400区 -	30038	1	遺構外	鉢	A段土 底部片	-	-	-	(8.0)	-	内外面赤彩	内面はミガキ、外面は 荒れて不明瞭	相 S	
第400区 -	30039	1	遺構外	甕	底部	-	-	-	3.6	無文	窪み底に仕上げる。器 面は荒れて整形不明	にぶい黄緑 縷砂		
第401区 -	30044	4	西端	門筒埴輪	体部片	-	-	-	-	-	低い凸部をめぐらし、 上下に粗い縦ハケメ	にぶい黄緑 S+チャート 縷砂		
第401区 -	30045	4	西端	門筒埴輪	体部片	-	-	-	-	-	縦位のやや粗いハケ メ	にぶい黄緑 S+チャート 縷砂		
第401区 -	30046	4	西端	門筒埴輪	体部片	-	-	-	-	-	器面荒れて不明瞭	相 S+チャート 縷砂		

遺物観察表

第191表 土製管玉観察表

探出番号 写真図版	登録 番号	区	遺構No.	器種	出土位置	残存率	法量			重量 (g)	整形の特徴	
							計測値 (cm)	厚	孔			
第402図 PL.151	10822	6	33號穴建物	土製管玉	埋土下層	中央部片	長 幅	0.4 0.3	厚 孔	0.3 0.1	0.01	黒褐色。上部がやや幅広く下部が細い。上下欠損。外面は滑らか、内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が少量含まれる。
第402図 PL.151	10818	6	40號穴建物	土製管玉	埋土	上端欠	長 幅	1 0.3	厚 孔	0.3 0.1	0.09	黒褐色。上部がやや幅広く下部が細い。上部欠損。外面は滑らか、内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が含まれる。
第402図 PL.151	10819	6	40號穴建物	土製管玉	埋土	上端片	長 幅	0.4 0.3	厚 孔	0.3 0.1	0.03	黒褐色。上部がやや幅広く下部が細い。上下欠損。外面は滑らか、内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が含まれる。
第402図 PL.151	10820	6	40號穴建物	土製管玉	埋土	中央半欠片	長 幅	0.4 0.3	厚 孔	0.1 0.1	0.01	黒褐色。上部がやや幅広く下部が細い。下端破片。外面は滑らか、内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が含まれる。
第402図 PL.151	10821	6	40號穴建物	土製管玉	埋土	上端欠	長 幅	0.7 0.2	厚 孔	0.2 0.1	0.4	黒褐色。上部がやや幅広く下部が細い。上下欠損。外面は滑らか、内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が少量含まれる。
第402図 PL.151	10815	2北	497土坑(井戸)	土製管玉	埋土	ほぼ完形 端部欠	長 幅	1.5 0.2	厚 孔	0.2 0.1	0.8	黒色。裡かに反りあり。上部に新歯痕。下部に最大径が位置する。細く表面が黒光する。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が少量含まれる。
第402図 PL.151	10816	2北	301土坑(井戸)	土製管玉	埋土	上下端欠	長 幅	0.6 0.3	厚 孔	0.3 0.1	0.6	黄灰色。上部が太く、下部が細くなっている。上下とも欠損。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いた痕跡が割れ目から確認できた。中心は白く、焼成時には芯が現っていたことが分かる。かなり精製された粘土を使用し、砂粒はほとんど含まれない。
第402図 PL.151	10817	2北	301土坑(井戸)	土製管玉	埋土	上半欠 破断片	長 幅	0.6 0.3	厚 孔	0.1 0.1	0.02	黒色。先端部破片。上部がやや幅広く下部が細い。外面は黒光する。内面は褐色。中心の芯棒を半乾きの状態の時に上に引き抜いたものと思われる。かなり精製された粘土を使用。胎土には白っぽい粒子が少量含まれる。

第192表 人形容器・土製品観察表 49号竪穴建物、1号集石、95・96・291号溝、遺構外

図録番号 写真図版	登録 番号	調査 区	出土遺構	種類	出土位置	残存	高さ	幅	造形・整形	色調	胎土	備考
第403R PL.151	22404	6	1集石	人形容器	147号溝東岸 147号溝埋土	前面部、 左側面	16.5	11.0	左右の端はアーモンド形に削り欠き、完存する右側の長さ約2.5cm。眼の周囲に化粧をめぐらせ2輪縁とする。眉表現はない。鼻梁は鼻部を欠くが、「鷹鼻」で細く高く表現される。小鼻表現はなく、鼻梁直下に鼻孔2孔を後頭部方向に向けて穿ち、内面まで貫通する。口腔はアーモンド形に削り抜き(長さ2.2cm)。下部には中切歯2歯を表現し1歯は根から欠損する。一方、上顎1歯面の中央にも内側から粘土塊を張り付けた歯跡があり、欠損部がみられるので、中切歯2歯が表現されていたと思われる。この上下中切歯は上切歯が前に出てかみ合う位置関係にある。下部は「J」字形で、断面はやや反りかえって突出する。頭との段差は1cm程度である。耳介は右耳が遺存し、長さ4cm、幅1.8cmの半月形粘土板を貼って成形。縦列で2孔(径4mm)を穿つ。頭部は5条(以上)の横紋線を密に描き、この上に3cm前後の間隔で縦紋線を5条(1条は推定)垂下して、「簾」状表現とする。この縦紋線表現の下部には、横紋線を中央に通過した円形凹付文を並べる。この頭部は前面だけの「盾」状表現とし、前面内側のヒレ状表現に連続する。頭部部～左右ヒレ状部の端部が欠損するため、外縁形状は不明。右側頭部のヒレ状部の後には上部が開いた後頭部が残る。この間1部は平面が半月形で、内傾してすぼまる形状と推測される。頸部は径6.5cmの円筒形で、浅い横紋線がめぐらされている。外面整形はナデで、彩色はない。内面はハケメ整形が残る。	浅黄褐色	S	頭部や、それに続く顔縁ヒレ状部の端が欠損するが、欠損面がかなり平滑になっていることから、他の欠損部よりも早い段階で欠失したことが推測される。その欠損形状が前面部状に合っていた円弧を描くので、故意によるものとの推測も可能か。
第404R PL.151	21357	2	95溝	人形容器	西平埋土下層	頭部2/3	7.5	11.5	左眼の上縁部、右眼の目筋が削り残される。左眼上縁の輪郭は「アーモンド」形と思われる。縦紋線には浅い化粧がみられる。眉表現はない。両眼の間に鼻梁が作出されたらしいが、剝離脱落した歯跡が残る。縦長の粘土板を張り付けた右耳介の基部、左耳介は剝離面が残る。頭部は縦直上から、斜めを加えた4条の凸帯をめぐらせ、後頭部付近で終結する。頭部凸帯は先にから2段目と4段目を巻き付け、その間に1段目と3段目を付加する手順で作出する。斜めは最先による。上部は内傾する間1部となる。間1部はやや後ろに傾き、短径6cm前後を測る。表面整形はナデで、ミガキ・ハケメは見られない。彩色は認められない。内面はナデで、積上げ痕を残す。	明褐色	S細砂土	
第404R PL.151	21356	2	遺構外	人形容器	前面中 央部		7.4	5.3	眼は「アーモンド」形に削り抜き、眼周囲に化粧をめぐらせて2重に表現する。眉の表現はない。鼻梁は小さく高く鷹鼻形に作出する。鼻孔は斜上に突き抜くが、裏面には貫通しない。口腔部形状は不明だが、上顎の中切歯2歯が裏側から粘土付加で作出される。眼窩と中切歯を含む上顎の表現は鋭い段状具で切り欠く。眼と鼻の直上には深い斜めを加えた凸帯をめぐらす。頭部には同様の凸帯を複数重ねるとされる。顔面及び内面はナデで整形し、ミガキ・ハケメや彩色は認められない。	橙	S+舞石多	
第403R PL.151	23119	2・B	291溝	人形容器	北端部下層	顔部片	4.9	7.8	2条の斜めを加えた断面三角凸帯をめぐらす。下部には段状具によると思われる削り欠き部がみられることから、左右両側の歯跡と思われる。鼻梁部は欠損。内外面ナデと思われるが、残れて不鮮明。彩色は見られない。	灰白	S+粗砂 ～細砂多	頭部めぐらす凸帯装飾で、上部欠損状態から上に複数段あったと推測される。下段凸帯の外径は正門と仮定すれば10cm前後と推定される。
第403R PL.151	22403	6	49号竪穴建物	人形容器	埋土	側頭部	5.3	3.6	頭部に斜めを加えた凸帯を2条めぐらす。耳介は半月形の粘土板を後頭部方向に傾けて付加し、中央に孔を穿つ。左眼の目尻付近の削り欠きが残っており、左側顔部片であることが判る。外面はナデで彩色は見られない。内面はナデと思われる。積上げ痕を明確に残す。	白～黄 土	S	顔部の平面形はやや歪んだ楕円形と思われるが、最下段の凸帯外径は正門と仮定して12cm前後と推定される。
第403R PL.151	23122	2・B	遺構外	人形容器	291号溝北 端東岸	顔部片	2.6	2.8	上面が平坦で、斜めを加えた断面三角凸帯をめぐらす。頭部めぐらす凸帯装飾で、上下欠損状態から複数段あったと推測される。斜めは縦直で浅い。内外面ともナデ。	橙	白岩片、 長石の 粗砂多	内径は不明だが、正門ならば14～15cm程度と推定される。出土地点が近く、形態が類似することから22403と同一個体の可能性あり。
第403R PL.151	21362	2	96溝	人形容器	西平埋土	耳介部	5.5	2.6	半月形の粘土板上に、縦列に2孔を穿つ。内外面ともナデ。	浅黄褐色	S細砂土	左右上下は不明。
第403R PL.151	22433	6	遺構外	人形容器	1集石付近	破片	4.2	3.7	上部の内折して鋭く、左右には円形にめぐらす形状。中央には断面三角形と思われる縦長突起の剝離痕あり。縦長突起の右側はその輪郭に沿った短い化粧2条、左側は斜紋線2条を描くと思われる。外面は横ハケメ、内面はナデ。	白～黄 土	S+チヤート・白 岩片等 の粗砂多	人形土器顔面の鼻梁部の可能性あり。この場合、左側の化粧は眉帯をめぐらすものか。

遺物観察表

第193表 人形容器・土製品観察表 10・27・38号竪穴建物、389号土坑、95号溝、39・40号井戸、1号集石、居住域西端、遺構外

調査番号 写真図版	登録 番号	調査 区	出土遺構	種別	出土位置	残存 高さ	幅	遺形・整形	色調	胎土	備考
第4068R -	22430	6	108穴建物	人形容器	竪穴建物と 認定せず	耳介部	3.6 3.7	半月形の粘土板を貼り付け、縦位に並べて2孔を穿つ。内面はハケメとナデ外面はナデ	黄灰	5	整形前から左耳と考 えたい
第4068R -	23195	6	1集石	人形容器		(耳部)	5.7 3.0	縦方向にはほぼ直状に延び、横位では内側に円弧を描く形状。外面に縦位の縞状に突出した部分と、縦断面が薄い凸レンズ状なので、耳介表裏と思われる。内外面ともナデ	に赤い橙	5	1号集石から出土した 22404と同一体かか と思われたが、該当す る箇所が同形しない ため、単個体片として 扱った。
第4068R PL.151	23107	6	居住域西端	人形容器		破片	6.1 5.8	平面では隅丸三角形。断面ではやや反る下型形状。正面中央に横長長方形の孔を割り欠き、口際表裏とする。口際割り欠きの上面中央に窪状孔による比喩でギザギザとなる部分のみみられる。不明瞭だが表裏の可能性があろう。外面はナデで彩色は見られない。内面はナデと思われ、横上げ面をわずかに残す。	橙～灰褐	S+白粉 片多	遺存する頸部の増高 から、首回り径は9cm 前後と推測される
第4068R PL.152	23118	2北	遺構外	(人形容器)	(下型) 部片	4.4	7.0	隅丸方形の平坦面から、強く屈折してやや外方にひろく、平坦面は左右対称で中央部がやや凹む。内面は縞形に近い。無文で、彩色も見られない。内外面とも全体にナデ。	灰黄褐色	5	器の底部ではなく、人 面部分の可能性を 考えたがい、確定要素 はない
第4068R PL.152	23117	2北	389土坑	(人形容器)		不明	2.3 2.6	U字形に突出する形状は、人形容器下型形状に似るが、これに続く面が平坦である点が異なる。鼻梁の一部にしては両側のナデ整形がシメトリではない。外面はナデと粗いミガキ、内面はナデ。	黄灰	S細砂土	縦方向にわずかに内 側傾角を見せるが、 横方向は平坦であり、 横・裏等の日常容器の 一部とは考えにくい。
第4068R PL.152	21367	2	遺構外	(人形容器)	平坦面(内)	不明	4.8 2.7	1cmほどの幅で蹄状部をめぐらすと思われる。内面形状は上下左右に緩く内増する。全体にナデ。	に赤い橙	5	内面の蹄状表現の可 能性があるが、人形容 器との確証はない。
第4068R -	21396	2	95溝	不明	埋土	不明	6.5 5.4	屈曲する膨んだ平坦面に、円弧を描く粘土板を付加して肥厚させる。全体にナデ。	橙	5	日常容器の形態とは 考えにくい。全形推 測は難しい。
第4068R PL.152	23060	7	40井戸	土製品 か高杯	埋土	不明	5.7 3.5	中央円柱形で、片側の上下端は外反して緩く、下面は内増する整形面を残す。外面に赤彩後ミガキ。面が十分に整っておらず、わずかな凹凸がある。	に赤い黄 橙	5	北陸系高杯の柱状部 の可能性もあるが、シ メトリでないこと から、人形土器の腕部 の可能性を残す。
第4068R -	21300	2		不明	破片	3.5 2.5	外面は縦位、内面は横位のハケメ、筒形に彎曲した破片で、無文。	灰白	S細砂 主体	1～5cm直径の筒形と 思われ、ハケメ整形も この形状に沿ってい る。肉端部裏だと内面 ハケメが難しいので、 開口する異形土器と 考えたい。	
第4068R PL.152	20098	2	95溝	(人形容器)	西分岐部埋 土	体部～ 底部	13.5 10.5	寸胴形の胴部に、横位にやや突出する大きな底部。体部外面下位に縦ハケメ、胴内面にナデ内面は凹凸多い。底外面に指サエ直を残し、内面に粗い指ナデ。	灰黄橙	S+細砂	整形・整形が扇形式 系型・筒に見られず、 焼熱部確認できない。 寸胴器形から人形容 器の体部の可能性を 考えたい。
第4068R PL.152	22432	6	389穴建物	(銅器型土 製品)	埋土	上部片	6.1 4.7	筒状に縞状の凸帯を垂下し、これを境に前後面で文様構成が異なる。いずれも縄文(L)を地文に、前面では3条(L)上沈線による縞帯構成と断面文をめぐらす。後面では斜線を組み合わせた構成と思われる。内面はナデ、外面の縞凸帯の内側もなでつけ。	に赤い黄	5	
第4068R PL.152	23113	2北	遺構外	分銅型	291号溝東 岸付近	縁一部 欠	4.3 3.8	無文。上面と側面は指なのでのまま、整形しない。底面は平坦に仕上げられる。	橙	S、白粉 片が多い	重量63.8g。弥生時代 以外の可能性を残す。
第4068R PL.152	23135	6	278穴建物	丸玉土器	埋土	完形	3.1 3.7	無文。棒状具を芯に、粘土塊を成形。ナデ整形。	灰黄褐	5	孔径10.6cm。重量36.6g。
第4068R PL.152	23068	7	39井戸	棒形	埋土	完形	2.9 0.8	無文。円筒形にした粘土紐を焼成したもので。	橙	5	出土遺構は弥生時代 以降であり、時期不 明。

第194表 土製紡輪・土製円板 5・28・29・46・47・50号竪穴建物、95・96・291号溝、64・69・70号土坑、1号集石、遺構外

採集番号 写真図版	登録 番号	区	遺構 No.	器種	出土位置	残存率	法量			文様	整形	色調	胎土の 特徴	備考
							計測値(m)	重量 (g)						
第407図 PL-152	21352	2	遺構外	有孔円板	西平部	ほぼ完形	長 8.8 幅 5.1	厚 1.4	133.6	無文	有孔縁の底面を用い、周縁を打削り形している。全体に黒化、磨滅。	にぶい・黄緑	S	有孔縁の二次加工品。大きさと重量から紡輪のほかに、磨石等の代替の可能性あり。
第407図 PL-152	22408	6	遺構外	紡輪	140号溝北の奥岸	縁の1/5欠	長 5.1 幅 4.0	厚 5.0	17.4	土器片内削り	周縁磨滅で丸みを持つ。	灰黄緑	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-152	22407	6	1集石	紡輪		1/2	長 4.0 幅 (2.0)	厚 0.6	8.1	無文	土器片再利用で、周縁を粗く研磨。	にぶい・橙	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-152	22405	6	28号穴建物	紡輪	埋土	半欠	長 3.7 幅 (1.8)	厚 0.6	5.1	器面赤彩	周縁を研磨。整形。中央に両面穿孔の痕跡あり。	にぶい・赤褐	S	高杯か縁の破片利用。
第407図 PL-152	23151	6	5号穴建物	円板	P2	完形	長 3.0 幅 2.9	厚 0.7	8.0	無文	裏面にハケム。周縁全体が磨滅。片面から未貫通の回転穿孔。対面の同位置にも回転穿孔あり。	灰黄緑	S	細砂土造の無文部を利用。
第407図 PL-152	22468	1北西	遺構外	円板	傾地部	完形	長 3.2 幅 3.1	厚 0.5	5.3	無文	周縁全体が磨滅。表面中央の小孔は、胎土掘削の抜けた痕跡と思われる。	にぶい・橙	S	土器片利用。表裏面中央部がやや磨滅。
第407図 PL-152	22406	6	46号穴建物	円板	埋土	完形	長 3.9 幅 3.4	厚 0.6	9.9	無文	部分的に周縁が磨滅。片面の中央に未貫通の穿孔。表面は回転。裏面は割変による。	にぶい・黄緑	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-152	22412	6	50号穴建物	円板	埋土	完形	長 3.1 幅 3.1	厚 6.0	8.3	無文	周縁全体が磨滅。表面の中央に小さくほぼ平坦の孔。	にぶい・黄緑	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-152	21321	2	95溝	円板	平岡溝埋土上層	完形	長 3.5 幅 3.2	厚 0.7	10.7	柳編羽状文	裏(内)面はミガキか。	灰白	S	裏面破片の加工品。周縁がやや磨滅。裏(内)面中央に縁変直上1。
第407図 PL-152	21320	2	95溝	円板	埋土中層	完形	長 3.1 幅 2.8	厚 0.5	5.6	無文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	橙	S	裏面破片を利用。
第407図 PL-152	21323	2	96溝	円板	傾地上	完形	長 5.3 幅 4.6	厚 0.6	16.5	無文	円形に整えず周縁の割れ面がやや磨滅する。	灰黄緑	S	赤生土器無文部片の二次加工。
第407図 PL-152	21324	2	96溝	円板	西平埋土	1/3欠	長 3.5 幅 (2.4)	厚 0.5	(7.7)	無文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	橙	S	土器片の二次的加工品の可能性あり。
第407図 PL-152	21325	2	96溝	円板	東分岐部埋土	完形	長 4.6 幅 4.0	厚 0.8	17.1	無文	円形に整えず周縁の割れ面がやや磨滅する。	灰黄緑	S	赤生土器無文部片の二次加工。
第407図 PL-152	21326	2	96溝	円板	東分岐部埋土	完形	長 4.5 幅 4.0	厚 0.7	16.9	柳編羽状文・磨滅する	周縁は割れ面のまま、一部磨滅。	灰黄緑	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-152	21327	2	96溝	円板	埋土	完形	長 3.7 幅 3.2	厚 0.5	9.4	無文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	褐灰	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-152	21328	2	96溝	円板	東分岐部埋土	完形	長 3.6 幅 3.3	厚 0.6	8.7	無文	円形に整えず周縁の割れ面がかなり磨滅する。	灰白	S	赤生土器無文部片の二次加工。
第407図 PL-152	21329	2	96溝	円板	西分岐部埋土	完形	長 3.1 幅 2.4	厚 0.6	6.2	無文	円形に整えず周縁の割れ面がかなり磨滅する。	淡黄	S	赤生土器無文部片の二次加工。
第407図 PL-153	22859	2北	291溝	円板	中央埋土	完形	長 5.2 幅 4.8	厚 0.9	21.2	無文	周縁全体が磨滅して丸みをもつ。	灰白	S	土器片利用。
第407図 PL-153	22860	2北	291溝	円板	北東埋土	完形	長 4.7 幅 4.5	厚 0.6	18.0	無文	周縁のほぼ全体が磨滅。	灰白	S	土器片利用。
第407図 PL-153	22861	2北	291溝	円板	中央埋土	完形	長 4.5 幅 4.4	厚 0.7	20.0	沈線	周縁全体が磨滅。	灰黄	S	破片利用。
第407図 PL-153	21344	2	69土坑	円板	埋土下層	完形	長 13.6 幅 3.2	厚 0.6	8.6	柳編羽状文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	灰白	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-153	21345	2	69土坑	円板	埋土下層	完形	長 3.0 幅 2.6	厚 0.5	6.5	表面にハケム	周縁の割れ面がやや磨滅する。	灰白	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-153	21346	2	69土坑	円板	埋土	完形	長 2.3 幅 2.2	厚 0.5	3.1	無文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	褐灰	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-153	21338	2	70土坑	円板	埋土下層	完形	長 4.4 幅 (3.5)	厚 0.7	17.6	柳編羽状文	周縁は割れ面を簡単に磨って整形する。	褐灰	S	赤生土器片の二次加工品。
第407図 PL-153	21339	2	70土坑	円板	埋土	完形	長 3.3 幅 3.5	厚 0.7	12.6	無文。表面にハケム	周縁は磨滅して強い丸みを持つ。下辺は割れ面を一部残す。	灰黄緑	S	赤生土器と思われる破片の二次加工。
第407図 PL-153	21340	2	70土坑	円板	埋土	完形	長 3.6 幅 3.1	厚 0.6	8.7	沈線	周縁の割れ面がやや磨滅する。	にぶい・橙	S	赤生土器と思われる破片の二次加工。
第407図 PL-153	23155	6	29号穴建物	円板	埋土	完形	長 3.3 幅 3.1	厚 0.7	10.0	柳編羽状文を描く	周縁は直線的に磨滅し、両方形状となる。	にぶい・褐	S	破片利用。
第407図 PL-153	22410	6	47号穴建物	円板	埋土	完形	長 3.5 幅 3.2	厚 5.0	8.3	無文	周縁の大部分がやや磨滅。	にぶい・橙	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-153	22411	6	47号穴建物	円板	埋土	完形	長 3.1 幅 2.9	厚 5.5	6.0	無文	周縁の大部分がやや磨滅。	にぶい・橙	S	土器片無文部利用。
第407図 PL-153	21343	2	64土坑	円板	(埋土)	完形	長 3.3 幅 3.0	厚 0.6	8.8	無文	周縁を磨ってきれいな円形に整形する。	橙	S	S層石多 赤生土器片の二次加工。
第407図 PL-153	21347	2	遺構外	円板	高瀬内側、77土坑付近	完形	長 4.5 幅 4.4	厚 0.6	18.7	無文	周縁の割れ面がやや磨滅する。	にぶい・橙	S	赤生土器と思われる破片の二次加工。
第408図 PL-153	21348	2	遺構外	円板	95溝西分岐部付近	完形	長 3.5 幅 3.5	厚 0.6	13.5	無文	内側と下辺をよく磨って整形し、円形を意図していない。	黄褐	S	赤生土器片の二次加工品。

遺物観察表

第195表 土製紡輪・土製円板 96号溝、1号集石、表採、遺構外

検出番号 写真図版	登録 番号	区	遺構 No.	器種	出土位置	残存率	法量				文様	形状	色調	胎土の 特徴	備考
							計測値(m)		重量(g)						
							長	幅	厚	重					
第408号 PL-153	21349	2	遺構外	円板	竈室内側、 77土坑付 近	完形	長 3.3 幅 2.9	厚 0.6	7.0	表面に磨擦引 状文を	側縁の割れ面がやや磨滅す る。	灰黄橙	S	赤生土製の二次加工品。	
第408号 PL-153	21350	2	遺構外	円板	西縁低地 部	完形	長 3.1 幅 3.1	厚 0.5	7.0	無文	側縁を磨って縁を丸くしてい る。	灰黄	S	赤生土器片の二次加工。	
第408号 PL-153	21351	2	遺構外	円板	96溝北岸 半穴	完形	長 3.1 幅 (1.9)	厚 0.7	(6.5)	無文	側縁を磨ってきれいな円形に 整形する。	にふい・黄橙	S	赤生土器片の二次加工。	
第408号 PL-153	22947	2北	遺構外	円板	291溝西側 周辺	完形	長 2.6 幅 2.4	厚 4.0	2.9	無文	側縁全体に磨滅。	にふい・橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22948	2北	遺構外	円板	291溝西側 低地部	完形	長 4.6 幅 4.4	厚 8.0	16.7	無文	表面右辺部が平がれたように 磨滅。側縁全体に磨滅。	灰白	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22949	2北	遺構外	円板	291溝西側 低地部	完形	長 2.7 幅 2.4	厚 5.0	4.9	無文	側縁全体がやや磨滅。	灰黄橙	S	土器片利用。	
第408号 PL-153	22413	6	遺構外	円板	38型穴付 近	完形	長 5.0 幅 4.6	厚 6.0	17.2	磨擦引状文を 残す。裏面の 再利用	側縁部の大部分が磨滅。	灰黄橙	S		
第408号 PL-153	22414	6	遺構外	円板	38型穴付 近	完形	長 4.5 幅 4.0	厚 0.7	15.1	無文	側縁部の大部分が磨滅。	灰黄橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22415	6	遺構外	円板	38型穴付 近	完形	長 3.2 幅 3.1	厚 0.7	7.6	無文	側縁部の大部分が磨滅。	にふい・黄橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22416	6	1集石	円板		一部欠	長 5.3 幅 (5.2)	厚 5.0	(16.8)	無文	側縁がやや磨滅。	にふい・橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22417	6	遺構外	円板	37型穴東 縁部	完形	長 3.3 幅 2.8	厚 6.0	7.1	無文	側縁部の大部分が磨滅。	灰褐	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22418	6	遺構外	円板	36・37型 穴付近	完形	長 4.5 幅 (4.1)	厚 4.5	(10.0)	沈線(磨擦)引 行文	側縁部の大部分が磨滅。	にふい・橙	S	裏片利用。	
第408号 PL-153	22419	6	遺構外	円板	36・37型 穴付近	完形	長 3.0 幅 2.5	厚 5.0	6.7	磨擦引状文	側縁部の大部分が磨滅。	灰黄橙	S	裏片利用。	
第408号 PL-153	22420	6	遺構外	円板	型穴群中 央	完形	長 3.0 幅 2.8	厚 0.8	7.6	無文	側縁部の大部分が磨滅。	灰黄橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22421	6	遺構外	円板か 紡輪	47型穴付 近	縁部片	長 (3.4) 幅 (2.0)	厚 6.0	(4.5)	無文	側縁部の大部分が磨滅。	灰白	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22422	6	遺構外	円板か 紡輪	47型穴付 近	縁部片	長 2.8 幅 1.8	厚 4.5	(3.0)	無文	側縁部の大部分が磨滅。	にふい・黄橙	S	土器片無文部利用。	
第408号 PL-153	22423	6	遺構外	円板	1型穴付近	完形	長 4.0 幅 3.8	厚 0.6	12.6	無文	欠損部突起を残し、側縁部分 磨滅。	にふい・黄橙	S	裏片縁部を再利用。	
第408号 PL-153	30043	5	表採	円板		完形	長 2.2 幅 2.1	厚 0.6	3.8	無文	裏面ハケメ残す。側縁全体が 磨滅。	にふい・黄橙	S	土器片利用。	
第408号 PL-153	21330	2	96溝	方板	西分岐部 埋土下層	完形	長 6.3 幅 4.3	厚 0.9	30.5	無文	右側部に平行する研磨痕。他 辺は割れ面の磨滅。	にふい・橙	S	赤生土器無文部片の二 次加工。溝切具か。	
第408号 PL-153	21322	2	95溝	方板	東端埋土	完形	長 11.6 幅 11.4	厚 1.5	219.5	無文	底(裏)面は磨を残しミガキ。 内(表)面はナデ。側上縁を打 磨整形。	灰白	S	底底部の加工品。側上 下縁はやや磨滅。裏面 に榫状凹痕4。	

第196表 出土木製品観察表 95・96・245号講

神田 PL. No.	登録番号	遺物名	出土位置		遺物名	法 量(m)			加工面 の有無	本取り	年輪数 (/10mm)	加工の状態ほか	標榜同定
			区	出土層位		長さ	幅	厚さ					
第4089R PL.154	60070	95号講 (開濶)	2	下層	石沖柄木成 品	80.00	9.20	8.30	有	ミカン割の 芯~白太均 材	—	頭部は方形に削りだし、石沖着部部 の穿孔予定面(正面)は、削り直不明瞭だ がほぼ平坦。柄の削り出しは3.6×2.6cm の不整形平面で、端部は斜削り。	コナラ属ア カガシ亜属
第4089R PL.154	60068	95号講 (開濶)	2	下層	(石沖柄)	11.50	5.10	4.80	無	ミカン割材 (辺材)	—	大きな節を挟んで穿孔部とした材で、 上下端と右側片は欠損。穿孔部は4.8× 4.0mmほどの楕円形断面。石沖柄に似る が、強弱であるべき異輪部が樹皮近く の辺材になってしまっている(開濶)。	カヤ
第4108R PL.154	60055	95号講 (開濶)	2	下層	胸状木製品	36.00	16.60	3.30	無	丸木材	—	枝材部分を利用して、明確な加工面は見 られない。柄部1端はやや肥厚するが、 作り出した痕跡はない。胸上部先端は 折れ。	カヤ
第4108R PL.154	60072	95号講 (開濶)	2	下層	(くさび)	7.10	4.20	1.90	有	梃目	—	上面は斜位の平坦な削り、下面は表裏 両面からとがらせる削り。側面に傾位 の鋭い段りがあるが、加工か否か不明。 上下端に載断痕を残し、表面側面への 加工痕は不明瞭。	コナラ属ア カガシ亜属
第4108R PL.154	60069	95号講 (開濶)	2	P-2	板材	34.50	8.00	1.90	無	梃目	9本	上端端部を載断し、明確な削り痕は見 られない。梃目面は平坦で、横断面は 長方形を呈する。上端の片面を斜位に 削った痕跡あり。	コナラ属ク ヌギ
第4108R PL.154	60064	95号講 (開濶)	2		角材	53.20	6.70	3.90	有	ミカン割材	4本前後	樹皮をむき、先端を長い削りどりがら せる。	アオキ
第4108R PL.154	60071	95号講 (開濶)	2	下層	尖り棒	12.00	1.30	1.30	有	ミカン割材	1年材か	下層に片側面のみ光沢化の削り、須根 の段にはなっていない。表面全体が炭 化。	イヌギヤ
第4108R PL.154	60066-1	95号講 (開濶)	2	下層	尖り棒か弓	34.00	2.10	1.60	有	丸太(枝)材	—	上端は欠損、下端はわずかに削り痕を 残す。66-1と同一と思われるが接合面 は認められない。	コナラ属ク ヌギ
第4108R PL.154	60066-2	95号講 (開濶)	2	下層	尖り棒か弓	23.20	2.80	1.60	無	丸太(枝)材	—	側縁と頭部付近に削り。表裏面は割れ 面のまま。頭部先端は折れ。上半部表 面に窪んで腐蝕の進んだ部分があり、 横木との接触あるいは紐等による腐蝕 痕の可能性もある。	コナラ属ク ヌギ
第4111R PL.155	60062	95号講 (開濶)	2	1号ピット	木柱	43.00	13.00	1.60	有	樹皮付き(半 割材)	—	表面には樹皮の一部が残る。裏面は辺 材を残して白太~芯材は残らず、空洞 状態。左側縁は斜位の削り、空洞状態 の内面を上半は削りの境に炭化してい る。No. 62と同一体で、接合面は残っ ていないが、発見時の状況から図の下 方に逆転する部分と推測される。	コナラ属ク ヌギ
第4111R PL.155	60065	95号講 (開濶)	2	下層	机	21.40	6.20	5.60	無	丸太材	3~4年 材	上端は折れが、下部先端は削りらしき 痕跡を残し、欠損。上半片面は炭化。 底面の加工痕は見られない。	ツバキ属
第4111R PL.155	60067	95号講 (開濶)	2	下層①	(机)	13.60	6.00	5.00	無	丸太材	—	上端は折れが、側面は欠損。下端に伏 採金か削り痕を残す。表面全体が炭化 する。	コナラ属ク ヌギ
第4111R PL.155	60060	95号講 (開濶)	2		(机)	23.00	5.80	3.60	有	半割材	—	表面は樹皮下辺材、裏面は割れ面で、 先端の削り痕以外に加工痕はない。削 り痕以外の全面が炭化。	コナラ属ク ヌギ
第4111R PL.155	60061	95号講 (開濶)	2	1号ピット	木柱	38.60	25.50	14.00	有	樹皮付き(半 割材)	—	枝分かれ部の白太~樹皮にあたる。枝 端は載断痕か。表面は加工痕見られず 樹皮が一部残る。裏面は樹皮近くの辺 材を残して空洞化し、その内面右半は 炭化する。幹部上端は折れている。下 端は腐蝕。ピット内に天地逆転の状態 で埋没していた。	コナラ属ク ヌギ
第4129R PL.155	60074	96号講(開 濶)	2		加工材	51.70	7.70	4.00	有	ミカン割材	—	中心片面に長さ6cmの形取持ちあり。 他材と組むかはめ込むソケットになり 得る。下端を削り、平坦で薄くなる。 下端に溝を作出すると思われる片側か らの削り、反対面と側面の削り痕は不 明瞭。上端は欠損。	モミ属
第4129R PL.155	60075	96号講(開 濶)	2	下層	弓	(16.4)	1.9	1.1	有	割材	—	樹皮除去、上下端に伏採ない載断痕 が残る。表面の整形加工痕は認められ ない。	イヌギヤ
第4129R PL.156	60019	245号講 (開濶)	7		棒材	82.90	10.20	10.70	有	ミカン割材	5~10本	樹皮除去、上下端に伏採ない載断痕 が残る。表面の整形加工痕は認められ ない。	カヤ

遺物観察表

第197表 出土木製品観察表 96・140号溝、38・40号井戸、69・70号土坑

時間 Pl. No.	登録番号	遺構名	出土位置 区 出土層位	遺物名	法 量(m)			加工面 の有無	木取り	年輪数 (/10mm)	加工の状態ほか	樹種判定	
					長さ	幅	厚さ						
第4129号 Pl. 155	60052	38号井戸 (B318号 土坑)	6	杭	15.20	5.20	3.50	有	ミカン割材	4~5本	頭部は鋭き潰れた形状か、先端は削り 痕を残す。	イヌガヤ	
-	60004	96号溝 (6005)	2 P1	柱根	111.00	31.00	18.50	無			実測無し、写真無し。(Pl.7-2参考)	クリ	
第4129号 Pl. 155	60013	140号溝 (6005)	6	棒	25.60	1.70	1.50	有	椀材	—	頭部を削り落すとす以外に明確な加工は ない。	イヌガヤ	
第4129号 Pl. 155	60015	140号溝 (6005)	6	尖り棒	22.70	1.60	1.50	有	椀材	—	下端に削り痕、裏面上位にも鋭い削り 痕あり。	イヌガヤ	
第4130号 Pl. 156	60049	38号井戸 (B318号 土坑)	6	(杭)	37.00	11.90	7.50	有	芯持ち角材	40年+α 年材	先端削りのみ。他は腐蝕面。	モミ属	
第4130号 Pl. 156	60050-1	38号井戸 (B318号 土坑)	6	角材(板)	43.30	8.00	3.50	有	ミカン割材	5~7本	先端は斜位に側縁を削る。表裏側面に 目立った加工痕は見られない。	コナラ属ア カガシ金属	
第4130号 Pl. 156	60050-2	38号井戸 (B318号 土坑)	6	角材(板)	34.80	8.60	3.00	無	ミカン割材	5~6本	裏面右側縁部に削り痕がみられる以外 は表裏側面とも加工痕は不明瞭。下端 は鋭い刃部による鋭利な削り。50-1と 同一個体と思われるが、接合面なし。 下部は鋭く埋め込まれた切り口で8~10cmに わたる鋭利な断面を残すが、残存の可能 性もある。表裏側面は削れ面のままで、 削り等は見られない。	コナラ属ア カガシ金属	
第4130号 Pl. 156	60051	38号井戸 (B318号 土坑)	6	角材	17.40	9.20	4.20	有	ミカン割材	5~6本	表裏面に平直にする削り痕が残る。側 面の整形は不明。全面が炭化し、上下 端と左側は欠損。	コナラ属ア ヌギ属	
第4148号 Pl. 157	60025	40号井戸	7	埋土	12.00	4.00	2.00	(有)	榎目	6~7本	下半が削りてある形状だが、削り等の 加工は見られない。左側の辺材部が強く 炭化。	コナラ属ア ヌギ属	
第4148号 Pl. 157	60026	40号井戸	7	埋土	(杭)	41.80	6.00	4.00	無	ミカン割材	—	頭部上端に鋭利な断面、上部右側に炭化以 前の鋭利な刃部による斜位削り痕を残す。 表裏側面での加工痕は見られない。全 体が地熱炭化。	コナラ属ア カガシ金属
第4148号 Pl. 157	60027	40号井戸	7	埋土土層	角材	76.10	5.80	5.00	無	ミカン割材	6~8本	上下端に鋭利な断面を残し、頭部上端では 丸みを持った刃部による斜位一方の 鋭利な削り痕に残る。軸方向による炭 化の深さの異なる削り痕も残る。表裏側 面への加工痕は見られない。	コナラ属ア カガシ金属
第4148号 Pl. 157	60028	40号井戸	7	埋土土層	角材	57.50	7.50	6.00	無	ミカン割材	4~5本	左側縁は埋土の痕、右側縁は斜位 削りの削る。表裏側面とも削り痕は 見られない。上端は炭化して形状不明。 表裏側面は削れ面のみ。下端は表裏側 面からの鋭利な削り及び削りて残る削 り痕を残す。上端は鋭利。ネズミによ るとと思われる引っ掻き痕あり。	コナラ属ア ヌギ属
第4150号 Pl. 157	60073	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層	板材(建築 材)	40.00	16.00	4.40	有	榎目	6~7本	頭部は鋭利な断面を残し、頭部上端では 丸みを持った刃部による斜位一方の 鋭利な削り痕に残る。軸方向による炭 化の深さの異なる削り痕も残る。表裏側 面への加工痕は見られない。	コナラ属ア カガシ金属
第4150号 Pl. 157	60001	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層	角材(柱根 か)	25.50	11.00	5.10	無	ミカン割材	—	表裏側面は削れ面のみ。下端は表裏側 面からの鋭利な削り及び削りて残る削 り痕を残す。上端は鋭利。ネズミによ るとと思われる引っ掻き痕あり。	サクラ属
第4150号 Pl. 158	60053-1	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層	(杭)	92.50	7.70	7.20		丸太(樹皮付 き)	—	先端に削り痕、頭部は不明瞭	コナラ属ア ヌギ属
第4150号 Pl. 158	60053-2	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層		63.20	8.00				—	上端端が欠損し、53-1と同一方向が不 明。	
第4160号 Pl. 157	60057	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層	不明 柱根の再加 工か	52.80	21.80	11.30	無	ミカン割材	4~5本	頭部に鋭利な断面を残す。表裏側面とも 削り痕を残す。上端は鋭利。ネズミによ るとと思われる引っ掻き痕あり。	コナラ属ア ヌギ属
第4160号 Pl. 158	60003	69号土坑 (井戸)	2	埋土下層	角材	94.70	9.40	5.90	無	ミカン割材	—	表裏側面は削れ面のまま。上位は欠損 右側中央と下位30cmほどが炭化して 内外面を削りて成形。外面くびれ部に は細かな手跡によると思われる細かな 削り痕が残る。軸方向は径18cmで 深さ11.3cmで鋭利な削り。孔内面には 鋭い溝痕が複数残みられる。使用時 での整形面か。	カヤ
第4170号 Pl. 159	60006	70号土坑 (井戸)	2	埋土下層	鶏さび 口~底面1/4	119 42.0 1193.6 27.8	48.0 13 47.0 内深 34.0	底径	有	丸太材	—	先端に鋭利な断面を残す。表裏側面とも 削り痕を残す。上端は鋭利。ネズミによ るとと思われる引っ掻き痕あり。	コナラ属ア ヌギ属
第4170号 Pl. 158	60056	70号土坑 (井戸)	2	埋土下層	(楔か栓)	15.10	8.70	8.10	有	ミカン割材	—	先端削り、側面、頭部は傾斜面を作り 出す。片側に炭化みられる。 柄部は辺材部を残した削り痕のまま。 頭部は直刃による加工の鋭い削りによ って表面を作り出している。	コナラ属ア カガシ金属
第4180号 Pl. 158	60005	70号土坑 (井戸)	2	埋土下層	朽木成品	72.80	15.20	14.60	有	樹皮付きミ カン割材	40本前 後/全	表裏側面は削れ面のまま。目立つ加工 痕は見られない。下端は鋭利な削りか、 上端にネズミと思われる引っ掻き痕あり 同一番号で他3点取上げたが、接合面なし。	コナラ属ア ヌギ属
第4180号 Pl. 159	60002	70号土坑 (井戸)	2	埋土下層	角材	74.60	14.40	7.80	無	ミカン割材	9~10本	表裏側面は削れ面のまま。目立つ加工 痕は見られない。下端は鋭利な削りか、 上端にネズミと思われる引っ掻き痕あり 同一番号で他3点取上げたが、接合面なし。	コナラ属ア ヌギ属

第198表 出土木製品観察表 70・89・362・365・391・446号土坑

探検 No.	登録番号	遺構名	出土位置 区 出土層位	遺物名	法 量(m)			加工面 の有無	木取り	年輪数 (/10mm)	加工の状態ほか	樹種判定	
					長さ	幅	厚さ						
第4198号 PL.160	60063	70号土坑 (井戸)	2 埋土下層	角材	189.90	11.80	10.40	無	ミカン割り	10本前後	断面に伐採痕。痕跡の形状は内側意味で緩いことから、鉋刃石斧によるものか。左側に縦むき面を残す。下端も伐採痕を残すが底面は不明瞭。	コナラ属ア カガシ亜属	
第4198号 PL.159	60068	70号土坑 (井戸)	2 埋土下層	板材	44.60	13.30	4.00	有	板目	5~7本	表面に、直軸に斜向する複数のすくもり痕。下層には直刃工具による主軸方向の削り。上下端や側面の加工痕は不明瞭。	コナラ属ク ヌギ属	
第4198号 PL.160	60069	70号土坑 (井戸)	2 埋土下層	角棒	37.40	3.30	2.60	無		8本	整った角材だが、明確な加工痕は見られない。	コナラ属ク ヌギ属	
第4200号 -	60076	89号土坑 (井戸)	2 下層 (柱材)		29.30	13.60	6.00	無	半割材	5本前後	下端に斜位の截断か伐採痕を残す。側面は割れ痕のまま欠損。上半は欠損	コナラ属ク ヌギ属	
第4200号 PL.160	60010	365号土坑 (井戸)	2北	埴木製品 鈎状品か 取っ手?	11.70	3.00	3.00	無	板皮付き枝 材	—	加工痕見られず、全体に著しく円化。	コナラ属ア カガシ亜属	
第4200号 PL.160	60011	391号土坑 (井戸)	2北埋土下層	板材	19.70	8.30	2.20	無	板目	8~10本	加工痕は不明瞭で確認できない。上端は直軸。下端は折れた。	コナラ属ク ヌギ属	
第4200号 PL.160	60023	362号土坑 (井戸)	2北埋土下層	板材	37.70	20.00	6.40	有	板目		上端は表裏両面から30°前後の角度で截断痕が残る。下端は表面側に急角度の截断痕が残るが、裏面側は折れと思われる。表面は斜削加工がみられない。裏面は主軸方向に沿って幅広い削り痕を残す。削りは斜削した刃部を板面に対して60~90°の角度で打ち込み、木の表面を削り取ったと考えられる。打ち込まれた刃部痕から、直徑10.5cm前後の円弧で彎曲した、幅5.3cmほどの刃部と推測される。また直線的に截断された木質繊維の状態から、鋭い刃部をもつ鉄斧と考えられる。	コナラ属ア カガシ亜属	
第4210号 PL.161	60040	446号土坑 (井戸)	2北	板材 (輪縁未成 品)	43.20	15.40	4.00	有	板目	6~7本	表面上下に、新斧のためと思われる横位の溝を彫る。溝面から彫によるものだろう。表面中央は手彫によると思われる縦位削りで、舟上の突起部を作出している。裏面は縦位の粗い削り痕を残すだけで、緩む断面のままの状態だろう。両側は粗い削り。上下両端は目立った加工痕は見られず、折りと粗い削りか。上下の端溝を両端として仕上げたならば、34×13cm程度の完成品になったと推測される。	コナラ属ア カガシ亜属	
第4210号 PL.161	60033	446号土坑 (井戸)	2北	埋土中層 底面上38cm	輪縁未成 品)	90.30	18.20	4.50	有	板目	5~7本	表裏面を縦位に削り、中輪部を厚く左側縁を薄くしている。右側縁は丸く厚みを残すが、腐蝕・欠損の可能性あり。下端は直刃による截断痕を残す。	コナラ属ア カガシ亜属
第4220号 PL.162	60024	446号土坑 (井戸)	2北	埋土中層	輪縁未成 品)	67.70	15.40	6.80		ミカン割材	5~7本	上下端は彎曲した刃工具(鉋刃石斧か)による伐採痕か截断痕が残る。表裏面に縦位の粗く平坦な削り痕を残すが明確でない。両側面は割れ面を残し一部に面削り状の削り。	コナラ属ク ヌギ属
第4220号 PL.161	60022	446号土坑 (井戸)	2北	底面付近	弓	56.70	2.10	1.5~ 0.9	有	枝半截	—	裏面の芯材部を粗く削る。表面は削皮除去後、磨削な研削の可能性あり。刃は両側から削りだすが明確な段にはなっていない。上端は裂けと思われる欠損。	カヤ
第4230号 PL.162	60041	446号土坑 (井戸)	2北	底面	角材	39.10	8.80	6.00	無	ミカン割材	6~8本	上下端に、大型鉋刃石斧によると思われる彎曲形状の截断痕を残す。	コナラ属ア カガシ亜属
第4230号 PL.162	60042	446号土坑 (井戸)	2北	底面付近 土器上	角材	42.90	8.60	4.10	有	ミカン割材	5~6本	上下端面に截断痕。表裏面にはわずかに削り痕を残す。上端部の扱りは人為加工ではなく腐蝕欠損。	コナラ属ア カガシ亜属
第4230号 PL.161	60025	446号土坑 (井戸)	2北	中層 底面上38cm	板材	36.00	17.00	4.40		板目	4~5本	上下端は折れか伐採・截断痕が不明。裏面は手彫によると思われる削りにより平坦。上端から斜位に木理によると思われる穿孔。	ケンボナ属 ヌギ属
第4240号 PL.162	60029	446号土坑 (井戸)	2北	埋土上層	割板材	55.70	17.50	6.00	有	新材	(3~4 本)	表面で節を削った痕跡以外に目立った加工痕は見られない。上端と裏面は腐蝕。	コナラ属ク ヌギ属
第4240号 PL.163	60045	446号土坑 (井戸)	2北	埋土上層 底面上63cm	割板材 (井戸特か)	62.10	24.80	8.70		ミカン割材	3~4本	上下端と裏面は腐蝕欠損。表面は平坦化の削りを行ったと思われるが、明確な加工痕は見られない。	コナラ属ク ヌギ属

遺物観察表

第199表 出土木製品観察表 438・446・497・505号土坑、36号竪穴建物

探検 Pl. No.	登録番号	遺構名	出土位置		遺物名	法 量(m)			加工前 の有無	木取り	年輪数 (/10mm)	加工の状態ほか	樹種特定
			区	出土層位		長さ	幅	厚さ					
第425図 Pl.163	60034	438号土坑 (井戸)	2北	埋土下層	板材 (建築材か)	58.00	12.90	4.30	(有)	板目	6~8本	表裏面の一部に腐蝕の跡、削り痕を残す。上端は炭化、下端は腐蝕欠損の可能性あり。	カヤ
第425図 Pl.163	60046	497号土坑 (井戸)	2北	埋土下層	杭	24.40	4.60	3.70	有	丸太		月輪3cm以上の刃部によるケズリ。先端は腐蝕欠損。	クリ
第425図 Pl.163	60043	446号土坑 (井戸)	2北	底面付近 土器上	角材	15.90	5.00	2.70	無	ミカン割材	4~5本	下位に直立する帯状動物質繊維が付着。上下端に深い欠損と思われる痕跡が残る。	コナラ属ク ヌギ類
第425図 Pl.163	60032	446号土坑 (井戸)	2北	埋土上層 底面土83cm	角材	34.40	7.30	4.10	(有)	ミカン割材	5~6本	表面と左側面にわずかに削り痕を残す。大部分は腐蝕で火口の有無は不明瞭。下端は杭状に尖らせるための削りの可能性あり。	コナラ属ア カガシ亜属
第426図 Pl.164	60030	505号土坑 (井戸)	2北	壁立てかけ	梯子	71.50	13.20	8.20	有	ミカン割材	5~7本	辺材の角太部を断面V字形の身形に削って足掛けの段を作り出す。表面は割面をほとんどと未整形で残す。足掛け段の間隔は26cmほど。足掛けの平坦部突出きは3cm前後と狭く、欠損ともみられる。下端部は身形削りがみられるが、欠損か未端か不明。	ケヤキ
第426図 Pl.164	60031	505号土坑 (井戸)	2北	埋土下位		28.50	10.40	3.40	有	板目	9~10本	上下端部は急角度の欠損か折り。表面に平滑面を作り出す削りのはかに、深く急角度で削り込む痕跡が残る。これは直線的な削り痕で、削り面も繊維がきれいに切断されていることから、鉄刃によると思われる。これがどのような加工を目的としたのかは不明。	ケンボナン 属
第426図 Pl.164	60047	505号土坑 (井戸)	2北	埋土下位	欠板	50.40	6.70	2.00	有	板目	9本	先端部に削り痕。頭部付近にも表裏面に削りらしき痕跡あり。側縁の加工は不明瞭。	コナラ属ク ヌギ類
第426図 Pl.164	60018	36号竪穴 建物P1	6		柱根か	11.00	7.80	6.60	無	ミカン割材	20本前 後/全	腐蝕著しく加工痕は見られない。	カヤ

第200表 石器観察表 95・96号講

神代 PL.No.	登録 番号	区 遺構名	種 類	出土位置 現 存 率	計測値			石 材	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第427図 PL.165	10040	2区 95溝(障障)	磨製石斧	埋土 刃部	長 (5.1)	厚 (7.8)	重 (3.6) 123.9	変はれい岩	全体的によく磨製されており丁寧に仕上げられている。細かい線条痕が僅かに認められる。	
第427図 PL.165	10059	2区 95溝(障障)	砥石	下層 不明	長 (5.5)	厚 (3.4)	重 (0.9) 23.1	凝灰質砂岩	表裏面に細かい線条痕が認められる。裏表面を主な砥面とする砥石と判断した。下面にも細かい線条痕があり砥面として機能した可能性がある。	
第427図 PL.165	10060	2区 95溝(障障)	砥石	埋土 完形	長 7.8	厚 4.0	重 1.3 45.7	凝灰質砂岩	表裏面のほぼ全面にわり滑らかな面が形成されており僅かに線条痕も認められることから砥石と判断した。	
第427図 PL.165	10039	2区 95溝(障障)	打製石斧	下層 完形	長 13.8	厚 7.4	重 2.9 299.2	粗粒輝石安山岩	裏面に自然面を大きく残し刃部を利用する。表裏面の先端部付近に磨痕が認められ使用痕の可能性がある。この磨痕より新しい刃部が認められ刃部の再加工が想定される。刃部の加工は表面側に集中しややエンドスレイバーに類似する刃部形態である。両側面の中央付近につぶれがあり新痕の可能性もある。	
第427図 PL.165	10456	2区 95溝(障障)	打製石斧	埋土 刃部	長 (7.7)	厚 8.2	重 2.2 159.0	粗粒輝石安山岩	先端刃部は表面側への片面加工が主体的である。左右両側面は両面加工である。表面の中央に広く認められる磨痕は素材割片の主要な砥面の可能性もある。裏面には自然面が広く認められ刃部を利用する。	
第427図 PL.165	10038	2区 95溝(障障)	スクレイパー	中層 完形	長 3.5	厚 3.5	重 0.7 7.3	柱状頁岩	小形割片を素材とする。素材割片の形態を大きく変えることなく利用し、背面側の先端部を中心に微細磨痕面が認められる。打面は前部の平坦面である。	
第427図 PL.165	10050	2区 95溝(障障)	磨石	下層 完形	長 7.4	厚 6.4	重 4.3 285.4	粗粒輝石安山岩	袖門溝を利用する。表面のほぼ全面と裏面の下半部及び左側面の一部に磨痕が認められる。	
第427図 PL.165	10051	2区 95溝(障障)	磨石	下層 完形	長 8.8	厚 7.9	重 5.8 563.8	粗粒輝石安山岩	袖門溝を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に磨痕が認められる。	
第427図 PL.165	10049	2区 95溝(障障)	磨石	下層 完形	長 6.4	厚 5.9	重 5.3 307.9	粗粒輝石安山岩	袖門溝を利用する。表面の中央に磨痕が認められる。下端付近に敲打痕が集中する。	
第427図 PL.165	10061	2区 95溝(障障)	石皿	下層 完形	長 17.8	厚 13.3	重 10.0 3194.6	粗粒輝石安山岩	袖門溝を利用する。表面のほぼ全面に滑らかな部分があり線条痕がわずかに認められる。形態はほぼ平皿である。	
第427図 PL.165	10048	2区 95溝(障障)	凹石	下層 完形	長 17.2	厚 9.3	重 6.9 1525.2	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表裏面のそれぞれに浅い凹み口が認められる。表裏面の中央付近に磨痕が認められる。上部に磨痕面があるが上部を作業部位とする敲打による痕跡と想定される。	
第428図 PL.165	10065	2区 95溝(障障)	石皿	下層 完形	長 27.1	厚 23.5	重 10.9 9400.0	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表裏面の中央に広範囲に非常に滑らかな面が認められる。	
第428図 PL.165	10066	2区 95溝(障障)	石皿	下層 完形	長 35.4	厚 28.9	重 13.4 8300.0	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表面の中央に非常に滑らかな面があり線条痕が認められる。また、敲打痕の集中箇所が存在する。裏面のやや下方には非常に滑らかな面があり線条痕も認められる。また、裏面のやや上方には線条痕が集中する。	
第429図 PL.165	10064	2区 95溝(障障)	石皿	下層 ほぼ完形	長 (23.3)	厚 19.3	重 8.2 5373.7	粗粒輝石安山岩	袖門溝を利用する。表面のほぼ全面に非常に滑らかな面が認められ細かい線条痕が僅かにある。裏面の中央に滑らかな面が認められる。	
第429図 PL.165	10063	2区 95溝(障障)	石皿	下層 1/2	長 28.7	厚 (23.6)	重 (5.7) 4063.1	粗粒輝石安山岩	扁平な袖門溝を利用する。表面に広範囲に滑らかな部分がありほぼ平皿である。	
第429図 PL.165	10062	2区 95溝(障障)	石皿	下層 完形	長 17.4	厚 16.1	重 5.7 2524.2	粗粒輝石安山岩	扁平な袖門溝を利用する。表面に帯状に非常に滑らかな部分がありほぼ平皿である。	
第429図 PL.166	10074	2区 96溝(障障)	石鏡	中層 刃部欠	長 (16.0)	厚 8.6	重 2.8 516.6	玄母石英片岩	結晶片岩質であり表面の中央に磨痕方向不明の大きな面が認められる。裏面の中央には、風化が進行した大きな面が認められ自然面の可能性が高い。割片素材と考えられる。	
第429図 PL.166	10076	2区 96溝(障障)	二次加工ある 割片	中層 完形	長 8.6	厚 8.5	重 0.8 34.3	輝緑凝灰岩	表面と右側縁の一部に自然面が認められ凹溝を利用する。裏面には主要な砥面を大きく残し縦長割片を素材とする。表面の左側縁付近を中央に磨痕が認められ使用痕の可能性が高い。	使用の可能性
第429図 PL.166	10081	2区 96溝(障障)	磨石	中層 完形	長 12.2	厚 11.8	重 7.9 1518.8	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表裏面の中央付近に磨痕が認められる。	
第429図 PL.166	10080	2区 96溝(障障)	磨石	中層 完形	長 9.4	厚 9.7	重 5.4 574.4	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表面の下半部と裏面のほぼ全面に磨痕が認められる。	
第429図 PL.166	10079	2区 96溝(障障)	凹石	中層 完形	長 14.4	厚 12.3	重 7.8 1730.5	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表面のほぼ中央に浅い漏斗状の凹みが認められる。	
第430図 PL.166	10087	2区 96溝(障障)	凹石	中層 完形	長 20.5	厚 8.6	重 6.6 1884.4	粗粒輝石安山岩	棒状の凹溝を利用する。表面の中央やや上方に凹みが認められ中央やや左側に敲打痕がある。裏面の中央やや上方と下方に凹みが認められる。いずれの凹みもやや横長の形態を呈する。	
第430図 PL.166	10091	2区 96溝(障障)	石皿	中層 完形	長 21.7	厚 15.2	重 7.2 3322.0	粗粒輝石安山岩	凹溝を利用する。表面の中央付近に帯状に滑らかな部分がある。裏面の中央にも滑らかな部分がある。	

第201表 石器観察表 96・140・245・268・291号溝、遺構等

探洞 No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			石 材	成 形・ 整 形 の 特 徴	備 考	
					長	幅	厚				
第430区 PL-166	10082	2区 96溝(竪溝)	石皿	中層 完形	長 13.6	幅 3.7	厚 3.9	重 364.7	粗粒輝石安山岩	円縁を利用する。表面では左側縁を中心に非常に滑らかな面が認められる。裏面では右側面との境界付近に帯状に非常に滑らかな面が認められる。裏面の中央に面的な割痕が有り縁打により形成された可能性がある。	
第430区 PL-166	10069	2区 96溝(竪溝)	挟入柱状片 対石弁	埋土上層 完形	長 13.6	幅 3.7	厚 3.9	重 364.7	変質安山岩	全体的によく研磨されており丁寧に仕上げられている。中央から基部にかけて全体的に斜め方向の細かい割痕が多数認められる。裏面では中央付近に滑らかな面が多数認められる。裏面の傾り方向は裏面から基部にかけて光沢があり割痕の可能性が高い。刃部と反対側の基底面に形成された面と判断される。これは着柄を伴う使用時に形成された面の可能性がある。	17・172・173 と一括出土
第431区 PL-166	10073	2区 96溝(竪溝)	太型蛤対石 弁	埋土上層 完形	長 19.3	幅 7.8	厚 4.8	重 1004.3	変はれい岩	全体的によく研磨されており丁寧に仕上げられている。中央から基部にかけて全体的に斜め方向の細かい割痕が多数認められる。刃部と反対側の基底面に研磨が認められない面が認められる。	
第431区 PL-166	10072	2区 96溝(竪溝)	太型蛤対石 弁	埋土上層 完形	長 20.0	幅 7.8	厚 4.2	重 1092.4	変はれい岩	全体的によく研磨されており丁寧に整形されている。縦方向の細かい割痕が多数認められる。刃部と反対側の基底面に研磨が認められない面が認められる。	
第431区 PL-166	10071	2区 96溝(竪溝)	太型蛤対石 弁	埋土 完形	長 22.3	幅 7.4	厚 4.2	重 1202.9	変はれい岩	全体的によく研磨されており丁寧に仕上げられている。中央から基部にかけて全体的に斜めから横方向の細かい割痕が多数認められる。刃部と反対側の基底面は他の面ほど滑らかでない。	
第431区 PL-166	10070	2区 96溝(竪溝)	太型蛤対石 弁	埋土上層 完形	長 21.7	幅 8.1	厚 4.7	重 1409.1	変はれい岩	全体的によく研磨されており丁寧に仕上げられている。斜めから横方向の細かい割痕が多数認められる。刃部と反対側の基底面には研磨が認められない。中央から基部にかけては、研磨の認められない小さな凹みが多数認められる。表面の刃部付近には刃部に斜行する細かい線条痕が埋りに認められ使用痕の可能性が高い。	
第432区 PL-167	10465	6区 140溝(竪溝)	石皿	埋土 ほぼ完形	長 17.0	幅 13.4	厚 4.4	重 1399.4	粗粒輝石安山岩	扁平な円縁を利用する。表面のほぼ全面が滑らかである。表面には表裏的な割痕が散在しており縁打により生じた可能性がある。	
第432区 PL-167	10466	6区 140溝(竪溝)	磨石	埋土 完形	長 9.1	幅 7.7	厚 3.9	重 393.0	粗粒輝石安山岩	円縁を利用する。表面の中央付近に滑らかな面が認められる。	
第432区 PL-167	10472	6区 140溝(竪溝)	石皿	埋土 完形	長 25.5	幅 15.7	厚 8.1	重 5225.7	粗粒輝石安山岩	扁平な非円縁を利用する。表面の中央付近に滑らかな面が認められる。	
第432区 -	10502	7区 245溝(竪溝)	石皿	埋土 4/5	長 (17.3)	幅 16.8	厚 5.3	重 2807.6	粗粒輝石安山岩	扁平な非円縁を利用する。表面のほぼ全面に平坦で滑らかな面が認められる。	
第432区 PL-167	10504	2区北地区 268溝(竪溝)	石皿 (磨製石弁)	埋土 完形	長 13.6	幅 7.2	厚 3.6	重 556.8	変はれい岩	下縁付近を中心にした縁打が散在する。下縁の表裏面には先端方向からの割痕が集中するが縁打により生じたと考えられる。磨製石弁から縁打具に転用されたと考えられる。	
第432区 PL-167	10505	2区北地区 268溝(竪溝)	磨石	埋土 完形	長 11.6	幅 6.1	厚 3.7	重 394.6	粗粒輝石安山岩	円縁を利用する。上下縁及び側面の一部を除き全体的に滑面が認められる。	
第432区 PL-167	10507	2区北地区 268溝(竪溝)	石皿	埋土 完形	長 19.8	幅 12.4	厚 8.1	重 3371.5	粗粒輝石安山岩	非円縁を利用する。表面は全体的に滑らかであり中央付近が特に滑らかである。裏面は中央付近に滑らかな面が認められる。	
第432区 PL-167	10515	2区北地区 291溝(竪溝)	石皿	埋土 完形	長 18.2	幅 11.5	厚 3.3	重 705.3	珪質頁岩	左右両側面と上縁では表裏面への両面加工が認められるが先端両側は表面側への片面加工である。左右両側面の中央付近には埋痕が集中し割痕の可能性が高い。表面の下方には素材割片の主要割面が広く認められる。裏面下方には自然面が広く認められ円縁を利用する。	
第432区 -	10769	2区北地区 291溝(竪溝)	砥石	埋土 不明	長 (10.3)	幅 (8.8)	厚 (2.3)	重 271.0	粗粒輝石安山岩	表面はほぼ平坦であり全体的に滑らかである。細かい線条痕がわずかに認められる。裏面はわずかな起伏があるが全体的に滑らかである。	
第432区 PL-167	10519	2区北地区 291溝(竪溝)	砥石	埋土 完形	長 9.8	幅 4.6	厚 1.3	重 116.8	緑色片岩	表面のほぼ全面に平坦で滑らかな面があり裏面と判断した。表面の右側面に沿って縦方向に非常に滑らかな面が認められる。表面の下縁部には割痕が集中し縁打により生じた可能性がある。全体的に自然面と判断され扁平な円縁を利用する。	
第433区 PL-167	10792	6区 496穴(遺構)	磨製石皿	基部端欠	長 3.9	幅 2.2	厚 0.3	重 2.7	珪質準片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に多方向の細かい割痕が認められる。孔は中央付近よりやや裏面近くが狭く滑らかであり両面を考へられる。孔径約2mm。	

第202表 石器観察表 4~9・26・28・29号竪穴建物

探洞 PL. No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			石 材	成 形・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第433Ⅸ -	10172	6区 4号穴建物	砥石	埋土 1/2	長 幅	(5.7) (2.8)	厚 重	(1.8) 44.1	砂岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面には細かい稜突起がわずかに認められる。裏面の中央には比較的斜めに縦方向の溝状彫痕が観察される。上部に上面及び左右側面にも平坦で滑らかな面が認められ砥面の可能性が高い。	表方体に整形
第433Ⅸ PL.167	10153	6区 26号穴建物	敲石(磨製 石斧)	埋土 1/4	長	(6.7) (6.1)	厚 重	(3.7) 232.4	変輝緑岩	敲打面が全体に磨かれ磨製石斧から敲打具へ器種変化したと考えられる。左側面から裏面にかけて上側面からの磨痕が認められるが敲打により生じたと考えられる。	
第433Ⅸ PL.167	10188	6区 29号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	9.3 5.8	厚 重	4.4 314.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第433Ⅸ PL.167	10154	6区 26号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	12.0 9.4	厚 重	4.3 741.0	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第433Ⅸ PL.167	10189	6区 29号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	25.9 19.8	厚 重	5.3 2895.8	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面の中央付近に敲打を受けたことにより生じたと考えられる表側面側面に磨面が集中する。	
第433Ⅸ -	10191	6区 29号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	22.3 18.8	厚 重	9.4 5463.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分があり稜突起がわずかに認められる。右側面の一部にも滑らかな面が認められる。	
第433Ⅸ -	10121	6区 5号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	9.9 8.5	厚 重	4.5 536.4	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第433Ⅸ -	10122	6区 5号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	14.0 12.0	厚 重	3.1 877.2	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第433Ⅸ -	10125	6区 5号穴建物	敲石	埋土 完形	長 幅	15.6 6.6	厚 重	5.4 825.5	粗粒輝石安山岩	棒状の円盤を利用する。表面の上方には扁平状の窪みと敲打痕があり中央付近には非常に滑らかな面が認められる。左右両側面の上方には浅鉢状の窪みが認められる。裏面の上方と下端部には敲打痕が集中する。	
第434Ⅸ -	10120	6区 5号穴建物	扁平片(打石 斧)	埋土 完形	長 幅	6.4 5.8	厚 重	1.1 65.7	変玄武岩	表面の中央から下側面にかけて及び裏面の下側面に磨面整形されている。下側面は全体的に片刃に磨面整形されており機能部と想定される。磨面整形部分の周辺には磨面整形面に侵食されたような面磨面が認められ磨面整形後の調整面と判断される。表面の左右両側面と上側面には磨面が集中するが表面の磨面整形面より新しい痕跡がある。	
第434Ⅸ -	10126	6区 5号穴建物	砥石	埋土 完形	長 幅	10.6 5.8	厚 重	1.1 98.6	緑色片岩	表面の中央に平坦で滑らかな面があり砥面と判断した。表面の右側面に沿って非常に滑らかな部分と認められる。全体的に自然面と判断され扁平な円盤を利用する。	
第434Ⅸ -	10124	6区 5号穴建物	石斧(磨製 石斧)	埋土 完形	長 幅	12.7 6.8	厚 重	4.8 723.4	変は入れい岩	上下端部は全体的に滑らかであり敲打痕が集中する。表裏面の上部と左右両側面の下部には敲打痕が集中する。左右両側面の上部には剥離面があり敲打により生じたと考えられる。磨製石斧から敲打具として転用されたと考えられる。	
第434Ⅸ -	10128	6区 6号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	7.4 6.2	厚 重	5.2 268.2	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。裏面及び下部には部分的な磨面が認められる。	
第434Ⅸ PL.167	10177	6区 28号穴建物	磨石	埋土 4/5	長 幅	0 6.2	厚 重	2.4 189.3	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	6号穴穴と同
第434Ⅸ PL.167	10176	6区 28号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	12.2 6.4	厚 重	3.4 424.1	粗粒輝石安山岩	棒状の円盤を利用する。上下端部に敲打痕がわずかに認められる。	6号穴穴と同
第434Ⅸ -	10127	6区 5号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	17.8 5.4	厚 重	5.2 809.2	粗粒輝石安山岩	棒状の円盤を利用する。表面と左右両側面のほぼ全面に磨面が認められる。上下端部と右側面上下に敲打痕が認められる。	
第434Ⅸ PL.167	10174	6区 28号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	19.3 10.9	厚 重	5.2 1850.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	6号穴穴と同 一遺構出土
第434Ⅸ PL.167	10175	6区 28号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	21.4 20.8	厚 重	13.5 8150.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分と認められる。	6号穴穴と同 一遺構出土
第435Ⅸ -	10134	6区 7号穴建物	砥石	端部欠 損	長 幅	(3.0) (3.6)	厚 重	1.0 9.1	デイサイト凝灰岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面は鋭角である。断面不明瞭。	磨穴建物として 不認定
第435Ⅸ -	10139	6区 9号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	5.7 5.0	厚 重	3.1 112.3	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第435Ⅸ -	10140	6区 9号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	4.7 4.3	厚 重	3.6 84.1	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第435Ⅸ -	10142	6区 9号穴建物	二次加工あ る削片	埋土 ほぼ完形	長 幅	3.9 (6.1)	厚 重	0.8 19.2	黑色頁岩	表面には自然面が広く認められ下側面を中心に摩滅箇所が広範囲にある。裏面は素材削片の主要な磨面が北側面に認められ右側面に二次加工痕が集中する。上側面から表面にかけて自然面が北側面に認められ円盤を利用する。	
第435Ⅸ -	10135	6区 9号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	12.1 10.8	厚 重	6.1 1049.9	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表面の中央から下側面にかけて非常に滑らかな部分と認められる。表面の中央付近には敲打痕が集中する。	

遺物観察表

第203表 石器観察表 8・19・21・26・27・30～33号竪穴建物

検出 PL No.	登録 番号	遺構名	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		石材	成形・整形の特徴	備考		
第435Ⅸ -	10136	6区 89号穴建物	石皿	埋土 不明	長 幅	(13.2) (12.0)	厚 重	(6.0) 1384.8	粗粒輝石安山岩	準円盤を利用する。表面のほぼ全面が滑らかである。表面の中央付近に非常に滑らかな部分が帯状に認められる。	
第435Ⅸ -	10137	6区 89号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	18.6 15.8	厚 重	8.0 4282.9	粗粒輝石安山岩	準円盤を利用する。表面のほぼ全面が平坦で滑らかである。	
第435Ⅸ PL-167	10661	6区 19号竪穴付 近	スクレイ パー	完形	長 幅	5.0 9.7	厚 重	1.7 96.0	黑色頁岩	上側辺と下側辺は表面への片面加工が主体的である。左側辺は片面加工が認められる。表面中央には素材削片の中央部断面を大きく残し横長削片を素材とする。上側辺から裏面にかけては自然面であり円盤を利用する。	磨製用の可能性
第435Ⅸ PL-167	10152	6区 21号穴建物	磨製石皿	埋土 ほぼ完形	長 幅	(2.8) 1.6	厚 重	0.3 1.3	珪質単片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい凹みが認められる。孔は中央付近が狭く、かつおり両面穿孔と考えられる。孔の内面には表面面に平行する方向の細かい線条痕が認められ穿孔の際の加工痕と考えられる。	
第436Ⅸ PL-168	10155	6区 26号穴建物	石皿	埋土 2/3	長 幅	21.8 (18.5)	厚 重	10.9 5010.2	粗粒輝石安山岩	表面は全体的に比較的滑らかであり中央に漏斗状の凹みが認められる。表面の凹みの内部は比較的滑らかである。表面には表層的な凹凸痕が散在しており縦行を受けたことにより生じたと考えられる。	
第436Ⅸ PL-168	10156	6区 26号穴建物	石皿	埋土 4/5	長 幅	(28.6) (21.0)	厚 重	10.6 9150.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面と右側面の一部に滑らかな部分が認められる。	
第436Ⅸ PL-168	10162	6区 27号穴建物	石核	埋土 完形	長 幅	10.1 13.0	厚 重	5.3 741.2	珪質頁岩	縁辺部を作業部位として小形削片を剥離する。打製石斧等の製作上で可能性もある。裏面に自然面が認められ大形円盤を利用する。	
第436Ⅸ PL-168	10165	6区 27号穴建物	磨石	が 完形	長 幅	10.5 6.8	厚 重	5.8 530.3	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の上側面から上側面にかけて磨面が認められる。	
第436Ⅸ PL-168	10167	6区 27号穴建物	研き石	埋土 4/5	長 幅	(6.0) (4.5)	厚 重	(2.9) 88.2	黑色頁岩	表面の上方、左右両側面に非常に滑らかな部分があり細かい線条痕が多数認められる。全体的に自然面と判断され小形円盤を利用する。	
第436Ⅸ PL-168	10164	6区 27号穴建物	石皿	が 完形	長 幅	14.6 14.0	厚 重	3.5 1052.8	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に滑らかな部分が認められる。	
第436Ⅸ PL-168	10163	6区 27号穴建物	石皿	が 完形	長 幅	17.7 15.6	厚 重	4.0 1591.3	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面の中央から下方にかけて滑らかな部分の認められる。	
第436Ⅸ PL-168	10166	6区 27号穴建物	石皿	が ほぼ完形	長 幅	(41.4) (28.8)	厚 重	13.7 9350.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分認められる。表面の滑らかな部分は小さな表層的な凹凸痕が散在しており縦行を受けたことにより生じた可能性がある。	
第437Ⅸ PL-168	10195	6区 31号穴建物	石斧	埋土 完形	長 幅	7.3 6.9	厚 重	4.2 338.9	変輝緑岩	表面の中央付近から上端縁にかけて敲打痕が集中する。右側面の先端には上方からの剥離面が認められるが敲打により生じたと考えられる。下端部は折断面と考えられるが全体的に平坦で非常に滑らかな部分認められる。磨製石斧から転用されたものと考えられる。	単一方向の摩滅痕はみられず。
第437Ⅸ PL-168	10197	6区 31号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	25.6 18.9	厚 重	6.8 6300.0	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に平坦で滑らかな部分認められる。	
第437Ⅸ PL-168	10198	6区 31号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	19.7 15.4	厚 重	6.2 3305.2	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表面と左側面の中央付近に滑らかな部分認められる。裏面と左側面には線条痕がわずかに認められる。	
第437Ⅸ PL-168	10193	6区 30号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	8.7 7.2	厚 重	3.9 358.3	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。裏面のほぼ全面にも磨面が認められる。	
第437Ⅸ PL-169	10202	6区 32号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	14.7 7.7	厚 重	5.8 770.8	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。	
第437Ⅸ PL-169	10205	6区 32号穴建物	砥石	埋土 ほぼ完形	長 幅	(6.4) (3.7)	厚 重	1.0 12.6	凝灰質砂岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。右側縁は鋭角に作出されている。左側面は曲面で構成されるが全体的に滑らかであり砥面として機能したと考えられる。	
第437Ⅸ PL-169	10203	6区 32号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	24.8 17.5	厚 重	9.2 6500.0	粗粒輝石安山岩	準円盤を利用する。表面のほぼ全面が平坦で滑らかである。	
第437Ⅸ PL-169	10204	6区 32号穴建物	石皿	埋土 完形	長 幅	30.0 22.0	厚 重	13.4 9650.0	粗粒輝石安山岩	準円盤を利用する。表面のほぼ全面が平坦で滑らかである。表面の中央付近には特に滑らかな部分認められる。	
第438Ⅸ PL-169	10210	6区 33号穴建物	大型輪打石 斧	埋土 完形	長 幅	16.3 6.7	厚 重	4.4 829.1	変はれい岩	全体的に非常に滑らかであり丁寧に研磨整形されている。上端部を中心に研磨面より新しい敲打痕が広く認められる。左側辺上方には剥離面がわずかに認められるが敲打により生じた可能性がある。石斧から敲打具に転用されたかあるいは敲打具としての機能も同時に備えた石器と考えられる。	
第438Ⅸ PL-169	10740	6区 33号穴建物	磨製石皿	埋土 基部欠	長 幅	(1.3) (2.4)	厚 重	(0.3) 1.0	黑色頁岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい凹みが認められる。孔は中央付近が狭く、かつおり両面穿孔と考えられる。	

第204表 石器観察表 33・36～40号竪穴建物

検出 PL.No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 種 類	出土位置 現 存 率	計測値		石 材	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第438号 PL-169	10213	6区 33号穴建物	砥石	埋土 中央部片	長 (7.3)	厚 1.6 重 49.6	砂岩	表面はほぼ平目で全体的に滑らかであり砥面と判断される。	
第438号 PL-169	10211	6区 33号穴建物	磨石	埋土 中央部	長 8.4 幅 7.4 重 325.6		粗粒輝石安山岩	垂門礫を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に磨面が認められる。表面の中央付近に最打痕が集中する。	
第438号 PL-169	10215	6区 33号穴建物	研き石	埋土 完形	長 4.9 厚 2.8 重 21.8		黒色頁岩	全体的に滑らかである。表面には細かい線条面が多数認められる。全体的に自然面と判断され扁平な小形縦門礫を利用する。	
第438号 PL-169	10233	6区 36号穴建物	砥石	埋土 ほぼ完形	長 6.9 幅 (5.5) 重 82.3		凝灰質砂岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。左右両側面と上下小1面は平目で全体的に滑らかであり砥面として機能した可能性はある。	
第438号 PL-169	10227	6区 36号穴建物	磨石	埋土 ほぼ完形	長 (11.3) 幅 8.6 重 805.7		粗粒輝石安山岩	垂門礫を利用する。表面と右側面及び裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表面には細かい線条面がわずかに認められる。	
第438号 PL-169	10228	6区 36号穴建物	磨石	埋土 完形	長 10.4 幅 6.9 重 512.1		粗粒輝石安山岩	門礫を利用する。表面のほぼ全面、裏面及び左側面の中央付近に磨面が認められる。上部面に最打痕が集中する。上部付近には上方からの測面痕がわずかに認められ最打痕により生じたものと考えられる。下部面にも最打痕がわずかに認められる。	
第438号 PL-169	10231	6区 36号穴建物	砥石	埋土 完形	長 10.5 幅 6.2 重 344.2		粗粒輝石安山岩	垂門礫を利用する。表裏面の中央付近に磨面が認められる。表面には細かい方角の線条面が多数認められ、中央に最打痕が集中する。	
第438号 PL-169	10246	6区 37号穴建物	磨石	埋土 完形	長 13.5 幅 9.7 重 1452.0		粗粒輝石安山岩	垂門礫を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。	
第438号 PL-169	10247	6区 37号穴建物	砥石	埋土 1/3	長 (4.1) 幅 (3.6) 重 22.7	長 (1.3)	牛伏砂岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面には細かい線条面がわずかに認められる。上部小1面にも平目で滑らかな面が認められ砥面の可能性はある。左右両側面は曲面で構成され比較的滑らかであるが砥面であると判断できない。	
第438号 PL-169	10259	6区 39号穴建物	磨石	埋土 完形	長 7.0 幅 7.1 重 146.6	厚 2.2	砂岩	門礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	1号竪穴と同 一道横出土
第439号 PL-169	10741	6区 38号穴建物	磨製石 器	埋土 基部端欠	長 3.2 幅 1.9 重 2.2	厚 0.3	珪質単片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい線条面が認められる。孔は中央付近よりやや左側近くが狭くっており両面穿孔と考えられる。左側面にも孔の一部が認められるがその側面には研磨整形面が認められる。左側部については破損後に再加工(研磨整形)している可能性がある。	垂磨具の可能 性
第439号 PL-169	10249	6区 38号穴建物	磨石	埋土 完形	長 8.2 幅 6.9 重 417.2	厚 4.6	粗粒輝石安山岩	門礫を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に磨面が認められる。	
第439号 PL-169	10252	6区 38号穴建物	石皿	埋土 1/2	長 (21.7) 幅 (11.3) 重 1912.0	厚 (8.7)	粗粒輝石安山岩	表面は中央がわずかに窪み、凹面であり全体的に滑らかである。裏面はほぼ平直であるが左側中央にそれとは独立した平直面がわずかに残る。表面には不正円形の浅い窪みが複数認められる。側面は曲面で構成され全体的に滑らかであり研磨整形されたと考えられる。	
第439号 PL-169	10253	6区 38号穴建物	砥石	埋土 不明	長 12.2 幅 (7.7) 重 600.0	厚 4.4	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面が平直で非常に滑らかであり細かい線条面が比較的多く認められ砥面と判断される。上下両側面と右側面及び裏面に打削面と考えられる。裏面の一部には比較的滑らかな面所が認められ傾斜的な砥面の可能性はある。	
第439号 PL-170	10260	6区 40号穴建物	石鏝	埋土 完形	長 1.6 幅 1.2 重 0.6	厚 0.4	黒曜石	全体的に面的な二次加工が認められる。先端部を丸型状に作出する。	「飛行機銃頭」
第439号 PL-170	10261	6区 40号穴建物	スクレイ パー	埋土 完形	長 4.1 幅 11.1 重 38.9	厚 1.2	黒色頁岩	下側面の表面には微細な測面痕が集中する。表面の上側面には比較的大きな二次加工面が認められる。表面に素材削削の主要測面を大きく残し横長割片を利用する。	
第439号 PL-170	10271	6区 40号穴建物	砥石	埋土 不明	長 (5.8) 幅 (5.1) 重 40.7	厚 (1.0)	凝灰質砂岩	表面面に平直で滑らかな部分と認められ砥面と判断した。左右両側面は平直で滑らかであり砥面として機能した可能性はある。	
第439号 PL-170	10270	6区 40号穴建物	砥石	埋土 ほぼ完形	長 (5.7) 幅 (4.5) 重 33.5	厚 1.1	凝灰質砂岩	表面は全体的に平直で滑らかである。左右両側面と上下両側面は滑らかであり砥面として機能した可能性はある。左側面にはいくつもの作用面が認められる。	
第439号 PL-170	10263	6区 40号穴建物	磨石	埋土 完形	長 12.8 幅 10.0 重 1043.7	厚 5.1	粗粒輝石安山岩	門礫を利用する。表面の中央付近にはほぼ平直な磨面が認められる。	
第439号 PL-170	10265	6区 40号穴建物	磨石	埋土 4/5	長 11.5 幅 (11.1) 重 533.7	厚 2.5	粗粒輝石安山岩	扁平な門礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。側面に最打痕が散在する。	
第439号 PL-170	10272	6区 40号穴建物	研き石	埋土 完形	長 6.0 幅 3.3 重 64.3	厚 2.5	黒色頁岩	全体的に自然面であり垂門礫を利用する。全体的に滑らかであるが表面の上方に特に滑らかな部分と認められ細かい線条面がわずかに認められる。下部面には微細な測面痕がわずかに認められる。	

遺物観察表

第205表 石器観察表 40～43・45～49号竪穴建物、遺構外

採回 Pt. No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 現 存 率	計測値			石 材	成 形・形 状 の 特 徴	備 考
第438回 Pt. 170	10264	6区 40号穴建物	磨石	埋土 ほぼ完形	長 幅	(8.5) 7.1	厚 重	2.9 241.3	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面部の中央付近に磨面が認められる。表面の中央に特に滑らかな部分が認められる。
第440回 Pt. 170	10743	6区 41号穴建物	磨製石斧	埋土 刃部	長 幅	(4.1) (4.0)	厚 重	(1.7) 38.9	変式武岩	全体的に滑らかであり丁寧に研磨整形される。
第440回 Pt. 170	10277	6区 41号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	8.8 8.5	厚 重	3.5 327.6	粗粒輝石安山岩	扁平な円鏝を利用する。表面部の中央付近に磨面が認められる。
第440回 Pt. 170	10280	6区 42号穴建物	磨石 (磨製石斧)	不明	長 幅	(5.0) (4.9)	厚 重	(3.9) 115.7	変式武岩	表面上方と左側面上方に鋭打痕があり磨製石斧から鋭打具へ器種変化した可能性がある。
第440回 Pt. 170	10282	6区 42号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	15.1 12.5	厚 重	10.8 2961.2	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面のほぼ全面から左右両側面にかけて磨面が認められる。
第440回 Pt. 170	10284	6区 42号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	7.6 4.1	厚 重	3.6 151.3	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面と左側面の中央付近に磨面が認められる。上下端部に鋭打痕が集中する。
第440回 Pt. 170	10283	6区 42号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	9.3 7.1	厚 重	4.9 498.4	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面から右側面にかけて磨面が認められる。
第440回 Pt. 170	10289	6区 42号穴建物	砥石	埋土 完形	長 幅	7.7 3.0	厚 重	1.1 34.8	黒炭質砂岩	表面は全体的に滑らかであり右側面に向かい研ぎ減りする。上部小口面は全体的に平直で滑らかであり砥面として機能したと考えられる。裏面と下部小口面は平直であるが全体的に粗く砥面とは判断できない。
第440回 Pt. 170	10742	6区 43号穴建物	石鏝	埋土 1/2	長 幅	(1.0) (1.4)	厚 重	(0.3) 0.4	黒色安山岩	表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。
第440回 Pt. 170	10686	6区 遺構外	砥石	1/2	長 幅	(4.8) (4.6)	厚 重	(1.1) 31.7	黒炭質砂岩	表面には滑らかな部分から広範囲に認められる砥面と判断した。上側面と左右両側面には部分的に滑らかな面が認められ砥面として機能した可能性はある。裏面は凹凸が認められ滑らかな面も認められず打割面で構成される。
第440回 Pt. 170	10259	6区 43号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	4.1 8.8	厚 重	3.1 200.2	粗粒輝石安山岩	扁円鏝を利用する。表裏面と左側面のほぼ全面に磨面が認められる。
第440回 Pt. 170	10297	6区 43号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	8.8 7.5	厚 重	4.1 422.8	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面の上方及び下方に磨面が認められる。
第440回 Pt. 170	10298	6区 43号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	11.6 9.2	厚 重	5.6 819.7	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面の中央付近から右側面にかけて磨面が認められる。
第440回 -	10306	6区 45号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	6.1 5.2	厚 重	4.3 218.0	砂岩	円鏝を利用する。表面の凸部に磨面が認められる。表面には表層的な剥離層が散在し鋭打により生じた可能性がある。裏面全体にも磨面が認められる。
第441回 -	10309	6区 46号穴建物	磨製石鏝	埋土 完形	長 幅	(2.6) 1.9	厚 重	0.3 1.4	柱状準片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かく砥面が認められる。孔は中央付近よりやや裏面近くが狭く成っており両面穿孔と考えられる。孔の内面には表裏面に平行する方向の細かく、輪縁が認められ穿孔の際の加工痕と考えられる。
第441回 -	10312	6区 46号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	7.6 5.8	厚 重	1.8 125.2	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。
第441回 -	10311	6区 46号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	12.6 7.3	厚 重	4.1 584.0	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表裏面の中央付近に磨面が認められる。
第441回 -	10318	6区 46号穴建物	四石	埋土 完形	長 幅	11.1 8.8	厚 重	5.5 837.3	粗粒輝石安山岩	扁円鏝を利用する。全体的に磨面が認められる。表面の中央には斜め方向に線状を呈する凹みが認められ周囲には鋭打痕が集中する。
第441回 -	10313	6区 46号穴建物	石鏝	埋土 完形	長 幅	19.8 14.0	厚 重	5.5 2363.5	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表面の中央付近にはほぼ平面的な磨面が認められる。
第441回 -	10344	6区 47号穴建物	太型船方石斧	埋土 身部	長 幅	(8.9) (7.8)	厚 重	(4.7) 620.9	変はんれい岩	全体的に丁寧に研磨整形される。右側面から裏面の下端部には下部折断面を打面とする折断面が認められる。
第441回 -	10348	6区 47号穴建物	砥石	埋土 2/3	長 幅	(6.9) 5.4	厚 重	(1.3) 50.2	黒炭質砂岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。裏面は小さい凹凸があり滑らかでない砥面と判断できない。
第441回 -	10345	6区 47号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	9.0 7.7	厚 重	2.8 303.2	粗粒輝石安山岩	扁平な円鏝を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。
第441回 -	10359	6区 48号穴建物	砥石	埋土 完形	長 幅	36.0 17.2	厚 重	8.1 7700.0	デイサイト凝結岩	表裏面の中央付近に平直で滑らかな部分認められる。右側面は全体的に平直であり滑らかな部分認められる。それぞれ砥面と判断した。下側面は全体的に風化殻が認められ自然面と判断される。
第441回 -	10357	6区 48号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	10.9 7.7	厚 重	4.8 605.6	粗粒輝石安山岩	円鏝を利用する。表裏面の中央付近に磨面が認められる。
第442回 -	10365	6区 49号穴建物	二次加工ある割片	埋土 完形	長 幅	4.6 8.7	厚 重	1.5 51.0	黒色頁岩	大形割片を素材として先端部に散発的な二次加工痕が認められる。上側面は折断面でありながら折断面には二次加工痕がわずかに認められ、折断面を打面とする割断面が表面と面にならずに認められる。
第442回 -	10370	6区 49号穴建物	砥石	埋土 完形	長 幅	6.4 10.0	厚 重	1.5 84.2	黒炭質砂岩	表面は全体的に滑らかであり砥面と判断される。表面には鋭打具の窪みから鋭打痕の可能性がある。裏面も全体的にやや滑らかであり砥面の可能性がある。

第206表 石器観察表 49・50号竪穴建物、14・40号井戸、69・70・318号土坑

探検 No.	登録 番号	区 遺構名	種 類	材 種	出土位置 現存率	計測値			石材	成形・整形の特徴	備考
第442図 -	10366	6区 49号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	11.7 9.1	厚 重	3.2 455.6	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫を利用する。表裏面の中央付近に磨面が認められる。表面下側面と裏面左側面には割離痕が認められ縁打により生じた可能性がある。上下端部には縁打痕がわずかに認められる。	
第442図 -	10369	6区 49号穴建物	磨石	埋土 4/5	長	(7.2)	厚 重	1.5 66.6	砂岩	扁平な円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められ縁条痕がわずかに認められる。左右両側面には縁打痕が集中する。左右両側には外側方向からの割離痕が観察される縁打により生じたと考えられる。	
第442図 -	10372	6区 49号穴建物	研ぎ石	埋土 完形	長	3.8 2.7	厚 重	0.6 8.0	片貫頁岩	扁平な円礫。全体的に滑らかな面であり表裏面には細かい縁条痕がわずかに認められる。裏面の上下端部には微細な割離痕がわずかに認められる。	
第442図 -	10371	6区 49号穴建物	砥石	埋土 不明	長 幅	(4.2) 3.6	厚 重	0.9 18.9	燧灰質砂岩	表裏面は全体的に滑らかな面であり裏面と判断される。左右両側面と上部小口面も全体的に平坦で滑らかな面であり裏面と判断された可能性がある。	
第442図 -	10379	6区 50号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	7.1 7.0	厚 重	4.6 287.2	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。裏面には部分的な磨面が認められる。	
第442図 -	10380	6区 50号穴建物	砥石	埋土 完形	長 幅	4.7 4.0	厚 重	1.3 29.6	燧灰質砂岩	表面は全体的に滑らかな面であり縦方向の縁条痕がわずかに認められる。裏面は部分的に滑らかな面が認められ裏面として機能したと考えられる。上側面と左側面は曲面で構成されるが滑らかな部分があり裏面として利用された可能性がある。下側面には平坦で滑らかな部分があり裏面として機能したと考えられる。	
第442図 PL-170	10001	2区 14号井戸	磨石	埋土 完形	長 幅	15.3 11.7	厚 重	3.5 878.2	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。右側面に割離痕が集中し縁打により形成された可能性がある。	
第443図 PL-170	10419	6区 318号土坑	砥石	埋土 完形	長 幅	6.7 3.0	厚 重	1.2 23.5	牛伏砂岩	表裏面は全体的に滑らかな面であり裏面と判断される。下側面には平坦で滑らかな面が認められ裏面の可能性がある。	後世遺構へ流 れ込み
第443図 PL-170	10414	6区 318号土坑	磨石	埋土 完形	長 幅	7.8 6.8	厚 重	5.1 388.8	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表裏面と左側の中央付近に磨面が認められる。	後世遺構へ流 れ込み
第443図 PL-170	10418	6区 318号土坑	砥石	埋土 完形	長 幅	18.7 15.8	厚 重	4.8 2200.4	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫を利用する。表面の中央に滑らかな部分がある。	後世遺構へ流 れ込み
第443図 -	10763	7区 40号井戸	砥石	埋土 2/3	長 幅	(39.2) (20.1)	厚 重	(12.0) 9853.1	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表面のほぼ全面が平坦で滑らかな面である。	
第443図 -	10762	7区 40号井戸	砥石	埋土 完形	長 幅	40.0 29.6	厚 重	16.8 27100	粗粒輝石安山岩	大型円礫を利用する。表面は滑らかな部分がある。縦断面に認められ中央と下端部に特に滑らかな部分がある。	
第443図 PL-171	10004	2区 69号土坑(井戸)	磨製石鏃	埋土 基部欠	長 幅	2.9 (1.8)	厚 重	0.2 1.4	緑色片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい磨面が認められる。孔は表面から裏面に向かい狭くなっており片面穿孔の可能性が高い。ただし、裏面の孔は出口付近が狭く外向きに広がっており、最終的に裏面の出口付近を調整加工している可能性がある。	
第443図 PL-171	10010	2区 69号土坑(井戸)	砥石	埋土 約1/2か	長 幅	(9.0) (5.1)	厚 重	(4.0) 253.6	粗粒輝石安山岩	表裏面と両側面を裏面と判断した。裏面と内側面はほぼ平坦である。表面は二つの面で構成されそれぞれ滑らかに向内する。	
第443図 PL-171	10006	2区 69号土坑(井戸)	磨石	埋土 ほぼ完形	長 幅	6.2 6.6	厚 重	6.5 324.7	粗粒輝石安山岩	小形の楕円礫を利用する。表面の中央に磨面が認められほぼ平坦である。右側面にはまわりより風化が進行しておらず微かな凹で構成される部位が広範囲に広がる。これは縁打により形成された部分である可能性がある。	
第443図 PL-171	10009	2区 69号土坑(井戸)	砥石	埋土 不明	長 幅	(5.2) (4.2)	厚 重	1.4 31.7	砂岩	全体が滑らかな面であり全面的に裏面として利用された可能性がある。特に右側面の表裏面に著しい磨面が認められ、右側面の急角部の縁部面を利用した作業が想定される。	
第444図 PL-171	10013	2区 70号土坑(井戸)	磨製石鏃	埋土 完形	長 幅	2.4 2.0	厚 重	0.2 1.1	緑色片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい磨面が認められる。孔は表面から裏面に向かい狭くなっており片面穿孔の可能性が高い。	
第444図 PL-171	10025	2区 70号土坑(井戸)	砥石	下層 完形	長 幅	16.6 12.3	厚 重	6.0 1557.9	粗粒輝石安山岩	楕円礫を利用する。表面の中央付近と裏面のほぼ全面に滑らかな部分がある。これは縁打により形成された部分である可能性がある。それらの面はほぼ平坦である。	
第444図 PL-171	10018	2区 70号土坑(井戸)	磨石	下層 完形	長 幅	14.4 12.4	厚 重	7.2 1816.0	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表面の上方及び裏面の中央付近に磨面が認められる。	
第444図 PL-171	10023	2区 70号土坑(井戸)	砥石	中層 完形	長 幅	9.4 6.0	厚 重	2.3 224.7	粗粒輝石安山岩	楕円礫を利用する。表面には全体的に滑らかな面が認められ、中央部には帯状に非常に滑らかな部分があり僅かに内向する。裏面も全体的に平坦であり裏面等として利用された可能性がある。	

遺物観察表

第207表 石器観察表 70・91・127・146・159・216・362・363・391・446・474・497・505号土坑

探洞 PL. No.	登録 番号	区 遺構名	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			石材	成形・整形の特徴	備考	
第444号 PL. 171	10016	2区 70土坑(井 戸)	磨石	埋土 完形	長 幅	6.9 6.2	厚 重	5.3 305.3	粗粒輝石安山岩	小形円鏡を利用する。正面と両側面に磨面が認められる。	
第444号 PL. 171	10024	2区 70土坑(井 戸)	石皿	埋土 完形	長 幅	17.4 18.7	厚 重	9.1 4633.1	粗粒輝石安山岩	準円鏡を利用する。表面の中央に非常に滑らかな部分がある。	
第444号 PL. 171	10017	2区 70土坑(井 戸)	磨石	埋土 完形	長 幅	9.6 8.4	厚 重	4.0 367.4	粗粒輝石安山岩	円鏡を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。表面の中央には僅かな凹みがある。	
第444号 PL. 171	10424	2区北地区 362土坑 (井戸)	石皿	埋土 完形	長 幅	19.7 14.5	厚 重	7.0 2583.2	粗粒輝石安山岩	円鏡を利用する。表面のほぼ全面に滑らかな部分がある。裏面の左半面には非常に滑らかな部分がある。	
第444号 PL. 171	10426	2区北地区 363土坑 (井戸)	磨石	埋土 完形	長 幅	6.9 6.3	厚 重	5.1 313.1	粗粒輝石安山岩	円鏡を利用する。側面の一部を除きほぼ全面に磨面が認められる。	
第444号 PL. 171	10430	2区北地区 391土坑 (井戸)	磨石	埋土 完形	長 幅	1.8 0.9	厚 重	0.2 0.5	柱状片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。表面には全体的に細かい磨面が認められる。側面にも全体的に横方向の磨面が認められる。	模造品の可能性あり
第445号 PL. 171	10433	2区北地区 446土坑 (井戸)	磨製石鏃	埋土 1/4	長 幅	(2.9) (1.2)	厚 重	0.2 1.4	柱状片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい磨面が認められる。孔は中央付近が狭く、両側面に広がると考えられる。孔の内面には表裏面に平行する線条痕が認められる。	
第445号 PL. 171	10435	2区北地区 446土坑 (井戸)	磨石	埋土 完形	長 幅	11.6 7.7	厚 重	4.1 536.5	粗粒輝石安山岩	円鏡を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表裏面の中央には特に滑らかな部分がある。	
第445号 PL. 171	10432	2区北地区 446土坑 (井戸)	打製石斧	埋土 完形	長 幅	18.8 9.9	厚 重	2.2 495.7	粗粒輝石安山岩	先端刃部付近の表裏面には磨面が認められる。表面の先端付近には磨面より新しい割痕が集中する。表面上部にも磨面が認められる。表面の中央には素材割片の主要割面が広く認められる。横長割片を素材とする。裏面には自然面が広く認められ大形円鏡を利用する。	
第445号 PL. 171	10439	2区北地区 446土坑 (井戸)	石皿	埋土 完形	長 幅	23.2 13.6	厚 重	4.3 2158.6	粗粒輝石安山岩	扁平な円鏡を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分がある。	
第445号 PL. 171	10443	2区北地区 446土坑 (井戸)	砥石	埋土 完形	長 幅	11.6 10.6	厚 重	3.5 467.9	粗粒輝石安山岩	表面の広範囲に滑らかな部分があり断面V字状の線条痕が多く認められ砥石と判断した。扁平な円鏡を利用する。	
第445号 PL. 171	10438	2区北地区 446土坑 (井戸)	石皿	埋土 完形	長 幅	26.8 14.2	厚 重	13.4 800.0	粗粒輝石安山岩	準円鏡を利用する。表面の中央に平坦で滑らかな部分がある。	
第445号 PL. 172	10812	2区北地区 497土坑 (井戸)	砥石	埋土	長 幅	(5.4) (8.6)	厚 重	(1.8) 99.2	燧灰質砂岩	自然扁平円鏡利用。表面に横方向に研磨による線状痕。左側面にも割痕が残る。全体に焼痕。スス付着。下半部欠損。	発生井戸出土。スス付着
第445号 PL. 172	10750	2区北地区 497土坑 (井戸)	砥石	埋土 不明	長 幅	(5.3) (4.3)	厚 重	(0.9) 28.1	燧灰質砂岩	表裏面は全体的に滑らかである。左側面も全体的に滑らかであり砥石の可能性が高い。	
第445号 PL. 172	10450	2区北地区 505土坑 (井戸)	大型打石斧	埋土 刃部	長 幅	(6.6) 6.7	厚 重	(4.1) 204.7	変はんれい岩	全体的に丁寧に研磨されている。先端刃部付近の表裏面には斜め方向の線条痕が認められ使用痕の可能性が高い。	
第446号 PL. 172	10409	1区 216土坑 (墓塚)	磨製石鏃	埋土 基部欠	長 幅	(4.4) (1.8)	厚 重	0.3 2.8	柱状片岩	全面研磨により丁寧に整形されている。全体的に細かい磨面が認められる。孔は表面から裏面に向かい狭く、両側面に平行する方向の小さな段と細かい線条痕が認められ穿孔の際の加工痕と考えられる。	
第446号 PL. 172	10031	2区 91土坑	凹石	埋土 完形	長 幅	12.9 9.1	厚 重	3.9 480.4	粗粒輝石安山岩	表面には自然面が大きく残り裏面は割面である。大形円鏡を利用し磨面を素材とすると考えられる。表面の2か所に凹みが認められる。下方の凹みは平や縦長であり底部の落ち込みが3か所に別れている。	
第446号 PL. 172	10749	2区北地区 474土坑	砥石	埋土 不明	長 幅	(5.6) 4.1	厚 重	1.3 32.0	燧灰質砂岩	表裏面は全体的に滑らかである。右側面も比較的滑らかであり砥石として機能した可能性がある。	
第446号 PL. 172	10397	6区 127土坑	砥石	埋土 不明	長 幅	(2.9) (4.2)	厚 重	(1.4) 18.6	牛状砂岩	表裏面は全体的に滑らかであり砥石と判断される。表面には細かい線条痕が認められる。	
第446号 PL. 172	10398	6区 146土坑 (井戸)	石杵	埋土 完形	長 幅	7.7 5.4	厚 重	3.0 244.5	変はんれい岩	表裏面と左右両側面には縦方向の磨面がある。上部小口面は全体的に平坦で非常に滑らかな部分がある。下部小口面は折断面であるが非常に滑らかな部分がある。磨製石斧や打石斧等として利用されたと考えられる。また形状的特徴から推して利用された可能性もある。	
第446号 PL. 172	10402	6区 159土坑	石皿	埋土 ほぼ完形	長 幅	28.0 23.2	厚 重	19.7 1500.0	粗粒輝石安山岩	準円鏡を利用する。表面の上方に滑らかな部分がある。表面と右側面の中央付近には非常に滑らかな部分がある。	

第208表 石器観察表 439・508号土坑、98・99・145・147号溝、1号河川跡、1号集石、遺構外、岩押町遺跡4

採回 PL No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 埋 存 率	計測値			石 材	成 形・整 形 の 特 徴	備 考	
第446回 PL-172	10761	2区北地区 439土坑	石皿	埋土 不明	長 幅	(28.4) (26.1)	厚 重	11.8 11700	粗粒輝石安山岩	表面はほぼ平坦であり全体的に滑らかである。特に滑らかな部分が左側面に認められる。裏面は打割面で構成される。	
第446回 PL-172	10451	2区北地区 508土坑	石皿	埋土 1/2	長 幅	(12.5) 16.1	厚 重	7.8 2034.5	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面には滑らかな部分が左側面に認められる。裏面右半部と右側面及び下側面の一部に滑らかな部分が認められる。裏面左半部には縦方向の線痕が集中する。	
第447回 PL-172	10094	2区 98溝	石籠	埋土 完形	長 幅	2.8 1.9	厚 重	0.5 1.5	玉髓	全体的に面的な二次加工が認められる。両側面は僅かに断面状を呈する。	凹基無蓋籠
第447回 PL-172	10095	2区 98溝	敲石	埋土 完形	長 幅	9.0 4.7	厚 重	3.7 238.3	粗粒輝石安山岩	小形円鑿を利用する。下部面に敲打痕が集中する。表裏面のほぼ全面と左側面の一部に磨面が認められる。	
第447回 PL-172	10096	2区 99溝	磨石	埋土 完形	長 幅	13.1 7.7	厚 重	5.5 821.4	粗粒輝石安山岩	楕円鑿を利用する。表裏面及び右側面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第447回 PL-172	10481	6区 145溝	凹石	埋土 完形	長 幅	7.1 6.9	厚 重	4.2 182.0	粗粒輝石安山岩	表面の中央に扁平状の凹みが認められる。外面は全体的に曲面で構成されるが凹面であるか判断できない。	
第447回 PL-173	10487	6区 147溝	石皿	埋土 完形	長 幅	23.1 18.7	厚 重	13.5 11600.0	粗粒輝石安山岩	楕円鑿を利用する。表面の中央に平坦で非常に滑らかな部分が認められる。	
第447回 PL-173	10488	6区 147溝	砥石	埋土 4/5	長 幅	(8.7) (4.0)	厚 重	1.5 58.2	砂岩	表面はほぼ完全に滑らかな部分が認められ砥面と判断される。左側面も全体的に滑らかであり砥面と考えられる。裏面は滑らかな部分がわずかに認められ便宜的な砥面の可能性がある。	
第447回 PL-173	10485	6区 147溝	磨石	埋土 完形	長 幅	15.1 9.4	厚 重	4.2 873.6	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表裏面のほぼ全面が滑らかである。	
第447回 PL-173	10781	4区 1号河川跡	石籠	下層 ほぼ完形	長 幅	(3.3) 2.3	厚 重	0.3 1.8	黒色安山岩	表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。先端部には先端方向からの剥離痕が認められるが対象物に接触した際の衝撃剥離痕の可能性もある。	凹基無蓋籠
第447回 PL-173	10811	4区 1号河川跡	石籠	下層 完形	長 幅	2.4 1.4	厚 重	0.4 0.8	珪質頁岩	表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。表裏面の中央に素材断片痕跡の剥離面が比較的大く認められる。	
第448回 PL-173	10555	6区 1集石	磨製石斧	刃部	長 幅	(7.5) (7.2)	厚 重	(3.7) 290.4	変はんれい岩	全体的に丁寧に磨製整形される。先端刃部の表裏面には先端方向からの剥離痕が認められる。先端刃部の一部にはつばね面が認められる。	断面に内使用痕みられず
第448回 PL-173	10565	6区 1集石	磨石	完形	長 幅	14.6 11.1	厚 重	9.7 1582.0	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。表面には敲打痕が散在する。	
第448回 PL-173	10536	6区 1集石	石籠	完形	長 幅	10.7 6.3	厚 重	3.6 426.2	変はんれい岩	全面的に敲打痕が散在する。表面の中央には敲打痕が集中し浅い溝を呈する。下部小凹面は折断面であるが敲打痕が集中する。表裏面の下部面には下端方向からの剥離痕が集中し敲打により生じたと考えられる。磨製石斧から敲打痕として転用されたと考えられる。	研磨痕なし 表面凹面あり
第448回 PL-173	10747	6区 遺構外	砥石	不明	長 幅	(8.0) (6.0)	厚 重	(1.5) 80.5	凝灰質砂岩	表面はほぼ平坦であり全体的に滑らかである。裏面はわずかな起伏があるが全体的に滑らかである。右側面も全体的に滑らかであり砥面として利用された可能性がある。	
第448回 PL-173	10561	6区 1集石	凹石	完形	長 幅	13.4 11.8	厚 重	8.4 1590.4	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面の中央に浅線状の凹みが認められる。	
第448回 PL-173	10564	6区 1集石	磨石	完形	長 幅	16.1 6.6	厚 重	4.4 683.5	粗粒輝石安山岩	特殊の楕円鑿を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。下部面に敲打痕が集中する。	
第448回 PL-173	10581	6区 1集石	砥石	完形	長 幅	(9.6) (9.8)	厚 重	(3.2) 361.2	砂岩	表面の中央付近に平坦で非常に滑らかな部分が認められ砥面と判断した。裏面も平坦部分が広範囲に認められるが表面は滑らかでなく砥面であるか判断できない。	
第448回 PL-173	10560	6区 1集石	凹石	完形	長 幅	9.7 8.7	厚 重	6.2 723.9	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面の中央に浅線状の凹みが認められる。表面の中央付近と裏面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第449回 PL-173	10574	6区 1集石	石皿	完形	長 幅	21.2 18.6	厚 重	10.8 6550.0	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分が認められ左半部には縦方向の線痕がわずかに認められる。裏面には浅線状に窪んだ箇所があり内面が滑らかでありその一部に特に滑らかな部分が認められる。	
第449回 PL-173	10575	6区 1集石	石皿	完形	長 幅	20.0 17.4	厚 重	7.2 3423.1	粗粒輝石安山岩	扁平な円鑿を利用する。表面に敲打により生じた剥離痕が散在する。表面は全体的に比較的滑らかである。	
第449回 PL-173	10576	6区 1集石	石皿	完形	長 幅	18.3 14.6	厚 重	7.5 3194.9	粗粒輝石安山岩	円鑿を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分が認められる。	
第449回 PL-173	10563	6区 1集石	石皿	完形	長 幅	13.9 11.9	厚 重	3.3 775.3	粗粒輝石安山岩	扁平な円鑿を利用する。表面のほぼ全面に平坦で滑らかな部分が認められる。	
第450回 PL-173	11001	岩押町遺跡4 南端部	磨製石斧	完形	長 幅	13.7 5.7	厚 重	3.4 422.0	変玄武岩	全体的に丁寧に磨製整形される。表裏面の先端刃部には先端方向からの剥離面がわずかに認められる。	定角石斧

遺物観察表

第209表 石器観察表 213・420号土坑、41・128・142号溝、遺構外

検出 PL. No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			石 材	成 形・ 整形 の 特 徴	備 考	
					長	幅	厚				
第450図 PL. 174	10479	6区 142溝	敲石 (磨製石斧)	埋土 完形	長 幅	15.1 7.3	厚 重	3.8 737.6	変はれい岩	磨製石斧から磨削片等として転用利用されたと考えられる。上端部と左右両側面には磨製石斧整形の際の研磨面より新しい磨削面が集中する。下端部の表裏面には先端方向からの剥離面が多数認められ磨削による可能性がある。	後世遺構へ流 れ込み
第450図 PL. 174	10720	6区 遺構外	磨製石斧	刃部欠	長 幅	(12.8) (7.0)	厚 重	4.6 706.0	変はれい岩	全体的に非常に滑らかであり丁寧に磨削整形される。下側面は折断面である。	
第450図 PL. 174	10699	2区北地区 遺構外	石鏃	完形	長 幅	9.7 7.5	厚 重	5.0 654.7	変はれい岩	下部小口部と上部小口部右端部には滑らかな箇所が認められ部分部分に非常に滑らかである。磨削及び磨りより生じたと考えられる。磨製石斧から転用されたと考えられる。	
第450図 PL. 174	10692	2区北地区 遺構外	敲石 (磨製石斧)	完形(転用)	長 幅	6.1 6.6	厚 重	3.5 199.0	変はれい岩	先端刃部の表面側には先端方向からの剥離面が多数認められる。折断面は折断面であるが縁辺部に磨削面が集中する。折断面に横や縦打具として転用されたと考えられる。	
第450図 PL. 174	10724	2区北地区 遺構外	燧石片	1/4	長 幅	(4.2) (5.5)	厚 重	(3.2) 93.5	変はれい岩	平面部は環状であることが予想される。全体的に丁寧に磨削整形されており特に外側の側面部は非常に滑らかである。全体的に細かく研削加工が認められる。	
第450図 PL. 174	10746	1区 遺構外	石鏃	ほぼ完形	長 幅	(1.5) 1.2	厚 重	0.2 0.2	黒曜石	表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。両側面はわずかに剥離面を呈する。	四基基盤
第450図 PL. 174	10099	2区 遺構外	石鏃	完形	長 幅	4.3 1.3	厚 重	0.5 2.0	黒色頁岩	押し割面により全面丁寧に調整加工する。先端部を細く尖頭状に作出する。両側面は剥離面を呈する。	
第450図 PL. 174	10100	2区 遺構外	有茎尖頭器	4/5	長 幅	(5.6) 1.5	厚 重	0.6 5.2	柱状頁岩	全面が面的な剥離面で覆われ丁寧に整形されている。左右両側面はわずかに剥離面を呈する。	橋先に利用
第450図 PL. 174	10431	2区北地区 420土坑	磨製石鏃	埋土 ほぼ完形	長 幅	5.6 1.1	厚 重	0.2 1.5	柱状頁岩	全面磨削により丁寧に整形されている。全体的に細かく研削が認められる。孔は中央付近よりやや表面近くが狭くなっており両面穿孔と考えられる。孔の内面には表裏面に平行する方向の小さな段差と細い縦条痕が認められ穿孔の際の痕跡と考えられる。	後世遺構へ流 れ込み
第450図 PL. 174	10791	6区 遺構外	磨製石鏃	完形	長 幅	5.5 1.4	厚 重	0.3 2.3	柱状頁岩	全面磨削により丁寧に整形されている。全体的に横へ斜め方向の細かく研削が認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。孔径約2mm。	
第451図 PL. 174	10683	6区 遺構外	石鏃	完形	長 幅	14.7 9.4	厚 重	2.3 330.2	粗粒輝石安山岩	側面部は全体的に両面加工が認められる。左右両側面の中央付近にはつぶれ面が認められる。表面の中央には素材割片の主要剥離面が大きく認められ大形横長割片を素材とする。裏面には自然面を大きく残し円磨を利用する。	
第451図 PL. 174	10098	2区 遺構外	石鏃	完形	長 幅	16.1 10.0	厚 重	3.5 596.3	粗粒輝石安山岩	裏面に自然面を残し円磨を利用する。刃部付近を中心に磨削が著しく使用痕の可能性が高い。両側面の中央付近にはつぶれ面が認められ磨削痕の可能性が高い。	
第451図 PL. 174	10101	2区 遺構外	石鏃	完形	長 幅	17.2 9.7	厚 重	2.7 472.5	硬質頁岩	裏面に自然面を大きく残し円磨を使用する。表裏面の先端部付近に磨削が認められ使用痕の可能性が高い。両側面の中央付近にはつぶれ面が認められ磨削痕の可能性が高い。	
第451図 PL. 174	10408	1区 213土坑	打製石斧	埋土 完形	長 幅	15.8 7.4	厚 重	3.0 398.1	変式武岩	全体的に縁辺部に両面加工が認められる。先端刃部近位の表裏面には研削面が認められる。左側面の中央にはつぶれ面が認められる。表裏面の中央には自然面が大きく認められ円磨を利用する。	後世遺構へ流 れ込み
第451図 -	10036	2区 41溝	打製石斧	埋土 頭部欠	長 幅	(8.5) (6.0)	厚 重	(1.5) 92.6	雲母石英片岩	両側面の下方につぶれ面が認められ磨削痕の可能性が高い。表面中央にまわりより著しく風化の進行した面が認められ自然面と判断した。	後世遺構へ流 れ込み
第451図 PL. 174	10652	6区 128溝南岸集 中	スクレイパ ー	完形	長 幅	7.4 4.1	厚 重	1.1 50.9	変質玄武岩	表裏面の中央に研削箇所が広範囲に認められ部分的に縦条痕がある。上下両側面と左側面には両面加工の剥離面が認められる。右側面は表裏面が研削されておらず縁辺部が鋭角に整形されている。表裏面の中央に広範囲に認められる研削部分の周辺には研削以前の剥離面が認められる。側面部に全周的に認められる剥離面はこれからの研削より新しい剥離面である。	橋脚用の可能 性
第451図 PL. 174	10688	2区北地区 遺構外	割片	完形	長 幅	5.6 6.3	厚 重	2.2 61.9	黒曜石	背面に認められる大形の先行剥離面と主要剥離面の剥離方向はほぼ一致しており、比較的打面を固定した大形厚手の割片を生産する割片剥離技術が想定される。いわゆる有底割片に分される資料であり厚手の板状石核から大形割片を連続的に剥離する厚手剥離技術が復元できる。	

第210表 石器観察表 13・15・54・55・56号竪穴建物、128・137・255・274・275号溝、485号土坑、1号集中、遺構外

探洞 PL. No.	登録 番号	区 遺構名	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			石 材	成 形・整 形 の 特 徴	備 考	
					長	幅	厚				
第451号 PL. 174	10386	2区北地区 54号穴建物	二次加工あ る新片	埋土 完形	長 幅	4.4 7.2	厚 重	1.9 50.8	黒色頁岩	裏面に素材割片の主要割面を大きく残し縦長割片を利用する。自然打面である。上面に急角の二次加工が集中する。下面の裏面に微細な割痕が認められ下面加工の可能性が考えられる。	
第451号 PL. 174	10394	2区北地区 56号穴建物	石造	埋土 完形	長	4.7 7.3	厚 重	1.3 21.1	黒色頁岩	側面部全体に上面加工が認められる。先端部付近の表面には部分的に厚膜痕が認められる。裏面には素材割片の主要割面が大きく認められ横長割片を素材とする。	
第452号 -	10503	7区 255溝	不明石製品	埋土 完形	長 幅	23.0 9.1	厚 重	2.3 550.5	緑色片岩	緑色の結晶片岩類である。全体的に自然面であり扁平な扉門鏃を利用する。縁辺部に数発的な加工痕が認められる。	後世遺構へ流 れ込み
第452号 PL. 174	10716	6区 遺構外	砥石	1/2	長 幅	(6.0) (3.9)	厚 重	(1.1) 30.8	砂岩	表面はほぼ平坦で斜め方向の線条痕が多数認められる。裏面は上部に左向き研ぎ減りしている。裏面の全体にも線条痕が多数認められる。左側面は全体的に滑らかであり砥面として機能したと考えられる。右側面は平坦であり滑らかではないが砥面でないかと判断できる。裏面左側縁の縁上付近には微細な割痕が集中しており研ぎ等に利用された可能性がある。	
第452号 PL. 174	10695	6区 遺構外	砥石	1/3	長 幅	(3.6) 2.9	厚 重	1.3 15.7	牛状砂岩	表面は全体的に滑らかである。左右両側縁は鋭角である。上部小口面は曲面で構成されるが全体的に滑らかであり砥面として機能した可能性がある。	
第452号 PL. 174	10726	6区 遺構外	砥石	1/2	長 幅	(5.1) (3.2)	厚 重	(1.1) 21.6	牛状砂岩	表面は全体的に滑らかである。左右両側縁は全体的に滑らかであり砥面として機能したと判断される。左右両側縁にはわずかに内湾した面があり全体的に滑らかであり砥面として機能したと考えられる。上部小口面は平坦であり砥面として機能した可能性がある。	
第452号 PL. 174	10702	6区 遺構外	砥石	ほぼ正 方形	長 幅	6.7 3.3	厚 重	1.3 41.3	砂岩	表面はほぼ平坦で全体的に滑らかである。表面には縦方向の細かな線条痕が認められる。左右両側縁は全体的に滑らかであり砥面として機能したと考えられる。右側面の上にはわずかな段差が複数認められる。上下小口面は全体的に滑らかであり砥面として利用された可能性がある。	
第452号 PL. 174	10723	6区 遺構外	砥石	1/3	長 幅	(3.5) (3.9)	厚 重	(1.0) 16.9	牛状砂岩	表面は全体的に平坦で滑らかである。表面にはごく浅い溝状跡が縦方向に認められ内面は滑らかである。側面は全体的に曲面で構成され滑らかであり砥面として機能した可能性がある。	
第452号 PL. 174	10660	6区 15号壁付 近	砥石	2/3	長 幅	(7.3) (5.2)	厚 重	(1.2) 47.9	砂岩	表面はほぼ平坦であり縦方向の線条痕が認められ全体的に滑らかである。左右両側縁にはわずかな作出面が認められ砥面として利用された可能性がある。	
第452号 -	10768	2区北地区 275溝(竪溝)	砥石	埋土 不明	長 幅	(4.7) (5.2)	厚 重	(1.3) 26.9	層状頁岩	表面は全体的に滑らかである。裏面の一部と下面は比較的滑らかであり破損等の後欠砥面として利用された可能性がある。	
第452号 PL. 174	10383	2区北地区 55号穴建物	研ぎ石	埋土 完形	長 幅	6.3 2.0	厚 重	1.1 19.3	砂岩	小形棒状の門鏃。全体的に滑らかであり縦方向の線条痕がわずかに認められる。	
第452号 PL. 174	10647	1区 遺構外	磨石	完形	長 幅	5.7 5.6	厚 重	4.7 206.3	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。全面が滑らかである。表面の中央に特に滑らかな部分がある。	
第452号 PL. 174	10656	6区 128号溝南岸 集中	磨石	完形	長 幅	7.2 4.3	厚 重	4.5 205.2	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面から左側面にかけて磨面が認められる。表面の中央付近には特に滑らかな部分がある。	
第452号 PL. 174	10650	6区 128号溝南岸 集中	磨石	完形	長 幅	9.5 7.5	厚 重	5.1 504.2	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面の中央中央から左側面を経て裏面中央にかけて磨面が認められる。	
第453号 PL. 175	10508	2区北地区 274溝	磨石	埋土 完形	長 幅	10.2 10.3	厚 重	2.4 459.4	粗粒輝石安山岩	扁平な門鏃を利用する。表面のほぼ全面と裏面の一部に磨面が認められる。	後世遺構へ流 れ込み
第453号 PL. 175	10445	2区北地区 485土坑	磨石	埋土 完形	長 幅	7.7 7.8	厚 重	3.5 316.5	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	後世遺構へ流 れ込み
第453号 PL. 175	10389	2区北地区 54号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	9.5 9.0	厚 重	4.5 531.0	かこう岩	門鏃を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第453号 PL. 175	10461	1区 137溝	磨石	埋土 完形	長 幅	9.2 7.7	厚 重	4.6 416.2	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	後世遺構へ流 れ込み
第453号 PL. 175	10395	2区北地区 56号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	10.8 7.6	厚 重	5.3 585.0	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面のほぼ全面と裏面の中央付近に磨面が認められる。表面の中央付近と上部端に縦行痕が集中する。	
第453号 PL. 175	10032	2区 1遺物集中	磨石	1/3	長 幅	(6.0) 8.5	厚 重	2.9 226.4	粗粒輝石安山岩	門鏃を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。	
第453号 PL. 175	10147	6区 13号穴建物	磨石	埋土 完形	長 幅	10.1 7.7	厚 重	3.5 415.2	粗粒輝石安山岩	扉門鏃を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。	竪穴建物として 不認定

遺物観察表

第211表 石器観察表 13号竪穴建物、91・96・128・268・295・313号溝、70・388・430・485・522号土坑、遺物集中地点、遺構外

検出 PL. No.	登録 番号	遺構名	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			石 材	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第4539R PL.175	10608	2区北地区 268溝西岸	磨石	完形	長 18.3 幅 8.2	厚 5.1 重 1187.3	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表裏面と左右両側面の中央付近に平坦で滑らかな部分認められる。左右両側面に認められる滑面の縁辺部には緩やかな稜が形成される。		
第4539R PL.175	10522	2区南地区 295溝	磨石	埋土 ほぼ定形	長 16.5 幅 6.9	厚 4.7 重 922.6	粗粒輝石安山岩	稜状の円盤を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認められる。表面の下端部には下方からの磨削痕が集中する。上端部及び左右両側面に鋭打痕が散在する。	後世遺構へ流 れ込み	
第4539R PL.175	70003	2区 遺構外	敲石	完形	長 14.7 幅 6.9	厚 5.7 重 844.2	粗粒輝石安山岩	稜状の円盤を利用する。下端部に打痕が集中する。表面と両側面に磨面が認められる。		
第4539R PL.175	10034	2区 91溝	磨石	埋土 完形	長 9.5 幅 5.8	厚 4.1 重 383.8	粗粒輝石安山岩	稜状の円盤を利用する。表裏面と両側面に磨面が認められる。表面の下端部には下方からの磨削痕が集中する。下面は折断面と想定されるが、部分的な磨痕があり表面方向からの折断面も認められる。	後世遺構へ流 れ込み	
第4539R PL.175	10146	6区 13竪穴建物	石皿	埋土 1/2	長 14.8 幅 11.4	厚 7.8 重 1628.4	粗粒輝石安山岩	表面のほぼ全面が平坦で滑らかであり細かな縦溝がわずかに認められる。裏面の一部にも滑らかな面が認められる。	竪穴建物として 不認定	
第4539R PL.175	10524	2区北地区 313溝	石皿	埋土 完形	長 17.5 幅 12.7	厚 8.8 重 2273.5	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央に楕円形の浅鉢状の窪みが認められる。その内面も比較的滑らかである。裏面の中央にも不正円形の窪みが認められる。		
第4540R PL.175	10429	2区北地区 388土坑	石皿	埋土 不明	長 23.6 幅 17.9	厚 11.4 重 7500.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面に滑らかな部分認められ中央に浅鉢状の窪みがある。窪みの内面は比較的滑らかである。裏面の中央付近に滑らかな部分認められる。全体的に自然面であるが上側面から左側面にかけては打削面が構成される。		
第4540R PL.175	70004	2区 遺構外	石皿	埋土 4/5	長 12.2 幅 9.7	厚 4.7 重 570.0	文象斑岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面が非常に滑らかである。やや内湾し細かな縦溝が僅かに認められる。		
第4540R -	10760	2区南地区 430土坑	石皿	埋土 ほぼ定形	長 31.4 幅 22.0	厚 13.3 重 12400	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面のほぼ全面が平坦で滑らかである。表面上半部から右側面上半部へて裏面左上半部にかけては赤褐色であり受熱の可能性がある。	後世遺構へ流 れ込み	
第4540R PL.175	10609	2区北地区 遺物集中地点	石皿	完形	長 20.6 幅 14.1	厚 7.9 重 2915.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分認められ左半部が特に滑らかである。左側面と上側面は打削面であるが全体的に磨減している。表面の中央に滑らかな部分が位置することからこの形態で機能したと考えられる。		
第4540R PL.175	10444	2区北地区 485土坑	凹石	埋土 完形	長 16.7 幅 10.9	厚 6.2 重 1718.1	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分認められる。表裏面の中央や上方に浅鉢状の窪みが認められる。表裏面には表層的な凹凸痕が散在しており鋭打により生じたと考えられる。	後世遺構へ流 れ込み	
第4540R PL.175	10452	2区北地区 522土坑	石皿	埋土 不明	長 16.1 幅 17.4	厚 5.2 重 1611.2	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央付近に滑らかな部分認められる。表面の下端部左側には小さな表層的な凹凸痕が集中しており鋭打により生じた可能性が有る。	後世遺構へ流 れ込み	
第4540R PL.176	10448	2区北地区 485土坑	石皿	埋土 4/5	長 26.0 幅 19.6	厚 11.3 重 9500.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面の中央に滑らかな部分認められる。	後世遺構へ流 れ込み	
第4550R PL.176	10115	2区 遺構外	石皿	完形	長 23.2 幅 18.2	厚 10.2 重 6350.0	粗粒輝石安山岩	円盤を利用する。表面に帯状に非常に滑らかな部分がある。裏面の中央付近には鋭打による可能性のある凹みが2ヶ所認められる。		
第4550R PL.176	10654	6区 128号溝南岸 集中	石皿	完形	長 22.2 幅 25.6	厚 9.4 重 7600.0	粗粒輝石安山岩	扁平な円盤を利用する。表裏面の中央付近に滑らかな部分認められる。		
第4550R PL.176	10011	6区 96溝	石製凹形類 器品	埋土 完形	長 3.8 幅 4.0	厚 3.2 重 45.4	粗粒輝石安山岩	下半部の一部に浅弧文が認められる。上半部全体に二重の横線と三重の列点交互に配置される。列点は右方向からの衝突による無紋である。底部は平坦である。粟米式器の文様構成と同じ。		
第4550R PL.176	10027	2区 70土坑 (H/F)	紡輪	埋土 1/2	長 4.6 幅 2.4	厚 0.6 重 11.2	緑色片岩	表裏面ともよく研磨され平滑面が形成されている。側面も丁寧に研磨整形されている。孔は中央部が狭くなっており両面穿孔と考えられる。		

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第681集

高崎競馬場遺跡(1) 弥生・古墳時代編

コンベンション施設整備事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
出土遺物図・観察表

令和3(2021)年3月10日 印刷

令和3(2021)年3月23日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田784番地2

電話(0279) 52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/杉浦印刷株式会社

高崎競馬場遺跡(1)

— 弥生・古墳時代編 —

コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

写真図版

2021

群馬県
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

第681集

高崎競馬場遺跡(1)

弥生・古墳時代編

コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

写真図版

二〇二一

群馬県
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



高崎競馬場遺跡(1)

— 弥生・古墳時代編 —

コンベンション施設整備事業等に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

写真図版

2021

群 馬 県

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

写真図版目次

Pl. 1	2	区航空写真(N→) 南部環濠と張り出した半円形溝	4	245号溝下層での良い割材出土状況(S→)
Pl. 2	1	95号溝遺物出土状況(E→) 継続的発掘と想定される散在状況	5	245号溝上層出土状況(S→) 底面から中層にかけて散在
	2	95号溝南法面の段差(E→) 傾り直しの可能性を示す	Pl. 12	1 市道下245号溝(北東環濠)出土状況(E→)
	3	95号溝底面遺物出土状況(E→) 炭化材、土器片がみられる	2	市道下245号溝遺物出土状況 季→入道大の礫が多量に出土した
	4	95号溝底面の糠状木材(60055)出土状況	3	市道下245号溝上層断面E(E→) 遺物が環濠内側から流入
	5	95号溝上層断面(S→) 縦・V字断面で中心に黒褐色粘質土堆積、上面は浅間B軽石が水平に覆う	4	市道下245号溝上層断面F(W→) 大礫が投棄される
Pl. 3	1	96号溝半円部の分岐点(NW→) 半円部の環濠より浅く掘りかいた	5	市道下245号溝北法面のビット列(S→)
	2	96号溝半円部の断面G 上層に浅間C軽石混土が落ち込む	6	ビットP2230出土状況
	3	96号溝半円部の断面F 下半断面がU字形になる箇所	7	ビットP2231出土状況
	4	96号溝半円部の完掘状況(W→) 底面から少量の土器片が出土	Pl. 13	1 6区128号溝(北西環濠)出土状況(W→) 右側の内区に竪穴建物がある
	5	96号溝半円部の東側合流箇所(E→)	2	128号溝掘削状況(N E→) 遺物出土量は極めて少ない
Pl. 4	1	96号溝分岐部で検出された柱穴P 1、P 2	3	128号溝中央部検出状況(SW→) 溝上端に浅い土坑列
	2	柱穴P 1、P 2の検出断面 2基は対岸法面に位置する	4	128号溝上層断面E(W→) V字形の断面を示す
	3	96号溝内弧部の分岐点断面(NW→) 半円溝が環濠を切る上層にみえる	5	128号溝底面の炭化材出土状況
	4	P 1柱根の断面 柱材は二股部を倒立させてある	Pl. 14	1 2区北地区東部の航空写真(N→) 右に268号溝、左上に245号溝(外環濠)、下は中世風(275号溝)
	5	柱穴P 1(右)、P 2(左)の断面 柱根は地山の高峰泥流層からすり落ちて20cmほど突き立ての明らかである	2	268号溝南半部と東側遺物密集状況(S→)
Pl. 5	1	96号溝上層の遺物出土状況(E→)	3	268号溝中央部の遺物出土状況(E→)
	2	96号溝の遺物累積出土状況(SW→)	4	268号溝上層断面A-A'(S→) 人為的埋土の可能性
	3	96号溝の遺物出土状況(W→) 全体的に散在する箇所	5	268号溝中層からの遺物出土状況(SW→)
	4	96号溝の遺物累積出土状況(N→) 環濠上縁まで累積する	Pl. 15	1 6区北半部の竪穴建物と環濠128号溝(N→) 竪穴建物は狭い範囲で密集重複する
	5	96号溝上層断面Bと遺物堆積状況(E→) 底層は南から流入	2	6区1号・11号竪穴建物検出状況(N E→) 手前11号竪穴
	6	96号溝の遺物累積出土状況(N→) 完形品は見られない	3	6区30号竪穴建物検出状況(N→) 1号竪穴と同一建物
	7	96号溝遺物累積中心の状況(N→) 割れた土器が累積	4	6区1号・11号竪穴建物検出状況(NW→)
	8	96号溝中位の堆積灰層 ブロック状堆積で炭化物や土器片混入	5	1号竪穴建物のほか(SW→) 灰土・灰は不明瞭
Pl. 6	1	96号溝上層の大粒系割石砕け出土状況 石砕4点が出土	Pl. 16	1 6区2号竪穴建物検出状況(W→) 環濠(写真上)に直接する
	2	石砕4点の検出状態 石砕はほとんど未使用状態	2	2号竪穴建物遺物出土状況(N→) 土器片と礫が散在する
	3	95号溝底面の木材出土状況	3	6区3号竪穴建物検出状況(W→) 1・11号竪穴と重なる
	4	95号溝底面の石礫10039出土状況	4	3号竪穴建物と中央部P込み(SW→)
	5	95号溝底面の糠状材60055出土状況	5	6区4号竪穴建物検出状況(N→)
	6	96号溝下層の造形石製模造品10011出土状況	6	4号竪穴建物遺物出土状況(N E→)
	7	95号溝下層出土のモモ核	7	4号竪穴建物中央の遺物出土状況(N→)
	8	96号溝上層の大型船対石砕10070出土状況 上層から出土	8	4号竪穴建物遺物出土層位(E→)
Pl. 7	1	95号溝(右)と96号溝(左)の東側分岐(SW→)	Pl. 17	1 6区29号竪穴建物全景(NW→) 北端部(写真手前)は4号竪穴に相当する
	2	96号溝南法面のビットP 1 柱穴(左上)から脱落した柱礎	2	29号竪穴建物の炉(NW→) 炉内に大型土器片を重ねる
	3	96号溝上層断面 軽石を含む99号溝埋土が切れる	3	29号竪穴建物遺物出土状況(S→)
	4	96号溝東部遺物出土状態(SW→) 上→下層に土器片や礫が散在する	4	29号竪穴建物柱穴P 1
	5	96号溝上層断面Q(S→) 東内環濠として小規模になる	5	29号竪穴建物柱穴P 2
Pl. 8	1	2区北地区の西半部航空写真(W→) 291号溝(西外環濠)が外圍を画す	Pl. 18	1 6区5号竪穴建物検出状況(S→)
	2	291号溝全景(SW→) 南に95号溝、北に6区140号溝が連続する	2	5号竪穴建物遺物出土状況(S→)
Pl. 9	1	291号溝と内側に沿った288号溝(S E→)	3	5号竪穴建物遺物出土状況と上層(W→)
	2	291号溝上層断面A(S→)	4	5号竪穴建物完掘状況と上層(W→)
	3	291号溝上層断面C(S→)	5	5号竪穴建物ビットP 1上層
	4	291号溝の掘削平面状況(W→)	6	5号竪穴建物ビットP 2上層
	5	291号溝遺物出土状況(W→) 遺物は環濠内側から流入する	7	6区6号竪穴建物検出状況(N E→)
	6	291号溝底面遺物出土状況	8	6号竪穴建物遺物出土状況(N→)
	7	291号溝底面の土22790出土状況	Pl. 19	1 6区28号竪穴建物全景(N→) 北側部分(写真下の段差部)は6号竪穴に相当する
	8	291号溝底面の樺材出土状況	2	28号竪穴建物柱穴ビットP 8・9断面 粘土塊の掘り方埋土
Pl. 10	1	6区140号溝(西環濠)出土状況(S E→)	3	28号竪穴建物柱穴ビットP 8
	2	140号溝北端部の検出状況(S→)	4	28号竪穴建物柱穴ビットP 10断面 粘土塊で埋めた痕跡
	3	140号溝上層断面A(S→) 上層の左側で140号溝が切れる	5	28号竪穴建物柱穴ビットP 10・11・12(左から)
	4	140号溝南面断面(W→) 東→西断面で、内側は1号集石	Pl. 20	1 6区8号・12号竪穴建物全景と周辺状況(W→)
	5	1号集石出土状況(E→) 左上は140号溝	2	8号竪穴建物全景(W→)
	6	1号集石内土坑の灰分布状況	3	8号竪穴建物の床面(S→) 中央は炉の可能性
	7	1号集石内土坑断面(E→)	4	8号竪穴建物床面の断面(N→)
Pl. 11	1	7区245号溝(東外環濠)北半検出状況(S→) 中央部は「倉賀野取」用水(写真左)に切られる	Pl. 21	1 6区12号竪穴建物全景(N→)
	2	245号溝上層断面A(S→)	2	12号竪穴建物の土器敷(E→) 左側に炉石3個を並置
	3	245号溝上層断面と遺物出土状況	3	12号竪穴建物の土器敷が断面(W→)
	4	245号溝上層断面と遺物出土状況	4	土器敷の東に隣接する床面(N→)

	5	12号型穴建物内の135号上坑	3	31号型穴建物が上層断面(S→)	
	6	8号型穴建物内ビットP350断面(S→)	4	31号型穴建物遺物出土状態	
	7	8号・12号型穴建物内ビットP347・348・349断面(右から)	5	31号型穴建物無頭小遺22250出土状態	
PL.22	8	8号・12号型穴建物内ビットP307断面(W→)	PL.33	1	31号型穴建物柱穴ビットP1
	9	6区9号型穴建物出土状況(S E→)	2	31号型穴建物柱穴ビットP2	
	2	9号型穴建物遺物出土状況(S→)	3	31号型穴建物柱穴ビットP3	
	3	9号型穴建物遺物出土状況(E→)	4	31号型穴建物柱穴ビットP5	
	4	9号型穴建物遺物(22193)出土状況	5	31号型穴建物柱穴ビットP4	
PL.23	5	9号型穴建物上層(W→)	6	31号型穴建物柱穴ビットP6	
	1	6区22号型穴建物出土状況(W→) 9号型穴と重なる	7	31号型穴建物柱穴ビットP7	
	2	9号・22号型穴建物内ビットP305断面	8	31号型穴建物内165号上坑・ビットP420・422・423	
	3	9号・22号型穴建物内ビットP305断面	PL.34	1	6区44号型穴建物出土状況(W→)
	4	6区10号型穴建物出土状況(S W→)	2	44号型穴建物が埋込遺物出土状況(W→)	
	5	10号型穴建物遺物出土状況(S→)	3	44号型穴建物断面(W→)	
	6	6区15号型穴建物出土状況(S→) 写真左の12号型穴に隣接	4	44号型穴建物内ビットP1	
	7	15号型穴建物上層断面(S W→)	5	44号型穴建物床面上の焼土堆積断面	
	8	15号型穴建物ビットP1断面	PL.35	1	6区32号型穴建物全層(S E→) 左端中央に45号型穴が重なる
	PL.24	1	6区17号型穴建物出土状況(N→)	2	32号型穴建物遺物出土状況(S E→)
2		6区19号型穴建物出土状況(W→)	3	32号型穴建物上層断面(E→)	
3		19号型穴建物内2号埋裏(S→) 柳の一部と考えられる	4	32号型穴建物が出土状況(E→) 土器の上に礎を載せる	
4		19号型穴建物内ビットP352断面	5	32号型穴建物が使用面(N W→)	
5		19号型穴建物内ビットP353断面	6	32号型穴建物掘り方調査(S E→)	
6		19号型穴建物内ビットP359断面	7	32号型穴建物内南東ビット群(S E→)	
7		19号型穴建物内ビットP360断面	8	6区45号型穴建物遺物出土状況(S→) プランは不明	
8		19号型穴建物内ビットP361断面	PL.36	1	6区33号型穴建物出土状況(S E→)
PL.25		1	6区21号型穴建物出土状況(E→)	2	33号型穴建物遺物出土状況(S E→)
		2	21号型穴建物内4号埋裏(S→)	3	33号型穴建物土器胎付10210出土状況
PL.26	1	6区南平部調査区全層(E→) 鉄製の目に構築されたコンクリート基礎の間を調査する。中央遠方に雲化湖の湖山が見える	4	33号型穴建物内ビットP1	
	2	6区南平部調査区全層(S→) 道路周辺は都市化が進む。遠方に権名山(左)、子持山と小野子山(中央)、赤城山(右)が一瞥できる	5	33号型穴建物内ビットP2断面	
PL.27	1	6区南平部の型穴建物部分布状況(上方が北) 個別遺構の平面プランは不明瞭ながら、主軸が西に傾く傾向がうかがえる	6	33号型穴建物内ビットP3断面	
	2	上写真の概略図	7	33号型穴建物内155号上坑(W→)	
PL.28	1	6区25号型穴建物遺物出土状況(S E→) 想定北壁に沿って遺物が出する	8	33号型穴建物内156号上坑(W→) 中央やや左はビットP1	
	2	6区25号型穴建物遺物出土状況(S W→)	PL.37	1	6区34号型穴建物遺物出土状況(N→) 建物プランは不明
	3	25号型穴建物北側上層断面(S→)	2	34号型穴建物出土状況(S E→)	
	4	25号型穴建物上層断面(W→)	3	34号型穴建物遺物22277出土状況	
	5	25号型穴建物出土状況(S E→)	4	34号型穴建物内ビットP2・3出土状況(N→)	
PL.29	6	25号型穴建物内ビットP1断面	5	6区35号型穴建物出土状況(N→)	
	7	25号型穴建物内ビットP2断面	6	35号型穴建物上層断面(E→)	
	8	25号型穴建物内ビットP3断面	7	35号型穴建物内ビットP1断面(S→)	
	PL.29	1	6区26号型穴建物出土状況(S E→)	8	35号型穴建物の壁溝(S E→)
	2	26号型穴建物上層断面(W→)	PL.38	1	6区37号型穴建物遺物出土状況(S→)
PL.30	3	26号型穴建物遺物出土状況(S→)	2	37号型穴建物上層断面(S→)	
	4	26号型穴建物遺物出土状況(S E→)	3	37号型穴建物南東部遺物出土状況(S→)	
	5	6区27号型穴建物出土状況(N→) 手前は39号型穴、中央は142号溝(中世以降)が切れる	4	37号型穴建物南西部の壁溝(N E→)	
	6	6区27号型穴建物遺物出土状況全層(N→)	5	6区36号型穴建物出土状況(S E→) 平面プランはほぼ推定による	
	7	27号型穴建物遺物出土状況全層(E→)	PL.39	1	6区36号型穴建物遺物出土状況と上層断面(E→)
PL.31	8	27号型穴建物遺物密集箇所(E→)	2	36号型穴建物遺物出土全層(W→)	
	9	27号型穴建物遺物取上げ作業(S W→) 中央は142号溝	3	36号型穴建物のか・ビット出土状況(W→)	
	5	27号型穴建物上層断面(S→)	4	36号型穴建物が使用面(中) 方向の揃った炭化材が詰まる	
	6	27号型穴建物断面(S→) 偏平礫上に焼土塊が堆積	5	36号型穴建物内ビットP1	
	7	27号型穴建物が出土状況(N W→) 手前に焼土塊が広がる	6	36号型穴建物内ビットP2	
	8	27号型穴建物掘り方状況(E→)	7	36号型穴建物内ビットP3	
	9	6区30号型穴建物出土状況上層断面(E→)	8	36号型穴建物内ビットP5	
	10	30号型穴建物遺物出土状況(S→)	PL.40	1	6区38号型穴建物遺物出土状況(W→)
	11	30号型穴建物内ビットP1断面	2	38号型穴建物上層断面(S→)	
	12	30号型穴建物内ビットP3断面 左上はP4	3	38号型穴建物磨製石鏃10741出土状態	
PL.32	13	6区31号型穴建物遺物出土状況全層(W→)	4	38号型穴建物出土状況(W→)	
	14	31号型穴建物遺物出土状況全層(S E→)	5	6区40号型穴建物遺物出土状況(S→)	
	15	31号型穴建物上層断面(N→)	6	40号型穴建物出土状況(S→)	
	16	31号型穴建物遺物出土状況と上層断面(S→)	7	40号型穴建物内ビットP2断面	
	17	31号型穴建物遺物出土状況と上層断面(S W→)	8	40号型穴建物内150号上坑出土状況(N E→)	
PL.41	18	31号型穴建物出土状況(S W→)	9	6区41号型穴建物遺物出土状況(S E→)	
	19	31号型穴建物出土状況(S W→)	10	41号型穴建物上層断面(E→)	
				11	41号型穴建物出土状況(S→)
				12	6区42号型穴建物遺物出土状況(S→)
				13	42号型穴建物上層断面(E→)

	7	42号整穴建物検出状況と手前の160号土坑(N→)	7	54号整穴建物手づくね土留23114出土状況(E→)
	8	42号整穴建物想定床面と160号土坑(N→)	8	2区北地区386号土坑断面(W→) 54号整穴の東辺で重複する
PL-42	1	6区43号整穴建物遺物出土状況全景(S→)	PL-53	1 2区北地区55号整穴建物遺物出土状況全景(N→) 東側(写真左)で268号溝(堀内面)と重複する
	2	43号整穴建物検出状況(S→)	2	2区北地区55号整穴建物北半部遺物出土状況(N→)
	3	43号整穴建物上層断面(S→) 段差は惣惣穴の重複	3	55号整穴建物西部遺物出土状況(N→)
	4	43号整穴建物内ビットP 2断面 埋土に土層片が入る	4	55号整穴建物中央部遺物出土状況(E→)
	5	43号整穴建物内ビットP 3断面 上面に礫がある	5	55号整穴建物上層断面(E→)
PL-43	1	6区46号整穴建物遺物出土状況(S→) ほぼほ全面に散在	PL-54	1 2区北地区56号整穴建物検出状況(S W→)
	2	46号整穴建物と重複構造物検出状況(S→)	2	56号整穴建物・1号遺物集積箇所(E→) 中央に513号土坑
	3	46号整穴建物上層断面(S→)	3	56号整穴建物・1号遺物集積箇所遺物22536出土状況
	4	46号整穴建物土器出土状況区分	4	56号整穴建物・1号遺物集積箇所所有れ札22537出土状況
	5	6区47号整穴建物遺物出土状況(S→)	5	56号整穴建物・1号遺物集積箇所遺物出土状況(N→)
	6	47号整穴建物上層断面(E→)	6	56号整穴建物・1号遺物集積箇所遺物出土状況(W→)
	7	47号整穴建物遺物出土状況部分(S→)	7	1号遺物集積所を切る513号土坑(E→)
	8	47号整穴建物磨製石斧(10344)出土状況	8	2区北地区513号土坑遺物出土状況
PL-44	1	6区48号整穴建物検出状況(W→) 左上方は161号土坑、手前は163号土坑	PL-55	1 6区57号整穴建物の検出状況
	2	48号整穴建物西部検出状況(S E→)	2	57号整穴建物の上層ベルト内遺物の状況
	3	48号整穴建物遺物出土作業(W→)	3	57号整穴建物P 1検出状況(E→)
	4	48号整穴建物遺物出土状況(W→)	4	57号整穴建物P 2上層断面(E→)
	5	48号整穴建物上層断面(W→)	5	6区57号整穴建物東側の遺物検出状況(W→)
PL-45	1	48号整穴建物内ビットP 3検出状況(N→)	6	6区57号整穴建物東側の遺物出土状況(S→)
	2	ビットP 3の台付笠22332高杯22333出土状況	7	6区P 415上層断面(E→)
	3	ビットP 3の完備状況(E→)	8	6区57号整穴建物東側の堆積上層断面(S→)
	4	48号整穴建物内ビットP 1断面	PL-56	1 6区1号埋設検出状況 15号整穴建物の埋設がに認定
	5	48号整穴建物内ビットP 2断面	2	6区2号埋設(S→) 19号整穴建物の埋設がに認定
	6	48号整穴建物内ビットP 4断面	3	6区3号埋設(S→) 15号整穴建物施設に認定
	7	48号整穴建物内ビットP 5断面	4	6区4号埋設(S→) 21号整穴建物施設に認定
	8	48号整穴建物東側の台石出土状況(W→)	5	2区北地区単独出土土器出土状況(E→)
PL-46	1	6区49号整穴建物遺物出土状況(N→) 遺物は全体に拡がるが、中央段差の左右で密度が変わる	6	2区北地区単独出土土器土層の(S→) 調査区北壁
	2	49号整穴建物炭化材出土状況(N→) 炭化材は段差の東半部(左半)に分布する	7	2区北地区単独出土土器下部状態 割れているが欠損はない
PL-47	1	49号整穴建物西部遺物出土状況(N→)	8	2区北地区単独出土土器断面(E→) 床面らしき硬化面はない
	2	49号整穴建物遺物出土状況と上層断面(W→)	PL-57	1 2区10号掘立柱建物全景(N→)
	3	49号整穴建物西部灰層断面(S→) 想定床面に堆積する	2	10号掘立柱建物柱穴ビットP 2断面
	4	49号整穴建物西部灰層断面(W→)	3	10号掘立柱建物柱穴ビットP 3断面
	5	49号整穴建物西部灰層検出状況(S W→)	4	10号掘立柱建物柱穴ビットP 8断面
	6	49号整穴建物東部炭化材出土状況(N→)	5	10号掘立柱建物柱穴ビットP 10断面
PL-48	1	49号整穴建物炭化材出土状況(S→) 左下に灰層	PL-58	1 2区10号井戸確認状況(N W→) 上面に大きな礫を載せる
	2	49号整穴建物炭化材除去状況(N→) 段差東側の想定床面	2	10号井戸側面状況(S W→) 95号溝埋設後に掘る
	3	49号整穴建物内ビットP 1断面(S→) 炭化材下で検出	3	10号井戸遺物出土状況(S W→) 井桁状の削材と直下半部
	4	49号整穴建物内ビットP 1検出状況	4	10号井戸掘り方(N W→) 底面は隅丸方形
PL-49	1	49号整穴建物内ビットP 1検出状況	5	10号井戸遺物出土状況側面(S→) 遺21163の形状から発生後期階清水式に類することが分る
	2	49号整穴建物内ビットP 2断面 掘り方に粘土層を充填	PL-59	1 2区12号井戸・78号土坑露出土状況(W→)
	3	49号整穴建物内ビットP 2検出状況	2	12号井戸上層断面(W→) 礫層は中層に堆積する
	4	49号整穴建物内ビットP 3検出状況	3	78号土坑出土木片(N→) 12号井戸との重複関係は不明
	5	49号整穴建物遺物22400出土状況(N→)	4	12号井戸・78号土坑掘り方(N→) 両者一体の可能性あり
PL-50	1	6区50号整穴建物(土坑)遺物出土状況(S→) 完形に近いものから小破片まで土器が密集堆積する	5	2区13号井戸確認状況(S W→)
	2	50号整穴建物遺物出土状況(E→)	6	13号井戸底面出土状況の遺21183 小型完形品で横たわる
	3	50号整穴建物下層遺物出土状況(E→)	7	13号井戸掘り方(S→)
	4	50号整穴建物北側ビットP 1断面	8	2区14号井戸検出状況(W→) 96号溝底面で確認
	5	50号整穴建物北側ビットP 2断面	PL-60	1 2区69号土坑掘り方全景(W→) 手前が円形部、奥が突出部で、底面はつながら
PL-51	1	6区北地区51号整穴建物断面(S→)	2	69号土坑下層の材出土状況(S→) 長い材が円形部から突出部にかけて横たわる
	2	6区北地区52号整穴建物断面(S→)	PL-61	1 69号土坑上層断面(S→)
	3	52号整穴建物検出状況(S→)	2	69号土坑中位の焼土・灰層断面(S→)
	4	52号整穴建物検出状況(E→)	3	69号土坑灰層中の炭化植物痕
	5	53号整穴建物検出状況(E→)	4	69号土坑の炭化植物物に載る灰層
	6	53号整穴建物P(?)検出状況(E→)	5	69号土坑灰層中の炭化植物
	7	53号整穴建物内ビットP 1検出状況	6	69号土坑土層片出土状況(S W→) 掘出し部側から流れ込む
	8	53号整穴建物内ビットP 1遺物出土状況(N→)	7	69号土坑掘出し部の掘り方(S→)
PL-52	1	2区北地区54号整穴建物検出状況(W→) 写真左上に268号溝	PL-62	1 2区70号土坑掘り方全景(E→) 69号土坑と逆に、西側に突出部がある
	2	54号整穴建物遺物出土状況と上層断面(S W→)	2	70号土坑確認時の遺物出土状況(E→)
	3	54号整穴建物遺物出土状況全景(W→) 遺物は帯状に分布	3	70号土坑中位の灰層断面検出状況(S→)
	4	54号整穴建物北東部遺物出土状況(N→)	4	70号土坑中位の灰・焼土層断面(S→)
	5	54号整穴建物北東部遺物集束状況(N→)	5	70号土坑灰層下の遺物出土状況(S→)
	6	54号整穴建物東辺中央確認出土状況(E→) 300号土坑に伴う		

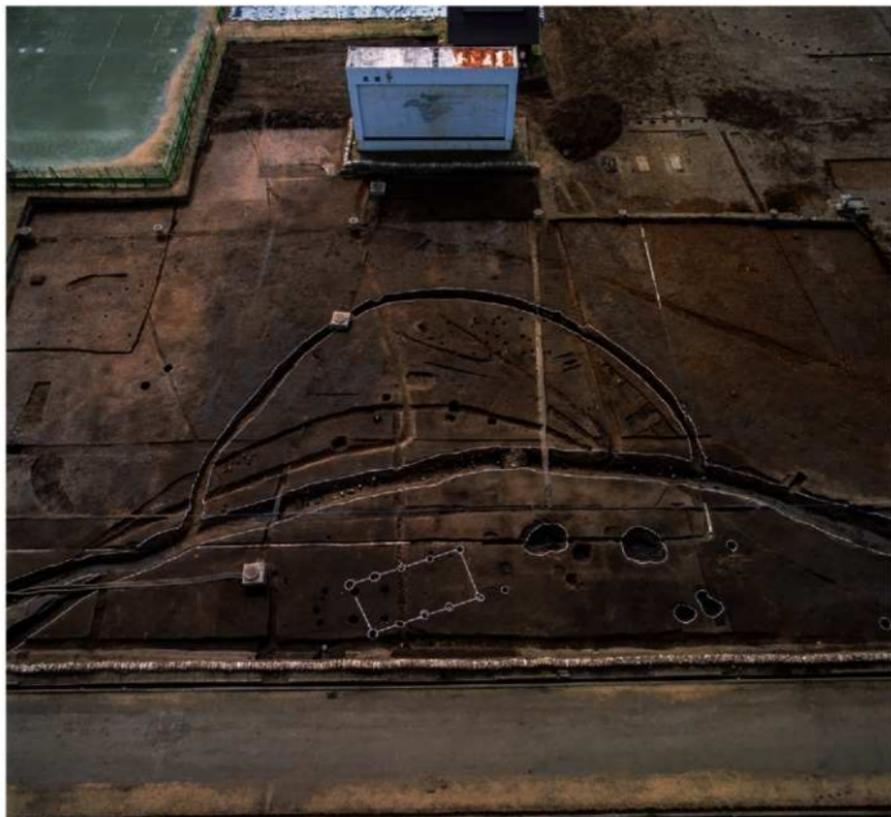
- PL_63 1 70号土坑下層の木器・木材出土状況 左側に白60006の分割品が横たわる
2 70号土坑下層遺物出土状況(S→) 材の上に礫や土器堆積
3 70号土坑下層の上層出土状態 欠損品や破片が主である
4 70号土坑中層の上層片と懸片出土状況
5 70号土坑中層出土の植物体を束縛した縄
- PL_64 1 2区73号土坑中層の遺物出土状況 土器と礫が投げ込まれた
2 73号土坑掘り方(S→) わかたが湧水がある
3 2区89号土坑掘り方(W→)
4 89号土坑底面上のヒヨウナン果
5 89号土坑遺物出土状況 下層に投げ込まれたと思われる状態で古墳前期の器台等が出土
- PL_65 1 2区北地区361号土坑掘り方(S→)
2 361号土坑土層断面(S→) 中位に灰・焼土層が堆積する
3 361号土坑底面の壺22547出土状況
4 2区北地区362号土坑土層断面出土状況(W→)
5 362号土坑北西張り出し部(W→)
6 362号土坑土層断面(W→)
7 362号土坑中層遺物出土状況(S→) 土器欠損品、破片が主
8 362号土坑下層の材出土状態
- PL_66 1 362号土坑掘り方と底面上の壺2点(W→)
2 362号土坑全量(E→) 平面は扇形
3 362号土坑底面の壺22567・22568出土状態 頸部を交差
4 362号土坑下層の遺物出土状況
5 362号土坑下層出土の加木板60023 下位に見える
- PL_67 1 2区北地区363号土坑遺物出土状況(S E→)
2 363号土坑下層掘削状況(S E→)
3 363号土坑底面上短頸壺22575 頸部に正立させた完形品
4 363号土坑掘り方全量(S W→) 南側はテラス状
5 2区北地区365号土坑掘り方全量(N→) 地山下半がグライ化しており、湧水層となる
- PL_68 1 365号土坑土層断面(S→)
2 365号土坑壁掘り方全量
3 365号土坑壁の状態 中位壁面に浅い窪みを残す
4 365号土坑遺物出土状況(N→)
5 365号土坑底面上の壺2点22584・22585 紅白の壺が頸部を交差して崩壊されていた
- PL_69 1 2区北地区391号土坑掘り方(S→) 土層が扇形に開く
2 391号土坑土層断面と遺物出土状況(S→) 灰・焼土層の下
3 391号土坑遺物出土状況(S→) 上→中層に礫と土器片が充満
4 391号土坑下層の礫出土状況
5 2区北地区438号土坑土層断面(N→)
6 438号土坑遺物出土状況(W→) 壁から滑り落ちた状況
7 438号土坑掘り方と底面上の遺物(N→)
8 438号土坑底面の壺2点22663・22665
- PL_70 1 2区北地区446号土坑確認状況(W→) 礫が充満する
2 446号土坑上位層除去状況(S→) L字状に置かれた板材
3 446号土坑上位層で出土した磨製石礫片10433
4 446号土坑上位出土板材(S→)
5 446号土坑中層の礫と板材(N→)
6 446号土坑中層の木器未成品・板出土状況
7 446号土坑中層の磨製未成品60024
8 446号土坑下層の加工材出土状況60042ほか
- PL_71 1 446号土坑底面上の壺2点22683・22683 左の壺は胴部穿孔がある
2 446号土坑掘り方全量(N→)
- PL_72 1 2区北地区497号土坑土層断面(S→)
2 497号土坑下層遺物出土状況 礫多く、板材や杭がみられる
3 497号土坑下層遺物出土状況全量(S→)
4 497号土坑掘り方全量(S→) 大小の円形を結合した形
5 2区北地区505号土坑遺物出土状況全量(N→) 東壁(写真下方)に梯子60030が斜位で出土した
- PL_73 1 505号土坑土層断面と中位遺物出土状況(E→)
2 505号土坑下層遺物出土状況(N→) 黒土が厚く堆積する
3 505号土坑下層黒土の状態 植物体が多く含まれていた
4 505号土坑梯子出土状態(N→) 壁から音状固結土突出
5 505号土坑掘り方全量(N→) 円形井戸は北側に偏り、南側にテラス状の平面面がある
- PL_74 1 2区北地区509号土坑全量(E→)
2 509号土坑土層断面(S→)
3 2区北地区86・526号土坑土層断面出土状況
4 86・526号土坑土層断面 壺上部を倒立埋設したもの
5 86・526号土坑土層断面(S→) 土器片井戸埋設後の埋置
6 86・526号土坑掘り方全量(S→) 円形断面に平面面が属する
7 6区北地区36号井戸(H323土坑)全量 平面円形の筒形
8 36号井戸土層断面(S→)
- PL_75 1 6区北地区38号井戸(H318土坑)掘り方(W→)
2 38号井戸遺物出土状況 中下部に礫と土器片が出土する
PL_76 1 38号井戸底面上の壺2点22889・22892
2 38号井戸下層出土の板材60050
3 38号井戸出土の壺22885
4 後世に打ち込まれた矢板 土器を貫通する
5 38号井戸遺物出土状況全量(S→) 主に南側から流入したと思われる
- PL_77 1 7区40号井戸掘り方(E→) 整った円形で、漏斗状に開く
2 40号井戸断面(E→)
3 40号井戸遺物出土状況 礫、土器、木材が詰まる
4 2区北地区50号井戸掘り方(W→)
5 50号井戸土層断面と礫出土状況(E→)
- PL_78 1 6区146号土坑検出状況(N→) 礫と土器片が集中する
2 146号土坑遺物出土状況(S→) 中層に多く含まれる
3 146号土坑層出土の石片10398
4 146号土坑下層断面(S→)
5 146号土坑掘り方全量(S→) 円形筒形が2本重なった形状
- PL_79 1 1区南地区215号土坑土層断面(E→) 木箱墓壁に認定
2 1区南地区216号土坑土層断面(E→)
3 216号土坑(手前)と218号土坑(奥)
4 216号土坑出土磨製石礫10409 礫床面南西露から出土
5 216号土坑出土土器片22447 礫床面南西露上の非住地土器片
- PL_80 1 216号土坑検出状況(E→)
2 216号土坑礫床面西平断面(N→)
3 216号土坑礫床面東平断面(N→)
4 216号土坑礫床小口の掘り込み
5 216号土坑掘り方(N→) 東西端に4×1板を立てる溝を掘り込む
- PL_81 1 1区南地区218号土坑礫床面検出状況(N→)
2 1区南地区218号土坑礫床面検出状況(E→)
3 218号土坑埋土長軸断面(E→)
4 218号土坑掘り方(N→)
5 218号土坑と181号溝(W→) 181号溝の上に構築
- PL_82 1 1区南地区245号土坑検出状況(S→)
2 245号土坑遺物出土状況(S E→) 円形礫敷きの中央に土器
3 245号土坑中央の短頸壺22454 壺柄の可能性が考えられる
4 245号土坑礫敷きの状況(S→) 礫の夫きさ不定
5 1区南地区246号土坑検出状況(S→)
6 246号土坑礫床断面(S→)
7 246号土坑礫床断面(E→)
8 246号土坑掘り方(W→) 東端の小口板(板)のみ確認
- PL_83 1 1区南地区246号土坑と268号土坑(W→) 中央が268号土坑、右は溝状の229号土坑
2 268号土坑検出状況(N→)
3 268号土坑掘り方調査状況(S→)
4 268号土坑の小口板断面(S→)
5 268号土坑検出状況(W→) 東側は礫床が欠損する
- PL_84 1 1区南地区297号土坑検出状況(W→) 礫床は荒れた状態
2 297号土坑掘り方(E→)
3 297号土坑とビットP463(E→) ビットは21号掘立柱建物
4 297号土坑と21号・22号掘立柱建物
5 礫床墓の立地する低丘地形(N→) 幅25mほどの範囲内で墓群が確認された
- PL_85 1 2区103・110・111号溝(S E→)
2 111号溝検出状況(S→) 南端延長部は不明
3 111号溝土層断面(S→) 上層に浅間C軽石混土が落ち込む
4 103・111号溝重複断面(S→) 溝内に後期縄文土器出土
5 111号溝と榎木(S→) 溝を榎木根が切る
6 6区129号溝検出状況(W→) 幅25mの溝の内側に沿う

	7	129号溝上層断面(W→)	浅間C軽石混土が上層に堆積	6	4区343号溝検出状況(E→)		
	8	6区131号溝検出状況(N E→)	中央右で隠蔽に合う	7	4区344号溝検出状況(S→)		
PL_86	1	6区133号溝上層断面(W→)		8	4区348号溝検出状況(S→)		
	2	6区143号溝検出状況(S E→)	152号土坑と重複する	PL_95	1	348号溝検出状況(N→)	
	3	左から6区145号・A・B溝、146、143号溝(NW→)		2	348号溝上層断面(S→)		
	4	6区147号溝遺物出土状況(N→)	西側(右)の遺流入の可能性	3	348号溝と344・349号溝の交差状況(S E→)		
	5	147号溝検出状況(N→)	西の内環壕の可能性あり	4	4区356号溝検出状況(S→)		
	6	147号溝上層断面(S→)		5	岩押町遺跡4の1号溝検出状況(NW→)		
PL_87	1	147号溝と145・146・146号溝の重複状況(N→)		6	岩押町遺跡4の2号溝検出状況(NW→)		
	2	2区北地区313号溝遺物出土状況(S→)		7	岩押町遺跡4の8号溝検出状況(E→)		
	2	313号溝(左)、317号溝(右)上層断面(S→)		PL_96	1	4区河川跡確認状況(S E→)	
	3	3区北地区326・327・328号溝(右から、S W→)		2	4区河川跡上層断面(W→)	中位の灰色薄層は浅間C軽石層	
	4	326号溝上層断面(E→)		3	4区河川跡南平部上層断面(E→)		
	5	5区359・368号溝(左から、N E→)		4	4区河川跡調査状況(E→)		
	6	359号溝検出状況全景(S W→)		PL_97	1	4区河川跡木材出土状況(E→)	
	7	359号溝上層断面(S W→)		2	4区河川跡木材出土状況(S→)		
	8	359号溝西部(N E→)		3	4区河川跡木材出土状況(S E→)		
PL_88	1	2区97号溝検出状況(NW→)		4	4区河川跡木材出土状況(E→)		
	2	97号溝上層断面(S E→)		5	4区河川跡棒状木材出土状況(E→)		
	3	2区99・100号溝検出状況(左から、NW→)		6	4区河川跡自然木出土状況(N E→)		
	4	99号溝の杯出土状況		7	4区河川跡大型木材出土状況(N E→)		
	5	2区北地区298号溝(S E→)		8	4区河川跡丸太材出土状況(W→)		
	6	298号溝上層断面(S→)		PL_98	1	4区河川跡丸太材出土状況(E→)	伐採痕を残す
	7	2区101号溝と方形区画(NW→)		2	4区河川跡左岸下の土器出土状況(E→)	遺の一部と思われる	
	8	101号溝上層断面(W→)		3	4区河川跡板材出土状況		
PL_89	1	2区98号溝検出状況(NW→)		4	4区河川跡板材出土状況(W→)	ビットP14内で検出	
	2	2区北地区316号溝上層断面(E→)		5	4区河川跡丸太材、立柱出土状況		
	3	2区北地区318号溝検出状況(NW→)		6	4区河川跡北西部立柱(S→)		
	4	2区北地区319号溝上層断面(S→)		7	4区河川跡立柱根断面 表面炭化、下端は平坦		
	5	316・318・319号溝全景(上が北、上空より)	中央を環壕(291号溝)が縦断する	8	4区河川跡立柱根断面 ビットP2内検出		
PL_90	1	6区130・A・B号溝検出状況(白線部、S W→)		PL_99	1	4区河川跡底面ビット検出状況(N→)	左手前が左岸法面にあ るP1、その右はP2
	2	130・A・B号溝上層断面(左から、W→)		2	4区河川跡底面ビット検出状況(NW→)	左下がP4、各々形 状や規模が異なる	
	3	6区132号溝上層断面(W→)		PL_100	1	4区河川跡ビットP1検出状況	
	4	1区169(右)上・170号溝(左)検出状況(S E→)		2	4区河川跡ビットP2検出状況		
	5	1区171号溝検出状況(W→)		3	4区河川跡ビットP3検出状況		
	6	1区210号溝検出状況(W→)	171号溝に連続する	4	4区河川跡ビットP5検出状況		
	7	1区172号溝検出状況(W→)		5	4区河川跡ビットP6検出状況		
	8	1区172・173号溝交差状況(E→)		6	4区河川跡ビットP7検出状況		
PL_91	1	1区208号溝検出状況(W→)		7	4区河川跡ビットP8丸太材検出状況		
	2	1区209号溝検出状況(W→)		8	4区河川跡ビットP9検出状況		
	3	209号溝上層断面(E→)		9	4区河川跡ビットP10検出状況		
	4	1区207号溝検出状況(S E→)		10	4区河川跡ビットP12検出状況		
	5	1区222号溝検出状況(S E→)	207号溝に連続する	11	4区河川跡ビットP14立板痕検出状況		
	6	1区221号溝検出状況(S E→)		12	4区河川跡ビットP15検出状況		
	7	1区243号溝検出状況(W→)		13	4区河川跡ビットP18検出状況		
	8	1区244号溝検出状況(S W→)		14	4区河川跡ビットP23検出状況		
PL_92	1	2区175号溝南東部検出状況(S E→)		15	4区河川跡ビットP24検出状況		
	2	2区175号溝北西部検出状況(S E→)		PL_101	1	2区71号土坑検出状況(E→)	
	3	2区南地区303号溝検出状況(NW→)		2	2区72号土坑検出状況(N→)		
	4	2区南地区304・305号溝検出状況(NW→)		3	2区74号土坑検出状況(E→)		
	5	2区106(中央奥)・107(中央手前)号溝(S→)	左は104号溝	4	2区75号土坑検出状況(E→)		
	6	2区108号溝検出状況(S E→)		5	2区76号土坑検出状況(E→)		
	7	2区109号溝検出状況(S E→)		6	2区77号土坑検出状況(S→)		
	8	109号溝上層断面(S E→)		7	77号土坑上層断面(S→)		
PL_93	1	3区174号溝検出状況(S E→)		8	2区79号土坑検出状況(W→)		
	2	3区311(奥)・312(手前)号溝検出状況(S→)		9	2区80号土坑検出状況		
	3	3区323号溝検出状況(N→)		10	80号土坑断面と遺物出土状況		
	4	5区361(中)・362(左)号溝検出状況(S→)		11	2区85号土坑検出状況(S→)		
	5	5区360(右)号溝上層断面と361号溝合流点(S→)		12	2区86号土坑検出状況(S→)	526号土坑と同一	
	6	362号溝上層断面(W→)	左の361号溝を切る	13	2区87号土坑検出状況(S→)		
	7	5区363号溝検出状況(W→)		14	2区89号土坑検出状況(W→)	井戸認定	
	8	5区363号溝上層断面(E→)	下層は地山層の覆りすぎ	15	2区89号土坑上層断面(N→)	井戸認定	
PL_94	1	5区364号溝検出状況(N→)		PL_102	1	2区90号土坑検出状況(S→)	
	2	5区364号溝上層断面(S→)		2	2区91号土坑検出状況(NW→)		
	3	5区365号溝検出状況(S E→)		3	91号土坑上層断面(N→)		
	4	5区西地区372号溝検出状況(S→)		4	2区92号土坑上層断面(E→)		
	5	4区北地区373号溝検出状況(NW→)					

	5	2区93号土坑上層断面(S→)		14	1区南地区255号・256号土坑上層断面
	6	2区94・95号土坑出土状況(S→)	PL_107	1	1区南地区256号土坑出土状況(S→)
	7	2区96号土坑出土状況(S→)		2	1区南地区257号土坑上層断面(W→)
	8	2区97号土坑出土状況(S→)		3	1区南地区260号土坑出土状況(S→)
	9	2区98号土坑出土状況(N E→)		4	1区南地区261号土坑出土状況(N→)
	10	2区99号土坑出土状況(N→)		5	261号土坑上層断面(N→)
	11	2区100号土坑出土状況(NW→)		6	261号土坑遺物出土状況(N→)
	12	100号土坑上層断面(S W→)		7	1区南地区262号土坑出土状況(W→)
	13	100号(右)・101号(左)土坑出土状況		8	1区南地区263号土坑遺物出土状況(E→)
	14	2区102号土坑上層断面(S W→)		9	263号土坑出土状況(S→)
	15	2区103号土坑出土状況(E→)		10	1区南地区264号土坑出土状況(S→)
PL_103	1	2区104号土坑出土状況(E→)		11	264号土坑上層断面(S→)
	2	2区105号土坑出土状況(N E→)		12	1区南地区265号土坑出土状況(N→)
	3	2区106号土坑出土状況(N E→)		13	1区南地区265号土坑上層断面(N→)
	4	2区107号・108号土坑出土状況(N→)		14	1区南地区266号土坑出土状況
	5	6区I22号土坑上層断面(S→)		15	266号土坑上層断面(S→)
	6	6区I26号土坑出土状況(S→)	PL_108	1	1区南地区267号土坑出土状況(E→)
	7	6区I28号土坑出土状況(S E→)		2	1区南地区269号土坑出土状況(W→)
	8	6区I29号・130号土坑出土状況(S W→)		3	269号土坑遺物出土状況(S→)
	9	6区I31号土坑出土状況(S E→)		4	1区南地区270号・271号土坑出土状況(S→)
	10	6区I32号土坑出土状況(S E→)		5	271号土坑上層断面(S→)
	11	6区I33号土坑出土状況(S E→)		6	1区南地区272号土坑確認状況(E→)
	12	6区I36号土坑上層断面(N→)		7	1区南地区276号土坑出土状況(E→)
	13	6区I42号土坑出土状況(E→)		8	1区南地区277号土坑上層断面(S→)
	14	6区I45号土坑遺物出土状況(W→)		9	1区南地区278号土坑出土状況(S W→)
	15	145号土坑出土状況(W→)		10	1区南地区279号土坑出土状況(E→)
PL_104	1	6区I47号土坑上層断面		11	1区南地区281号土坑出土状況(S→)
	2	6区I48号土坑上層断面		12	1区南地区284号土坑出土状況(E→)
	3	6区I49号土坑出土状況(N→)		13	1区南地区285号土坑出土状況(S→)
	4	6区I50号土坑上層断面(S→)		14	1区南地区286号土坑遺物出土状況
	5	6区I52号土坑出土状況(S→)		15	286・283(手前)号土坑出土状況(N→)
	6	152号土坑上層断面	PL_109	1	1区南地区288号土坑出土状況(S W→)
	7	6区I53号土坑出土状況(S→)		2	288号土坑上層断面(S→)
	8	6区I58号土坑上層断面(S→)		3	1区南地区292号土坑出土状況(W→)
	9	158号土坑遺物出土状況(W→)		4	1区南地区294号土坑出土状況(W→)
	10	6区I59号土坑出土状況(E→)		5	1区南地区295号・296号土坑出土状況
	11	6区I60号土坑出土状況(S→)		6	1区北西地区315号土坑出土状況(S→)
	12	160号土坑遺物2180g出土状況		7	315号土坑上層断面(S→)
	13	6区I61号土坑出土状況(W→)		8	1区北西地区316号土坑上層断面(S→)
	14	6区I64号土坑上層断面(W→)		9	316号土坑遺物出土状況(上方南)
	15	6区I71号土坑出土状況(S→)		10	316号土坑出土状況(S→) 左壕245号溝(東外遺溝)
PL_105	1	1区南地区195号土坑出土状況(W→)		11	316号土坑遺物出土状況全景(S→)
	2	1区南地区197号土坑出土状況(W→)		12	316号土坑の蓋22464出土状況全景
	3	1区南地区201号土坑出土状況(S→)	PL_110	1	1区北西地区317号土坑遺物出土状況(E→)
	4	1区南地区202号土坑上層断面(W→)		2	317号土坑坑3007出土状況(N→)
	5	1区南地区215号土坑断面 墓礎認定		3	317号土坑坑面坑3007出土状況(W→)
	6	1区南地区217号土坑出土状況(N→)		4	317号土坑完備状況(上方東)
	7	1区南地区219号土坑出土状況(E→)		5	2区北地区366号土坑出土状況(NW→)
	8	1区南地区220号土坑出土状況(S→)		6	367号土坑中層土露出上状況
	9	1区南地区222号土坑出土状況(S→)		7	367号土坑出土状況(S→)
	10	1区南地区229号土坑出土状況(W→)		8	367号土坑底面の礎22502出土状況
	11	1区南地区228号土坑出土状況(W→)		9	367号土坑埋土上蓋・土間片出土状況
	12	1区南地区232号土坑出土状況(S→)		10	2区北地区374号土坑出土状況(E→)
	13	1区南地区234号土坑遺物出土状況		11	2区北地区379号土坑遺物出土状況
	14	234号土坑出土状況(S→)		12	379号土坑出土状況(E→)
PL_106	1	1区南地区240号土坑出土状況(W→)	PL_111	1	2区北地区386号土坑遺物出土状況
	2	1区南地区241号土坑出土状況(N→)		2	386号土坑上層断面(W→)
	3	241号土坑上層断面(N→)		3	386号土坑出土状況(W→)
	4	241号土坑遺物出土状況(N→)		4	2区北地区387号土坑遺物出土状況(E→)
	5	1区南地区243号・244号土坑出土状況		5	2区北地区388号土坑付遺物出土状況
	6	1区南地区248号土坑断面(N→)		6	388号土坑出土状況(S E→)
	7	1区南地区249号土坑出土状況(W→)		7	2区北地区398号土坑出土状況(W→)
	8	249号土坑遺物出土状況全景(W→)		8	2区北地区426号土坑(地味?)
	9	249号土坑中央遺物出土状況(W→)		9	2区北地区433号土坑出土状況(S→)
	10	249号土坑中央遺物出土状況(S→)		10	2区北地区439号土坑遺物出土状況
	11	249号土坑東端遺物出土状況(S→)		11	439号土坑中層遺物出土状況(S→)
	12	1区南地区251号土坑出土状況(N→)		12	439号土坑出土状況(S→)
	13	251号土坑上層断面(S→)	PL_112	1	2区北地区442号土坑遺物出土状況(S→)

2	442号土坑検出状況(S→)	15	6区北地区ビットP1208検出状況
3	2区北地区447号土坑検出状況(S→)	PL-117	6区北地区ビットP1209検出状況
4	447号土坑掘出上状況	2	6区北地区ビットP1210検出状況
5	447号土坑の高杯3004出土状況	3	6区北地区ビットP1211検出状況
6	2区北地区474号土坑検出状況(S→)	4	6区北地区ビットP1212検出状況
7	474号土坑掘出上状況(S→)	5	6区北地区ビットP1213検出状況
8	474号土坑底面の遺22688出土状況	6	6区北地区ビットP1208検出状況
9	2区北地区478号土坑掘出上状況	7	6区北地区ビットP1210検出状況
10	2区北地区498号土坑掘出上状況(S→)	8	6区北地区ビットP1217検出状況
11	498号土坑上層断面(E→)	9	6区北地区ビットP1218上層断面
12	498号土坑掘出状況(S→)	10	6区北地区ビットP1218検出状況
PL-113	2区北地区500号土坑検出状況(N→)	11	6区北地区ビットP1219検出状況
2	2区北地区503号土坑検出状況(W→)	12	6区北地区ビットP1220上層断面
3	2区北地区508号土坑掘出上状況	13	6区北地区ビットP1232検出状況
4	2区北地区513号土坑検出状況(E→) 56号壁穴上層ベルトより	14	6区北地区ビットP1234検出状況
5	513号土坑遺22526出土状況	15	6区北地区ビットP1235検出状況
6	513号土坑関連遺物出土状況(参考)	PL-118	6区北地区ビットP1230検出状況
7	513号土坑関連遺物出土状況(参考)	2	6区北地区ビットP1237検出状況
8	513号土坑付近出土の遺22531	3	6区北地区ビットP1238検出状況
9	513号土坑付近出土の遺22535	4	6区北地区ビットP1231・1242検出状況
10	2区北地区516号土坑掘出上状況	5	6区北地区ビットP1244検出状況
11	2区北地区520号土坑検出状況(S→)	6	6区北地区ビットP1245検出状況
12	2区北地区524号土坑上層断面(S→)	7	6区北地区ビットP1246検出状況
PL-114	4区532号土坑掘出状況(S→)	8	6区北地区ビットP1247検出状況
2	532号土坑上層断面(S→)	9	6区北地区ビットP1249検出状況
3	5区541号土坑掘出状況(S→)	10	6区北地区ビットP1250検出状況
4	5区547号土坑掘出状況(S→)	11	6区北地区ビットP1250検出状況
5	6区ビットP341断面 141号溝に続く	12	6区北地区ビットP1260検出状況
6	2区ビットP282上層断面	13	6区北地区ビットP1261・1262検出状況
7	2区ビットP286検出状況	14	6区北地区ビットP1267検出状況
8	2区ビットP287検出状況	15	6区北地区ビットP1269検出状況
9	2区ビットP288検出状況	PL-119	2区北地区ビットP1618検出状況
10	2区ビットP290検出状況	2	2区北地区ビットP1623検出状況
11	2区ビットP291検出状況	3	2区北地区ビットP1630検出状況
12	2区ビットP292検出状況	4	2区北地区ビットP1644・1645検出状況
13	2区ビットP294検出状況	5	2区北地区ビットP1645上層断面
14	2区ビットP296上層断面	6	2区北地区ビットP1645検出状況
15	6区ビットP351上層断面	7	2区北地区ビットP1731遺物出土状況
PL-115	6区ビットP354上層断面	8	2区北地区ビットP2017・2018検出状況
2	6区ビットP355上層断面	9	2区北地区ビットP2099検出状況
3	6区ビットP356上層断面	10	2区北地区ビットP2087検出状況
4	6区ビットP357上層断面	11	2区北地区ビットP2119上層断面
5	6区ビットP358上層断面	12	2区北地区ビットP2122検出状況
6	6区ビットP362上層断面	13	2区北地区ビットP2123上層断面
7	6区ビットP364上層断面	14	2区北地区ビットP2124検出状況
8	6区ビットP365上層断面	15	2区北地区ビットP2125検出状況
9	6区ビットP367上層断面	PL-120	2区北地区ビットP2126検出状況
10	6区ビットP368上層断面	2	2区北地区ビットP2127検出状況
11	6区ビットP370上層断面	3	2区北地区ビットP2130検出状況
12	6区ビットP372上層断面	4	2区北地区ビットP2141検出状況
13	6区ビットP374上層断面	5	2区北地区ビットP2142検出状況
14	6区ビットP377上層断面	6	2区北地区ビットP2143上層断面
15	6区ビットP379上層断面	7	2区北地区ビットP2144検出状況
PL-116	6区ビットP382上層断面	8	2区北地区ビットP2150検出状況
2	6区ビットP383上層断面	9	2区北地区ビットP2152検出状況
3	6区ビットP384上層断面	10	1区南地区ビットP476検出状況
4	6区ビットP411上層断面	11	4区ビットP2205上層断面
5	6区ビットP412上層断面	12	4区ビットP2210検出状況
6	6区ビットP413上層断面	13	6区3号櫛列(S E→)
7	6区北地区ビットP1199検出状況	14	1区13号竈跡(S→)
8	6区北地区ビットP1200検出状況	15	1区13号竈跡サク断面(W→)
9	6区北地区ビットP1201検出状況	PL-121	6区128号溝(北西環濠)内側上層集中状況(N→)
10	6区北地区ビットP1202検出状況	2	2区北地区291号溝(西環濠)内側上層集中状況(S→)
11	6区北地区ビットP1203検出状況	3	291号溝(西環濠)内側の掘削出土状況(S E→)
12	6区北地区ビットP1204検出状況	4	2区北地区の泥流堆積物断面(S E→)
13	6区北地区ビットP1205検出状況	5	6区泥流堆積物断面の噴砂痕(E→)
14	6区北地区ビットP1207検出状況	6	6区泥流堆積物断面(S→) ミナ砂層上に灰黄色土層堆積
		7	2区低地区の基本層序No.5地点(E→) 中央に浅間B軒石下

	水田大野		
8	2 区北地区微高地の基本順序(S E →)	下層黒色土が弥生時代 包含層	
PL-122.1	1 区南地区17号井戸上層断面(N →)		
2	1 区南地区17号井戸層方(N →)		
3	1 区南地区18号井戸上層断面(S →)		
4	1 区南地区19号井戸層断面(S →)		
5	1 区南地区19号井戸層方		
6	1 区南地区20号井戸(S →)		
7	1 区南地区21号井戸(S →)		
8	1 区南地区23号井戸(N →)		
PL-123	縄文土器写真		
PL-124	弥生土器写真1		
PL-125	弥生土器写真2		
PL-126	弥生土器写真3		
PL-127	弥生土器写真4		
PL-128	弥生土器写真5		
PL-129	弥生土器写真6		
PL-130	弥生土器写真7		
PL-131	弥生土器写真8		
PL-132	弥生土器写真9		
PL-133	弥生土器写真10		
PL-134	弥生土器写真11		
PL-135	弥生土器写真12		
PL-136	弥生土器写真13		
PL-137	弥生土器写真14		
PL-138	弥生土器写真15		
PL-139	弥生土器写真16		
PL-140	弥生土器写真17		
PL-141	弥生土器写真18		
PL-142	弥生土器写真19		
PL-143	弥生土器写真20		
PL-144	弥生土器写真21		
PL-145	弥生土器写真22		
PL-146	弥生土器写真23		
PL-147	弥生土器写真24		
PL-148	弥生土器写真25		
PL-149	弥生土器写真26		
PL-150	弥生土器・土師器写真		
PL-151	土製碧玉・人形容器写真		
PL-152	土製品写真1		
PL-153	土製品写真2		
PL-154	木製品写真1		
PL-155	木製品写真2		
PL-156	木製品写真3		
PL-157	木製品写真4		
PL-158	木製品写真5		
PL-159	木製品写真6		
PL-160	木製品写真7		
PL-161	木製品写真8		
PL-162	木製品写真9		
PL-163	木製品写真10		
PL-164	木製品写真11		
PL-165	石器・石製品写真1		
PL-166	石器・石製品写真2		
PL-167	石器・石製品写真3		
PL-168	石器・石製品写真4		
PL-169	石器・石製品写真5		
PL-170	石器・石製品写真6		
PL-170	石器・石製品写真7		
PL-171	石器・石製品写真8		
PL-172	石器・石製品写真9		
PL-173	石器・石製品写真10		
PL-174	石器・石製品写真11		
PL-175	石器・石製品写真12		
PL-176	石器・石製品写真13		
PL-177.1	70号土坑出土遺20926と炭化イネ籽塊		
2	遺20926内の炭化イネ籽塊(分析対象)		
		3	70号土坑出土の結縛痕(調査では「縄」)
		4	50号竪穴建物出土遺1821のモミ圧痕
		5	豊片21659断面に残る炭化モミ圧痕
		6	遺片21155断面に残るモミ殻圧痕
		7	遺20335(1線外面に残された虫体圧痕
		8	左写真でマグノコガネ属と特定された圧痕
PL-178.1		22404限付近の造形	
		2	人形容器22404(1)・函の造形
		3	人形容器22404内盤整形
		4	人形容器21356上層内面の歯造形
		5	遺22526前部縄文(LR)の拡大
		6	遺20627縄文(R)の拡大、整った束
		7	遺22568(1)部の縄文(オオハコ)
		8	オオハコ花穂の回転圧痕モデル
PL-179.1		遺20305頭部の縄文地文と横沈線	
		2	遺30328頭部の縄文地文と山形文
		3	遺20310頭部の縄文未端部回転圧痕
		4	遺20437頭部の櫛形波状文
		5	遺22249頭部の櫛形横線とハケメ
		6	遺20937(1線)の横ナデとハケメ
		7	遺20345(1線)に残る化粧掛け痕
		8	奥底面に残る削り痕
PL-180.1		遺22255の2本の三叉状記号文	
		2	単純な三叉状記号文(遺22296)
		3	二股に分岐する三叉状記号文(遺22483)
		4	三向文と蛇行垂下文(遺22552)
		5	最も多いタイプの土器胎上S
		6	土器胎上Sの拡大(目盛1mm)
		7	細砂を少量含む胎上S
		8	細砂の多い胎上S
PL-181.1		木製品600023の載断面	
		2	木製品600023の削り痕、鉄弁加工痕か
		3	横線未成品60040の削り痕
		4	横線未成品60040の載断面用清痕
		5	石製歯形模造品の施文痕
		6	牛伏砂岩製の施文痕
		7	大型蛤対石弁10071
		8	大型蛤対石弁10071の石材拡大



1. 2区航空写真(N→) 南部環濠と張り出した半円形溝

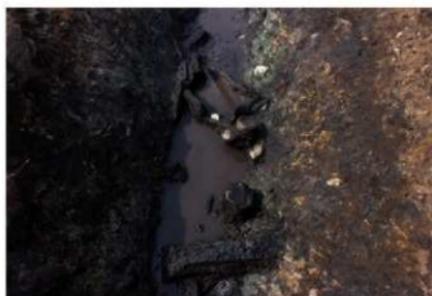
環濠内区には10号掘立柱建物と大小の井戸が配されている。円形溝の内区には明確な弥生時代遺構は確認されなかった。調査第1年度にこの環濠が確認されたことで、調査第2年度以降に予定された北側調査区に環濠集落の本体が存在することが明らかになった。この地点では、全く竪穴建物が確認できなかったため、北側の2区北地区や6区に建物群の検出が期待された。



1 95号溝遺物出土状況(E→) 継続的廃棄と推定される散在状況



2 95号溝南法面の段差(E→) 掘り直しの可能性を示す



3 95号溝底面遺物出土状況(E→) 炭化材、材、土器片がみられる



4 95号溝底面の籬状木材(60055)出土状況



5 95号溝土層断面(S→) 緩いV字断面で中位に黒褐色粘質土堆積、上面は浅間B軽石が水平に覆う



1 96号溝半円部の分岐点(NW→) 半円部の溝は環濠より浅く幅狭い



2 96号溝半円部の断面G 上層に浅間C軽石混土が落ち込む



3 96号溝半円部の断面F 下半断面がU字形になる箇所



4 96号溝半円部の完掘状況(W→) 底面から少量の土器片が出土



5 96号溝半円部の東側合流箇所(E→)



1 96号溝分岐部で検出された柱穴P1、P2



2 柱穴P1、P2の検出断面 2基は対岸法面に位置する



3 96号溝円弧部の分岐点断面(NW→) 半円溝が環濠を切る土層にみえる



4 P1柱根の断面 柱材は二股部を倒立させてある



5 柱穴P1(右)、P2(左)の断面 柱根は地山の高崎泥流層からずり落ちて20cmほど突き立つのが明らかである



1 96号溝上層の遺物出土状況(E→)



2 96号溝の遺物累積出土状況(SW→)



3 96号溝の遺物出土状況(W→) 全体的に散在する箇所



4 96号溝の遺物累積出土状況(N→) 環濠上縁まで累積する



5 96号土層断面Bと遺物堆積状況(E→) 灰層は南から流入



6 96号溝の遺物累積出土状況(N→) 完形品は見られない



7 96号溝遺物累積中位の状況(S→) 割れた土器が累積



8 96号溝中位の堆積灰層 ブロック状堆積で炭化物や焼土混入



1 96号溝上層の大陸系磨製石斧出土状況 石斧4点が出土



2 石斧4点の検出状態 石斧はほとんど未使用状態



3 95号溝底面の木材出土状況



4 95号溝底面の石礫10039出土状況



5 95号溝底面の鎌状材60055出土状況



6 96号溝下層の壺形石製模造品10011出土状況



7 95号溝下層出土のモモ核



8 96号溝上層の太型蛤刃石斧10070出土状況 上層から出土



1 95号溝(右)と96号溝(左)の東側分岐(SW→)



2 96号溝南法面のビットP1 柱穴(左上)から滑落した柱痕



3 96号溝土層断面 軽石を含む99号溝埋土が切る



4 96号溝東部遺物出土状態(SW→) 上~下層に土器片や礫が散在する



5 96号溝土層断面Q(S→) 東内環濠として小規模になる



1 2区北地区の西半部航空写真(W→) 291号溝(西外環線)が外圍を画す



2 291号溝全景(SW→) 南に95号溝、北に6区140号溝が連続する



1 291号溝と内側に沿った298号溝(S E →)



2 291号溝土層断面A(S →)



3 291号溝土層断面C(S →)



4 291号溝の掘削平面状況(W →)



5 291号溝遺物出土状況(W →) 遺物は環濠内側から流入する



6 291号溝底面遺物出土状況



7 291号溝底面の壺22790出土状況



8 291号溝底面の棒材出土状況



1 6区140号溝(西環濠)検出状況(S E→)



2 140号溝北端部の検出状況(S→)



3 140号溝土層断面A(S→) 上層の左側で140新溝が切る



4 140号溝南屈曲部(W→) 東へ屈曲する部分で、内側は1号集石



5 1号集石検出状況(E→) 左上は140号溝



6 1号集石内土坑の灰分布状況



7 1号集石内土坑断面(E→)



1 7区245号溝(東外環濠)北半検出状況(S→) 中央部は「倉賀野堰」用水(写真左)に切られる



2 245号溝土層断面A(S→)



3 245号溝土層断面と遺物出土状況



4 245号溝下層での長い割材出土状況(S→)



5 245号溝土器出土状況(S→) 底面から中層にかけて散在



1 市道下245号溝(北東環濠)検出状況(E→)



2 市道下245号溝遺物出土状況 拳〜人頭大の礫が多量に出土した



3 市道下245号溝土層断面E(E→) 遺物が環濠内側から流入



4 市道下245号溝土層断面F(W→) 大礫が投棄される



5 市道下245号溝遺物出土状況 礫主体に土器片や木材



6 市道下245号溝北法面のピット列(S→)



7 ピットP2230から出土した杭



8 ピットP2231検出状況



1 6区128号溝(北西環濠)検出状況(W→) 右側の内区に竪穴建物が群在する



2 128号溝掘削状況(N E→) 遺物出土量は極めて少ない



3 128号溝中央部検出状況(S W→) 溝上端に浅い土坑列



4 128号溝土層断面E(W→) V字形の断面を示す



5 128号溝底面の炭化材出土状況



1 2区北地区東部の航空写真(N→) 右に268号溝、左上に245号溝(外環濠)、下は中世塚(275号溝)



2 268号溝南半部と東側遺物密集状況(S→)



3 268号溝中央部の遺物出土状況(E→)



4 268号溝土層断面A-A'(S→) 人為的埋土の可能性



5 268号溝中層からの遺物出土状況(S W→)



1 6区北半部の竪穴建物群と環濠128号溝(N→) 竪穴建物は狭い範囲で密集重複する



2 6区1号・11号竪穴建物検出状況(N E→) 手前11号竪穴



3 6区39号竪穴建物検出状況(N→) 1号跡と同一建物



4 6区1号・11号竪穴建物検出状況(N W→)



5 1号竪穴建物の炉か(S W→) 焼土・灰は不明瞭



1 6区2号竪穴建物検出状況(W→) 陥壕(写真上)に近接する



2 2号竪穴建物遺物出土状況(N→) 土器片と礫が散在する



3 6区3号竪穴建物検出状況(W→) 1・11号竪穴と重なる



4 3号竪穴建物と中央掘り込み(S-W→)



5 6区4号竪穴建物検出状況(N→)



6 4号竪穴建物遺物出土状況(N-E→)



7 4号竪穴建物中央の遺物出土状況(N→)



8 4号竪穴建物遺物出土層位(N→)



1 6区29号竪穴建物全景(NW→) 北端部(写真手前)は4号竪穴に相当する



2 29号竪穴建物の炉(NW→) 炉内に大型土器片を重ねる



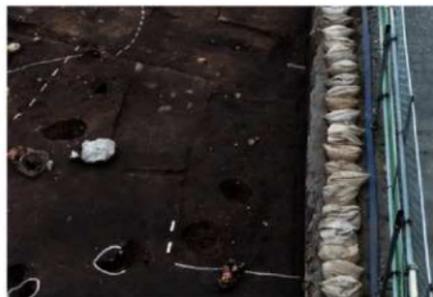
3 29号竪穴建物遺物出土状況(S→)



4 29号竪穴建物柱穴P1



5 29号竪穴建物柱穴P2



1 6区5号竪穴建物検出状況(S→)



2 5号竪穴建物遺物出土状況(S→)



3 5号竪穴建物遺物出土状況と土層(W→)



4 5号竪穴建物完掘状況と土層(W→)



5 5号竪穴建物ビットP1土層



6 5号竪穴建物ビットP2土層



7 6区6号竪穴建物検出状況(N E→)



8 6号竪穴建物遺物出土状況(N→)



1 6区28号竪穴建物全景(N→) 北側部分(写真下の段差部)は6号竪穴に相当する



2 28号竪穴建物柱穴ビットP 8・9断面 粘土塊の掘り方埋土



3 28号竪穴建物柱穴ビットP 8



4 28号竪穴建物柱穴ビットP10断面 粘土塊で埋めた痕跡



5 28号竪穴建物柱穴ビットP10・11・12(左から)



1 6区8号・12号竪穴建物全景と周辺(W→)



2 8号竪穴建物全景(W→)



3 8号竪穴建物の床面(S→) 中央はがの可能性



4 8号竪穴建物床面の断面(N→)



5 8号竪穴建物遺物出土状況(E→)



1 6区12号竪穴建物全景(N→)



2 12号竪穴建物の土器敷が(E→) 左側に燧石3個を並置



3 12号竪穴建物の土器敷が断面(W→)



4 土器敷の東に隣接する地床が(N→)



5 12号竪穴建物内の135号土坑



6 8号竪穴建物内ビットP350断面(S→)



7 8号・12号竪穴建物内ビットP347・348・349断面(右から)



8 8号・12号竪穴建物内ビットP397断面(W→)



1 6区9号竪穴建物検出状況(S-E→)



2 9号竪穴建物遺物出土状況(S→)



3 9号竪穴建物遺物出土状況(E→)



4 9号竪穴建物高杯(22193)出土状況



5 9号竪穴建物土層(W→)



1 6区22号竪穴建物検出状況(W→) 9号竪穴と重なる



2 9号・22号竪穴建物内ビットP393断面



3 9号・22号竪穴建物内ビットP395断面



4 6区10号竪穴建物検出状況(SW→)



5 10号竪穴建物遺物出土状況(S→)



6 6区15号竪穴建物検出状況(S→) 写真左の12号竪穴に隣接



7 15号竪穴建物土層断面(SW→)



8 15号竪穴建物ビットP1断面



1 6区17号竪穴建物検出状況(N→)



2 6区19号竪穴建物検出状況(W→)



3 19号竪穴建物内2号埋坑(S→) 坑の一部と考えられる



4 19号竪穴建物内ビットP352断面



5 19号竪穴建物内ビットP353断面



6 19号竪穴建物内ビットP359断面



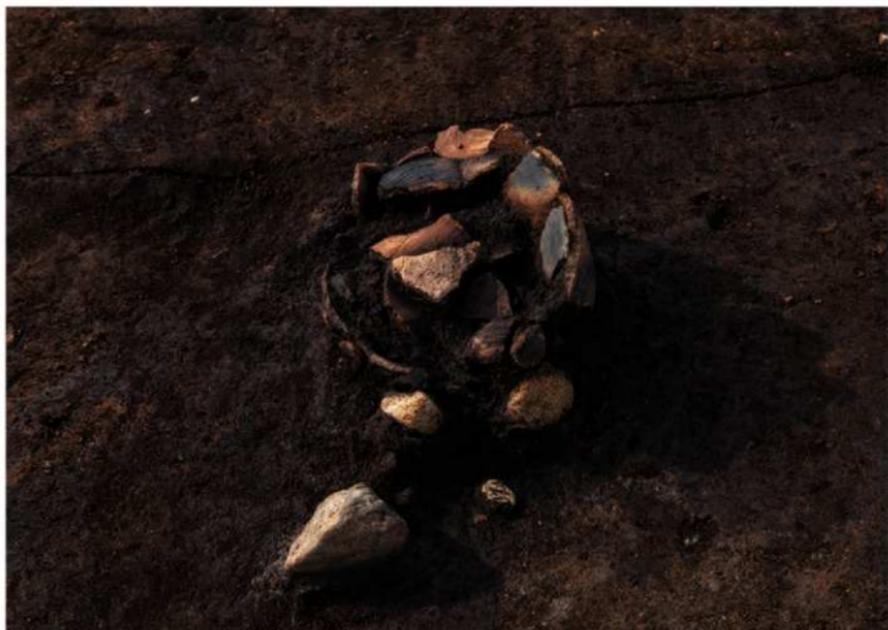
7 19号竪穴建物内ビットP360断面



8 19号竪穴建物内ビットP361断面



1 6区21号整穴建物検出状況(E→)



2 21号整穴建物内4号埋葬(S→)



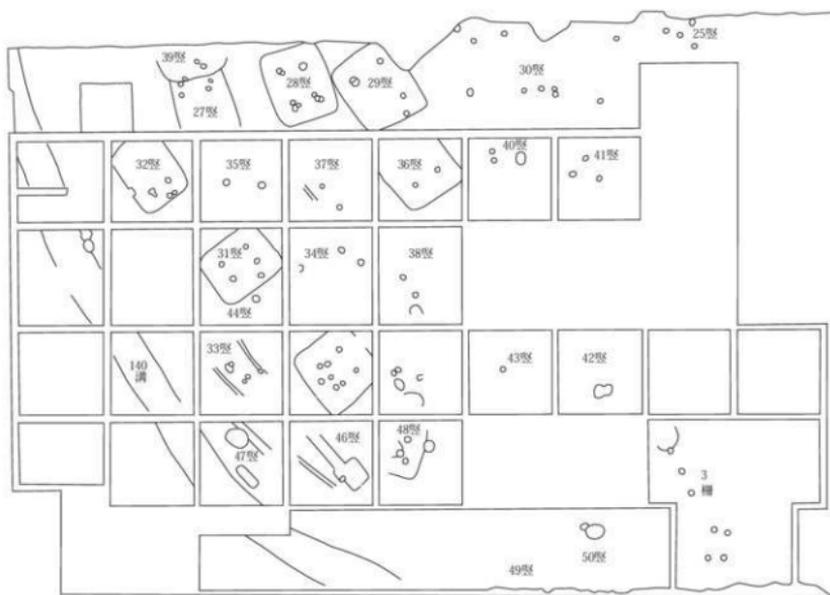
1 6区南半部調査区全景(E→) 碁盤の目に構築されたコンクリート基礎の間を調査する。中央遠方に雪化粧の浅間山が見える



2 6区南半部調査区全景(S→) 遺跡周辺は都市化が進む。遠方に榛名山(左)、子持山と小野子山(中央)、赤城山(右)が一望できる



1 6区南半部の竪穴建物群分布状況(上方が北) 個別遺構の平面プランは不明瞭ながら、主軸が西に傾く傾向がうかがえる



2 上写真の概略図



1 6区25号竪穴建物遺物出土状況(S E→) 想定北壁に沿って遺物が出土する



2 6区25号竪穴建物遺物出土状況(S W→)



3 25号竪穴建物北側土層断面(S→)



4 25号竪穴建物土層断面(W→)



5 25号竪穴建物検出状況(S E→)



6 25号竪穴建物内ビットP1断面



7 25号竪穴建物内ビットP2断面



8 25号竪穴建物内ビットP3断面



1 6区26号竪穴建物検出状況(S E→)



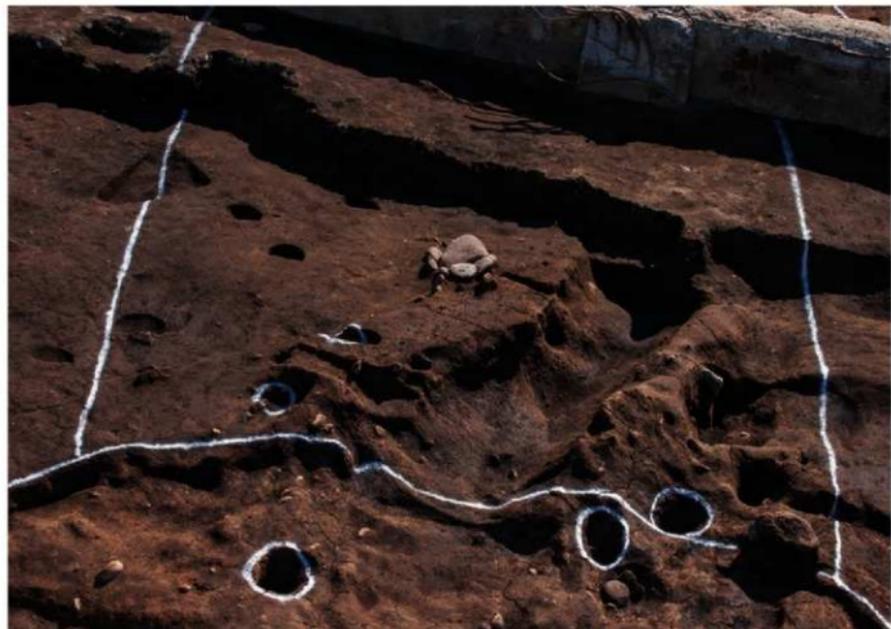
2 26号竪穴建物土層断面(W→)



3 26号竪穴建物遺物出土状況(S→)



4 26号竪穴建物遺物出土状況(S→)



5 6区27号竪穴建物検出状況(N→) 手前は39号竪穴、中央は142号溝(中世以降)が切る



1 6区27号竪穴建物遺物出土状況全景(N→)



2 27号竪穴建物遺物出土状況全景(E→)



3 27号竪穴建物遺物密集箇所(E→)



4 27号竪穴建物遺物取り上げ作業(SW→) 中央は142号溝



5 27号竪穴建物土層断面(E→)



6 27号竪穴建物切断面(S→) 偏平礫上に焼土層が堆積



7 27号竪穴建物切出状況(NW→) 手前に焼土層が拡がる



8 27号竪穴建物切廻り方状況(E→)



1 6区30号竪穴建物検出状況と土層断面(E→)



2 30号竪穴建物遺物出土状況(S→)



3 30号竪穴建物内ビットP1断面



4 30号竪穴建物内ビットP3断面 左上はP4



5 6区31号竪穴建物遺物出土状況全景(W→)



6 31号竪穴建物遺物出土状況全景(S E→)



7 31号竪穴建物土層断面(N→)



8 31号竪穴建物遺物出土状況と土層断面(S→)



1 6区31号竖穴建物検出状況全景(SW→)



2 31号竖穴建物跡検出状況(SW→)



3 31号竖穴建物跡土層断面(S→)



4 31号竖穴建物遺物出土状態



5 31号竖穴建物無頭小壺22250出土状態



1 31号竪穴建物柱穴ビットP 1



2 31号竪穴建物柱穴ビットP 2



3 31号竪穴建物柱穴ビットP 3



4 31号竪穴建物柱穴ビットP 5



5 31号竪穴建物柱穴ビットP 4



6 31号竪穴建物柱穴ビットP 6



7 31号竪穴建物柱穴ビットP 7



8 31号竪穴建物内165号土坑・ビットP420・422・423



1 6区44号竪穴建物検出状況(W→)



2 44号竪穴建物周辺遺物出土状況(W→)



3 44号竪穴建物切断面(W→)



4 44号竪穴建物内ビットP1



5 44号竪穴建物床面上の焼土堆積断面



1 6区32号竪穴建物全景(S E→) 左脇中央に45号竪穴が重なる



2 32号竪穴建物遺物出土状況(S E→)



3 32号竪穴建物土層断面(E→)



4 32号竪穴建物が検出状況(E→) 土器敷の上に碟を載せる



5 32号竪穴建物が使用面(NW→)



6 32号竪穴建物掘り方面調査(S E→)



7 32号竪穴建物内南東ビット群(S E→)



8 6区45号竪穴建物遺物出土状況(S→) ブランは不明



1 6区33号竪穴建物検出状況(S E→)



2 33号竪穴建物遺物出土状況(S E→)



3 33号竪穴建物大型蛤刃石斧10210出土状況



4 33号竪穴建物内ビットP 1



5 33号竪穴建物内ビットP 2 断面



6 33号竪穴建物内ビットP 3 断面



7 33号竪穴建物内155号土坑(W→)



8 33号竪穴建物内156号土坑(W→) 中央やや左はビットP 1



1 6区34号竪穴建物遺物出土状況(N→) 建物プランは不明



2 34号竪穴建物検出状況(S→)



3 34号竪穴建物遺物22277出土状況



4 34号竪穴建物内ビットP2・3検出状況(N→)



5 6区35号竪穴建物検出状況(N→)



6 35号竪穴建物土層断面(E→)



7 35号竪穴建物内ビットP1断面(S→)



8 35号竪穴建物の壁溝(S E→)



1 6区37号竪穴建物遺物出土状況(S→)



2 37号竪穴建物土層断面(S→)



3 37号竪穴建物南東部遺物出土状況(S→)



4 37号竪穴建物南西部の壁溝(N E→)



5 6区36号竪穴建物検出状況(S E→) 平面プランはほぼ推定による



1 6区36号竪穴建物遺物出土状況と土層断面(E→)



2 36号竪穴建物遺物出土全景(W→)



3 36号竪穴建物検出状況(SW→)



4 36号竪穴建物のが・ビット検出状況(W→)



5 36号竪穴建物が使用面 中に方向の揃った炭化材が詰まる



6 36号竪穴建物内ビットP1



7 36号竪穴建物内ビットP2



8 36号竪穴建物内ビットP5



1 6区38号竪穴建物遺物出土状況(W→)



2 38号竪穴建物土層断面(S→)



3 38号竪穴建物磨製石鏃10741出土状態



4 38号竪穴建物検出状況(W→)



5 6区40号竪穴建物遺物出土状況(S→)



6 40号竪穴建物検出状況(S→)



7 40号竪穴建物内ビットP 2 断面



8 40号竪穴建物内150号土坑検出状況(N E→)



1 6区41号竪穴建物遺物出土状況(S E→)



2 41号竪穴建物弥生土器片出土状況(S E→)



3 41号竪穴建物土層断面(E→)



4 41号竪穴建物検出状況(S→)



5 6区42号竪穴建物遺物出土状況(S→)



6 42号竪穴建物土層断面(E→)



7 42号竪穴建物検出状況と手前の160号土坑(N→)



8 42号竪穴建物想定床面と160号土坑(N→)



1 6区43号竪穴建物遺物出土状況全景(S→)



2 43号竪穴建物検出状況(S→)



3 43号竪穴建物土層断面(S→) 段差は別竪穴の重複



4 43号竪穴建物内ビットP2断面 埋土に土器片が入る



5 43号竪穴建物内ビットP3断面 上面に礫がのる



1 6区46号竪穴建物遺物出土状況(S→) ほぼ全面に散在



2 46号竪穴建物と重複遺構検出状況(S→)



3 46号竪穴建物土層断面(S→)



4 46号竪穴建物土器出土状況部分



5 6区47号竪穴建物遺物出土状況(S→)



6 47号竪穴建物土層断面(E→)



7 47号竪穴建物遺物出土状況部分(S→)



8 47号竪穴建物磨製石斧(10344)出土状況



1 6区48号竪穴建物検出状況(W→) 左上方は161号土坑、手前は163号土坑



2 48号竪穴建物西部検出状況(S E→)



3 48号竪穴建物遺物取上げ作業(W→)



4 48号竪穴建物遺物出土状況(W→)



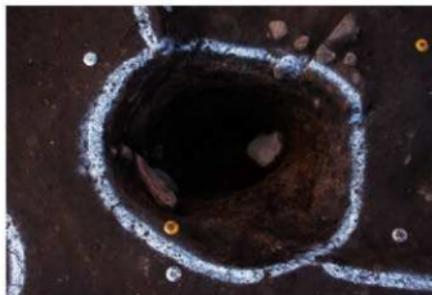
5 48号竪穴建物土層断面(W→)



1 48号竪穴建物内ビットP3検出状況(N→)



2 ビットP3の台付甕22332高杯22333出土状況



3 ビットP3の完掘状況(E→)



4 48号竪穴建物内ビットP1断面



5 48号竪穴建物内ビットP2断面



6 48号竪穴建物内ビットP4断面



7 48号竪穴建物内ビットP5断面



8 48号竪穴建物東壁外の台石出土状況(W→)



1 6区49号竪穴建物遺物出土状況(N→) 遺物は全体に拡がるが、中央段差の左右で密度が変わる



2 49号竪穴建物炭化材出土状況(N→) 炭化材は段差の東半部(左半)に分布する



1 49号竪穴建物西半部遺物出土状況(N→)



2 49号竪穴建物遺物出土状況と土層断面(W→)



3 49号竪穴建物西半部灰層断面(S→) 想定床面に堆積する



4 49号竪穴建物西半部灰層下調査面(W→)



5 49号竪穴建物西半部灰層検出状況(S W→)



1 49号竪穴建物東部炭化材出土状況(N→)



2 49号竪穴建物炭化材出土状況(S→) 左下に灰層



3 49号竪穴建物炭化材除去状況(N→) 段差東側の想定床面



4 49号竪穴建物内ビットP1断面(S→) 炭化材下で検出



5 6区49号竪穴建物検出状況(N→)



1 49号竪穴建物内ビットP1 検出状況



2 49号竪穴建物内ビットP2 断面 掘り方に粘土塊を充填



3 49号竪穴建物内ビットP2 検出状況



4 49号竪穴建物内ビットP3 検出状況



5 49号竪穴建物壺22400出土状況(N→)



1 6区50号竪穴建物(土坑)遺物出土状況(S→) 完形に近いものから小破片まで土器が密集重積する



2 50号竪穴建物遺物出土状況(E→)



3 50号竪穴建物下層遺物出土状態(E→)



4 50号竪穴建物北側ビットP 1断面



5 50号竪穴建物北側ビットP 2断面



1 6区北地区51号竪穴建物断面(S→)



2 6区北地区52号竪穴建物断面(S→)



3 52号竪穴建物検出状況(S→)



4 52号竪穴建物検出状況(E→)



5 53号竪穴建物検出状況(E→)



6 53号竪穴建物(?)検出状況(E→)



7 53号竪穴建物内ビットP1 検出状況



8 53号竪穴建物内ビットP1 遺物出土状況(N→)



1 2区北地区54号竪穴建物検出状況(W→) 写真上に268号溝



2 54号竪穴建物遺物出土状況と土層断面(S W→)



3 54号竪穴建物遺物出土状況全景(W→) 遺物は帯状に分布



4 54号竪穴建物北東隅遺物出土状況(N→)



5 54号竪穴建物北東部遺物密集状況(N→)



6 54号竪穴建物東辺中央礫群出土状況(E→) 390号土坑に伴う



7 54号竪穴建物手づくね土器23114出土状況(E→)



8 2区北地区386号土坑断面(W→) 54号竪穴の東辺で重複する



1 2区北地区55号竪穴建物遺物出土状況全景(N→) 東側(写真左)で268号溝(東内環濠)と重複する



2 2区北地区55号竪穴建物北半部遺物出土状況(N→)



3 55号竪穴建物西部遺物出土状況(N→)



4 55号竪穴建物中央部遺物出土状況(E→)



5 55号竪穴建物土層断面(E→)



1 2区北地区56号竪穴建物検出状況(S W→)



2 56号竪穴建物・1号遺物集中箇所(E→) 中央に513号土坑



3 56号竪穴建物・1号遺物集中箇所裏22536出土状況



4 56号竪穴建物・1号遺物集中箇所所有孔鉢22537出土状況



5 56号竪穴建物・1号遺物集中箇所遺物出土状況(N→)



6 56号竪穴建物・1号遺物集中箇所遺物出土状況(W→)



7 1号遺物集中箇所を切る513号土坑(E→)



8 2区北地区513号土坑遺物出土状況



1 6区57号竪穴建物の検出状況



2 57号竪穴建物の土層ベルト内遺物の状況



3 57号竪穴建物P1検出状況(E→)



4 57号竪穴建物P2土層断面(E→)



5 6区57号竪穴建物東側の遺構検出状況(W→)



6 6区57号竪穴建物東側の遺物出土状況(S→)



7 6区P415土層断面



8 6区57号竪穴建物東側の堆積土層断面(S→)



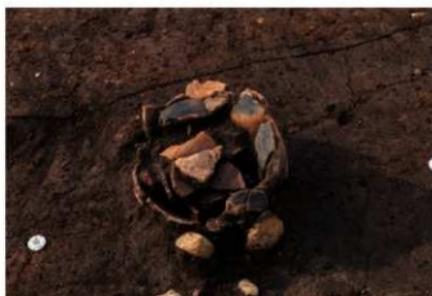
1 6区1号埋裏検出状況 15号竪穴建物の埋裏朽に認定



2 6区2号埋裏(S→) 19号竪穴建物の埋裏朽に認定



3 6区3号埋裏(S→) 15号竪穴建物施設に認定



4 6区4号埋裏(S→) 21号竪穴建物施設に認定



5 2区北地区単独出土土器出土状況(E→)



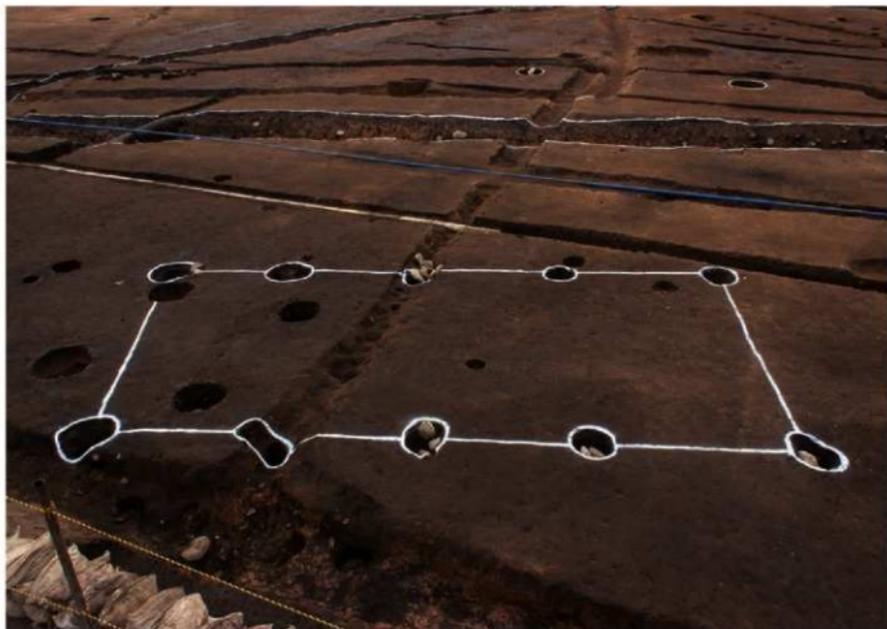
6 2区北地区単独出土土器出土層位(S→) 調査区北壁



7 2区北地区単独出土土器下半部状態 割れているが欠損はない



8 2区北地区単独出土土器断面(E→) 床面らしき硬化面はない



1 2区10号掘立柱建物全景(N→)



2 10号掘立柱建物柱穴ビットP2断面



3 10号掘立柱建物柱穴ビットP3断面



4 10号掘立柱建物柱穴ビットP8断面



5 10号掘立柱建物柱穴ビットP10断面



1 2区10号井戸確認状況(NW→) 上面に大きな磚を載せる



2 10号井戸側面状況(SW→) 95号溝埋没後に掘る



3 10号井戸遺物出土状況(SW→) 井桁状の割材と壺下半部



4 10号井戸掘り方(NW→) 底面は隅丸方形



5 10号井戸遺物出土状況側面(S→) 壺21163の形状から弥生後期箱清水式に類することが分かる



1 2区12号井戸・78号土坑出土状況(W→)



2 12号井戸土層断面(W→) 礫群は中層に堆積する



3 78号土坑出土木片(N→) 12号井戸との重複関係は不明



4 12号井戸・78号土坑掘り方(N→) 両者一体の可能性あり



5 2区13号井戸確認状況(SW→)



6 13号井戸底面出土の壺21183 小型完形品で横たわる



7 13号井戸掘り方(S→)



8 2区14号井戸検出状況(W→) 96号溝底面で確認



1 2区69号土坑掘り方全景(W→) 手前が円形部、奥が突出部で、底面はつながる



2 69号土坑下層の材出土状況(S→) 長い材が円形部から突出部にかけて横たわる



1 69号土坑土層断面(S→)



2 69号土坑中位の焼土・灰層断面(S→)



3 69号土坑灰層中の炭化植物痕



4 69号土坑の炭化植物痕に載る灰層



5 69号土坑灰層中の獣骨片



6 69号土坑土器片出土状況(SW→) 張出し部側から流れ込む



7 69号土坑張出し部の掘り方(S→)



1 2区70号土坑掘り方全景(E→) 69号土坑と逆に、西側に突出部がある



2 70号土坑確認時の遺物出土状況(E→)



3 70号土坑中位の灰層面検出状況(S→)



4 70号土坑中位の灰・焼土層断面(S→)



5 70号土坑灰層下の遺物出土状況(S→)



1 70号土坑下層の木器・木材出土状況 左側に白60006の分割品が横たわる



2 70号土坑下層遺物出土状況(S→) 材の上に礫や土器堆積



3 70号土坑下層の土器出土状態 欠損品や破片が主である



4 70号土坑中層の土器片と獣骨片出土状況



5 70号土坑中層出土の植物束を縛った縄



1 2区73号土坑中層の遺物出土状況 土器と礫が投げ込まれた



2 73号土坑掘り方(S→) わずかだが湧水がある



3 2区89号土坑掘り方(N→)



4 89号土坑底面出土のヒョウタン果



5 89号土坑遺物出土状況 下層に投げ込まれたと思われる状態で古墳前期の器台等が出土



1 2区北地区361号土坑掘り方(S→)



2 361号土坑土層断面(S→) 中位に灰・焼土層が堆積する



3 361号土坑底面の壺22547出土状況



4 2区北地区362号土坑上層遺物出土状況(W→)



5 362号土坑北西張り出し部(W→)



6 362号土坑上層断面(W→)



7 362号土坑中層遺物出土状況(S→) 土器欠損品、破片が主



8 362号土坑下層の材出土状態



1 362号土坑掘り方と底面出土壺2点(W→)



2 362号土坑全景(E→) 平面は楕円形



3 362号土坑底面の壺22567・22568出土状態 頸部を交差



4 362号土坑下層の遺物出土状況



5 362号土坑下層出土の加工板材60023 下位に壺が見える



1 2区北地区363号土坑遺物出土状況(S E→)



2 363号土坑下層掘削状況(S E→)



3 363号土坑底面出土短頸壺22575 壁際に正立させた完形品



4 363号土坑掘り方全景(S W→) 南側はテラス状



5 2区北地区365号土坑掘り方全景(N→) 地山下半がグライ化しており、湧水層となる



1 365号土坑土層断面(S→)



2 365号土坑掘り方全景



3 365号土坑壁の状態 中位壁面に浅い窪みを残す



4 365号土坑遺物出土状況(N→)



5 365号土坑底面出土の壺2点22584・22585 紅白の壺が頸部を交差して据えられていた



1 2区北地区391号土坑掘り方(S→) 上縁が皿形に開く



2 391号土坑上層断面と遺物出土状況(S→) 灰・焼土層の下



3 391号土坑遺物出土状況(S→) 上～中層に礫と土器片が充満



4 391号土坑下層の礫出土状況



5 2区北地区438号土坑埋土断面(N→)



6 438号土坑遺物出土状況(W→) 壁から滑り落ちた状況



7 438号土坑掘り方と底面出土遺物(N→)



8 438号土坑底面の壺2点22663・22665



1 2区北地区446号土坑確認状況(W→) 礫が充滿する



2 446号土坑上位礫層除去状況(S→) L字状に置かれた板材



3 446号土坑上位礫層で出土した磨製石鏃片10433



4 446号土坑上位出土板材(S→)



5 446号土坑中層の礫と板材(N→)



6 446号土坑中層の木器未成品・板出土状況



7 446号土坑中層の櫂未成品60024



8 446号土坑下層の加工角材出土状況60042ほか



1 446号土坑底面出土の壺2点Z2683・Z2683 左の壺は胴部穿孔がある



2 446号土坑掘り方全景(N→)



1 2区北地区497号土坑土層断面(S→)



2 497号土坑下層遺物出土状況 礫多く、板材や杭がみられる



3 497号土坑下層遺物出土状況全景(S→)



4 497号土坑掘り方全景(S→) 大小の円形を結合した形



5 2区北地区505号土坑遺物出土状況全景(N→) 東壁(写真下方)に梯子60030が斜位で出土した



1 505号土坑土層断面と中位遺物出土状況(E→)



2 505号土坑下層遺物出土状況(N→) 黒泥土が厚く堆積する



3 505号土坑下層黒泥土の状態 植物遺体が多く含まれていた



4 505号土坑梯子出土状態(N→) 壁から管状固結土塊突出



5 505号土坑掘り方全景(N→) 円形井戸底は北側に偏り、南側にテラス状の平坦面がある



1 2区北地区509号土坑全景(E→)



2 509号土坑土層断面(S→)



3 2区北地区86・526号土坑上面土器出土状況



4 86・526号土坑上面土器断面 壺上半部を倒立埋置したもの



5 86・526号土坑土層断面(S→) 土器は井戸埋没後の埋置



6 86・526号土坑掘り方全景(S→) 円形底面に平坦面が付属する



7 6区北地区36号井戸(旧323土坑)全景 平面円形の筒形



8 36号井戸土層断面(S→)



1 6区北地区38号井戸(旧E318号土坑)掘り方(W→)



2 38号井戸遺物出土状況 中下層に礫と土器片が出土する



1 38号井戸底面出土の壺2点22989・22982



2 38号井戸下層出土の板材60050



3 38号井戸埋土出土の壺22985



4 後世に打ち込まれた矢板 土器を貫通する



5 38号井戸遺物出土状況全景(S→) 主に南側から流入したと思われる



1 7区40号井戸掘り方(E→) 整った円形で、漏斗状に開く



2 40号井戸断面(E→)



3 40号井戸遺物出土状況 礫、土器、木材が詰まる



4 2区北地区50号井戸掘り方(W→)



5 50号井戸土層断面と礫出土状況(E→)



1 6区146号土坑検出状況(N→) 礫と土器片が集中する



2 146号土坑遺物出土状況(S→) 上中層に多く含まれる



3 146号土坑上層出土の石片10398



4 146号土坑下層断面(S→)



5 146号土坑掘り方全景(S→) 円形筒形が2本重なった形状



1 1区南地区215号土坑土層断面(E→) 木棺墓壇に認定



2 1区南地区216号土坑土層断面(E→)



3 216号土坑(手前)と218号土坑(奥)



4 216号土坑出土磨製石鏃10409 礫床面南西際から出土



5 216号土坑出土土器片22447 礫床面際出土の非在地系土器片



1 216号土坑検出状況(E→)



2 216号土坑礫床面西半断面(N→)



3 216号土坑礫床面東半断面(N→)



4 216号土坑側板小口の掘り込み



5 216号土坑掘り方(N→) 東西端に小口板を立てる溝を掘り込む



1 1区南地区218号土坑礫床検出状況(N→)



2 1区南地区218号土坑礫床検出状況(E→)



3 218号土坑埋土長軸断面(N→)



4 218号土坑掘り方(N→)



5 218号土坑と181号溝(W→) 181号溝の上に構築



1 1区南地区245号土坑検出状況(S→)



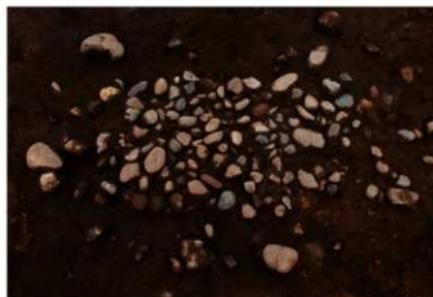
2 245号土坑遺物出土状況(S E→) 円形礫敷きの中央に土器



3 245号土坑中央の短頸壺22454 壺棺の可能性が考えられる



4 245号土坑礫敷きの状況(S→) 礫の大きさは不定



5 1区南地区246号土坑検出状況(S→)



6 246号土坑礫床断面(S→)



7 246号土坑礫床断面(E→)



8 246号土坑掘り方(W→) 東端の小口板坑のみ確認



1 1区南地区246号土坑と268号土坑(W→) 中央上が268号土坑、右は溝状の229号土坑



2 268号土坑検出状況(N→)



3 268号土坑掘り方調査状況(S→)



4 268号土坑の小口板坑断面(S→)



5 268号土坑検出状況(W→) 東側は礎床が欠損する



1 1区南地区297号土坑検出状況(W→) 礫床は荒れた状態



2 297号土坑掘り方(E→)



3 297号土坑とピットP463(E→) ピットは21号掘立柱建物



4 297号土坑と21号・22号掘立柱建物



5 礫床墓群の立地する低丘地形(N→) 幅25mほどの範囲内で墓群が確認された



1 2区103・110・111号溝(S E→)



2 111号溝検出状況(S→) 南端延長部は不明



3 111号溝土層断面(S→) 上層に浅間C軽石混土が落ち込む



4 103・111号溝重複部断面(S→) 溝内に後期縄文土器出土



5 111号溝と倒木痕(S→) 溝を倒木痕が切る



6 6区129号溝検出状況(W→) 環濠128号溝の内側に沿う



7 129号溝土層断面(W→) 浅間C軽石混土が上層に堆積



8 6区131号溝検出状況(N E→) 中央右で環濠に沿う



1 6区133号溝土層断面(W→)



2 6区143号溝検出状況(S E→) 152号土坑と重複する



3 左から6区145号・A・B溝、146、143号溝(NW→)



4 6区147号溝遺物出土状況(N→) 西側(右)の礫流入の可能性



5 147号溝検出状況(N→) 西の内環濠の可能性あり



6 147号溝土層断面(S→)



7 147号溝と145・146・146号溝の重複状況(N→)



1 2区北地区313号溝遺物出土状況(S→)



2 313号溝(左)、317号溝(右)土層断面(S→)



3 3区北地区326・327・328号溝(右から、S W→)



4 326号溝土層断面(E→)



5 5区359・368号溝(左から、N E→)



6 359号溝検出状況全景(S W→)



7 359号溝土層断面(S W→)



8 359号溝南西部(N E→)



1 2区97号溝検出状況(NW→)



2 97号溝土層断面(S E→)



3 2区99・100号溝検出状況(左から、NW→)



4 99号溝の杯出土状況



5 2区北地区298号溝(S E→)



6 298号溝土層断面(S→)



7 2区101号溝と方形区画(NW→)



8 101号溝土層断面(W→)



1 2区98号溝検出状況(NW→)



2 2区北地区316号溝土層断面(E→)



3 2区北地区318号溝検出状況(NW→)



4 2区北地区319号溝土層断面(S→)



5 316・318・319号溝全景(上が北、上空より) 中央を環濠(291号溝)が縦断する



1 6区130・A・B号溝検出状況(白線部、S W→)



2 130・A・B号溝土層断面(左から、W→)



3 6区132号溝土層断面(W→)



4 1区169(右上)・170号溝(左)検出状況(S E→)



5 1区171号溝検出状況(W→)



6 1区210号溝検出状況(W→) 171号溝に連続する



7 1区172号溝検出状況(W→)



8 1区172・173号溝交差状況(E→)



1 1区208号溝検出状況(W→)



2 1区209号溝検出状況(W→)



3 209号溝土層断面(E→)



4 1区207号溝検出状況(S E→)



5 1区222号溝検出状況(S E→) 207号溝に連続する



6 1区221号溝検出状況(S E→)



7 1区243号溝検出状況(W→)



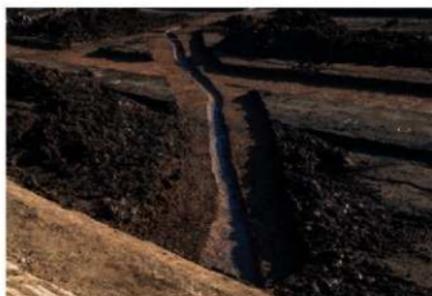
8 1区244号溝検出状況(S W→)



1 2区175号溝南東部検出状況(S E→)



2 2区175号溝北西部検出状況(S E→)



3 2区南地区303号溝検出状況(NW→)



4 2区南地区304・305号溝検出状況(NW→)



5 2区106(中央奥)・107(中央手前)号溝(S→) 左は104号溝



6 2区108号溝検出状況(S E→)



7 2区109号溝検出状況(S E→)



8 109号溝土層断面(S E→)



1 3区174号溝検出状況(S E→)



2 3区311(奥)・312(手前)号溝検出状況(S→)



3 3区323号溝検出状況(N→)



4 5区361(中)・362(左)号溝検出状況(S→)



5 5区360(右)号溝土層断面と361号溝合流点(S→)



6 362号溝土層断面(W→) 左の361号溝を切る



7 5区363号溝検出状況(W→)



8 5区363号溝土層断面(E→) 下層は地山層の掘りすぎ



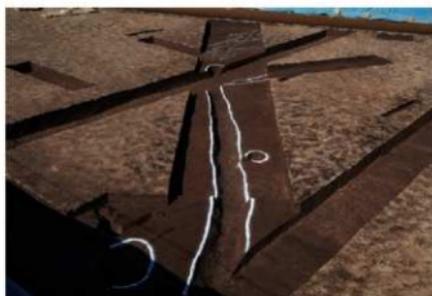
1 5区364号溝検出状況(N→)



2 5区364号溝土層断面(S→)



3 5区365号溝検出状況(S E→)



4 5区西地区372号溝検出状況(S→)



5 4区北地区373号溝検出状況(NW→)



6 4区343号溝検出状況(E→)



7 4区344号溝検出状況(S→)



8 4区348号溝検出状況(S→)



1 348号溝検出状況(N→)



2 348号溝土層断面(S→)



3 348号溝と344・349号溝の交差状況(S E→)



4 4区356号溝検出状況(S→)



5 岩押遺跡4の1号溝検出状況(NW→)



6 岩押遺跡4の2号溝検出状況(NW→)



7 岩押遺跡4の8号溝検出状況(E→)



1 4区河川跡確認状況(SW→)



2 4区河川跡土層断面(E→) 中位の灰色薄層は浅間C軽石層



3 4区河川跡南半部土層断面(E→)



4 4区河川跡調査状況(E→)



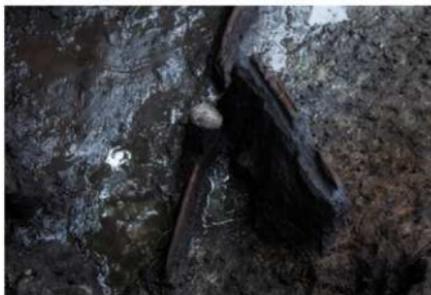
1 4区河川跡木材出土状況(E→)



2 4区河川跡木材出土状況(S→)



3 4区河川跡木材出土状況(S E→)



4 4区河川跡木材出土状況(E→)



5 4区河川跡棒状木材出土状況(E→)



6 4区河川跡自然木出土状況(N E→)



7 4区河川跡大型木材出土状況(N E→)



8 4区河川跡丸太材出土状況(W→)



1 4区河川跡丸太材出土状況(E→) 伐採痕を残す



2 4区河川跡左岸下の土器出土状況(E→) 壺の一部と思われる



3 4区河川跡板材出土状況



4 4区河川跡杭検出状況(W→) ビットP14内で検出



5 4区河川跡丸太材、立柱出土状況



6 4区河川跡北西部立柱(S→)



7 4区河川跡立柱根断面 表面炭化、下端は平坦



8 4区河川跡立柱根断面 ビットP2内検出



1 4区河川跡底面ビット検出状況(N→) 左手前が左岸法面にあるP1、その右はP2



2 4区河川跡底面ビット検出状況(NW→) 左下がP4、各々形状や規模が異なる



1 4区河川跡ビットP1検出状況



2 4区河川跡ビットP2検出状況



3 4区河川跡ビットP3検出状況



4 4区河川跡ビットP5検出状況



5 4区河川跡ビットP6検出状況



6 4区河川跡ビットP7検出状況



7 4区河川跡ビットP8丸太材検出状況



8 4区河川跡ビットP9検出状況



9 4区河川跡ビットP10検出状況



10 4区河川跡ビットP12検出状況



11 4区河川跡ビットP14立杭痕検出状況



12 4区河川跡ビットP15検出状況



13 4区河川跡ビットP18検出状況



14 4区河川跡ビットP23検出状況



15 4区河川跡ビットP24検出状況



1 2区71号土坑檢出状況(E→)



2 2区72号土坑檢出状況(N→)



3 2区74号土坑檢出状況(E→)



4 2区75号土坑檢出状況(E→)



5 2区76号土坑檢出状況(E→)



6 2区77号土坑檢出状況(S→)



7 77号土坑土層断面(S→)



8 2区79号土坑檢出状況(W→)



9 2区80号土坑檢出状況



10 80号土坑断面と遺物出土状況



11 2区85号土坑檢出状況(S→)



12 2区86号土坑檢出状況(S→) 526号土坑と同一



13 2区87号土坑檢出状況(S→)



14 2区89号土坑檢出状況(W→)井戸認定



15 2区89号土坑土層断面(N→)井戸認定



1 2区90号土坑检出状况(S→)



2 2区91号土坑检出状况(NW→)



3 91号土坑土层断面(N→)



4 2区92号土坑土层断面(E→)



5 2区93号土坑土层断面(S→)



6 2区94・95号土坑检出状况(S→)



7 2区96号土坑检出状况(S→)



8 2区97号土坑检出状况(S→)



9 2区98号土坑检出状况(NE→)



10 2区99号土坑检出状况(N→)



11 2区100号土坑检出状况(NW→)



12 100号土坑土层断面(SW→)



13 100号(右)・101号(左)土坑检出状况



14 2区102号土坑土层断面(SW→)



15 2区103号土坑检出状况(E→)



1 2区104号土坑検出状況(E→)



2 2区105号土坑検出状況(N E→)



3 2区106号土坑検出状況(N E→)



4 2区107号・108号土坑検出状況(N→)



5 6区122号土坑土層断面(S→)



6 6区126号土坑検出状況(S→)



7 6区128号土坑検出状況(S E→)



8 6区129号・130号土坑検出状況(S W→)



9 6区131号土坑検出状況(S E→)



10 6区132号土坑検出状況(S E→)



11 6区133号土坑検出状況(S E→)



12 6区136号土坑土層断面(N→)



13 6区142号土坑検出状況(E→)



14 6区145号土坑遺物出土状況(W→)



15 145号土坑検出状況(W→)



1 6区147号土坑土层断面



2 6区148号土坑土层断面



3 6区149号土坑检出状况(N→)



4 6区150号土坑土层断面(S→)



5 6区152号土坑检出状况(S→)



6 152号土坑土层断面



7 6区153号土坑检出状况(S→)



8 6区158号土坑土层断面(S→)



9 158号土坑遗物出土状况(W→)



10 6区159号土坑检出状况(E→)



11 6区160号土坑检出状况(S→)



12 160号土坑遗物21869出土状况



13 6区161号土坑检出状况(W→)



14 6区164号土坑土层断面(W→)



15 6区171号土坑检出状况(S→)



1 1区南地区195号土坑檢出狀況(W→)



2 1区南地区197号土坑檢出狀況(W→)



3 1区南地区201号土坑檢出狀況(S→)



4 1区南地区202号土坑土層断面(W→)



5 1区南地区215号土坑断面 墓塚認定



6 1区南地区217号土坑檢出狀況(N→)



7 1区南地区219号土坑檢出狀況(E→)



8 1区南地区220号土坑檢出狀況(S→)



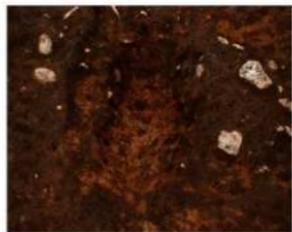
9 1区南地区222号土坑檢出狀況(S→)



10 1区南地区229号土坑檢出狀況(W→)



11 1区南地区228号土坑檢出狀況(W→)



12 1区南地区232号土坑檢出狀況(S→)



13 1区南地区234号土坑遺物出土狀況



14 234号土坑檢出狀況(S→)



1 1区南地区240号土坑檢出狀況(W→)



2 1区南地区241号土坑檢出狀況(N→)



3 241号土坑土層断面(N→)



4 241号土坑遺物出土狀況(N→)



5 1区南地区243号・244号土坑檢出狀況



6 1区南地区248号土坑断面(N→)



7 1区南地区249号土坑檢出狀況(W→)



8 249号土坑遺物出土狀況全景(W→)



9 249号土坑中央遺物出土狀況(W→)



10 249号土坑中央遺物出土狀況(S→)



11 249号土坑東端遺物出土狀況(S→)



12 1区南地区251号土坑檢出狀況(N→)



13 251号土坑土層断面(S→)



14 1区南地区255号・256号土坑土層断面



1 1区南地区256号土坑检出状况(S→)



2 1区南地区257号土坑土層断面(W→)



3 1区南地区260号土坑检出状况(S→)



4 1区南地区261号土坑检出状况(N→)



5 261号土坑土層断面(N→)



6 261号土坑遺物出土状况(N→)



7 1区南地区262号土坑检出状况(W→)



8 1区南地区263号土坑礫出土状况(E→)



9 263号土坑检出状况(S→)



10 1区南地区264号土坑检出状况(S→)



11 264号土坑土層断面(S→)



12 1区南地区265号土坑检出状况(N→)



13 1区南地区265号土坑土層断面(N→)



14 1区南地区266号土坑检出状况



15 266号土坑土層断面(S→)



1 1区南地区267号土坑檢出狀況(E→)



2 1区南地区269号土坑檢出狀況(W→)



3 269号土坑遺物出土狀況(S→)



4 1区南地区270号・271号土坑檢出狀況(S→)



5 271号土坑土層断面(S→)



6 1区南地区272号土坑確認狀況(E→)



7 1区南地区276号土坑檢出狀況(E→)



8 1区南地区277号土坑土層断面(S→)



9 1区南地区278号土坑檢出狀況(S W→)



10 1区南地区279号土坑檢出狀況(E→)



11 1区南地区281号土坑檢出狀況(S→)



12 1区南地区284号土坑檢出狀況(E→)



13 1区南地区285号土坑檢出狀況(S→)



14 1区南地区286号土坑遺物出土狀況



15 286・283(手前)号土坑檢出狀況(N→)



1 1区南地区288号土坑検出状況(SW→)



2 288号土坑土層断面(S→)



3 1区南地区292号土坑検出状況(W→)



4 1区南地区294号土坑検出状況(W→)



5 1区南地区295号・296号土坑検出状況



6 1区北西地区315号土坑検出状況(S→)



7 315号土坑土層断面(S→)



8 1区北西地区316号土坑土層断面(S→)



9 316号土坑遺物出土状況(上が南)



10 316号土坑検出状況(S→) 左は245号溝(東外環濠)



11 316号土坑遺物出土状況全景(S→)



12 316号土坑の蓋22464出土状況全景



1 1区北西地区317号土坑遺物出土状況 (E→)



2 317号土坑杯30073出土状況(N→)



3 317号土坑底面杯30071出土状況(W→)



4 317号土坑完掘状況(上か東)



5 2区北地区366号土坑掘出状況(NW→)



6 367号土坑中層土器出土状況



7 367号土坑掘出状況(S→)



8 367号土坑底面の壺22592出土状況



9 367号土坑埋土出土壺口縁片出土状況



10 2区北地区374号土坑掘出状況(E→)



11 2区北地区379号土坑遺物出土状況



12 379号土坑掘出状況(E→)



1 2区北地区386号土坑遺物出土状況



2 386号土坑土層断面(W→)



3 386号土坑検出状況(W→)



4 2区北地区387号土坑遺物出土状況(E→)



5 2区北地区388号土坑付近遺物出土状況



6 388号土坑検出状況(S E→)



7 2区北地区398号土坑検出状況(W→)



8 2区北地区426号土坑(地床?)



9 2区北地区433号土坑検出状況(S→)



10 2区北地区439号土坑遺物出土状況



11 439号土坑中層遺物出土状況(S→)



12 439号土坑検出状況(S→)



1 2区北地区442号土坑遺物出土状況 (S→)



2 442号土坑検出状況(S→)



3 2区北地区447号土坑検出状況(S→)



4 447号土坑礫出土状況



5 447号土坑の高杯30040出土状況



6 2区北地区474号土坑検出状況(S→)



7 474号土坑遺物出土状況(S→)



8 474号土坑底面の壺22688出土状況



9 2区北地区478号土坑遺物出土状況



10 2区北地区498号土坑遺物出土状況(S→)



11 498号土坑土層断面(E→)



12 498号土坑検出状況(S→)



1 2区北地区500号土坑検出状況(N→)



2 2区北地区503号土坑検出状況(W→)



3 2区北地区508号土坑遺物検出状況



4 2区北地区513号土坑検出状況(E→) 56号竪穴土層ベルトより



5 513号土坑密22526出土状況



6 513号土坑関連遺物出土状況(参考)



7 513号土坑関連遺物出土状況(参考)



8 513号土坑付近出土の甕22531



9 513号土坑付近出土の甕22535



10 2区北地区516号土坑遺物出土状況



11 2区北地区520号土坑検出状況(S→)



12 2区北地区524号土坑土層断面(S→)



1 4区532号土坑検出状況(S→)



2 532号土坑土層断面(S→)



3 5区541号土坑検出状況(S→)



4 5区547号土坑検出状況(S→)



5 6区ビットP341断面 141号溝に続く



6 2区ビットP282土層断面



7 2区ビットP286検出状況



8 2区ビットP287検出状況



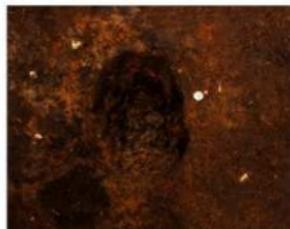
9 2区ビットP288検出状況



10 2区ビットP290検出状況



11 2区ビットP291検出状況



12 2区ビットP292検出状況



13 2区ビットP294検出状況



14 2区ビットP296土層断面



15 6区ビットP351土層断面



1 6区ビットP354土層断面



2 6区ビットP355土層断面



3 6区ビットP356土層断面



4 6区ビットP357土層断面



5 6区ビットP358土層断面



6 6区ビットP362土層断面



7 6区ビットP364土層断面



8 6区ビットP365土層断面



9 6区ビットP367土層断面



10 6区ビットP368土層断面



11 6区ビットP370土層断面



12 6区ビットP372土層断面



13 6区ビットP374土層断面



14 6区ビットP377土層断面



15 6区ビットP379土層断面



1 6区ビットP382土層断面



2 6区ビットP383土層断面



3 6区ビットP384土層断面



4 6区ビットP411土層断面



5 6区ビットP412土層断面



6 6区ビットP413土層断面



7 6区北地区ビットP1199検出状況



8 6区北地区ビットP1200検出状況



9 6区北地区ビットP1201検出状況



10 6区北地区ビットP1202検出状況



11 6区北地区ビットP1203検出状況



12 6区北地区ビットP1204検出状況



13 6区北地区ビットP1205検出状況



14 6区北地区ビットP1207検出状況



15 6区北地区ビットP1208検出状況



1 6区北地区ビットP1209検出状況



2 6区北地区ビットP1210検出状況



3 6区北地区ビットP1211検出状況



4 6区北地区ビットP1212検出状況



5 6区北地区ビットP1213検出状況



6 6区北地区ビットP1208検出状況



7 6区北地区ビットP1216検出状況



8 6区北地区ビットP1217検出状況



9 6区北地区ビットP1218土層断面



10 6区北地区ビットP1218検出状況



11 6区北地区ビットP1219検出状況



12 6区北地区ビットP1220土層断面



13 6区北地区ビットP1232検出状況



14 6区北地区ビットP1234検出状況



15 6区北地区ビットP1235検出状況



1 6区北地区ビットP1236検出状況



2 6区北地区ビットP1237検出状況



3 6区北地区ビットP1238検出状況



4 6区北地区ビットP1241・1242検出状況



5 6区北地区ビットP1244検出状況



6 6区北地区ビットP1245検出状況



7 6区北地区ビットP1246検出状況



8 6区北地区ビットP1247検出状況



9 6区北地区ビットP1249検出状況



10 6区北地区ビットP1258検出状況



11 6区北地区ビットP1259検出状況



12 6区北地区ビットP1260検出状況



13 6区北地区ビットP1261・1262検出状況



14 6区北地区ビットP1267検出状況



15 6区北地区ビットP1269検出状況



1 2区北地区ビットP1618検出状況



2 2区北地区ビットP1623検出状況



3 2区北地区ビットP1639検出状況



4 2区北地区ビットP1644・1645検出状況



5 2区北地区ビットP1645土層断面



6 2区北地区ビットP1645検出状況



7 2区北地区ビットP1731遺物出土状況



8 2区北地区ビットP2017・2018検出状況



9 2区北地区ビットP2069検出状況



10 2区北地区ビットP2087検出状況



11 2区北地区ビットP2119土層断面



12 2区北地区ビットP2122検出状況



13 2区北地区ビットP2123土層断面



14 2区北地区ビットP2124検出状況



15 2区北地区ビットP2125検出状況



1 2区北地区ビットP2126検出状況



2 2区北地区ビットP2127検出状況



3 2区北地区ビットP2139検出状況



4 2区北地区ビットP2141検出状況



5 2区北地区ビットP2142検出状況



6 2区北地区ビットP2143土層断面



7 2区北地区ビットP2144検出状況



8 2区北地区ビットP2156検出状況



9 2区北地区ビットP2162検出状況



10 1区南地区ビットP476検出状況



11 4区ビットP2205土層断面



12 4区ビットP2210検出状況



13 6区3号柵列(S E→)



14 1区13号畠跡(S→)



15 1区13号畠跡サク断面(W→)



1 6区128号溝(北西環濠)内側土器集中状況(N→)



2 2区北地区291号溝(西環濠)内側土器集中状況(S→)



3 291号溝(西環濠)内側の磁群出土状況(S E→)



4 2区北地区の泥流堆積物断面(S E→)



5 6区泥流堆積物断面の噴砂痕(E→)



6 6区泥流堆積物断面(S→) ラミナ砂層上に黄灰色土層堆積



7 2区低地部の基本層序No. 5地点(E→) 中央に浅間B軽石下水田大群



8 2区北地区微高地の基本層序(S E→) 下層黒色土が弥生時代包含層



1 1区南地区17号井戸土層断面(N→)



2 1区南地区17号井戸掘方(N→)



3 1区南地区18号井戸土層断面(S→)



4 1区南地区19号井戸土層断面(S→)



5 1区南地区19号井戸掘方



6 1区南地区20号井戸(S→)



7 1区南地区21号井戸(S→)



8 1区南地区23号井戸(N→)

繩文土器
遺構外

1区南



24001

2区北西



24002

6区



24003

2区北西



24004

1区北西



24005

6区



24006

6区



24007

6区



24008

2区北



24009

2区



24010

2区北



24011

1区南



24012

1区北西



24013

PL.124

弥生土器
2区95号溝



2区96号溝(1)



20325



20308



20328



20324



20305



20337



20345

PL.126

2区96号溝(2)



20309



20316



20326



20310



20315



20350

2区96号溝(3)



PL.128

2区96号溝(4)



2区96号溝(5)



20327



20336



20338



20342



20437



20343



20346



20329



20304



20333



20348



20351



20330



20334

PL.130

2区96号洞(6)



2区96号溝(7)



20397



20528



20303



20483



20510



20509



20511



20512



20513



20514



20519



20531



20358



20353



20354



20355



20356

PL.132

1区南地区291号溝



22797



22790



22796



22851



22837



22854



22855

1区南地区268号溝



22732



22903

6区140号溝



22364



23111



22366

6区245号溝



23039



23034



23080



23081



23082

6区4号整穴建物



22227



22225



22230



22235

6区12号整穴建物



22395



22188



22358

6区9号整穴建物



22192



22193



22394

PL.134

6区19号竖穴建物



6区13号竖穴建物



22194

6区15号竖穴建物
1号埋葬内



22425

6区25号竖穴建物



22196

6区26号竖穴建物



21546

6区27号竖穴建物



22204



22201



22202



22207

6区29号壺穴建物(1)



22197



外面



22208

内面
白マークは種圧痕

6区29号壺穴建物(2)



22223



22242



22244



22245



22238

6区31号壺穴建物(1)



22264



22247

PL.136

6区31号壁穴建物(2)



6区31号壁穴建物(3)



22258



22267



22249



22255



22252



22270



22273



22250



22272



22283

PL.138

6区33号窑穴建物



22276

6区34号窑穴建物



22277

6区38号窑穴建物



22295

6区40号窑穴建物



22298

6区46号窑穴建物



22320

6区36号窑穴建物



22286



22292



22293

6区42号窑穴建物



21691



22300



22301



22306



22316



22321

底面

6区48号壁穴建物



22325



22266



22265



21799



22323



22326



22329



22330



22331



22332



22333

6区49号竖穴建物



22428



22400

6区50号竖穴建物



22348



22345



22347



22344



22393



22352



22402



22426



21820

2区北54号竖穴建物



2区北55号竖穴建物



2区北56号竖穴建物



2区北1号濠物集中



PL.142

2区10号井戸



2区12号井戸



2区13号井戸



2区69号土坑(1)



2区69号土坑(2)



正面

21061



背面

2区70号土坑(1)



正面

20937



侧面



20935



20928



20932

PL.144

2区70号土坑(2)



2区73号土坑



2区北361号土坑



2区北362号土坑



2区北363号土坑



2区北365号土坑



PL.146

2区北391号土坑



2区北446号土坑



2区北505号土坑



2区北438号土坑(1)



2区北438号土坑(2)



22665



22654



22662

2区北497号土坑



22695



裏面

2区・2区北526号土坑



22729

6区北36号井戸



22964



22963

6区北38号井戸(1)



22984



22989



22983

PL.148

6区北38号井戸(2)



7区40号井戸(1)



7区40号井戸(2)



1区南245号土坑



2区91号土坑



6区142号土坑



1区南地区249号土坑



1区北西地区316号土坑



2区北地区367号土坑



2区北地区387号土坑



PL.150

2区北地区474号土坑



22688

2区北地区498号土坑



22700

2区北地区516号土坑



22725

2区北地区513号土坑



22526

2区北地区298号溝



23120



22856

6区128号溝南岸



22149

6区19号壑穴付近



22991

6区1号集石



22409



22378



22377

2区89号土坑



30011



30010

1区北西地区1195号ピット



30074

遺構外土師器



30003



30004



30005

6区遺構外



22384

土製管玉(2/1)
6区33号竪穴建物



10822

6区40号竪穴建物



10818



10819



10820



10821

2区北391号土坑



10816



10817

2区北497号土坑



10815

人形容器
6区1号集石



22404



右側面



裏面

2区95号溝



上から

2区遺構外



左側面 21356



下面

2区96号溝



21362



21357

2区北グリッド



23122

6区49号竪穴建物



22403

1区南地区291号溝



23119

6区グリッド



23107

PL.152

不明土製品

2区北道構外



2区北389号土坑



2区グリッド



7区40号井戸



2区95号溝



銅鐸形土製品

6区38号竪穴建物



裏面

7区39号井戸



分銅型土製品
2区北グリッド



丸玉土垂
6区27号竪穴建物



紡輪

2区道構外



6区道構外



土製円板(1)

6区5号竪穴建物



1区北



6区46号竪穴建物



6区50号竪穴建物



2区95号溝



2区96号溝



土製円板(2)

1区南291号溝



2区69号土坑



2区70号土坑



6区29号竪穴建物



6区47号竪穴建物



2区64号土坑



2区道構外



2区北道構外



6区道構外



2区北道構外



2区95号溝



5区道構外



2区96号溝



2区95号溝



PL.154

木製品
2区95号溝(1)



2区95号溝(2)



60062



内面

60061



外面



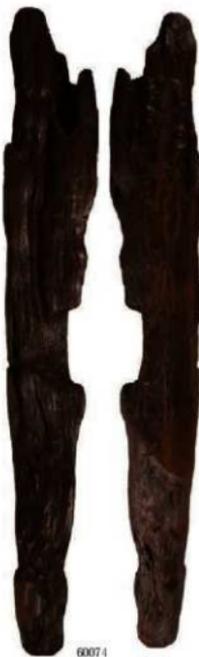
60067

60065



60060

2区96号溝



60074

裏面



60075

6区140号溝



60013

60015

6区38号井戸



60052

PL.156

7区245号溝



60019

6区北38号井戸



60049



60050-1



60051

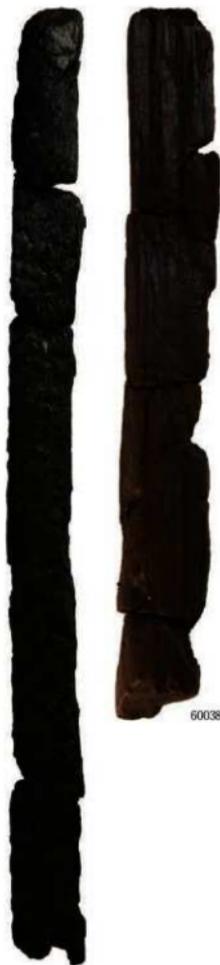


60050-2

7区40号井戸



60035



60037



60038



60036

2区69号土坑(1)



60073



60001



60057

PL.158

2区69号土坑(2)



2区70号土坑(1)



2区70号土坑(2)



6006



60058



60002

2区北362号土坑



60023

2区70号土坑(3)



60063

60059

60063

2区北365号土坑



60010

2区北391号土坑



60011

2区北446号土坑(1)



60040



60025



60033



60022

PL.162

2区北446号土坑(2)



2区北446号土坑(3)



2区北438号土坑



2区北497号土坑



PL.164

2区北505号土坑



60030



侧面



表面



60047



60031

6区36号竖穴建物



60018

石器·石製品
2区95号溝



10040



10059



10060



10039



10038



10456



10061



10049



10050



10051



10063



10048



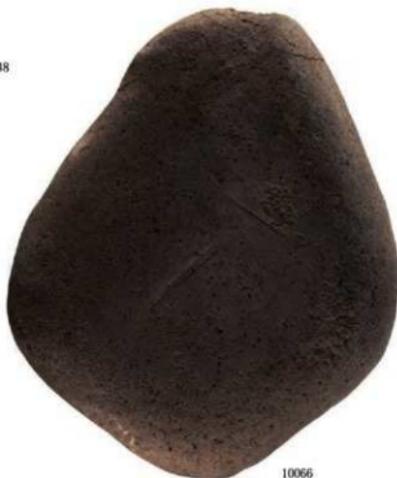
10065



10062



10064



10066



10074



10076



10081



10080



10079



10087



10091



10092



10070



10072



10071



10073



10069

6区140号溝



10465



10466



10472

2区南291号溝



10515



10519

2区北268号溝



10504



10505



10507

6区19号竪穴建物



10661

6区21号竪穴建物



10152

6区4・29号竪穴建物



10792



10153



10188



10154



10189

6区6・28号竪穴建物



10177



10176



10174



10175



PL.168

6区27号壁穴建物



10162



10165



10167



10156



10164



10163



10166



6区26号壁穴建物



10155

6区31号壁穴建物



10195



10197



10198



10193

6区32号竖穴建物



10205



10202



10203



10204

6区33号竖穴建物



10210



10740



10211



10213



10215

6区37号竖穴建物



10246



10247

6区36号竖穴建物



10233



10227



10228



10231

6区39号竖穴建物



10259

6区38号竖穴建物



10741



10249



10252



10253

PL.170

6区40号整穴建物



10260



10261



10271



10263



10272



10265



10264



10270

6区41号整穴建物



10743



10277

6区42号整穴建物



10280



10289



10282



10283



10284

6区43号整穴建物



10742



10696



10259



10267



10298

2区14号井戸



10001

6区北38号井戸



10419



10414



10418

2区69号土坑



10004



10010



10006



10009

2区70号土坑



10013



10023



10025



10018



10024



10016



10017

2区北362号土坑



10424

2区北446号土坑



10433



10435



10432



2区北363号土坑



10426

2区北391号土坑



10430



10438



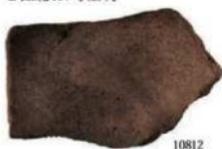
10439



10443

PL.172

2区北497号土坑



10812



10750

2区北505号土坑



10450

1区216号土坑



10409

2区91号土坑



10031

2区北474号土坑



10749

6区146号土坑



10398

6区159号土坑



10402

2区北439号土坑



10761

6区127号土坑



10397

2区北508号土坑



10451

2区98号沟



10094



10095

2区99号沟



10096

6区145号沟



10481

6区147号溝



10487



10488



10485

4区河川跡



10781



10811

6区1号集石



10535



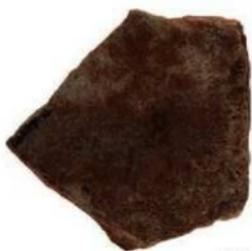
10556



10747



10565



10581



10561



10564



10560



10574



10575

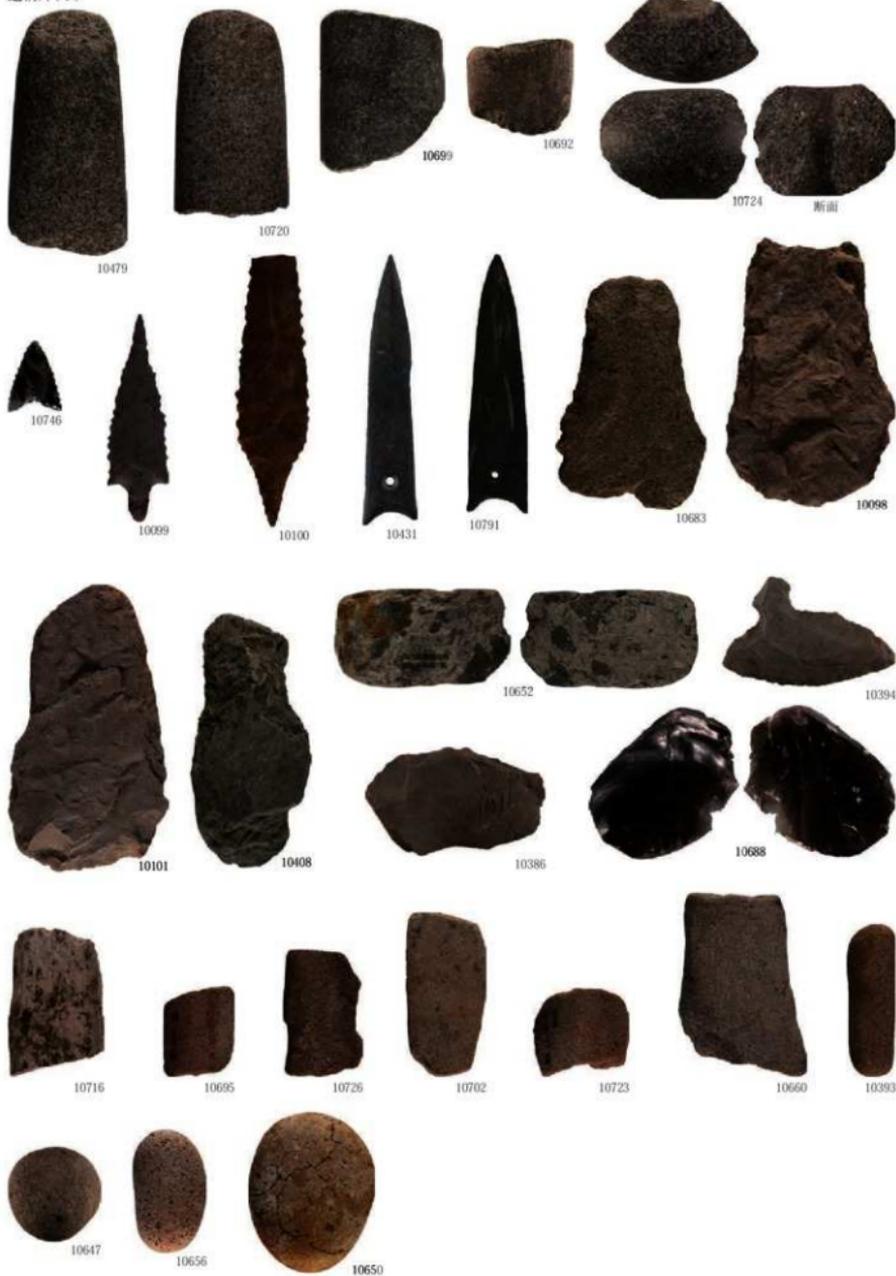


10576



10563

遺構外(1)



遺構外(2)



10508



10445



10389



10461



10395



10002



10668



10522



70003



10034



10147



10146



10524



10429



70004



10444



10452



10669

PL.176

遺構外(3)



10448



10115



10654

壺型石製模造品
2区96号溝



10011

石製紡輪
2区70号土坑



10027



1 70号土坑出土壺20926と炭化イネ粒塊



2 壺20926内の炭化イネ粒塊(分析対象)



3 70号土坑出土の結縛藁(調査では「縄」)



4 50号竪穴建物出土壺21821のモミ圧痕



5 壺片21659断面に残る炭化モミ圧痕



6 壺片21155断面に残るモミ穀圧痕



7 壺20335口縁外面に残された虫体圧痕



8 左写真でマグソコガネ属と同定された圧痕



1 224041眼付近の造形



2 人形容器224041口・歯の造形



3 人形容器224041内面整形



4 人形容器21356上顎内面の歯造形



5 壺22526頸部縄文(LR)の拡大



6 壺20627縄文(R)の拡大、整った束



7 壺22568肩部の擬縄文(オオバコ)



8 オオバコ花穂の回転圧痕モデル



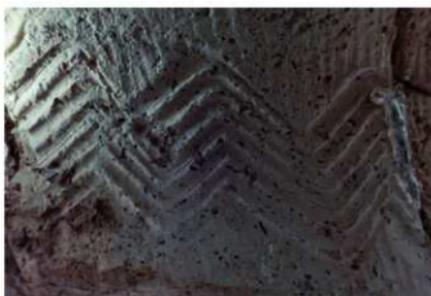
1 壺20305頸部の縄文地文と横沈線



2 壺30328頸部の縄文地文と山形文



3 壺20310頸部の縄文末端部回転圧痕



4 壺20437頸部の櫛描波状文



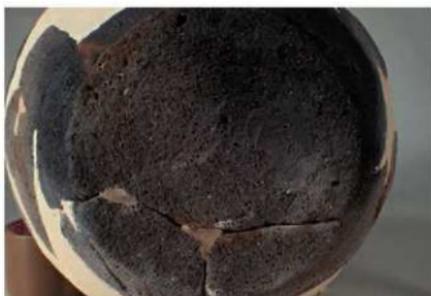
5 壺22249肩部の櫛描横線とハケメ



6 壺20937口縁の横ナデとハケメ



7 壺20345口縁に残る化粧掛け痕



8 甕底面に残る削り痕



1 壺22255の2本の三叉状記号文



2 単純な三叉状記号文(壺22266)



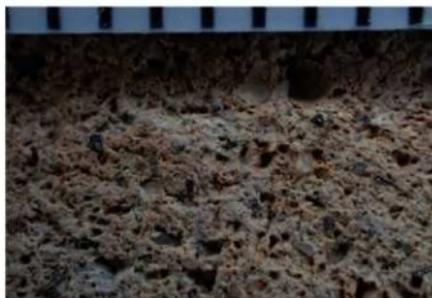
3 二股に分岐する三叉状記号文(壺22483)



4 三角文と蛇行垂下文(壺22552)



5 最も多いタイプの土器胎土S



6 土器胎土Sの拡大(目盛1mm)



7 細砂を少量含む胎土S



8 細砂の多い胎土S(目盛1mm)



1 木製品600023の載断面



2 木製品600023の削り痕、鉄斧加工痕か



3 横隼未成品60040の削り痕



4 横隼未成品60040の載断面用溝痕



5 石製壺形模造品10011の施文痕



6 牛伏砂岩製の砥石



7 太型蛤刃石斧10071



8 太型蛤刃石斧10071の石材拡大

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第681集

高崎競馬場遺跡(1) 一弥生・古墳時代編一

コンベンション施設整備事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
写真図版

令和3(2021)年3月10日 印刷

令和3(2021)年3月23日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北碓町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／杉浦印刷株式会社

